

# 高齢者実態調査報告書

《介護保険サービス利用者・未利用者調査・介護者調査》

令和5年3月

大阪市



# 目次

<b>1</b>	<b>調査概要</b>	<b>1</b>
(1)	調査目的	1
(2)	調査設計	1
(3)	調査項目	1
(4)	回収状況	3
(5)	報告書の見方	4
<b>2</b>	<b>介護保険サービス利用者調査結果</b>	<b>5</b>
(1)	調査回答者の基本属性	5
問1	記入者	5
問2(1)	本人の性別	5
問2(2)	本人の年齢	6
問2(3)	本人の居住区	7
問3	要介護度	7
問4	傷病状況	8
(2)	世帯の状況、介護の状況	9
問5	世帯状況	9
問6	介護者の有無	11
問6-1	家族や親族からの介護日数	13
問7	介護・介助が必要になった原因	14
(3)	要介護認定	16
問8	初めて要介護認定を受けた時の目的	16
問9	直近の要介護認定で不満の有無	18
問9-1	要介護認定に不満がある理由	18
(4)	介護保険サービスの利用状況と利用に対する考え	19
問10	現在の住まい	19
問10-1	施設等の入所(入居)の検討状況	20
問10-2	利用している介護保険サービス及び介護予防サービス	21
問10-3	令和4年8月の介護保険サービス及び介護予防サービスの利用状況	24
問10-4	介護保険サービス及び介護予防サービスの利用状況	25
問10-5	介護保険サービス及び介護予防サービスを利用していない理由	27
問11	新型コロナウイルス感染症拡大の影響による介護サービス利用の変化	28
問11-1	新型コロナウイルス感染症拡大の影響により利用をやめた、もしくは回数を減らした介護サービス	29
問11-2	介護サービスの種類を変更したり、回数を減らしたことによる影響	30
問12	現在利用している、介護保険サービス及び介護予防サービス以外の支援・サービス	31
問13	在宅生活継続に必要と感じる支援・サービス	32
問14	入所(入居)している施設	33
問14-1	入所(入居)を希望した理由	35

問14-2	入所施設での定住意向.....	37
問15	医療従事者などの訪問有無.....	38
問15-1	訪問されている医療従事者.....	39
問16	介護支援専門員の満足度.....	41
問16-1	担当の介護支援専門員についての意見・要望（自由記述）.....	42
問17	介護保険サービス及び介護予防サービスの満足度.....	43
問17-1	介護保険サービス及び介護予防サービスについての意見・要望（自由記述）... ..	44
問18	現在利用していない介護保険サービス及び介護予防サービスの利用意向.....	45
問18-1	現在利用していない居宅サービスの利用意向.....	47
問18-2	現在利用していない施設サービスの利用意向.....	50
(5)	外出の状況.....	53
問19	外出頻度.....	53
問20	昨年と比べた外出の回数.....	54
問21	外出を控えること.....	55
問21-1	外出を控えている理由.....	56
(6)	介護予防・重度化防止の取り組み.....	58
問22	介護予防に対する意識の程度.....	58
問23	介護予防の取り組み状況.....	59
問23-1	介護予防の取り組みに意向がない理由.....	65
(7)	健康状態.....	67
問24	歯の数と入れ歯の利用状況.....	67
問24-1	かみ合わせ.....	68
問24-2	入れ歯の手入れ.....	69
問25	かんで食べることの可否.....	70
問26	お茶や汁物でむせること.....	71
問27	健康状態.....	72
(8)	新型コロナウイルス感染症対策.....	73
問28	新型コロナウイルス感染症対策の実施.....	73
問28-1	行っている感染症対策.....	74
問29	新型コロナウイルス感染症に感染した経験.....	76
(9)	かかりつけ医・かかりつけ歯科医師・かかりつけ薬剤師.....	77
問30	かかりつけの医師の訪問診療の有無.....	77
問31	かかりつけの歯科医師の訪問診療の有無.....	78
問32	かかりつけ薬剤師・薬局の訪問の有無.....	79
(10)	地域活動.....	80
問33	地域の会・グループ等への参加頻度.....	80
問33-1	地域づくり活動に参加者としての参加意向.....	81
問33-2	地域づくり活動に企画・運営としての参加意向.....	82
(11)	認知症.....	83
問34	認知症状の有無.....	83
問34-1	認知症に関する相談窓口の認知度.....	85
問34-2	知っている認知症に関する相談窓口.....	87

問34-3 認知症についての相談先.....	88
(12) 高齢者向けサービス情報、生活の満足度.....	89
問35 高齢者向けサービスの情報源.....	89
問36 現在の生活の満足度 .....	91
(13) 介護保険制度についての意見・要望等.....	92
問37 介護保険制度についての意見・要望等（自由記述） .....	92

### 3 介護保険サービス未利用者調査結果 ..... 95

(1) 調査回答者の基本属性 .....	95
問1 記入者 .....	95
問2 (2) 本人の年齢 .....	96
問2 (3) 本人の居住区 .....	97
問3 要介護認定の有無 .....	97
問3-1 要介護度 .....	98
問4 傷病状況 .....	99
(2) 世帯の状況、介護の状況 .....	101
問5 世帯状況 .....	101
問6 介護者の有無 .....	104
問6-1 家族や親族からの介護日数.....	106
問7 介護・介助が必要になった原因.....	107
(3) 要介護認定 .....	109
問8 初めて要介護認定を受けた時の目的.....	109
問9 直近の要介護認定で不満の有無.....	110
問9-1 要介護認定に不満がある理由.....	111
(4) 介護保険サービスの利用状況と利用に対する考え.....	112
問10 介護保険サービスの利用状況.....	112
問10-1 以前利用していた介護保険サービス.....	114
問11 介護保険サービスを利用していない理由.....	117
問12 現在利用している、介護保険サービス以外の支援・サービス.....	119
問13 在宅生活継続に必要と感じる支援・サービス.....	120
問14 医療従事者などの訪問有無.....	121
問14-1 訪問されている医療従事者.....	122
問15 介護保険サービスの利用意向.....	124
問15-1 利用したい居宅サービス.....	126
問15-2 利用したい施設サービス.....	129
問15-3 施設等の入所（入居）の検討状況.....	131
(5) 外出の状況 .....	132
問16 外出頻度 .....	132
問17 昨年と比べた外出の回数.....	133
問18 外出を控えること .....	134
問18-1 外出を控えている理由.....	135

(6) 介護予防・重度化防止の取り組み.....	137
問19 介護予防に対する意識の程度.....	137
問20 介護予防の取り組み状況.....	138
問20-1 介護予防の取り組みに意向がない理由.....	144
(7) 健康状態.....	146
問21 歯の数と入れ歯の利用状況.....	146
問21-1 かみ合わせ.....	147
問21-2 入れ歯の手入れ.....	148
問22 かんで食べることの可否.....	149
問23 お茶や汁物でむせること.....	150
問24 健康状態.....	151
(8) 新型コロナウイルス感染症対策.....	152
問25 新型コロナウイルス感染症対策の実施.....	152
問25-1 行っている感染症対策.....	153
問26 新型コロナウイルス感染症に感染した経験.....	155
(9) かかりつけ医・かかりつけ歯科医師・かかりつけ薬剤師.....	156
問27 かかりつけの医師の訪問診療の有無.....	156
問28 かかりつけの歯科医師の訪問診療の有無.....	157
問29 かかりつけ薬剤師・薬局の訪問の有無.....	158
(10) 地域活動.....	159
問30 地域の会・グループ等への参加頻度.....	159
問30-1 地域づくり活動に参加者としての参加意向.....	160
問30-2 地域づくり活動に企画・運営としての参加意向.....	161
(11) 認知症.....	162
問31 認知症状の有無.....	162
問31-1 認知症に関する相談窓口の認知度.....	164
問31-2 知っている認知症に関する相談窓口.....	166
問31-3 認知症についての相談先.....	167
(12) 高齢者向けサービス情報、生活の満足度.....	168
問32 高齢者向けサービスの情報源.....	168
問33 現在の生活の満足度.....	170
(13) 介護保険制度についての意見・要望等.....	171
問34 介護保険制度についての意見・要望等（自由記述）.....	171

#### 4 介護者調査結果..... 173

(1) 介護者の基本属性.....	173
問38[35] 本人との関係.....	173
問39[36] (2) 介護者の年齢.....	179
問39[36] (3) 本人との同居の有無.....	185
問40[37] 介護者の健康状態.....	189

(2) 介護の状況 .....	190
問41[38] 介護者がよく話をする相手.....	190
問42[39] 介護を手助けしてくれる人の有無.....	192
問43[40] 本人の認知症の程度.....	194
問44[41] 本人に行っている介護内容.....	200
問45[42] 自宅での介護で毎月もっとも必要とするもの.....	208
(3) 介護上の問題 .....	210
問46[43] 自宅での介護で困っていること.....	210
問47[44] 自宅での介護で本人に対して行ってしまったこと.....	216
問47-1[44-1] 虐待的行為が緩和される支援（自由記述）.....	228
問48[45] 高齢者虐待を受けた場合の通報・相談先の認知度.....	229
問49 本人が介護保険サービスを利用することによる介護者の変化.....	231
問50 本人が利用している介護保険サービスに対する介護者の満足度.....	232
問50-1 本人利用の介護保険サービスに対する介護者の満足度の理由（自由記述）....	234
問[46] 本人に対する介護保険サービスの利用意向.....	235
問[47] 介護保険サービスを利用しようと思う本人の状態.....	236
問[48] 介護保険サービスを利用しようと思う介護者の状態.....	237
問51[49] 自宅での介護で重要なこと.....	238
(4) 介護離職に関する問題 .....	240
問52[50] 介護者の就業状況 .....	240
問52-1[50-1] 介護をするにあたって行っている働き方の調整.....	251
問52-2[50-2] 働きながら介護を続けることの意向.....	253
問53[51] 介護を理由に仕事を辞めた人の有無.....	255
問54[52] 仕事と介護の両立に効果があると思われる勤め先からの支援.....	256
問55[53] 現在の生活を継続していくにあたって不安に感じる介護.....	258
問56[54] 相談窓口の利用状況.....	260
問56-1[54-1] 自宅での介護で困った時の相談先.....	262
(5) 介護保険制度についての意見・要望等.....	264
問57[55] 介護保険制度について、介護者としてのご意見・ご要望等（自由記述）....	264

## 5 調査結果からみえてきた現状と課題 .....

(1) 高齢者の状態像や世帯特性にみる課題.....	267
(2) 介護保険サービス等の利用と今後の利用意向にみる課題.....	268
(3) 在宅医療（訪問診療）の利用にみる課題.....	270
(4) 介護予防等への取組みにみる課題.....	271
(5) 地域活動への参加状況にみる課題.....	272
(6) 相談・情報収集の状況にみる課題.....	272
(7) 介護者の介護の状況にみる課題.....	273

## 資料編 .....



# 1 調査概要

## (1) 調査目的

大阪市内に居住する要支援・要介護認定者及びその介護者を対象に、介護保険サービスの利用状況と利用意向、介護の状況などを把握し、大阪市における今後の高齢者施策及び介護保険事業の運営に資する基礎資料を得ることを目的に実施した。

## (2) 調査設計

① 調査地域：大阪市内全域

② 調査対象：

I 介護保険サービス利用者

大阪市内に居住する要支援・要介護認定者で、かつ令和4年4月1日時点で介護サービスを利用している方から無作為抽出した 6,400人

II 介護保険サービス未利用者

大阪市内に居住する要支援・要介護認定者で、かつ令和4年4月1日時点で介護サービスを利用していない方から無作為抽出した 9,300人

III 介護者

上記 I・II の対象者を介護している者（介護サービス事業者を除く）

③ 調査方法：郵送配布、郵送回収

④ 調査期間：令和4年9月9日（金）から令和4年9月30日（金）

## (3) 調査項目

### 〔1〕 介護保険サービス利用者

① 調査回答者の基本属性

記入者、本人の性別・年齢・居住区、要介護度、傷病状況

② 世帯の状況、介護の状況

世帯状況、介護者の有無、家族や親族からの介護日数、介護・介助が必要になった原因

③ 要介護認定

要介護認定の目的、要介護認定の不満

④ 介護保険サービスの利用状況と利用に対する考え

現在の住まい、施設等の入所（入居）の検討状況、現在利用している介護保険サービス及び介護予防サービス、介護保険サービス及び介護予防サービスの利用状況、新型コロナウイルス感染症拡大の影響による介護サービス利用の変化、介護保険サービス及び介護予防サービス以外で利用している支援・サービス、在宅生活継続に必要と感じる支援・サービス、現在入所（入居）している施設等の状況、医療従事者の訪問状況、介護支援専門員や介護保険サービス及び介護予防サービスの満足度、介護保険サービス及び介護予防サービスの利用意向

⑤ 外出の状況

外出回数、外出の状況

⑥ 介護予防・重度化防止の取り組み

介護予防に対する意識の程度、介護予防の取り組み状況

- ⑦ **健康状態**  
歯の数と入れ歯の利用状況、かみ合わせ、咀嚼状態、誤嚥、現在の健康状態
- ⑧ **新型コロナウイルス感染症対策**  
新型コロナウイルス感染症の感染対策、感染した経験
- ⑨ **かかりつけ医・かかりつけ歯科医師・かかりつけ薬剤師**  
かかりつけ医・歯科医師・薬剤師の訪問診療の有無
- ⑩ **地域活動**  
地域活動の参加状況、地域づくりの参加意向
- ⑪ **認知症**  
認知症状の有無、認知症に関する相談窓口
- ⑫ **高齢者向けサービス情報、生活の満足度**  
高齢者向けサービスの情報源、現在の生活の満足度
- ⑬ **介護保険制度についての意見・要望等**  
自由記述

## 〔2〕介護保険サービス未利用者

- ① **調査回答者の基本属性**  
記入者、本人の性別・年齢・居住区、要介護度、傷病状況
- ② **世帯の状況、介護の状況**  
世帯状況、介護者の有無、家族や親族からの介護日数、介護・介助が必要になった原因
- ③ **要介護認定**  
要介護認定の目的、要介護認定の不満
- ④ **介護保険サービスの利用状況と利用に対する考え**  
介護保険サービスの利用状況、介護保険サービスの未利用理由、介護保険サービス及び介護予防サービス以外で利用している支援・サービス、在宅生活継続に必要と感じる支援・サービス、医療従事者の訪問状況、介護保険サービスの利用意向、施設等の入所（入居）の検討状況
- ⑤ **外出の状況**  
外出回数、外出の状況
- ⑥ **介護予防・重度化防止の取り組み**  
介護予防に対する意識の程度、介護予防の取り組み状況
- ⑦ **健康状態、新型コロナウイルス感染症対策**  
歯の数と入れ歯の利用状況、かみ合わせ、咀嚼状態、誤嚥、現在の健康状態
- ⑧ **新型コロナウイルス感染症対策**  
新型コロナウイルス感染症の感染対策、感染した経験
- ⑨ **かかりつけ医・かかりつけ歯科医師・かかりつけ薬剤師**  
かかりつけ医・歯科医師・薬剤師の訪問状況
- ⑩ **地域活動**  
地域活動の参加状況、地域づくりの参加意向
- ⑪ **認知症**  
認知症状の有無、認知症に関する相談窓口

- ⑫ 高齢者向けサービス状況、生活の満足度  
 高齢者向けサービスの情報源、現在の生活の満足度
- ⑬ 介護保険制度についての意見・要望等  
 自由記述

### 〔3〕 介護者

- ① 介護者の基本属性  
 本人との関係、介護者の性別・年齢、同居有無、介護者の健康状態
- ② 介護の状況  
 介護者の話し相手、介護を手助けしてくれる人の有無、本人の認知症の程度、本人に行っている介護内容、自宅での介護で毎月必要とするもの
- ③ 介護上の問題  
 介護で困っていること、虐待の有無、高齢者虐待の通報・相談先の認知状況、介護保険サービス利用による介護者の変化・満足度【利用者調査のみ】、介護者が考える介護保険サービスの利用意向【未利用者調査のみ】、自宅での介護で重要なこと
- ④ 介護離職に関する問題  
 介護者の就業状況、介護と働き方の調整、働きながら介護を続けることの意向、介護を理由に離職した家族・親族の有無、仕事と介護の両立に効果的な勤め先からの支援、現在の生活を継続していくにあたって不安に感じる介護、相談窓口の利用状況、相談窓口以外の相談相手
- ⑤ 介護保険制度についての意見・要望等  
 自由記述

## （4）回収状況

### 〔1〕 介護保険サービス利用者調査

調査対象者 (a)	回収数 (b)	集計対象外数 (c)	有効回答数 (d)=(b)-(c)	有効回答率 (e)=(d)/(a)
6,400	3,373	335	3,038	47.5%

※集計対象外数の内訳（調査票の返送があったが、下記の理由により集計対象から外したものの）

現在介護保険サービスを利用して いない	病院に 入院中	本人の意 思が確認 できない	転居	死亡	その他	計
45	71	195	4	15	5	335

【介護保険料段階】有効回答数を全体とした各段階の人数（上段）と割合（下段）

第1段階	第2段階	第3段階	第4段階	第5段階	第6段階	第7段階	第8段階	第9段階	第10段階	第11段階	第12段階	第13段階	第14段階	第15段階	無回答
524	851	386	333	244	193	190	185	54	24	14	8	5	4	18	5
17.2%	28.0%	12.7%	11.0%	8.0%	6.4%	6.3%	6.1%	1.8%	0.8%	0.5%	0.3%	0.2%	0.1%	0.6%	0.2%

## 〔2〕介護保険サービス未利用者調査

調査対象者 (a)	回収数 (b)	集計対象外数 (c)	有効回答数 (d)=(b)-(c)	有効回答率 (e)=(d)/(a)
9,300	4,758	1,375	3,383	36.4%

※集計対象外数の内訳（調査票の返送があったが、下記の理由により集計対象から外したものの）

現在介護保険サービスを利用して いる	病院に 入院中	本人の意思 が確認でき ない	転居	死亡	その他	計
702	539	40	7	81	6	1,375

【介護保険料段階】有効回答数を全体とした各段階の人数（上段）と割合（下段）

第1段階	第2段階	第3段階	第4段階	第5段階	第6段階	第7段階	第8段階	第9段階	第10段階	第11段階	第12段階	第13段階	第14段階	第15段階	無回答
242	920	457	406	329	281	246	279	95	34	21	17	6	17	26	7
7.2%	27.2%	13.5%	12.0%	9.7%	8.3%	7.3%	8.2%	2.8%	1.0%	0.6%	0.5%	0.2%	0.5%	0.8%	0.2%

## 〔3〕介護者調査

	回答数
介護保険サービス利用者調査	1,310
介護保険サービス未利用者調査	1,797

## （5）報告書の見方

- ① 回答は、各質問の回答者数（n）を基数とした百分率（%）で示し、小数点第2位を四捨五入した。（比率の合計が100.0%にならない場合がある。）
- ② 図表上の「MA%」という表記は複数回答（Multiple Answer の略）の、また、「LA%」という表記は制限つき複数回答（Limited Answer の略）の意味である。
- ③ コンピュータ入力の都合上、図表において、回答選択肢の見出しを簡略化している場合がある。
- ④ 報告書記載の「前回調査」とは、令和元年度実施の高齢者実態調査の結果を示している。
- ⑤ 介護者調査結果の[ ]内の数字は、介護保険サービス未利用者調査の問番号を示している。

# 介護保険サービス利用者調査 編



## 2 介護保険サービス利用者調査結果

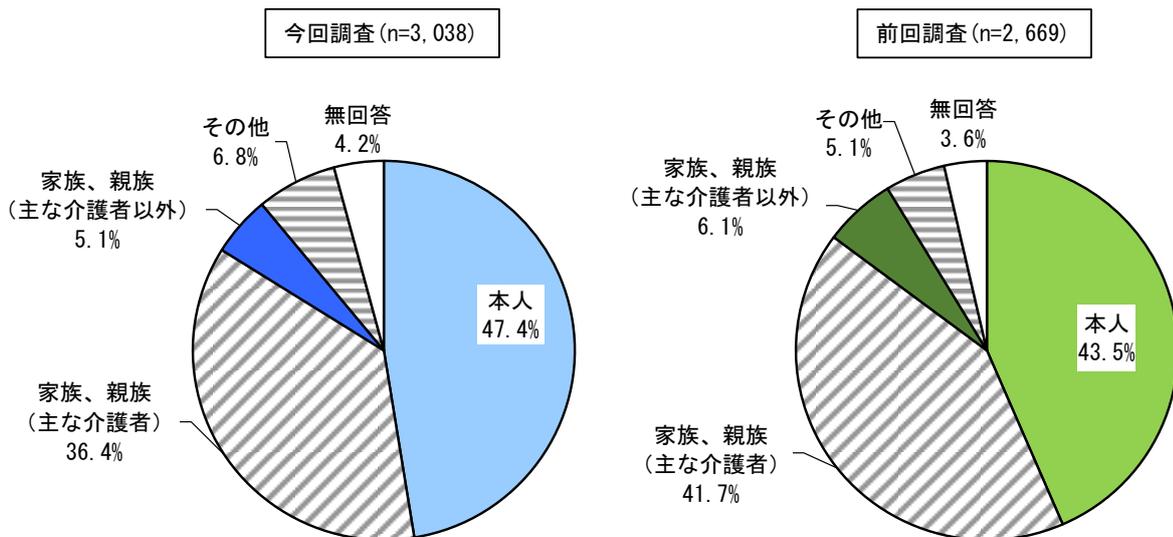
### (1) 調査回答者の基本属性

#### 問1 記入者

この調査票をご記入されるのは誰ですか。(〇はひとつ)

記入者は、「本人」が47.4%、「家族、親族（主な介護者）」が36.4%となっている。  
 前回調査と比較すると、「本人」の割合が3.9ポイント高くなっている。(図1)

【図1 記入者（経年比較）】

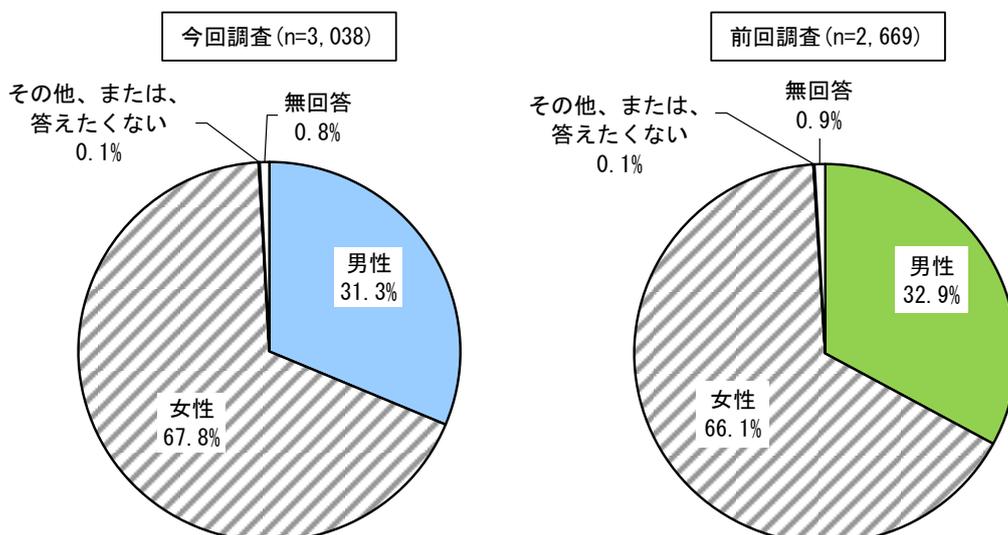


あなたの性別、年齢、居住区についておうかがいします。(それぞれ〇はひとつ)

#### 問2 (1) 本人の性別

本人の性別では、「男性」が31.3%、「女性」が67.8%となっている。  
 前回調査と比較すると、概ね前回と同様の傾向となっている。(図2(1))

【図2(1) 本人の性別（経年比較）】

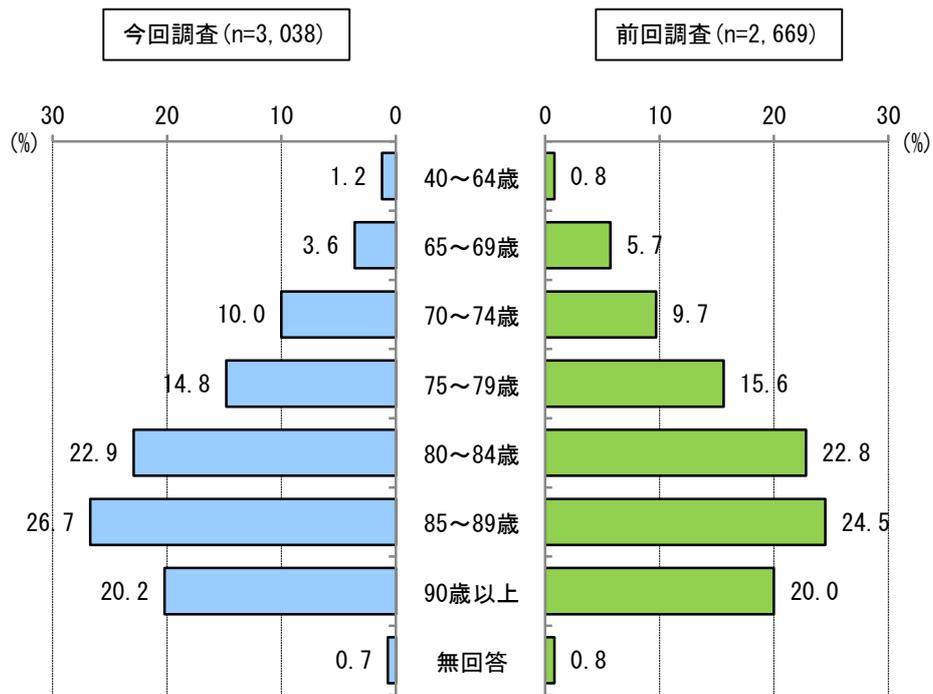


問2(2) 本人の年齢

本人の年齢では、「85～89歳」が26.7%で最も多く、次いで「80～84歳」が22.9%、「90歳以上」が20.2%となっている。

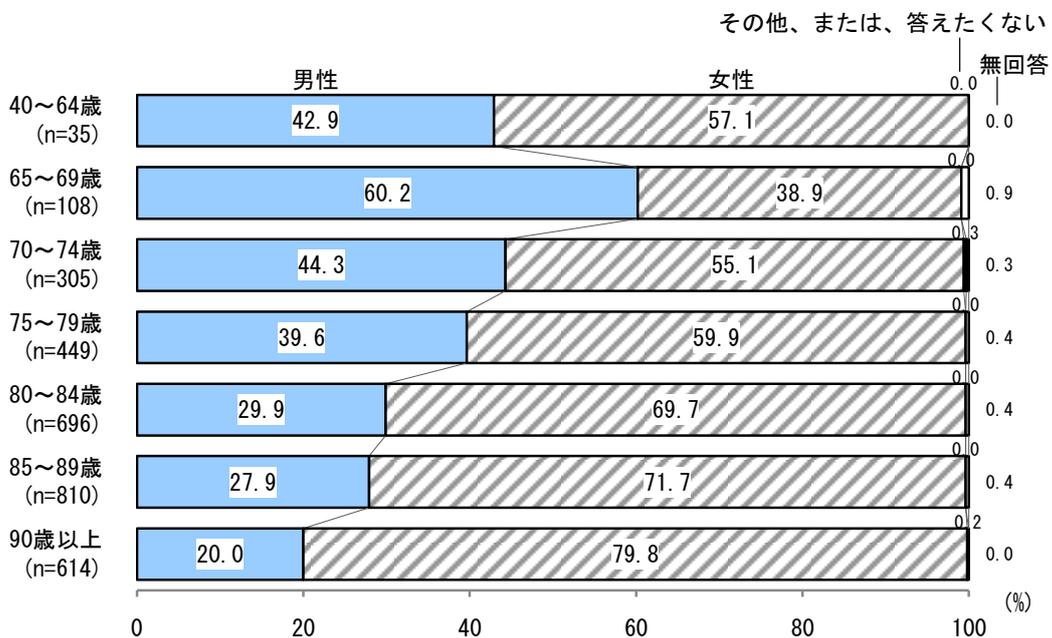
前回調査と比較すると、「85～89歳」の割合が2.2ポイント高くなっている。(図2(2))

【図2(2) 本人の年齢 (経年比較)】



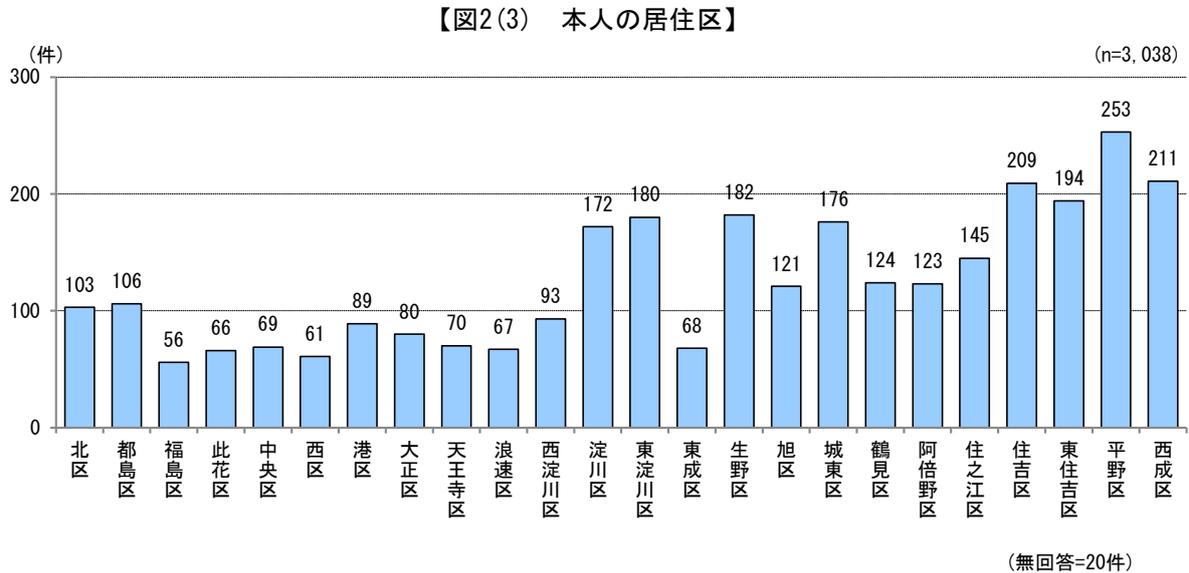
本人の性別を本人の年齢別で見ると、65～69歳の回答者は「男性」(60.2%)のほうが多く、それ以外の各年代の回答者は「女性」のほうが多くなっている。(図2(2)-a)

【図2(2)-a 本人の性別 (本人の年齢別)】



### 問2 (3) 本人の居住区

本人の居住区では、「平野区」が253件で最も多く、次いで「西成区」が211件、「住吉区」が209件となっている。(図2(3))



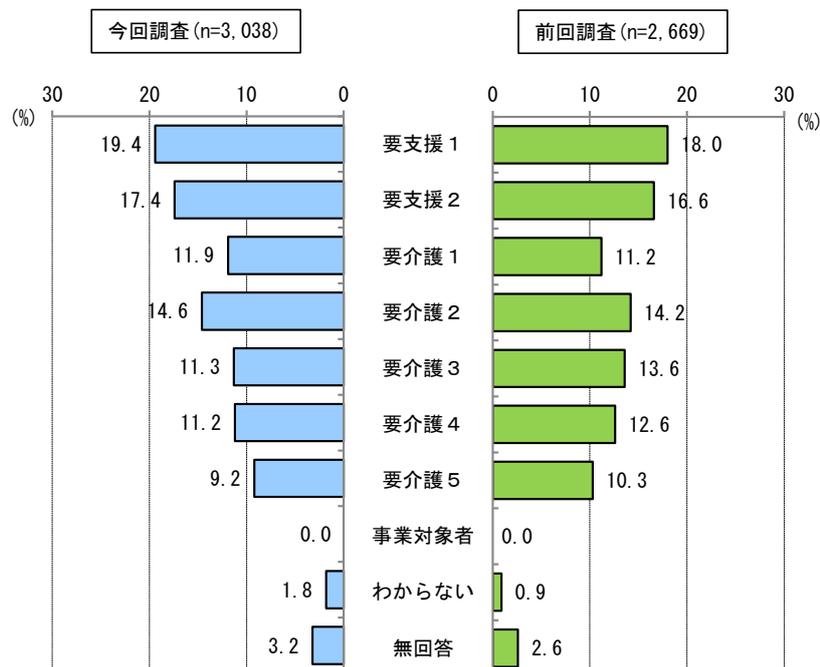
### 問3 要介護度

あなたの要介護度についておうかがいします。(○はひとつ)

要介護度では、「要支援1」が19.4%で最も多く、次いで「要支援2」が17.4%、「要介護2」が14.6%となっている。

前回調査と比較すると、「要支援1」から「要介護2」では前回調査結果を上回り、「要介護3」から「要介護5」では下回っている。(図3)

【図3 要介護度 (経年比較)】

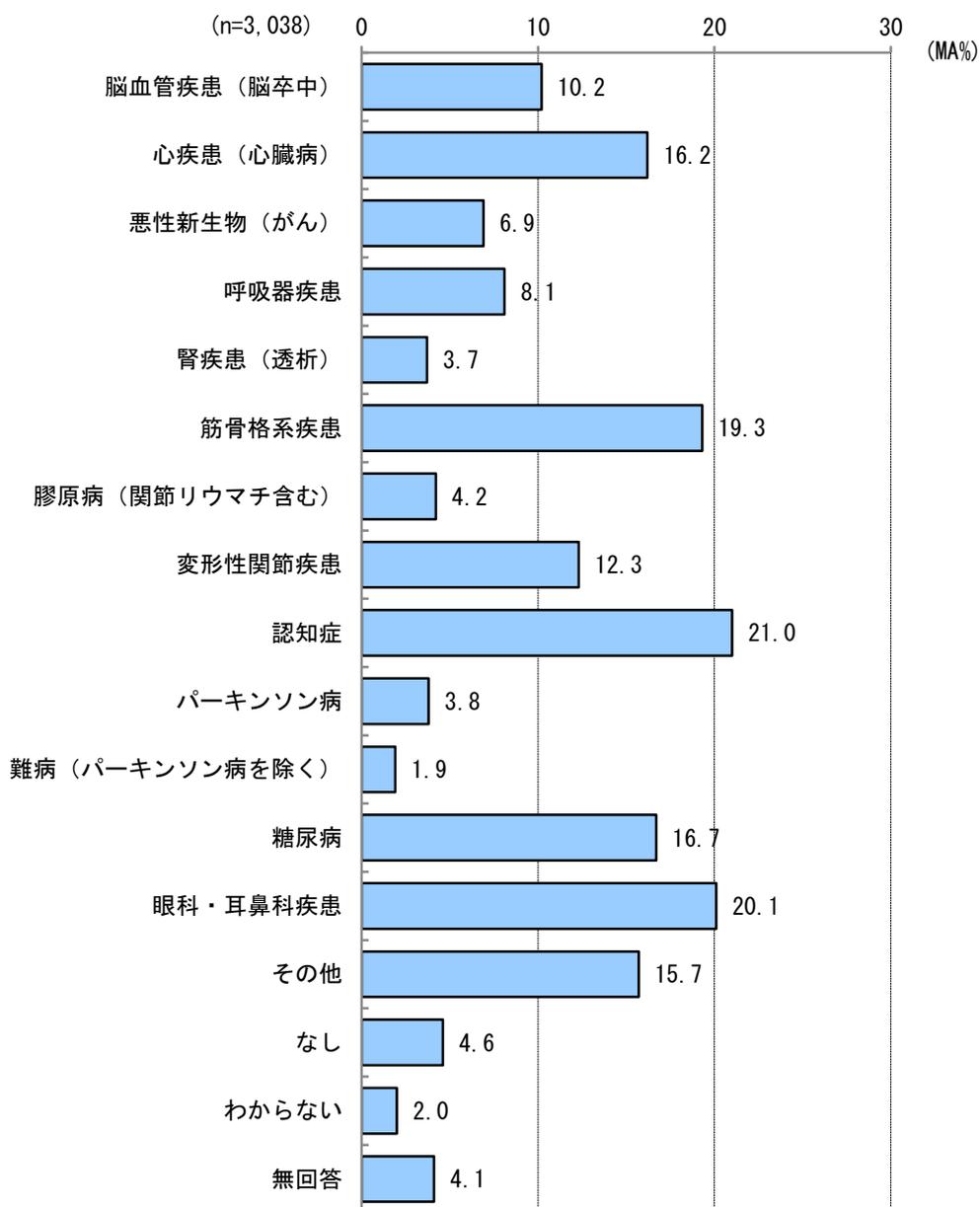


#### 問4 傷病状況

あなたが現在抱えている傷病等（完治したものは除き、経過観察中のものを含む。）について、ご回答ください。（〇はいくつでも）

現在抱えている傷病等については、「認知症」が21.0%で最も多く、次いで「眼科・耳鼻科疾患」が20.1%、「筋骨格系疾患」が19.3%となっている。（図4）

【図4 傷病状況】



(2) 世帯の状況、介護の状況

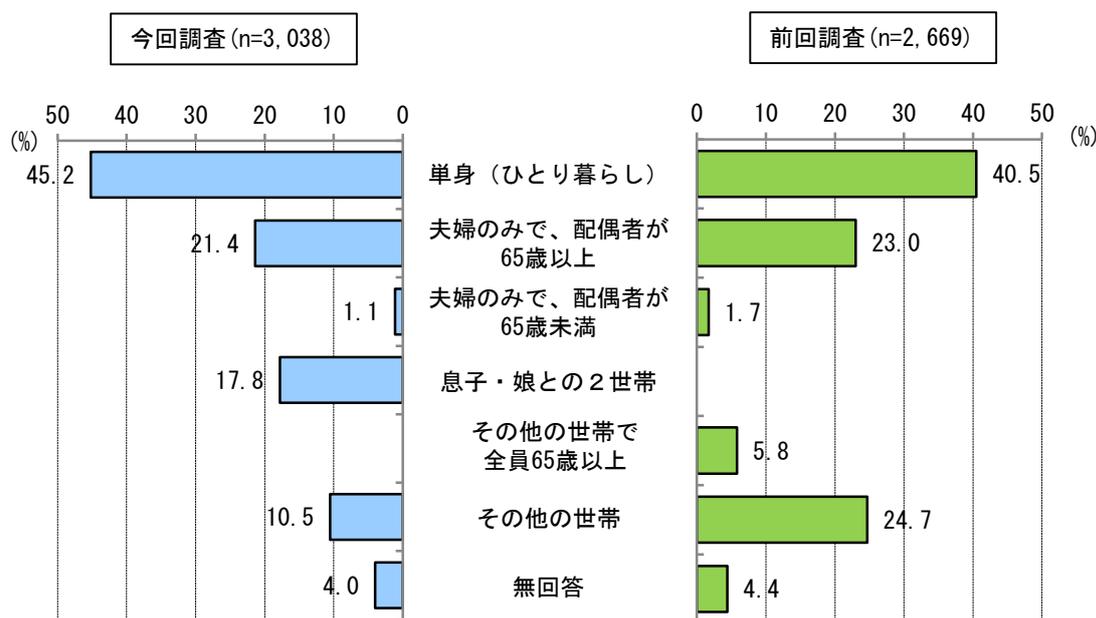
問5 世帯状況

あなたと同居されている家族の状況についておうかがいします。(○はひとつ)

世帯状況については、「単身(ひとり暮らし)」が45.2%で最も多く、次いで「夫婦のみで、配偶者が65歳以上」が21.4%、「息子・娘との2世帯」が17.8%となっている。

前回調査と比較すると、「単身(ひとり暮らし)」の割合が4.7ポイント高くなっている。(図5)

【図5 世帯状況(経年比較)】



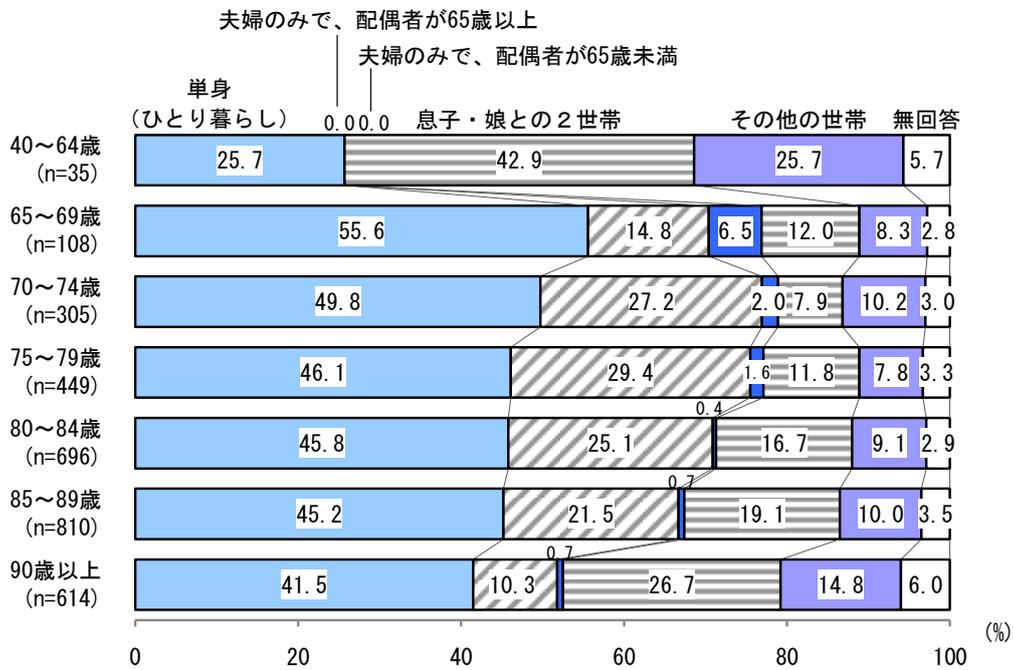
※「息子・娘との2世帯」は、今回調査の新規項目である。

※前回調査の「その他の世帯で全員65歳以上」は、今回調査では設けていない。

【介護保険サービス利用者調査】

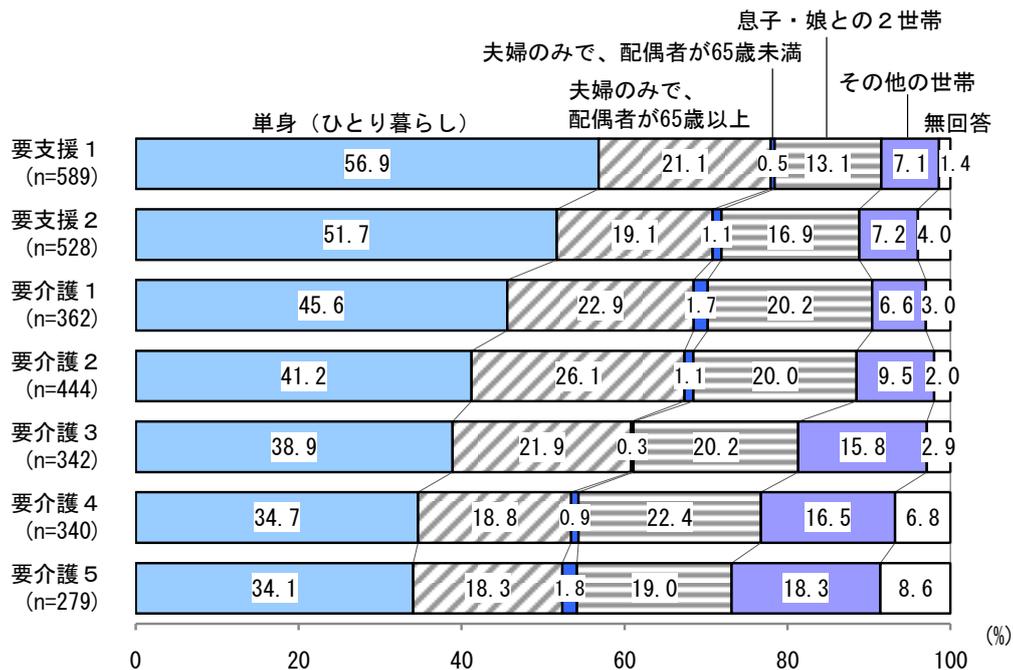
本人の年齢別で見ると、65歳以上の年代では「単身（ひとり暮らし）」が最も多くなっている。70～89歳の各年代は「夫婦のみで、配偶者が65歳以上」が多くなっている。（図5-a）

【図5-a 世帯状況（本人の年齢別）】



要介護度別で見ると、要支援1・2は「単身（ひとり暮らし）」が5割台を占めている。要介護1以上も「単身（ひとり暮らし）」が最も多いが、同居者のいる世帯が5割以上を占めている。また、「息子・娘との2世帯」は要介護1～4で2割台となっている。（図5-b）

【図5-b 世帯状況（要介護度別）】



## 問6 介護者の有無

あなたの介護をする方はいますか。(〇はひとつ)

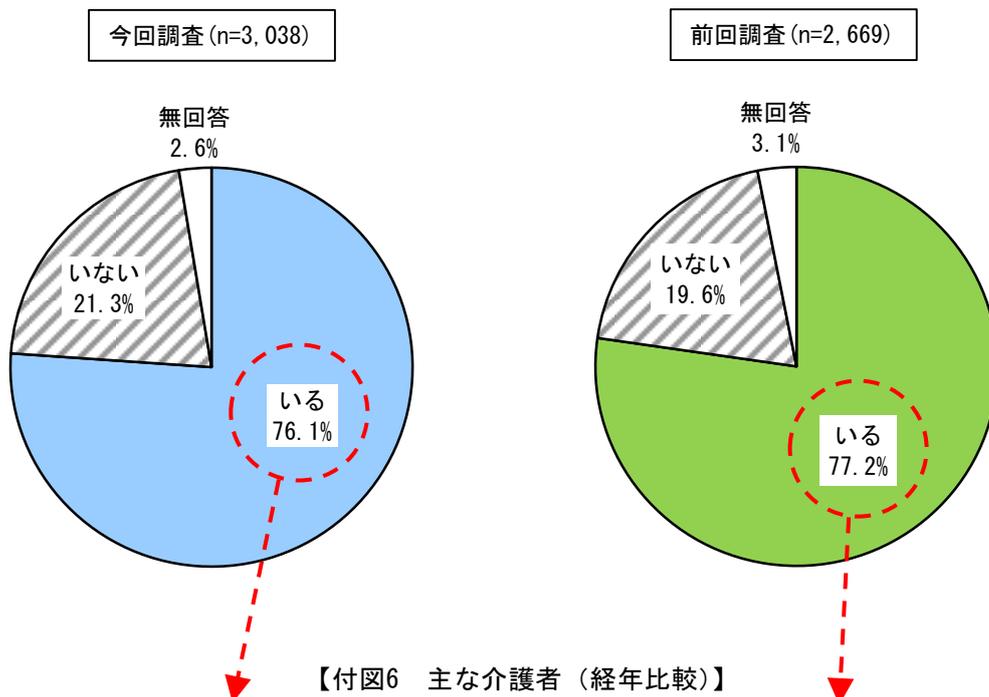
介護者が「いる」は76.1%、「いない」は21.3%となっている。

前回調査と比較すると、概ね前回と同様の傾向となっている。(図6)

介護者がいると回答した人に、主な介護者をたずねると、「主に事業者」が36.2%、「主に家族など」が56.7%となっている。

前回調査と比較すると、「主に事業者」の割合が2.2ポイント高くなっている。(付図6)

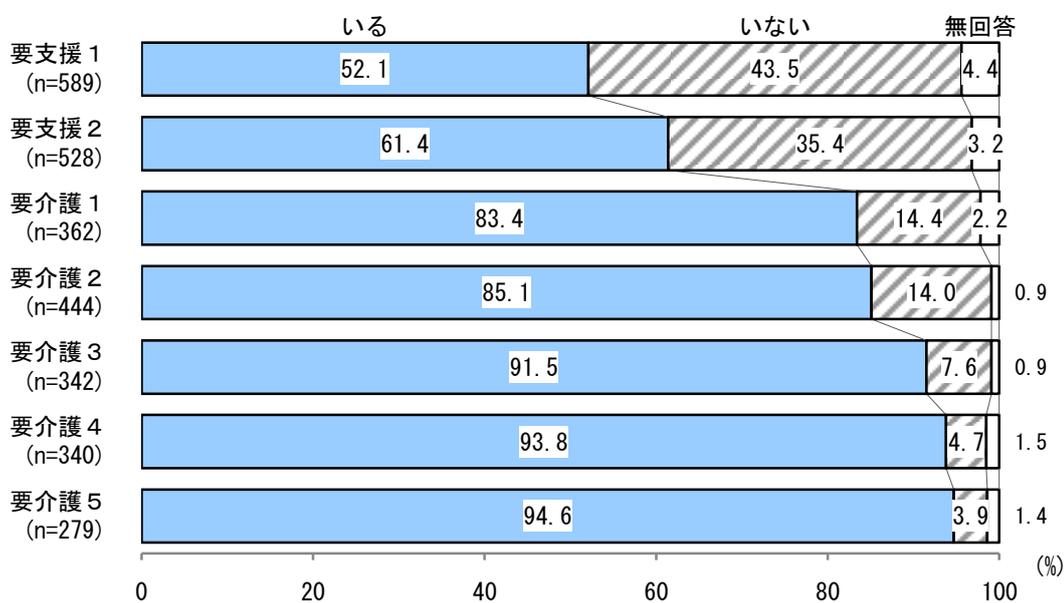
【図6 介護者の有無（経年比較）】



【介護保険サービス利用者調査】

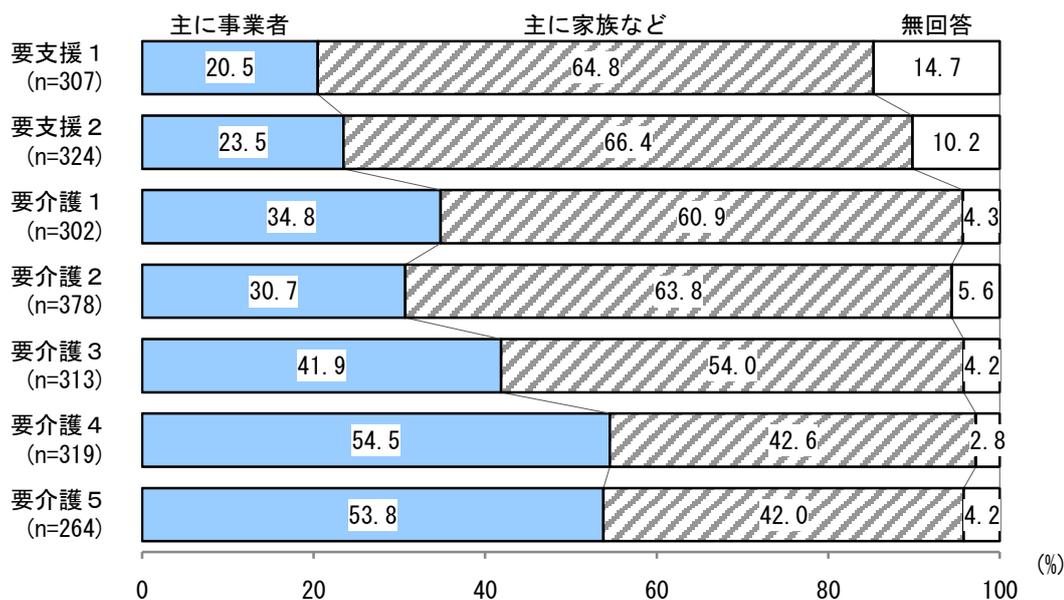
介護者の有無を要介護度別で見ると、「いる」の割合は重度になるほど高くなっている。(図6-a)

【図6-a 介護者の有無（要介護度別）】



主な介護者を要介護度別で見ると、要介護4と5は「主に事業者」が過半数を占めている。「主に家族など」は要支援1・2、要介護1・2で6割台と高い。(付図6-a)

【付図6-a 主な介護者（要介護度別）】

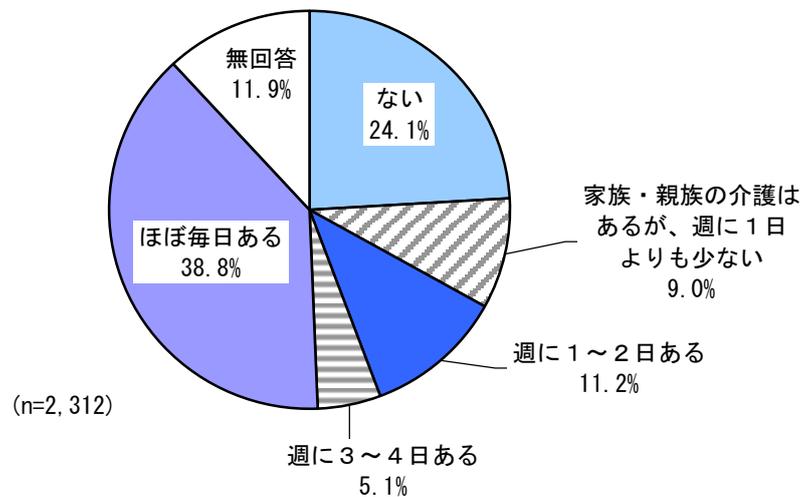


### 問6-1 家族や親族からの介護日数

問6で「1 いる」と回答された方におうかがいします。  
ご家族やご親族の方からの介護は、週にどのくらいありますか。(同居していない子供や親族等からの介護を含む) (〇はひとつ)

介護者がいると回答した人に、家族や親族からの介護の日数をたずねると、「ほぼ毎日ある」が38.8%で最も多く、次いで「ない」が24.1%、「週に1～2日ある」が11.2%となっている。(図6-1)

【図6-1 家族や親族からの介護日数】



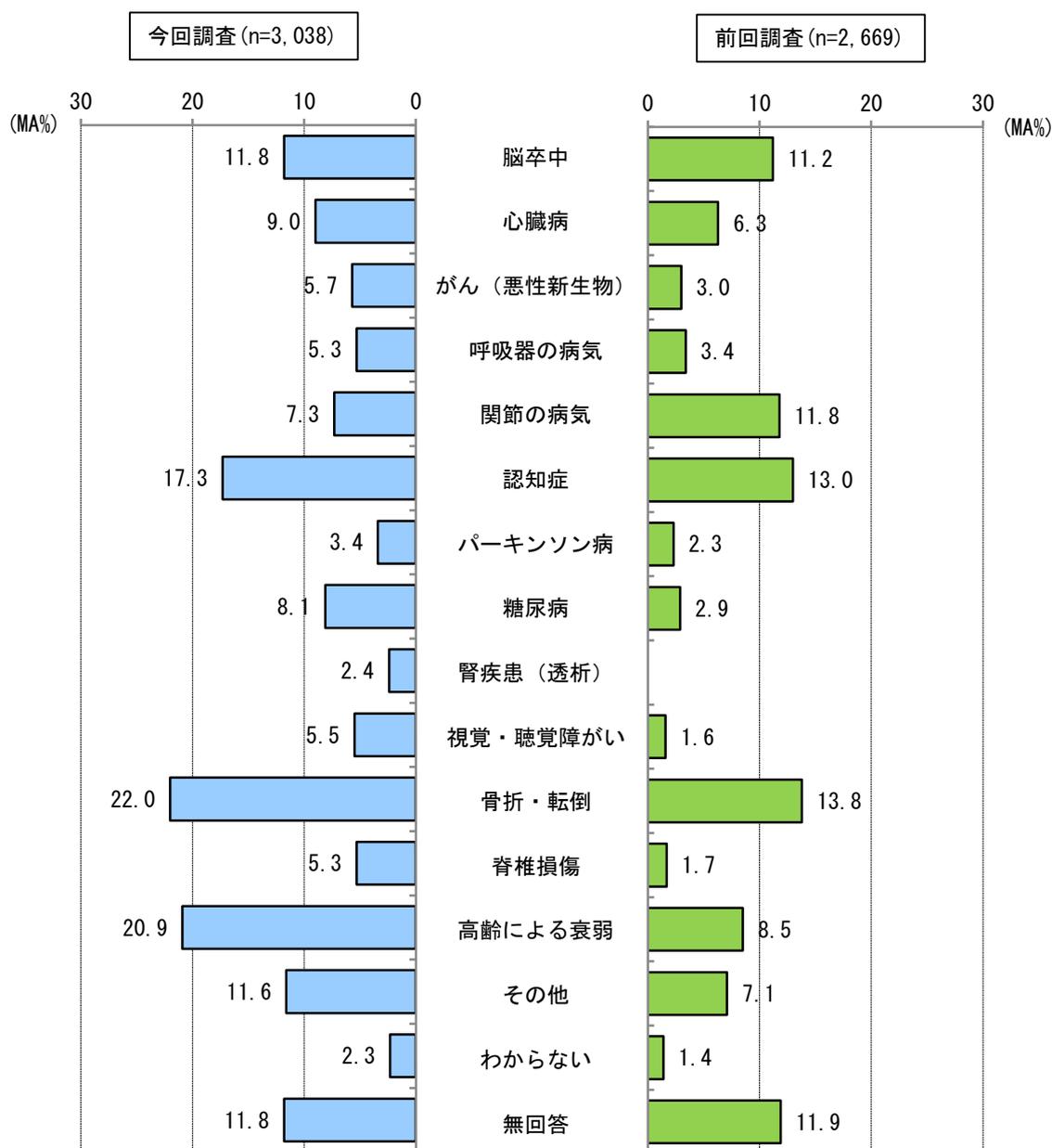
## 問7 介護・介助が必要になった原因

あなたが介護・介助が必要になった主な原因は何ですか。(〇はいくつでも)

介護・介助が必要になった主な原因については、「骨折・転倒」が22.0%で最も多く、次いで「高齢による衰弱」が20.9%、「認知症」が17.3%となっている。

前回調査と比較すると、「骨折・転倒」の割合が8.2ポイント、「高齢による衰弱」が12.4ポイント高くなっている。(図7)

【図7 介護・介助が必要になった原因（経年比較）】

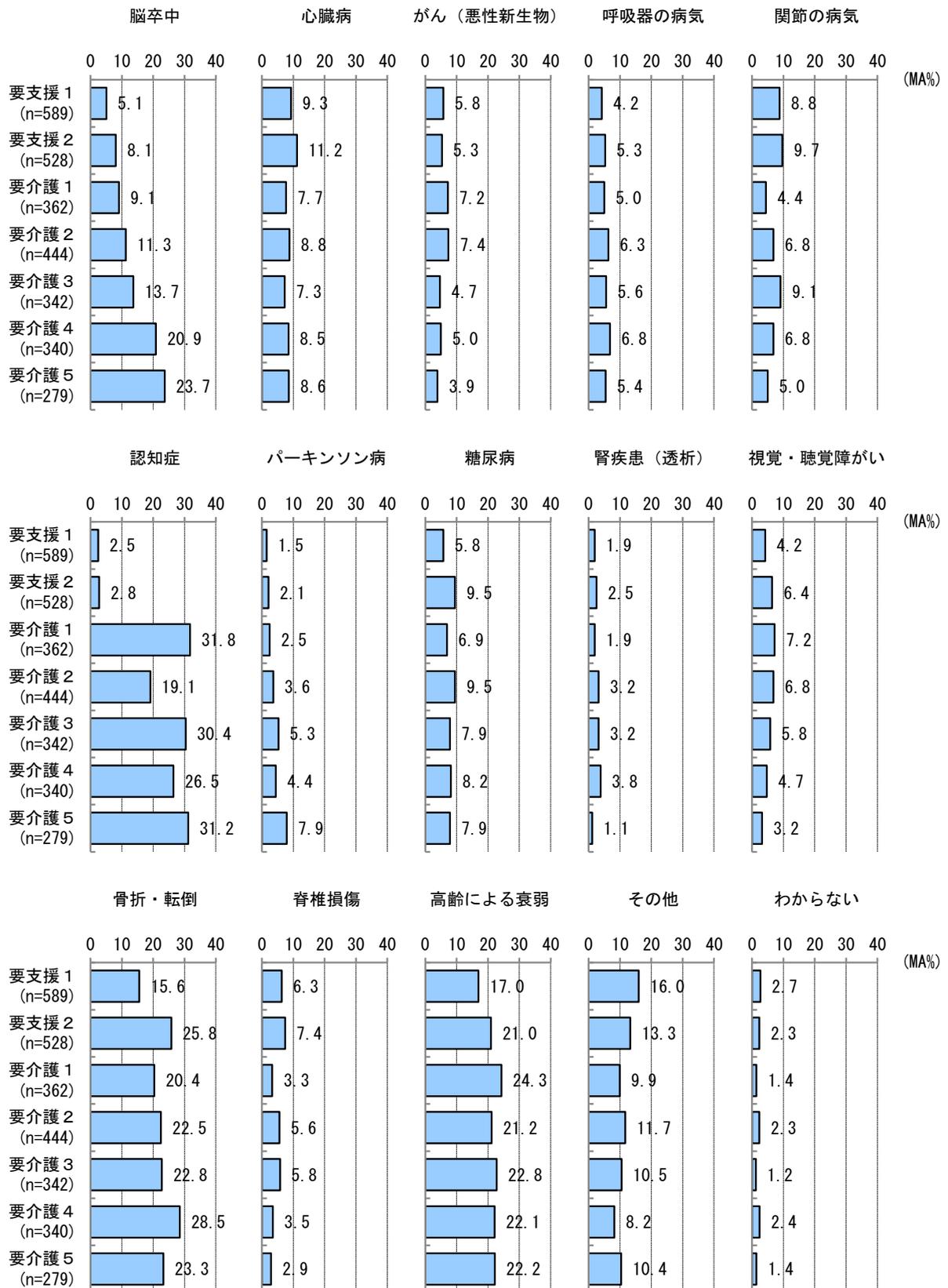


※前回調査では「介護認定を受けた主な原因や病気」を問う質問であった。  
 ※「腎疾患（透析）」は、今回調査の新規項目である。

【介護保険サービス利用者調査】

要介護度別で見ると、要支援1は「高齢による衰弱」、要介護1・3・5は「認知症」、要支援2・要介護2・4では「骨折・転倒」が最も多くなっている。(図7-a)

【図7-a 介護・介助が必要になった原因（要介護度別）】



### (3) 要介護認定

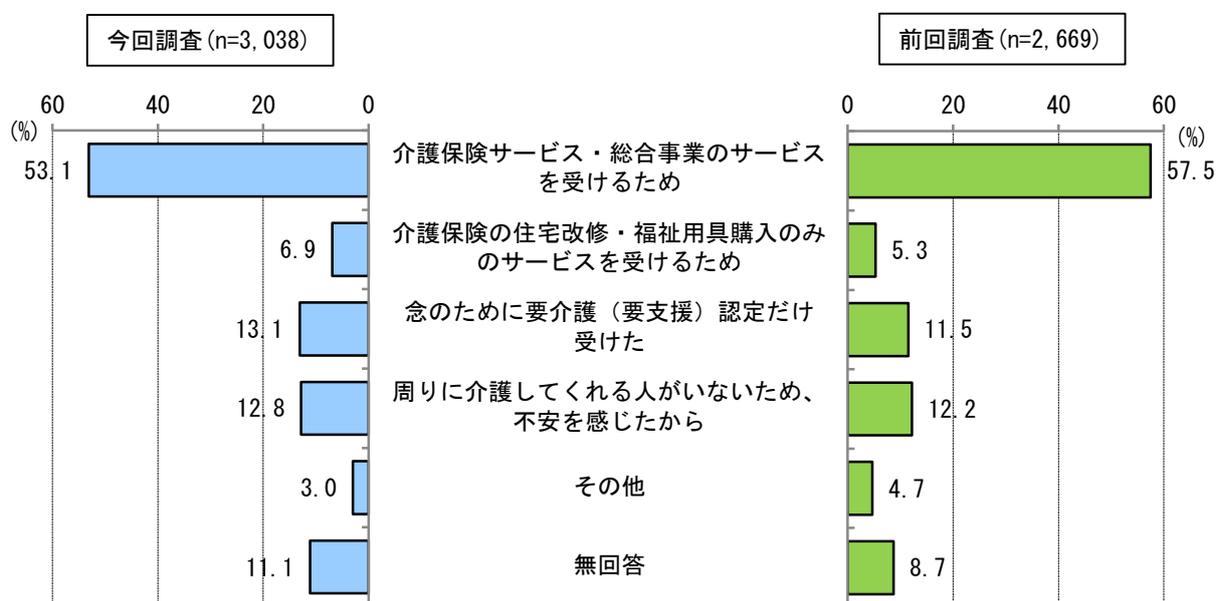
#### 問8 初めて要介護認定を受けた時の目的

あなたが、初めて要介護認定を受けた時の目的は何ですか。(〇はひとつ)

初めて要介護認定を受けた時の目的については、「介護保険サービス・総合事業のサービスを受けるため」が53.1%で最も多く、次いで「念のために要介護（要支援）認定だけ受けた」が13.1%、「周りに介護してくれる人がいないため、不安を感じたから」が12.8%となっている。

前回調査と比較すると、「周りに介護してくれる人がいないため、不安を感じたから」よりも「念のために要介護（要支援）認定だけ受けた」の割合が高くなっている。(図8)

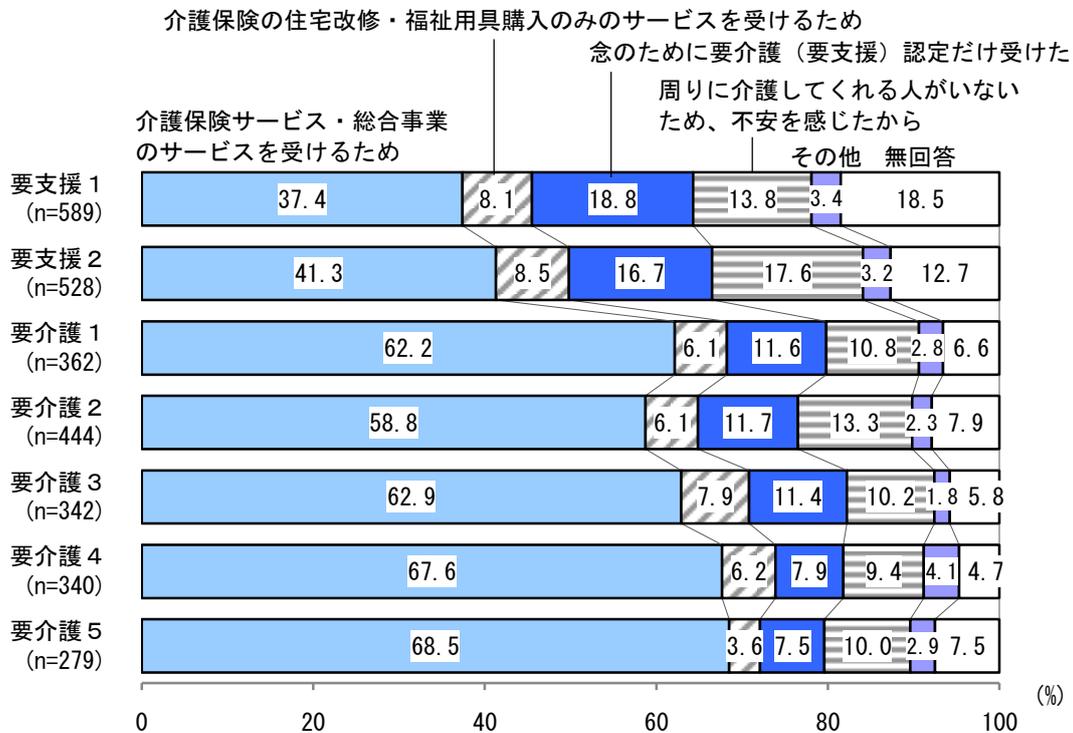
【図8 初めて要介護認定を受けた時の目的（経年比較）】



【介護保険サービス利用者調査】

要介護度別で見ると、要介護度にかかわらず「介護保険サービス・総合事業サービスを受けるため」が最も多くなっており、要介護1～5では過半数を占め、概ね、重度になるほど割合が高くなっている。(図8-a)

【図8-a 初めて要介護認定を受けた時の目的（要介護度別）】



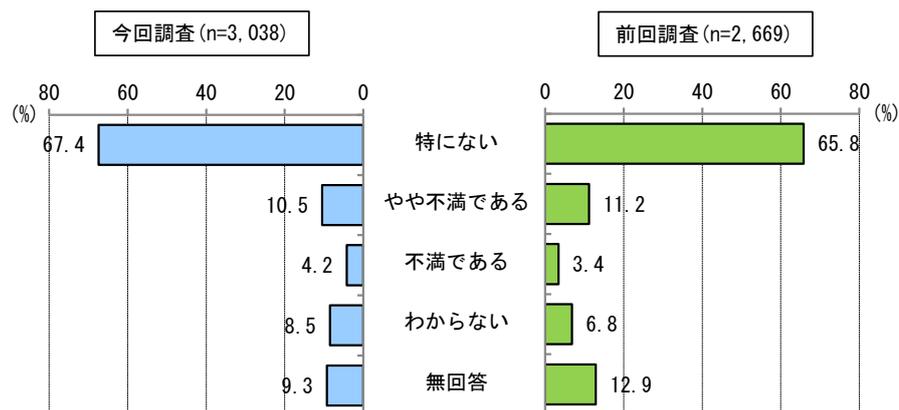
## 問9 直近の要介護認定で不満の有無

直近の要介護認定において、何かご不満な点はありましたか。(〇はひとつ)

直近の要介護認定で不満があったかについては、「特にない」が67.4%で最も多く、次いで「やや不満である」が10.5%となっている。

前回調査と比較すると、「特にない」の割合が1.6ポイント高くなっている。(図9)

【図9 直近の要介護認定で不満の有無 (経年比較)】



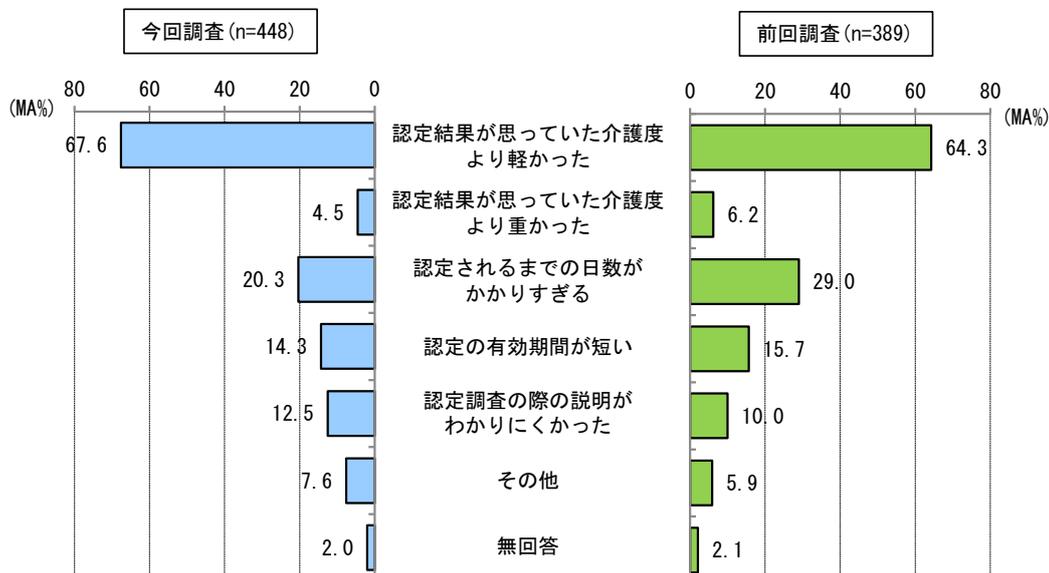
### 問9-1 要介護認定に不満がある理由

問9で「2 やや不満である」「3 不満である」と回答された方におうかがいします。その理由についてお答えください。(〇はいくつでも)

要介護認定に不満があると回答した人に、その理由をたずねると、「認定結果が思っていた介護度より軽かった」が67.6%で最も多く、次いで「認定されるまでの日数がかかりすぎる」が20.3%、「認定の有効期間が短い」が14.3%となっている。

前回調査と比較すると、「認定されるまでの日数がかかりすぎる」の割合が8.7ポイント低くなっている。(図9-1)

【図9-1 要介護認定に不満がある理由 (経年比較)】



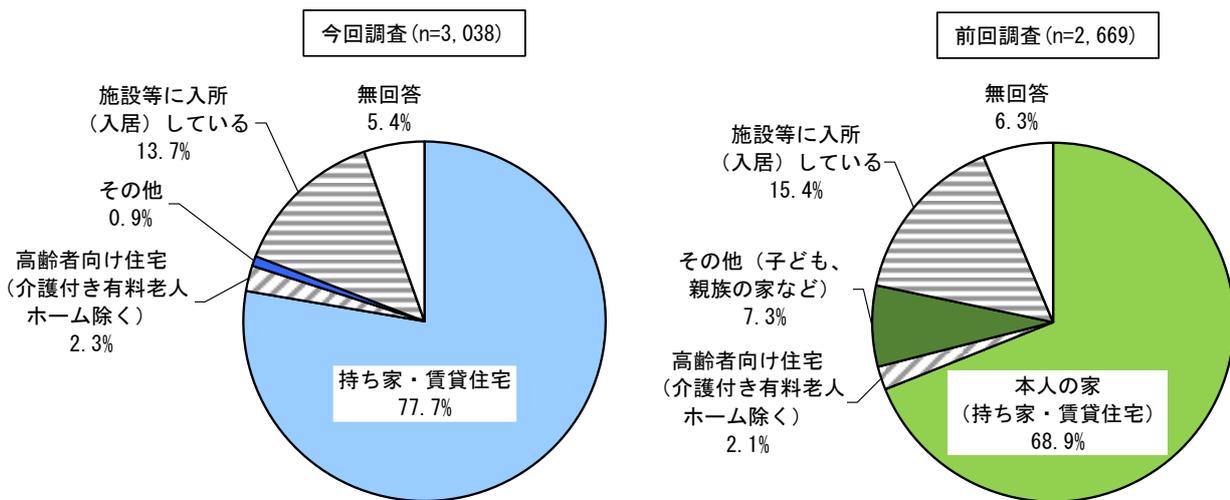
(4) 介護保険サービスの利用状況と利用に対する考え

問10 現在の住まい

あなたの現在のお住まいについて、お答えください。(○はひとつ)

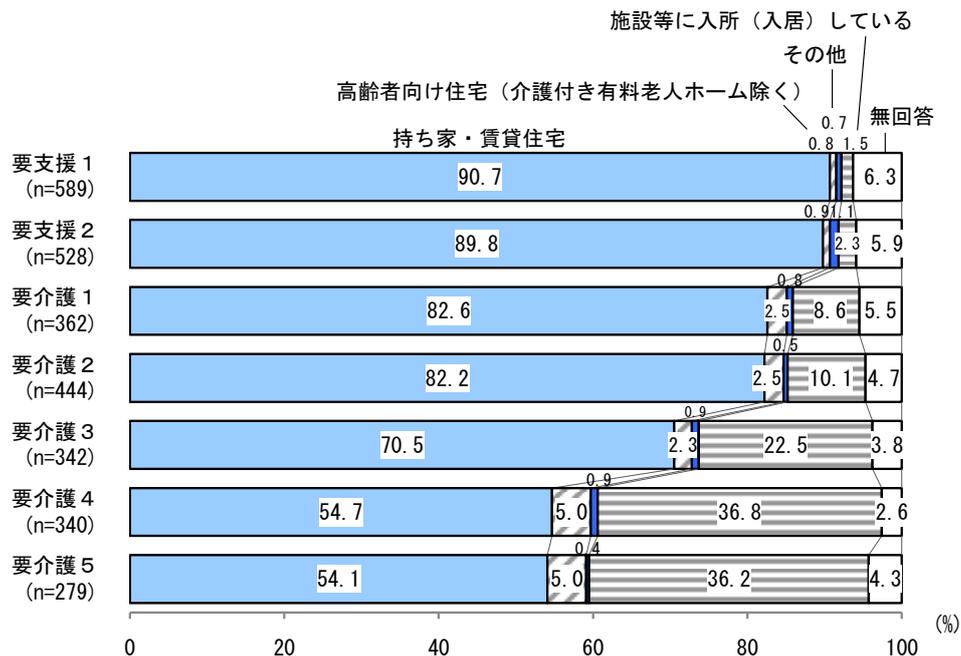
現在の住まいについては、「持ち家・賃貸住宅」が77.7%で最も多く、次いで「施設等に入所(入居)している」が13.7%、「高齢者向け住宅(介護付き有料老人ホーム除く)」が2.3%となっている。(図10)

【図10 現在の住まい(経年比較)】



要介護度別でみると、要介護度にかかわらず「持ち家・賃貸住宅」が最も多く、要支援1・2は9割前後、要介護1・2は8割台となっている。要介護4・5では「施設等に入所(入居)している」が36%台と高くなっている。(図10-a)

【図10-a 現在の住まい(要介護度別)】



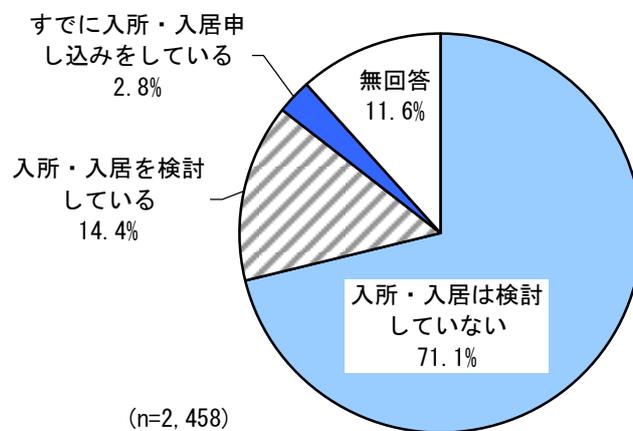
### 問10-1 施設等の入所（入居）の検討状況

問10で「1 持ち家・賃貸住宅」「2 高齢者向け住宅」「3 その他」と回答された方におうかがいします。

現時点での、施設等への入所・入居の検討状況について、ご回答ください。（○はひとつ）

現在の住まいが施設以外と回答した人の施設等への入所・入居の検討状況は、「入所・入居は検討していない」が71.1%で最も多く、次いで「入所・入居を検討している」が14.4%、「すでに入所・入居申し込みをしている」が2.8%となっている。（図10-1）

【図10-1 施設等の入所（入居）の検討状況】



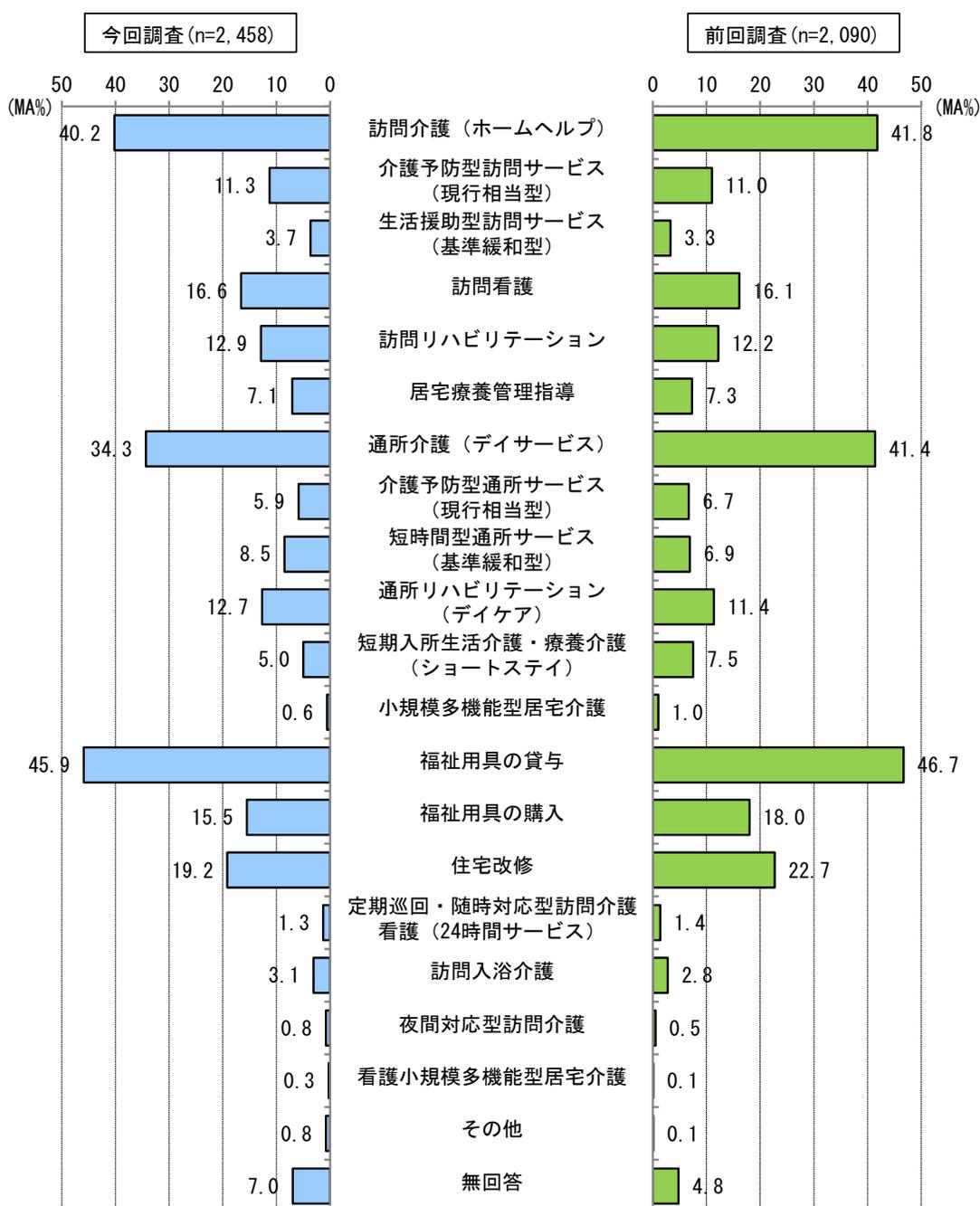
## 問10-2 利用している介護保険サービス及び介護予防サービス

あなたが現在利用している介護保険サービス及び介護予防サービスについてあてはまる番号すべてに○をつけてください。(○はいくつでも)

現在利用している介護保険サービス及び介護予防サービスについては、「福祉用具の貸与」が45.9%で最も多く、次いで「訪問介護（ホームヘルプ）」が40.2%、「通所介護（デイサービス）」が34.3%となっている。

前回調査と比較すると、「通所介護（デイサービス）」の割合が7.1ポイント低くなっている。  
(図10-2)

【図10-2 利用している介護保険サービス及び介護予防サービス（経年比較）】

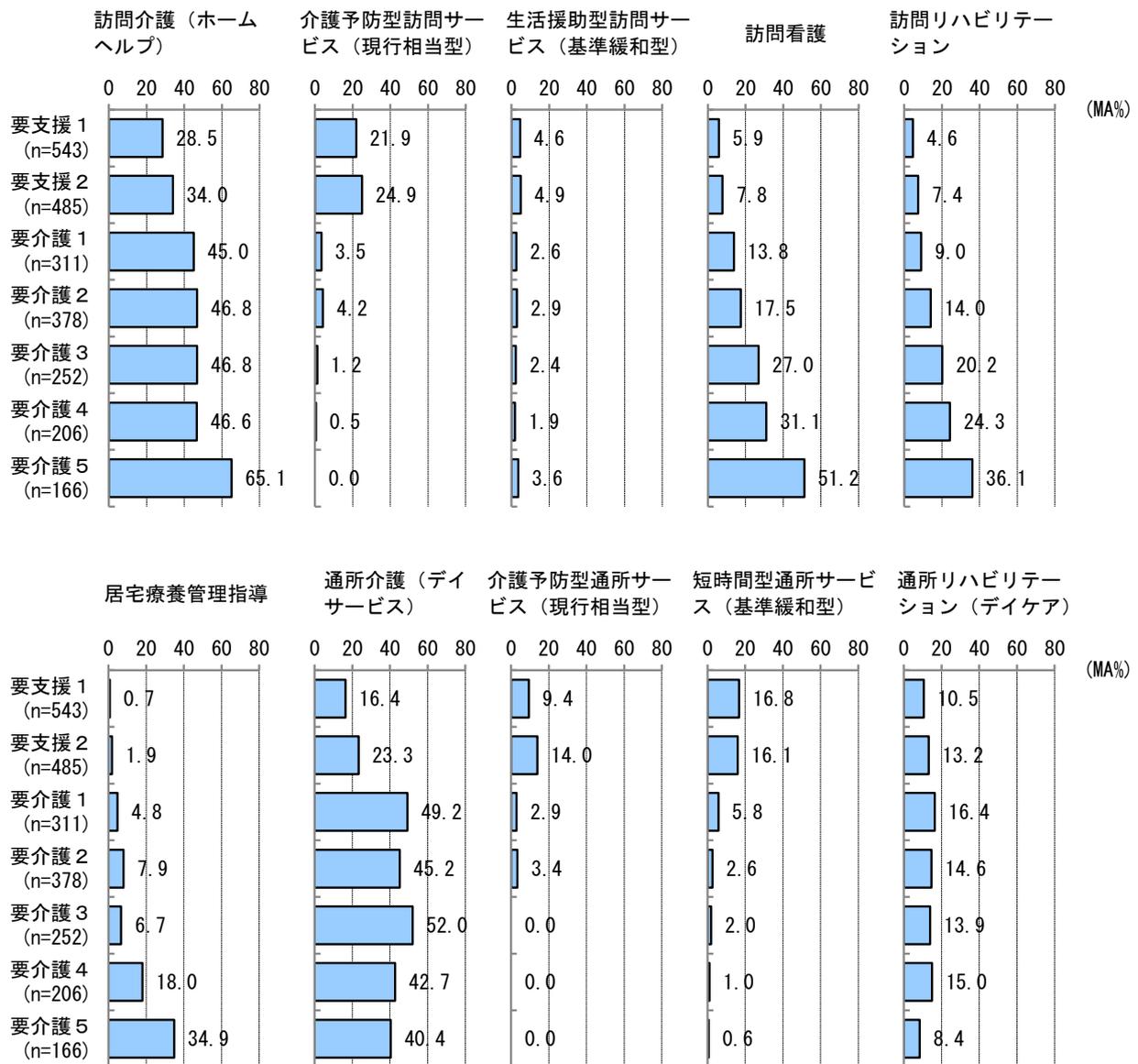


【介護保険サービス利用者調査】

要介護度別で見ると、要支援Ⅰは「訪問介護（ホームヘルプ）」が28.5%、要介護Ⅰは「通所介護（デイサービス）」が49.2%で、それぞれ最も多くなっている。それ以外の要介護度では「福祉用具の貸与」が最も多くなっている。

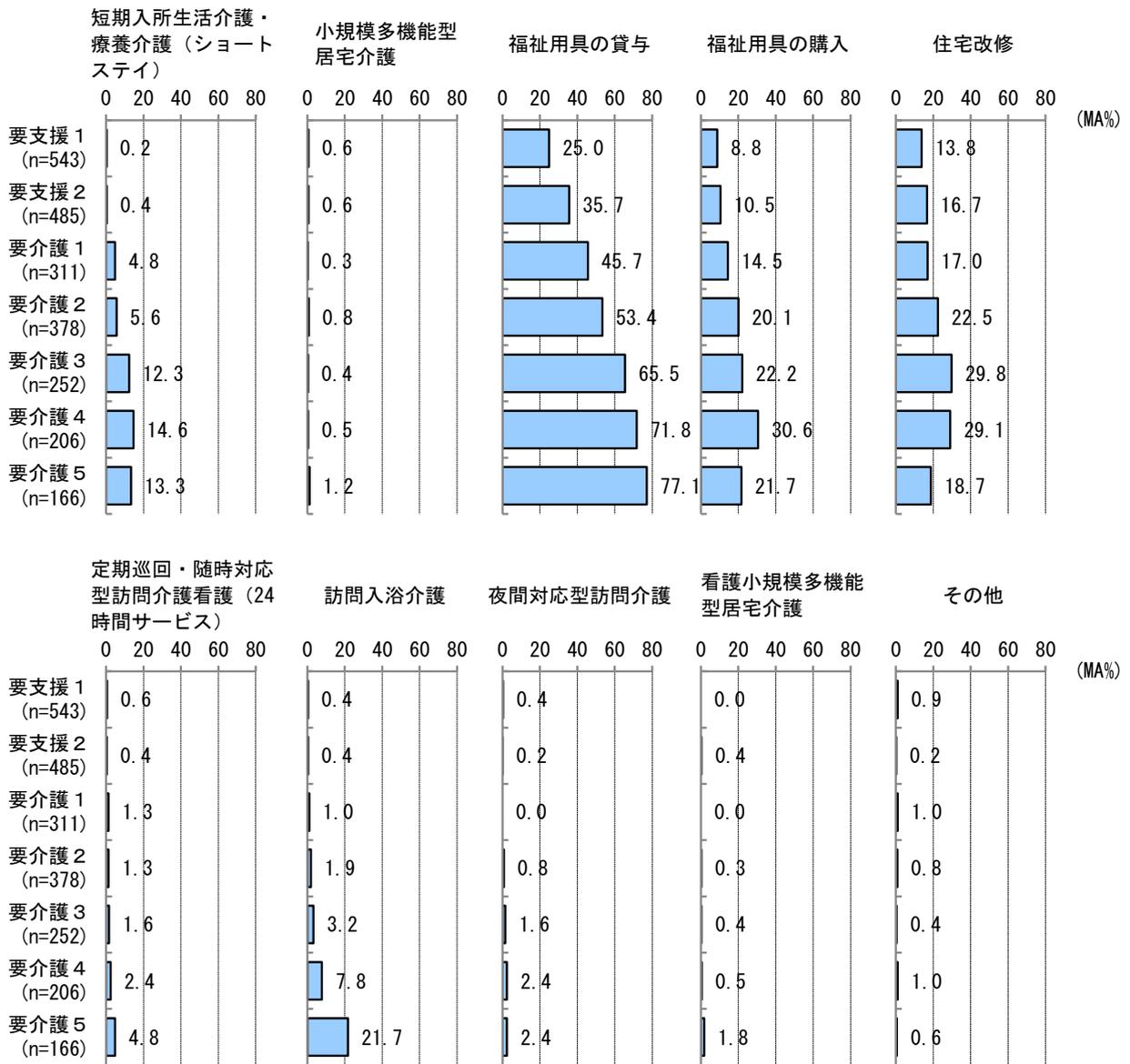
また、重度になるほど「訪問看護」「訪問リハビリテーション」「居宅療養管理指導」「短期入所生活介護・療養介護（ショートステイ）」「福祉用具の貸与」「定期巡回・随時対応型訪問介護看護（24時間サービス）」「訪問入浴介護」の割合は高くなっている。（図10-2-a）

【図10-2-a 利用している介護保険サービス及び介護予防サービス①】



【介護保険サービス利用者調査】

【図10-2-a 利用している介護保険サービス及び介護予防サービス②】

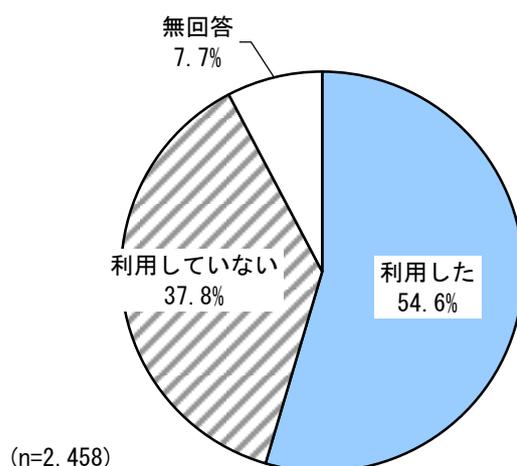


### 問10-3 令和4年8月の介護保険サービス及び介護予防サービスの利用状況

令和4年8月の1か月の間に、（住宅改修、福祉用具貸与・購入以外の）介護保険サービス及び介護予防サービスを利用しましたか。（○はひとつ）

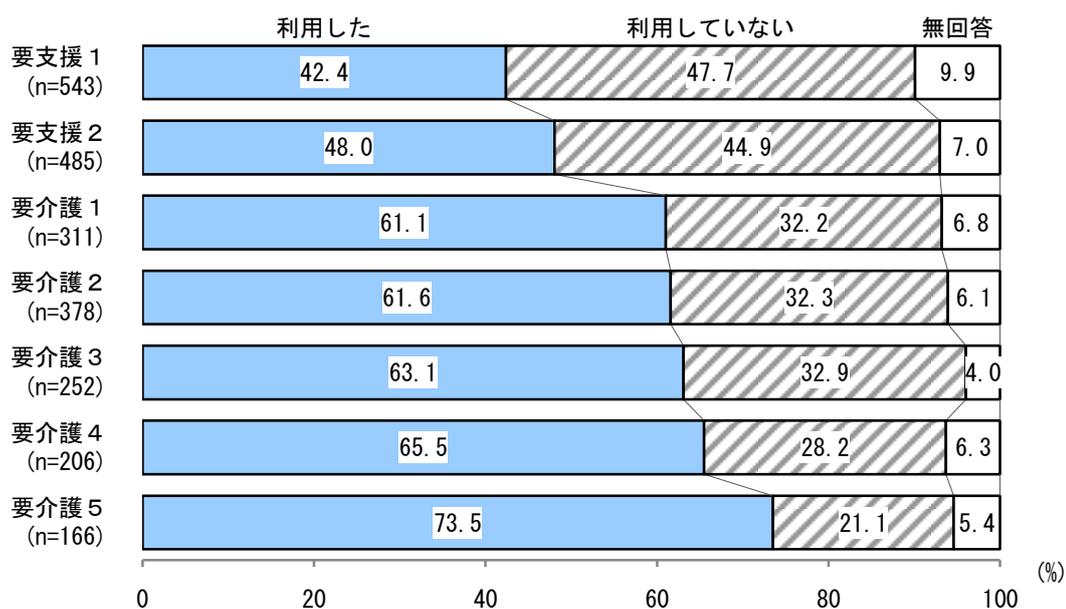
令和4年8月の1か月の間に介護保険サービス及び介護予防サービスの利用状況については、「利用した」が54.6%で、「利用していない」が37.8%となっている。（図10-3）

【図10-3 令和4年8月の介護保険サービス及び介護予防サービスの利用状況】



要介護度別で見ると、要支援2以上では「利用していない」より「利用した」のほうが多くなっており、介護度が高くなるほど割合が高くなっている。（図10-3-a）

【図10-3-a 令和4年8月の介護保険サービス及び介護予防サービスの利用状況（要介護度別）】



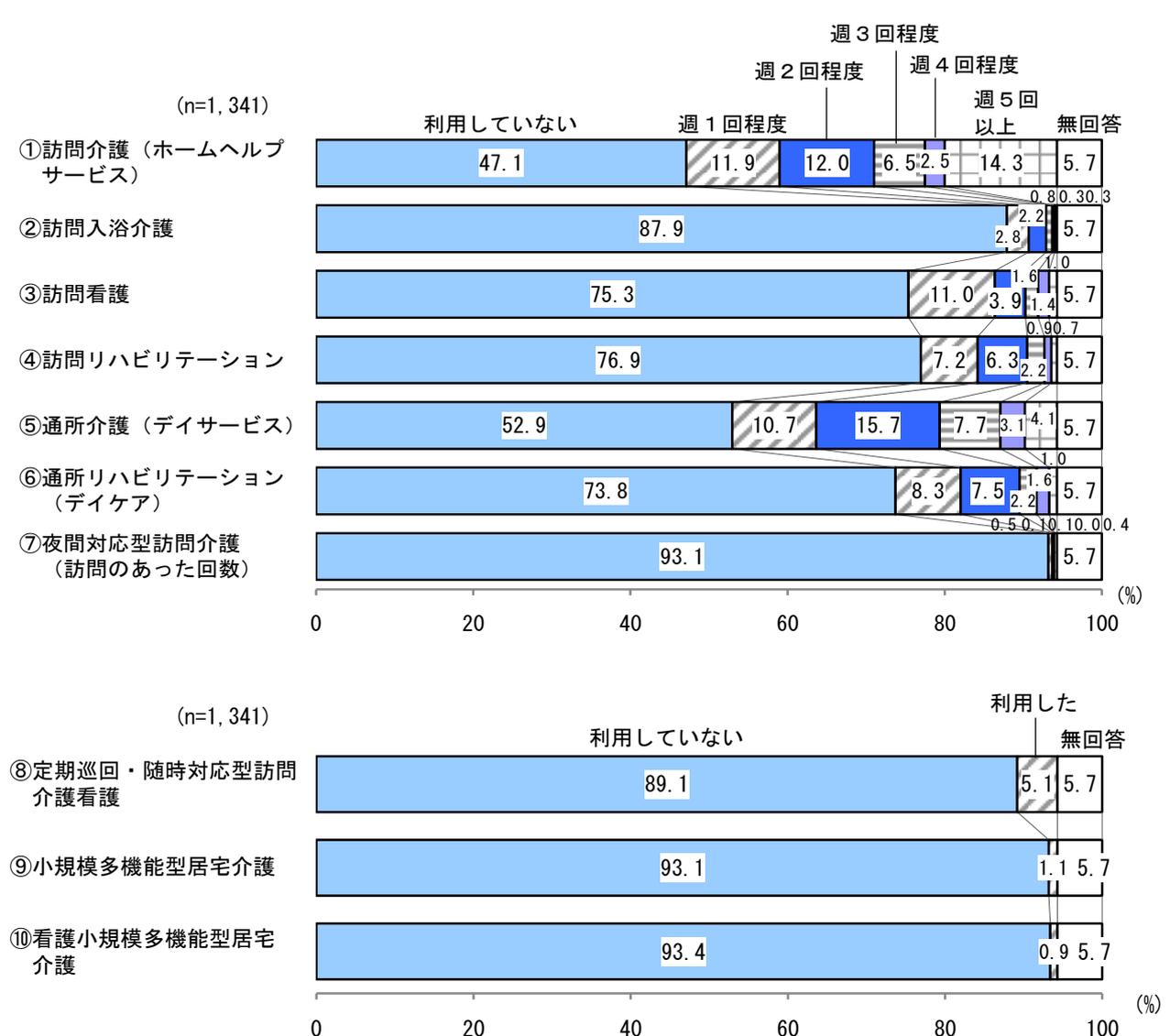
### 問10-4 介護保険サービス及び介護予防サービスの利用状況

問10-3で「1 利用した」と回答された方におうかがいします。  
 以下の介護保険サービス及び介護予防サービスについて、令和4年8月の1か月間の利用状況をご回答ください。  
 対象の介護保険サービス及び介護予防サービスをご利用になっていない場合は、「利用していない（0回）」および「1 利用していない」を選択してください。（それぞれ〇はひとつ）

令和4年8月の1か月の間に介護保険サービス及び介護予防サービスを利用したと回答した人に、そのサービスの利用状況についてたずねた。

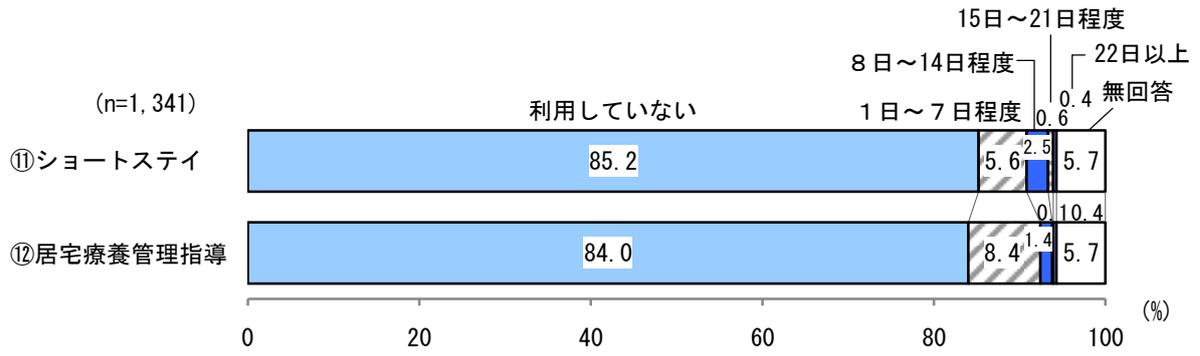
週1回以上利用しているサービスでは“①訪問介護（ホームヘルプサービス）”が47.2%で最も多く、次いで“⑤通所介護（デイサービス）”が41.3%となっている。（図10-4）

【図10-4 介護保険サービス及び介護予防サービスの利用状況①】



【介護保険サービス利用者調査】

【図10-4 介護保険サービス及び介護予防サービスの利用状況②】



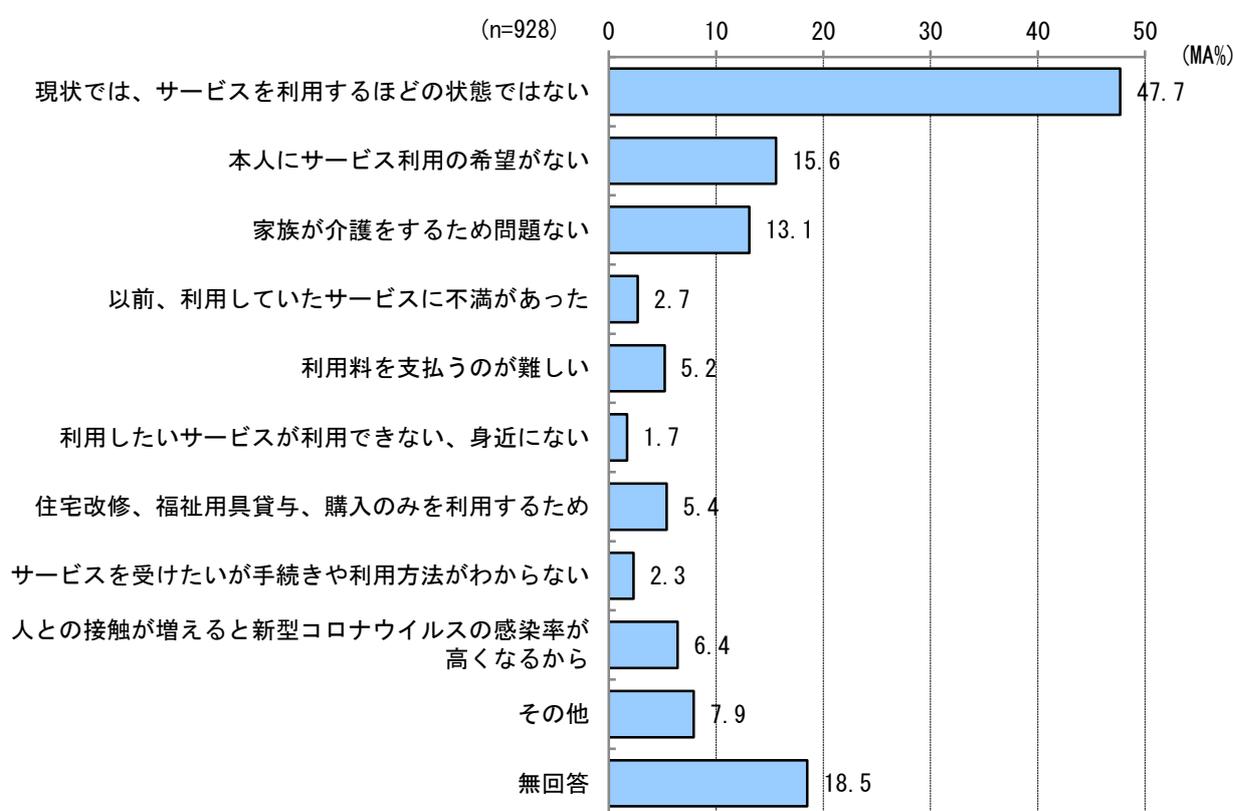
### 問10-5 介護保険サービス及び介護予防サービスを利用していない理由

問10-3で「2 利用していない」と回答された方におうかがいします。

あなたが（住宅改修、福祉用具貸与・購入以外の）介護保険サービス及び介護予防サービスを利用していない理由は何ですか。（〇はいくつでも）

介護保険サービス及び介護予防サービスを利用していないと回答した人に、その理由をたずねると、「現状では、サービスを利用するほどの状態ではない」が47.7%で最も多く、次いで「本人にサービス利用の希望がない」が15.6%、「家族が介護をするため問題ない」が13.1%となっている。（図10-5）

【図10-5 介護保険サービス及び介護予防サービスを利用していない理由】

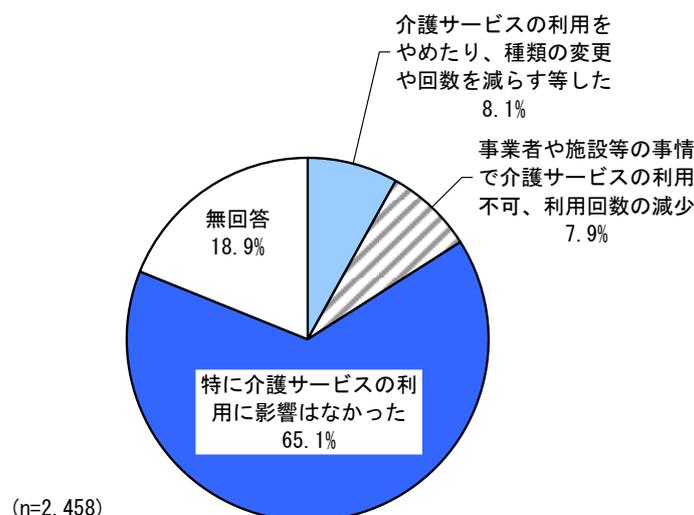


### 問11 新型コロナウイルス感染症拡大の影響による介護サービス利用の変化

新型コロナウイルス感染症拡大の影響で介護サービスの利用に変化はありましたか。(〇はひとつ)

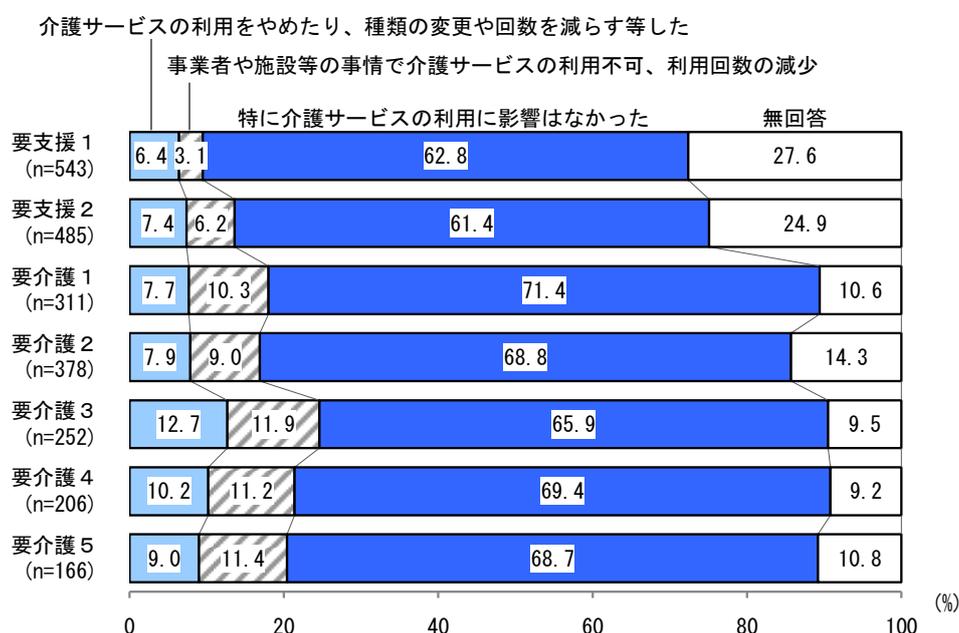
新型コロナウイルス感染症拡大の影響による介護サービス利用の変化については、「特に介護サービスの利用に影響はなかった」が65.1%で最も多く、次いで「介護サービスの利用をやめたり、種類の変更や回数を減らす等した」が8.1%、「事業者や施設等の事情で介護サービスの利用不可、利用回数の減少」が7.9%となっている。(図11)

【図11 新型コロナウイルス感染症拡大の影響による介護サービス利用の変化】



要介護度別でみると、「介護サービスの利用をやめたり、種類の変更や回数を減らす等した」、「事業者や施設等の事情で介護サービスの利用不可、利用回数の減少」の割合はいずれも要介護3が最も高くなっている。(図11-a)

【図11-a 新型コロナウイルス感染症拡大の影響による介護サービス利用の変化（要介護度別）】



### 問11-1 新型コロナウイルス感染症拡大の影響により利用をやめた、もしくは回数を減らした介護サービス

問11で「1 介護サービスの利用をやめたり、種類の変更や回数を減らすなどした」「2 事業者や施設等の事情により、介護サービスが利用できなくなったり、利用できる回数が減った」と回答された方におうかがいします。

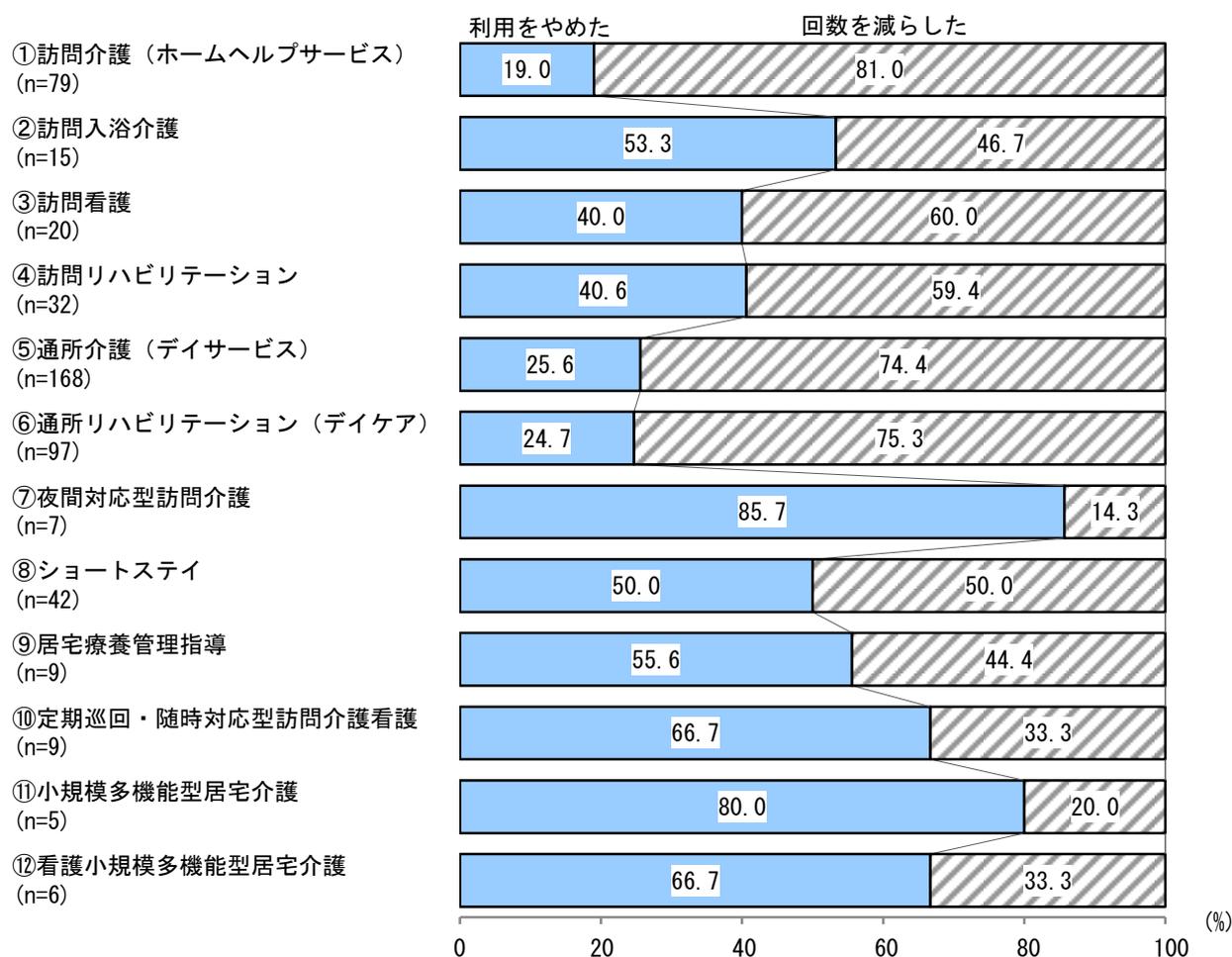
新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響により利用をやめた、もしくは、回数を減らした介護サービスの種類をお答えください。

新型コロナウイルス感染症拡大の影響による介護サービスの利用に変化があったと回答した人に、利用をやめた、もしくは回数を減らしたサービスの種類をたずねた。

「利用をやめた」サービスは“⑦夜間対応型訪問介護”が85.7%（6件）が最も高く、次いで“⑪小規模多機能型居宅介護”が80.0%（4件）となっている。

「回数を減らした」サービスは“①訪問介護（ホームヘルプサービス）”が81.0%（64件）で最も高く、次いで“⑥通所リハビリテーション（デイケア）”が75.3%（73件）となっている。（図11-1）

【図11-1 新型コロナウイルス感染症拡大の影響により利用をやめた、もしくは回数を減らした介護サービス】



※無回答を除いて算出した。

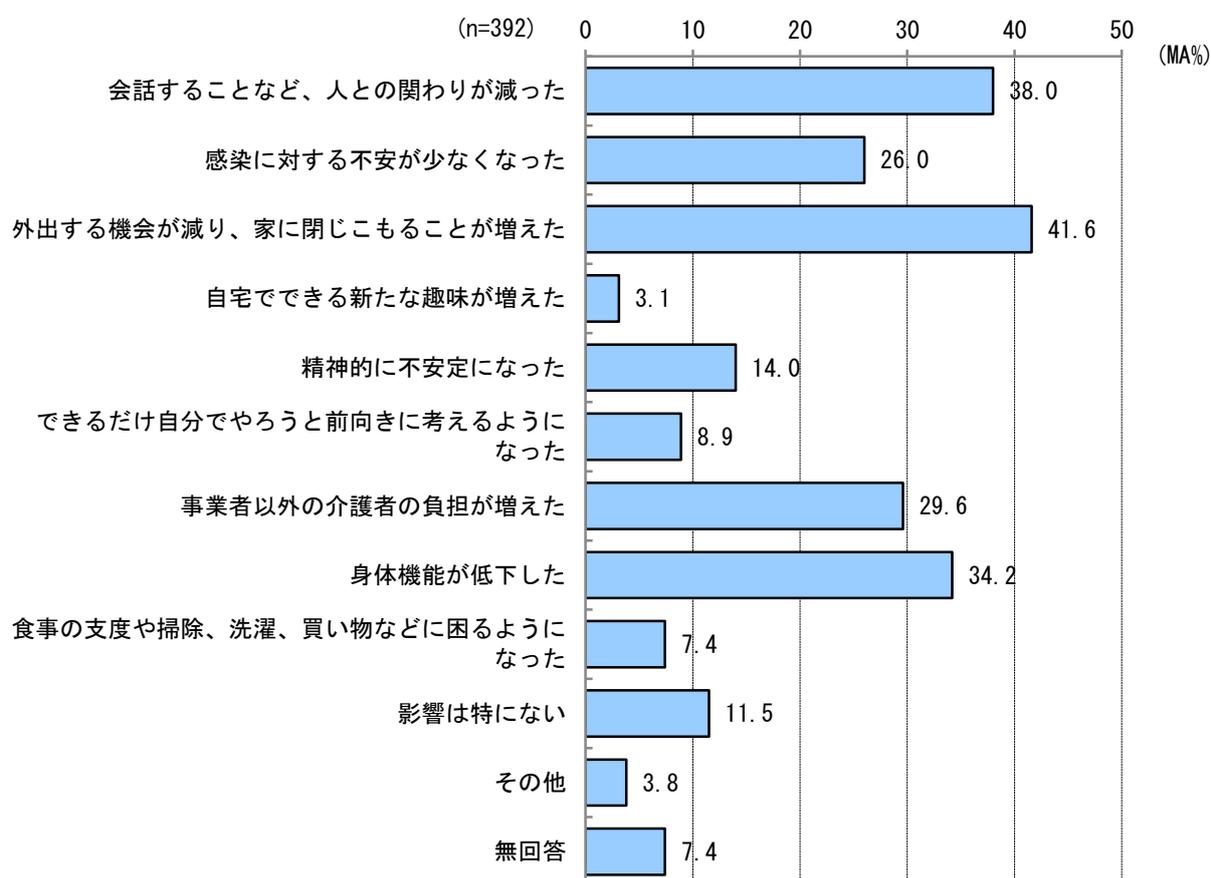
### 問11-2 介護サービスの種類を変更したり、回数を減らしたことによる影響

問11で「1 介護サービスの利用をやめたり、種類の変更や回数を減らすなどした」「2 事業者や施設等の事情により、介護サービスが利用できなくなったり、利用できる回数が減った」と回答された方におうかがいします。

介護保険サービス及び介護予防サービスの種類を変更したり、回数を減らしたことでどのような影響がありましたか。(〇はいくつでも)

介護保険サービス及び介護予防サービスの種類を変更したり、回数を減らしたことによる影響については、「外出する機会が減り、家に閉じこもることが増えた」が41.6%で最も多く、次いで「会話することなど、人との関わりが減った」が38.0%、「身体機能が低下した」が34.2%となっている。(図11-2)

【図11-2 介護サービスの種類を変更したり、回数を減らしたことによる影響】

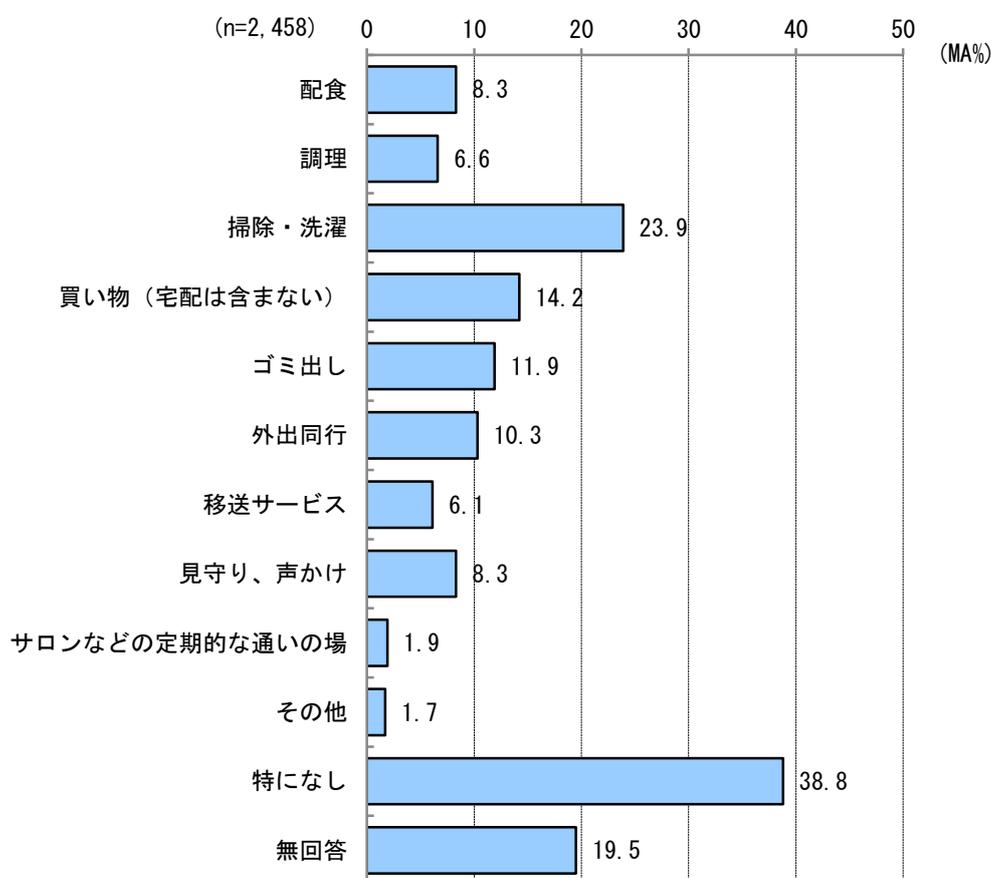


## 問12 現在利用している、介護保険サービス及び介護予防サービス以外の支援・サービス

現在、利用している、「介護保険サービス及び介護予防サービス以外」の支援・サービスについて、ご回答ください。(〇はいくつでも)

現在利用している、介護保険サービス及び介護予防サービス以外の支援・サービスについては、「掃除・洗濯」が23.9%で最も多く、次いで「買い物（宅配は含まない）」が14.2%、「ゴミ出し」が11.9%となっている。(図12)

【図12 現在利用している、介護保険サービス及び介護予防サービス以外の支援・サービス】

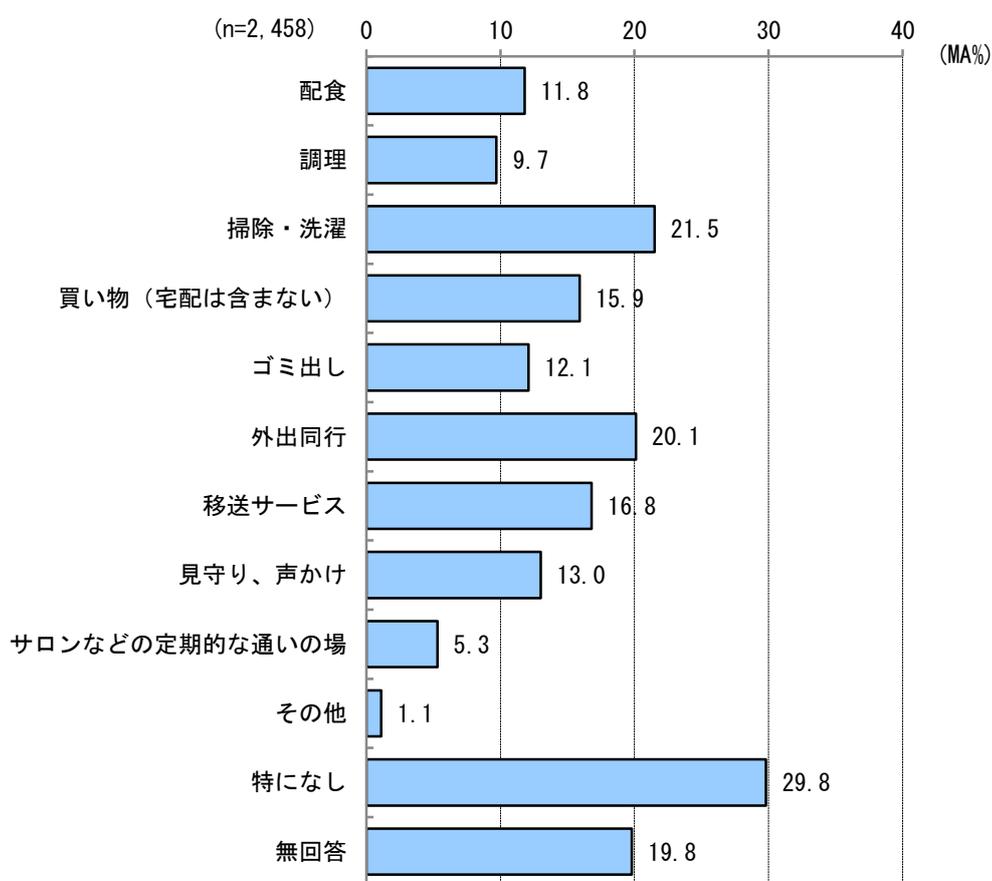


### 問13 在宅生活継続に必要と感じる支援・サービス

今後の在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス（現在利用しているが、さらなる充実が必要と感じる支援・サービス）について、ご回答ください。（〇はいくつでも）

今後の在宅生活継続に必要と感じる支援・サービスについては、「特になし」が29.8%で最も多いが、必要と感じる支援・サービスでは「掃除・洗濯」が21.5%で最も多く、次いで「外出同行」が20.1%、「移送サービス」が16.8%となっている。（図13）

【図13 在宅生活継続に必要と感じる支援・サービス】



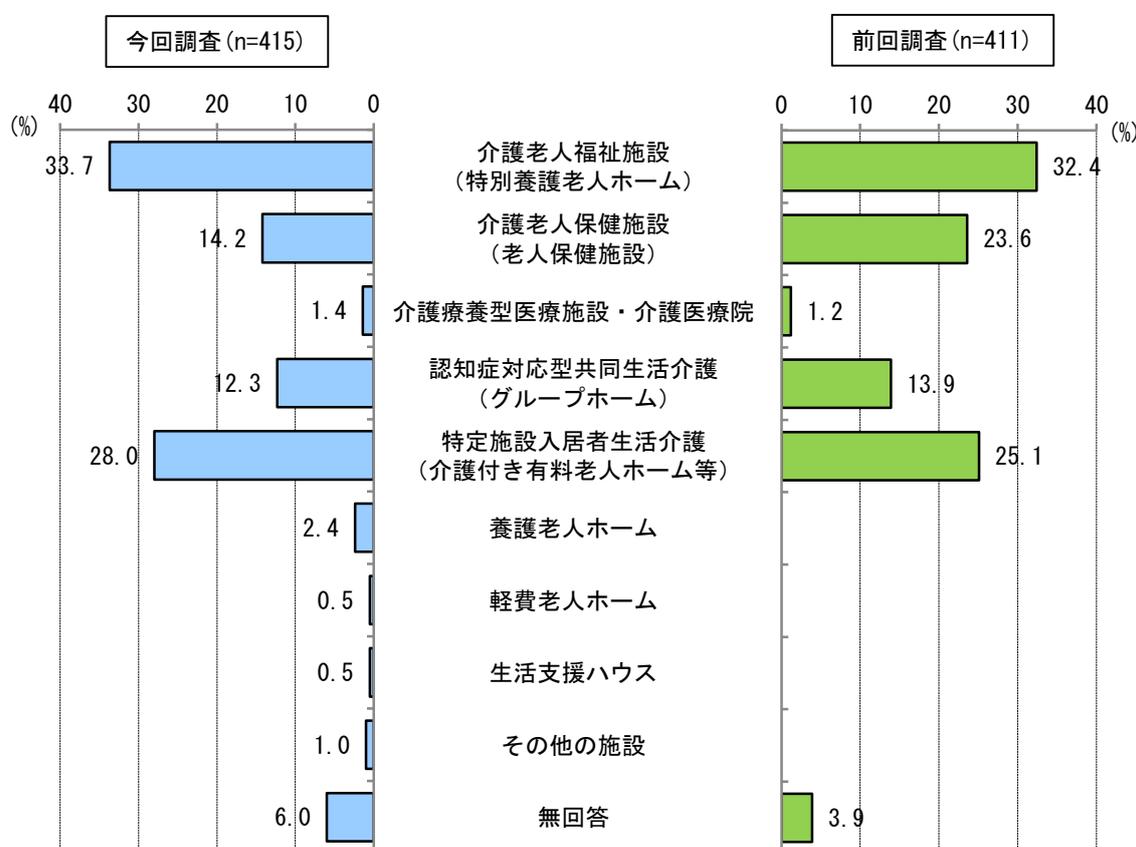
## 問14 入所（入居）している施設

あなたが現在入所（入居）している施設について、あてはまる番号に○をつけてください。  
（○はひとつ）

施設等に入所（入居）していると回答した人に、その施設をたずねると、「介護老人福祉施設（特別養護老人ホーム）」が33.7%で最も多く、次いで「特定施設入居者生活介護（介護付き有料老人ホーム等）」が28.0%、「介護老人保健施設（老人保健施設）」が14.2%となっている。

前回調査と比較すると、「介護老人保健施設（老人保健施設）」の割合が9.4ポイント低くなっている。（図14）

【図14 入所（入居）している施設（経年比較）】

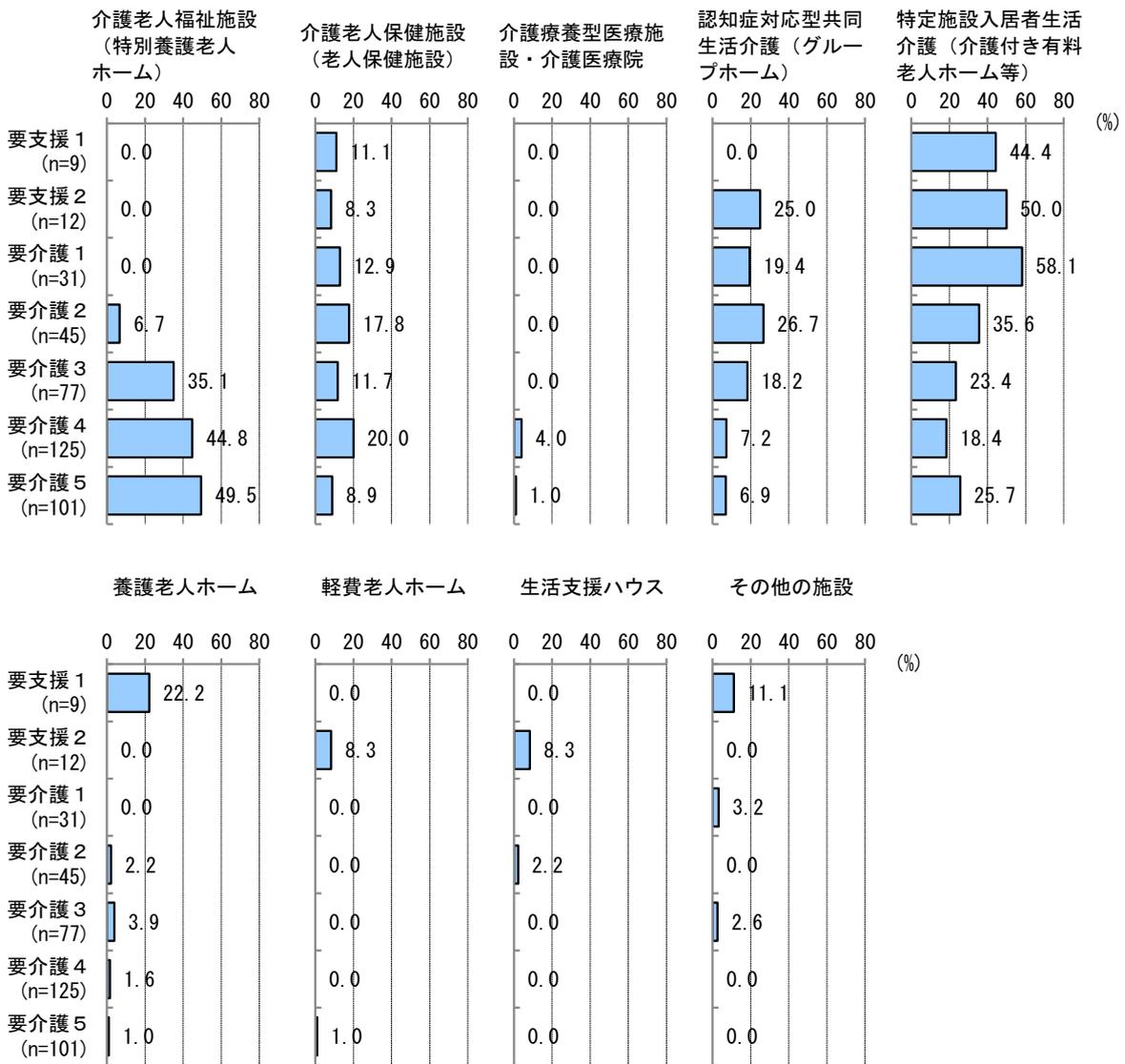


※「養護老人ホーム」「軽費老人ホーム」「生活支援ハウス」「その他の施設」は、今回調査の新規項目である。

【介護保険サービス利用者調査】

要介護度別で見ると、要介護3～5では「介護老人福祉施設（特別養護老人ホーム）」が最も多く、要支援1・2、要介護1・2では「特定施設入居者生活介護（介護付き有料老人ホーム等）」が最も多くなっている。（図14-a）

【図14-a 入所（入居）している施設（要介護度別）】



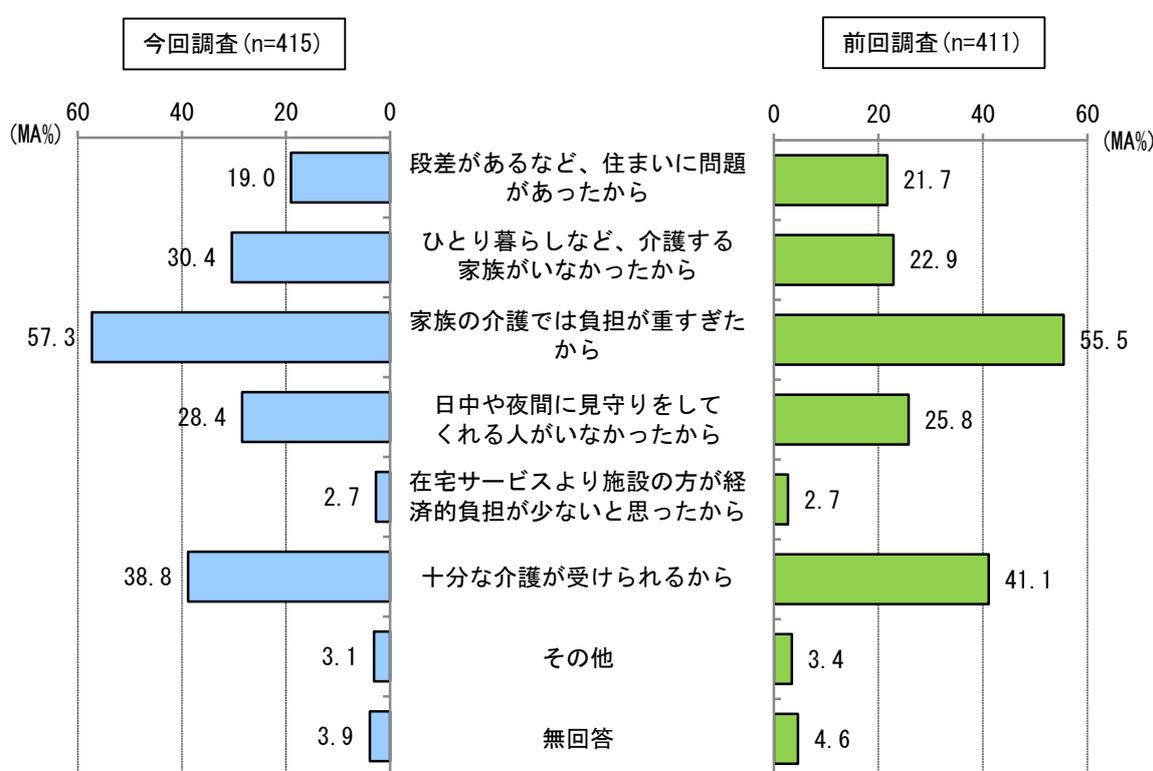
### 問14-1 入所（入居）を希望した理由

あなたが、施設等の入所（入居）を希望した理由は何ですか。（〇はいくつでも）

施設等に入所（入居）していると回答した人に、入所（入居）を希望した理由をたずねると、「家族の介護では負担が重すぎたから」が57.3%で最も多く、次いで「十分な介護が受けられるから」が38.8%、「ひとり暮らしなど、介護する家族がいなかったから」が30.4%となっている。

前回調査と比較すると、「ひとり暮らしなど、介護する家族がいなかったから」の割合が7.5ポイント高くなっている。（図14-1）

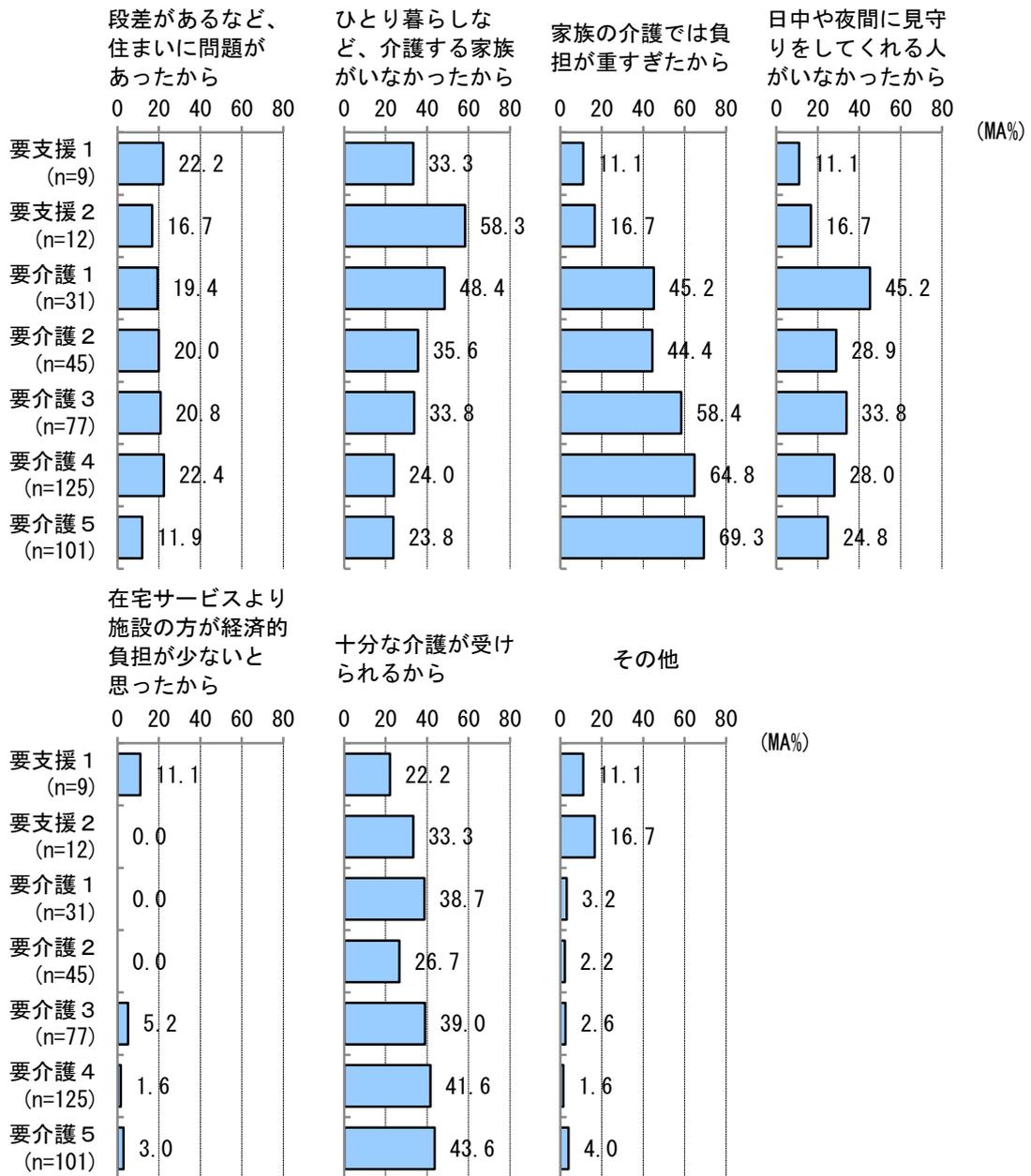
【図14-1 入所（入居）を希望した理由（経年比較）】



【介護保険サービス利用者調査】

要介護度別で見ると、要支援1・2、要介護1では「ひとり暮らしなど、介護する家族がいなかったから」が最も多く、要介護2以上では「家族の介護では負担が重すぎたから」が最も多くなっている。(図14-1-a)

【図14-1-a 入所（入居）を希望した理由（要介護度別）】



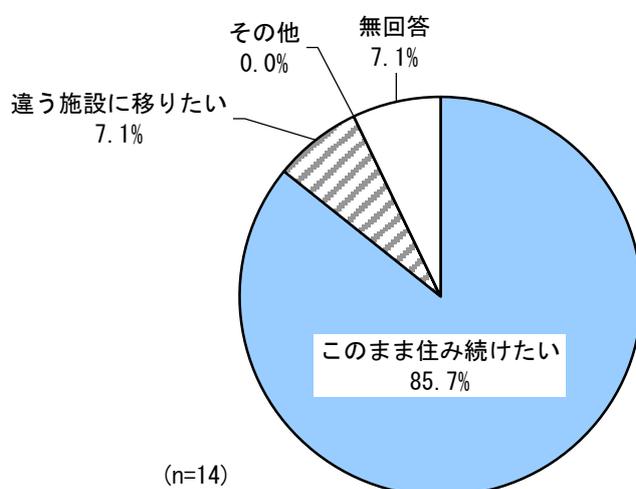
### 問14-2 入所施設での定住意向

問14で「6 養護老人ホーム」「7 軽費老人ホーム」「8 生活支援ハウス」と回答された方におうかがいします。

あなたが入所されている施設にこのまま住み続けたいと思いますか。(○はひとつ)

現在、養護老人ホーム、軽費老人ホーム、生活支援ハウスに入居（入所）していると回答した人(14人)に、このまま住み続けたいかをたずねると、「このまま住み続けたい」が85.7% (12人)で最も多く、次いで「違う施設に移りたい」が7.1% (1人)となっている。(図14-2)

【図14-2 入所施設での定住意向】



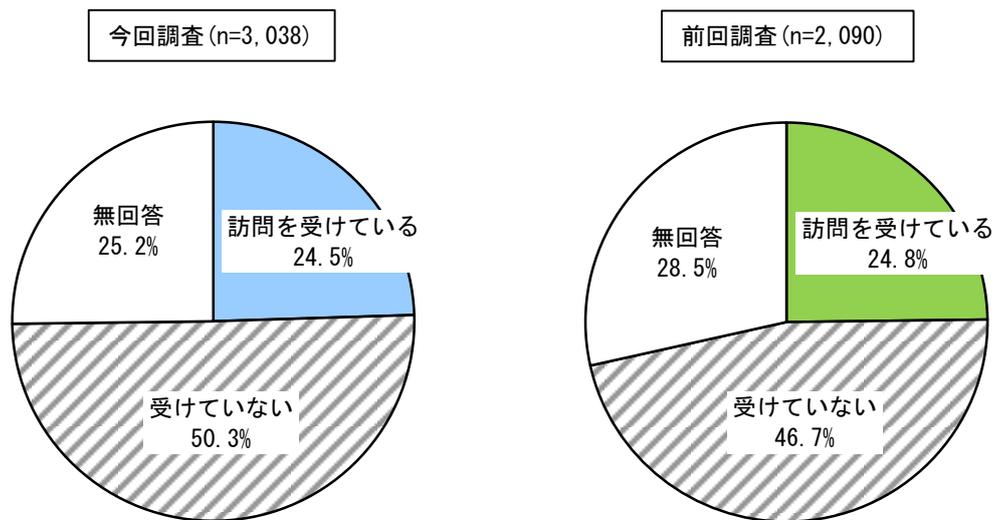
**問15 医療従事者などの訪問有無**

あなたは現在、医療従事者などの訪問を受けていますか。(○はひとつ)

現在、医療従事者などの訪問を受けているかについては、「訪問を受けている」が24.5%、「受けていない」が50.3%となっている。

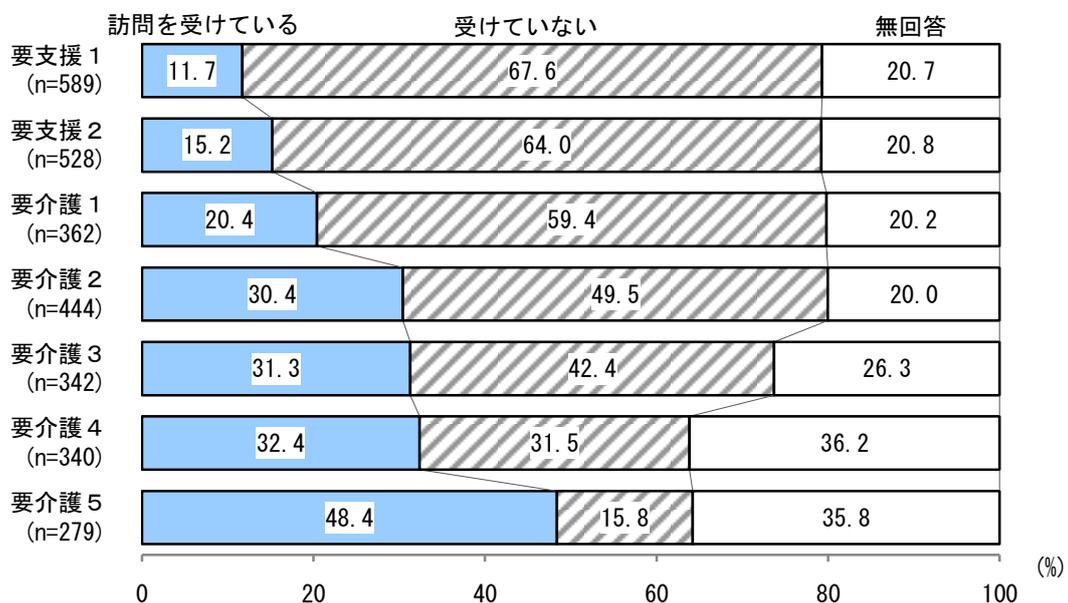
前回調査と比較すると、「受けていない」の割合が3.6ポイント高くなっている。(図15)

【図15 医療従事者などの訪問有無（経年比較）】



要介護度別で見ると、要支援1・2と要介護1～3は「受けていない」の割合が多くなっているが、重度になるほど「訪問を受けている」の割合が高くなっており、要介護5では48.4%となっている。(図15-a)

【図15-a 医療従事者などの訪問有無（要介護度別）】



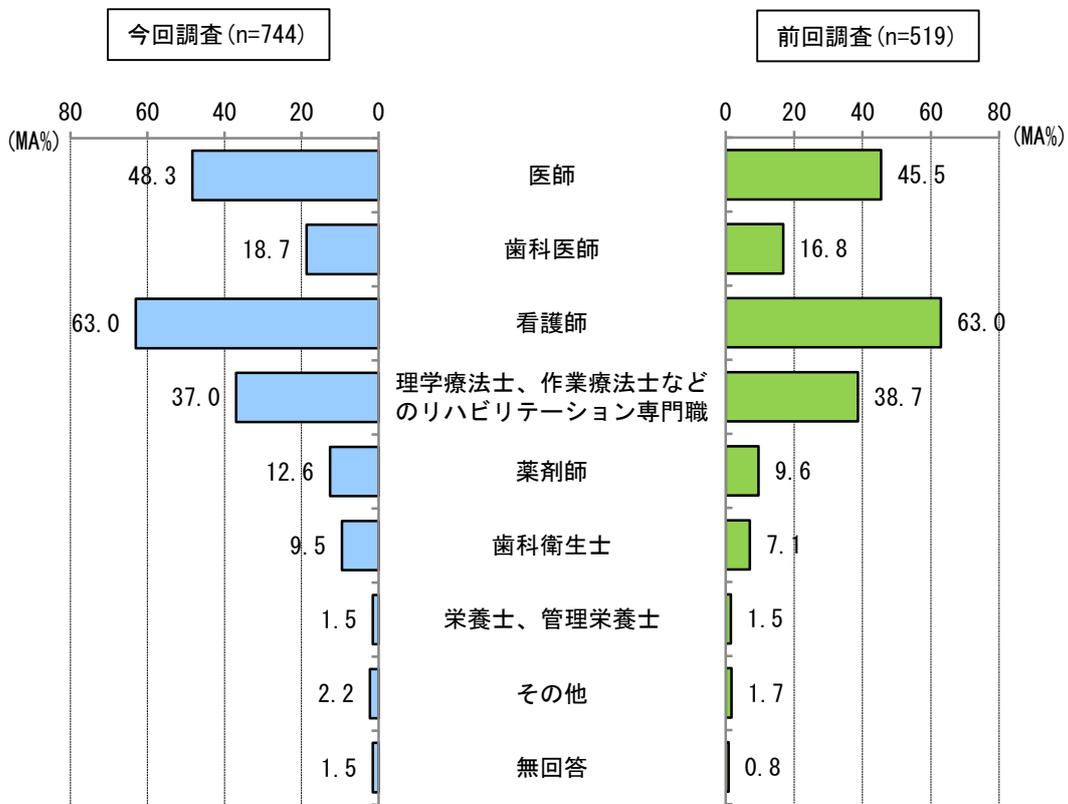
**問15-1 訪問されている医療従事者**

問15で「1 はい」と回答された方におうかがいします。  
 訪問されている方は誰ですか。(〇はいくつでも)

医療従事者などの訪問を受けていると回答した人に、その相手をたずねると、「看護師」が63.0%で最も多く、次いで「医師」が48.3%、「理学療法士、作業療法士などのリハビリテーション専門職」が37.0%となっている。

前回調査と比較すると、「医師」の割合が2.8ポイント、「薬剤師」の割合が3.0ポイントそれぞれ高くなっている。(図15-1)

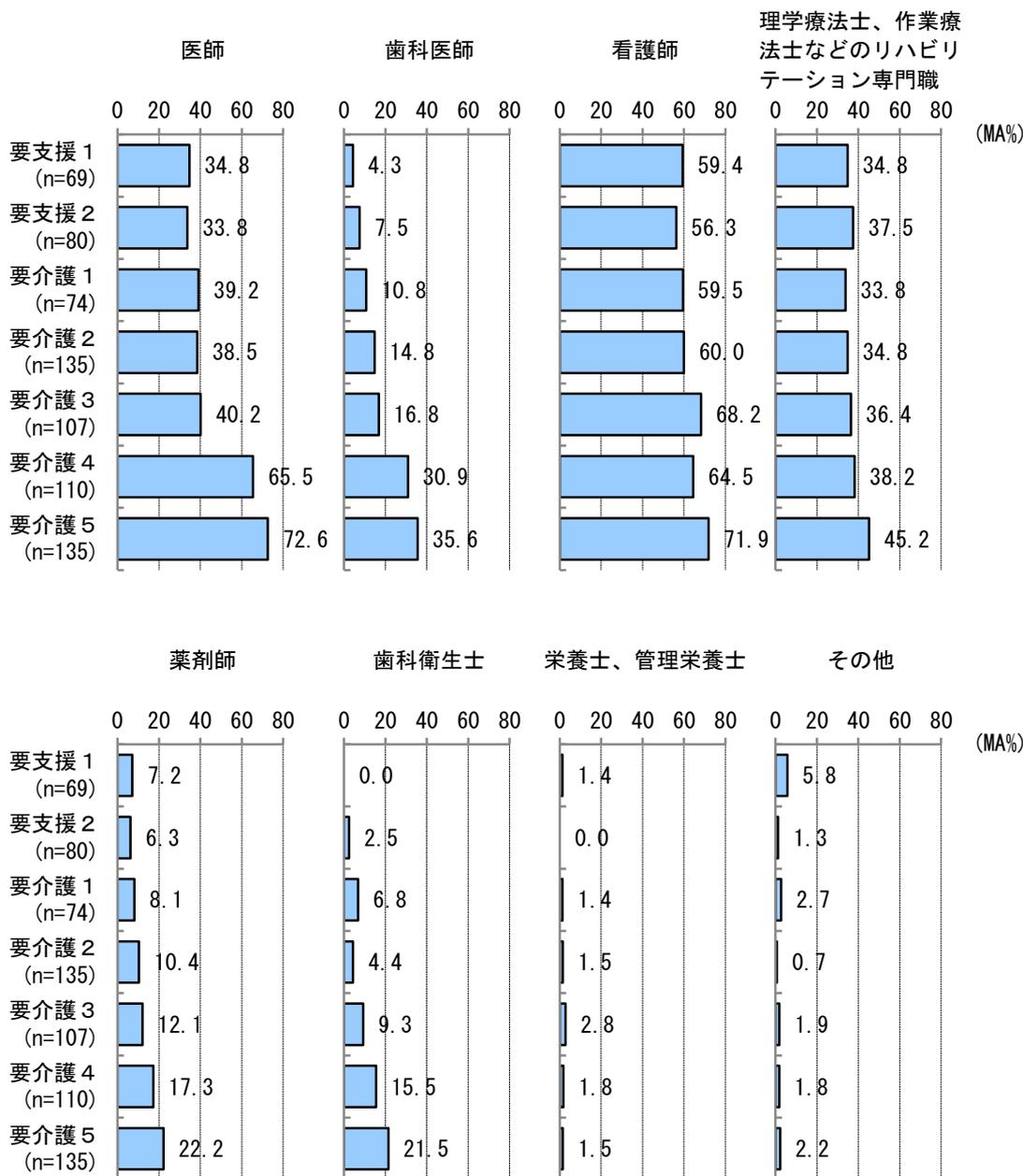
【図15-1 訪問されている医療従事者（経年比較）】



【介護保険サービス利用者調査】

要介護度別で見ると、要支援1・2と要介護1～3は「看護師」が最も多く、5～6割台となっている。要介護4・5は「医師」が最も多く、「栄養士、管理栄養士」を除くいずれの項目も要介護5で最も高い割合となっている。(図15-1-a)

【図15-1-a 訪問されている医療従事者（要介護度別）】



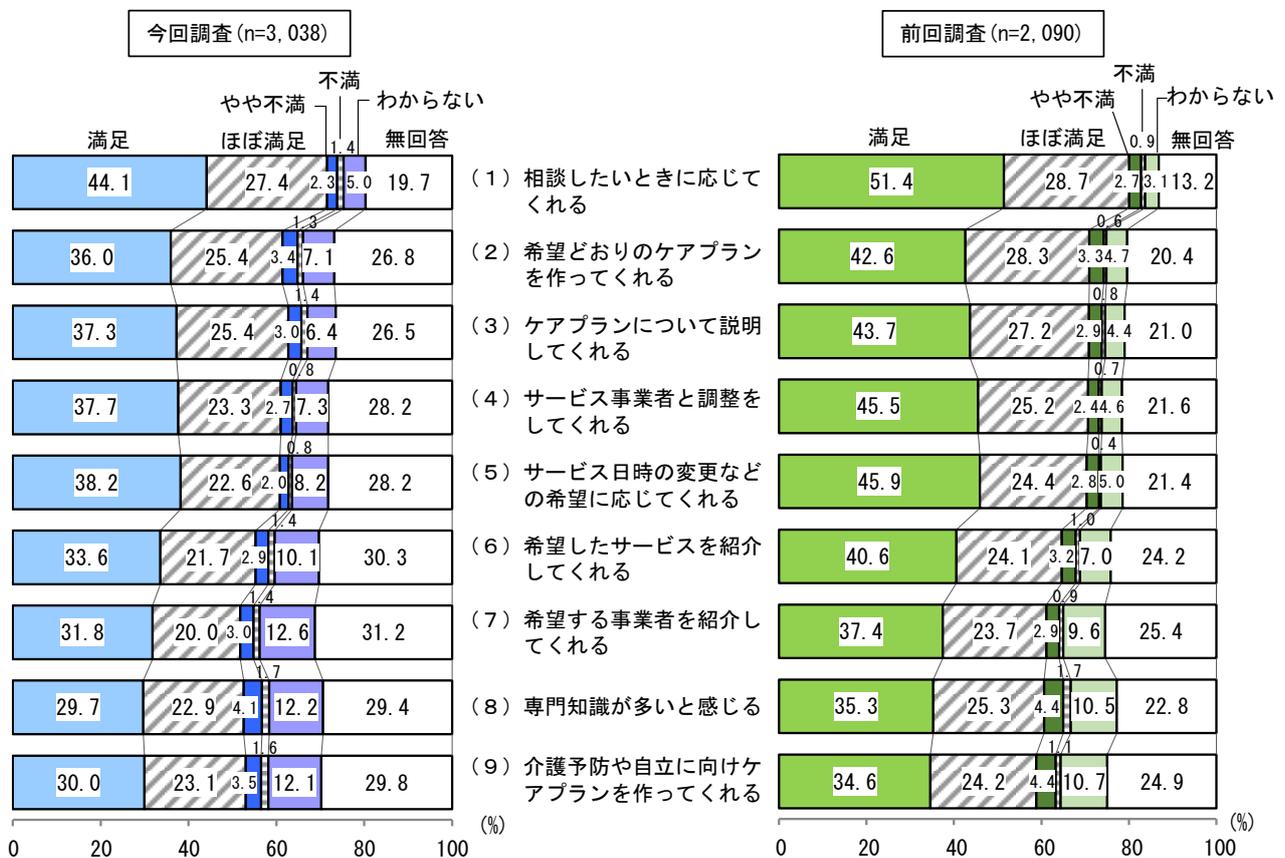
問16 介護支援専門員の満足度

現在、担当の介護支援専門員（ケアマネジャー）について、次の(1)～(9)の項目ごとの満足度をお答えください。（それぞれ○はひとつ）

現在、担当の介護支援専門員（ケアマネジャー）の満足度については、いずれの項目も「満足」が最も多く、なかでも“(1) 相談したいときに応じてくれる”が44.1%と高くなっている。また「満足」と「ほぼ満足」をあわせた『満足』割合では、“(1) 相談したいときに応じてくれる”が71.5%、“(3) ケアプランについて説明してくれる”が62.7%となっている。

前回調査と比べると、いずれの項目も「満足」「ほぼ満足」の割合が低くなっており、『満足』割合が低下している。(図16)

【図16 介護支援専門員の満足度（経年比較）】



**問16-1 担当の介護支援専門員についての意見・要望（自由記述）**

担当の介護支援専門員（ケアマネジャー）について、ご意見・ご要望等があれば、次の欄に記入してください。

392人の意見が挙がっている。

**【主な意見】**

- ・とてもよくしてくれている。
- ・もっと訪問してほしい。
- ・担当者がよく変わる。
- ・いつも忙しそうである。もう少し会話をしてほしい。用件だけ言って帰られることがほとんどである。
- ・コロナで十分に話ができていない、面談できていない。
- ・入院などした場合の医療機関との連携を強めてほしい。

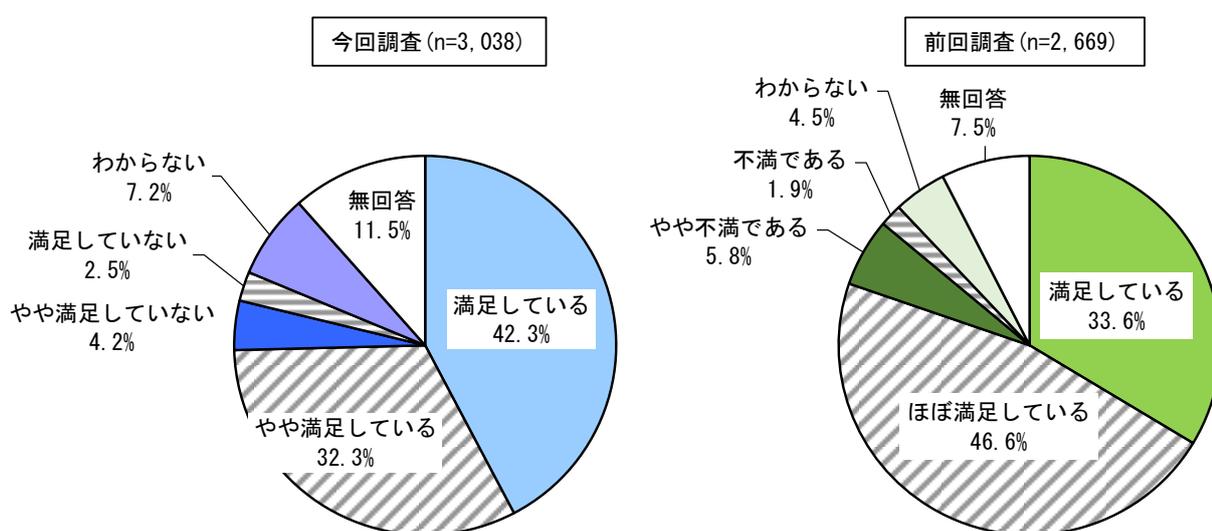
### 問17 介護保険サービス及び介護予防サービスの満足度

あなたが現在利用している介護保険サービス及び介護予防サービスの満足度についてお答えください。(〇はひとつ)

介護保険サービス及び介護予防サービスの満足度については、「満足している」が42.3%で最も多く、次いで「やや満足している」が32.3%となっており、両者を合わせた『満足』の割合は74.6%を占めている。

前回調査と比較すると、「満足している」「ほぼ満足している」が多い傾向は変わらない。(図17)

【図17 介護保険サービス及び介護予防サービスの満足度（経年比較）】

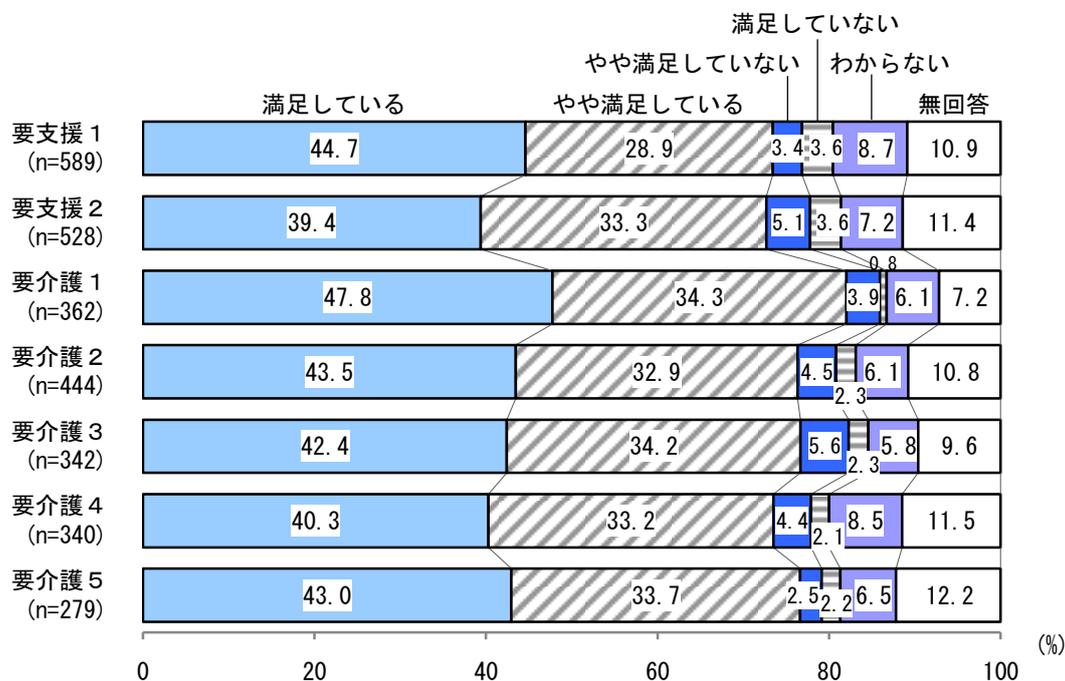


※前回調査の「ほぼ満足している」「やや不満である」「不満である」は、今回調査では「やや満足している」「やや満足していない」「満足していない」に変更している。

【介護保険サービス利用者調査】

要介護度別で見ると、要介護度にかかわらず「満足している」が最も多く、『満足』の割合は7～8割台を占めている。(図17-a)

【図17-a 介護保険サービス及び介護予防サービスの満足度（要介護度別）】



問17-1 介護保険サービス及び介護予防サービスについての意見・要望（自由記述）

介護保険サービス及び介護予防サービスについて、ご意見・ご要望等があれば、次の欄に記入してください。

261人の意見が挙がっている。

【主な意見】

- ・様々な制限があり、希望どおりのサービスが受けにくい。
- ・どのようなサービスがあるのか、わからない。
- ・リハビリをもっと受けたい。
- ・病院の付き添い、外出支援。
- ・経済的な負担が大きい。
- ・面会ができない。

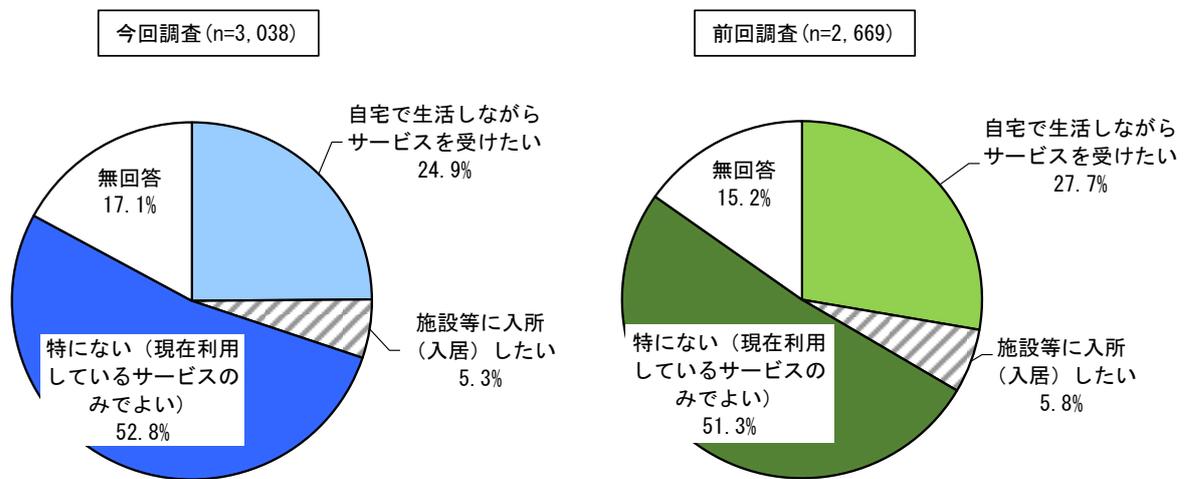
**問18 現在利用していない介護保険サービス及び介護予防サービスの利用意向**

あなたが現在利用している介護保険サービス及び介護予防サービスとは別に、1年以内に利用したい介護保険サービス及び介護予防サービスはありますか。(〇はひとつ)

ここ1年以内に利用したい介護サービスは、「特にない（現在利用しているサービスのみでよい）」が52.8%で最も多く、次いで「自宅で生活しながらサービスを受けたい」が24.9%となっている。

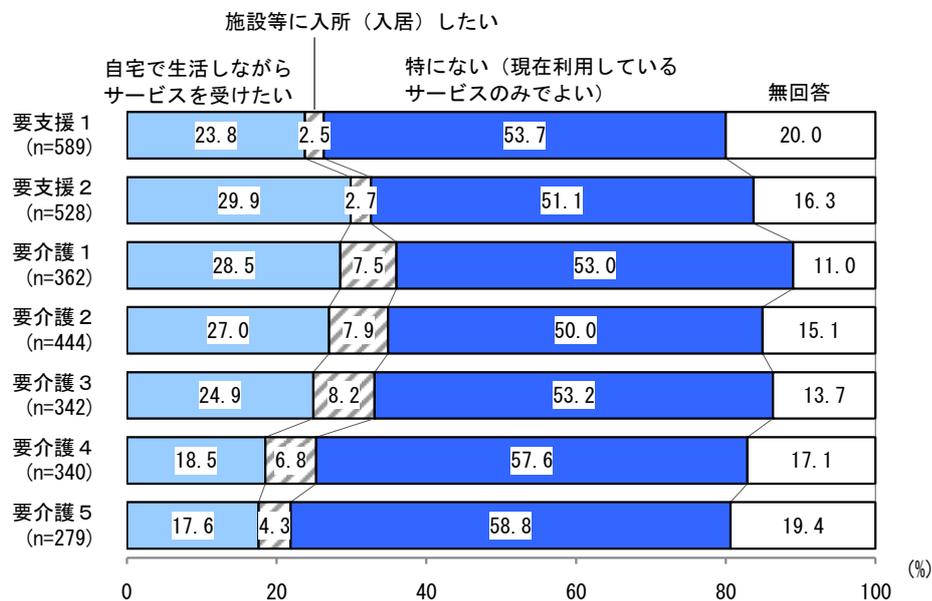
前回調査と比較すると、「自宅で生活しながらサービスを受けたい」の割合は2.8ポイント低くなっている。(図18)

【図18 現在利用していない介護保険サービス及び介護予防サービスの利用意向（経年比較）】



要介護度別で見ると、要介護度にかかわらず「特にない（現在利用しているサービスのみでよい）」が最も多くなっている。一方、「自宅で生活しながらサービスを受けたい」は要支援2が29.9%で最も高く、以降、重度になるほど割合が低くなっている。(図18-a)

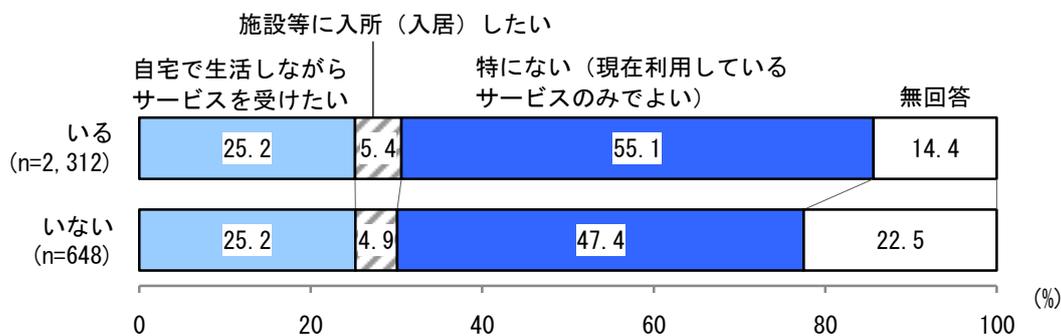
【図18-a 現在利用していない介護保険サービス及び介護予防サービスの利用意向（要介護度別）】



【介護保険サービス利用者調査】

介護者の有無別で見ると、いる・いないにかかわらず「特にない（現在利用しているサービスのみでよい）」が最も多く、介護者がいる人は55.1%、いない人は47.4%で、いる人のほうが7.7ポイント高くなっている。一方、「自宅で生活しながらサービスを受けたい」と「施設等に入所（入居）したい」の割合は、介護者の有無に大きな差はみられない。（図18-b）

【図18-b 現在利用していない介護保険サービス及び介護予防サービスの利用意向（介護者の有無別）】

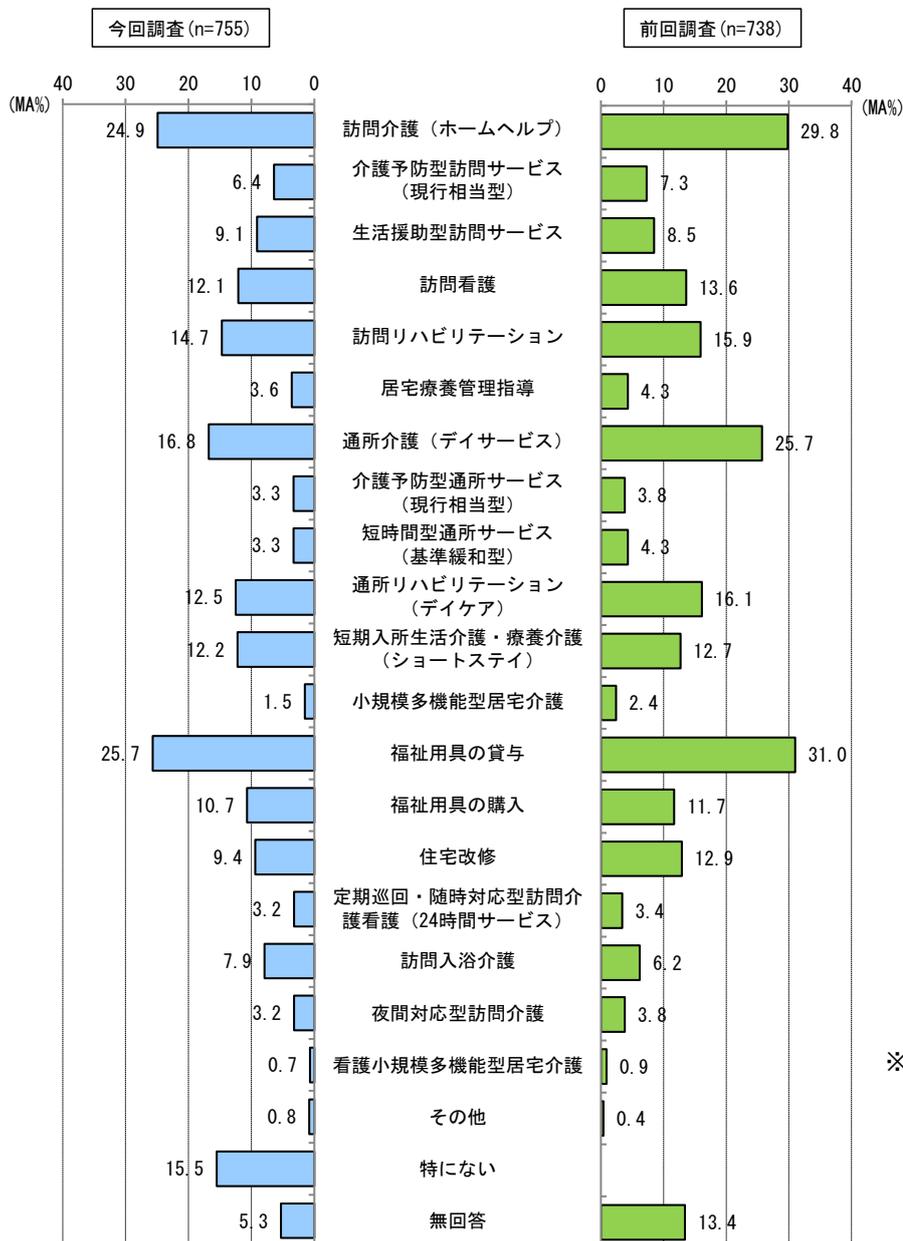


問18-1 現在利用していない居宅サービスの利用意向

この質問は、問18で「1 自宅で生活しながらサービスを受けたい」と回答された方のみお答えください。  
 あなたが現在利用している介護保険サービス及び介護予防サービスとは別に、1年以内に利用したい介護保険サービス及び介護予防サービスについて、あてはまる番号すべてに○をつけてください。(○はいくつでも)

自宅で生活しながらサービスを受けたいと回答した人に、現在利用していない居宅サービスで利用したいサービスをたずねると、「福祉用具の貸与」が25.7%で最も多く、次いで「訪問介護（ホームヘルプ）」が24.9%、「通所介護（デイサービス）」が16.8%となっている。  
 前回調査と比較すると、「通所介護（デイサービス）」の割合は8.9ポイント低くなっている。  
 (図18-1)

【図18-1 現在利用していない居宅サービスの利用意向（経年比較）】

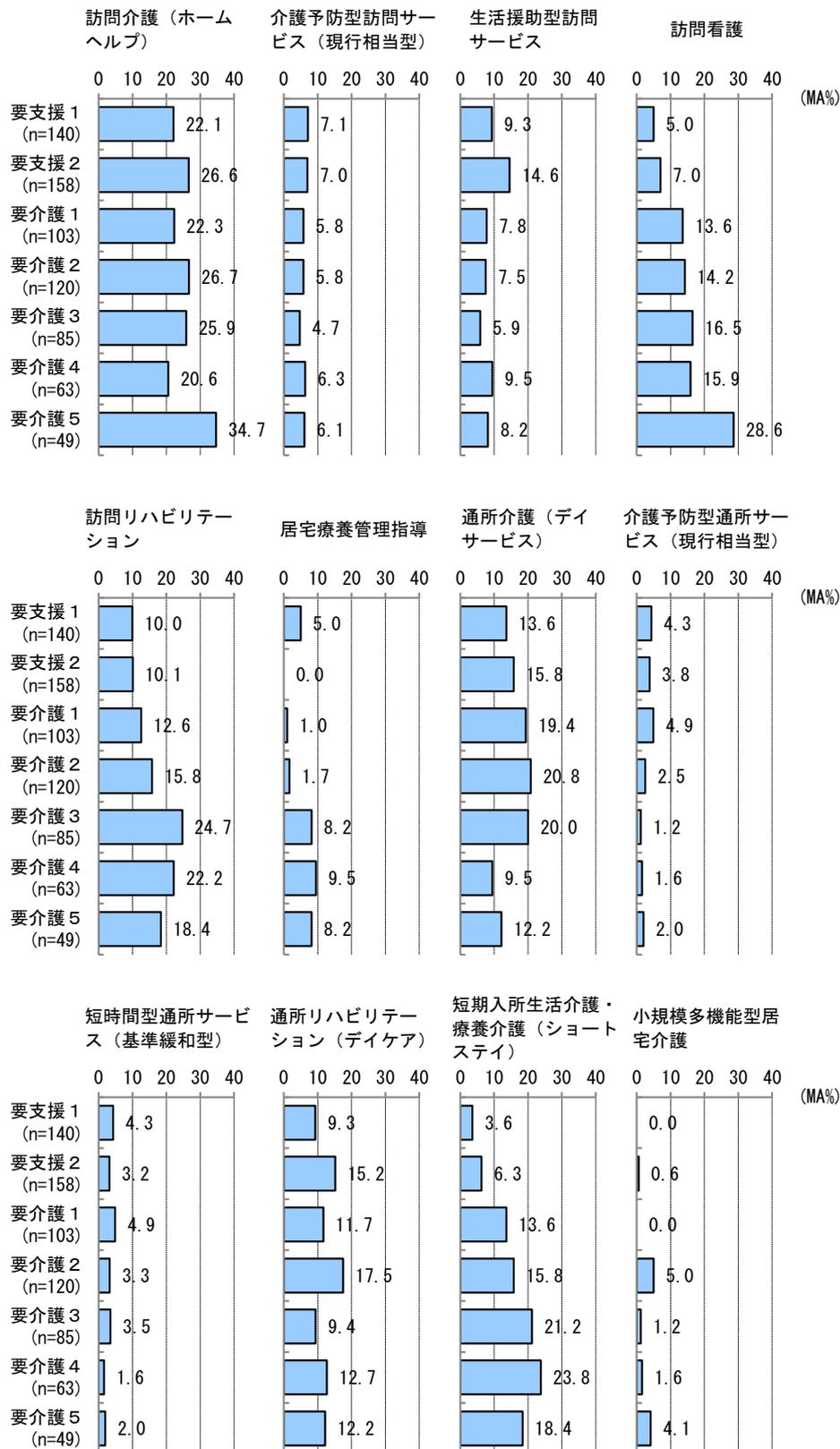


※今回調査の「特にない」は、前回調査では設けていない。

【介護保険サービス利用者調査】

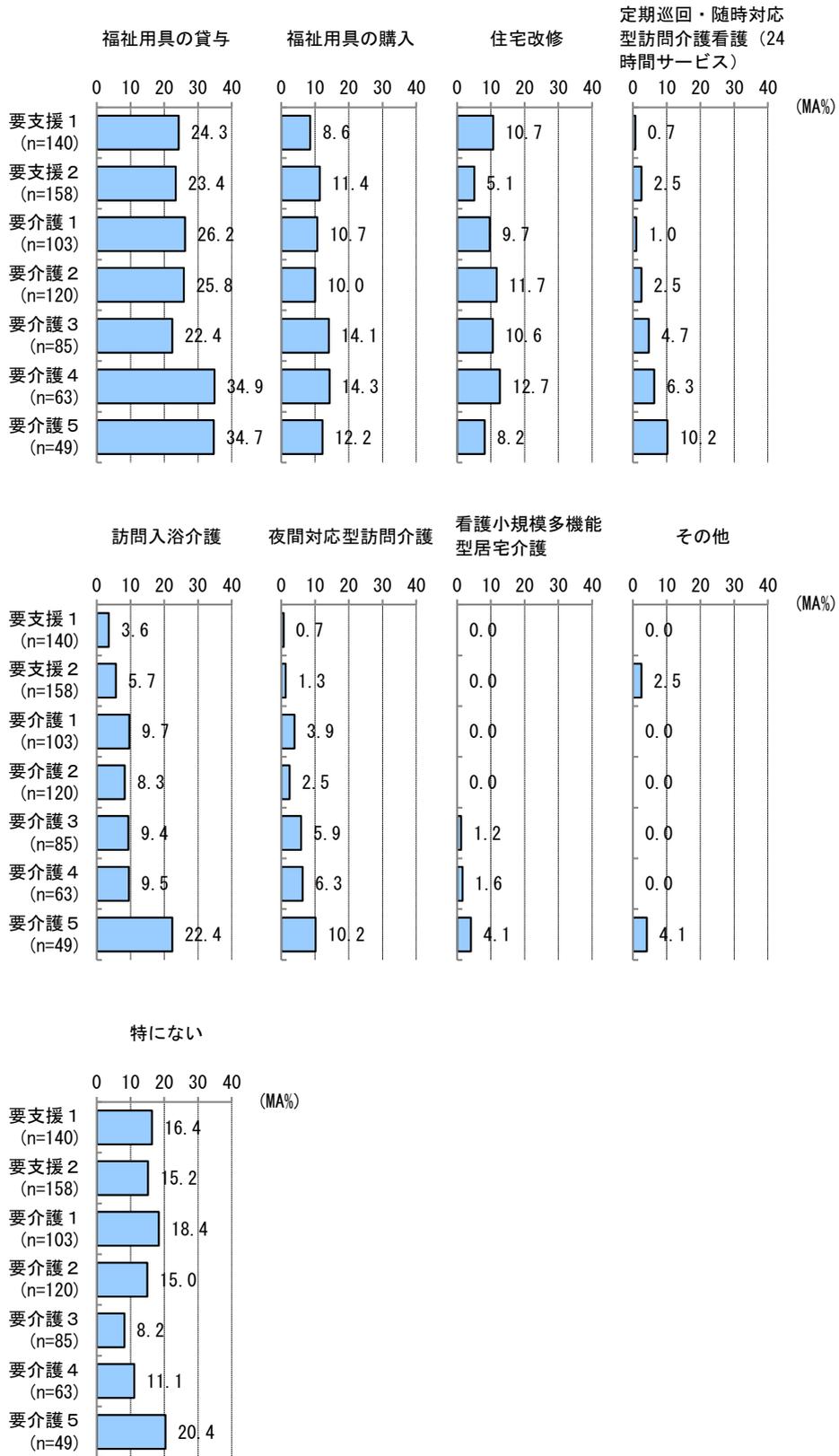
要介護度別でみると、要支援1と要介護1・4は「福祉用具の貸与」、要支援2と要介護2・3は「訪問介護（ホームヘルプ）」が最も多くなっている。要介護5は「訪問介護（ホームヘルプ）」と「福祉用具の貸与」が同率の34.7%で最も多くなっている。（図18-1-a）

【図18-1-a 現在利用していない居宅サービスの利用意向（要介護度別）①】



【介護保険サービス利用者調査】

【図18-1-a 現在利用していない居宅サービスの利用意向（要介護度別）②】



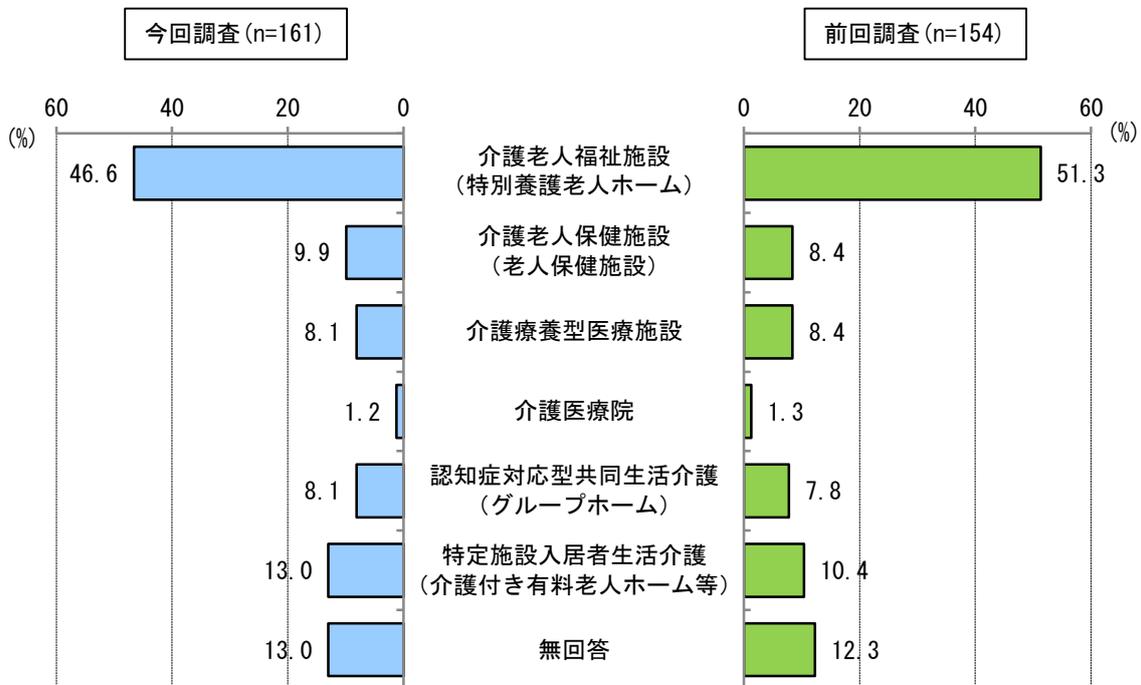
**問18-2 現在利用していない施設サービスの利用意向**

この質問は、問18で「2 施設等に入所（入居）したい」と回答された方のみお答えください。あなたが現在利用している介護保険サービスとは別に、1年以内に利用したい介護保険サービスについて、あてはまる番号に○をつけてください。（○はひとつ）

施設等に入所（入居）したいと回答した人に、現在利用していない施設サービスで利用したいサービスをたずねると、「介護老人福祉施設（特別養護老人ホーム）」が46.6%、「特定施設入居者生活介護（介護付き有料老人ホーム）」が13.0%となっている。

前回調査と比較すると、「介護老人福祉施設（特別養護老人ホーム）」の割合が4.7ポイント低くなっている。（図18-2）

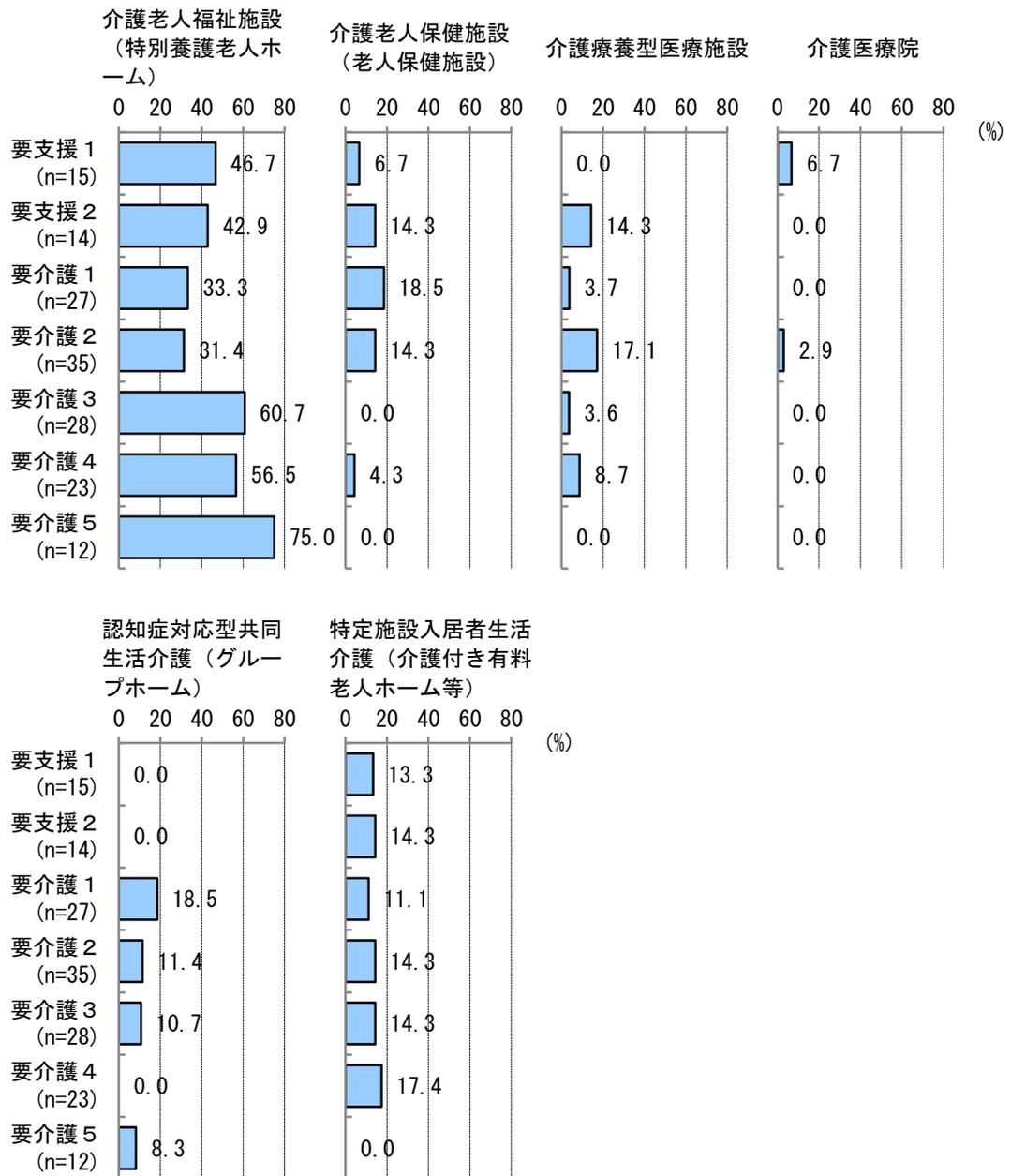
【図18-2 現在利用していない施設サービスの利用意向（経年比較）】



【介護保険サービス利用者調査】

要介護度別でみると、母数が少ないので一概には言えないが、要介護度にかかわらず「介護老人福祉施設（特別養護老人ホーム）」が最も多く、特に、介護老人福祉施設（特別養護老人ホーム）の入所基準となる要介護3～5では5～7割台となっている。（図18-2-a）

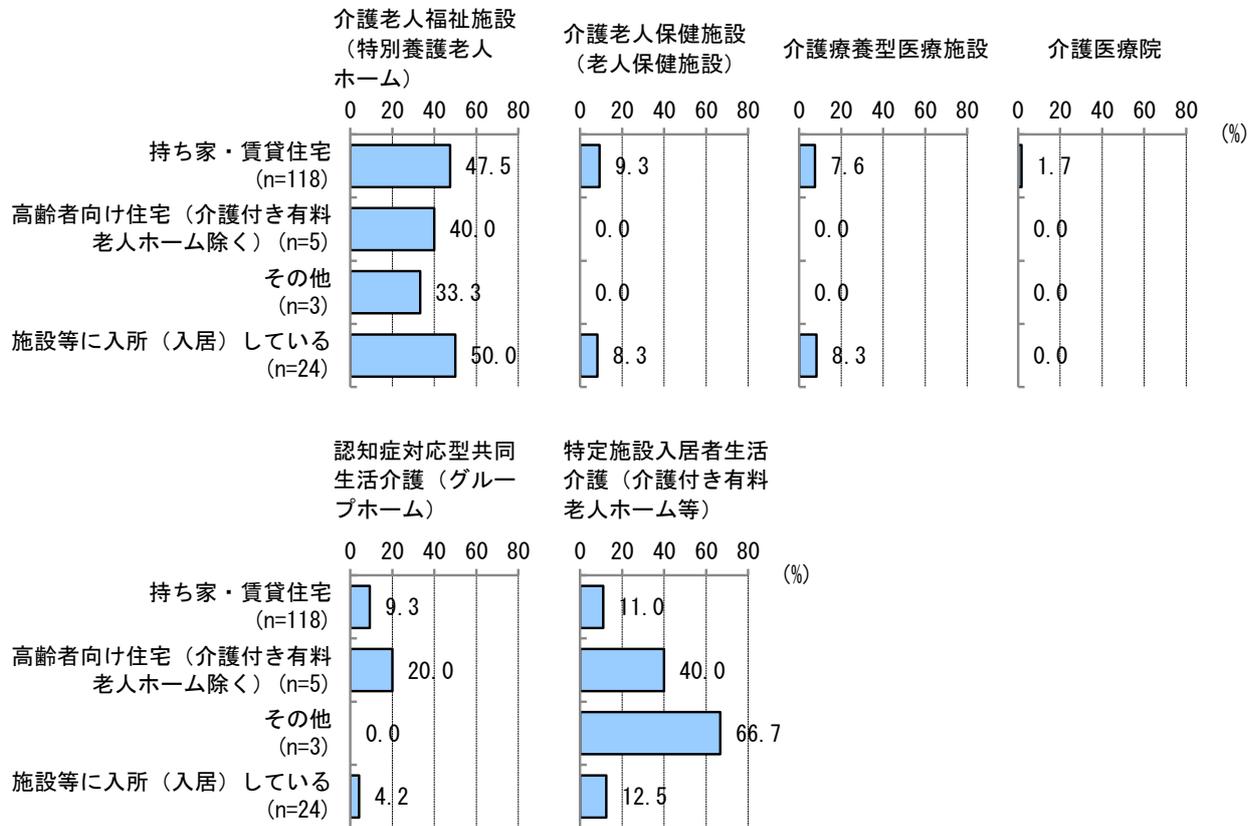
【図18-2-a 現在利用していない施設サービスの利用意向（要介護度別）】



【介護保険サービス利用者調査】

現在の住まい別で見ると、住まいにかかわらず「介護老人福祉施設（特別養護老人ホーム）」が最も多くなっており、持ち家・賃貸住宅に住んでいる人は47.5%、施設等に入所（入居）している人は50.0%となっている。（図18-2-b）

【図18-2-b 現在利用していない施設サービスの利用意向（現在の住まい別）】



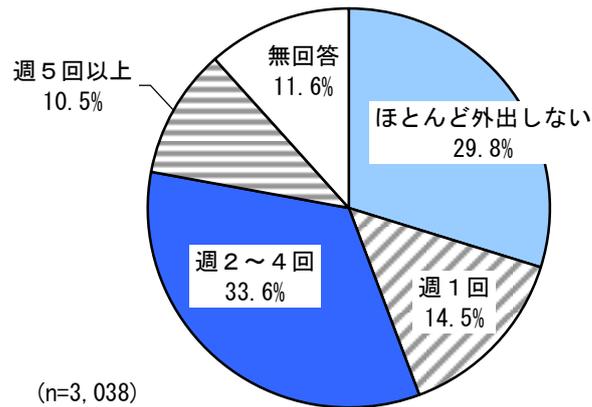
(5) 外出の状況

問19 外出頻度

週に1回以上は外出していますか。(○はひとつ)

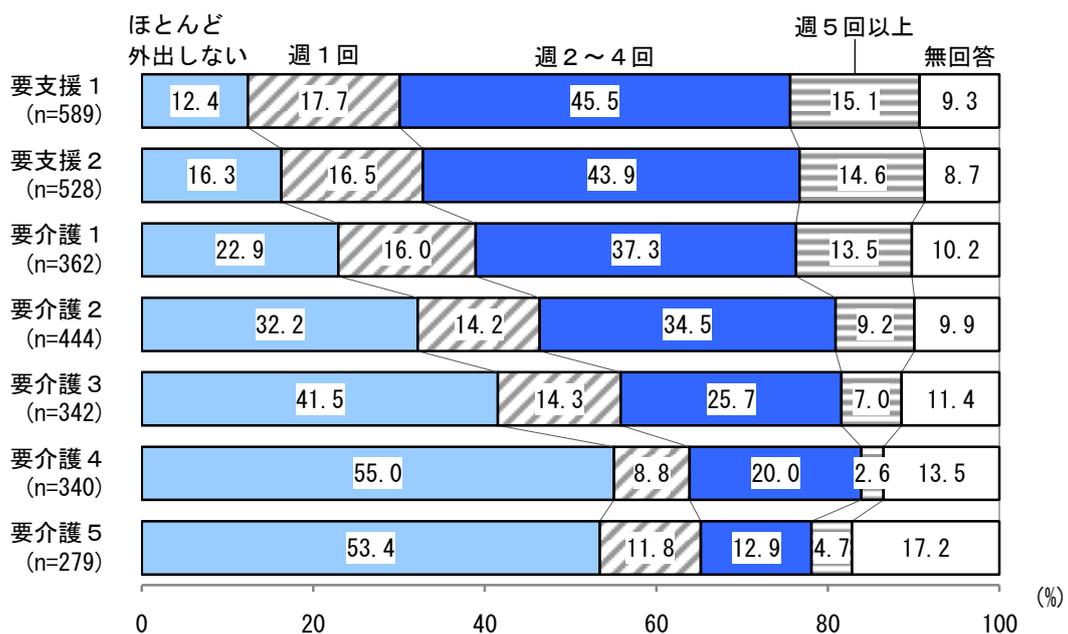
外出頻度については、「週2～4回」が33.6%で最も多く、次いで「ほとんど外出しない」が29.8%、「週1回」が14.5%となっている。(図19)

【図19 外出頻度】



要介護度別で見ると、「ほとんど外出しない」は重度になるほど割合が高くなり、要介護4・5では5割を占めている。「週1回」、「週2～4回」、「週5回以上」はいずれも要支援1で最も高い割合となっている。(図19-a)

【図19-a 外出頻度 (要介護度別)】

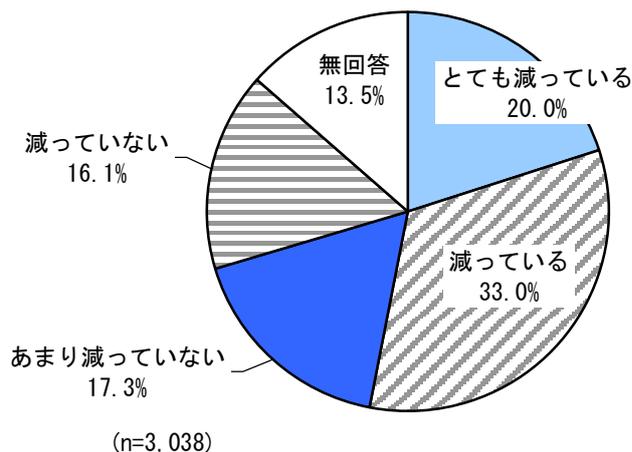


## 問20 昨年と比べた外出の回数

昨年と比べて外出の回数が減っていますか。(〇はひとつ)

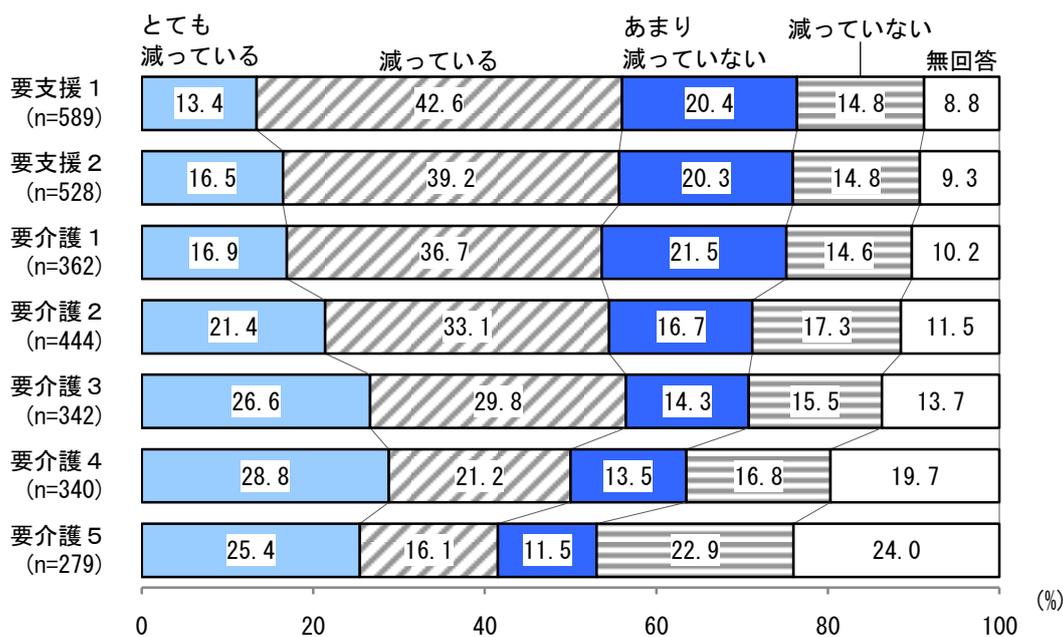
昨年と比べた外出の回数については、「減っている」が33.0%で最も多く、次いで「とても減っている」が20.0%で、両者をあわせた『減っている』割合は53.0%となっている。(図20)

【図20 昨年と比べた外出の回数】



要介護度別で見ると、要支援1・2、要介護1～3では「減っている」が最も多く、『減っている』割合は5割台となっている。(図20-a)

【図20-a 昨年と比べた外出の回数（要介護度別）】

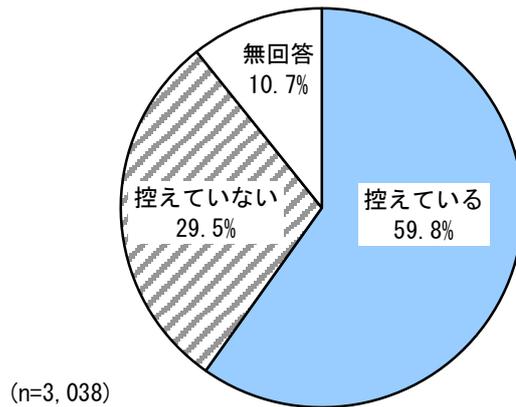


**問21 外出を控えること**

外出を控えていますか。(○はひとつ)

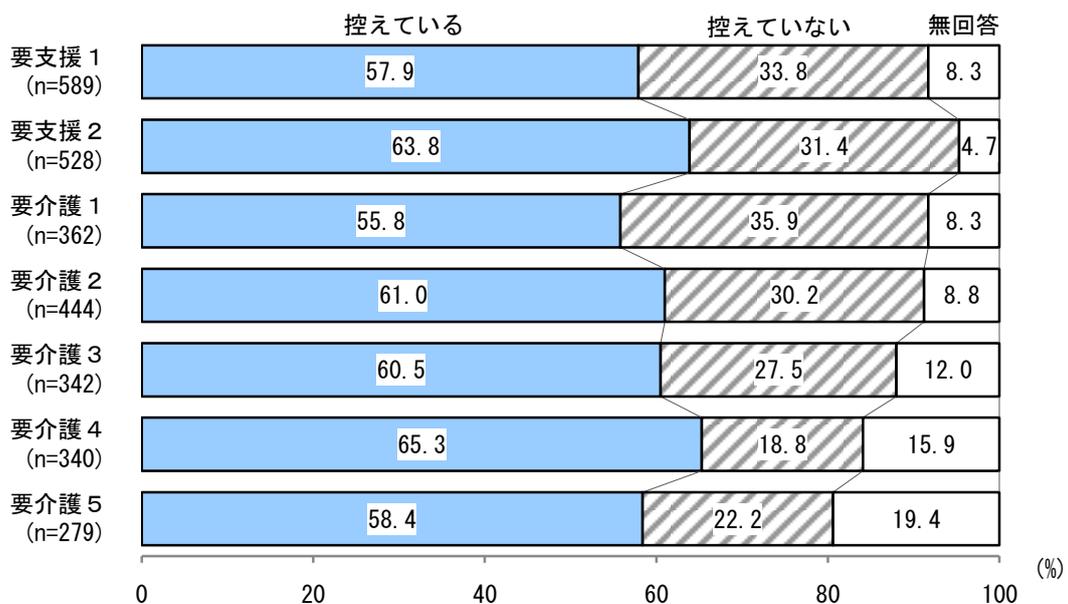
外出を控えているかについては、「控えている」が59.8%で、「控えていない」は29.5%となっている。(図21)

【図21 外出を控えること】



要介護度別で見ると、要介護度にかかわらず「控えている」が過半数を占めている。(図21-a)

【図21-a 外出を控えること (要介護度別)】



### 問21-1 外出を控えている理由

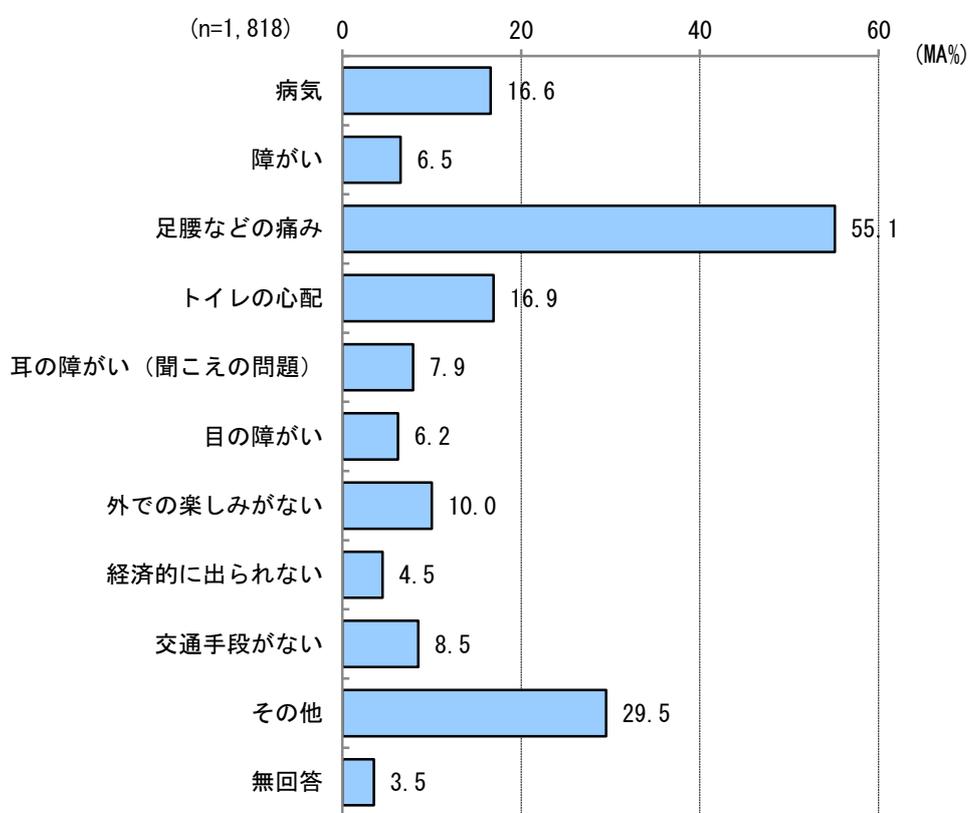
問21で「1 はい」(外出を控えている)と回答された方におうかがいします。  
 外出を控えている理由は、次のどれですか。(〇はいくつでも)

外出を控えていると回答した人に、その理由をたずねると、「足腰などの痛み」が55.1%で最も多く、次いで「トイレの心配」が16.9%、「病気」が16.6%となっている。

「その他」(29.5%)では、新型コロナウイルス感染症に関する理由が多く、“感染予防のため”や“感染が怖いから”、“入居施設が外出制限をしているため”などが挙がっている。

(図21-1)

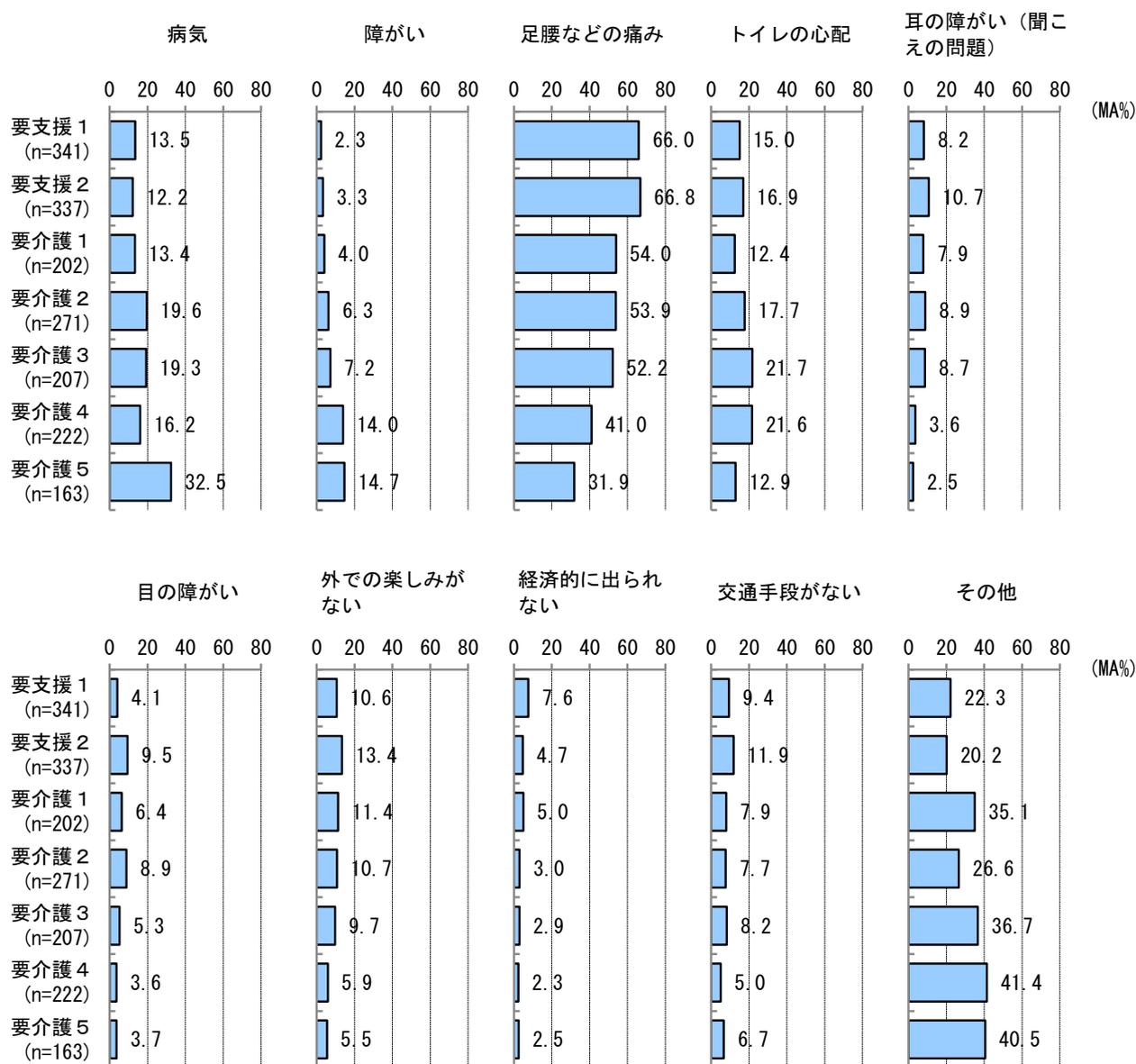
【図21-1 外出を控えている理由】



【介護保険サービス利用者調査】

要介護度別で見ると、要介護5は「病気」が32.5%で最も多く、要支援1・2、要介護1～4では「足腰などの痛み」が4～6割台を占め最も多くなっている。(図21-1-a)

【図21-1-a 外出を控えている理由（要介護度別）】



(6) 介護予防・重度化防止の取り組み

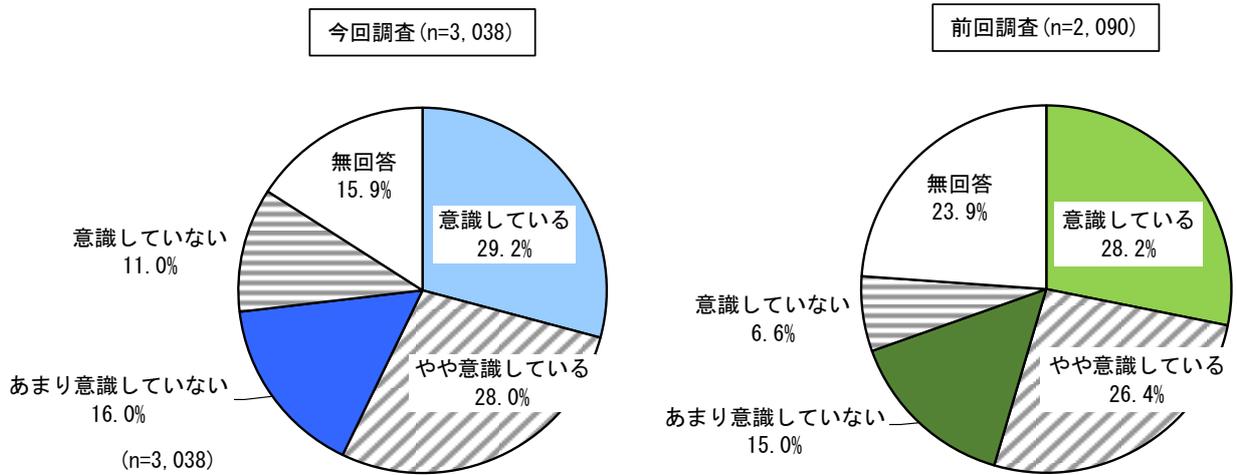
問22 介護予防に対する意識の程度

あなたは、介護予防についてどれほど意識していますか。(〇はひとつ)

介護予防に対する意識の程度については、「意識している」が29.2%で最も多く、次いで「やや意識している」が28.0%となっており、両者を合わせると57.2%の人が介護予防に対して意識をしている。

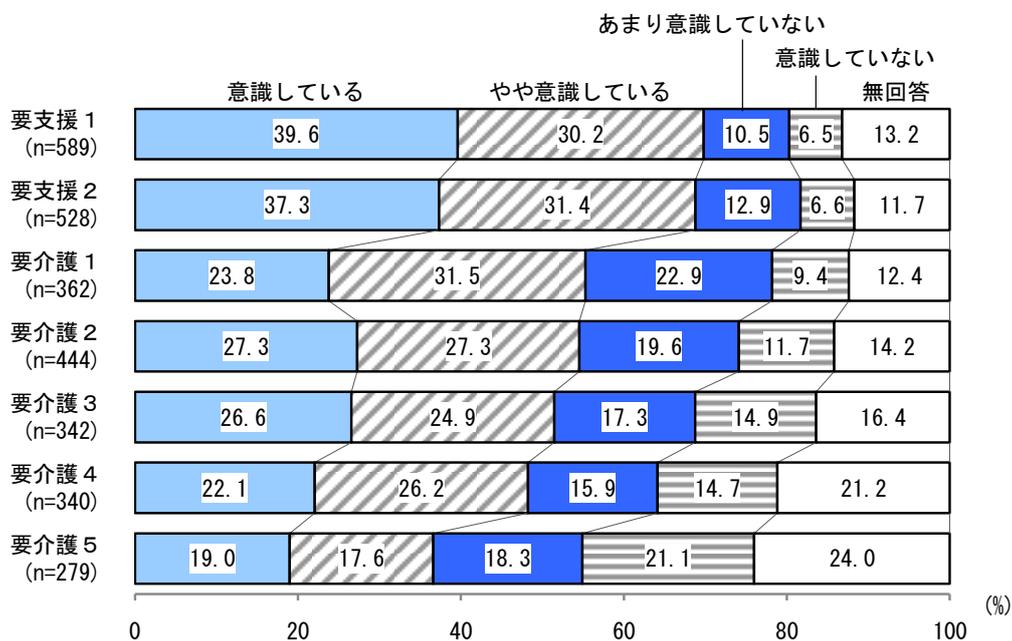
前回調査と比較すると、介護予防を意識している割合は2.6ポイント高くなっている。(図22)

【図22 介護予防に対する意識の程度（経年比較）】



要介護度別で見ると、介護予防に対して意識をしている割合は要支援1で最も高く、要支援1・2で6割台と高い。介護予防に対して意識している割合は重度になるほど低くなる傾向にある。(図22-a)

【図22-a 介護予防に対する意識の程度（要介護度別）】



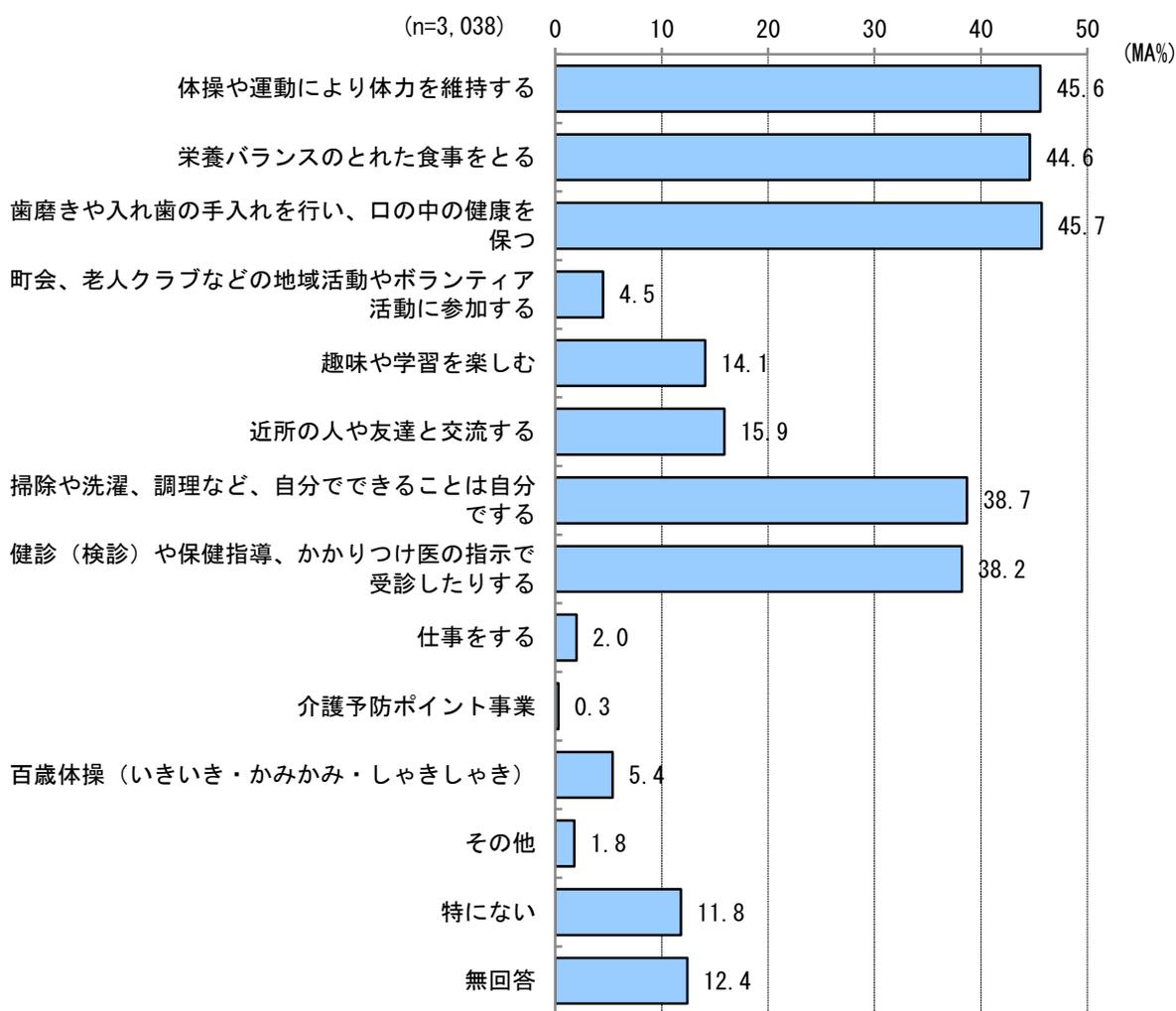
### 問23 介護予防の取り組み状況

あなたが、介護予防として、今取り組んでいること、今後取り組んでみたいことに○をつけてください。(○はいくつでも)

#### ① 取り組んでいること

介護予防として取り組んでいることについては、「歯磨きや入れ歯の手入れを行い、口の中の健康を保つ」が45.7%で最も多く、次いで「体操や運動により体力を維持する」が45.6%、「栄養バランスのとれた食事をとる」が44.6%となっている。(図23①)

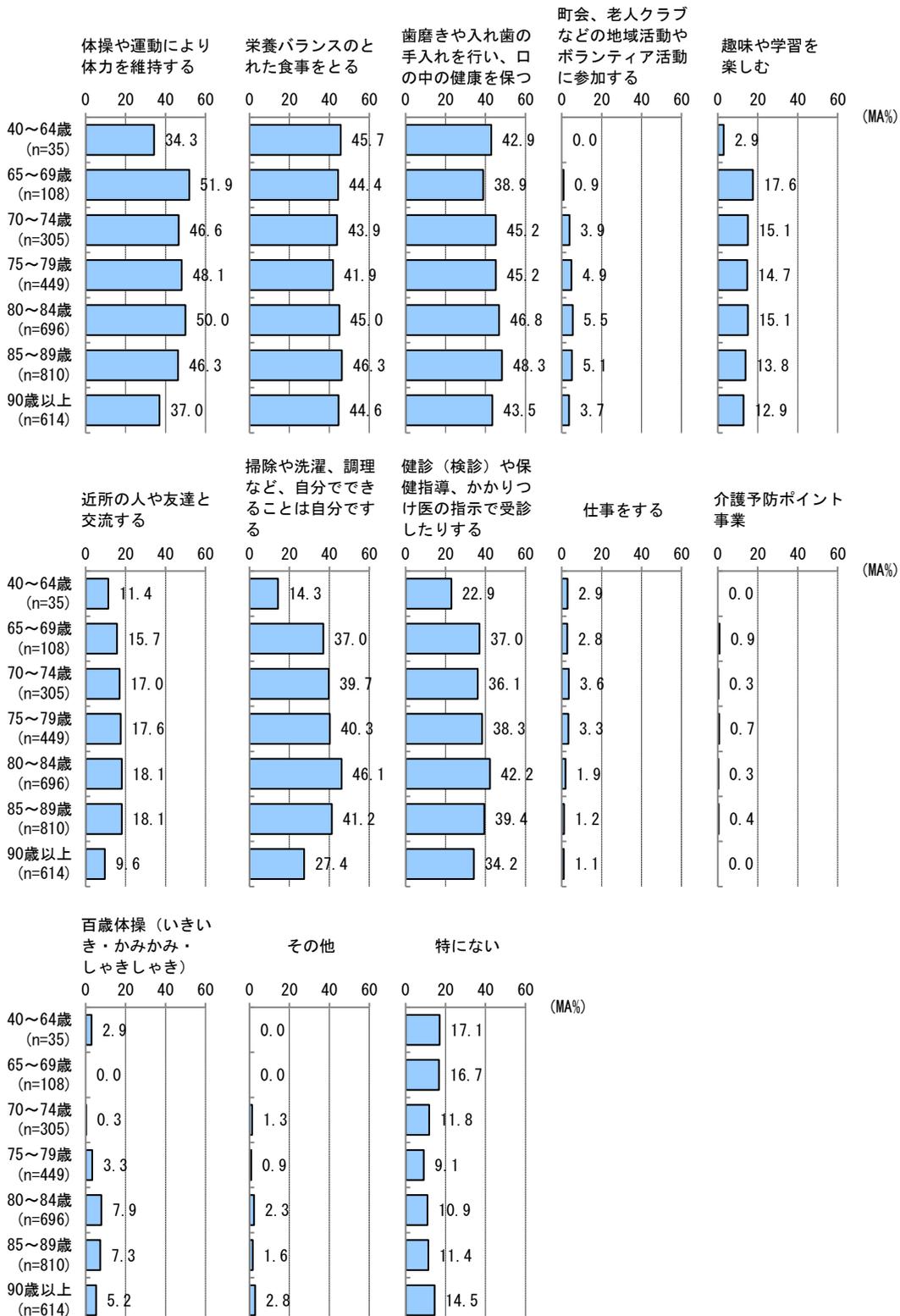
【図23① 介護予防の取り組み状況 ①取り組んでいること】



【介護保険サービス利用者調査】

本人の年齢別で見ると、40～64歳と90歳以上では「栄養バランスのとれた食事をする」が最も多く、85～89歳では「歯磨きや入れ歯の手入れを行い、口の中の健康を保つ」が最も多くなっている。また、65～84歳の年代では「体操や運動により体力を維持する」が最も多くなっている。(図23①-a)

【図23①-a 介護予防の取り組み状況 ①取り組んでいること（本人の年齢別）】

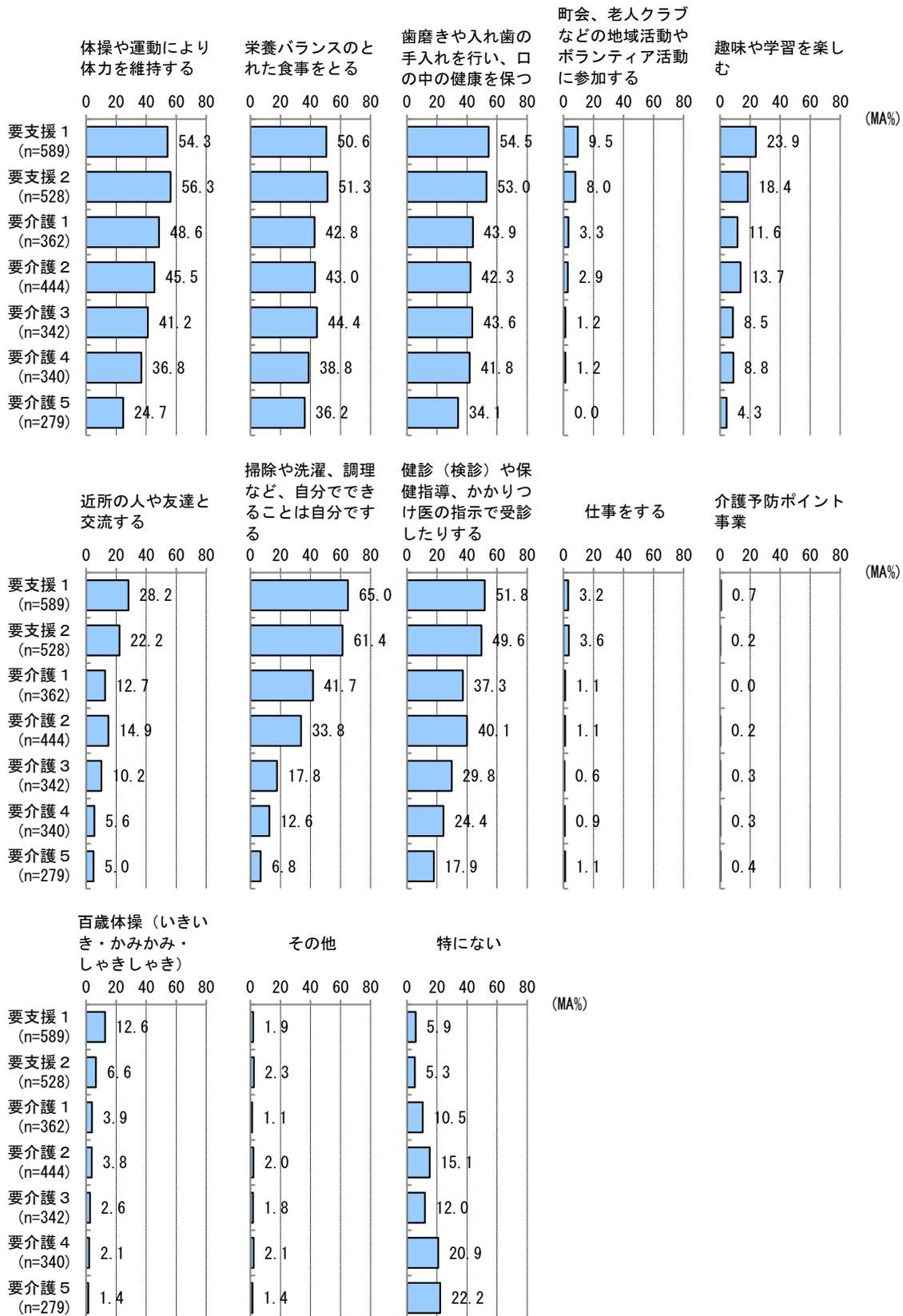


【介護保険サービス利用者調査】

要介護度別でみると、いずれの項目も概ね重度になるほど割合が低くなっている。(図23

①-b)

【図23①-b 介護予防の取り組み状況 ①取り組んでいること（要介護度別）】

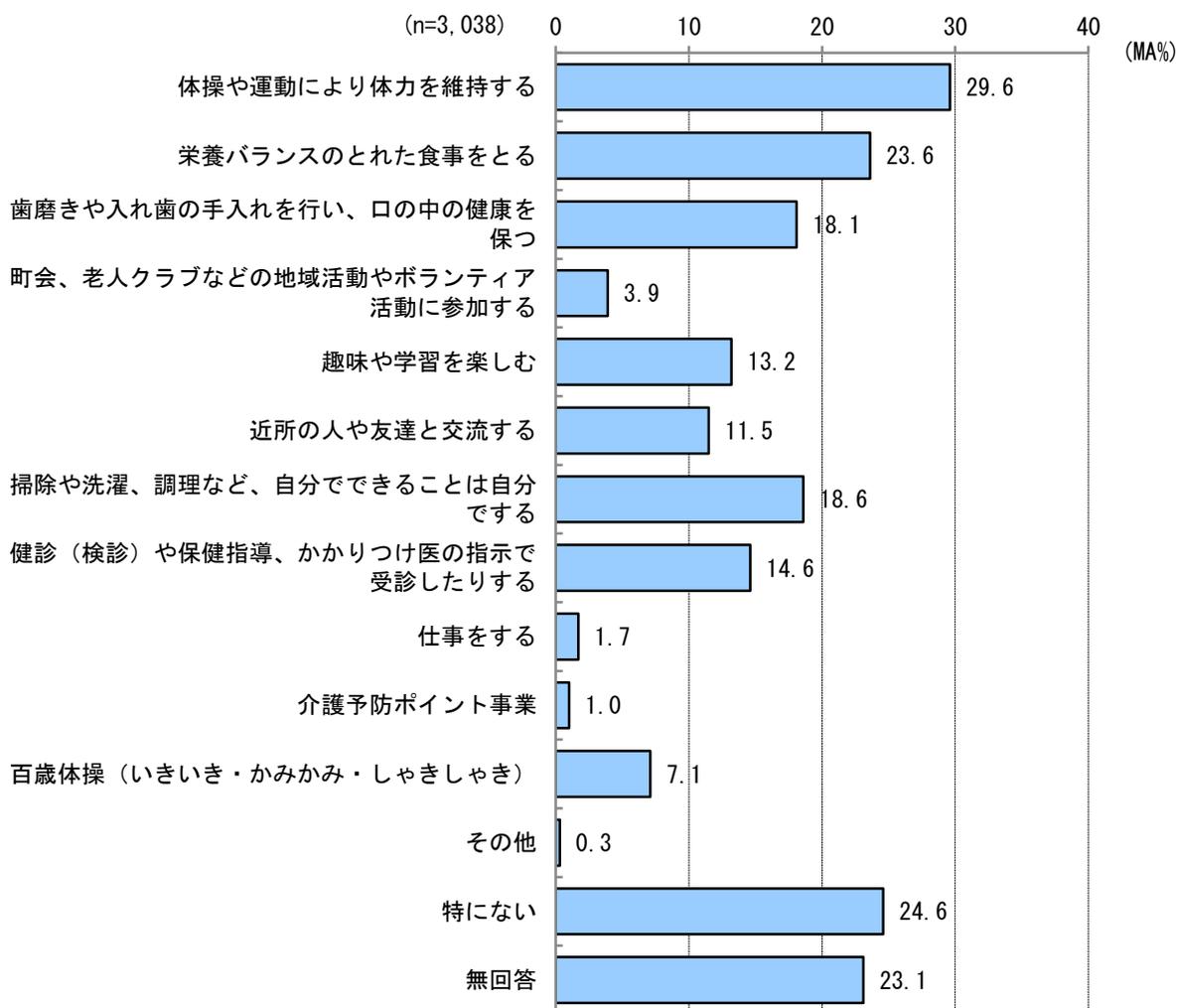


【介護保険サービス利用者調査】

② 取り組んでみたいこと

介護予防として取り組んでみたいことについては、「体操や運動により体力を維持する」が29.6%で最も多く、次いで「栄養バランスのとれた食事をとる」が23.6%、「掃除や洗濯、調理など、自分でできることは自分でする」が18.6%となっている。(図23②)

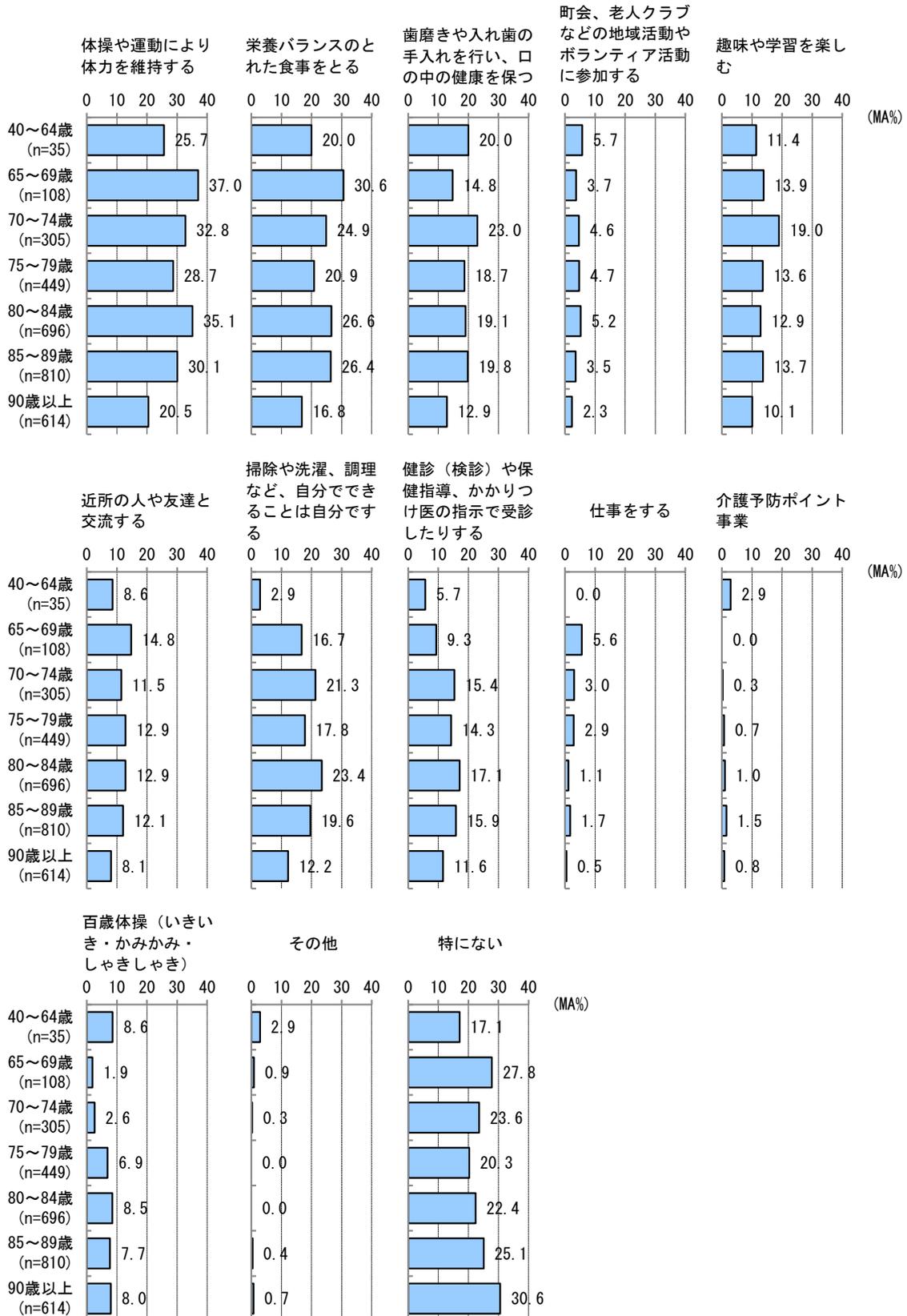
【図23② 介護予防の取り組み状況 ②取り組んでみたいこと】



【介護保険サービス利用者調査】

本人の年齢別で見ると、年齢にかかわらず「体操や運動により体力を維持する」が最も多くなっている。一方、「特にない」は90歳以上が30.6%で最も高い割合となっている。(図23②-a)

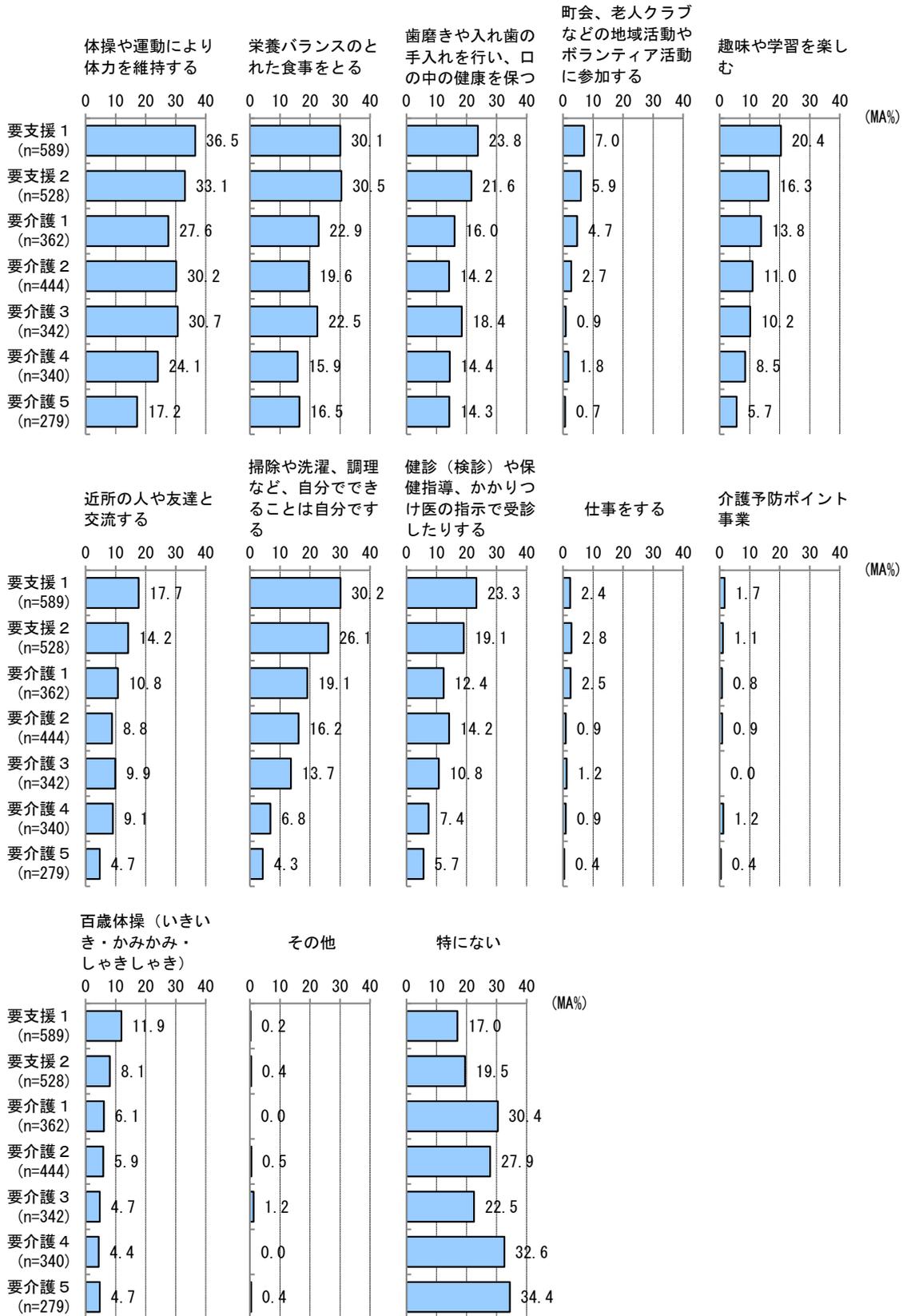
【図23②-a 介護予防の取り組み状況 ②取り組んでみたいこと（本人の年齢別）】



【介護保険サービス利用者調査】

要介護度別で見ると、要介護度にかかわらず「体操や運動により体力を維持する」が最も多くなっている。一方、「特にない」は要介護1・4・5では3割台と高くなっている。(図23②-b)

【図23②-b 介護予防の取り組み状況 ②取り組んでみたいこと(要介護度別)】



### 問23-1 介護予防の取り組みに意向がない理由

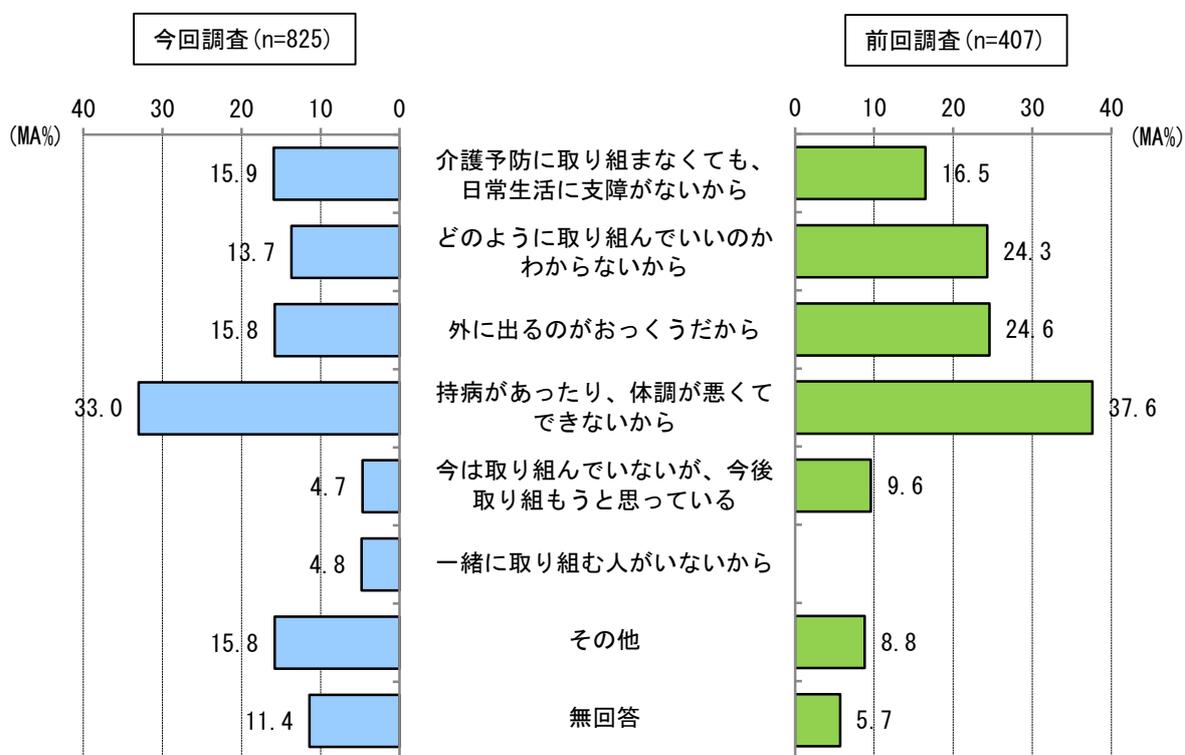
問23の①または②で「13 特にない」と回答された方におうかがいします。

あなたが、介護予防について、取り組んでいない、取り組んでみたいと思わない理由は何ですか。(〇はいくつでも)

介護予防に、取り組んでいない、または取り組んでみたいと思わないと回答した人に、その理由をたずねると、「持病があったり、体調が悪くてできないから」が33.0%で最も多く、次いで「介護予防に取り組まなくても、日常生活に支障がないから」が15.9%、「外に出るのがおっくうだから」が15.8%となっている。

前回調査と比較すると、「どのように取り組んでいいのかわからないから」の割合が10.6ポイント低くなっている。(図23-1)

【図23-1 介護予防の取り組みに意向がない理由（経年比較）】

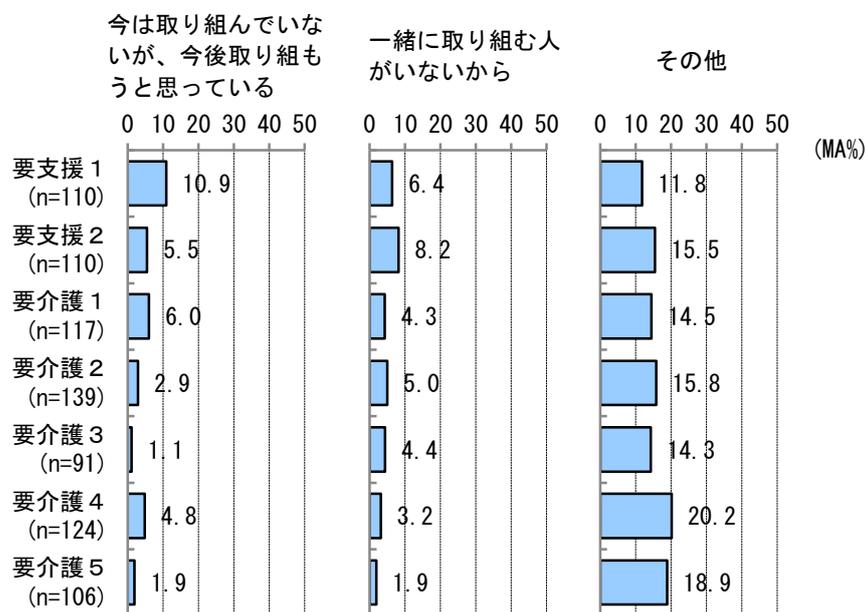
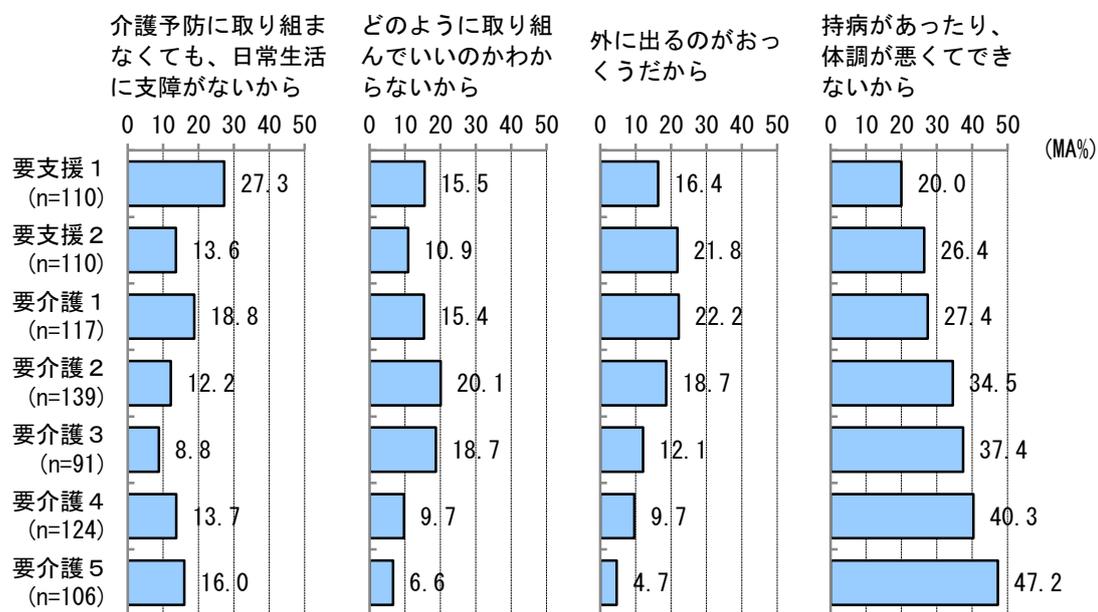


※「一緒に取り組む人がいないから」は、今回調査の新規項目である。

【介護保険サービス利用者調査】

要介護度別で見ると、要支援1では「介護予防に取り組まなくても、日常生活に支障がないから」が最も多いが、要支援2、要介護1～5では「持病があったり、体調が悪くてできないから」が最も多く、重度になるほど割合が高くなっている。(図23-1-a)

【図23-1-a 介護予防の取り組みに意向がない理由（要介護度別）】



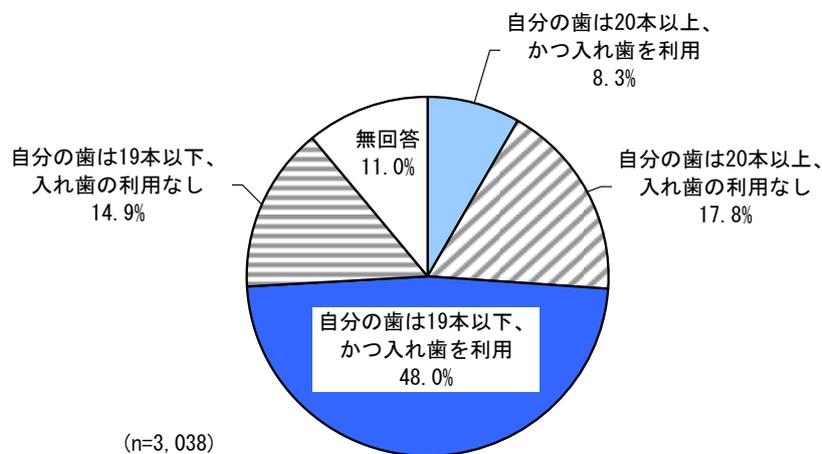
(7) 健康状態

問24 歯の数と入れ歯の利用状況

歯の数と入れ歯の利用状況をお答えください。  
 (成人の歯の総本数は、親知らずを含めて32本です) (○はひとつ)

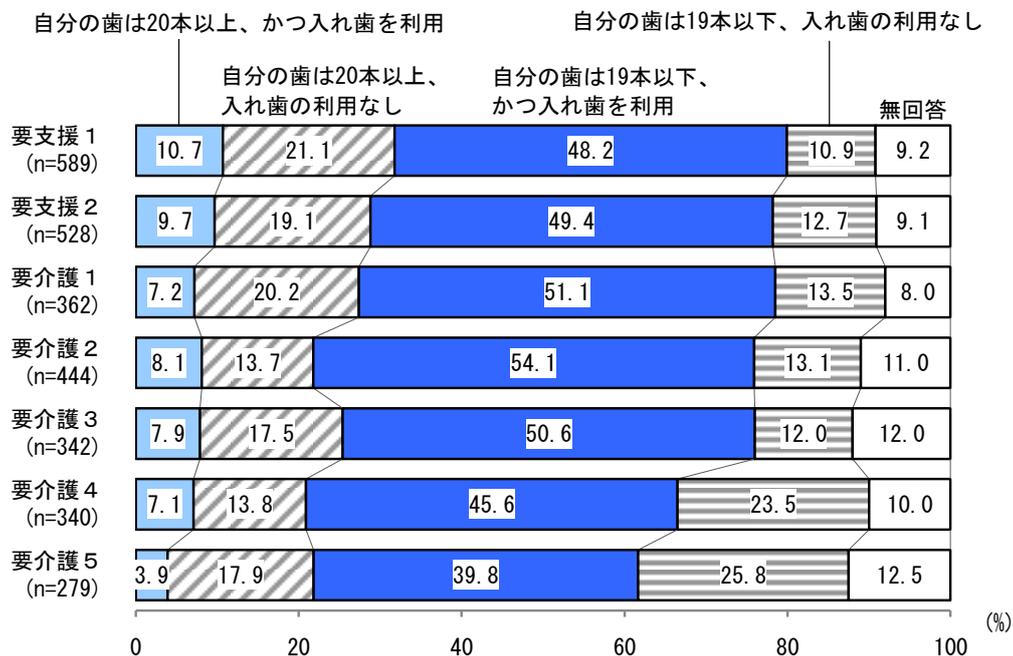
歯の数と入れ歯の利用状況については、「自分の歯は19本以下、かつ入れ歯を利用」が48.0%で最も多く、次いで「自分の歯は20本以上、入れ歯の利用なし」が17.8%で、「自分の歯は19本以下、かつ入れ歯を利用」と「自分の歯は20本以上、かつ入れ歯を利用」(8.3%)をあわせた『入れ歯を利用』の割合は56.3%となっている。(図24)

【図24 歯の数と入れ歯の利用状況】



要介護度別で見ると、「自分の歯は20本以上、かつ入れ歯を利用」、「自分の歯は20本以上、入れ歯の利用なし」はいずれも要支援1が最も高くなっている。(図24-a)

【図24-a 歯の数と入れ歯の利用状況 (要介護度別)】

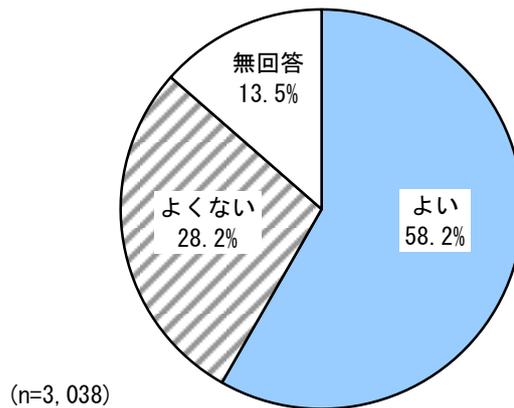


問24-1 かみ合わせ

かみ合わせはよいですか。(〇はひとつ)

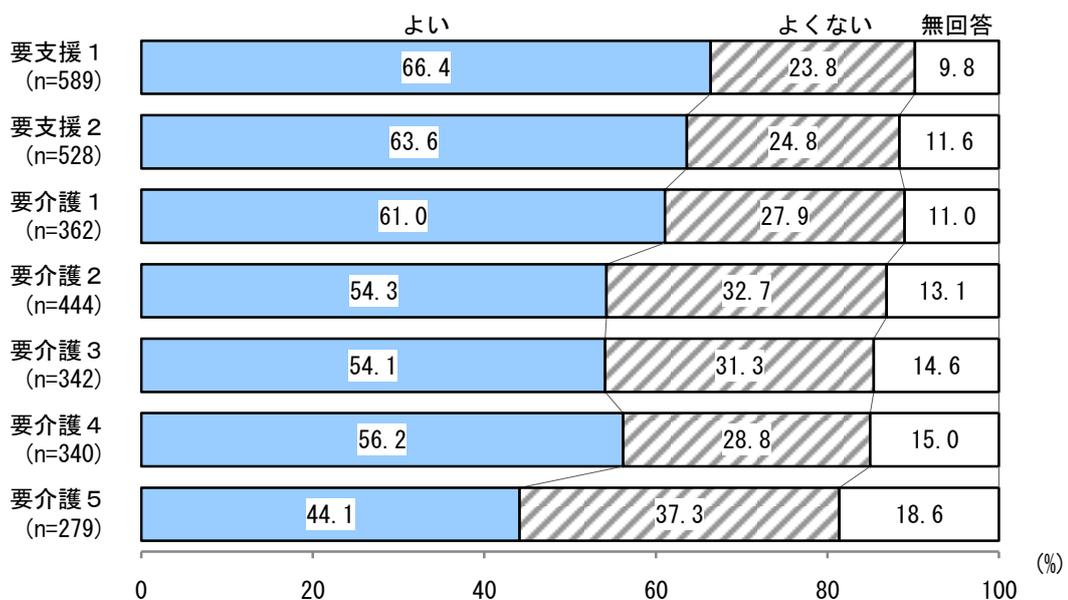
かみ合わせはよいかについては、「よい」が58.2%、「よくない」が28.2%となっている。  
(図24-1)

【図24-1 かみ合わせ】



要介護度別でみると、「よい」の割合は重度になるほど低くなる傾向にあり、要介護5が44.1%で最も低くなっている。(図24-1-a)

【図24-1-a かみ合わせ (要介護度別)】

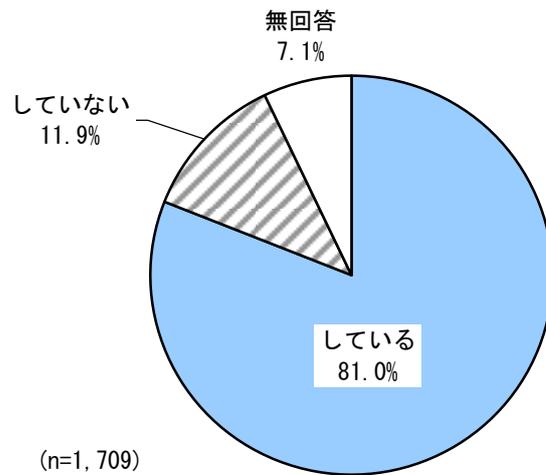


問24-2 入れ歯の手入れ

問24で「1 自分の歯は20本以上、かつ入れ歯を利用」「3 自分の歯は19本以下、かつ入れ歯を利用」と回答された方におうかがいします。  
 毎日入れ歯の手入れをしていますか。(○はひとつ)

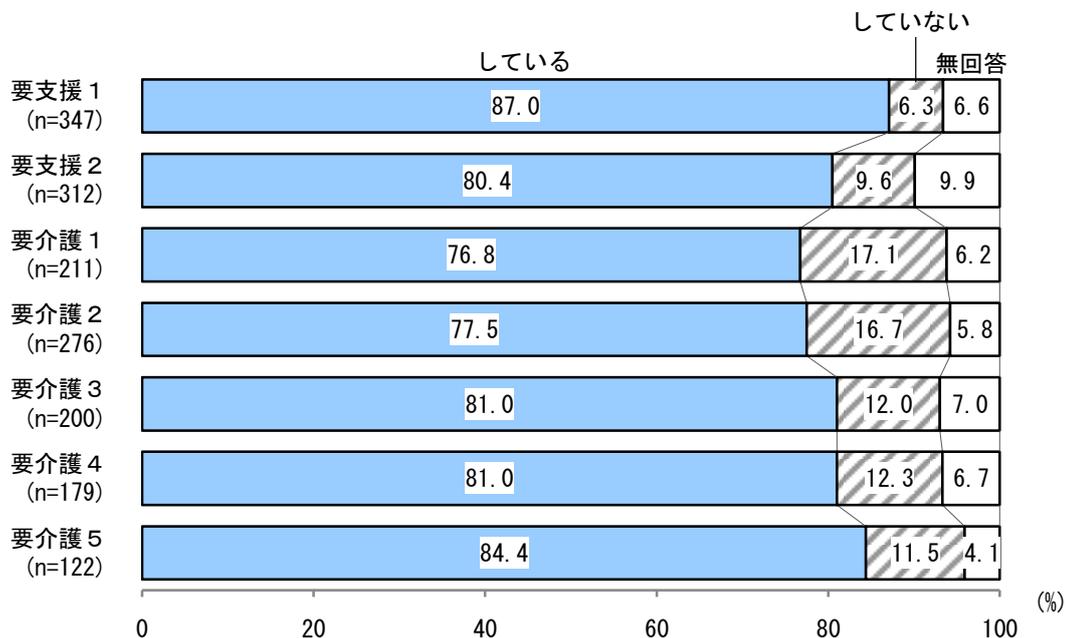
入れ歯を利用していると回答した人に、入れ歯の手入れをしているかについてたずねると、「している」が81.0%で、「していない」が11.9%となっている。(図24-2)

【図24-2 入れ歯の手入れ】



要介護度別で見ると、要介護度にかかわらず「している」が8割前後を占めており、要支援1が87.0%で最も高く、次いで要介護5が84.4%となっている。(図24-2-a)

【図24-2-a 入れ歯の手入れ（要介護度別）】

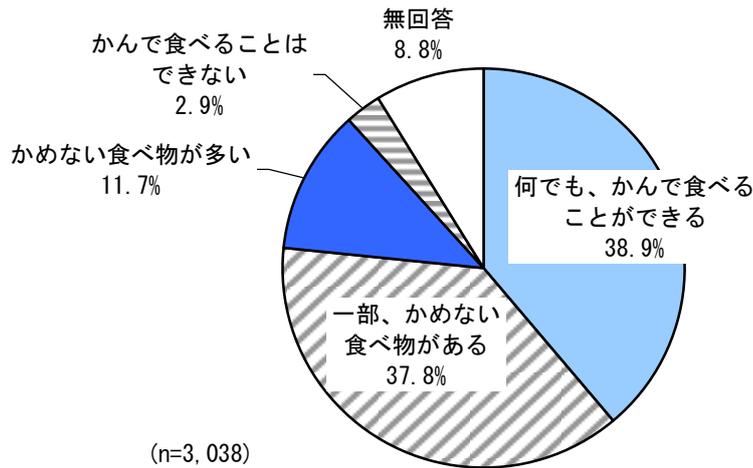


問25 かねで食べることの可否

あなたがかねで食べる時の状態は、次のどれにあてはまりますか。(○はひとつ)

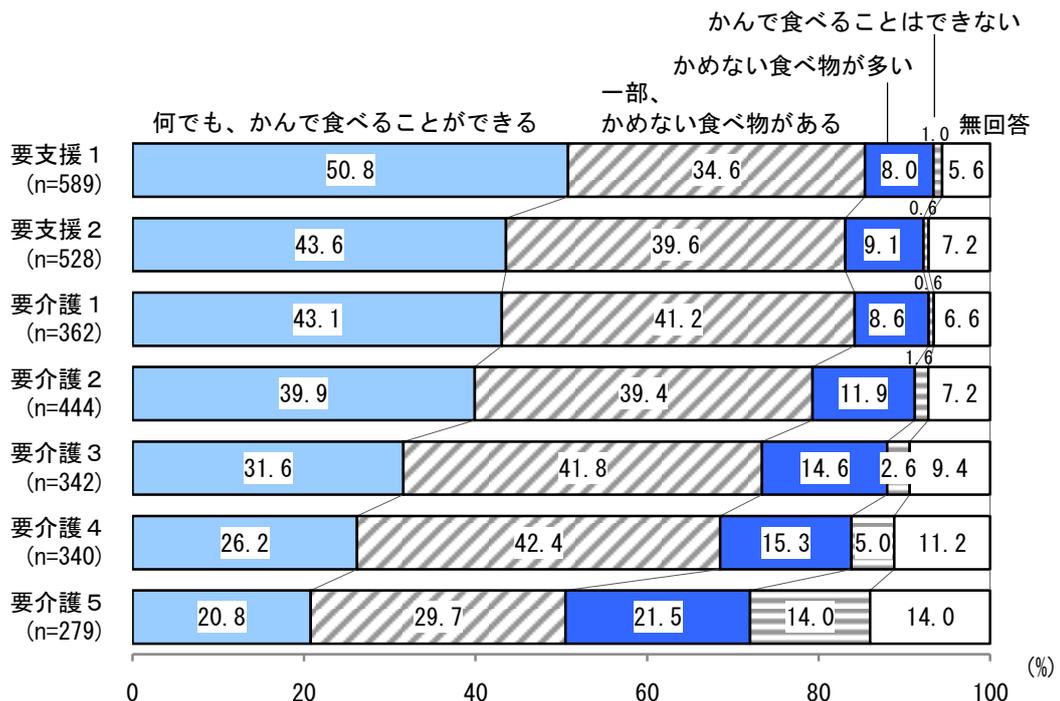
かねで食べる時の状態については、「何でも、かねで食べることができる」が38.9%で最も多く、次いで「一部、かめない食べ物がある」が37.8%、「かめない食べ物が多い」が11.7%となっている。(図25)

【図25 かねで食べることの可否】



要介護度別で見ると、要支援1・2、要介護1・2では「何でも、かねで食べる ことができる」が最も多くなっているが、要介護3以上では「一部、かめない食べ物がある」が最も多くなっている。(図25-a)

【図25-a かねで食べることの可否 (要介護度別)】

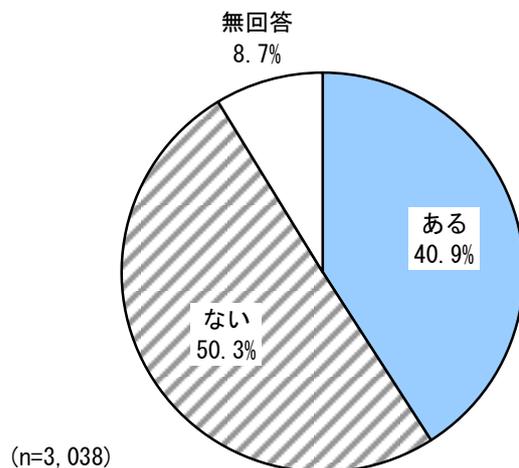


問26 お茶や汁物でむせること

お茶や汁物等でむせることはありますか。(○はひとつ)

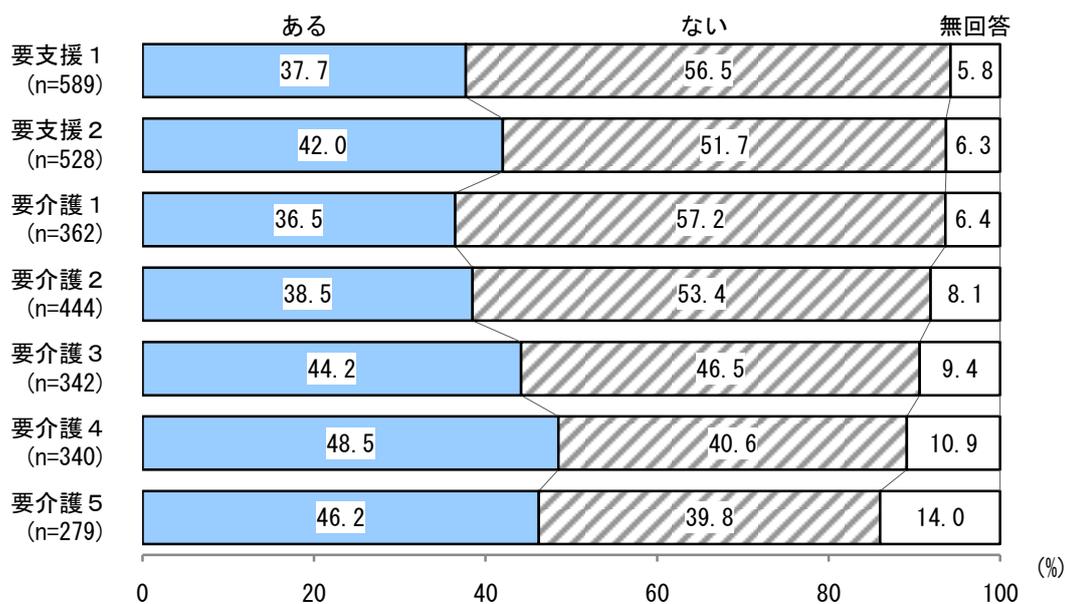
お茶や汁物等でむせることは、「ある」が40.9%、「ない」が50.3%となっている。(図26)

【図26 お茶や汁物でむせること】



要介護度別で見ると、要支援1・2、要介護1～3では「ない」のほうが多くなっているが、要介護4・5では「ある」のほうが多くなっている。(図26-a)

【図26-a お茶や汁物でむせること（要介護度別）】

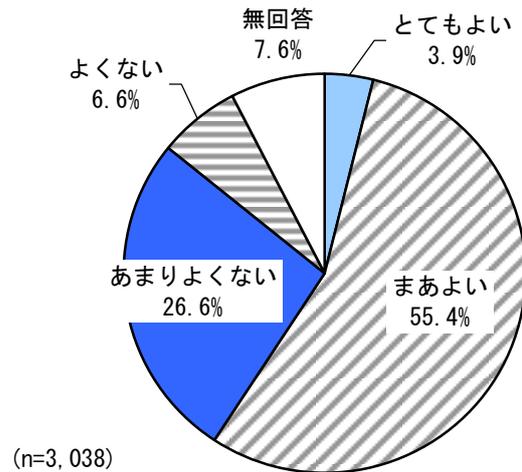


問27 健康状態

現在のあなたの健康状態はいかがですか。(○はひとつ)

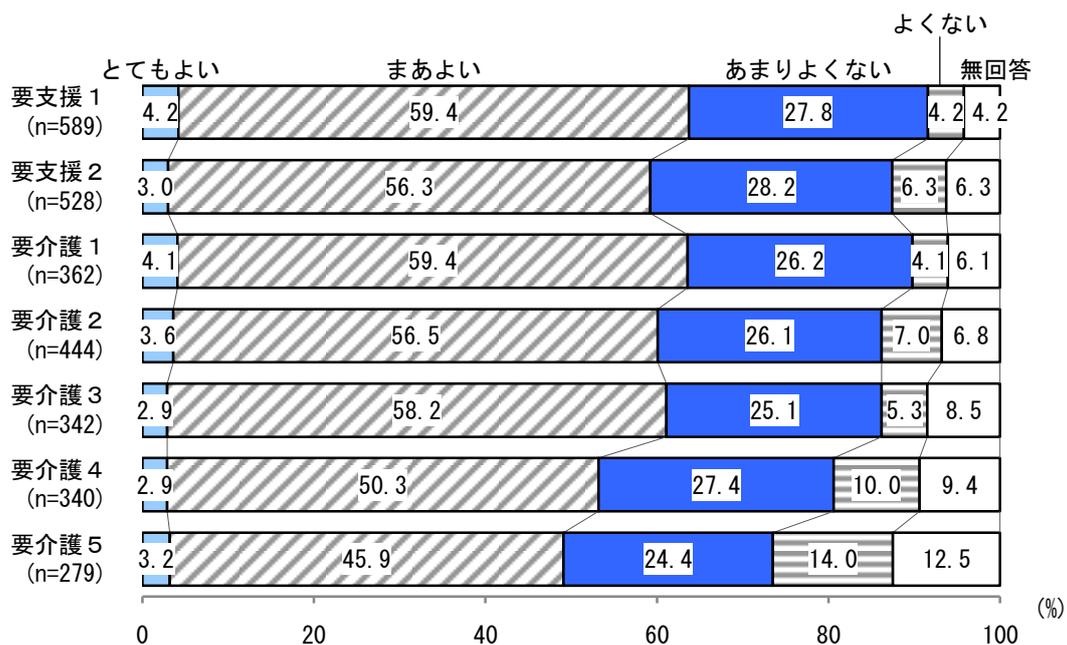
現在の健康状態は、「まあよい」が55.4%で最も多く、次いで「あまりよくない」が26.6%、「よくない」が6.6%となっており、「とてもよい」(3.9%)と「まあよい」をあわせた『よい』割合は59.3%となっている。(図27)

【図27 健康状態】



要介護度別で見ると、『よい』割合は要支援1が63.6%で最も高く、次いで要介護1が63.5%となっている。(図27-a)

【図27-a 健康状態 (要介護度別)】



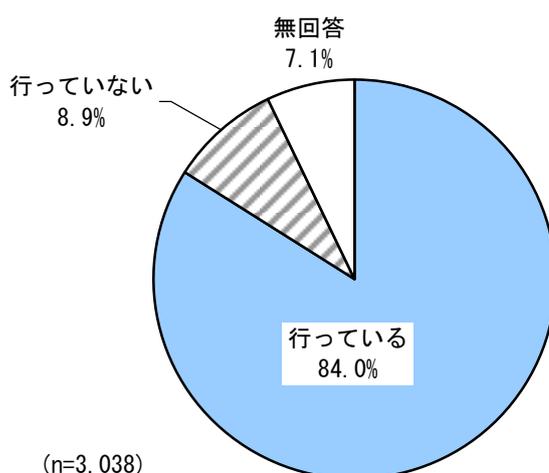
(8) 新型コロナウイルス感染症対策

問28 新型コロナウイルス感染症対策の実施

新型コロナウイルス感染症に対する感染対策を行っていますか。(〇はひとつ)

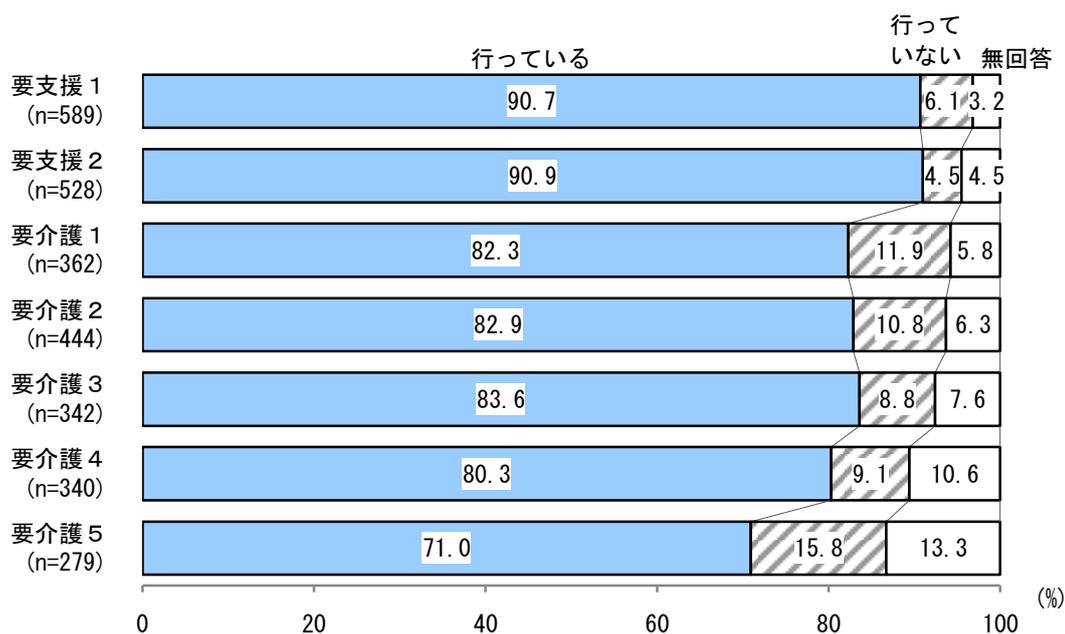
新型コロナウイルス感染症に対する感染対策は、「行っている」が84.0%、「行っていない」が8.9%となっている。(図28)

【図28 新型コロナウイルス感染症対策の実施】



要介護度別でみると、「行っている」は要支援1・2で9割台と高く、要介護5が71.0%で最も低くなっている。(図28-a)

【図28-a 新型コロナウイルス感染症対策の実施 (要介護度別)】

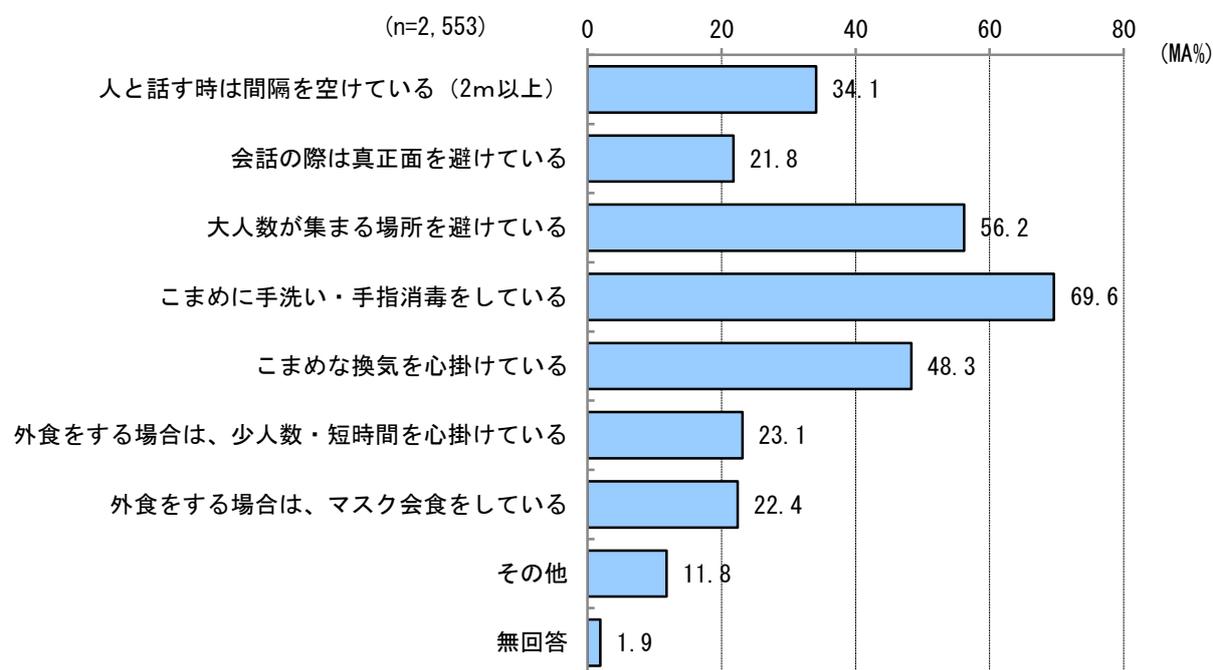


### 問28-1 行っている感染症対策

問28で「1 行っている」と回答された方におうかがいします。  
あなたが行っている感染対策はどのようなものですか。(〇はいくつでも)

新型コロナウイルス感染症対策を行っていると回答した人に、行っている感染症対策についてたずねると、「こまめに手洗い・手指消毒をしている」が69.6%で最も多く、次いで「大人数が集まる場所を避けている」が56.2%、「こまめな換気を心掛けている」が48.3%となっている。(図28-1)

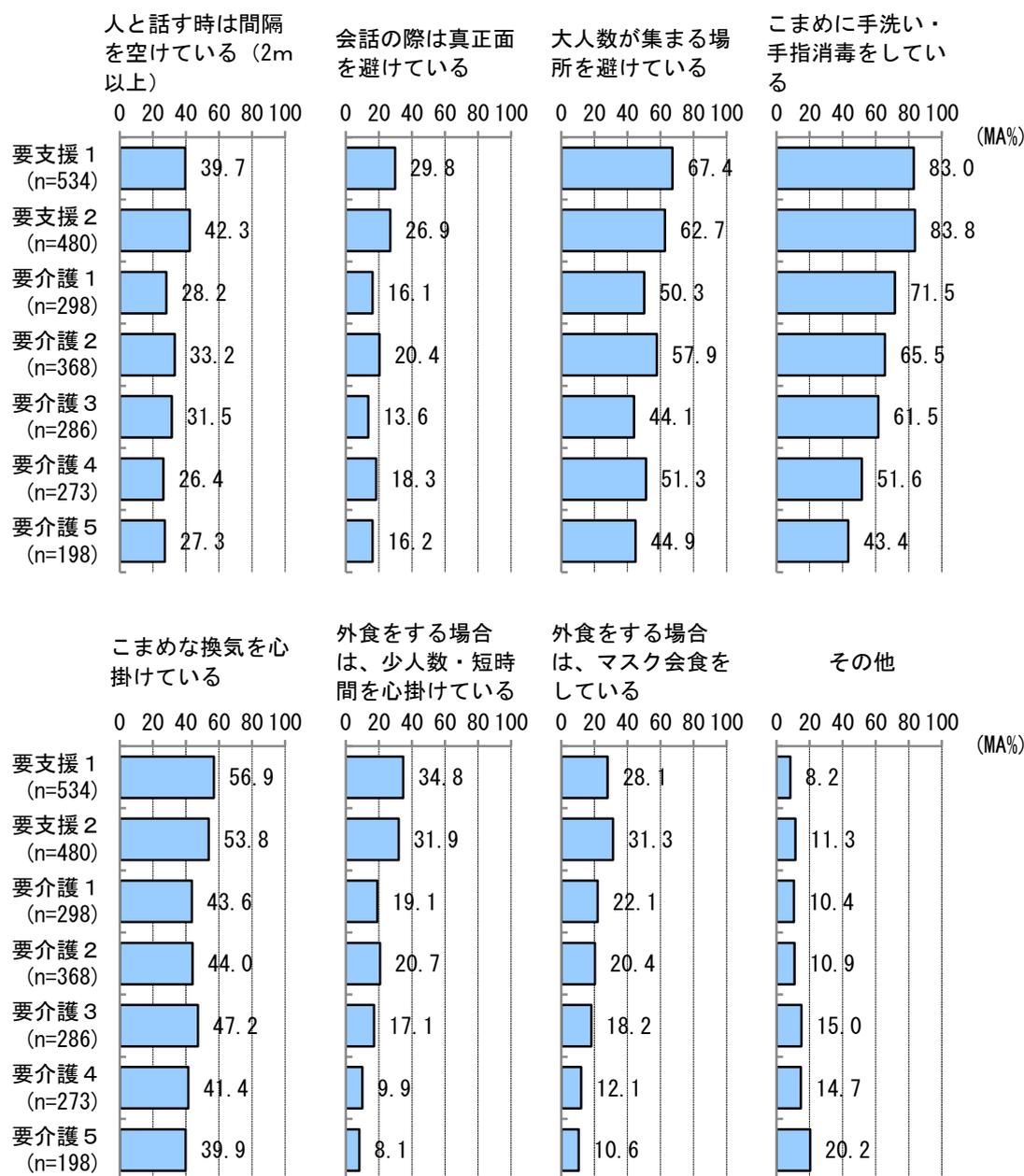
【図28-1 行っている感染症対策】



【介護保険サービス利用者調査】

要介護度別で見ると、いずれの項目も要支援1・2で割合が高く、概ね重度になるほど割合が低くなる傾向にある。(図28-1-a)

【図28-1-a 行っている感染症対策（要介護度別）】

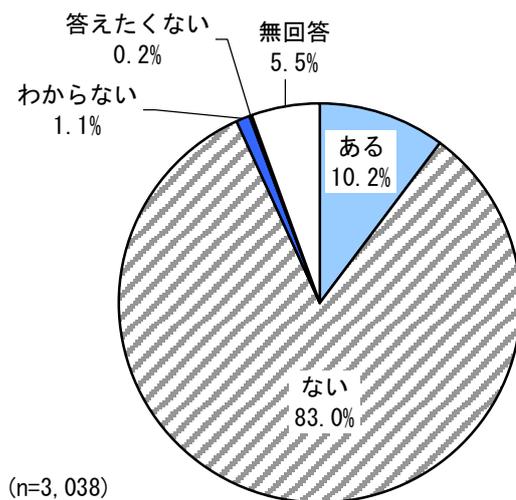


### 問29 新型コロナウイルス感染症に感染した経験

あなたは、新型コロナウイルス感染症に感染した経験はありますか。  
 (本調査は個人を特定するものではありません) (〇はひとつ)

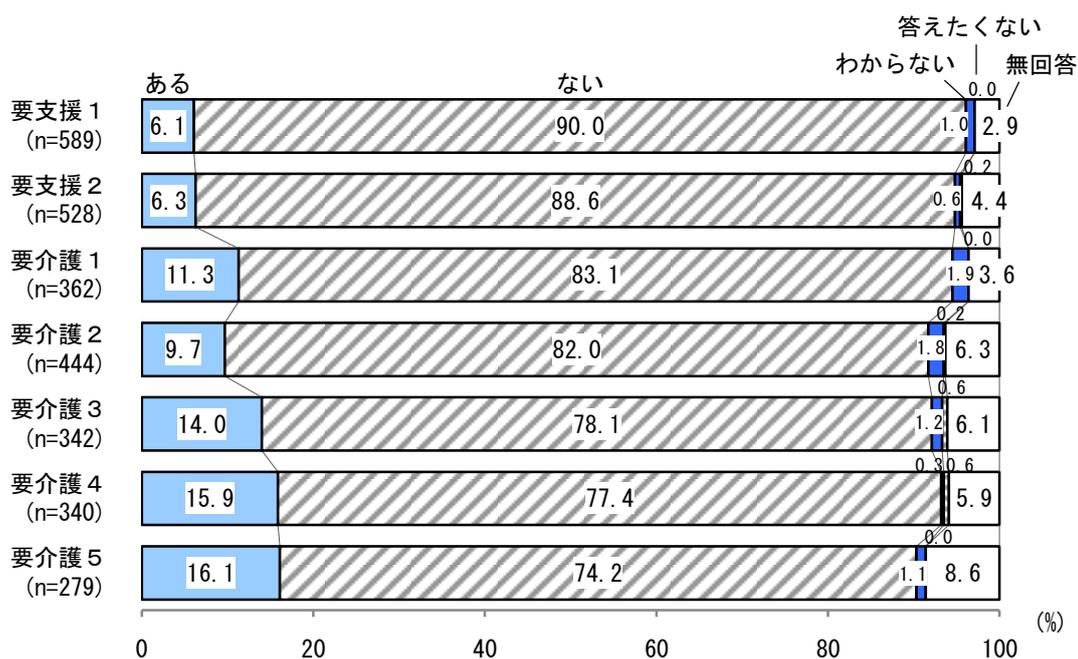
新型コロナウイルス感染症に感染した経験については、「ある」が10.2%、「ない」が83.0%となっている。(図29)

【図29 新型コロナウイルス感染症に感染した経験】



要介護度別で見ると、「ある」は要介護5が16.1%で最も高く、次いで要介護4が15.9%となっている。(図29-a)

【図29-a 新型コロナウイルス感染症に感染した経験 (要介護度別)】



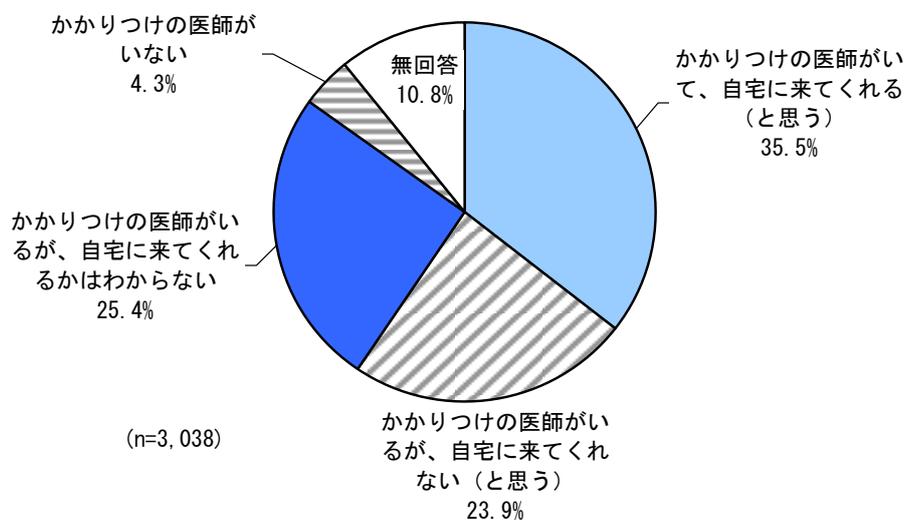
(9) かかりつけ医・かかりつけ歯科医師・かかりつけ薬剤師

問30 かかりつけの医師の訪問診療の有無

かかりつけの医師はあなたが通院できなくなった時に自宅に来てくれますか。(○はひとつ)

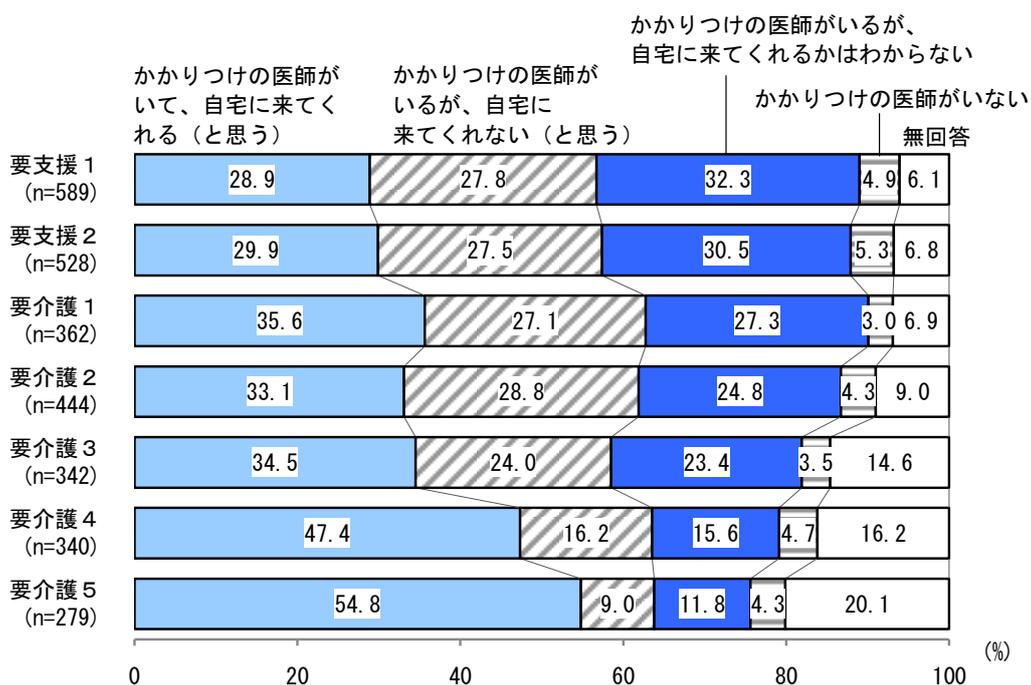
通院できなくなった時のかかりつけの医師の訪問診療については、「かかりつけの医師がいて、自宅に来てくれる(と思う)」が35.5%で最も多く、次いで「かかりつけの医師がいるが、自宅に来てくれるかはわからない」が25.4%、「かかりつけの医師がいるが、自宅に来てくれない(と思う)」が23.9%となっている。(図30)

【図30 かかりつけの医師の訪問診療の有無】



要介護度別でみると、「かかりつけの医師がいて、自宅に来てくれる(と思う)」は要介護5が54.8%で最も高く、次いで要介護4が47.4%となっている。(図30-a)

【図30-a かかりつけの医師の訪問診療の有無(要介護度別)】

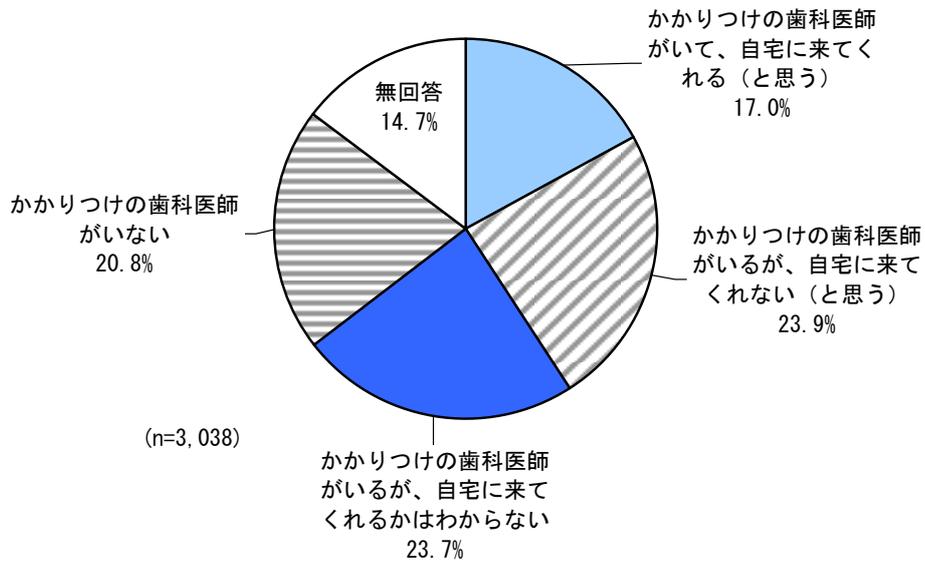


**問31 かかりつけの歯科医師の訪問診療の有無**

かかりつけの歯科医師はあなたが通院できなくなった時に自宅に来てくれますか。  
(○はひとつ)

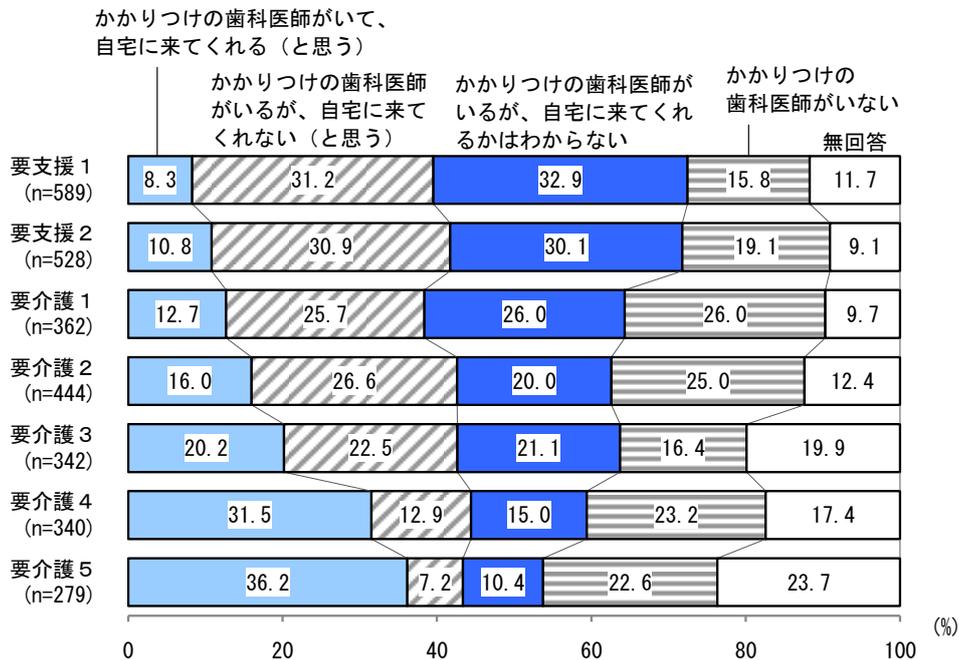
通院できなくなった時のかかりつけの歯科医師の訪問診療については、「かかりつけの歯科医師がいるが、自宅に来てくれない(と思う)」が23.9%で最も多く、次いで「かかりつけの歯科医師がいるが、自宅に来てくれるかはわからない」が23.7%、「かかりつけの歯科医師がない」が20.8%となっている。(図31)

【図31 かかりつけの歯科医師の訪問診療の有無】



要介護度別で見ると、「かかりつけの歯科医師がいて、自宅に来てくれる(と思う)」の割合は重度になるほど高くなり、要介護5が36.2%で最も高くなっている。(図31-a)

【図31-a かかりつけの歯科医師の訪問診療の有無(要介護度別)】

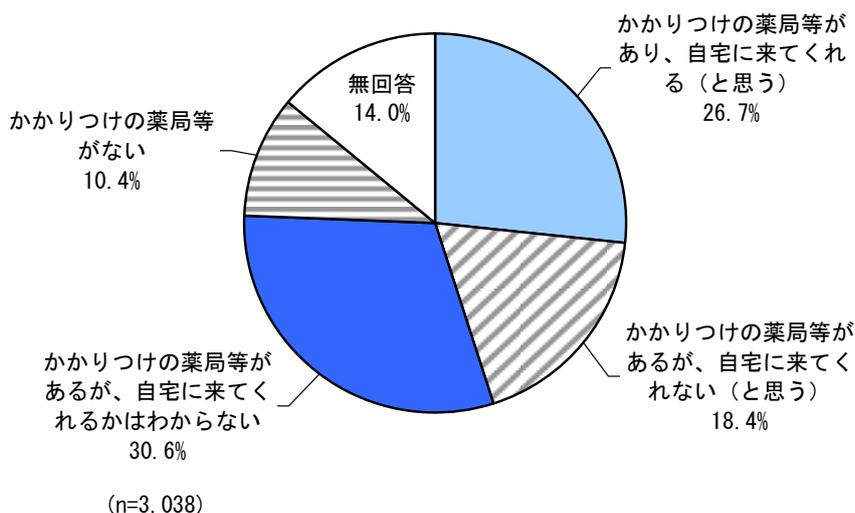


**問32 かかりつけ薬剤師・薬局の訪問の有無**

かかりつけの薬剤師・薬局はあなたが通院できなくなった時に自宅に来てくれますか。(〇はひとつ)

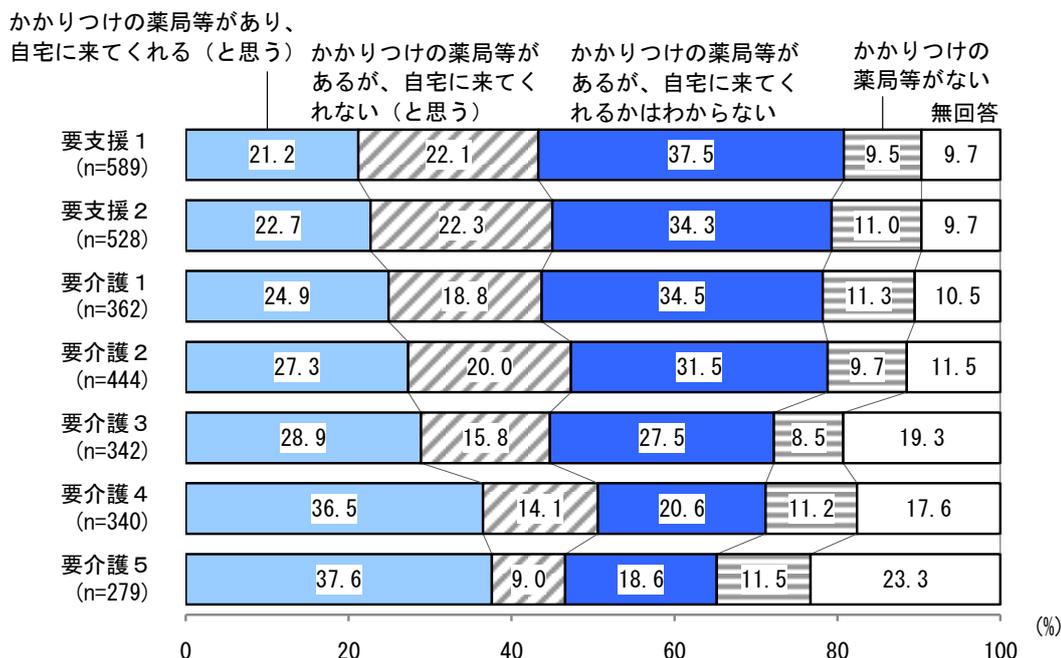
通院できなくなった時のかかりつけの薬剤師・薬局の訪問については、「かかりつけの薬局等があるが、自宅に来てくれるかはわからない」が30.6%で最も多く、次いで「かかりつけの薬局等があり、自宅に来てくれる(と思う)」が26.7%、「かかりつけの薬局等があるが、自宅に来てくれない(と思う)」が18.4%となっている。(図32)

【図32 かかりつけ薬剤師・薬局の訪問の有無】



要介護度別でみると、「かかりつけの薬局等があり、自宅に来てくれる(と思う)」の割合は重度になるほど高くなり、要介護5が37.6%で最も高くなっている。(図32-a)

【図32-a かかりつけ薬剤師・薬局の訪問の有無(要介護度別)】



(10) 地域活動

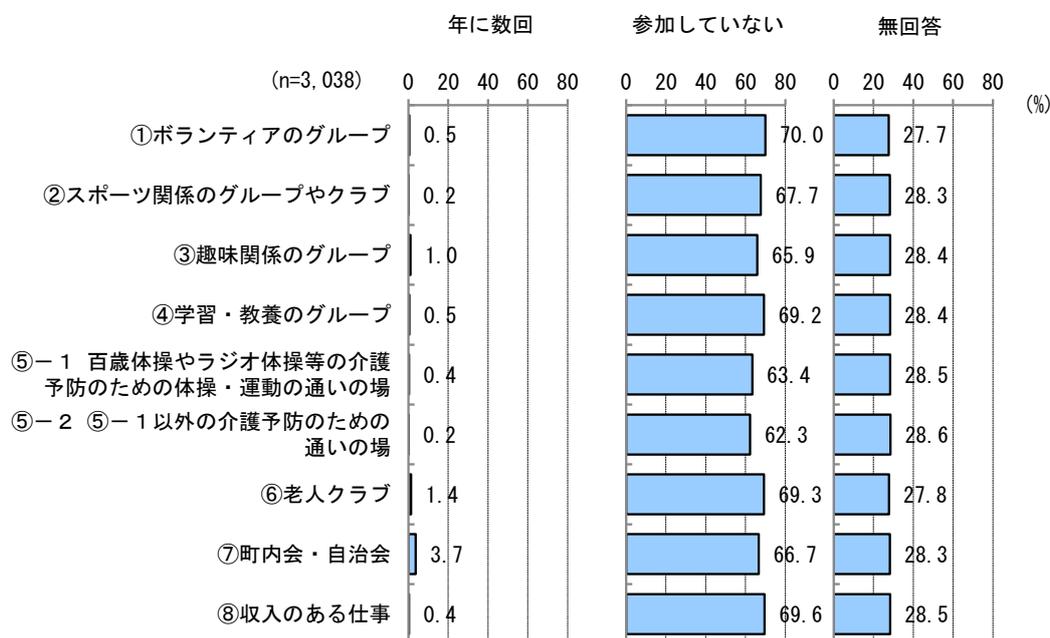
問33 地域の会・グループ等への参加頻度

以下のような会・グループ等にどのくらいの頻度で参加していますか。(〇はひとつ)  
 ①～⑧それぞれに回答してください。(それぞれ〇はひとつ)

地域の会・グループ等への参加頻度についてたずねた。

いずれの会・グループ等も「参加していない」が過半数を占めている。参加している会・グループ等は、“⑤-1 百歳体操やラジオ体操等の介護予防のための体操・運動の通いの場”では「週1回」が3.0%で最も多く、“⑤-2 ⑤-1以外の介護予防のための通いの場”では「週2～3回」が3.7%で最も多くなっている。(図33)

【図33 地域の会・グループ等への参加頻度】

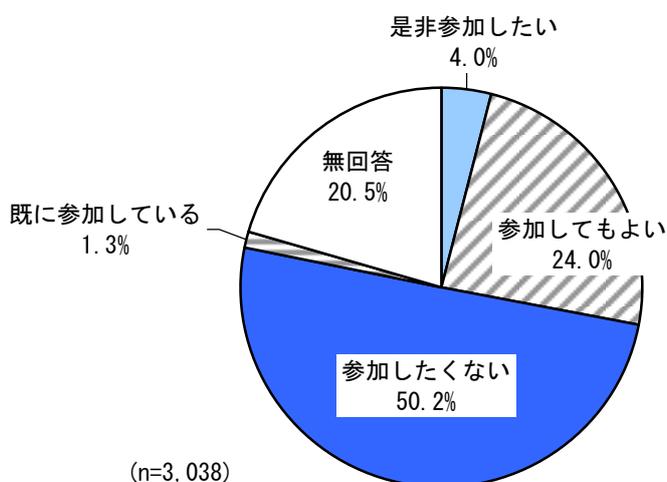


### 問33-1 地域づくり活動に参加者としての参加意向

地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に参加者として参加してみたいと思いますか。(〇はひとつ)

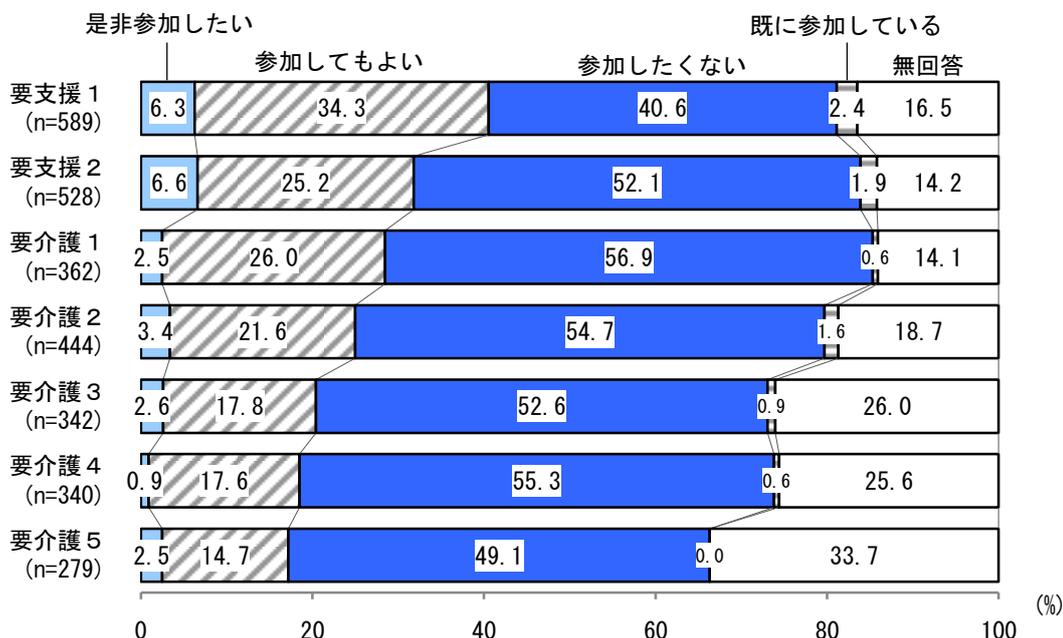
地域づくり活動に参加者としての参加意向については、「参加したくない」が50.2%で最も多く、次いで「参加してもよい」が24.0%、「是非参加したい」が4.0%となっている。(図33-1)

【図33-1 地域づくり活動に参加者としての参加意向】



要介護度別で見ると、「参加したくない」は要介護1が56.9%で最も高く、次いで要介護4が55.3%となっている。(図33-1-a)

【図33-1-a 地域づくり活動に参加者としての参加意向 (要介護度別)】

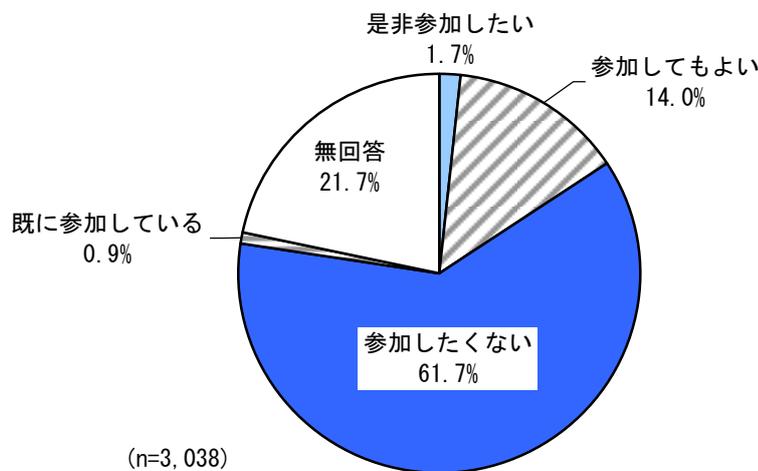


問33-2 地域づくり活動に企画・運営としての参加意向

地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に企画・運営（お世話役）として参加してみたいと思いますか。（〇はひとつ）

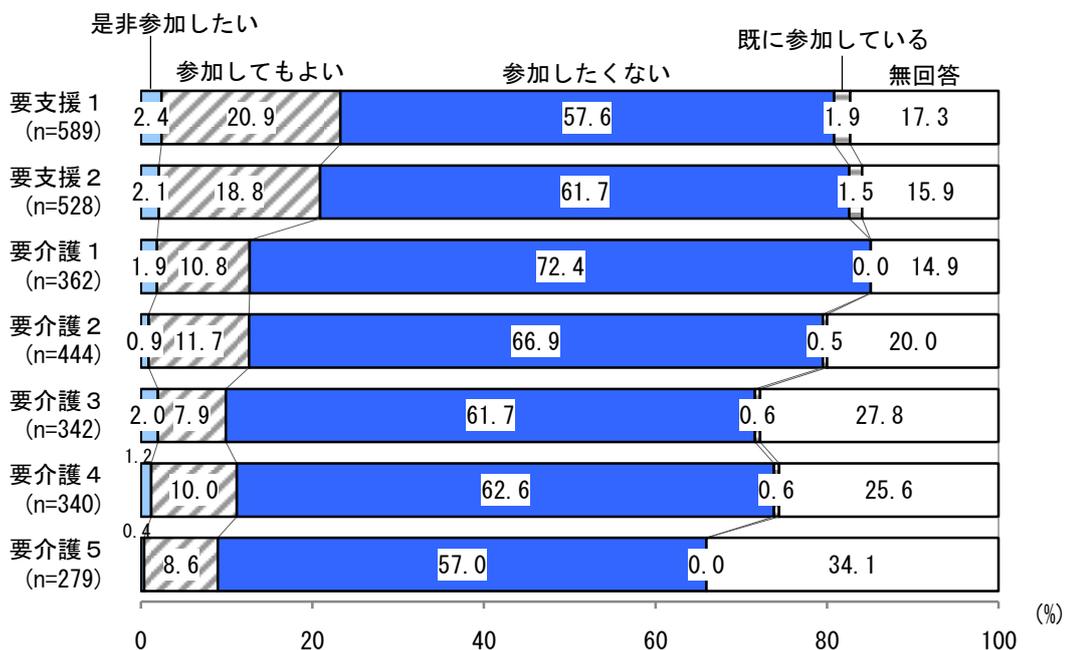
地域づくり活動に企画・運営（お世話役）としての参加意向については、「参加したくない」が61.7%で最も多く、次いで「参加してもよい」が14.0%、「是非参加したい」が1.7%となっている。（図33-2）

【図33-2 地域づくり活動に企画・運営としての参加意向】



要介護度別で見ると、「参加したくない」は要介護1が72.4%で最も高い。「是非参加したい」、「参加してもよい」、「既に参加している」はいずれも要支援1で最も高くなっている。（図33-2-a）

【図33-2-a 地域づくり活動に企画・運営としての参加意向（要介護度別）】



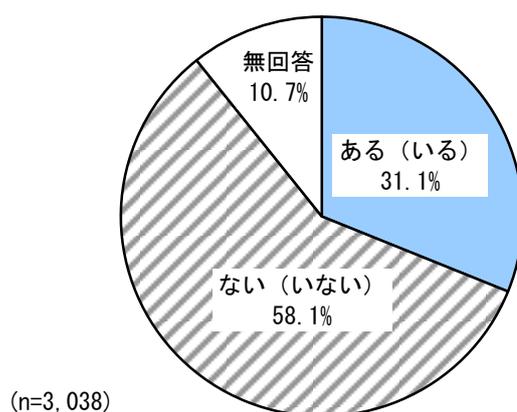
(11) 認知症

問34 認知症状の有無

認知症の症状（物忘れの悪化など認知症の疑いも含む）がある、又は家族に認知症の症状がある人がいますか。（○はひとつ）

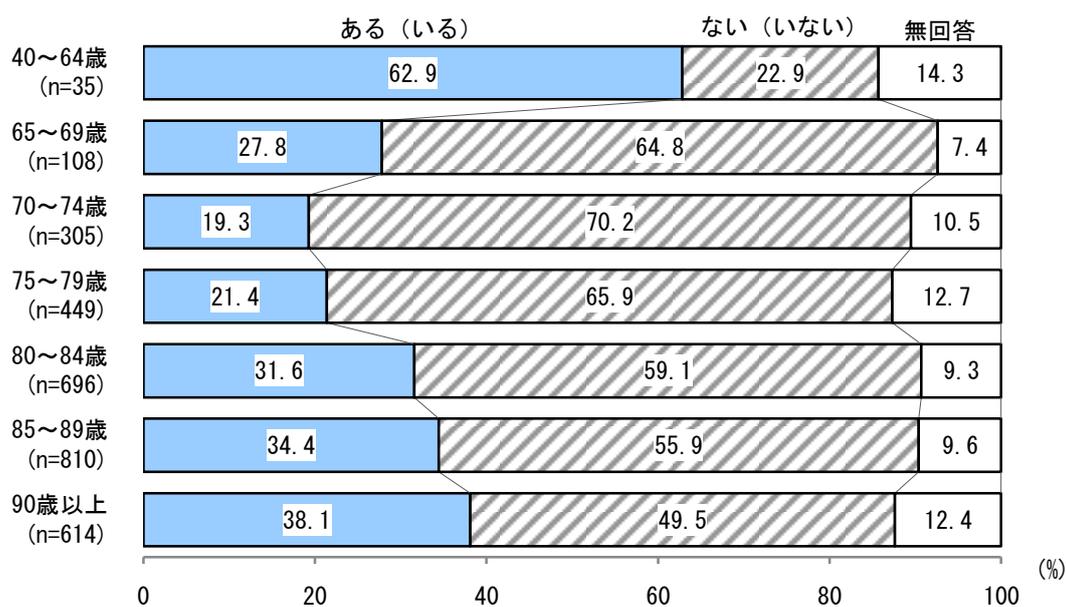
認知症の症状がある、又は家族に認知症の症状がある人の有無については、「ある（いる）」が31.1%、「ない（いない）」が58.1%となっている。（図34）

【図34 認知症状の有無】



本人の年齢別で見ると、「ある（いる）」は40～64歳が62.9%で最も高く、次いで90歳以上が38.1%となっている。（図34-a）

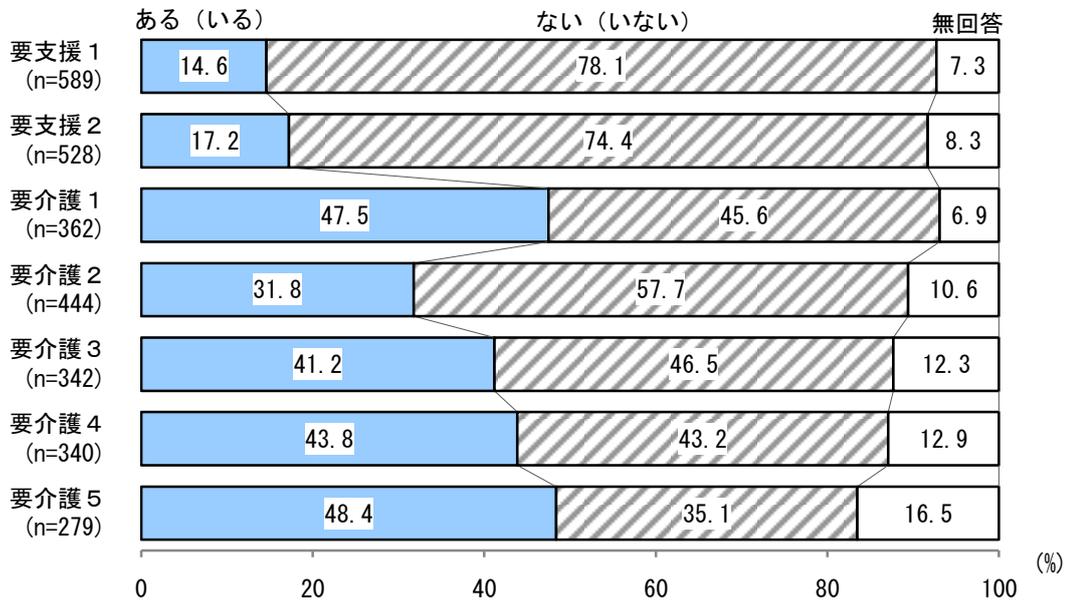
【図34-a 認知症状の有無（本人の年齢別）】



【介護保険サービス利用者調査】

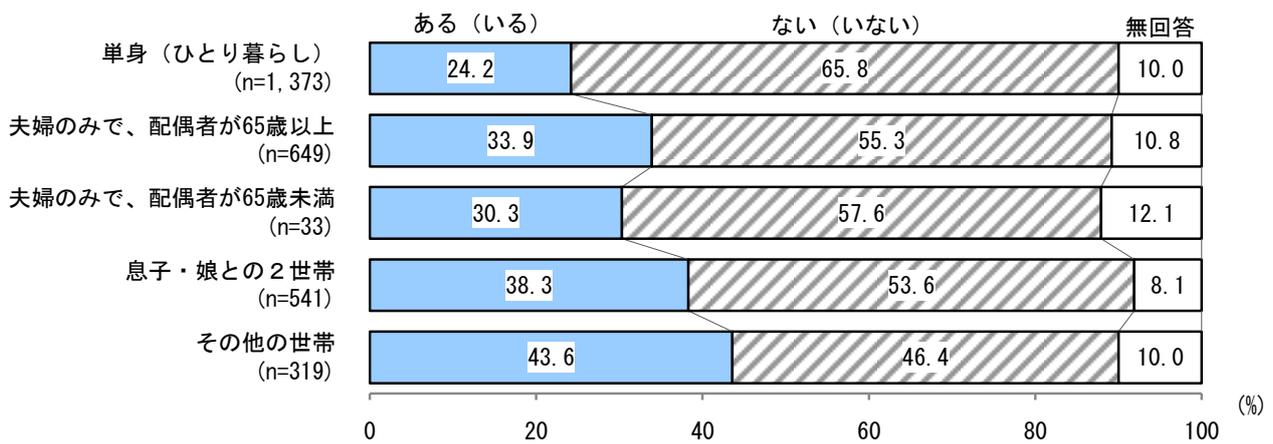
要介護度別で見ると、「ある（いる）」は要介護5が48.4%で最も高く、次いで要介護1が47.5%となっている。（図34-b）

【図34-b 認知症状の有無（要介護度別）】



世帯状況別で見ると、「ある（いる）」はその他の世帯が43.6%で最も高く、次いで息子・娘との2世帯が38.3%となっている。（図34-c）

【図34-c 認知症状の有無（世帯状況別）】

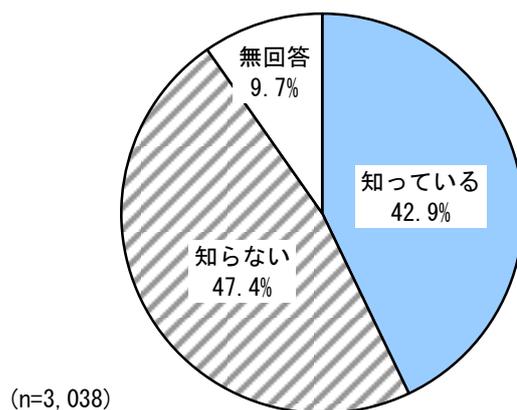


### 問34-1 認知症に関する相談窓口の認知度

認知症に関する相談窓口を知っていますか。(〇はひとつ)

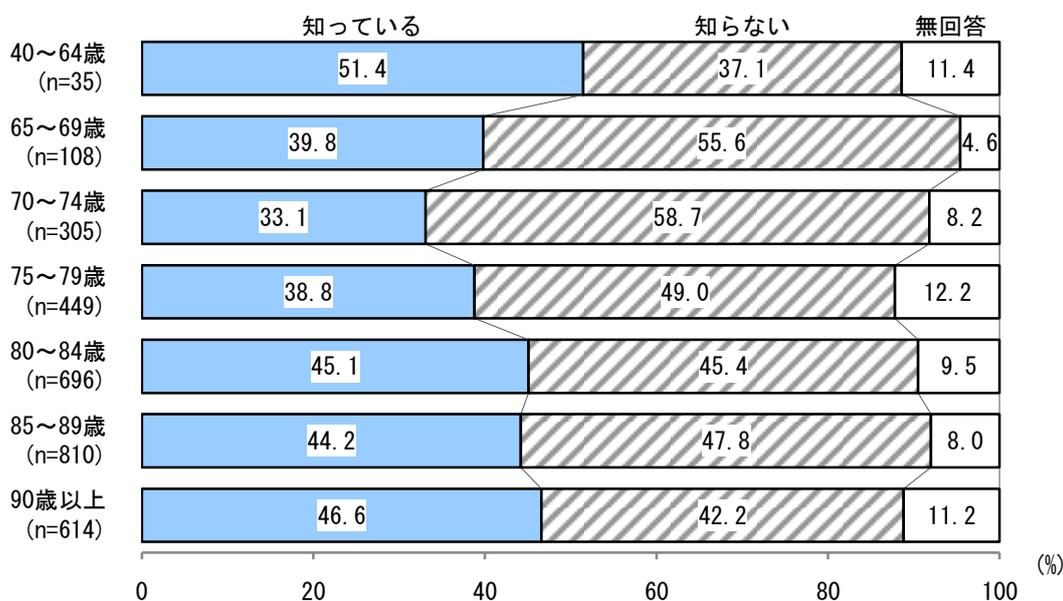
認知症に関する相談窓口の認知度については、「知っている」が42.9%、「知らない」が47.4%となっている。(図34-1)

【図34-1 認知症に関する相談窓口の認知度】



本人の年齢別でみると、「知っている」は40～64歳が51.4%で最も高く、次いで90歳以上が46.6%、80～84歳が45.1%となっている。(図34-1-a)

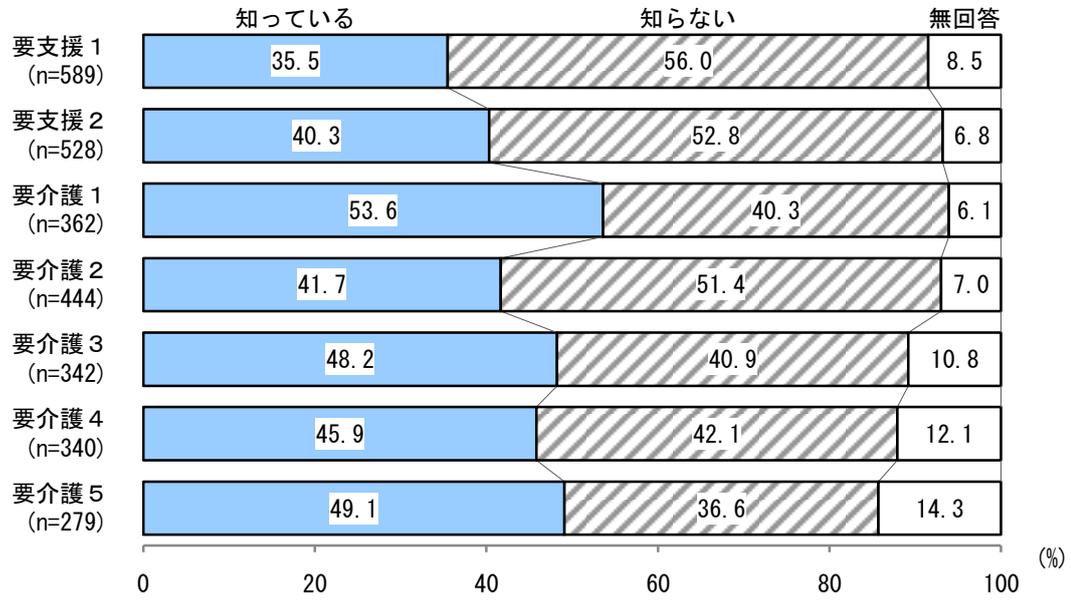
【図34-1-a 認知症に関する相談窓口の認知度（本人の年齢別）】



【介護保険サービス利用者調査】

要介護度別で見ると、「知っている」は要介護1が53.6%で最も高く、次いで要介護5が49.1%、要介護3が48.2%となっている。(図34-1-b)

【図34-1-b 認知症に関する相談窓口の認知度（要介護度別）】



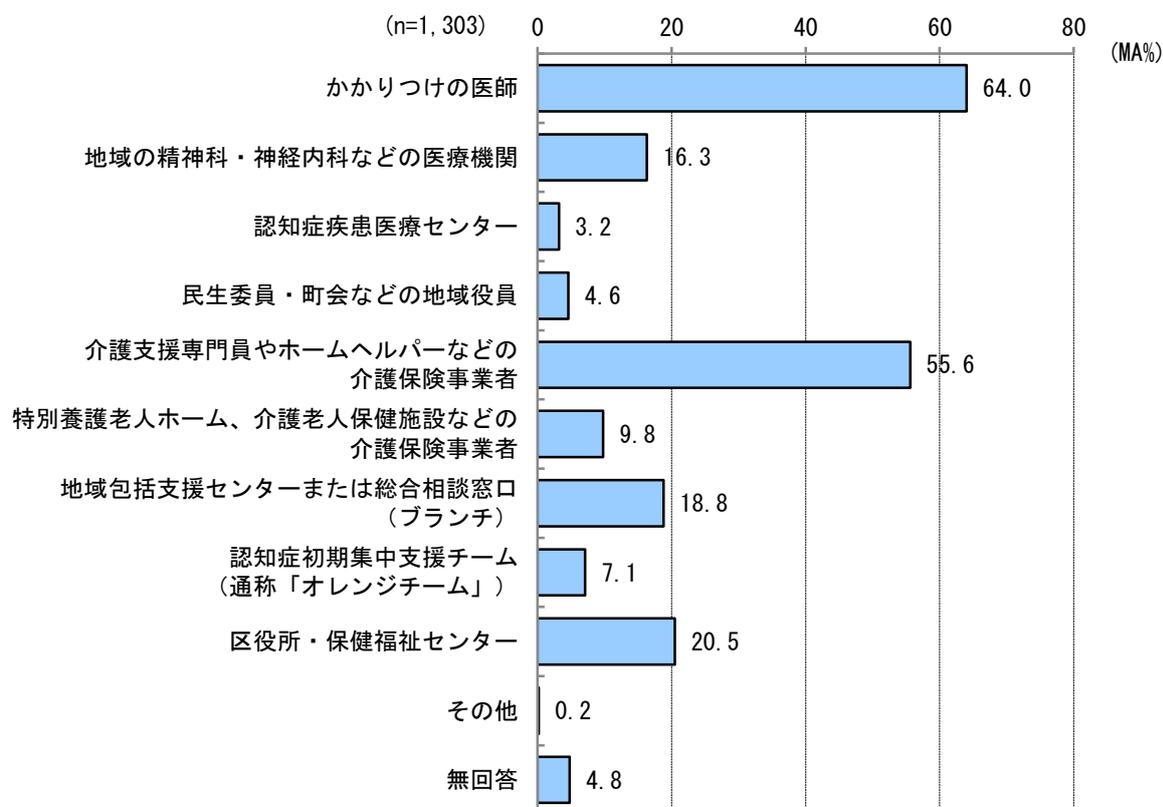
### 問34-2 知っている認知症に関する相談窓口

問34-1で「1 はい」と回答された方におうかがいします。

あなたが認知症に関する相談窓口として知っているところはどこですか。(〇はいくつでも)

認知症に関する相談窓口を知っていると回答した人に、知っている相談窓口についてたずねると、「かかりつけの医師」が64.0%で最も多く、次いで「介護支援専門員やホームヘルパーなどの介護保険事業者」が55.6%、「区役所・保健福祉センター」が20.5%となっている。(図34-2)

【図34-2 知っている認知症に関する相談窓口】

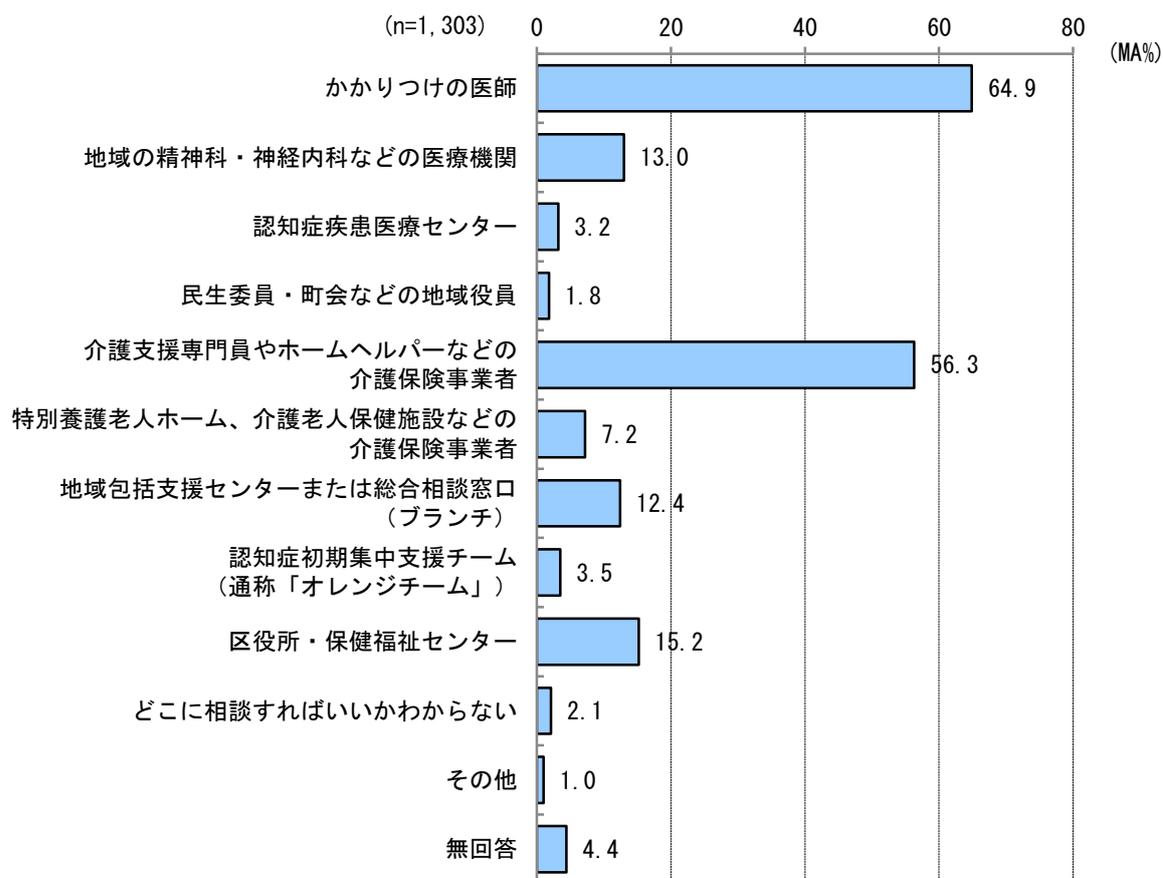


### 問34-3 認知症についての相談先

あなたは、あなた又はあなたのご家族が認知症について不安を感じる時は、どちらに相談されますか。(〇はいくつでも)

認知症の不安に対する相談先については、「かかりつけの医師」が64.9%で最も多く、次いで「介護支援専門員やホームヘルパーなどの介護保険事業者」が56.3%、「区役所・保健福祉センター」が15.2%となっている。(図34-3)

【図34-3 認知症についての相談先】



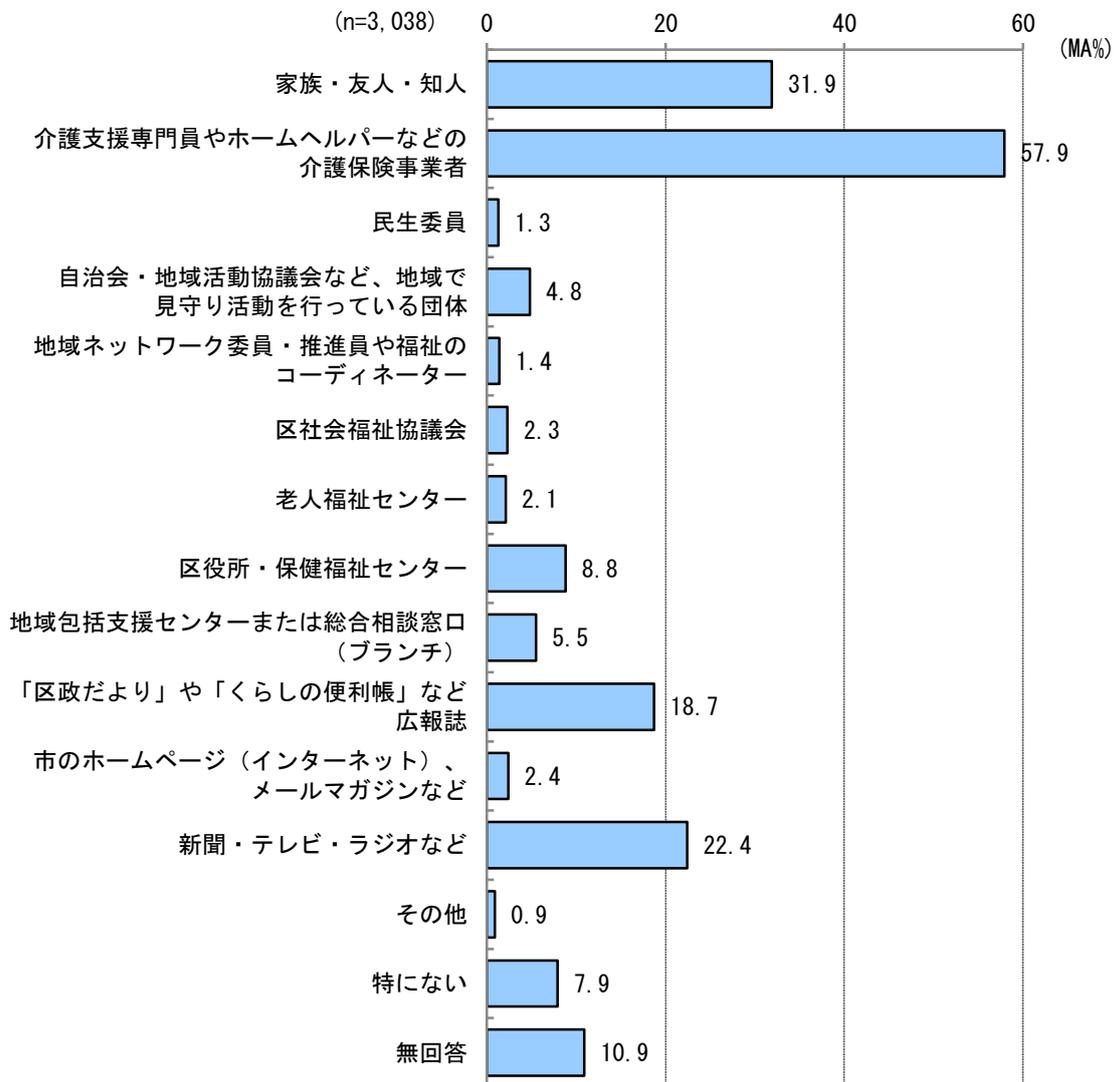
(12) 高齢者向けサービス情報、生活の満足度

問35 高齢者向けサービスの情報源

あなたは、高齢者向けのお知らせや健康・介護予防に関する情報をどこから得ていますか。  
(〇はいくつでも)

高齢者向けサービスの情報源については、「介護支援専門員やホームヘルパーなどの介護保険事業者」が57.9%で最も多く、次いで「家族・友人・知人」が31.9%、「新聞・テレビ・ラジオなど」が22.4%となっている。(図35)

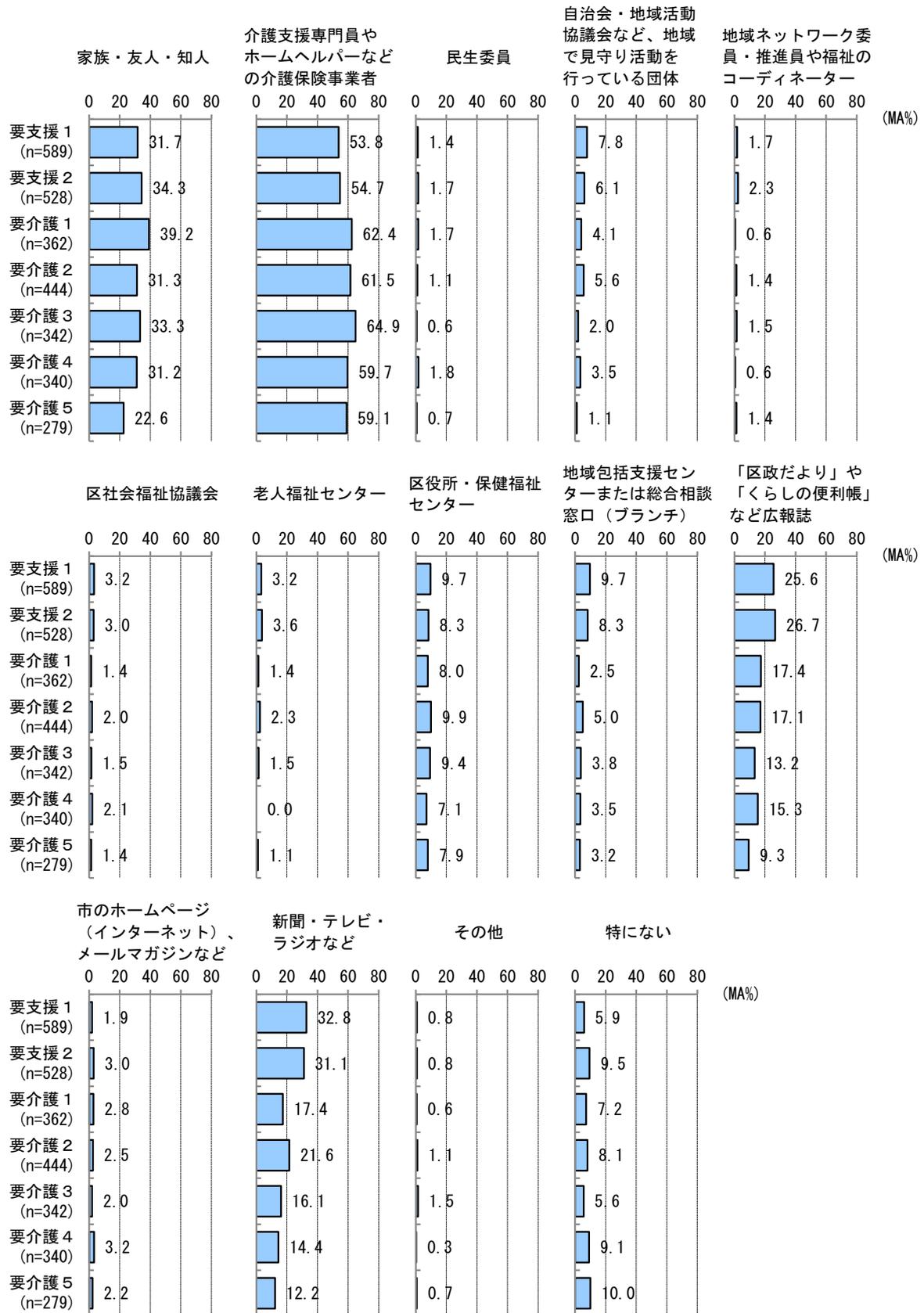
【図35 高齢者向けサービスの情報源】



【介護保険サービス利用者調査】

要介護度別で見ると、要介護度にかかわらず「介護支援専門員やホームヘルパーなどの介護保険事業者」の割合が最も多くなっている。「区政だより」や「くらしの便利帳」など広報誌や「新聞・テレビ・ラジオなど」の割合は重度になるほど低くなる傾向にある。(図35-a)

【図35-a 高齢者向けサービスの情報源（要介護度別）】

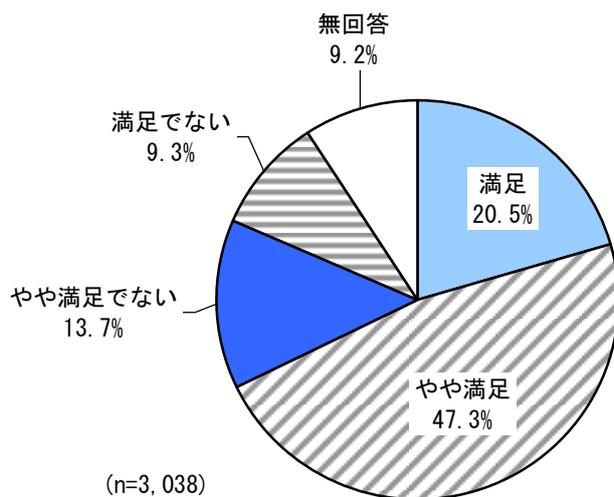


**問36 現在の生活の満足度**

あなたの現在の生活の満足度は次のどれにあてはまりますか。(○はひとつ)

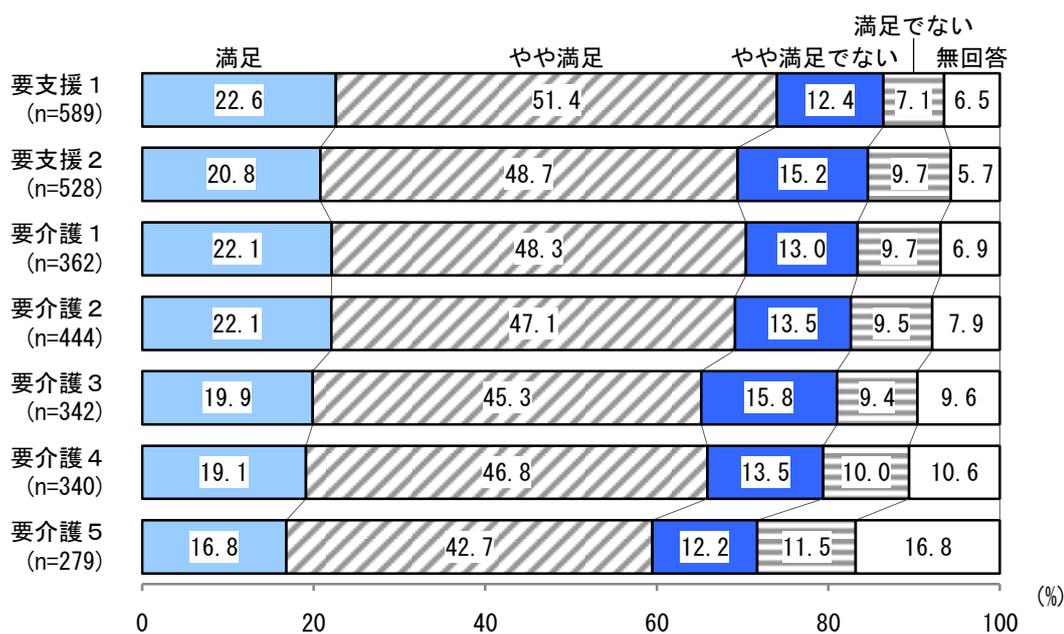
現在の生活の満足度については、「やや満足」が47.3%で最も多く、次いで「満足」が20.5%、「やや満足でない」が13.7%で、『満足』の割合（「満足」と「やや満足」をあわせた割合）は67.8%となっている。（図36）

【図36 現在の生活の満足度】



要介護度別で見ると、要介護度にかかわらず『満足』の割合が過半数を占めており、要支援Ⅰが74.0%で最も高く、重度になるほど割合が概ね低くなる傾向にある。（図36-a）

【図36-a 現在の生活の満足度（要介護度別）】



### (13) 介護保険制度についての意見・要望等

#### 問37 介護保険制度についての意見・要望等（自由記述）

介護保険制度について、介護保険サービスの利用者として、ご意見・ご要望等がありましたら、次の欄に記入してください。

251人から意見があり、延べ262件の回答が挙がっている。主な意見は次のとおり。

#### 【主な意見】

##### 《施設サービス、介護サービスの充実に関する意見》（54件）

- ・通院時の介護タクシー代など交通費の補助が欲しい。
- ・介護者の負担軽減の為に制度があるのに、同居者は利用できないことに不満。
- ・利用時間やサービス内容など提供されているサービスが不十分、不満。
- ・家族は仕事をしており、同居しているという理由でサービスを受けられないことに不満。

##### 《介護保険料、介護保険サービス利用料に関する意見》（40件）

- ・介護保険料や利用料が高い。年々高くなっている。
- ・介護者がいなくなり、施設を利用したくても、入所できない。

##### 《介護保険制度、制度についての要望・不満》（27件）

- ・市民が知りたい情報や高齢者が利用できる制度・サービスに関する情報の提供が少ない。
- ・制度が複雑で書類も多くわかりにくい。
- ・サービスを受けるのにハードルが高い。
- ・今後の一層の高齢化で、介護保険制度やサービスが対応できるのか心配。

##### 《要介護認定についての要望・不満》（25件）

- ・要介護認定の基準に疑問、わかりにくい。
- ・認定が厳しすぎる。
- ・要介護認定について、もう少し家族の意見が入る形にしてほしい。

##### 《訪問介護（ヘルパー）、ケアマネ、介護スタッフについての要望・不満》（16件）

- ・担当のケアマネジャーに知識不足があり、利用できる障がい福祉サービスについての提案や援助が受けられない。
- ・介護保険の人達はよくやっている。
- ・ヘルパーに対する研修をしっかりと行い、プロとしての自覚を促してほしい。

##### 《コロナ禍の状況についての意見》（6件）

- ・コロナの関係で兄弟や友人と会う機会がないのは仕方の無いことだと、あきらめている。
- ・早く面会出来るようになってほしい。

**《その他の意見》(94件)**

- ・いろいろサービスを利用させて頂き良い制度だと思っている。
  - ・介護サービスに満足している。
  - ・自分が介護される立場になって初めて知ることが多い。
  - ・高齢者には、調査票に記入したり答えたりするのは困難である。
-

【介護保険サービス利用者調査】

# 介護保険サービス未利用者調査 編



### 3 介護保険サービス未利用者調査結果

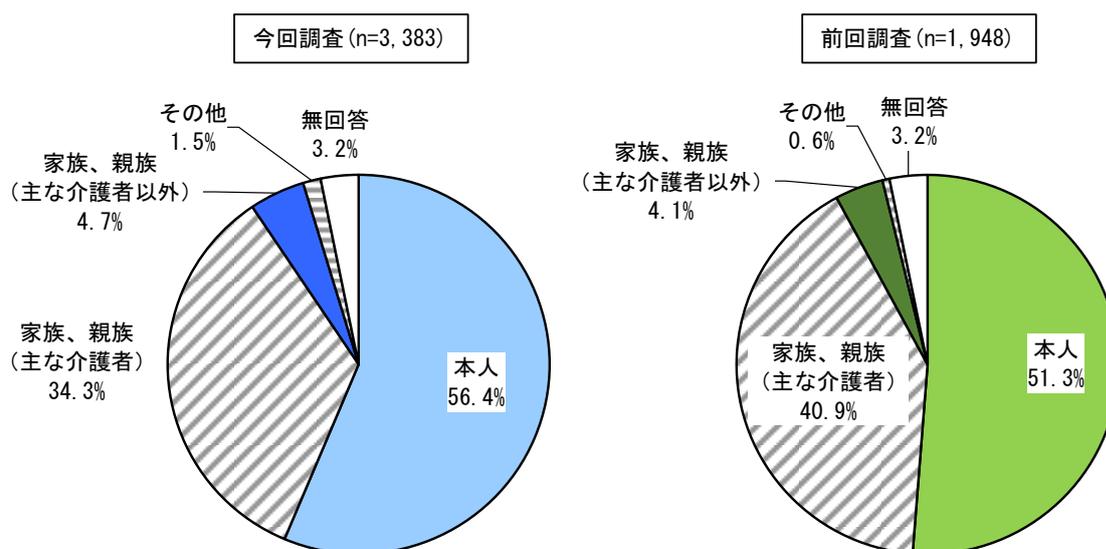
#### (1) 調査回答者の基本属性

##### 問1 記入者

この調査票をご記入されるのは誰ですか。(〇はひとつ)

記入者は、「本人」が56.4%、「家族、親族（主な介護者）」が34.3%となっている。  
 前回調査と比較すると、「本人」の割合が5.1ポイント高くなっている。(図1)

【図1 記入者（経年比較）】

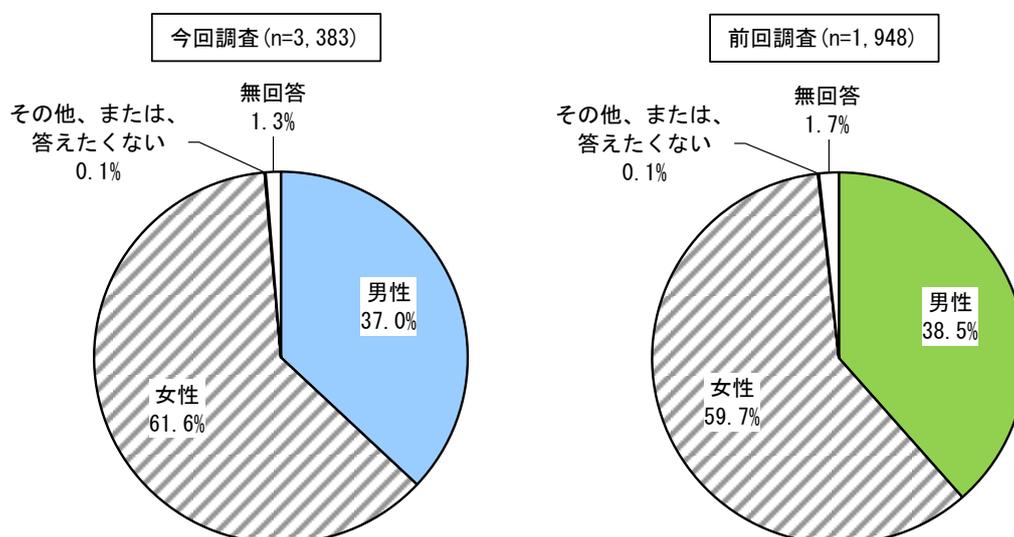


##### 問2 (1) 本人の性別

あなたの性別、年齢、居住区についておうかがいします。(それぞれ〇はひとつ)

本人の性別では、「男性」が37.0%、「女性」が61.6%となっている。  
 前回調査と比較すると、概ね前回と同様の傾向となっている。(図2(1))

【図2(1) 本人の性別（経年比較）】

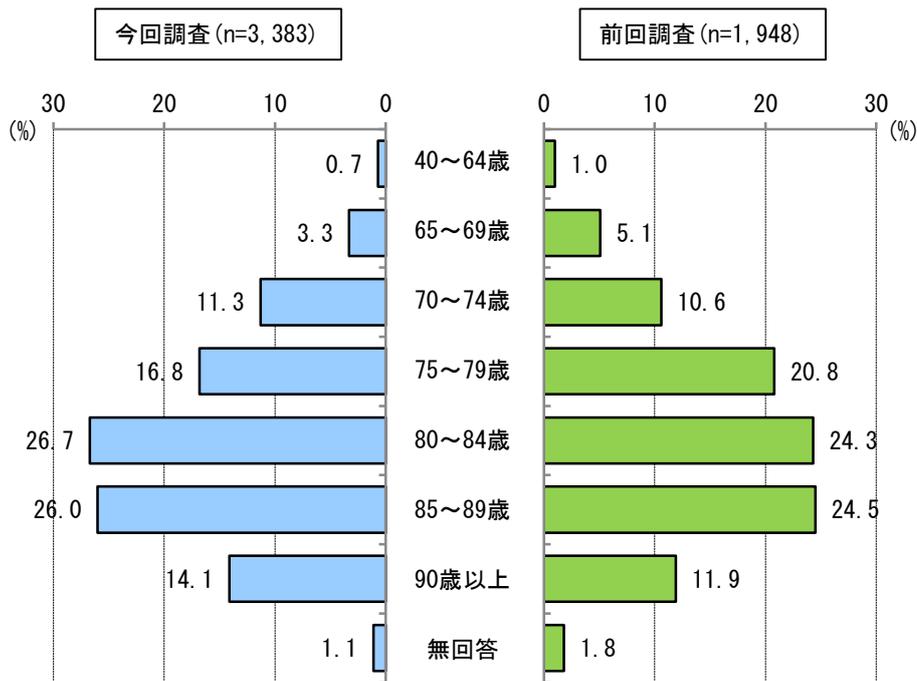


問2(2) 本人の年齢

本人の年齢では、「80～84歳」が26.7%で最も多く、次いで「85～89歳」が26.0%、「75～79歳」が16.8%となっている。

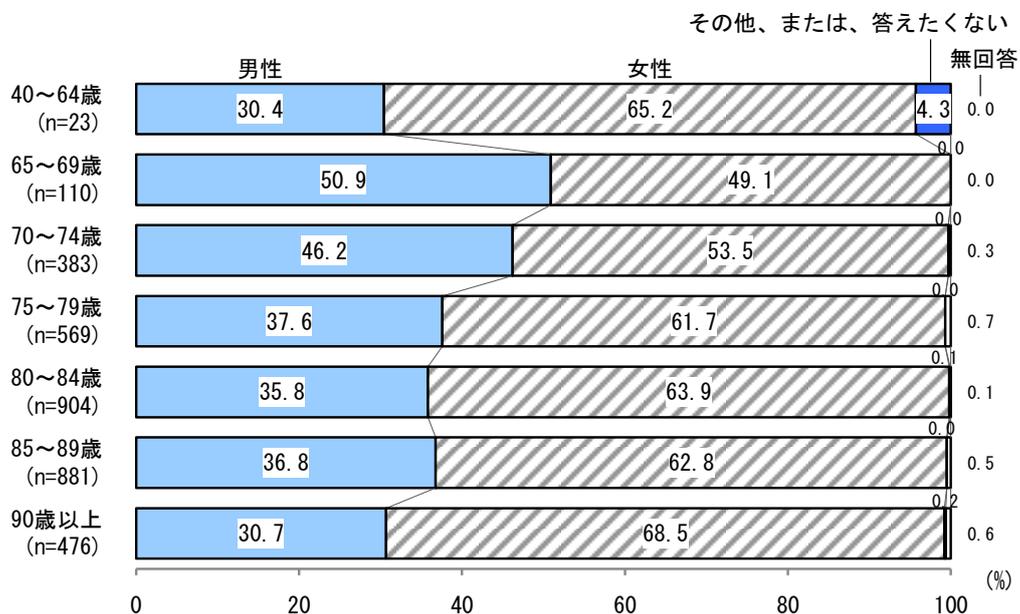
前回調査と比較すると、「75～79歳」の割合が4.0ポイント低くなっている。(図2(2))

【図2(2) 本人の年齢 (経年比較)】



本人の性別を本人の年齢別で見ると、65～69歳の回答者は「男性」(50.9%)のほうが多く、それ以外の各年代の回答者は「女性」のほうが多くなっている。(図2(2)-a)

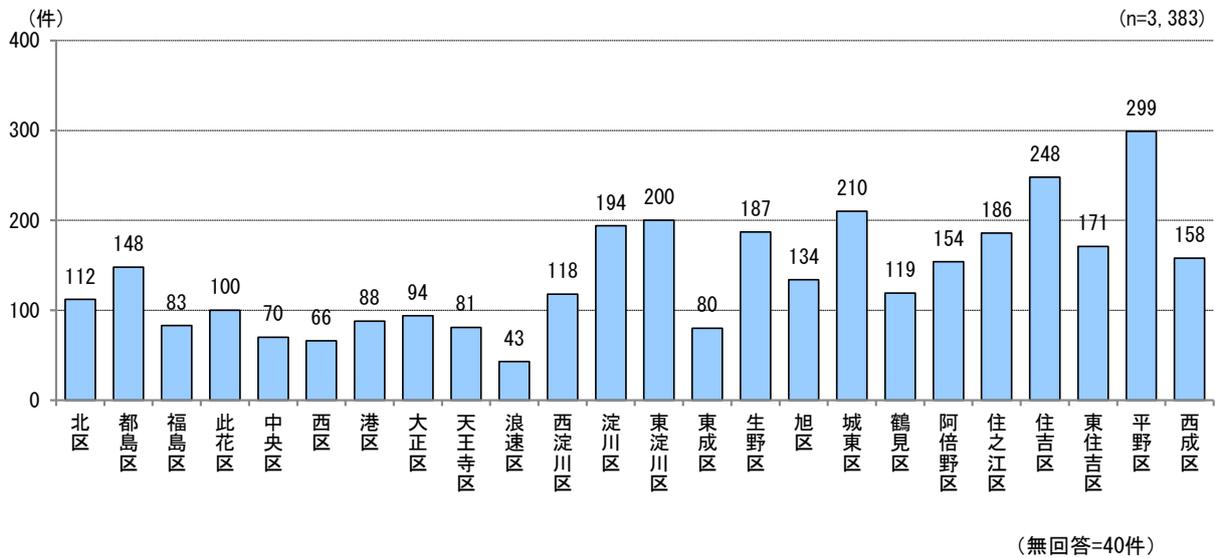
【図2(2)-a 本人の性別 (本人の年齢別)】



### 問2 (3) 本人の居住区

本人の居住区では、「平野区」が299件で最も多く、次いで「住吉区」が248件、「城東区」が210件となっている。(図2(3))

【図2(3) 本人の居住区】

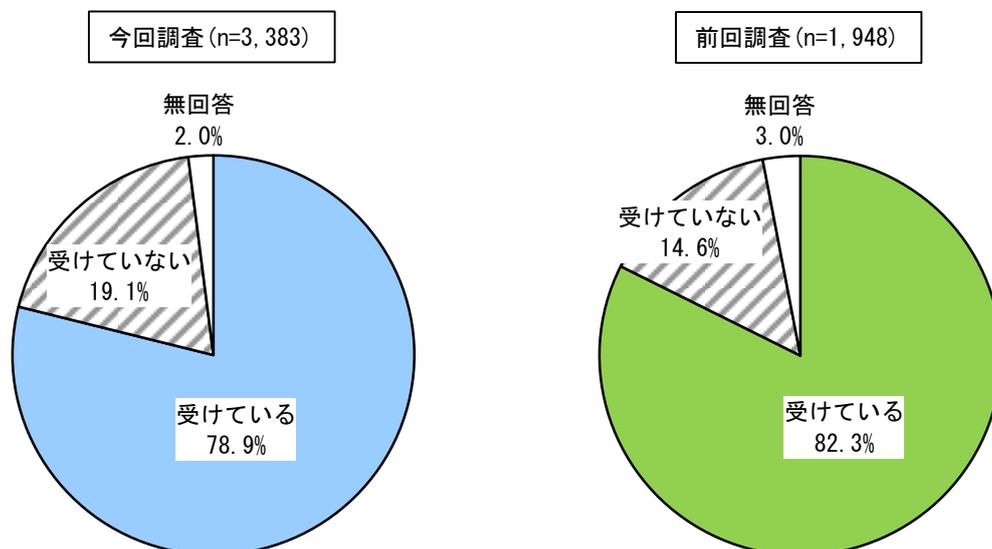


### 問3 要介護認定の有無

あなたは要介護（要支援）認定を受けていますか。(○はひとつ)

要介護認定の有無では、「受けている」が78.9%、「受けていない」が19.1%となっている。前回調査と比較すると、「受けていない」の割合が4.5ポイント高くなっている。(図3)

【図3 要介護認定の有無（経年比較）】

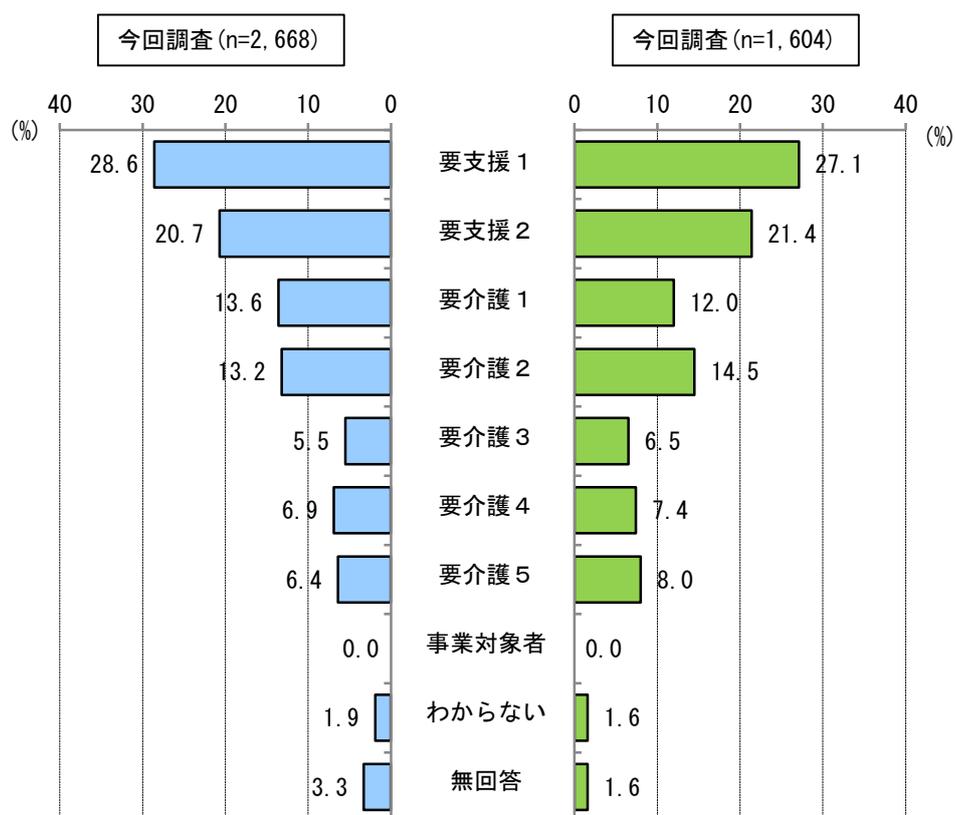


### 問3-1 要介護度

問3で「受けている」と回答された方におうかがいします。  
要介護度に○をつけてください。(○はひとつ)

要介護認定を受けていると回答した人に、要介護度をたずねると、「要支援1」が28.6%で最も多く、次いで「要支援2」が20.7%、「要介護1」が13.6%となっている。  
前回調査と比較すると、概ね前回と同様の傾向となっている。(図3-1)

【図3-1 要介護度（経年比較）】

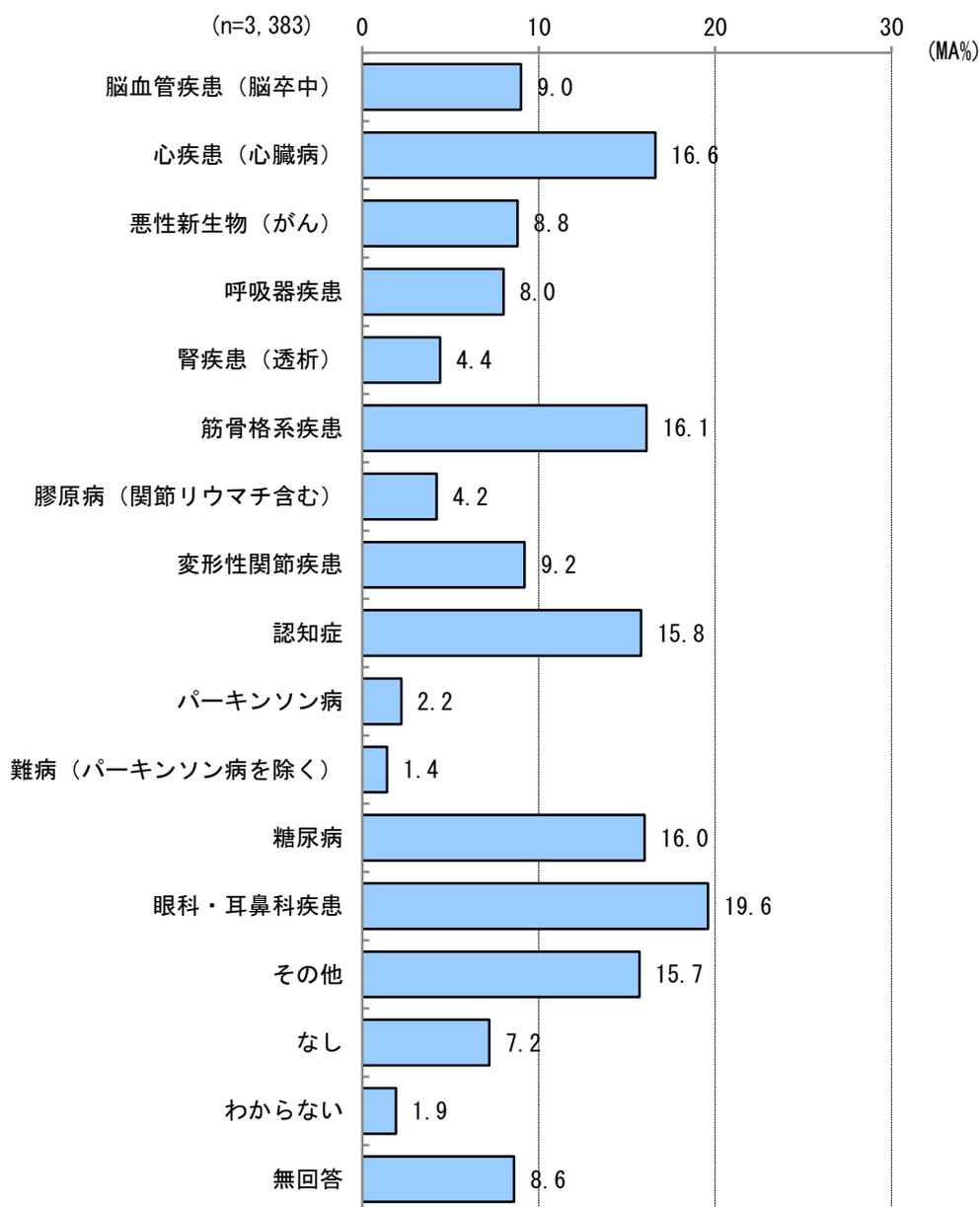


#### 問4 傷病状況

あなたが現在抱えている傷病等（完治したものは除き、経過観察中のものを含む）について、ご回答ください。（〇はいくつでも）

現在抱えている傷病等については、「眼科・耳鼻科疾患」が19.6%で最も多く、次いで「心疾患（心臓病）」が16.6%、「筋骨格系疾患」が16.1%となっている。（図4）

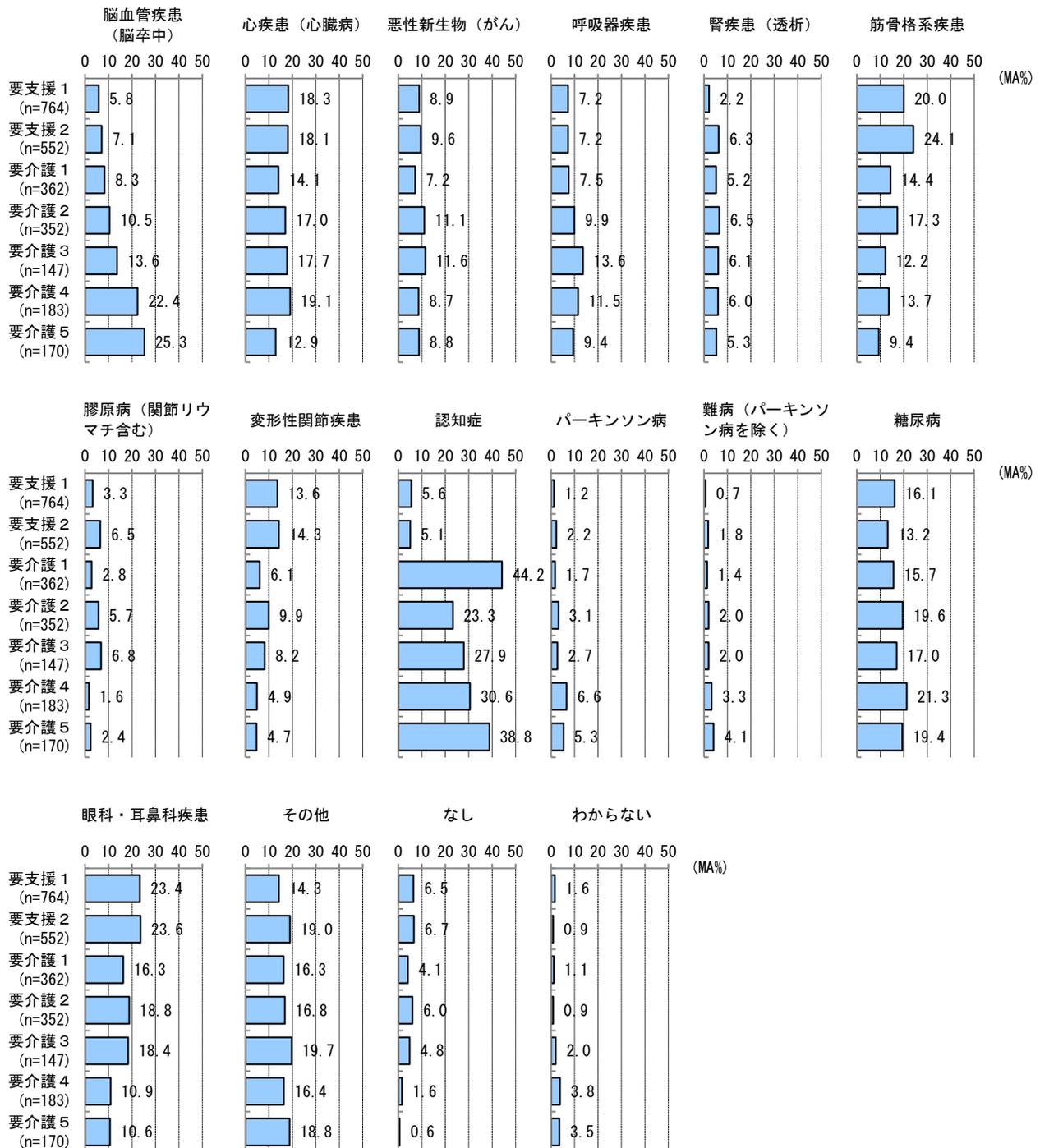
【図4 傷病状況】



【介護保険サービス未利用者調査】

要介護度別で見ると、「認知症」は要介護1で44.2%と最も高く、要介護3以上では3割前後を占めている。「眼科・耳鼻科疾患」は要支援1・2が要介護1以上に比べて高くなっている。(図4-a)

【図4-a 傷病状況（要介護度別）】



## (2) 世帯の状況、介護の状況

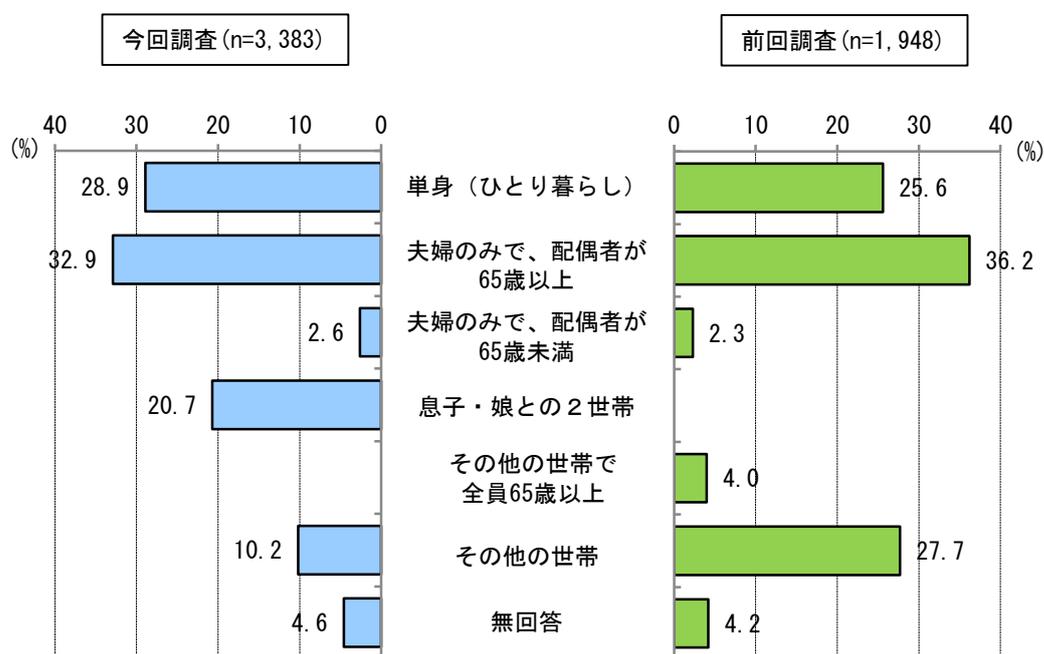
### 問5 世帯状況

あなたと同居されているご家族の状況についておうかがいします。(〇はひとつ)

世帯状況については、「夫婦のみで、配偶者が65歳以上」が32.9%で最も多く、次いで「単身(ひとり暮らし)」が28.9%、「息子・娘との2世帯」が20.7%となっている。

前回調査と比較すると、「単身(ひとり暮らし)」の割合が3.3ポイント高く、「夫婦のみで、配偶者が65歳以上」の割合が3.3ポイント低くなっている。(図5)

【図5 世帯状況(経年比較)】



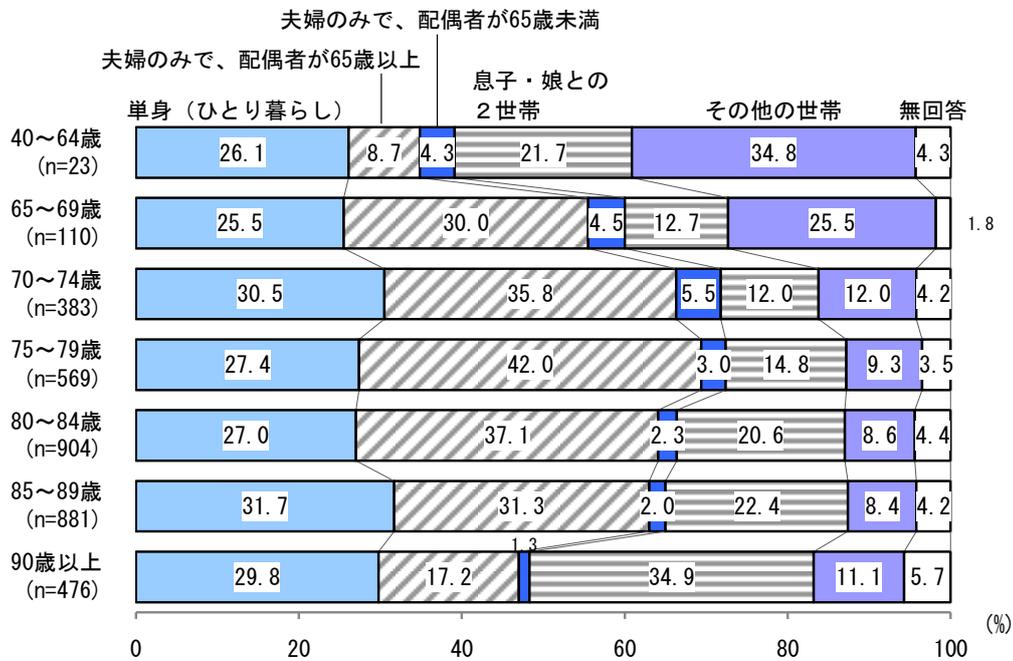
※「息子・娘との2世帯」は、今回調査の新規項目である。

※前回調査の「その他の世帯で全員65歳以上」は、今回調査では設けていない。

【介護保険サービス未利用者調査】

本人の年齢別で見ると、40～64歳は「その他の世帯」が34.8%で最も多く、次いで「単身（ひとり暮らし）」の26.1%となっている。65～84歳の各年代は「夫婦のみで、配偶者が65歳以上」が最も多い。85～89歳では「単身（ひとり暮らし）」が最も多く、90歳以上では「息子・娘との2世帯」が34.9%と他の年代に比べ高くなっている。（図5-a）

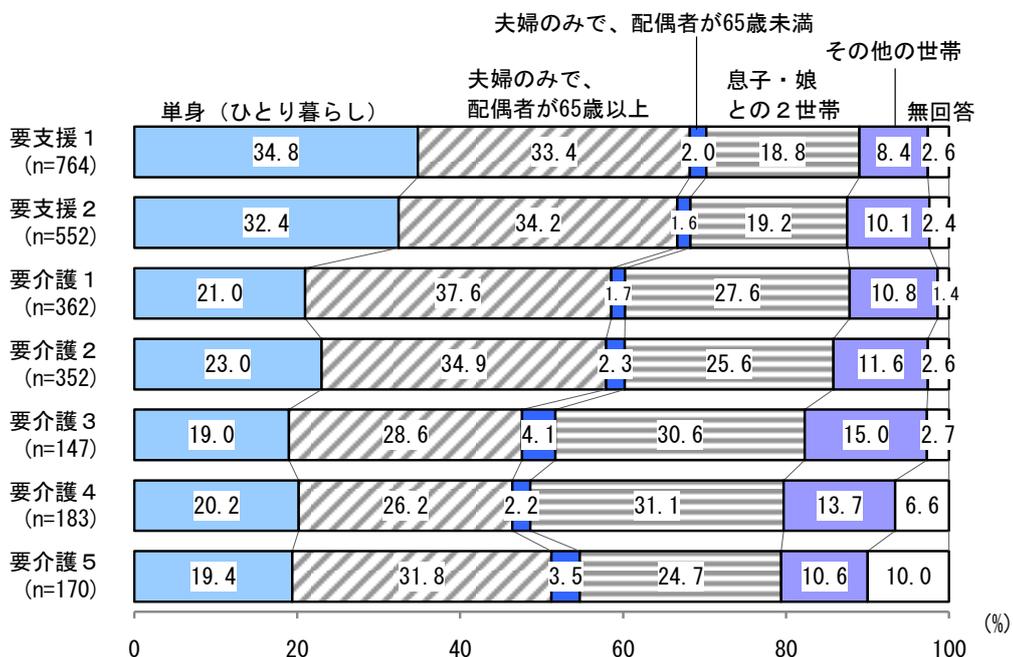
【図5-a 世帯状況（本人の年齢別）】



要介護度別で見ると、要支援1は「単身（ひとり暮らし）」が34.8%で最も多い。要支援2と要介護1・2・5は「夫婦のみで、配偶者が65歳以上」が最も多く、「単身（ひとり暮らし）」の割合は重度になるほど低くなる傾向にある。

要介護3・4は「息子・娘との2世帯」が約3割でそれぞれ最も多くなっている。（図5-b）

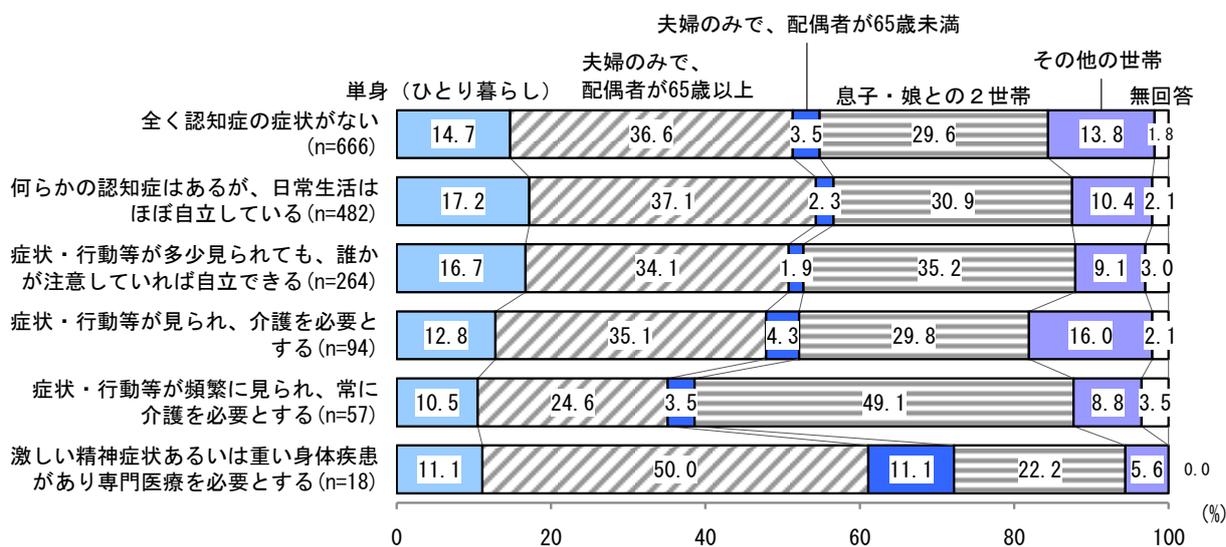
【図5-b 世帯状況（要介護度別）】



【介護保険サービス未利用者調査】

本人の認知症の程度別でみると、“症状・行動等が多少見られても、誰かが注意していれば自立できる”と“症状・行動等が頻繁に見られ、常に介護を必要とする”は「息子・娘との2世帯」が最も多いが、それ以外は「夫婦のみで、配偶者が65歳以上」が最も多くなっている。  
 (図5-c)

【図5-c 世帯状況（本人の認知症の程度別）】



## 問6 介護者の有無

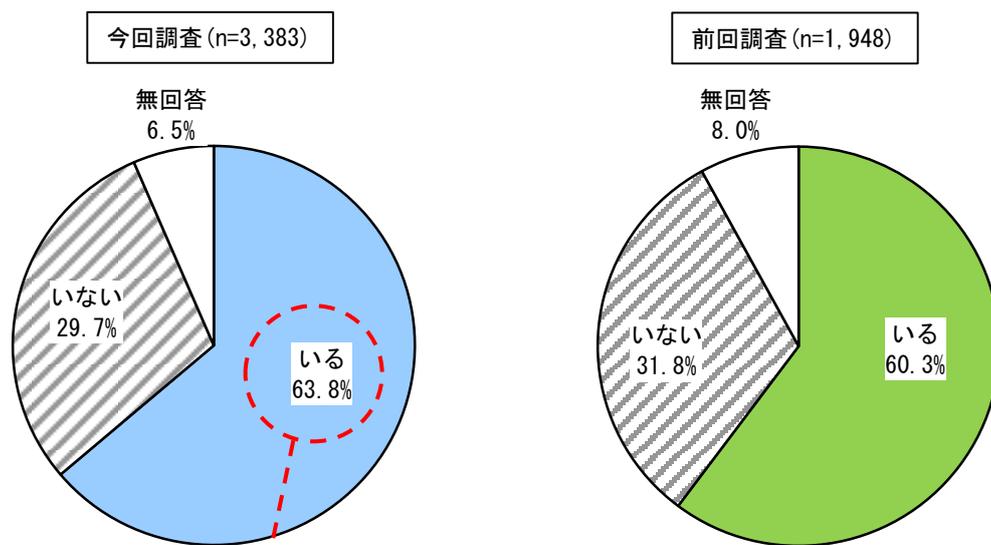
あなたの介護をする方はいますか。(〇はひとつ)

介護者が「いる」は63.8%、「いない」は29.7%となっている。

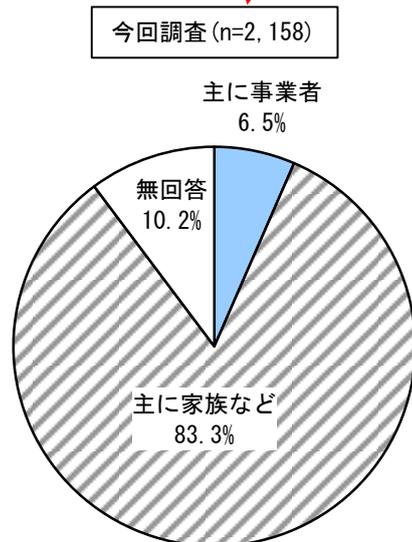
前回調査と比較すると、概ね前回と同様の傾向となっている。(図6)

介護者がいると回答した人に、主な介護者をたずねると、「主に事業者」が6.5%、「主に家族など」が83.3%となっている。(付図6)

【図6 介護者の有無（経年比較）】



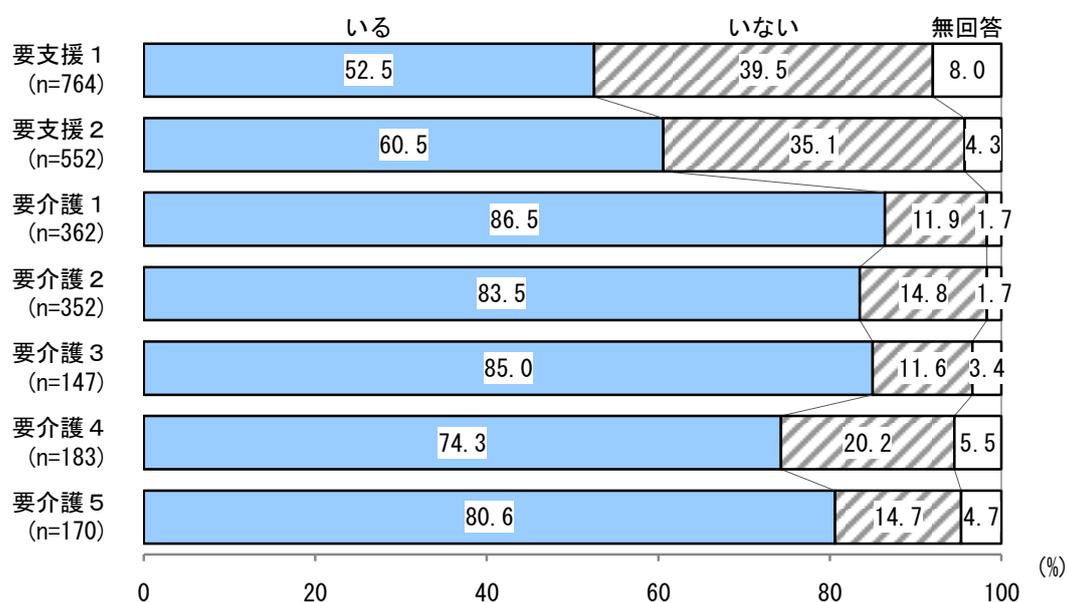
【付図6 主な介護者】



【介護保険サービス未利用者調査】

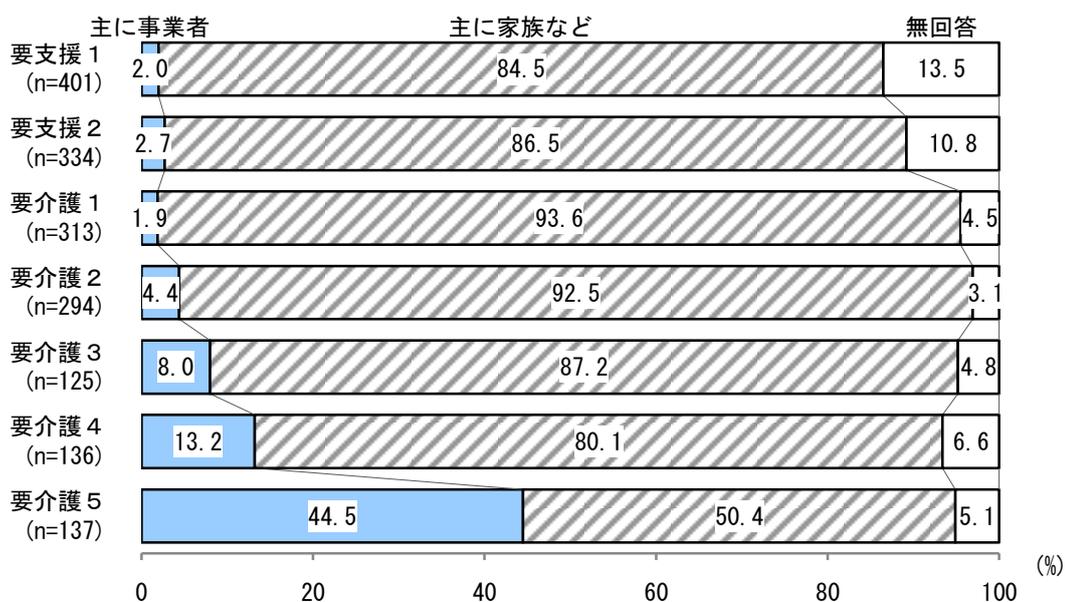
介護者の有無を要介護度別で見ると、「いる」は要介護Ⅰが86.5%で最も高く、要介護Ⅰ～5で7～8割台と高くなっている。(図6-a)

【図6-a 介護者の有無 (要介護度別)】



主な介護者を要介護度別で見ると、要介護5は「主に事業者」が44.5%を占めている。要支援Ⅰ・2、要介護Ⅰ～4では「主に家族など」が8～9割台と高い。(付図6-a)

【付図6-a 主な介護者 (要介護度別)】



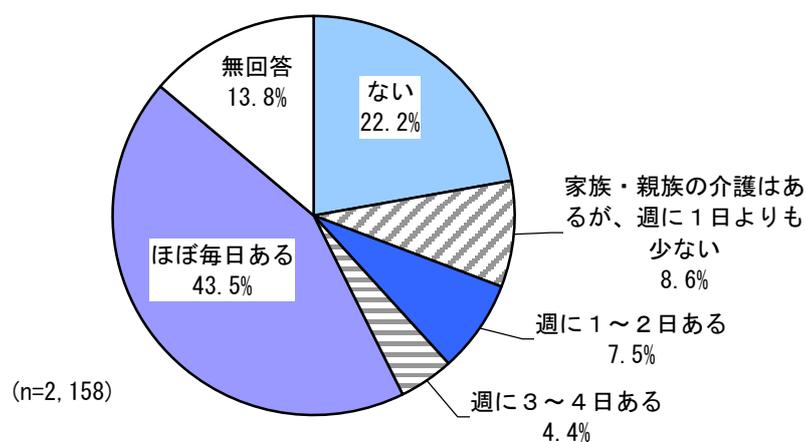
### 問6-1 家族や親族からの介護日数

問6で「1 いる」と回答された方におうかがいします。

ご家族やご親族の方からの介護は、週にどのくらいありますか。(同居していない子供や親族等からの介護を含む) (○はひとつ)

介護者がいると回答した人に、家族や親族からの介護の日数をたずねると、「ほぼ毎日ある」が43.5%で最も多く、次いで「ない」が22.2%、「家族・親族の介護はあるが、週に1日より少ない」が8.6%となっている。(図6-1)

【図6-1 家族や親族からの介護日数 (経年比較)】



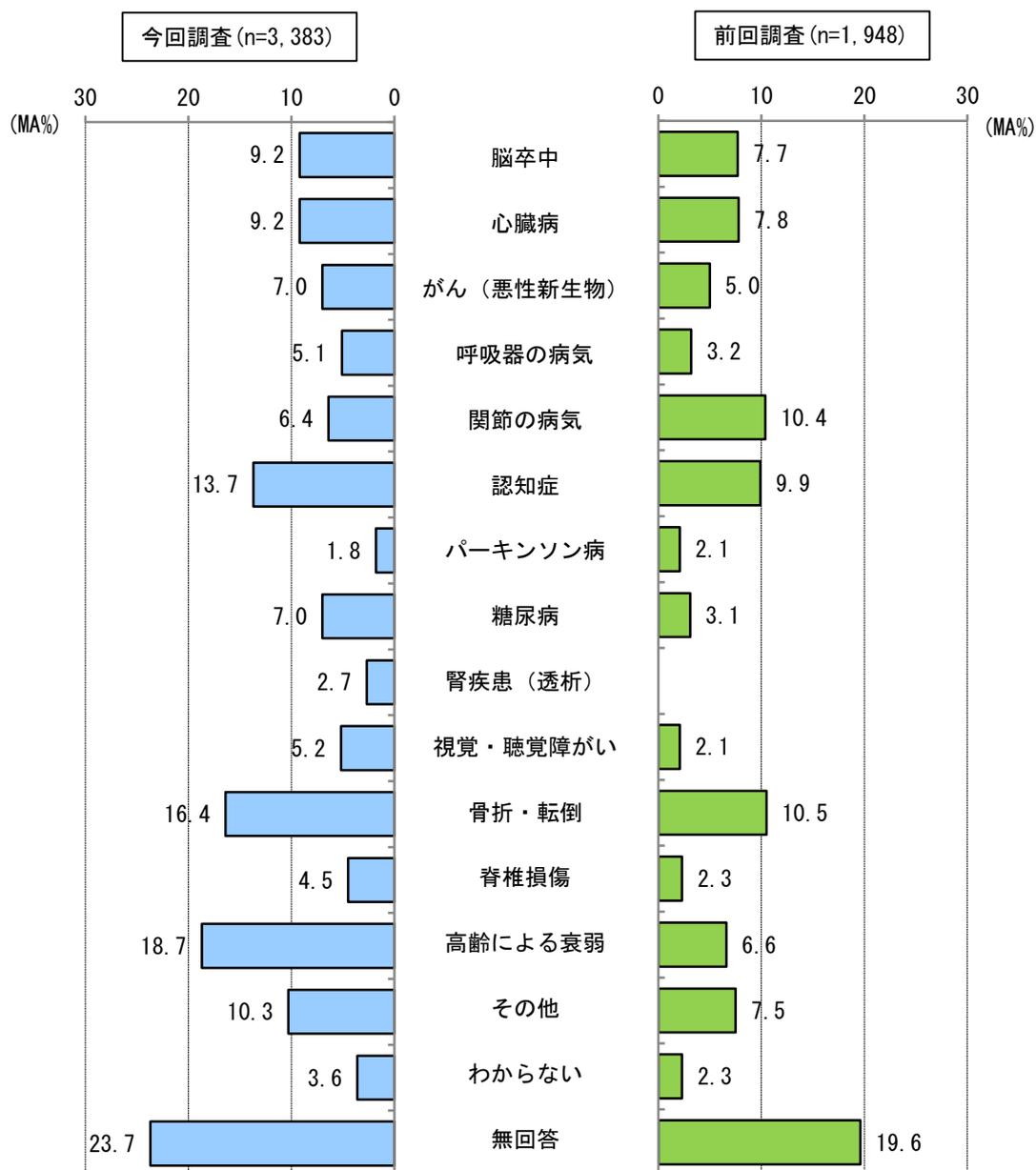
## 問7 介護・介助が必要になった原因

あなたが介護・介助が必要になった主な原因は何ですか。(〇はいくつでも)

介護・介助が必要になった主な原因は、「高齢による衰弱」が18.7%で最も多く、次いで「骨折・転倒」が16.4%、「認知症」が13.7%となっている。

前回調査と比較すると、「高齢による衰弱」の割合が12.1ポイント高くなっている。(図7)

【図7 介護・介助が必要になった原因（経年比較）】



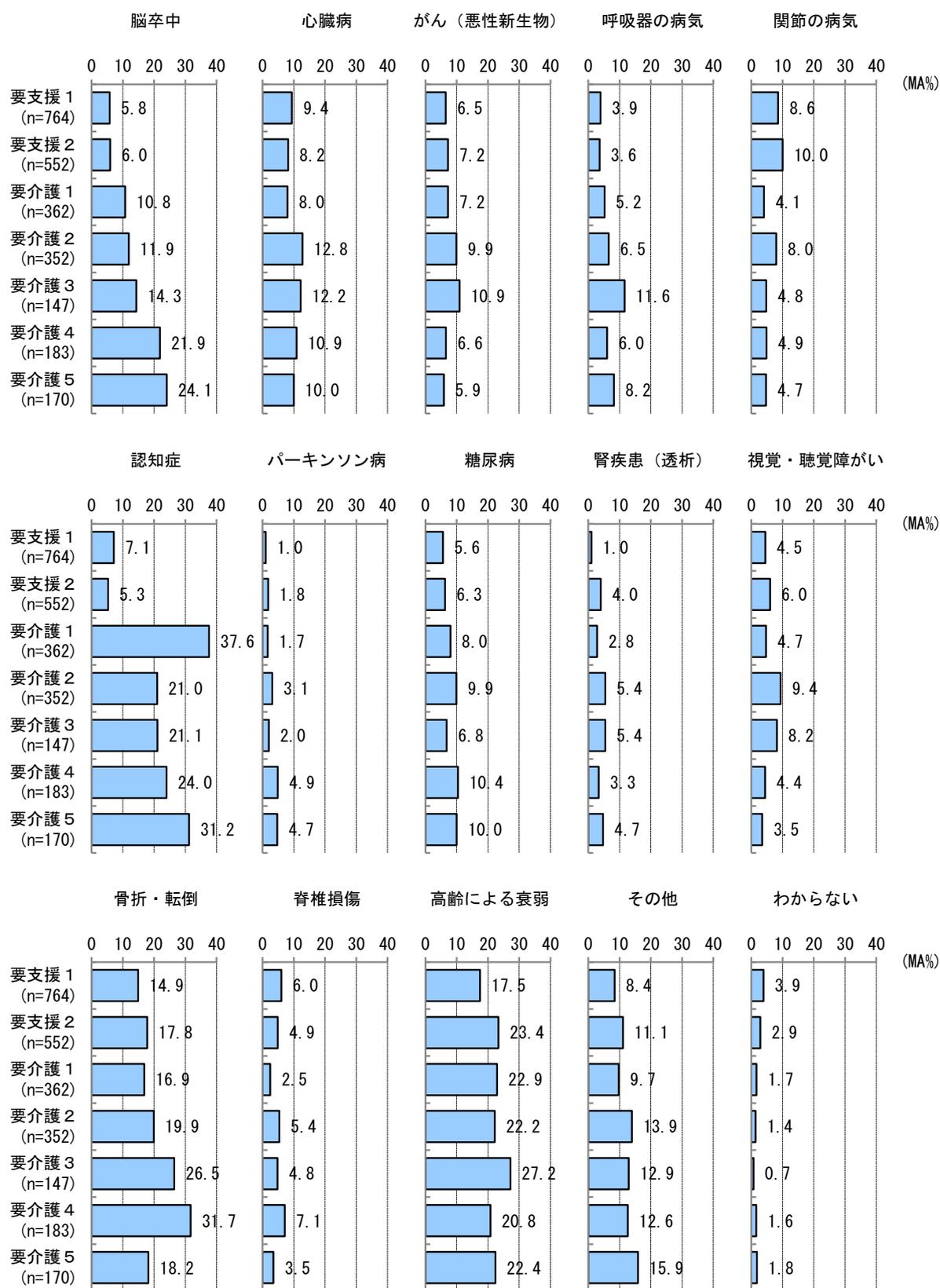
※前回調査では「介護認定を受けた主な原因や病気」を問う質問であった。

※「腎疾患（透析）」は、今回調査の新規項目である。

【介護保険サービス未利用者調査】

要介護度別で見ると、要介護1・5は「認知症」、要介護4は「骨折・転倒」、要支援1・2、要介護2・3では「高齢による衰弱」が最も多くなっている。(図7-a)

【図7-a 介護・介助が必要になった原因（要介護度別）】



### (3) 要介護認定

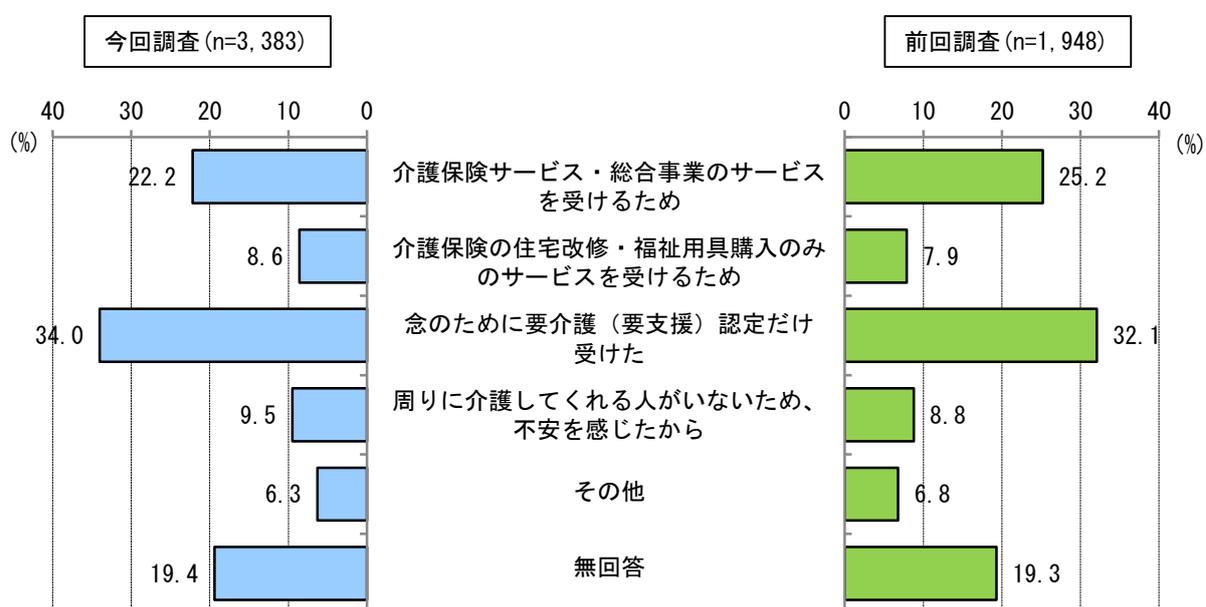
#### 問8 初めて要介護認定を受けた時の目的

あなたが、初めて要介護認定を受けた時の目的は何ですか。(〇はひとつ)

初めて要介護認定を受けた時の目的については、「念のために要介護（要支援）認定だけ受けた」が34.0%で最も多く、次いで「介護保険サービス・総合事業のサービスを受けるため」が22.2%、「周りに介護してくれる人がいないため、不安を感じたから」が9.5%となっている。

前回調査と比較すると、概ね前回と同様の傾向となっている。(図8)

【図8 初めて要介護認定を受けた時の目的（経年比較）】



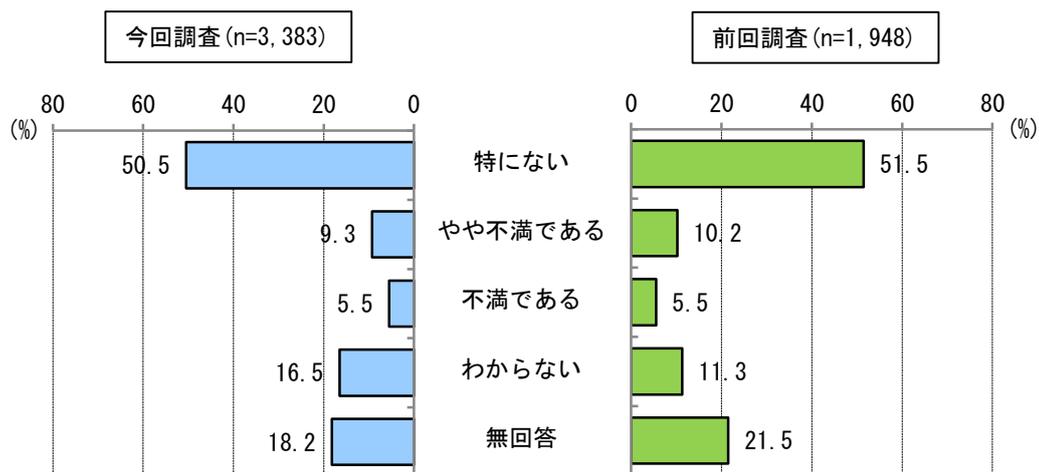
## 問9 直近の要介護認定で不満の有無

直近の要介護認定において、何かご不満な点がありましたか。(〇はひとつ)

直近の要介護認定で不満があったかについては、「特にない」が50.5%で最も多く、次いで「やや不満である」が9.3%、「不満である」が5.5%となっている。

前回調査と比較すると、概ね前回と同様の傾向となっている。(図9)

【図9 直近の要介護認定で不満の有無（経年比較）】



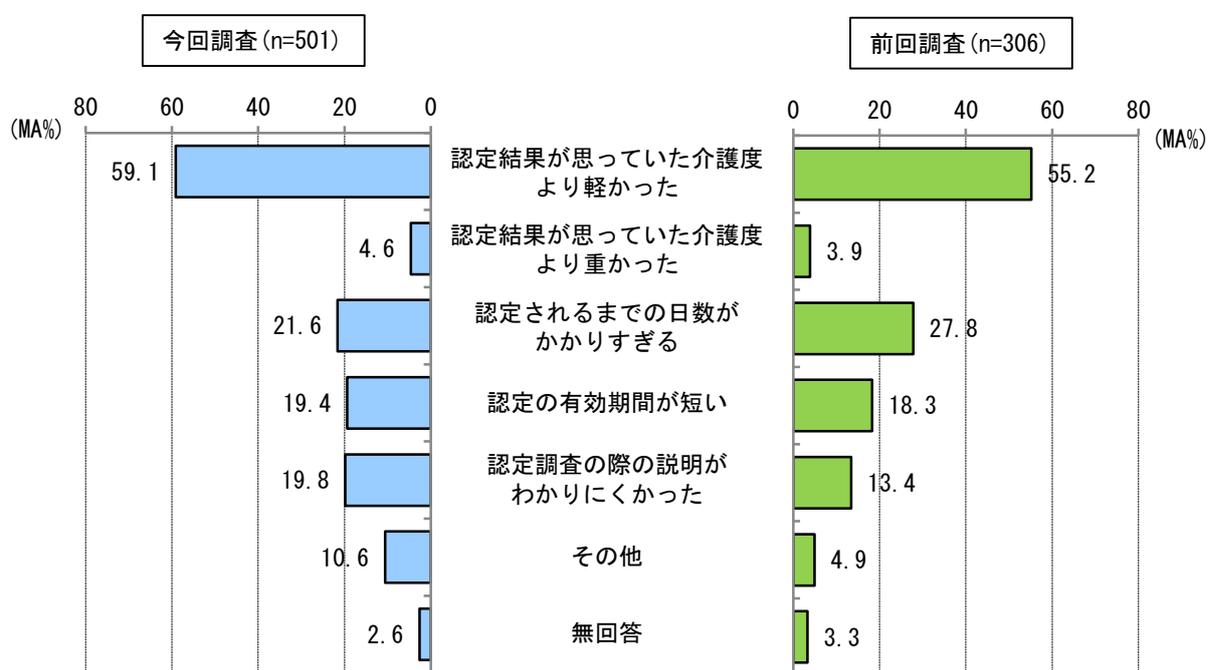
### 問9-1 要介護認定に不満がある理由

問9で「2 やや不満である」「3 不満である」と回答された方におうかがいします。  
その理由についてお答えください。(〇はいくつでも)

要介護認定に不満があると回答した人に、その理由をたずねると、「認定結果が思っていた介護度より軽かった」が59.1%で最も多く、次いで「認定されるまでの日数がかかりすぎる」が21.6%、「認定調査の際の説明がわかりにくかった」が19.8%となっている。

前回調査と比較すると、「認定調査の際の説明がわかりにくかった」の割合が6.4ポイント高く、「認定されるまでの日数がかかりすぎる」が6.2ポイント低くなっている。(図9-1)

【図9-1 要介護認定に不満がある理由（経年比較）】



(4) 介護保険サービスの利用状況と利用に対する考え

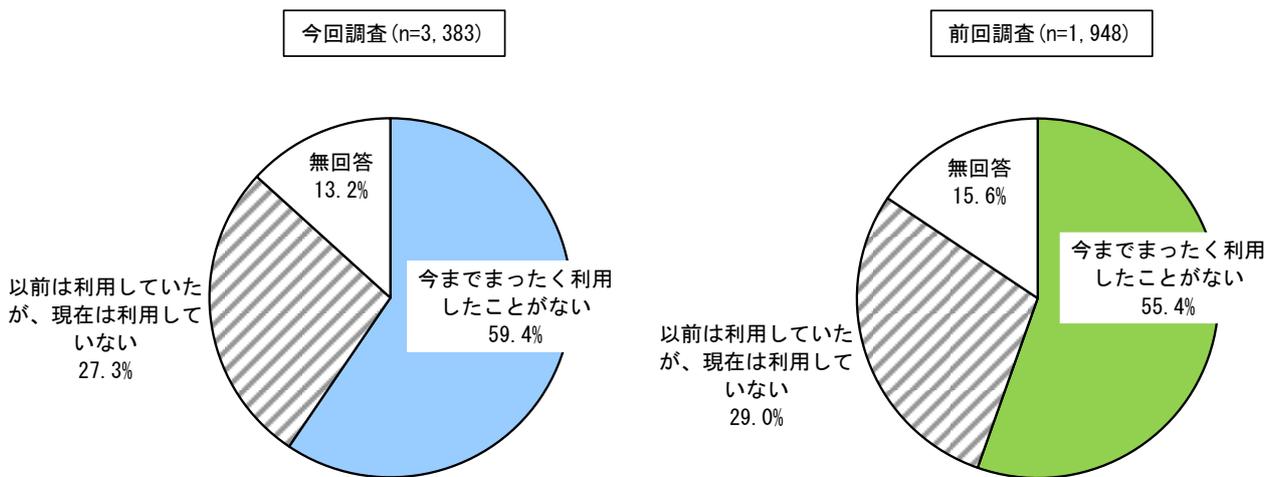
問10 介護保険サービスの利用状況

あなたの介護保険サービスの利用状況について、おうかがいします。(○はひとつ)

介護サービスの利用状況については、「今までまったく利用したことがない」が59.4%、「以前は利用していたが、現在は利用していない」が27.3%となっている。

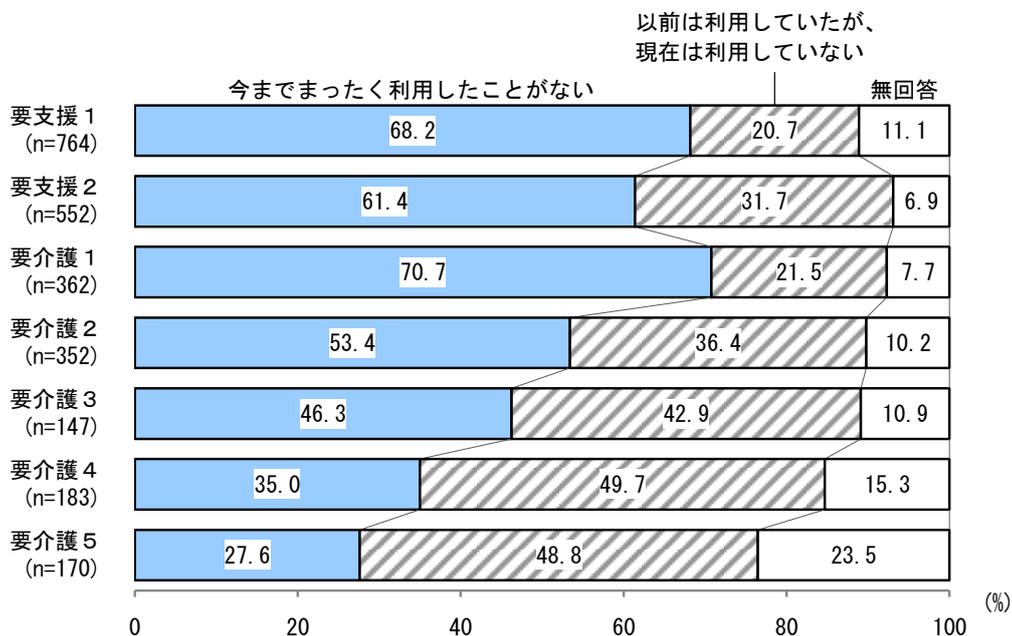
前回調査と比較すると、「今までまったく利用したことがない」の割合が4.0ポイント高くなっている。(図10)

【図10 介護保険サービスの利用状況（経年比較）】



要介護度別で見ると、要支援1・2と要介護1～3は「今までまったく利用したことがない」が4～7割台を占めている。要介護4・5では「以前は利用していたが、現在は利用していない」のほうが多くなっている。(図10-a)

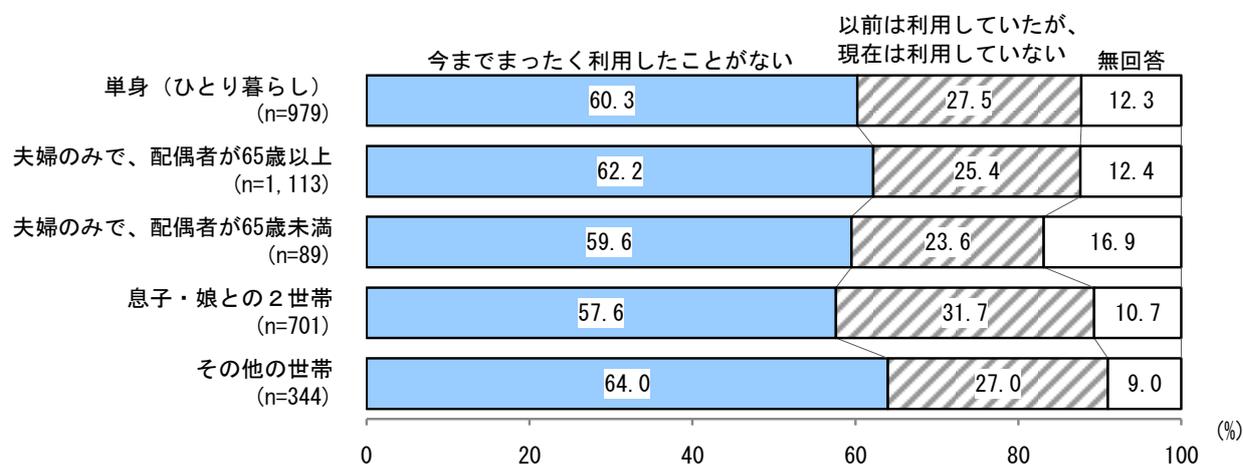
【図10-a 介護保険サービスの利用状況（要介護度別）】



【介護保険サービス未利用者調査】

世帯状況別で見ると、いずれの世帯も「今までまったく利用したことがない」が過半数を占めている。一方、「以前は利用していたが、現在は利用していない」の割合では、息子・娘との2世帯が31.7%で最も高くなっている。(図10-b)

【図10-b 介護保険サービスの利用状況（世帯状況別）】



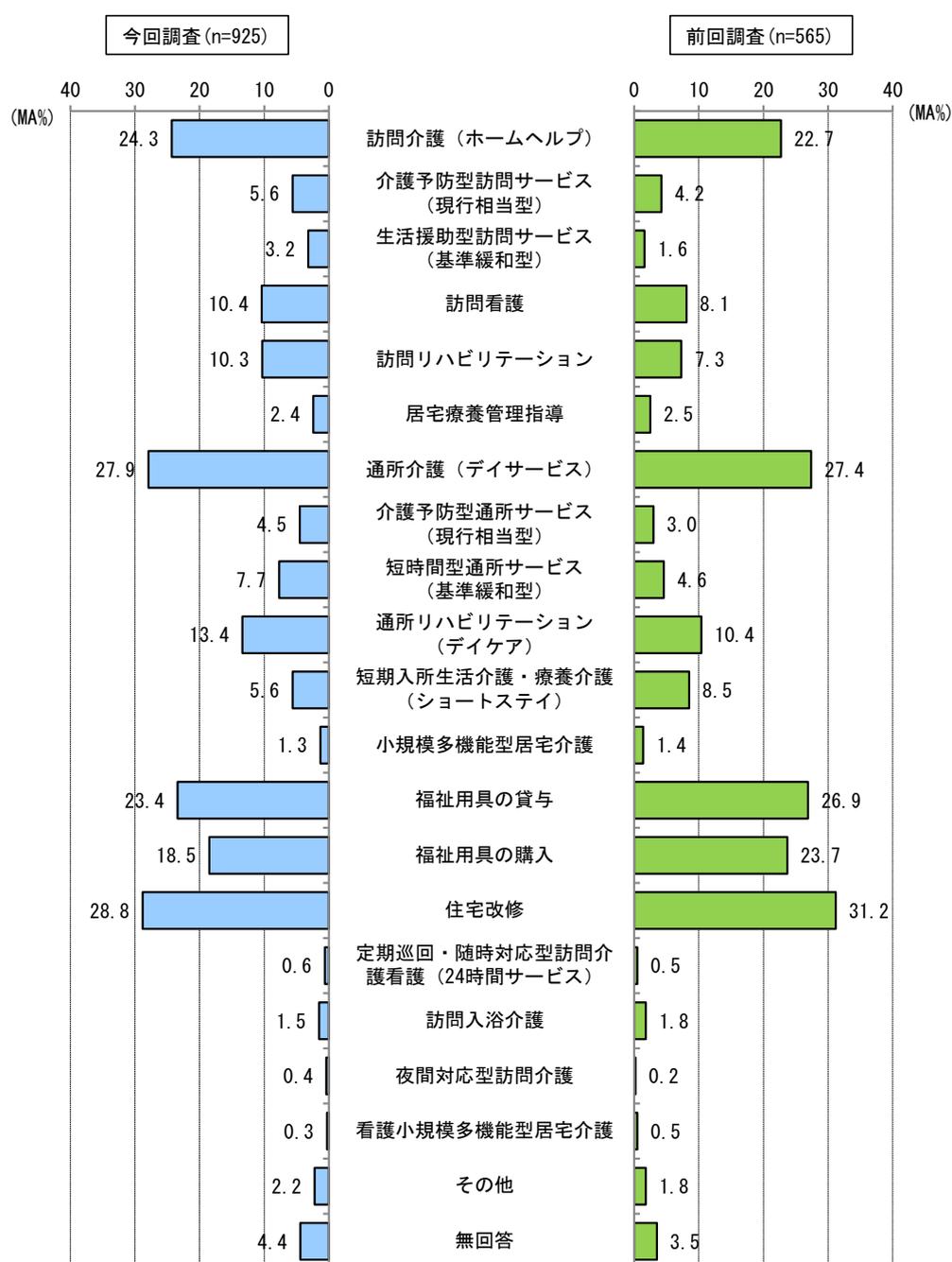
### 問10-1 以前利用していた介護保険サービス

問10で「2 以前は利用していたが、現在は利用していない」と回答された方におうかがいします。以前はどのようなサービスを利用していましたか。(〇はいくつでも)

介護保険サービスを以前利用していたが、現在は利用していないと回答した人に、以前利用していた介護サービスについてたずねると、「住宅改修」が28.8%で最も多く、次いで「通所介護（デイサービス）」が27.9%、「訪問介護（ホームヘルプ）」が24.3%となっている。

前回調査と比較すると、「短時間型通所サービス（基準緩和型）」の割合が3.1ポイント、「訪問リハビリテーション」と「通所リハビリテーション（デイケア）」の割合がともに3.0ポイント高くなっている。(図10-1)

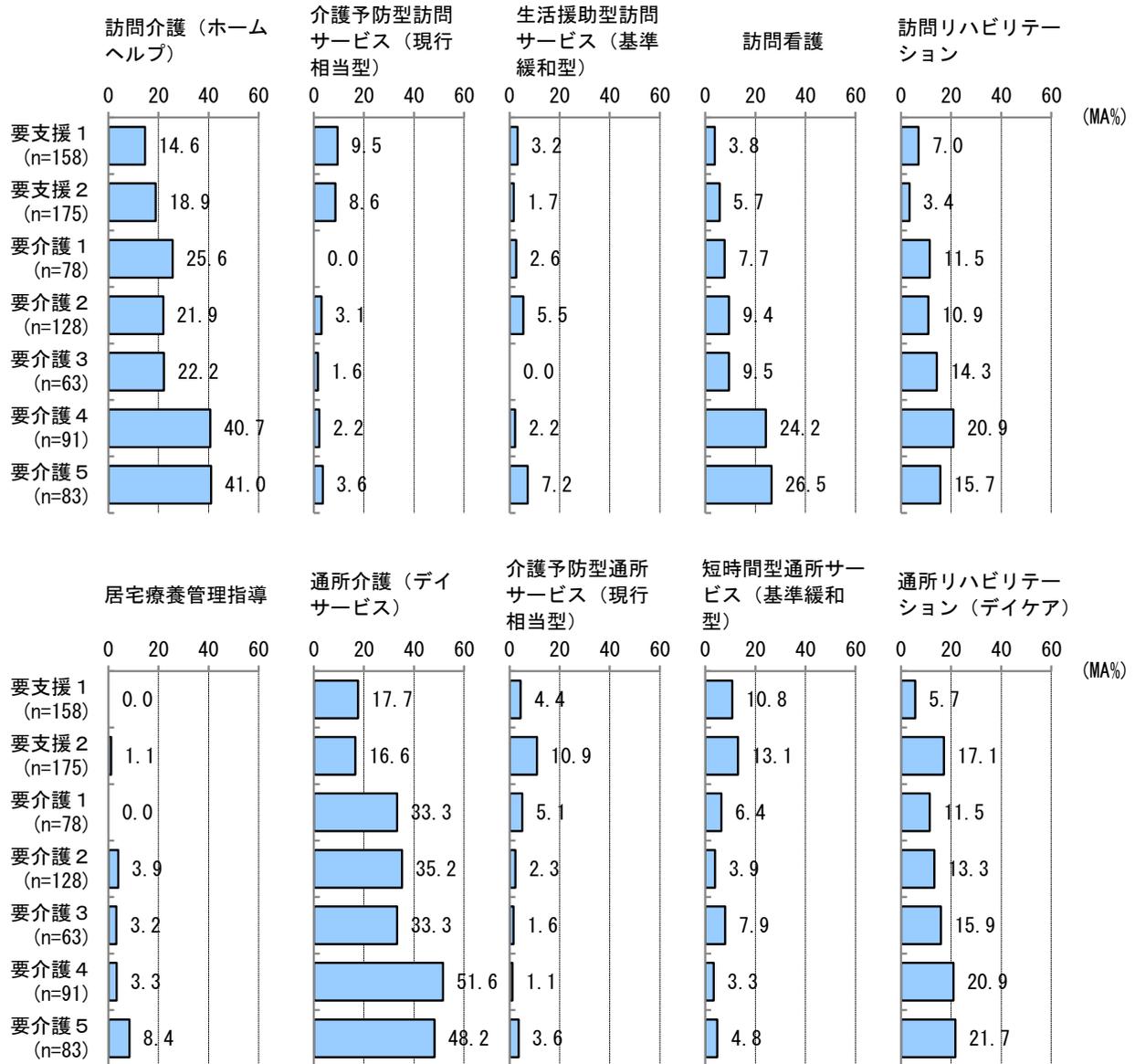
【図10-1 以前利用していた介護保険サービス（経年比較）】



【介護保険サービス未利用者調査】

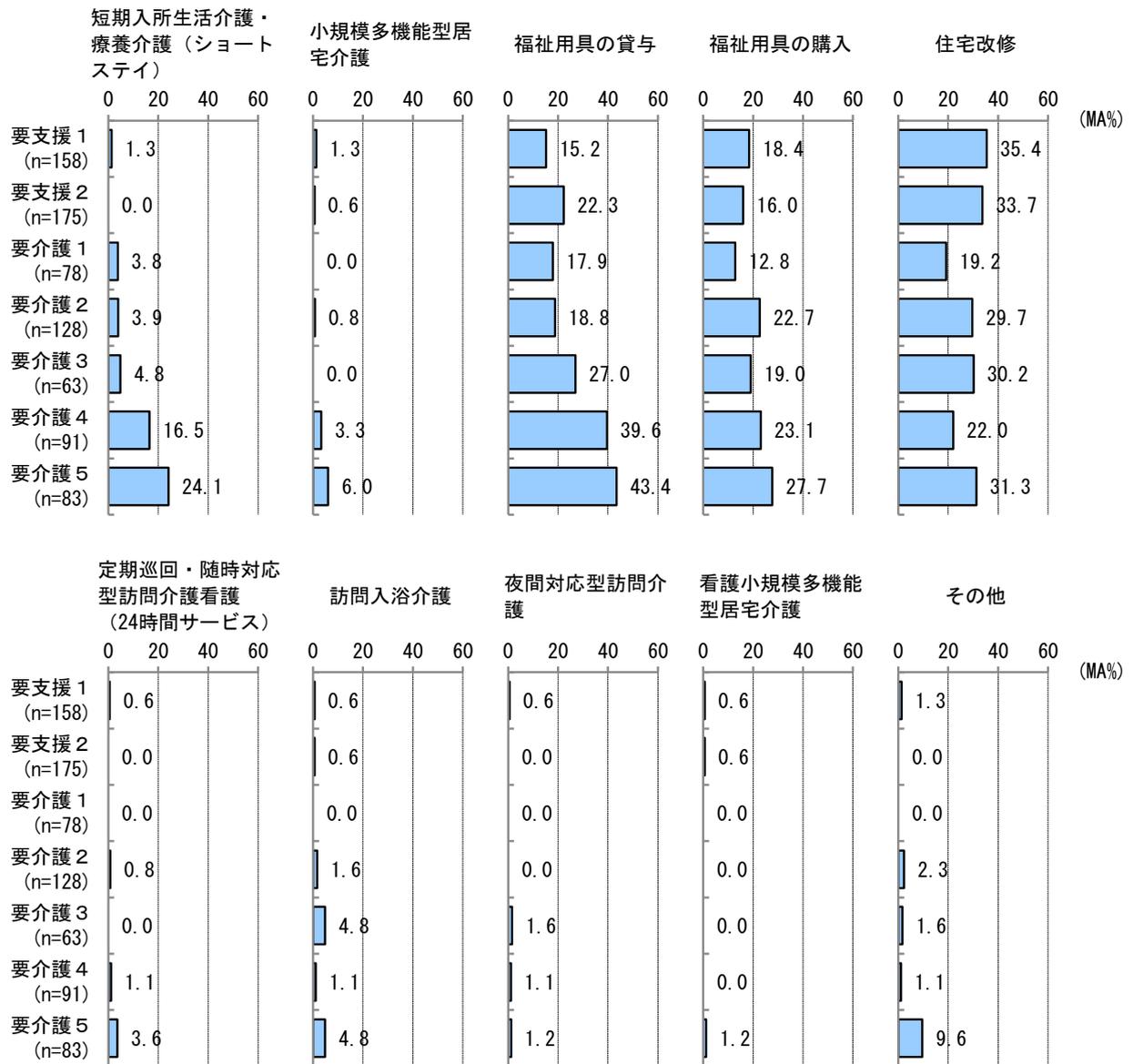
要介護度別で見ると、要支援1・2は「住宅改修」が最も多く、要介護1～5は「通所介護（デイサービス）」が最も多くなっている。（図10-1-a）

【図10-1-a 以前利用していた介護保険サービス（要介護度別）①】



【介護保険サービス未利用者調査】

【図10-1-a 以前利用していた介護保険サービス（要介護度別）②】



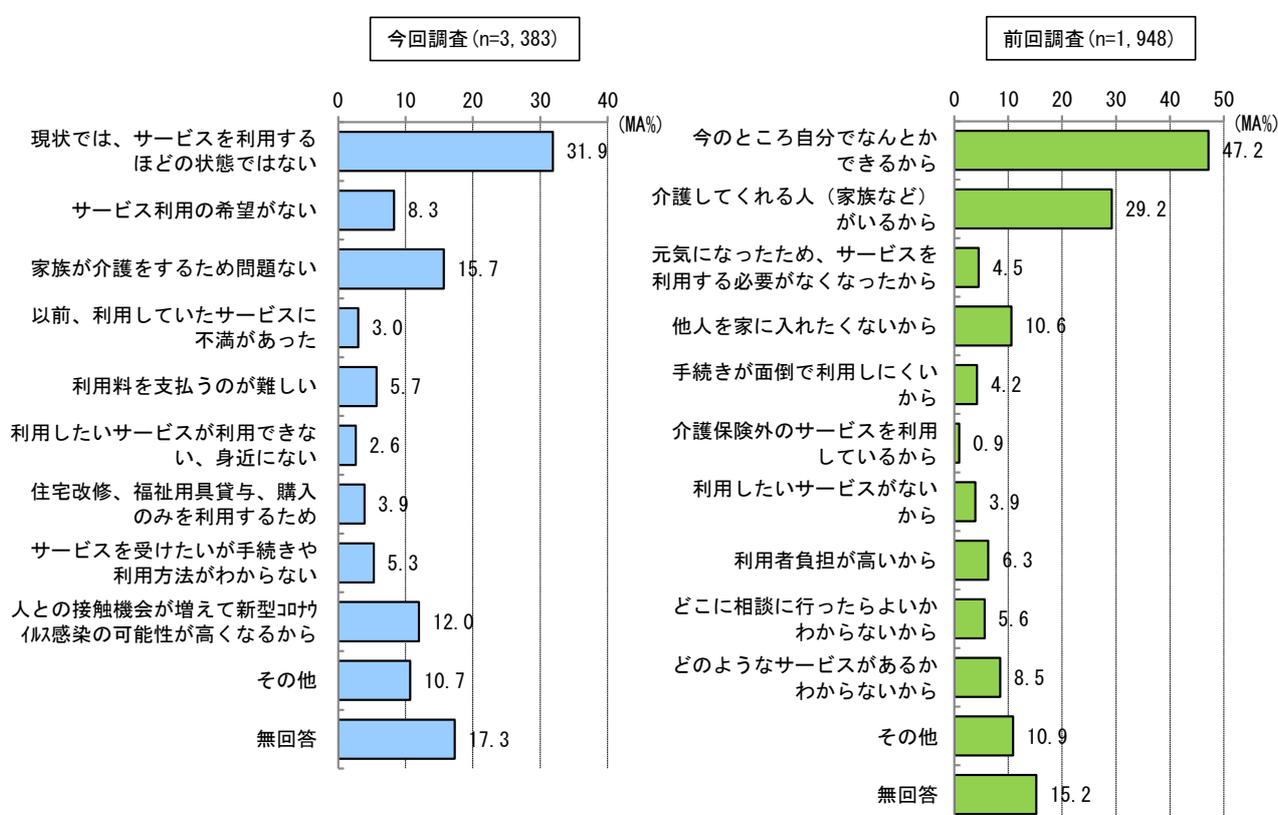
## 問11 介護保険サービスを利用していない理由

あなたが介護保険サービスを、現在利用していない理由は何ですか。(〇はいくつでも)

介護サービスを現在利用していない理由については、「現状では、サービスを利用するほどの状態ではない」が31.9%で最も多く、次いで「家族が介護をするため問題ない」が15.7%、「人との接触機会が増えて新型コロナウイルス感染の可能性が高くなるから」が12.0%となっている。

前回調査とは選択肢が異なるので比較はできないが、前回調査では、「今のところ自分でなんとかできるから」の割合が47.2%で最も高くなっていた。(図11)

【図11 介護保険サービスを利用していない理由（経年比較）】

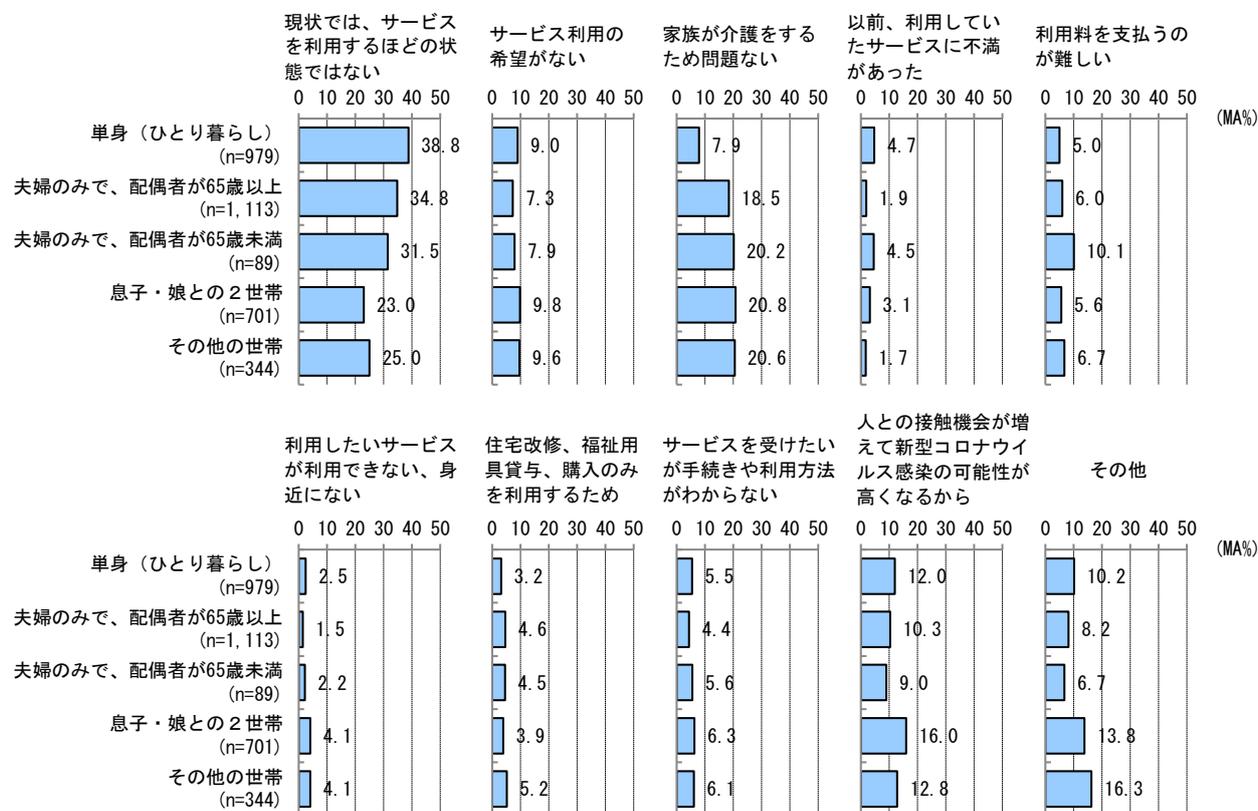


※今回調査では選択肢をほとんど変更している。

【介護保険サービス未利用者調査】

世帯状況別で見ると、いずれの世帯も「現状では、サービスを利用するほどの状態ではない」が最も多く、特に単身（ひとり暮らし）世帯は38.8%と最も高い割合になっている。（図11-a）

【図11-a 介護保険サービスを利用していない理由（世帯状況別）】

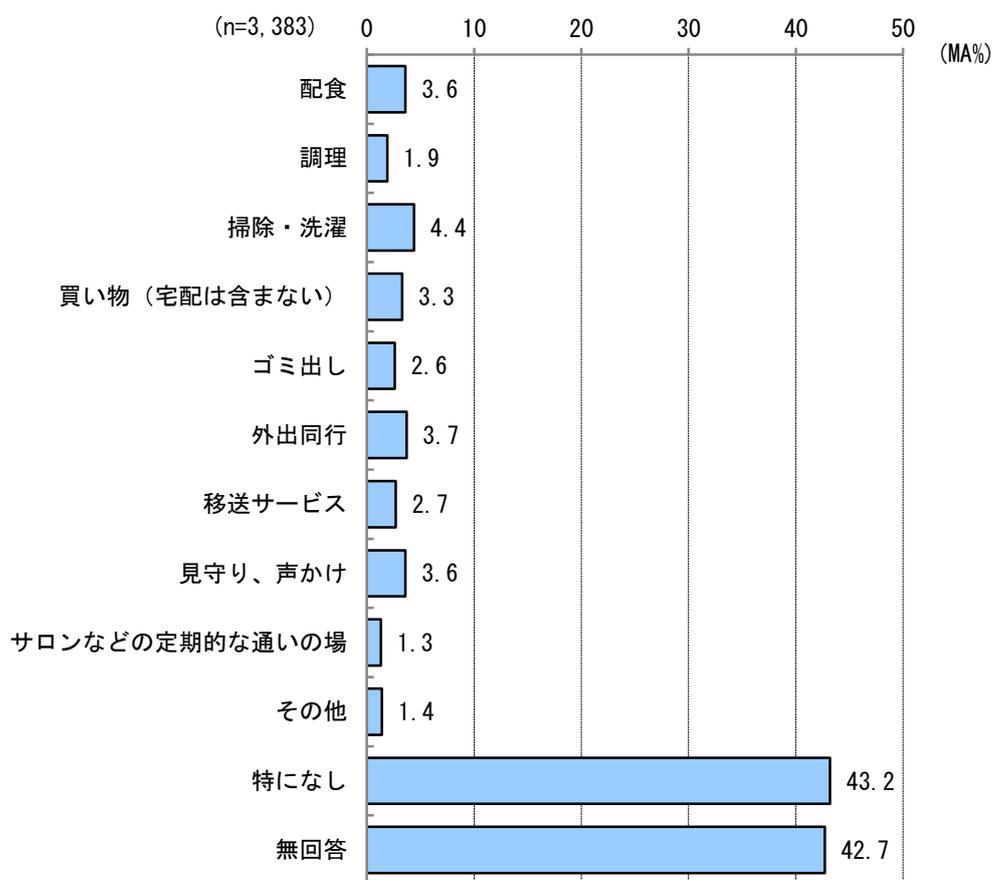


## 問12 現在利用している、介護保険サービス以外の支援・サービス

現在、利用している、「介護保険サービス以外」の支援・サービスについて、ご回答ください  
(〇はいくつでも)

現在利用している、介護サービス以外の支援・サービスについては、「特になし」が43.2%で最も多く、利用している支援・サービスでは「掃除・洗濯」が4.4%で最も多く、次いで「外出同行」が3.7%、「配食」、「見守り、声かけ」がそれぞれ3.6%となっている。(図12)

【図12 現在利用している、介護保険サービス及び介護予防サービス以外の支援・サービス】

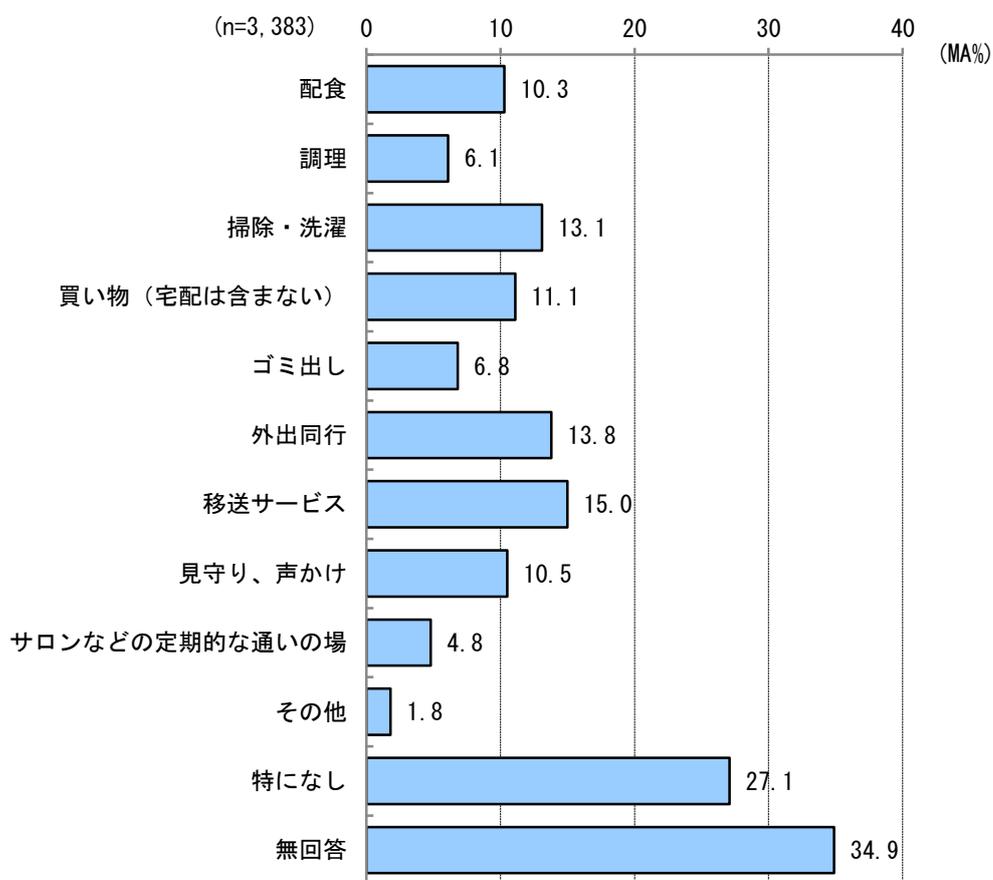


### 問13 在宅生活継続に必要と感じる支援・サービス

今後の在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス（現在利用しているが、さらなる充実が必要と感じる支援・サービス）について、ご回答ください。（〇はいくつでも）

今後の在宅生活継続に必要な支援・サービスについては、「特になし」が27.1%で最も多いが、必要な支援・サービスでは「移送サービス」が15.0%で最も多く、次いで「外出同行」が13.8%、「掃除・洗濯」が13.1%となっている。（図13）

【図13 在宅生活継続に必要と感じる支援・サービス】



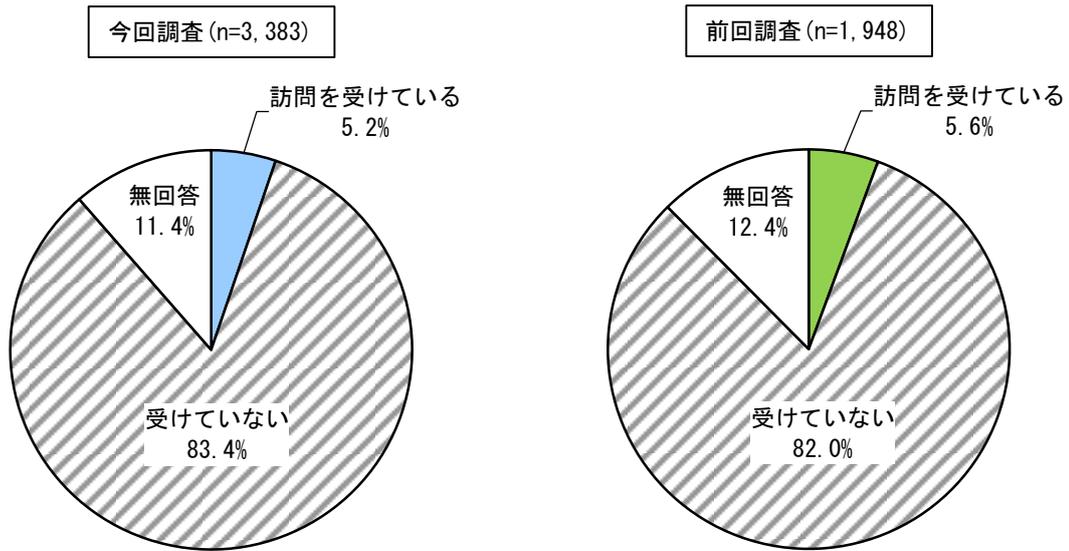
**問14 医療従事者などの訪問有無**

あなたは現在、医療従事者などの訪問を受けていますか。(○はひとつ)

現在、医療従事者などの訪問を受けているかについては、「訪問を受けている」が5.2%、「受けていない」が83.4%となっている。

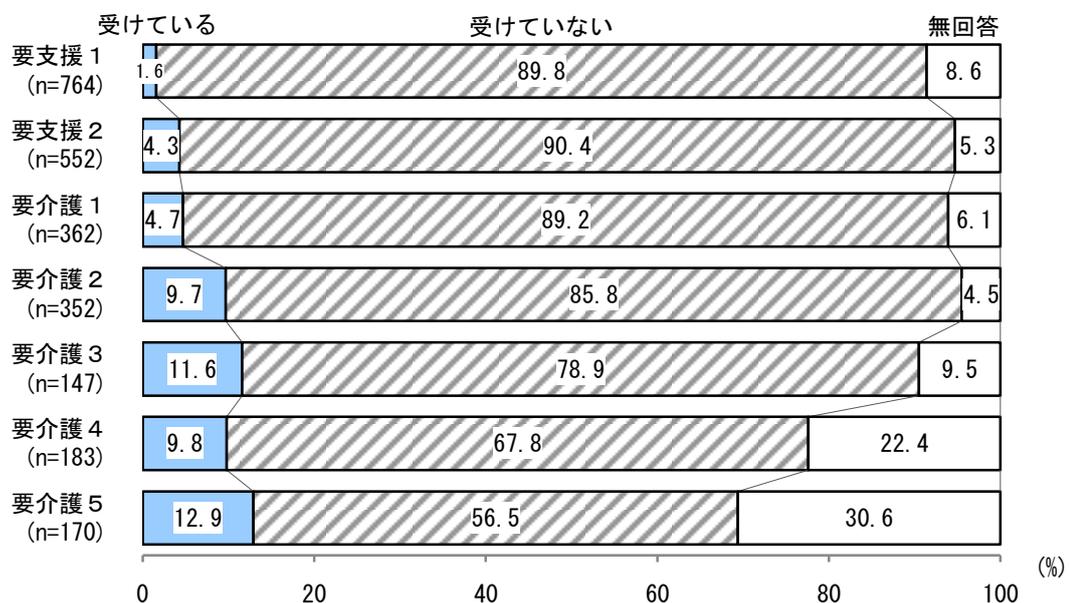
前回調査と比較すると、概ね前回と同様の傾向となっている。(図14)

【図14 医療従事者などの訪問有無（経年比較）】



要介護度別で見ると、要介護度にかかわらず「受けていない」が過半数を占めているが、重度になるほど「訪問を受けている」の割合が高くなる傾向がみられる。(図14-a)

【図14-a 医療従事者などの訪問有無（要介護度別）】



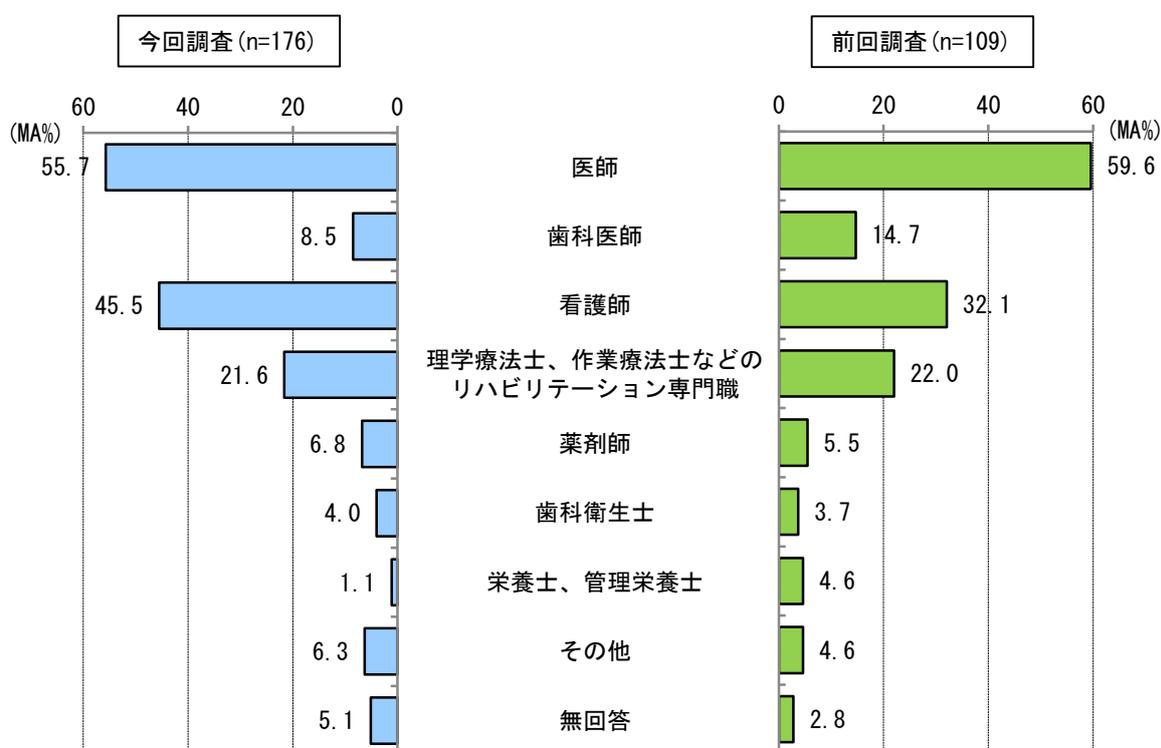
### 問14-1 訪問されている医療従事者

問14で「1 はい」と回答された方におうかがいします。  
訪問されている方は誰ですか。(〇はいくつでも)

医療従事者などの訪問を受けていると回答した人に、その相手をたずねると、「医師」が55.7%で最も多く、次いで「看護師」が45.5%、「理学療法士、作業療法士などのリハビリテーション専門職」が21.6%となっている。

前回調査と比較すると、「看護師」の割合が13.4ポイント高く、「歯科医師」の割合が6.2ポイント低くなっている。(図14-1)

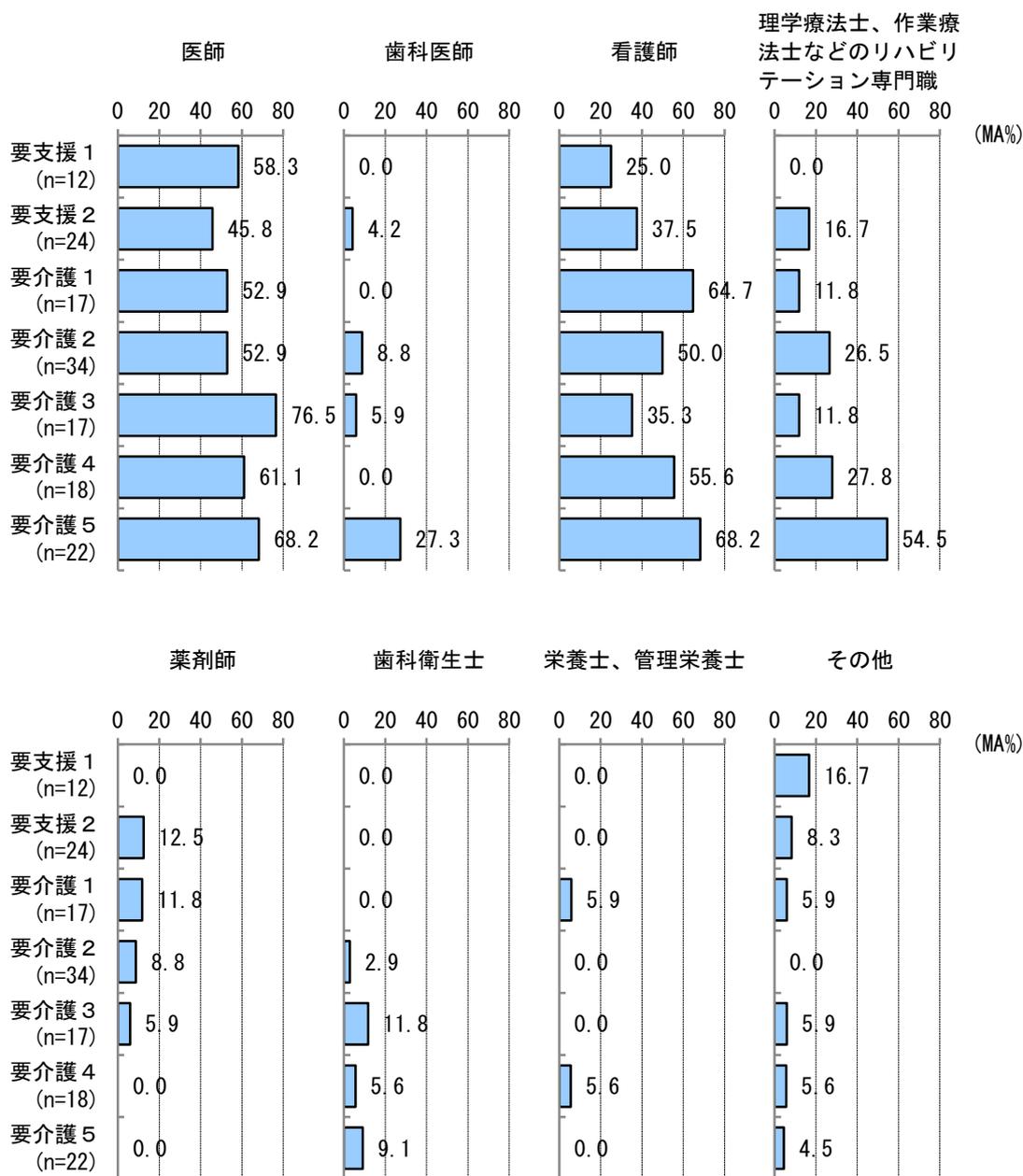
【図14-1 訪問されている医療従事者（経年比較）】



【介護保険サービス未利用者調査】

要介護度別で見ると、母数が少ないので一概には言えないが、要介護1は「看護師」が64.7%で最も多くなっている。それ以外の要介護度では「医師」が最も多くなっている。また、要介護5は同率で「看護師」も最も多い。また要介護5は「理学療法士、作業療法士などのリハビリテーション専門職」も5割以上となっている。(図14-1-a)

【図14-1-a 訪問されている医療従事者（要介護度別）】



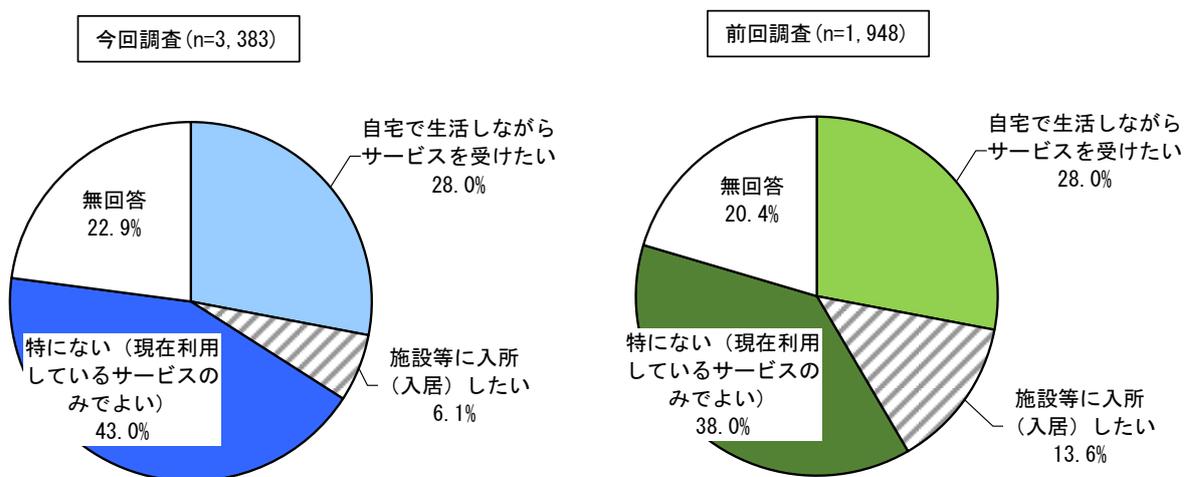
### 問15 介護保険サービスの利用意向

あなたが1年以内に利用したい介護保険サービスについてお答えください。(○はひとつ)

今後、利用したい介護保険サービスについては、「特にない（現在利用しているサービスのみでよい）」が43.0%で最も多く、次いで「自宅で生活しながらサービスを受けたい」が28.0%、「施設等に入所（入居）したい」が6.1%となっている。

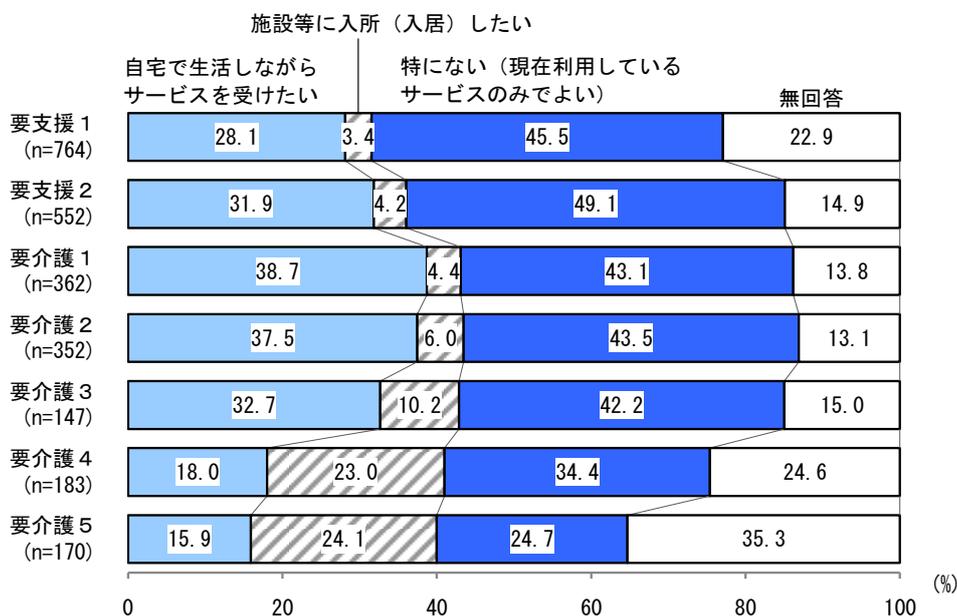
前回調査と比較すると、「施設等に入所（入居）したい」の割合が7.5ポイント低くなっている。(図15)

【図15 介護保険サービスの利用意向（経年比較）】



要介護度別で見ると、要介護度にかかわらず「特にない（現在利用しているサービスのみでよい）」が最も多い。一方、「施設等に入所（入居）したい」の割合は重度になるほど高く、要介護5が24.1%で最も高くなっている。(図15-a)

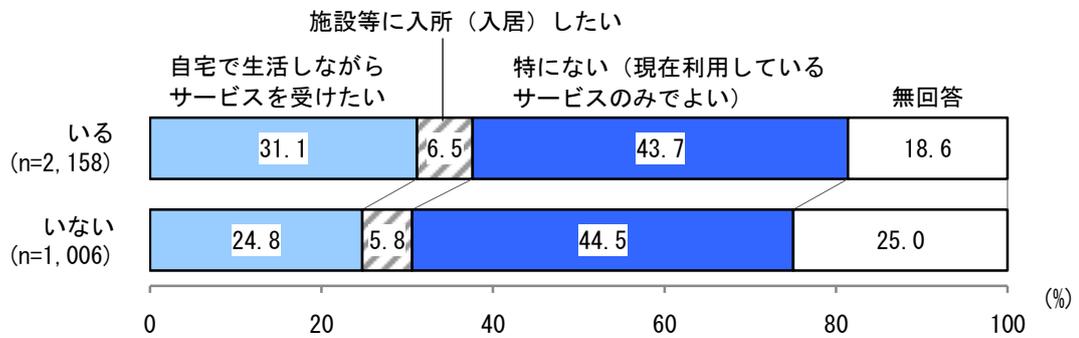
【図15-a 介護保険サービスの利用意向（要介護度別）】



【介護保険サービス未利用者調査】

介護者の有無別で見ると、介護者がいる、いないにかかわらず「特にない（現在利用しているサービスのみでよい）」が4割台で最も多い。「自宅で生活しながらサービスを受けたい」の割合は介護者がいる人のほうが高くなっている。（図15-b）

【図15-b 介護保険サービスの利用意向（介護者の有無別）】

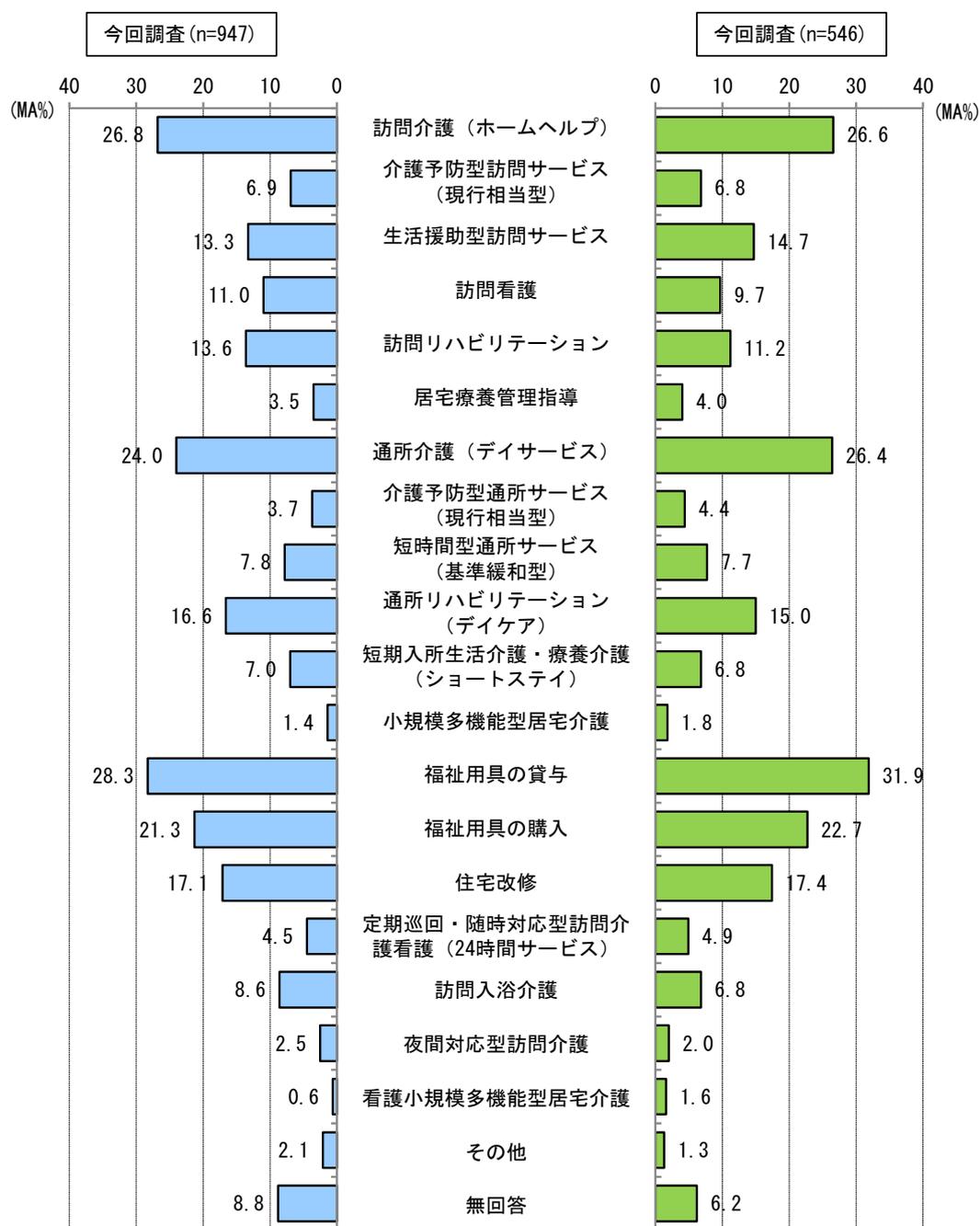


### 問15-1 利用したい居宅サービス

この質問は、問15で「1 自宅で生活しながらサービスを受けたい」と回答された方のみお答えください。  
 あなたが1年以内に利用したい介護保険サービスについて、あてはまる番号すべてに○をつけてください。(○はいくつでも)

自宅で生活しながらサービスを受けたいと回答した人に、今後、利用したい居宅サービスをたずねると、「福祉用具の貸与」が28.3%で最も多く、次いで「訪問介護（ホームヘルプ）」が26.8%、「通所介護（デイサービス）」が24.0%となっている。  
 前回調査と比較すると、「福祉用具の貸与」の割合が3.6ポイント低くなっている。(図15-1)

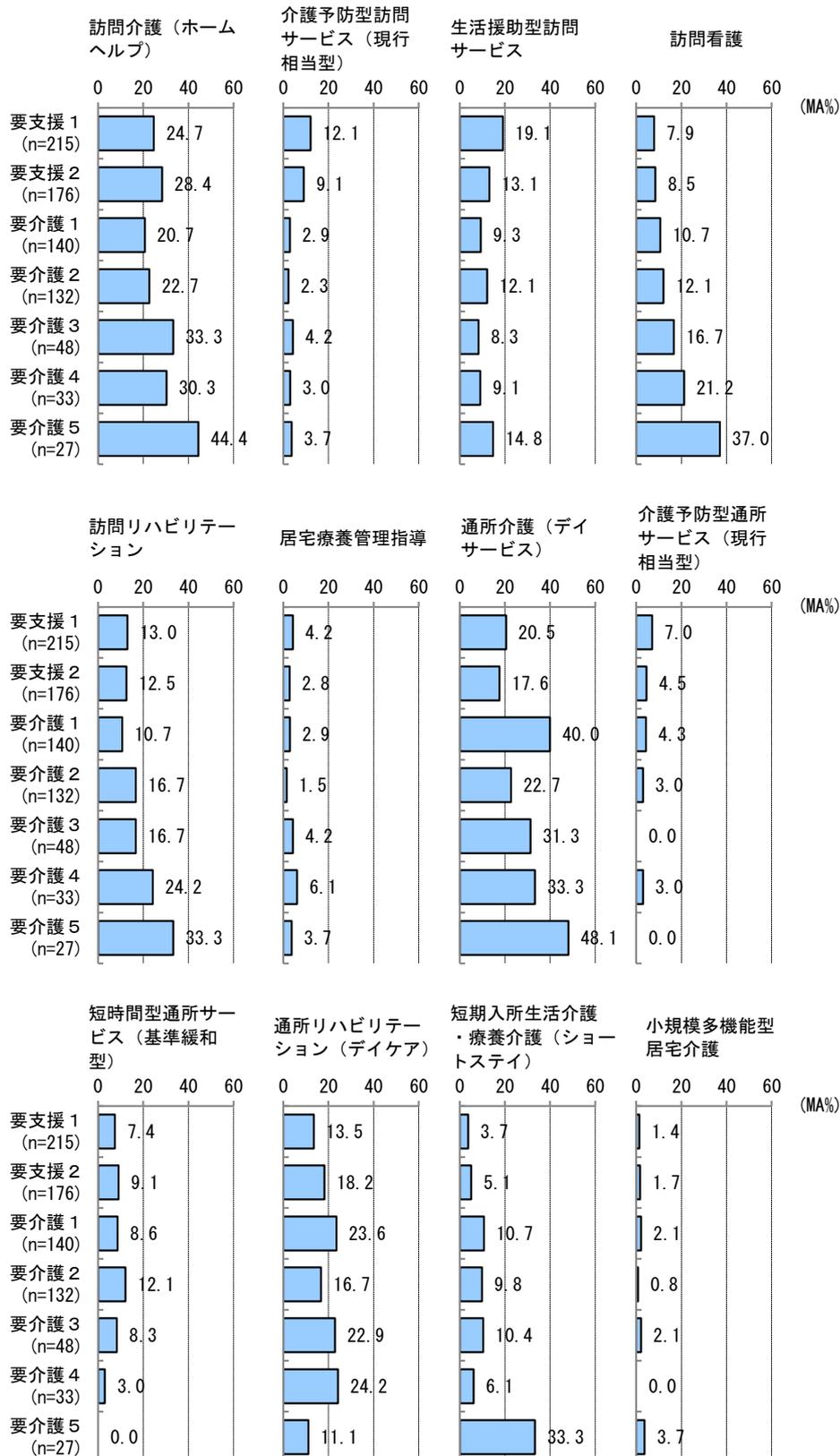
【図15-1 利用したい居宅サービス（経年比較）】



【介護保険サービス未利用者調査】

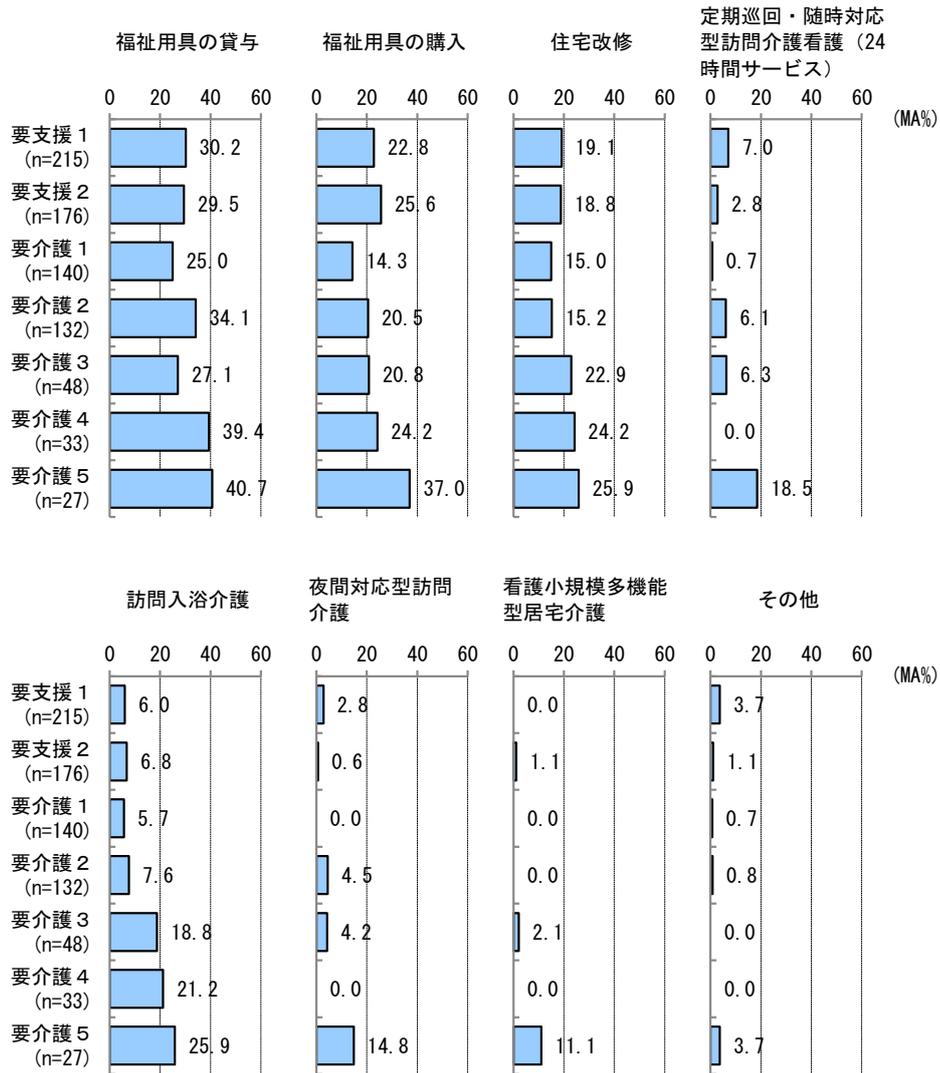
要介護度別で見ると、要支援1・2、要介護2・4では「福祉用具の貸与」が最も多いが、要介護1・5では「通所介護（デイサービス）」、要介護3では「訪問介護（ホームヘルプ）」が最も多くなっている。また、要介護5では「訪問看護」や「訪問リハビリテーション」、「短期入所生活介護・療養介護（ショートステイ）」、「福祉用具の購入」も3割を超えている。（図15-1-a）

【図15-1-a 利用したい居宅サービス（要介護度別）①】



【介護保険サービス未利用者調査】

【図15-1-a 利用したい居宅サービス（要介護度別）②】



## 問15-2 利用したい施設サービス

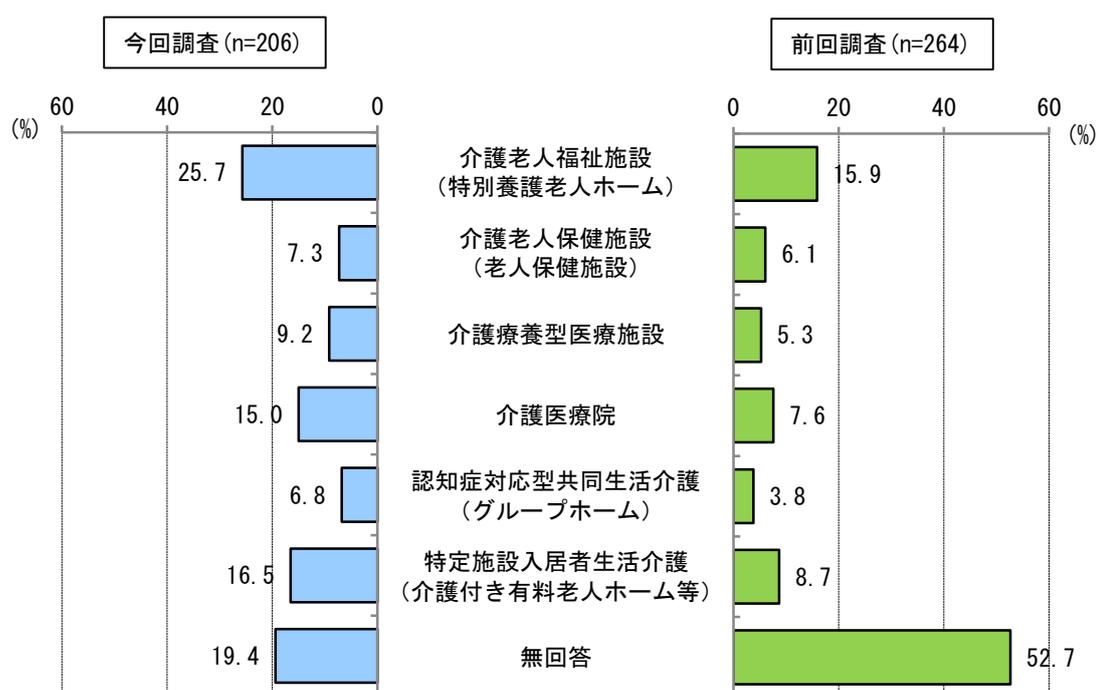
問15-2、問15-3は、問15で「2 施設等に入所(入居)したい」と回答された方のみお答えください。

あなたが1年以内に利用したい介護保険サービスについて、あてはまる番号に○をつけてください。(○はひとつ)

施設等に入所(入居)したいと回答した人に、今後、利用したい施設サービスをたずねると、「介護老人福祉施設(特別養護老人ホーム)」が25.7%で最も多く、次いで「特定施設入居者生活介護(介護付き有料老人ホーム等)」が16.5%、「介護医療院」が15.0%となっている。

前回調査と比較すると、「介護老人福祉施設(特別養護老人ホーム)」の割合が9.8ポイント、「特定施設入居者生活介護(介護付き有料老人ホーム等)」の割合が7.8ポイント、「介護医療院」の割合が7.4ポイントそれぞれ高くなっている。(図15-2)

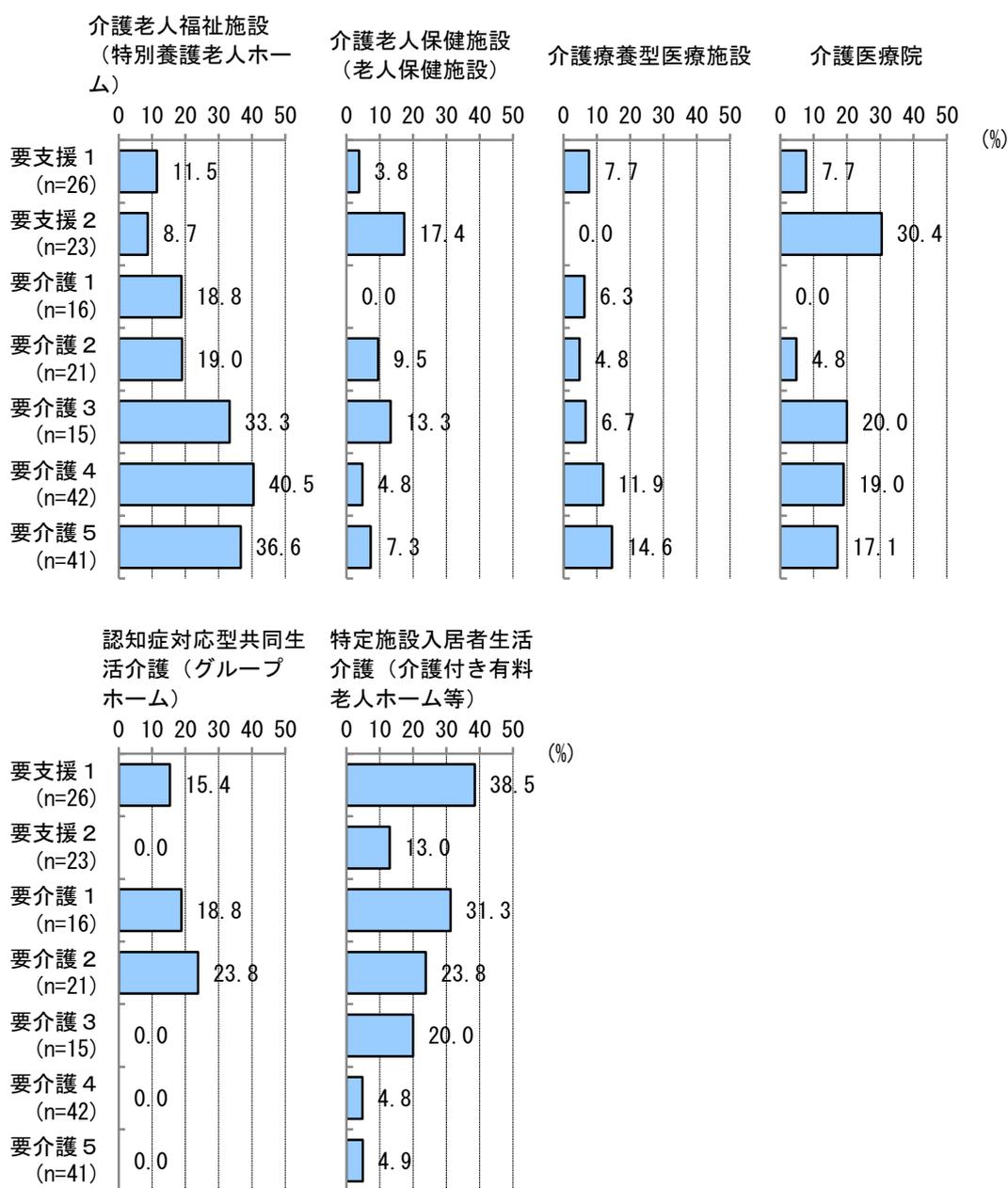
【図15-2 利用したい施設サービス(経年比較)】



【介護保険サービス未利用者調査】

要介護度別でみると、母数が少ないので一概には言えないが、要支援1と要介護1は「特定施設入居者生活介護（介護付き有料老人ホーム等）」の割合が高く、要介護3～5は「介護老人福祉施設（特別養護老人ホーム）」の割合が高い傾向にある。また、要支援2は「介護医療院」、要介護2では「認知症対応型共同生活介護（グループホーム）」と「特定施設入居者生活介護（介護付き有料老人ホーム等）」の割合が同率で高くなっている。（図15-2-a）

【図15-2-a 利用したい施設サービス（要介護度別）】



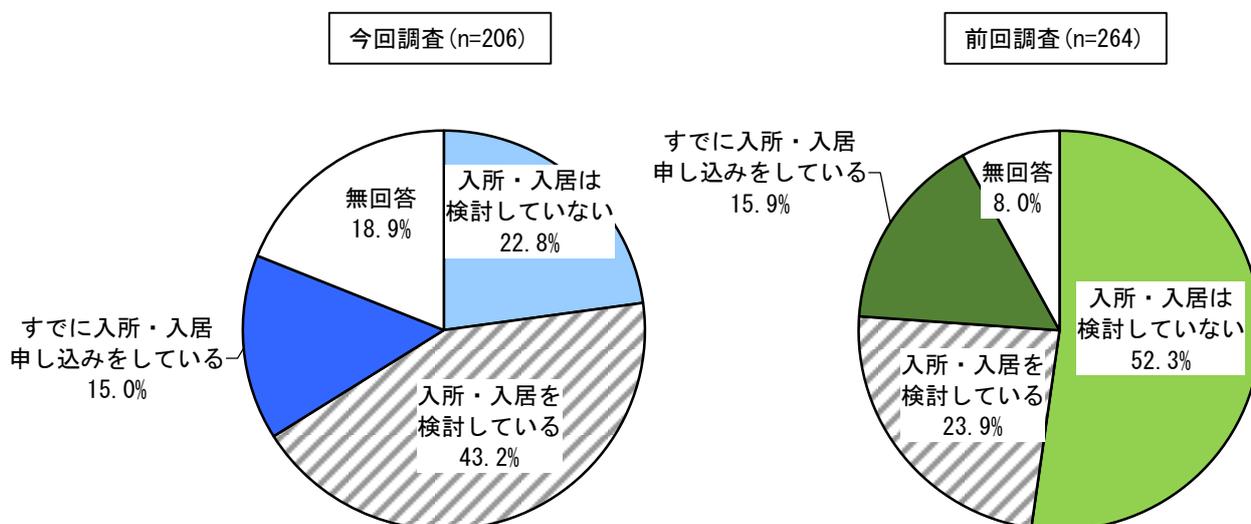
### 問15-3 施設等の入所（入居）の検討状況

現時点での、施設等への入所・入居の検討状況についてご回答ください。（○はひとつ）

施設等に入所（入居）したいと回答した人に、現時点での検討状況をたずねると、「入所・入居を検討している」が43.2%で最も多く、次いで「入所・入居は検討していない」が22.8%、「すでに入所・入居申し込みをしている」が15.0%となっている。

前回調査と比較すると、「入所・入居は検討していない」の割合が29.5ポイント低く、「入所・入居を検討している」の割合が19.3ポイント高くなっている。（図15-3）

【図15-3 施設等の入所（入居）の検討状況（経年比較）】



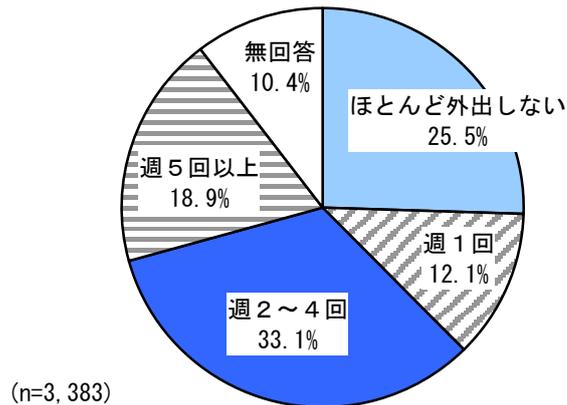
(5) 外出の状況

問16 外出頻度

週に1回以上は外出していますか。(○はひとつ)

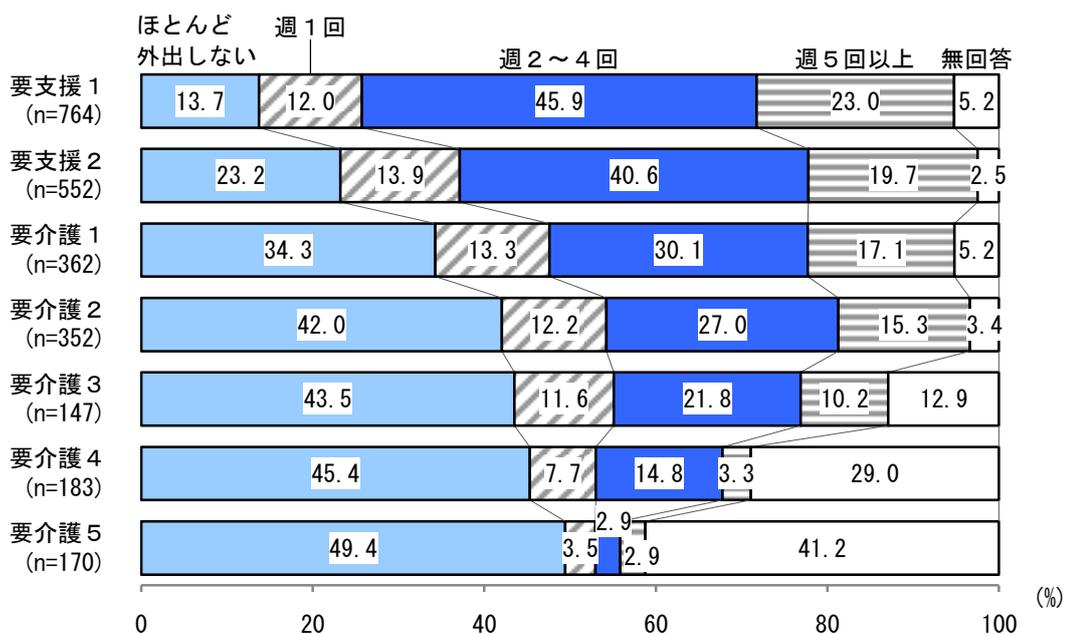
外出頻度については、「週2～4回」が33.1%で最も多く、次いで「ほとんど外出しない」が25.5%、「週5回以上」が18.9%となっている。(図16)

【図16 外出頻度】



要介護度別でみると、「ほとんど外出しない」の割合は重度になるほど高くなり、要介護5で49.4%と最も高くなっている。(図16-a)

【図16-a 外出頻度 (要介護度別)】

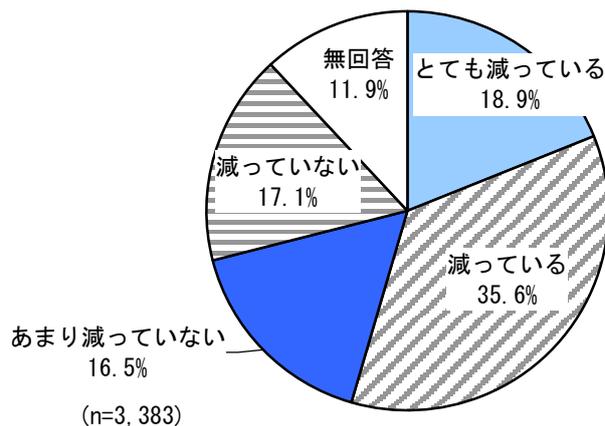


### 問17 昨年と比べた外出の回数

昨年と比べて外出の回数が減っていますか。(〇はひとつ)

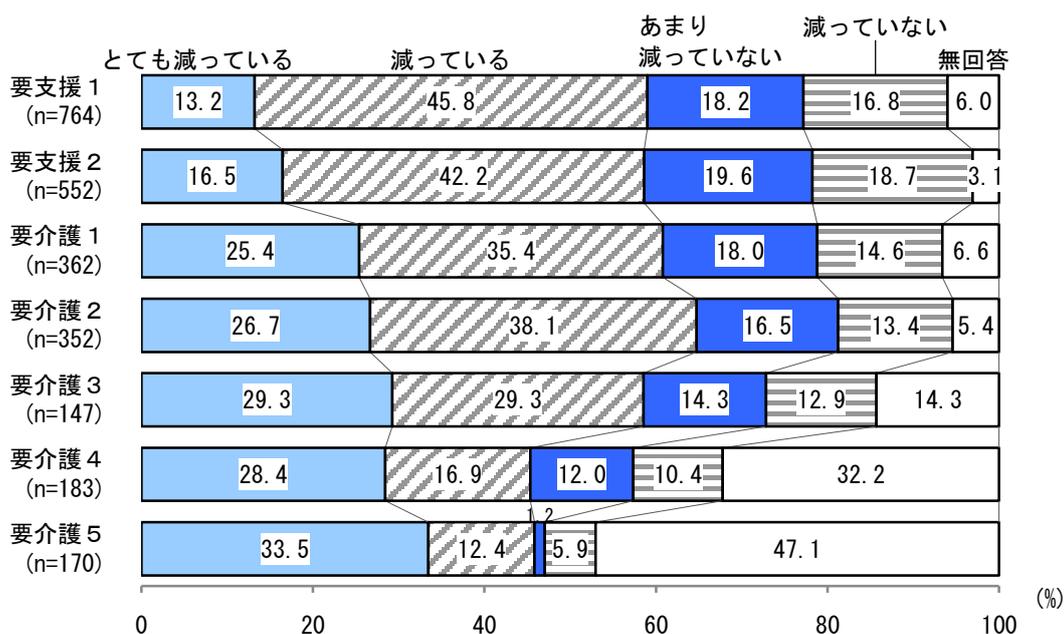
昨年と比べた外出の回数については、「減っている」が35.6%で最も多く、次いで「とても減っている」が18.9%で、両者をあわせた『減っている』割合は54.5%となっている。(図17)

【図17 昨年と比べた外出の回数】



要介護度別で見ると、要支援1・2、要介護1・2では「減っている」が最も多く、『減っている』割合は6割前後を占めている。(図17-a)

【図17-a 昨年と比べた外出の回数（要介護度別）】

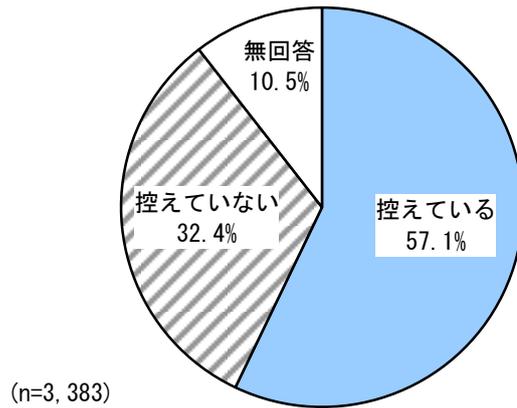


**問18 外出を控えること**

外出を控えていますか。(○はひとつ)

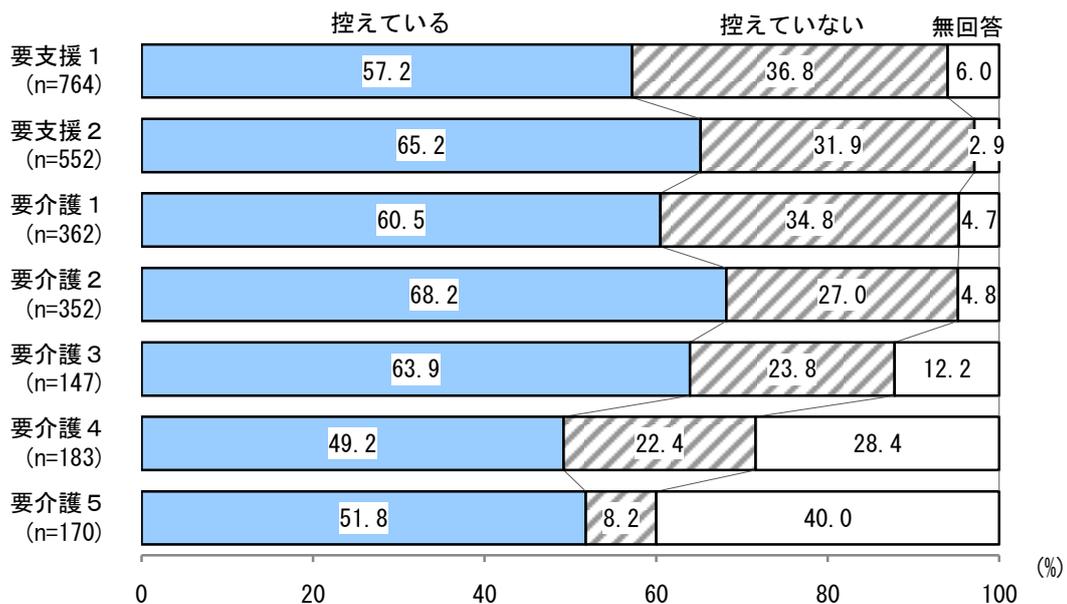
外出を控えているかについては、「控えている」が57.1%で、「控えていない」は32.4%となっている。(図18)

【図18 外出を控えること】



要介護度別で見ると、要介護度にかかわらず「控えていない」割合より「控えている」割合のほうが多く、「控えている」の割合は要支援2、要介護1～3で6割台を占めている。(図18-a)

【図18-a 外出を控えること (要介護度別)】



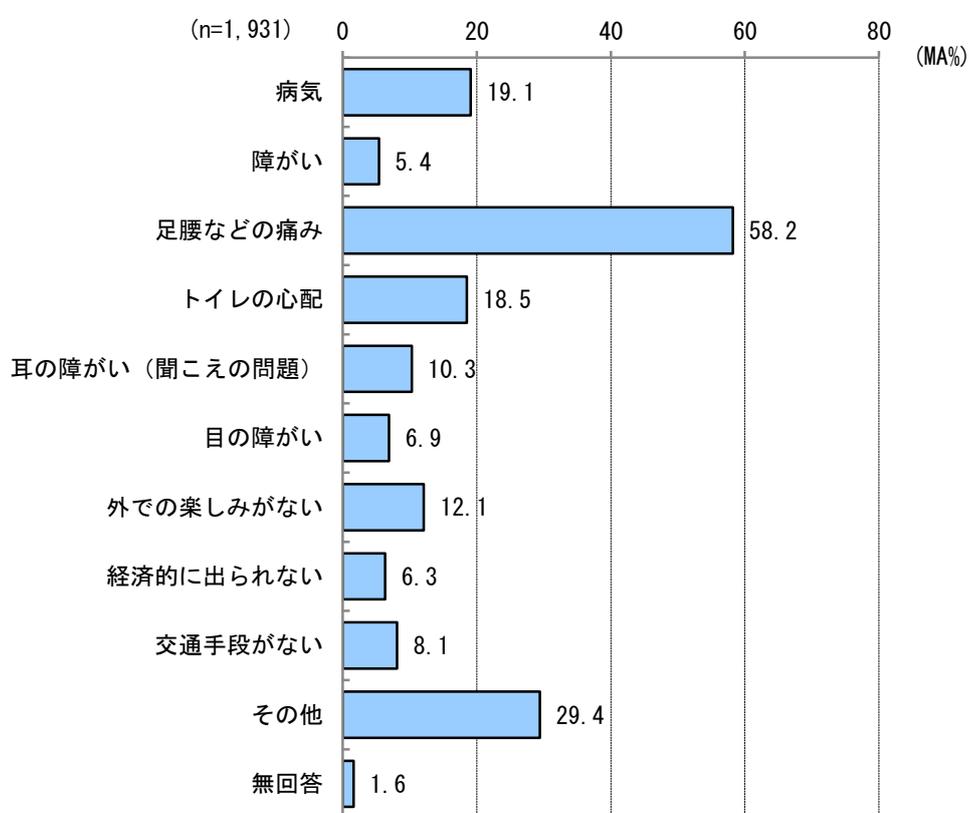
### 問18-1 外出を控えている理由

問18で「1 はい」(外出を控えている)と回答された方におうかがいします。  
 外出を控えている理由は、次のどれですか。(〇はいくつでも)

外出を控えていると回答した人に、その理由をたずねると、「足腰などの痛み」が58.2%で最も多く、次いで「病気」が19.1%、「トイレの心配」が18.5%となっている。

「その他」(29.4%)では、新型コロナウイルス感染症に関する理由より“感染予防のため”や“感染が怖いから”などが多く、他にも“足腰の弱り”や“歩行困難”などの理由が挙げられている。(図18-1)

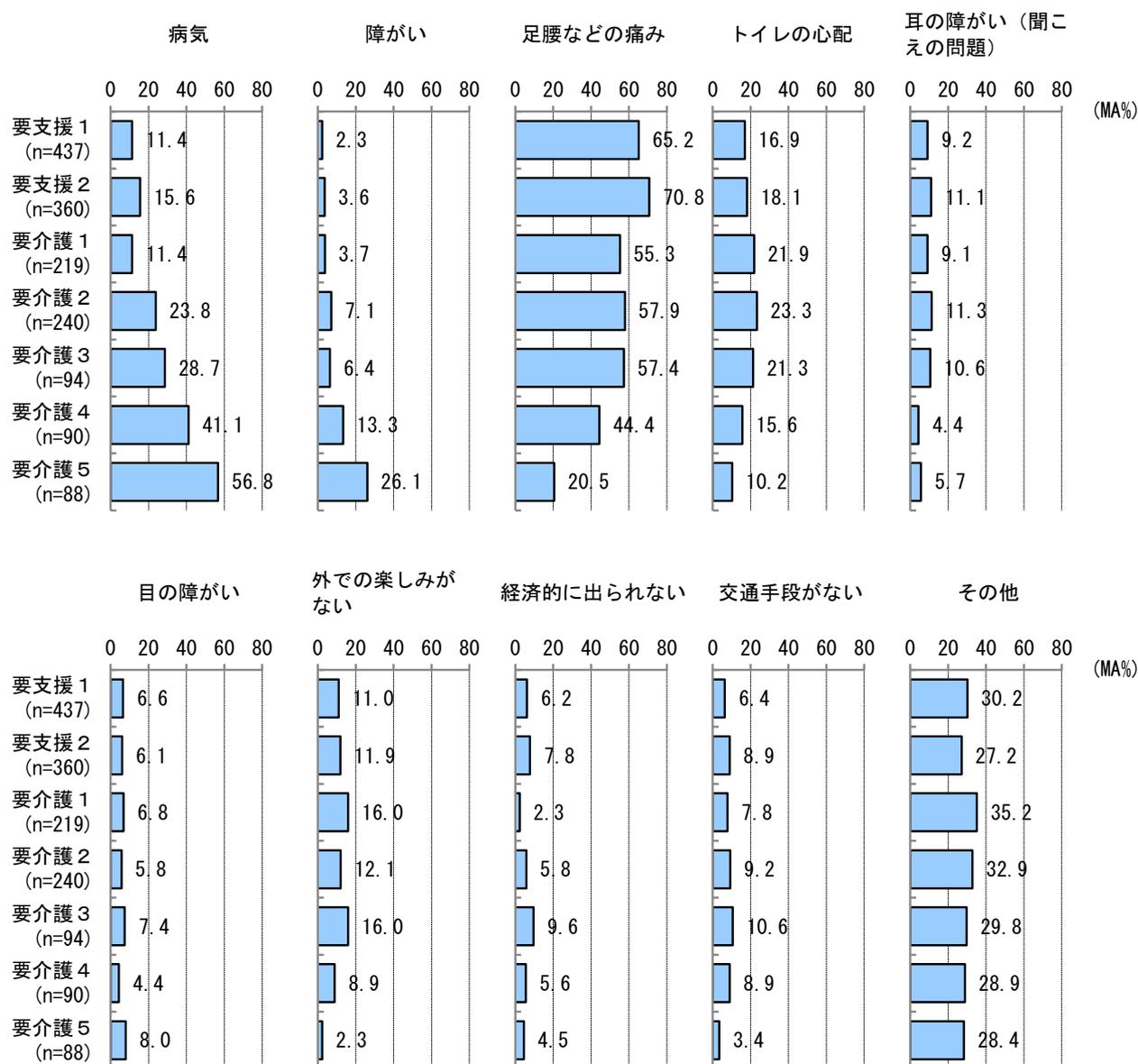
【図18-1 外出を控えている理由】



【介護保険サービス未利用者調査】

要介護度別で見ると、要介護5は「病気」が56.8%で最も多い。それ以外の要介護度では「足腰などの痛み」が最も多く、要支援2が70.8%で最も高い割合となっている。(図18-1-a)

【図18-1-a 外出を控えている理由（要介護度別）】



(6) 介護予防・重度化防止の取り組み

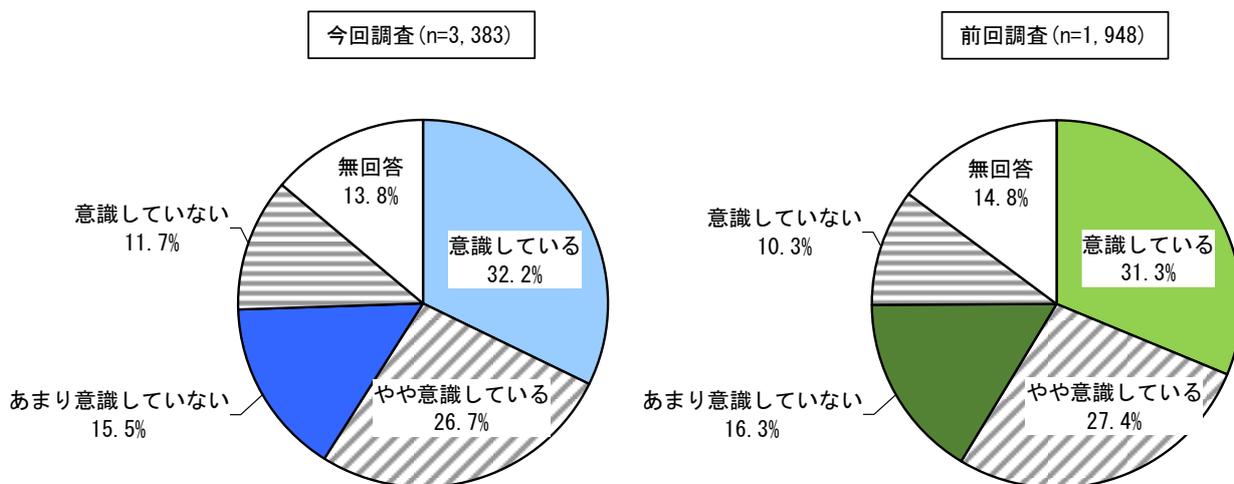
問19 介護予防に対する意識の程度

あなたは、介護予防についてどれほど意識していますか。(〇はひとつ)

介護予防に対する意識の程度については、「意識している」が32.2%で最も多く、次いで「やや意識している」が26.7%で、両者をあわせると58.9%の人が介護予防に対して意識している。

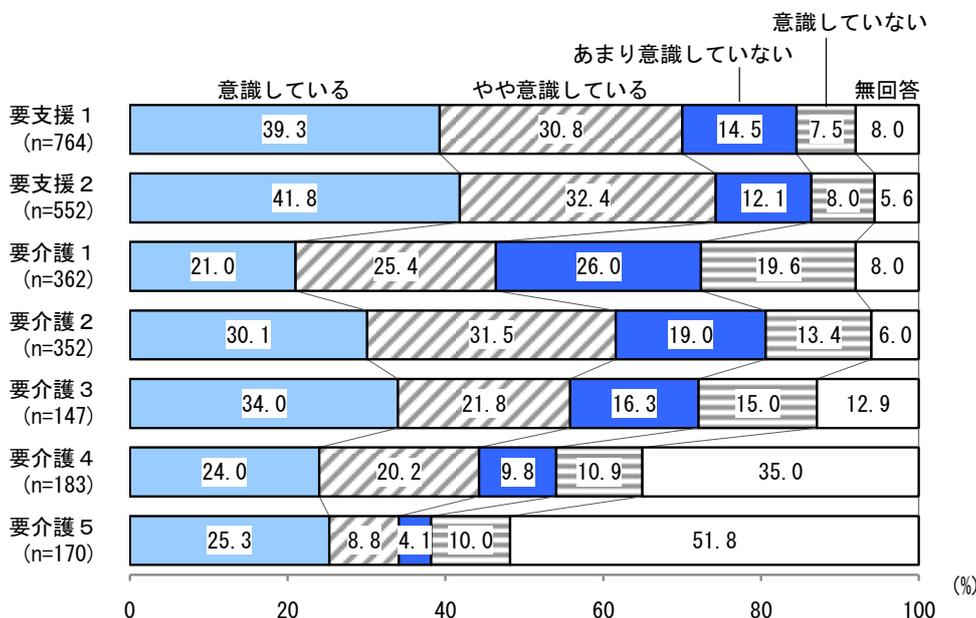
前回調査と比較すると、概ね前回と同様の傾向となっている。(図19)

【図19 介護予防に対する意識の程度（経年比較）】



要介護度別で見ると、要支援1・2、要介護3～5では「意識している」の割合が高く、介護予防に対して意識をしている割合は、要支援1・2と要介護2・3は5～7割台を占めているが、要介護1・4・5では3～4割台と低くなっている。(図19-a)

【図19-a 介護予防に対する意識の程度（要介護度別）】



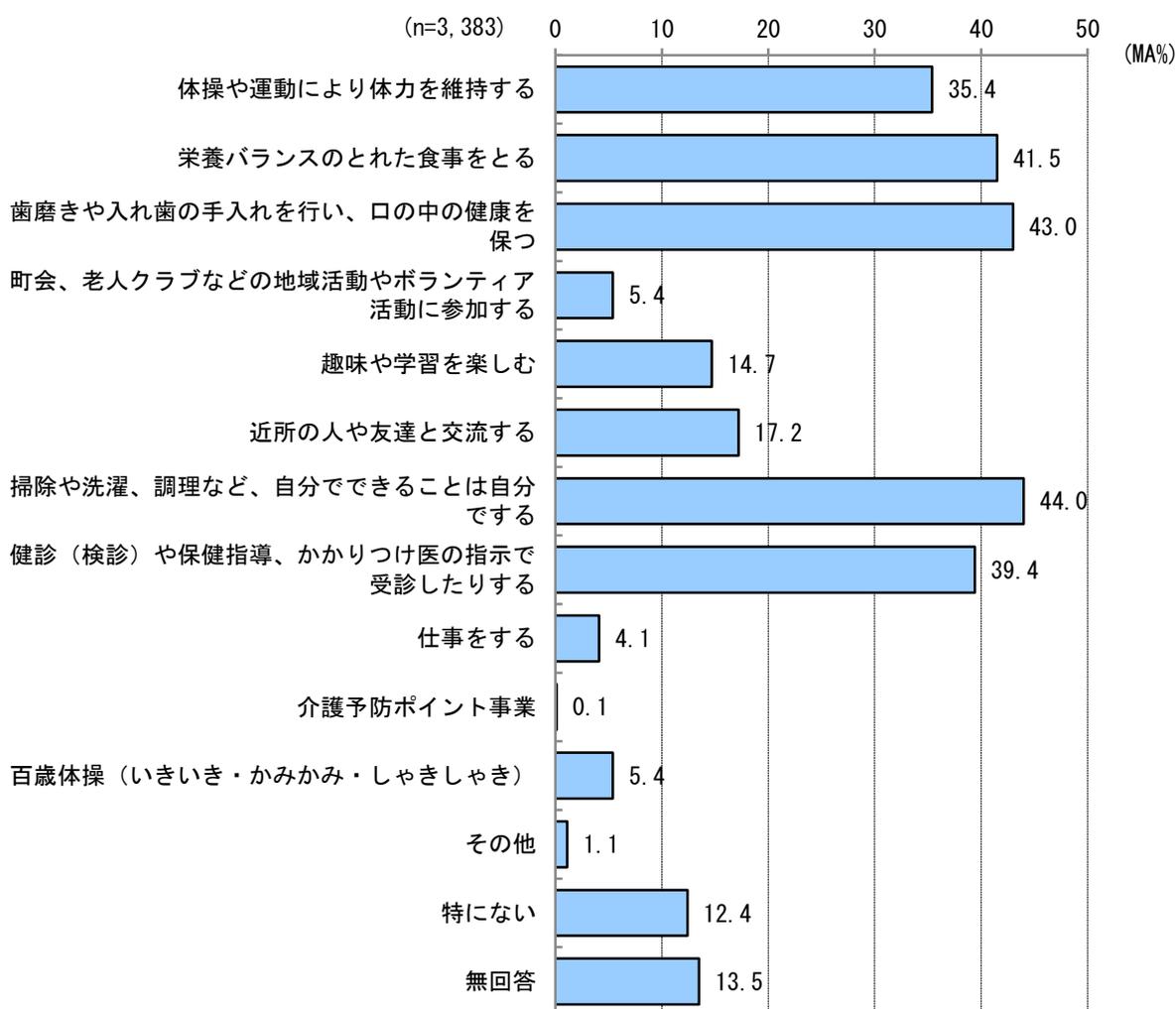
## 問20 介護予防の取り組み状況

あなたが、介護予防として、今取り組んでいること、今後取り組んでみたいことに○をつけてください。(○はいくつでも)

### ① 取り組んでいること

介護予防として取り組んでいることについては、「掃除や洗濯、調理など、自分でできることは自分でする」が44.0%で最も多く、次いで「歯磨きや入れ歯の手入れを行い、口の中の健康を保つ」が43.0%、「栄養バランスのとれた食事をとる」が41.5%となっている。(図20①)

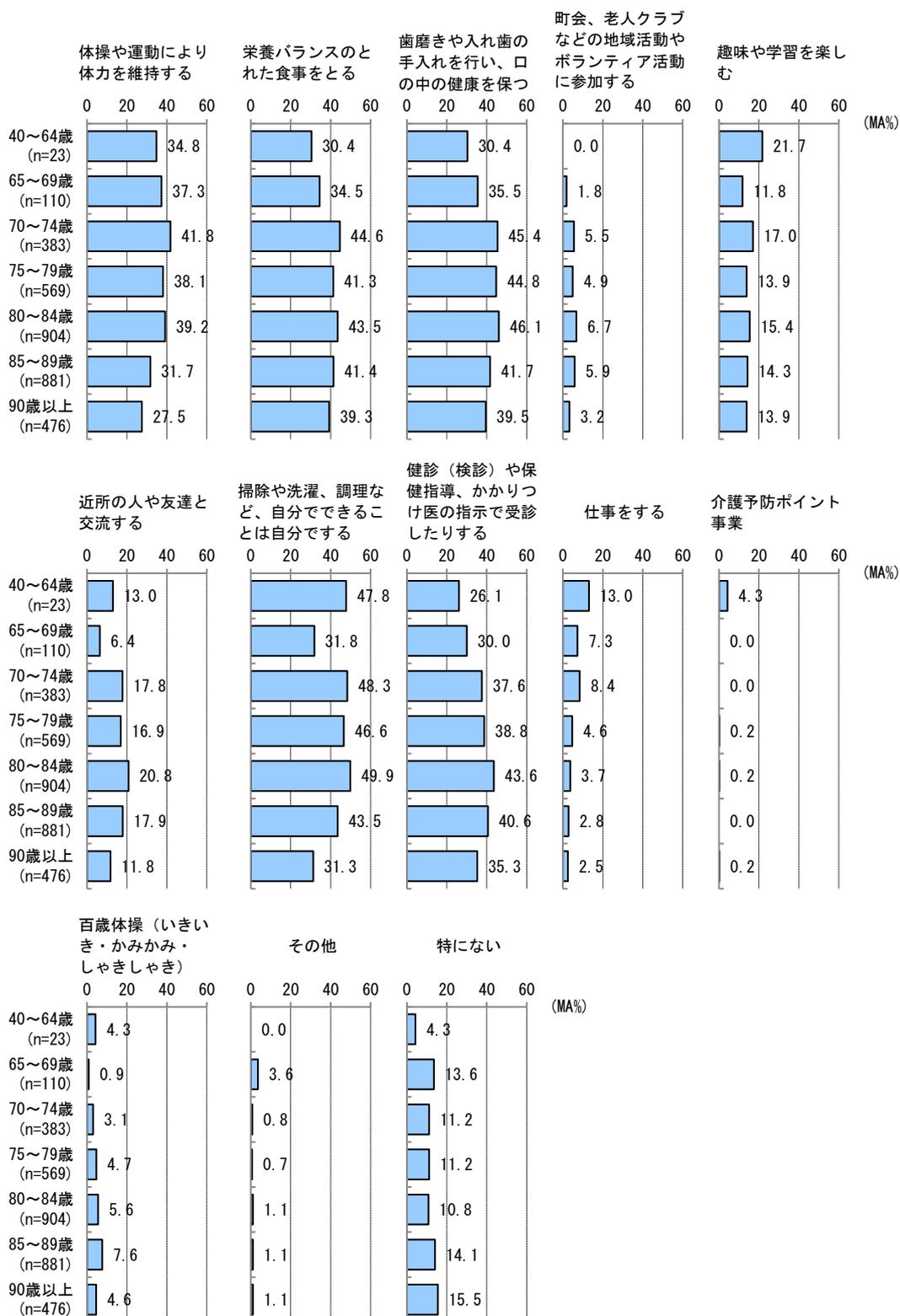
【図20① 介護予防の取り組み状況 ①取り組んでいること】



【介護保険サービス未利用者調査】

本人の年齢別で見ると、40～64歳、70～89歳の年代では「掃除や洗濯、調理など、自分でできることは自分でする」が最も多くなっている。65～69歳では「体操や運動により体力を維持する」、90歳以上では「歯磨きや入れ歯の手入れを行い、口の中の健康を保つ」が最も多くなっている。(図20①-a)

【図20①-a 介護予防に対する意識の程度（本人の年齢別）】

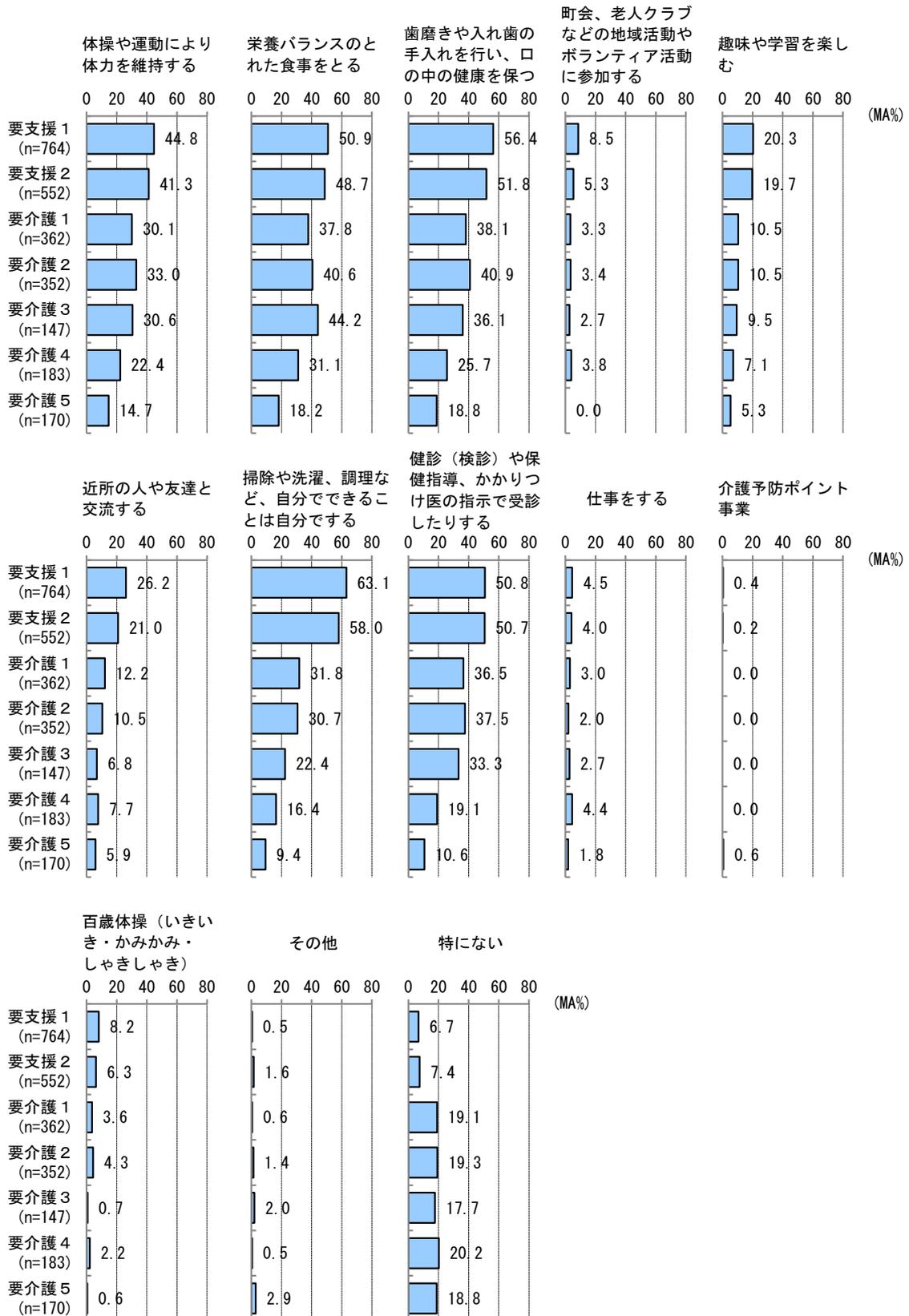


【介護保険サービス未利用者調査】

要介護度別で見ると、いずれの項目も概ね重度になるほど割合が低くなっている。(図20

①-b)

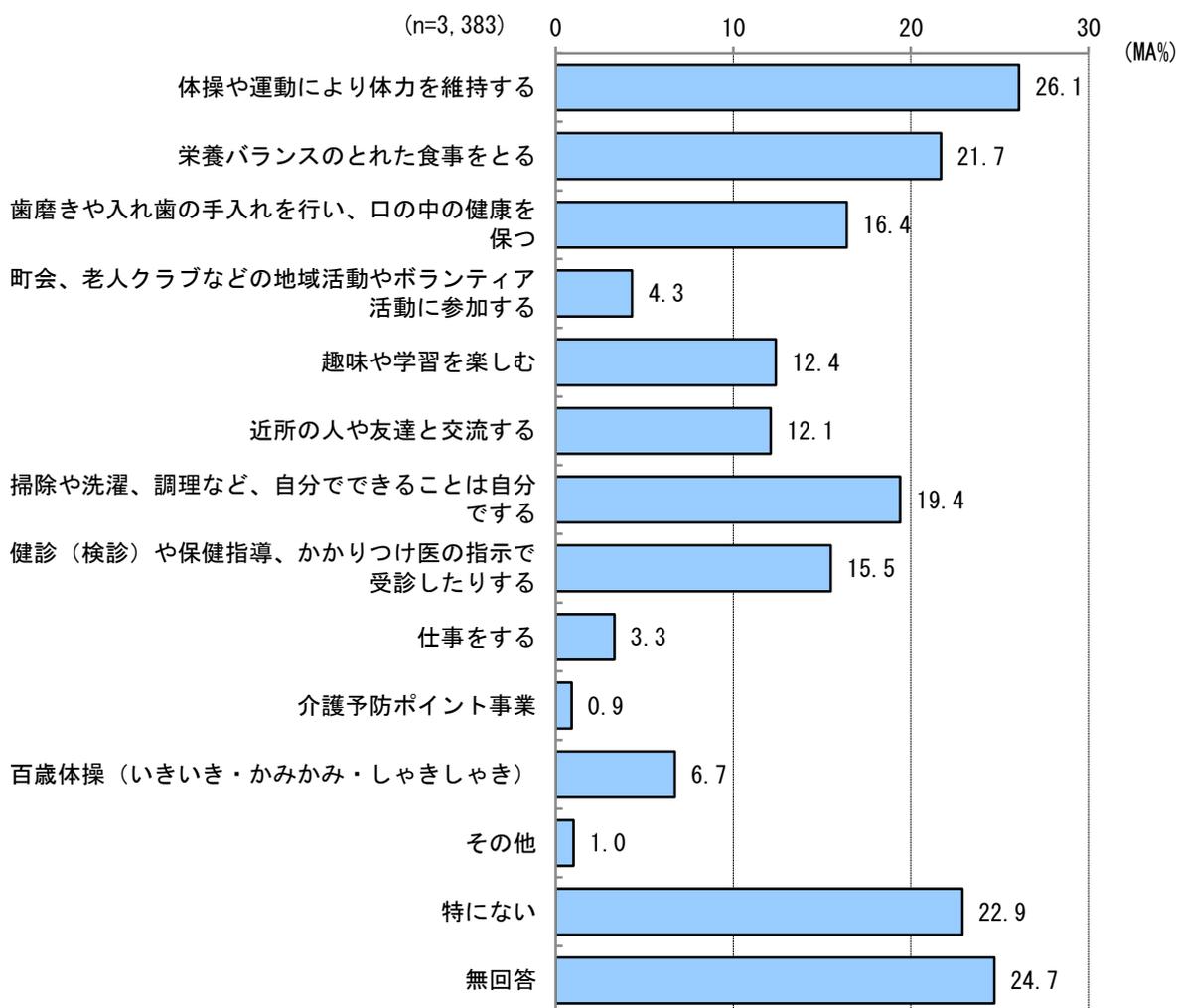
【図20①-b 介護予防の取り組み状況 ①取り組んでいること（要介護度別）】



② 取り組んでみたいこと

介護予防として取り組んでみたいことについては、「体操や運動により体力を維持する」が26.1%で最も多く、次いで「栄養バランスのとれた食事をとる」が21.7%、「掃除や洗濯、調理など、自分でできることは自分でする」が19.4%となっている。(図20②)

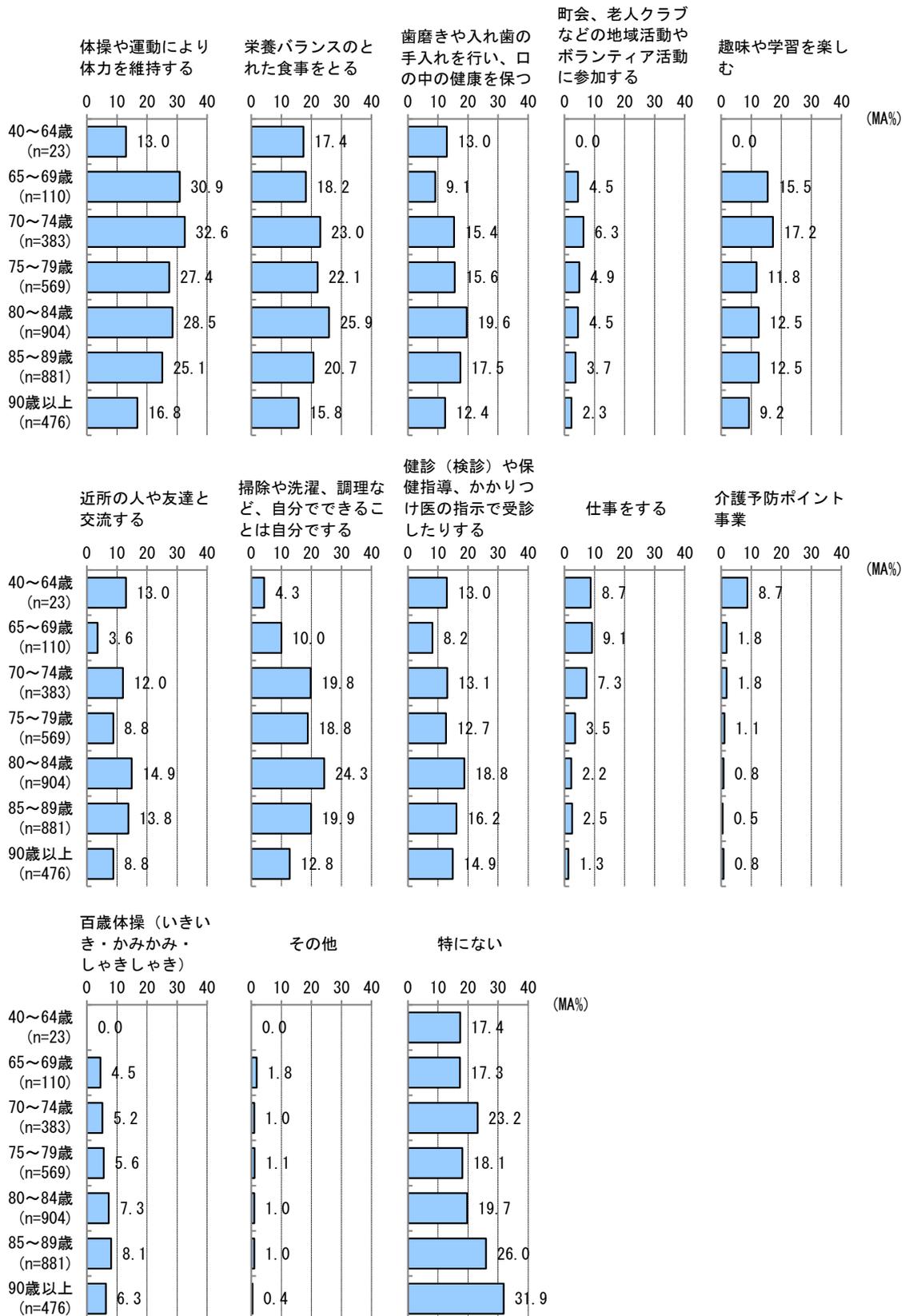
【図20② 介護予防の取り組み状況 ②取り組んでみたいこと】



【介護保険サービス未利用者調査】

本人の年齢別で見ると、65歳以上の年代では「体操や運動により体力を維持する」が最も多く、40～64歳では「栄養バランスのとれた食事をとる」が最も多くなっている。(図20②-a)

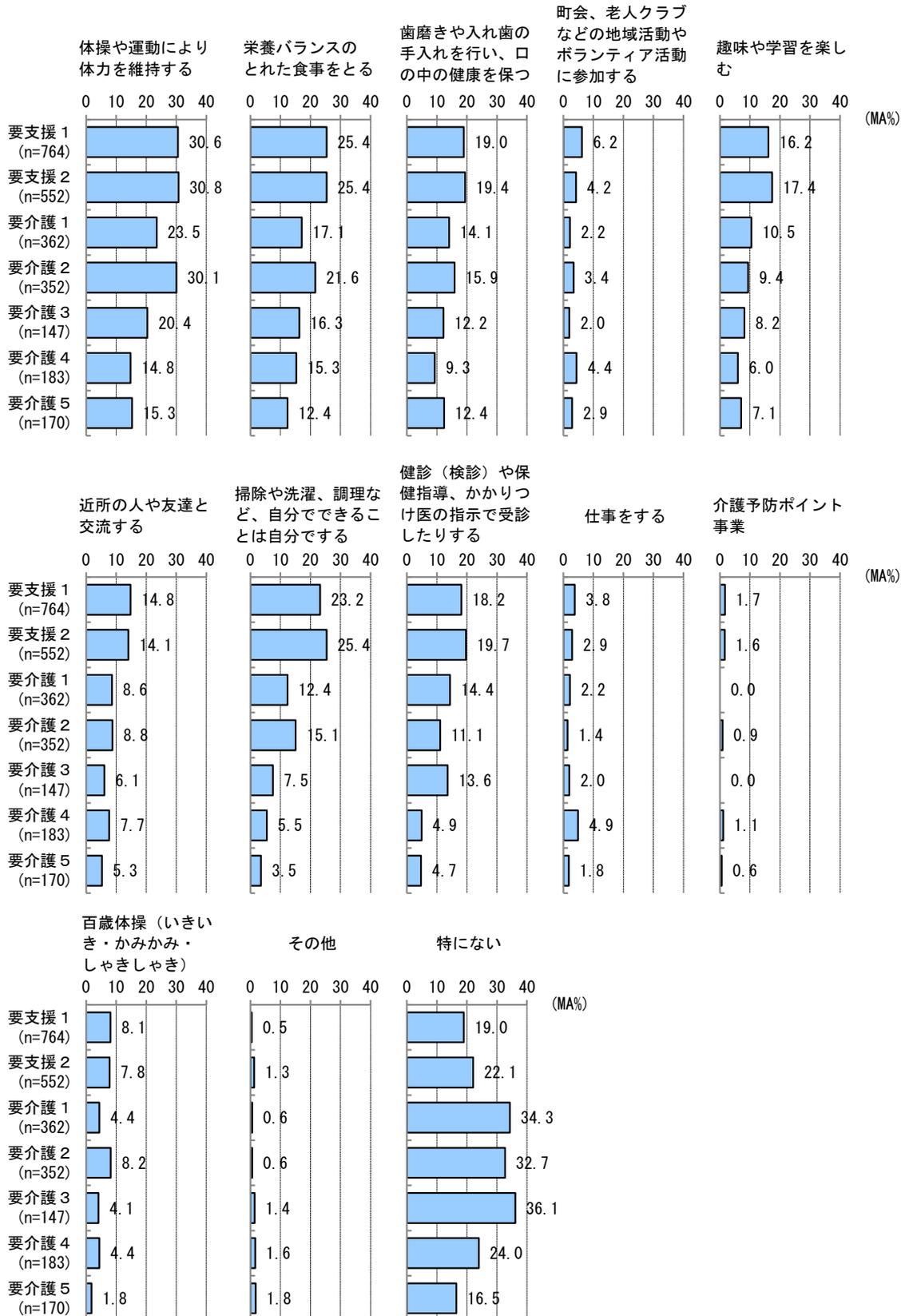
【図20②-a 介護予防の取り組み状況 ②取り組んでみたいこと（本人の年齢別）】



【介護保険サービス未利用者調査】

要介護度別で見ると、要介護4では「栄養バランスのとれた食事をとる」が最も多く、それ以外の要介護度では「体操や運動により体力を維持する」が最も多くなっている。一方、「特にない」は要介護1～3で3割台と高くなっている。(図20②-b)

【図20②-b 介護予防の取り組み状況 ②取り組んでみたいこと（要介護度別）】



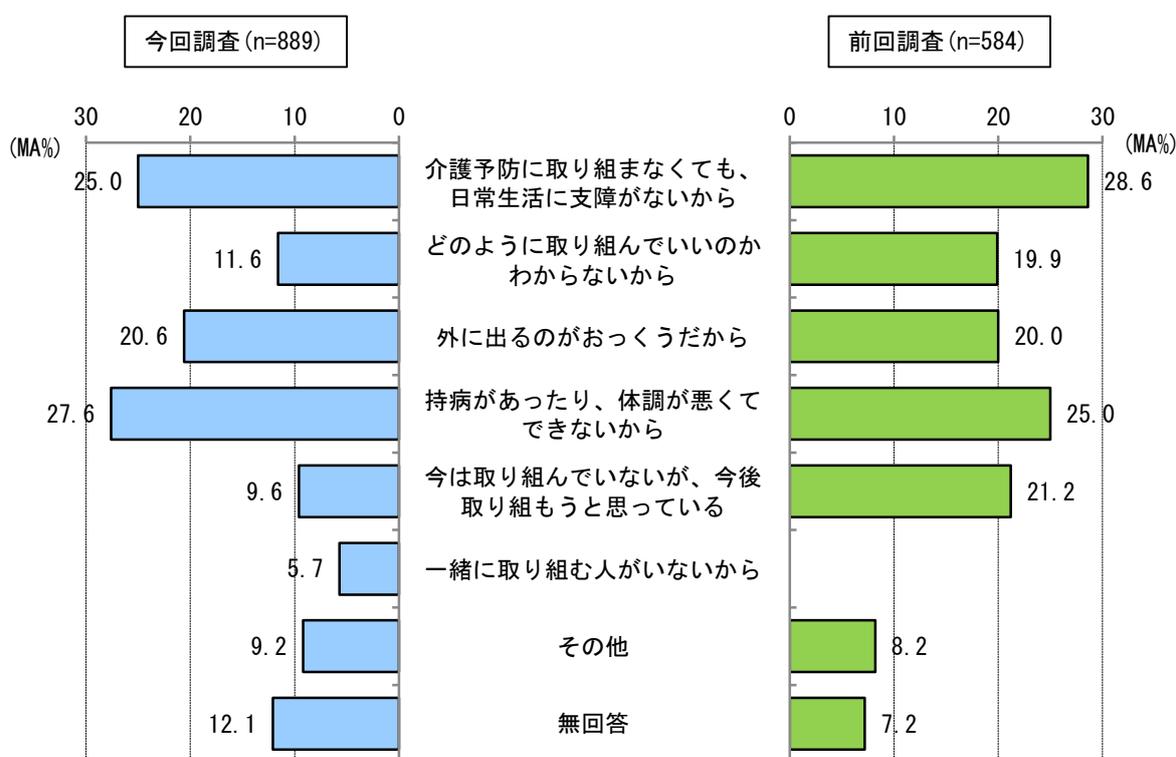
### 問20-1 介護予防の取り組みに意向がない理由

問20の①または②で「13 特になし」と回答された方におうかがいします。  
 あなたが、介護予防について、取り組んでいない、取り組んでみたいと思わない理由は何ですか。(〇はいくつでも)

介護予防に、取り組んでいない、または取り組んでみたいと思わないと回答した人に、その理由をたずねると、「持病があったり、体調が悪くてできないから」が27.6%で最も多く、次いで「介護予防に取り組まなくても、日常生活に支障がないから」が25.0%、「外に出るのがおっくうだから」が20.6%となっている。

前回調査と比較すると、「今は取り組んでいないが、今後取り組もうと思っている」の割合が11.6ポイント低くなっている。(図20-1)

【図20-1 介護予防の取り組みに意向がない理由】

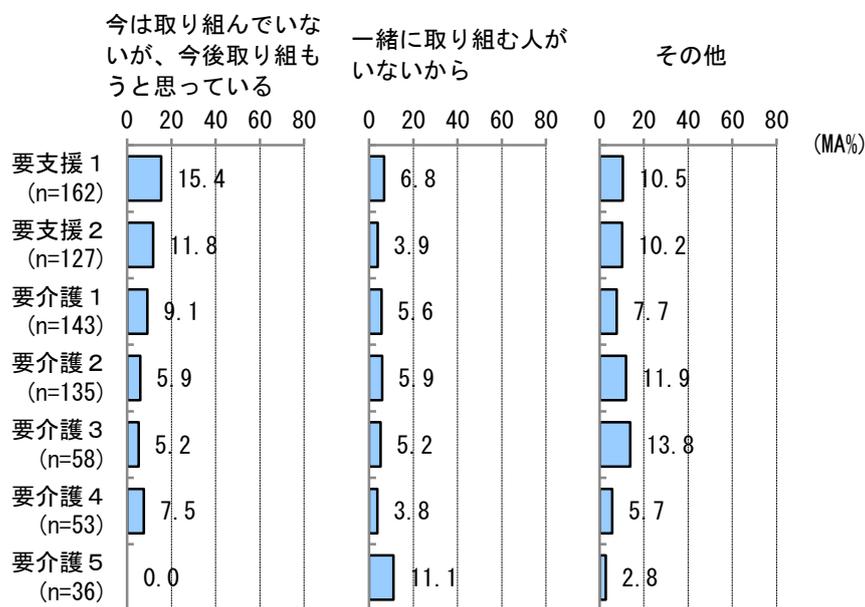
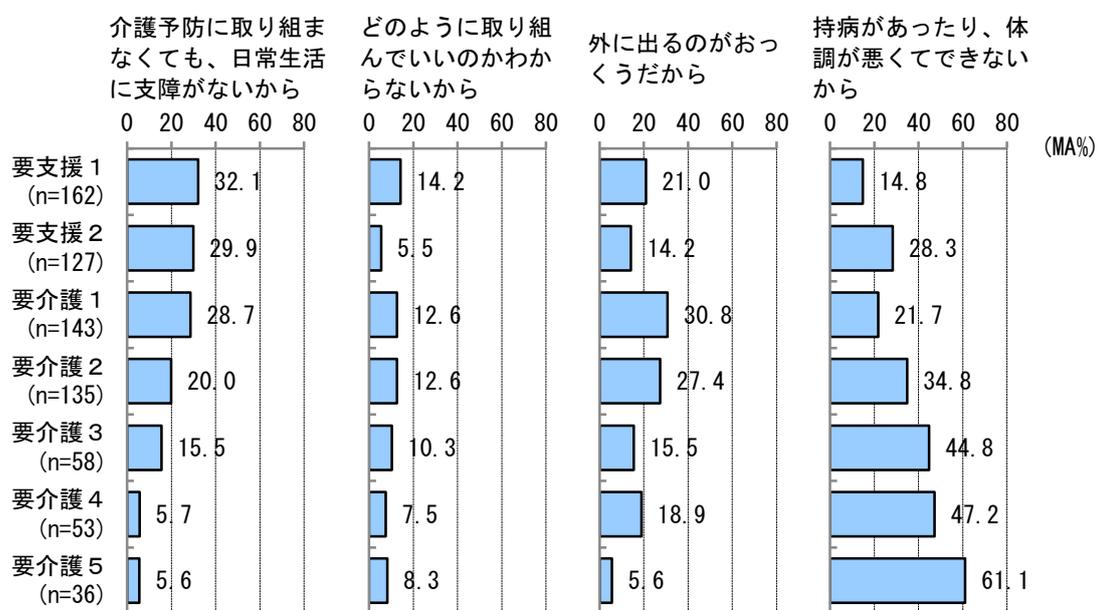


※「一緒に取り組む人がいないから」は、今回調査の新規項目である。

【介護保険サービス未利用者調査】

要介護度別で見ると、要支援1・2では「介護予防に取り組まなくても、日常生活に支障がないから」が最も多いが、要介護1では「外に出るのがおっくうだから」が最も多い。要介護2～5では「持病があったり、体調が悪くてできないから」が最も多く、重度になるほど高くなっている。(図20-1-a)

【図20-1-a 介護予防の取り組みに意向がない理由（要介護度別）】



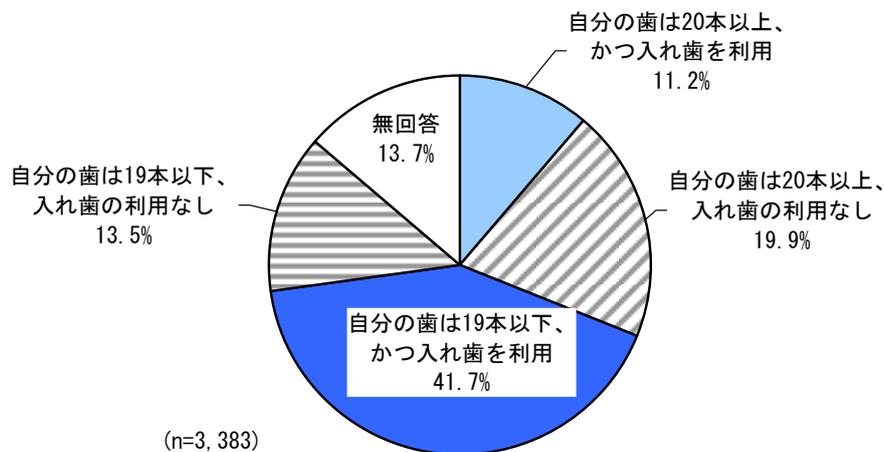
(7) 健康状態

問21 歯の数と入れ歯の利用状況

歯の数と入れ歯の利用状況をお答えください。  
 (成人の歯の総本数は、親知らずを含めて32本です) (○はひとつ)

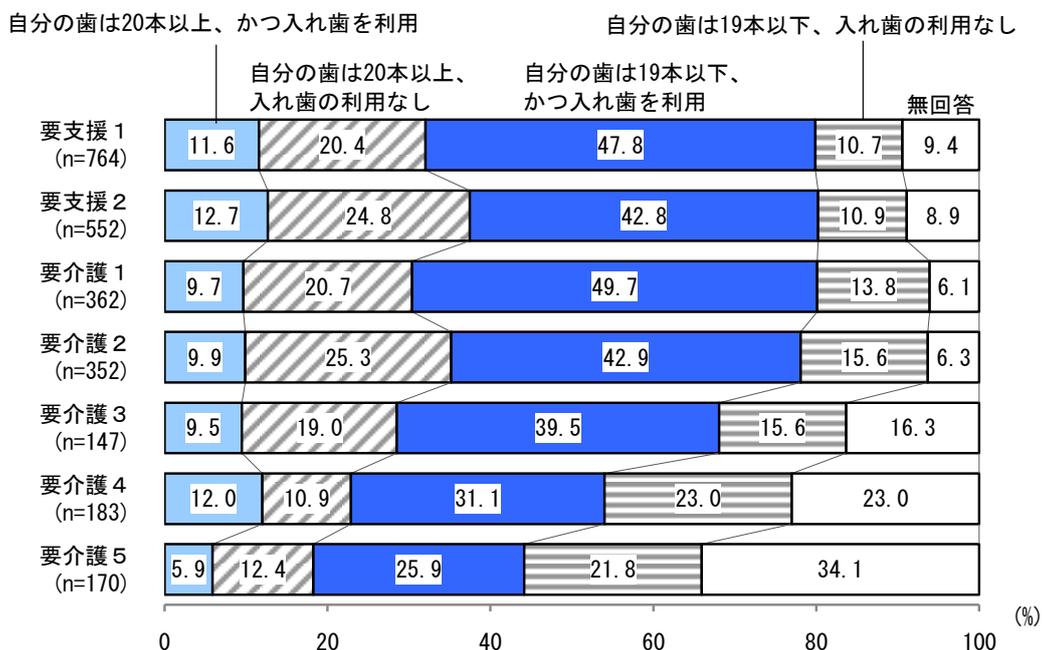
歯の数と入れ歯の利用状況については、「自分の歯は19本以下、かつ入れ歯を利用」が41.7%で最も多く、次いで「自分の歯は20本以上、入れ歯の利用なし」が19.9%で、「自分の歯は20本以上、かつ入れ歯を利用」(11.2%)と「自分の歯は19本以下、かつ入れ歯を利用」を合わせた『入れ歯を利用』の割合は52.9%となっている。(図21)

【図21 歯の数と入れ歯の利用状況】



要介護度別でみると、「自分の歯は20本以上、かつ入れ歯を利用」は要支援2で、「自分の歯は20本以上、入れ歯の利用なし」は要介護2で最も高くなっている。(図21-a)

【図21-a 歯の数と入れ歯の利用状況 (要介護度別)】

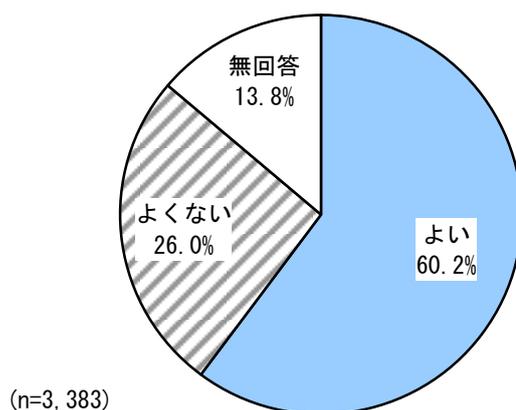


### 問21-1 かみ合わせ

かみ合わせはよいですか。(○はひとつ)

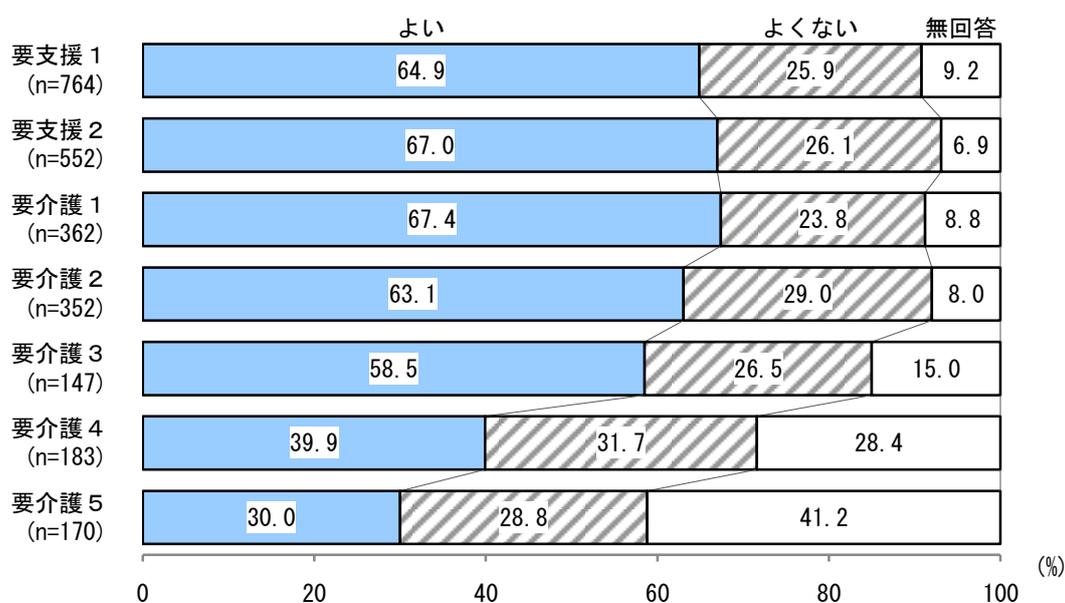
かみ合わせはよいかについては、「よい」が60.2%、「よくない」が26.0%となっている。  
(図21-1)

【図21-1 かみ合わせ】



要介護度別でみると、「よい」の割合は要介護1が67.4%で最も高く、要介護2以降、重度になるほど低くなっている。(図21-1-a)

【図21-1-a かみ合わせ (要介護度別)】

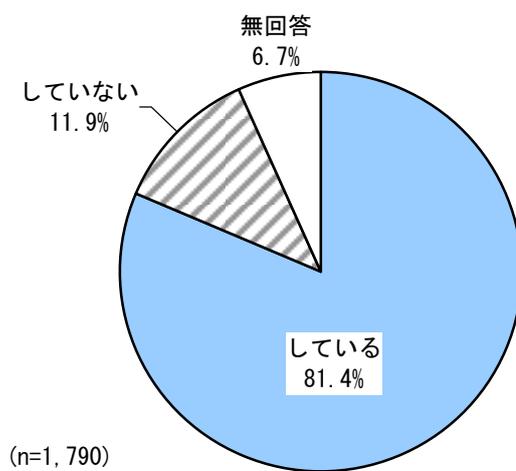


## 問21-2 入れ歯の手入れ

問21で「1 自分の歯は20本以上、かつ入れ歯を利用」「3 自分の歯は19本以下、かつ入れ歯を利用」と回答された方におうかがいします。  
 毎日入れ歯の手入れをしていますか。(〇はひとつ)

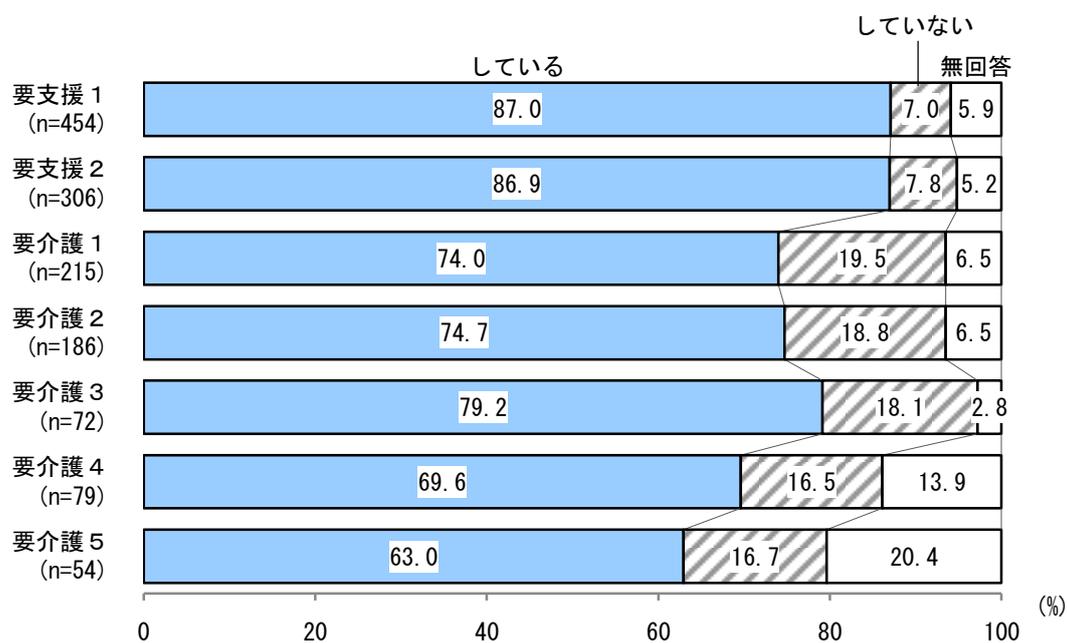
入れ歯を利用していると回答した人に、入れ歯の手入れをしているかについてたずねると、「している」が81.4%で、「していない」が11.9%となっている。(図21-2)

【図21-2 入れ歯の手入れ】



要介護度別でみると、「している」は要支援1・2で8割台を占めており、要介護5が63.0%で最も低くなっている。(図21-2-a)

【図21-2-a 入れ歯の手入れ（要介護度別）】

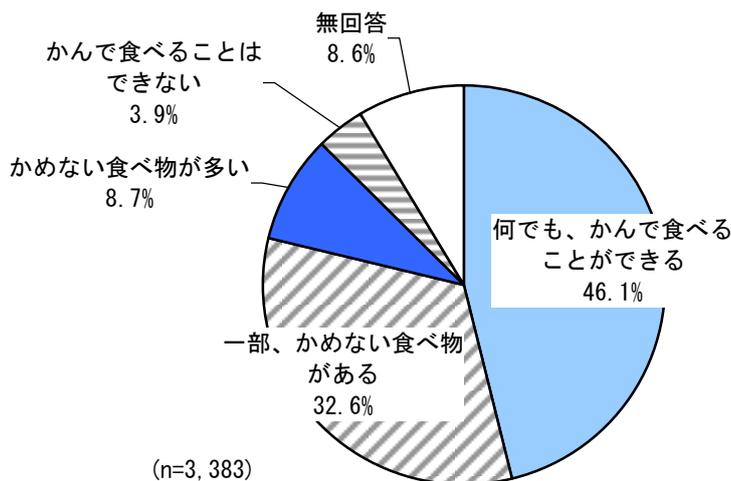


## 問22 かねで食べることの可否

あなたがかんで食べる時の状態は、次のどれにあてはまりますか。(○はひとつ)

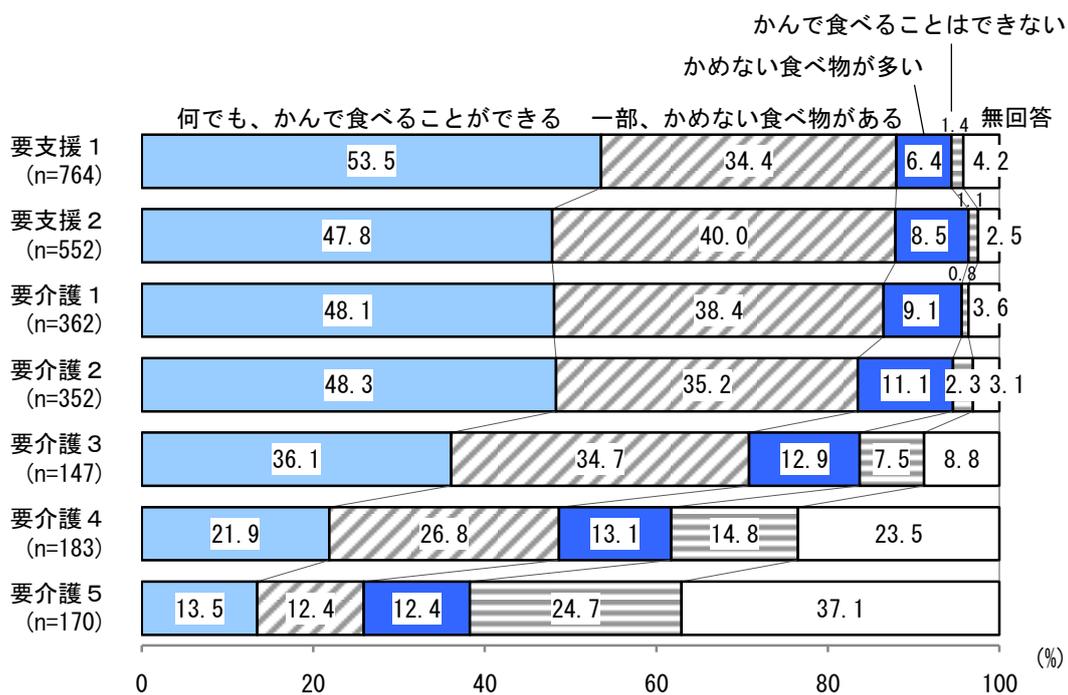
かねで食べる時の状態については、「何でも、かねで食べることができる」が46.1%で最も多く、次いで「一部、かめない食べ物がある」が32.6%、「かめない食べ物が多い」が8.7%、となっている。(図22)

【図22 かねで食べることの可否】



要介護度別で見ると、要支援1・2、要介護1～3では「何でも、かねで食べることができる」が最も多くなっているが、要介護4は「一部、かめない食べ物がある」、要介護5は「かねで食べることはできない」が最も多くなっている。(図22-a)

【図22-a かねで食べることの可否 (要介護度別)】

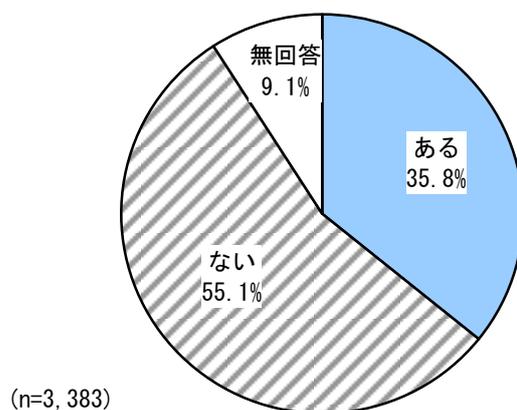


### 問23 お茶や汁物でむせること

お茶や汁物等でむせることはありますか。(○はひとつ)

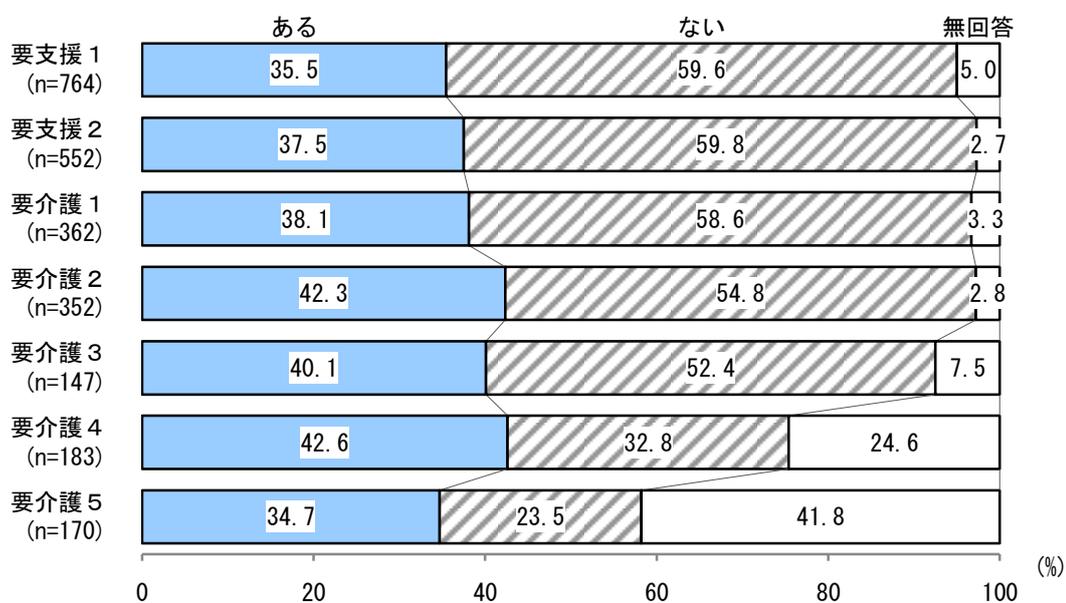
お茶や汁物等でむせることは、「ある」が35.8%、「ない」が55.1%となっている。(図23)

【図23 お茶や汁物でむせること】



要介護度別で見ると、要支援1・2、要介護1～3では「ない」のほうが多くなっているが、要介護4・5では「ある」のほうが多くなっている。(図23-a)

【図23-a お茶や汁物でむせること（要介護度別）】

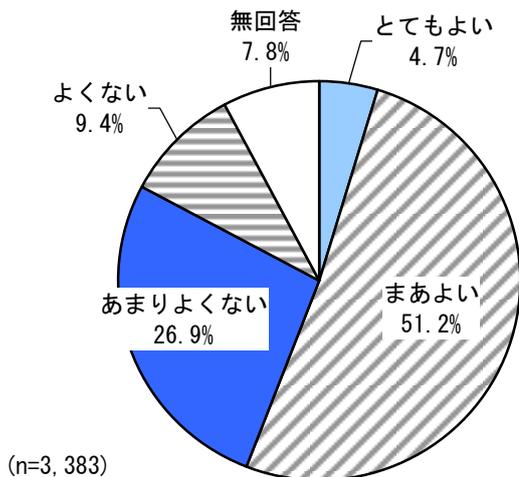


問24 健康状態

現在のあなたの健康状態はいかがですか。(○はひとつ)

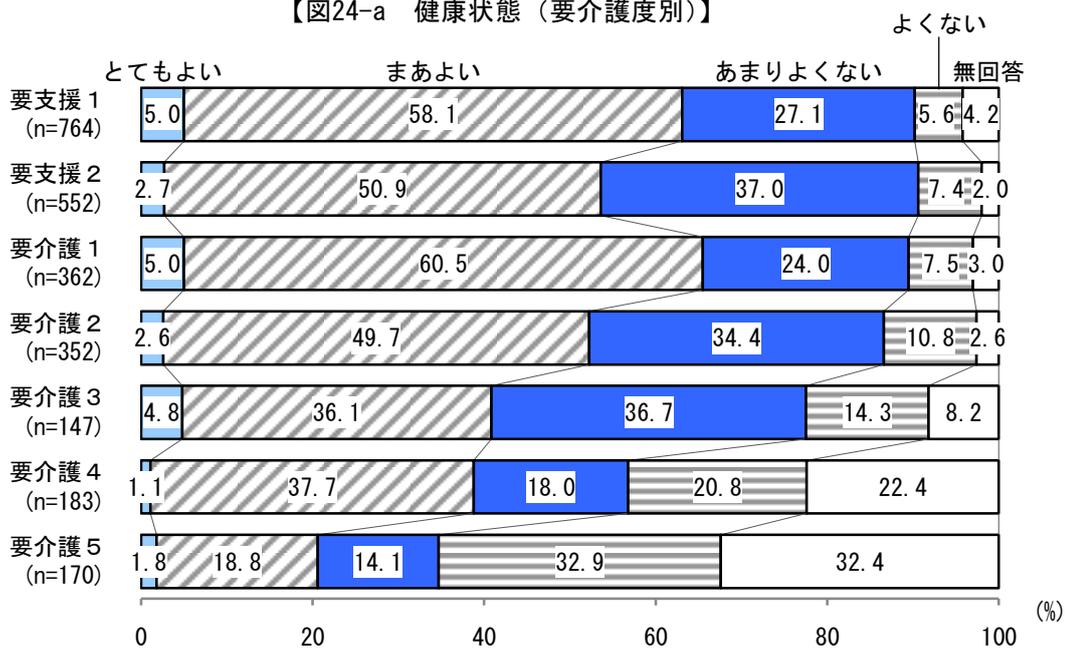
現在の健康状態は、「まあよい」が51.2%で最も多く、次いで「あまりよくない」が26.9%、「よくない」が9.4%となっており、「とてもよい」(4.7%)と「まあよい」をあわせた『よい』割合は55.9%となっている。(図24)

【図24 健康状態】



要介護度別で見ると、『よい』割合は要介護1が65.5%で最も高く、次いで要支援1が63.1%となっている。介護度が高くなるほど概ね『よい』割合が低くなる傾向が見られる。(図24-a)

【図24-a 健康状態 (要介護度別)】



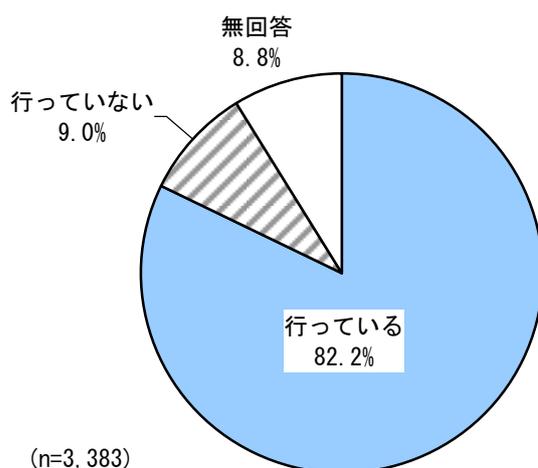
(8) 新型コロナウイルス感染症対策

問25 新型コロナウイルス感染症対策の実施

新型コロナウイルス感染症に対する感染対策を行っていますか。(〇はひとつ)

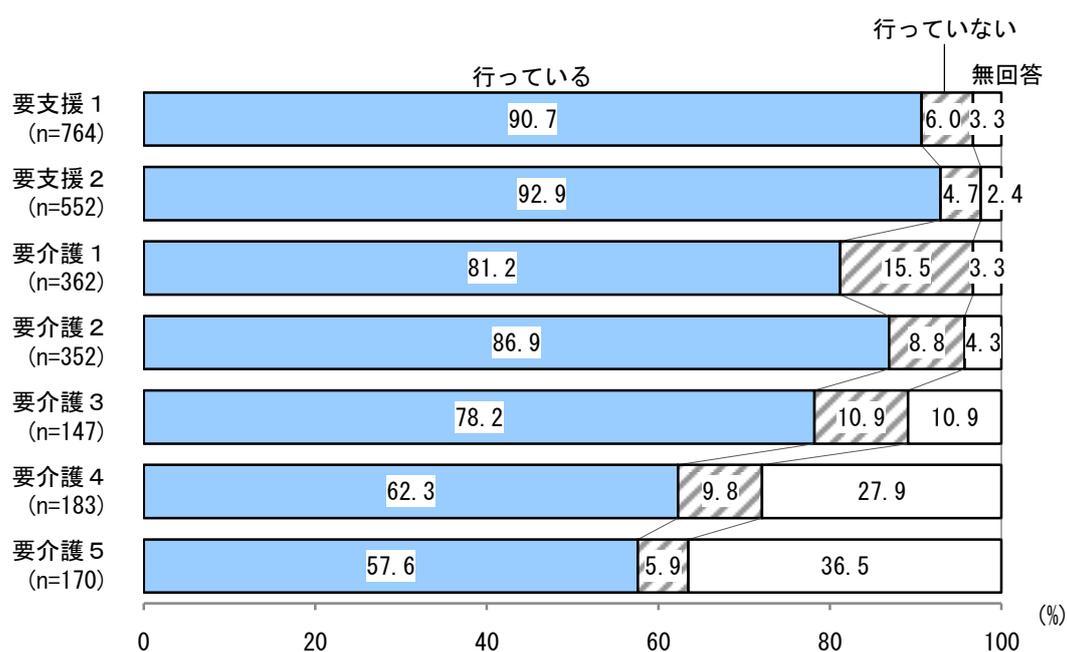
新型コロナウイルス感染症に対する感染対策は、「行っている」が82.2%、「行っていない」が9.0%となっている。(図25)

【図25 新型コロナウイルス感染症対策の実施】



要介護度別でみると、「行っている」は要支援1・2で9割台と高く、要介護5が57.6%で最も低くなっている。(図25-a)

【図25-a 新型コロナウイルス感染症対策の実施 (要介護度別)】

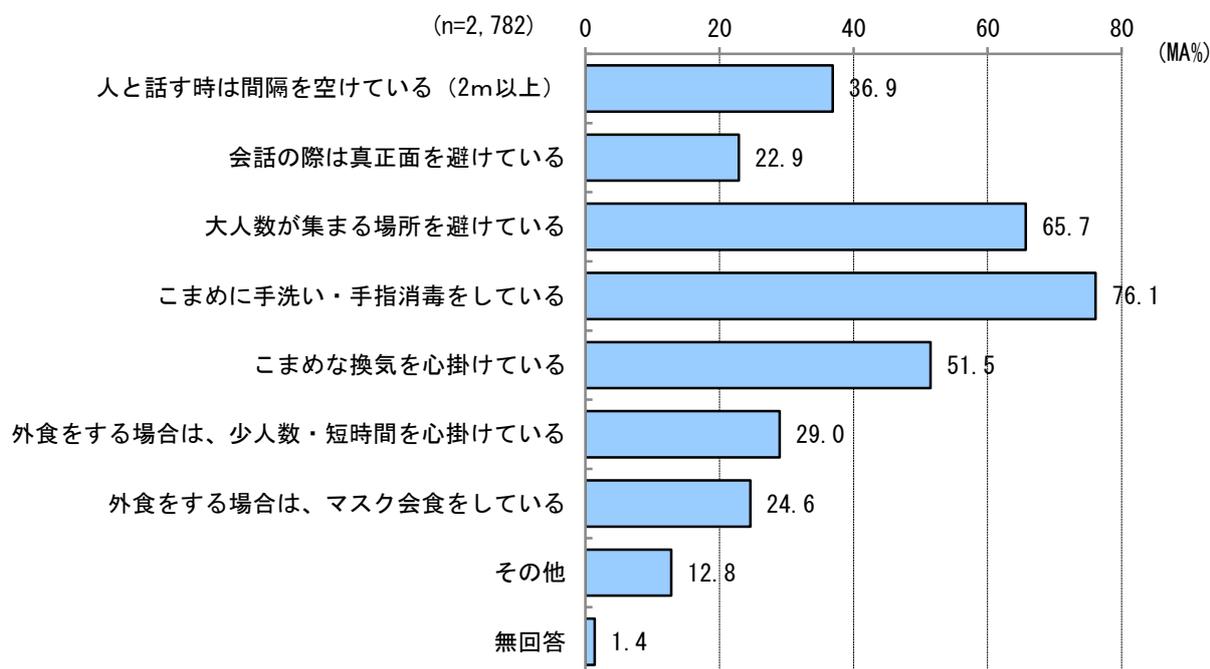


### 問25-1 行っている感染症対策

問25で「1 行っている」と回答された方におうかがいします。  
 あなたが行っている感染対策はどのようなものですか。(〇はいくつでも)

新型コロナウイルス感染症対策を行っていると回答した人に、行っている感染症対策についてたずねると、「こまめに手洗い・手指消毒をしている」が76.1%で最も多く、次いで「大人数が集まる場所を避けている」が65.7%、「こまめな換気を心掛けている」が51.5%となっている。(図25-1)

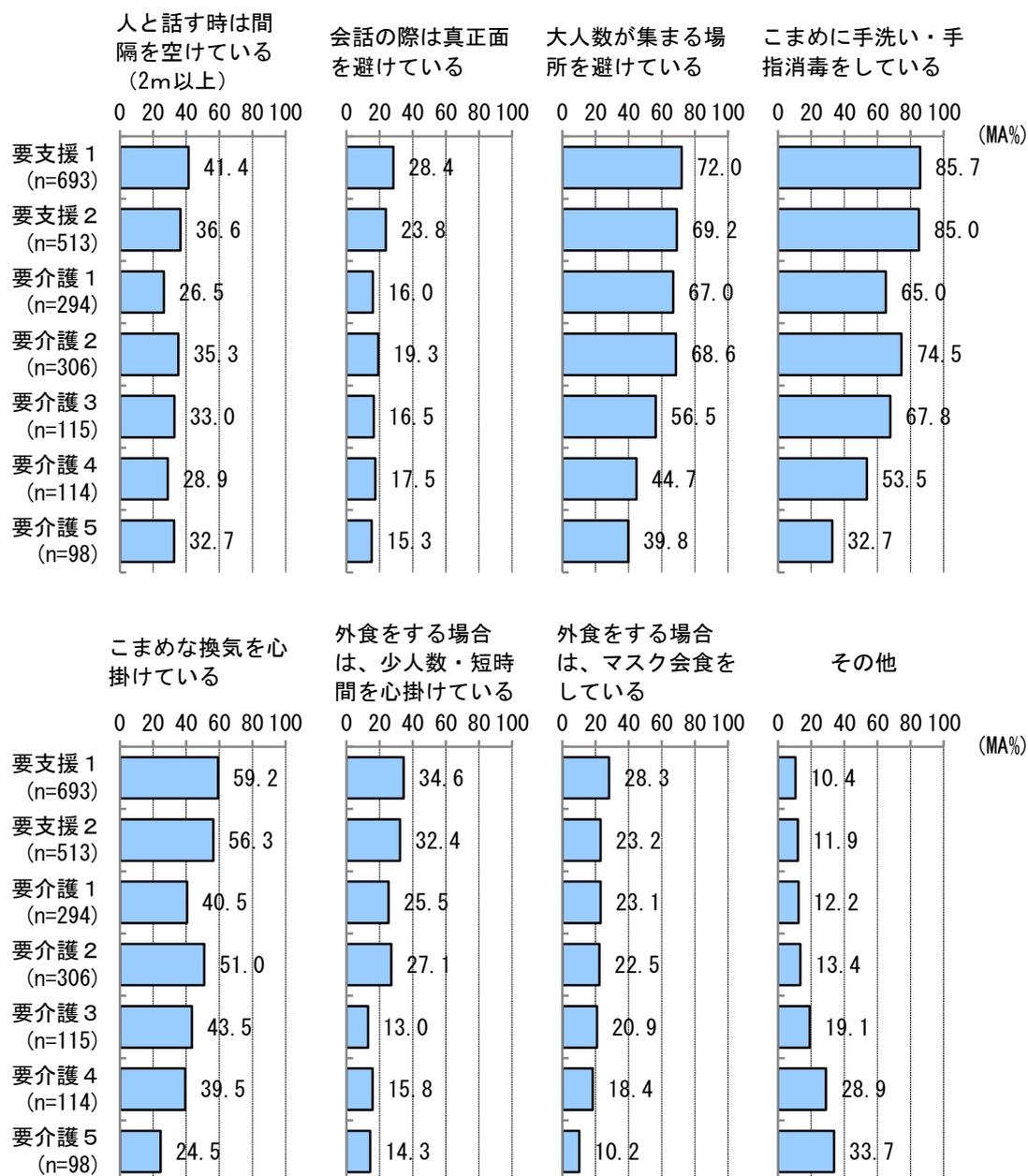
【図25-1 行っている感染症対策】



【介護保険サービス未利用者調査】

要介護度別で見ると、いずれの項目も要支援1で割合が最も高く、概ね重度になるほど割合が低くなる傾向にある。(図25-1-a)

【図25-1-a 行っている感染症対策（要介護度別）】

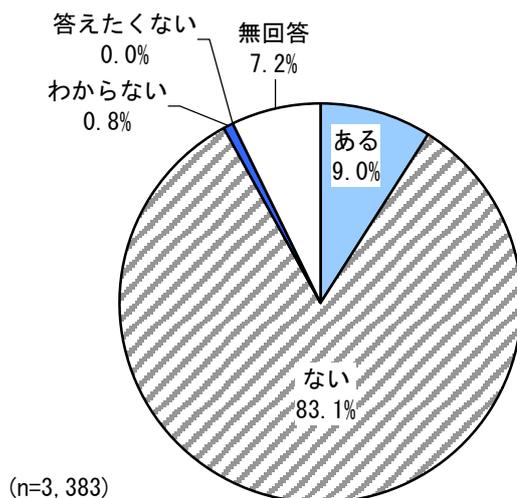


### 問26 新型コロナウイルス感染症に感染した経験

あなたは、新型コロナウイルス感染症に感染した経験はありますか。  
 (本調査は個人を特定するものではありません) (〇はひとつ)

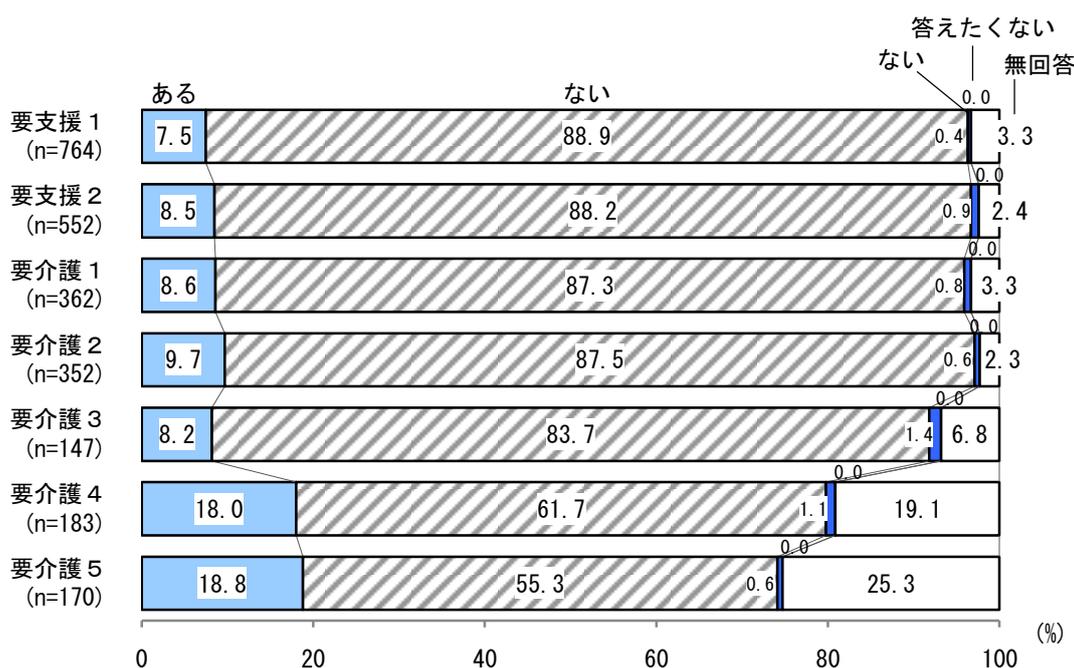
新型コロナウイルス感染症に感染した経験については、「ある」が9.0%、「ない」が83.1%となっている。(図26)

【図26 新型コロナウイルス感染症に感染した経験】



要介護度別でみると、「ある」は要介護5が18.8%で最も高く、次いで要介護4が18.0%となっている。(図26-a)

【図26-a 新型コロナウイルス感染症に感染した経験 (要介護度別)】



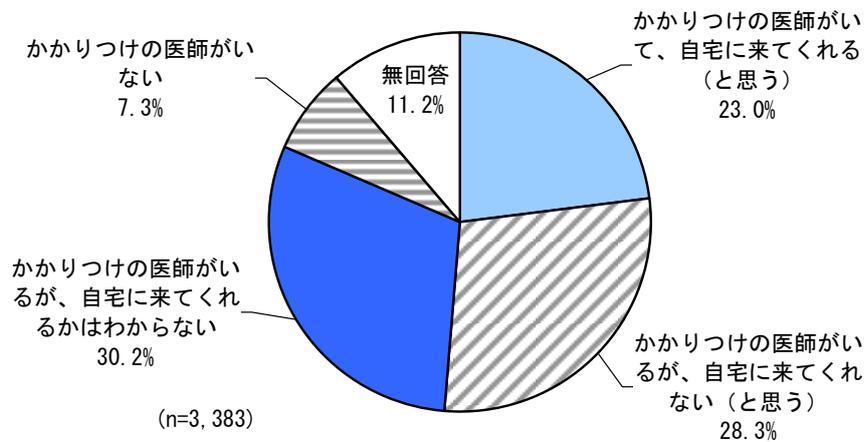
(9) かかりつけ医・かかりつけ歯科医師・かかりつけ薬剤師

問27 かかりつけの医師の訪問診療の有無

かかりつけの医師はあなたが通院できなくなった時に自宅に来てくれますか。(〇はひとつ)

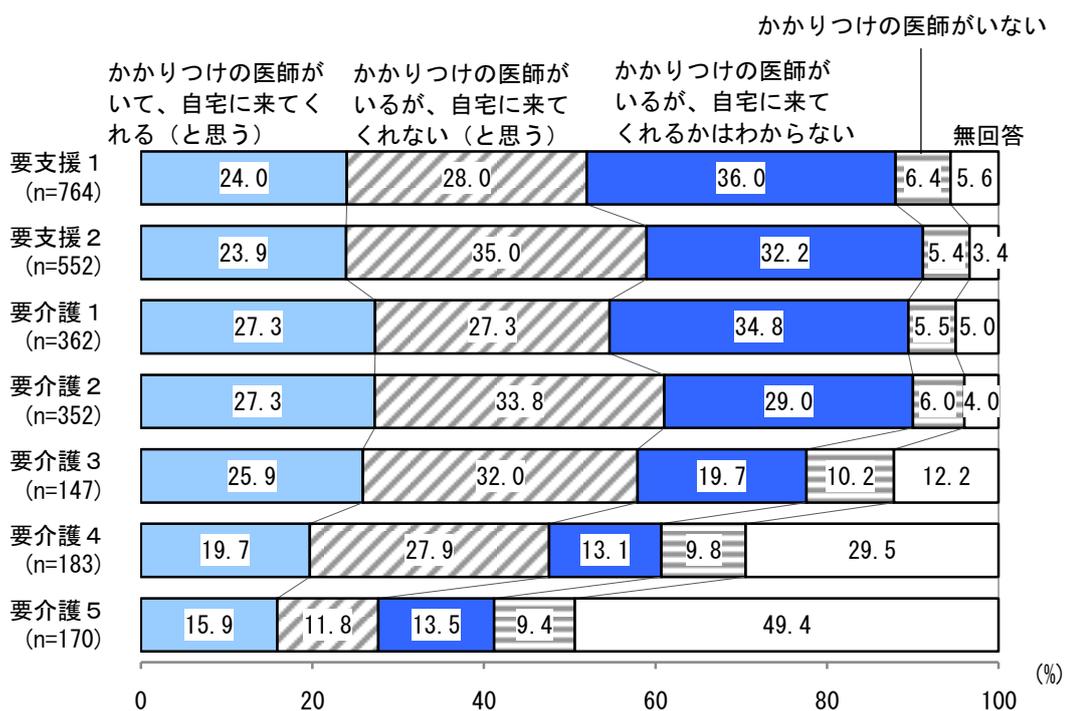
通院できなくなった時のかかりつけの医師の訪問診療については、「かかりつけの医師がいるが、自宅に来てくれるかはわからない」が30.2%で最も多く、次いで「かかりつけの医師がいるが、自宅に来てくれない(と思う)」が28.3%、「かかりつけの医師がいて、自宅に来てくれる(と思う)」が23.0%となっている。(図27)

【図27 かかりつけの医師の訪問診療の有無】



要介護度別で見ると、「かかりつけの医師がいて、自宅に来てくれる(と思う)」は要介護1・2がともに27.3%で最も高くなっている。(図27-a)

【図27-a かかりつけの医師の訪問診療の有無(要介護度別)】

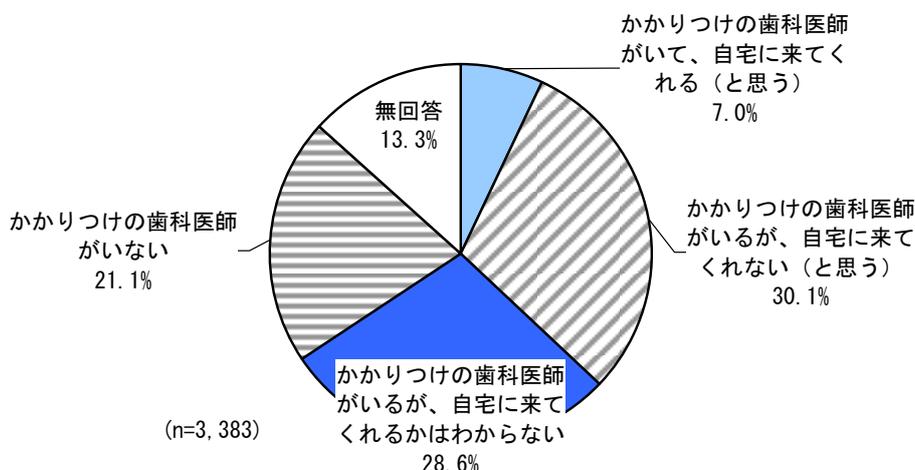


### 問28 かかりつけの歯科医師の訪問診療の有無

かかりつけの歯科医師はあなたが通院できなくなった時に自宅に来てくれますか。  
 (○はひとつ)

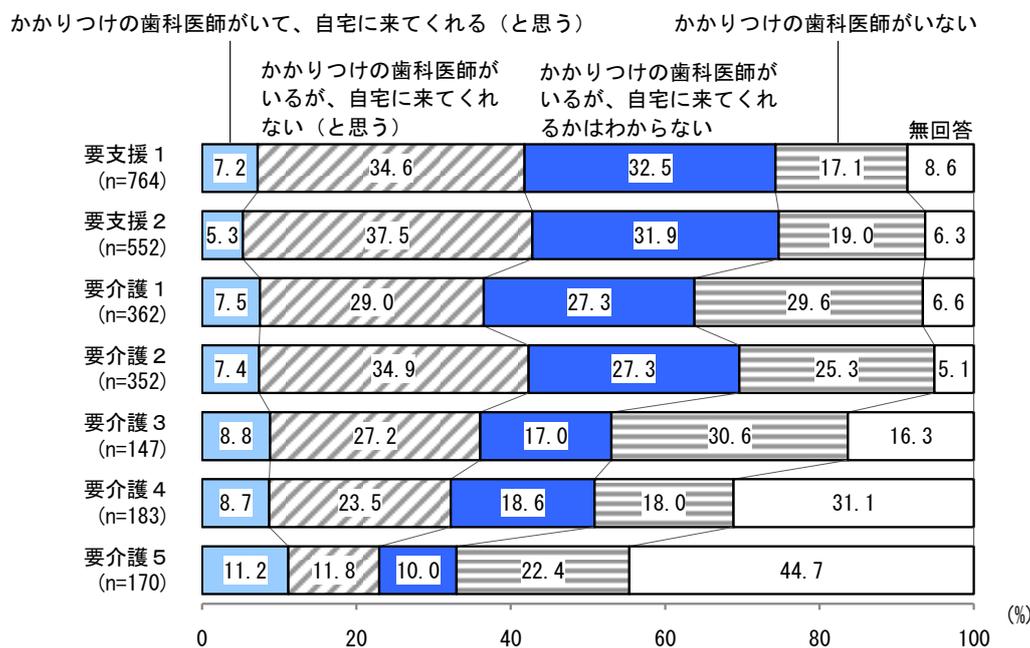
通院できなくなった時のかかりつけの歯科医師の訪問診療については、「かかりつけの歯科医師がいるが、自宅に来てくれない(と思う)」が30.1%で最も多く、次いで「かかりつけの歯科医師がいるが、自宅に来てくれるかはわからない」が28.6%、「かかりつけの歯科医師がいない」が21.1%となっている。(図28)

【図28 かかりつけの歯科医師の訪問診療の有無】



要介護度別で見ると、「かかりつけの歯科医師がいて、自宅に来てくれる(と思う)」は要介護5が11.2%で最も高くなっている。一方、「かかりつけの歯科医師がいない」は要介護3が30.6%で最も高くなっている。(図28-a)

【図28-a かかりつけの歯科医師の訪問診療の有無(要介護度別)】

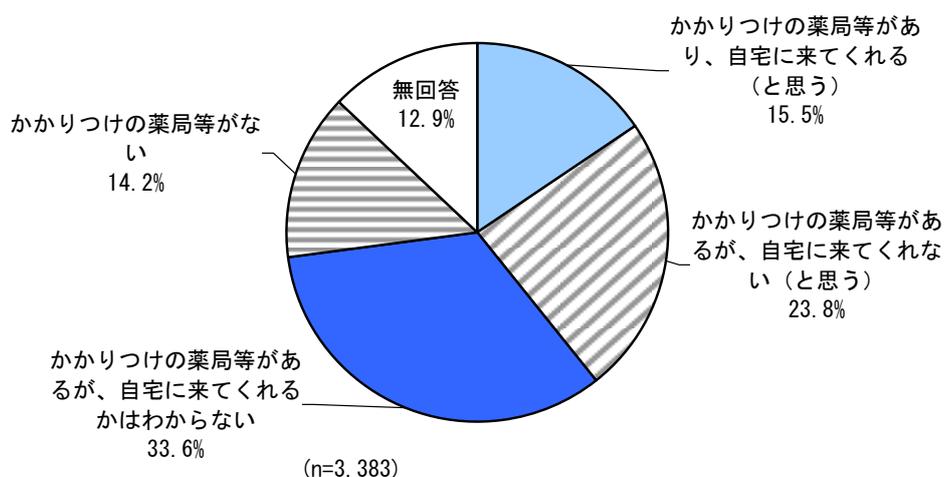


### 問29 かかりつけ薬剤師・薬局の訪問の有無

かかりつけの薬剤師・薬局はあなたが通院できなくなった時に自宅に来てくれますか。(〇はひとつ)

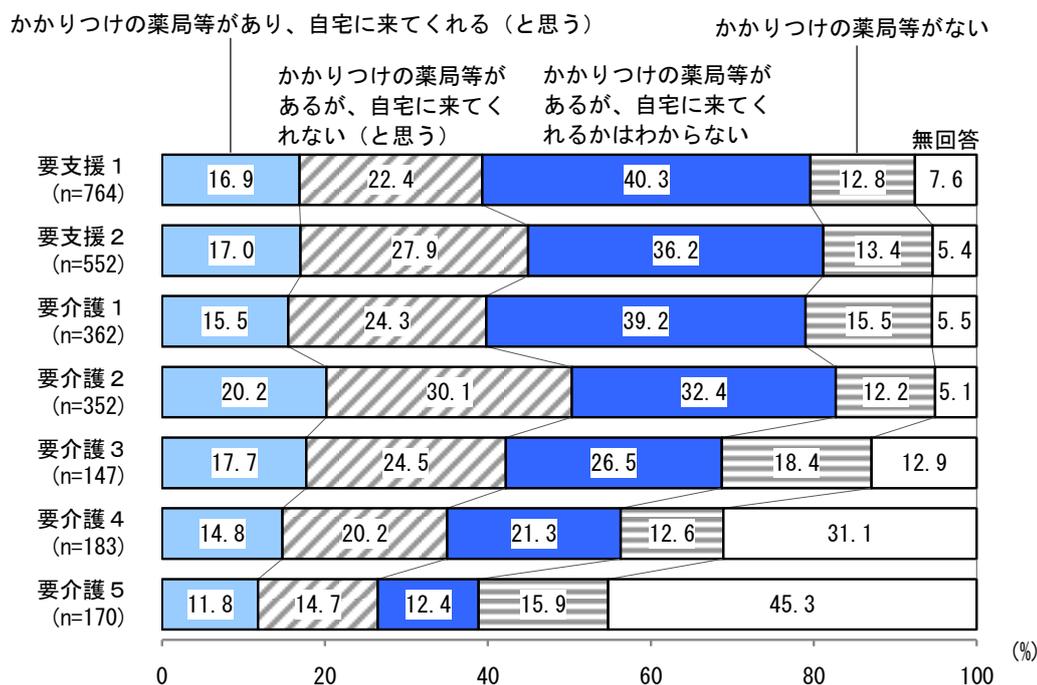
通院できなくなった時のかかりつけの薬剤師・薬局の訪問については、「かかりつけの薬局等があるが、自宅に来てくれるかはわからない」が33.6%で最も多く、次いで「かかりつけの薬局等があるが、自宅に来てくれない(と思う)」が23.8%、「かかりつけの薬局等があり、自宅に来てくれる(と思う)」が15.5%となっている。(図29)

【図29 かかりつけ薬剤師・薬局の訪問の有無】



要介護度別で見ると、「かかりつけの薬局等があり、自宅に来てくれる(と思う)」は要介護2が20.2%で最も高くなっている。(図29-a)

【図29-a かかりつけ薬剤師・薬局の訪問の有無(要介護度別)】



(10) 地域活動

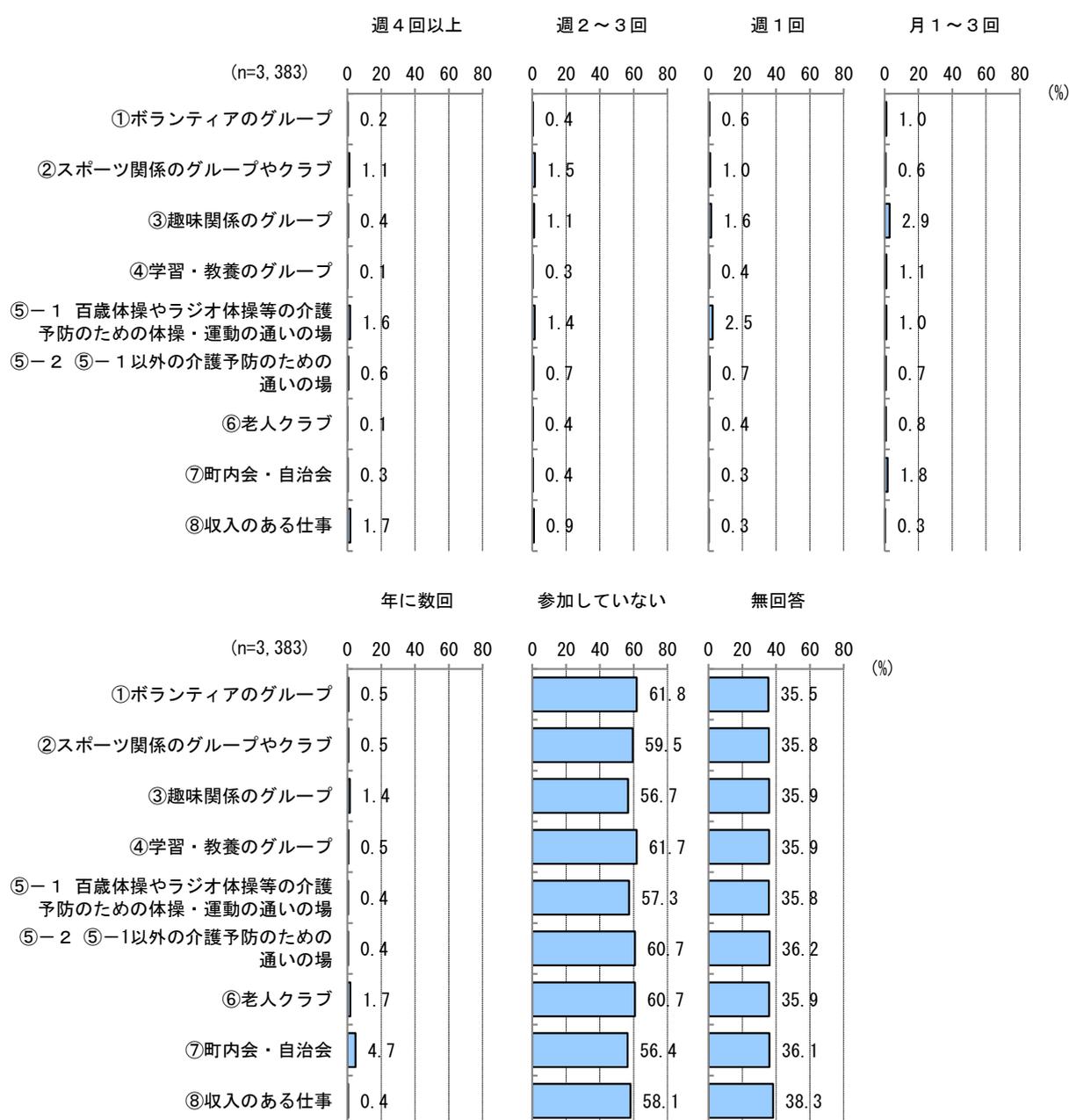
問30 地域の会・グループ等への参加頻度

以下のような会・グループ等にどのくらいの頻度で参加していますか。(○はひとつ)  
 ①～⑧それぞれに回答してください。(それぞれ○はひとつ)

地域の会・グループ等への参加頻度についてたずねた。

いずれの会・グループ等も「参加していない」が過半数を占めている。参加している会・グループ等は、“③趣味関係のグループ”は「月1～3回」が2.9%で最も多く、“⑤-1 百歳体操やラジオ体操等の介護予防のための体操・運動の通いの場”は「週1回」が2.5%で最も多くなっている。(図30)

【図30 地域の会・グループ等への参加頻度】

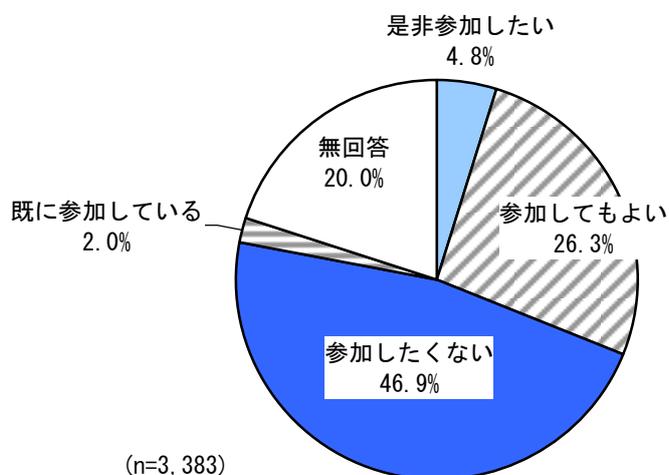


問30-1 地域づくり活動に参加者としての参加意向

地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に参加者として参加してみたいと思いますか。(〇はひとつ)

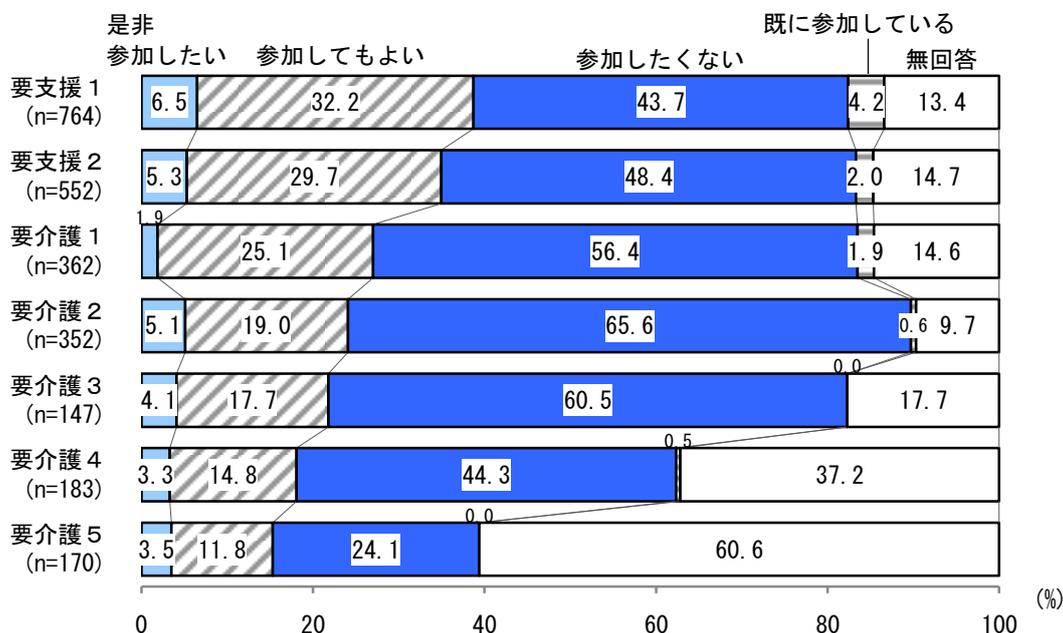
地域づくり活動に参加者としての参加意向については、「参加したくない」が46.9%で最も多く、次いで「参加してもよい」が26.3%、「是非参加したい」が4.8%となっている。(図30-1)

【図30-1 地域づくり活動に参加者としての参加意向】



要介護度別で見ると、「参加したくない」は要介護1～3が5～6割を占めて高く、「是非参加したい」、「参加してもよい」は要支援1で最も高くなっている。(図30-1-a)

【図30-1-a 地域づくり活動に参加者としての参加意向 (要介護度別)】

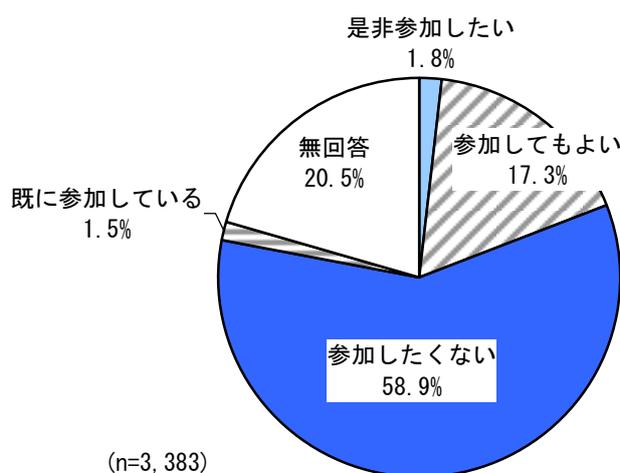


### 問30-2 地域づくり活動に企画・運営としての参加意向

地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に企画・運営（お世話役）として参加してみたいと思いますか。（〇はひとつ）

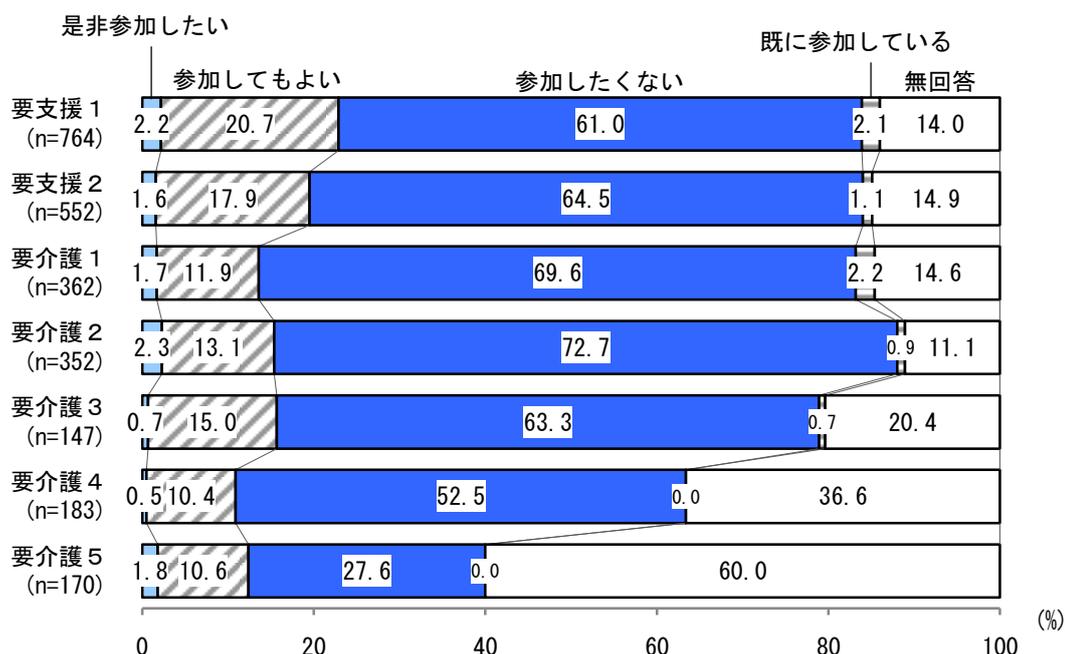
地域づくり活動に企画・運営（お世話役）としての参加意向については、「参加したくない」が58.9%で最も多く、次いで「参加してもよい」が17.3%となっている。（図30-2）

【図30-2 地域づくり活動に企画・運営としての参加意向】



要介護度別で見ると、「参加したくない」の割合は要介護4までは過半数を占めている。「是非参加したい」、「参加してもよい」はいずれも要支援1で最も高くなっている。（図30-2-a）

【図30-2-a 地域づくり活動に企画・運営としての参加意向（要介護度別）】



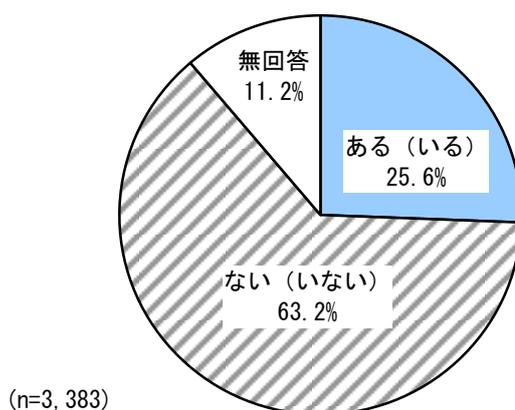
(11) 認知症

問31 認知症状の有無

認知症の症状（物忘れの悪化など認知症の疑いも含む）がある、又は家族に認知症の症状がある人がいますか。（○はひとつ）

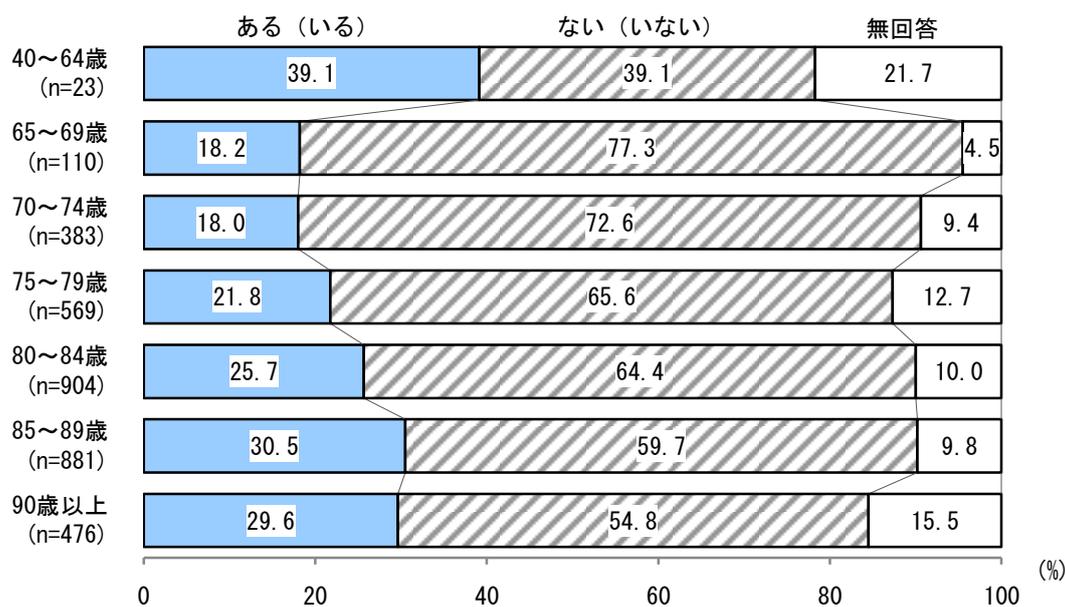
認知症の症状がある、又は家族に認知症の症状がある人の有無については、「ある（いる）」が25.6%、「ない（いない）」が63.2%となっている。（図31）

【図31 認知症状の有無】



本人の年齢別で見ると、「ある（いる）」は40～64歳が39.1%で最も高く、次いで85～89歳が30.5%となっている。（図31-a）

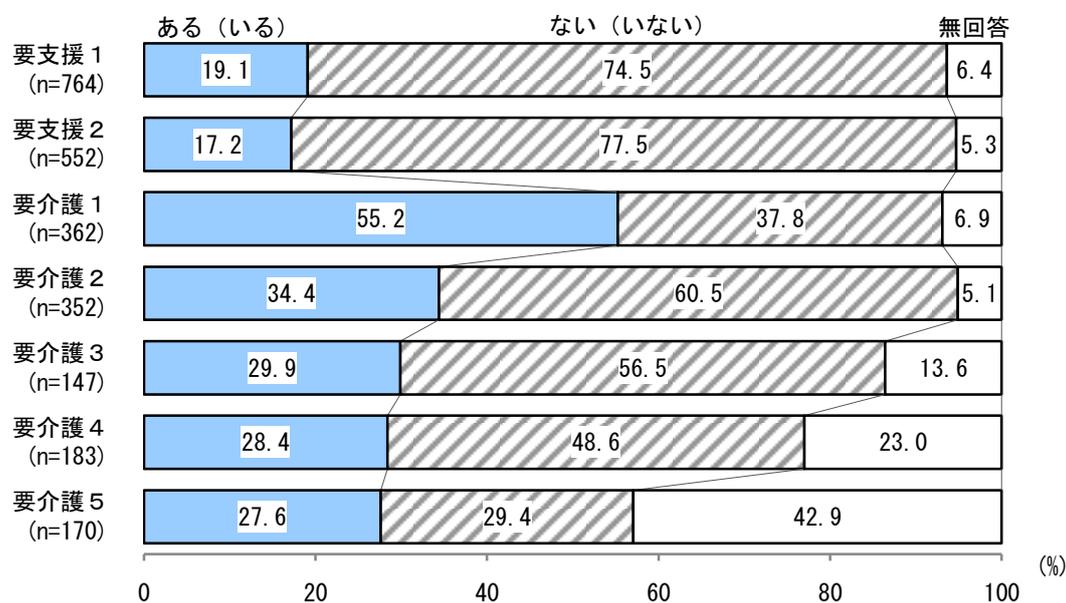
【図31-a 認知症状の有無（本人の年齢別）】



【介護保険サービス未利用者調査】

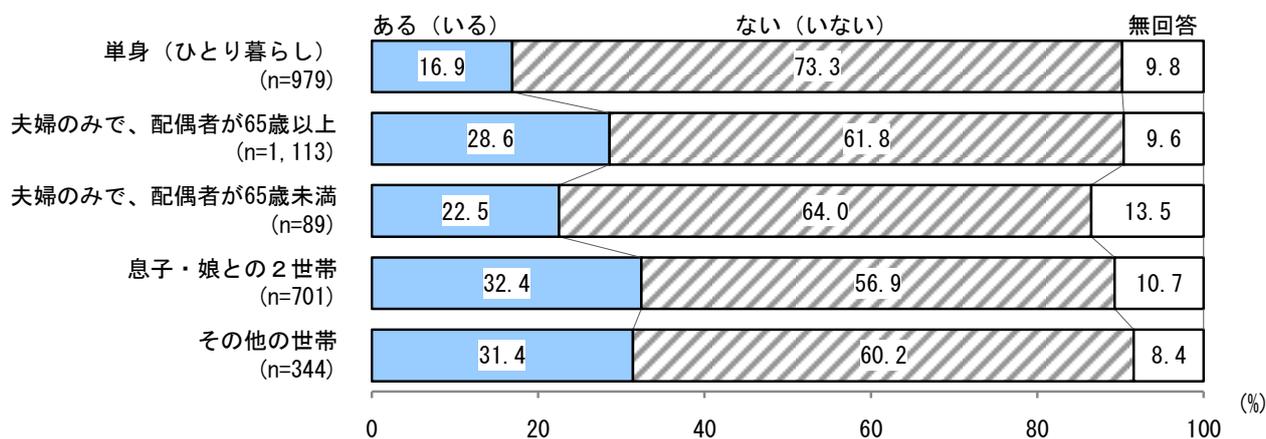
要介護度別で見ると、「ある（いる）」の割合は要介護1が55.2%で最も高く、次いで要介護2が34.4%となっている。（図31-b）

【図31-b 認知症状の有無（要介護度別）】



世帯状況別で見ると、「ある（いる）」の割合は息子・娘との2世帯が32.4%で最も高く、次いでその他の世帯が31.4%となっている。（図31-c）

【図31-c 認知症状の有無（世帯状況別）】

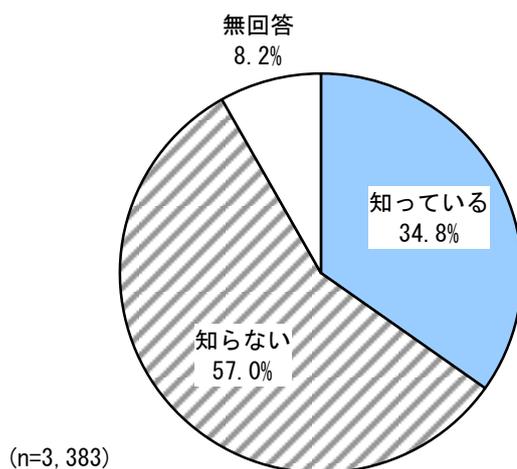


### 問31-1 認知症に関する相談窓口の認知度

認知症に関する相談窓口を知っていますか。(〇はひとつ)

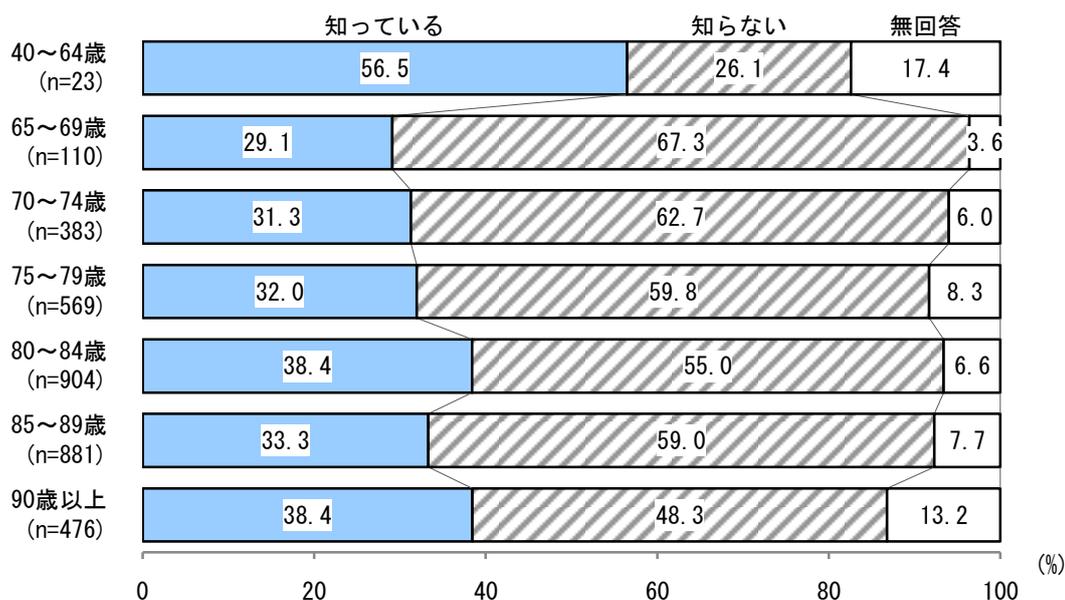
認知症に関する相談窓口の認知度については、「知っている」が34.8%、「知らない」が57.0%となっている。(図31-1)

【図31-1 認知症に関する相談窓口の認知度】



本人の年齢別で見ると、「知っている」は40～64歳が56.5%で最も高く、次いで80～84歳、90歳以上がともに38.4%となっている。(図31-1-a)

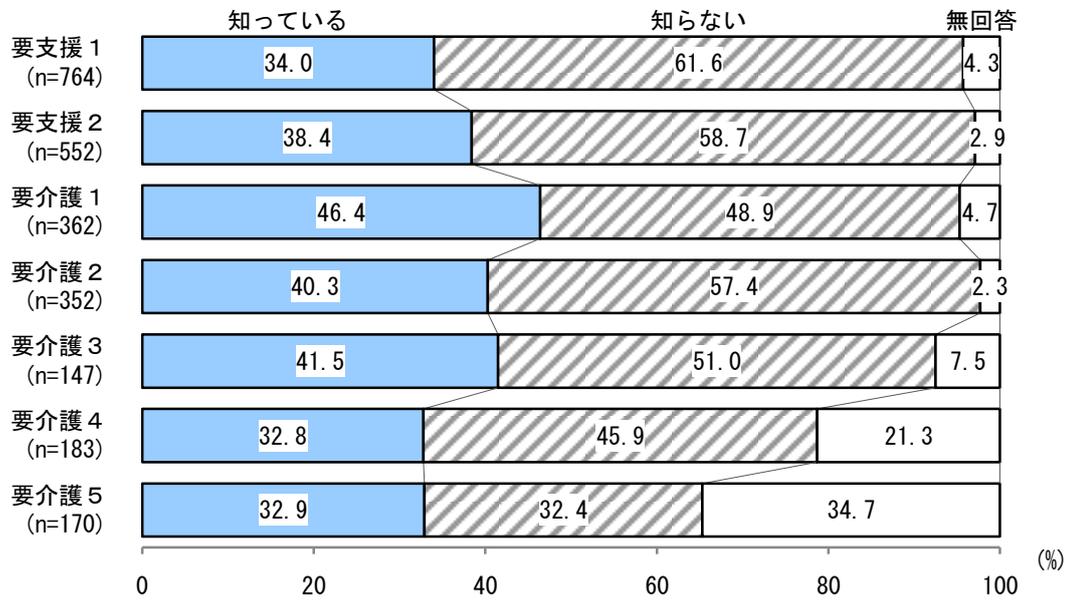
【図31-1-a 認知症に関する相談窓口の認知度（本人の年齢別）】



【介護保険サービス未利用者調査】

要介護度別で見ると、「知っている」は要介護1が46.4%で最も高く、次いで要介護3が41.5%、要介護2が40.3%となっている。(図31-1-b)

【図31-1-b 認知症に関する相談窓口の認知度（要介護度別）】



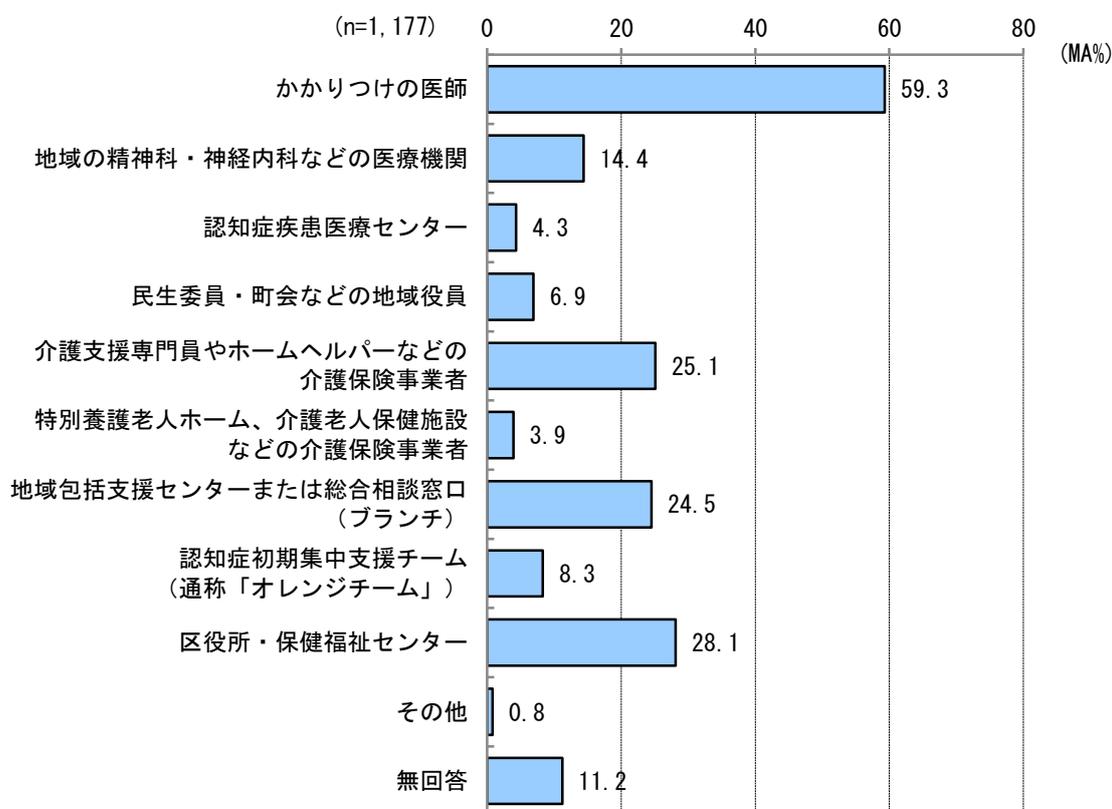
### 問31-2 知っている認知症に関する相談窓口

問31-1で「1 はい」と回答された方におうかがいします。

あなたが認知症に関する相談窓口として知っているところはどこですか。(〇はいくつでも)

認知症に関する相談窓口を知っていると回答した人に、知っている相談窓口についてたずねると、「かかりつけの医師」が59.3%で最も多く、次いで「区役所・保健福祉センター」が28.1%、「介護支援専門員やホームヘルパーなどの介護保険事業者」が25.1%となっている。  
(図31-2)

【図31-2 知っている認知症に関する相談窓口】

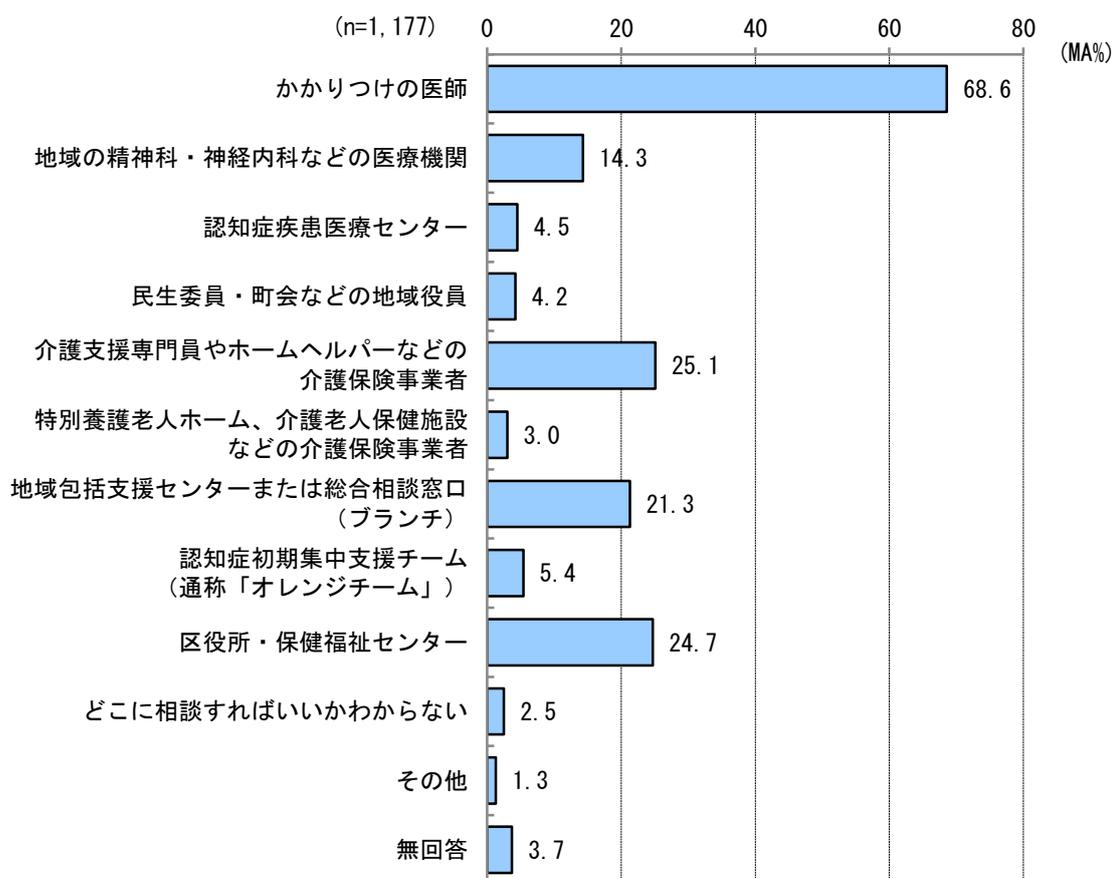


### 問31-3 認知症についての相談先

あなたは、あなた又はあなたのご家族が認知症について不安に感じるときは、どちらに相談されますか。(〇はいくつでも)

認知症についての相談先については、「かかりつけの医師」が68.6%で最も多く、次いで「介護支援専門員やホームヘルパーなどの介護保険事業者」が25.1%、「区役所・保健福祉センター」が24.7%となっている。(図31-3)

【図31-3 認知症についての相談先】



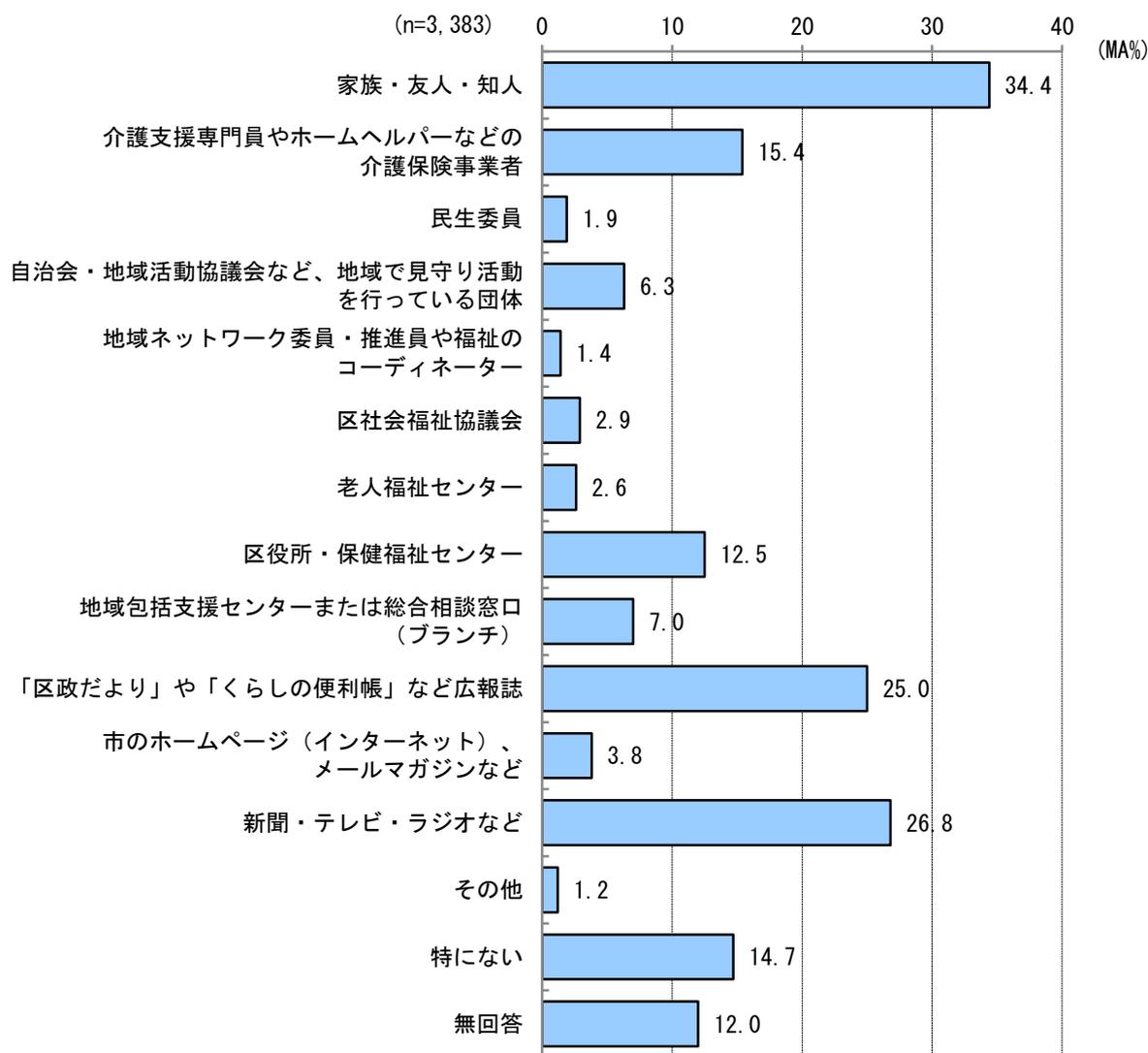
(12) 高齢者向けサービス情報、生活の満足度

問32 高齢者向けサービスの情報源

あなたは、高齢者向けのお知らせや健康・介護予防に関する情報をどこから得ていますか。  
(〇はいくつでも)

高齢者向けサービスの情報源については、「家族・友人・知人」が34.4%で最も多く、次いで「新聞・テレビ・ラジオなど」が26.8%、「区政だより」や「くらしの便利帳」など広報誌」が25.0%となっている。(図32)

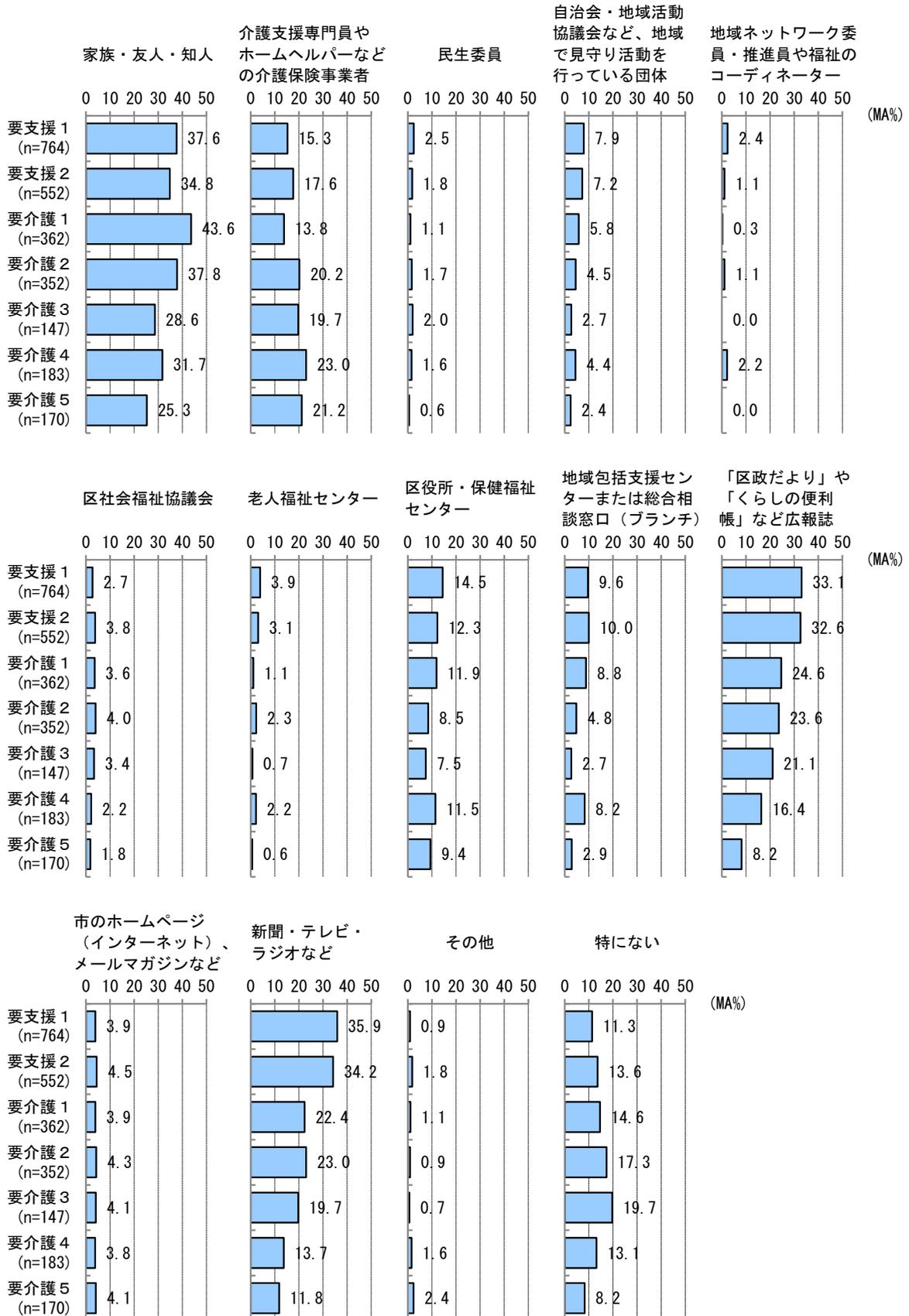
【図32 高齢者向けサービスの情報源】



【介護保険サービス未利用者調査】

要介護度別で見ると、要介護度にかかわらず「家族・友人・知人」が最も多く、特に要介護1が43.6%で最も高い割合となっている。(図32-a)

【図32-a 高齢者向けサービスの情報源（要介護度別）】

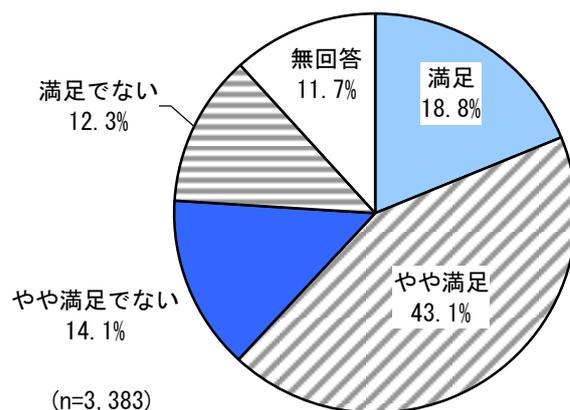


### 問33 現在の生活の満足度

あなたの現在の生活の満足度は次のどれにあてはまりますか。(〇はひとつ)

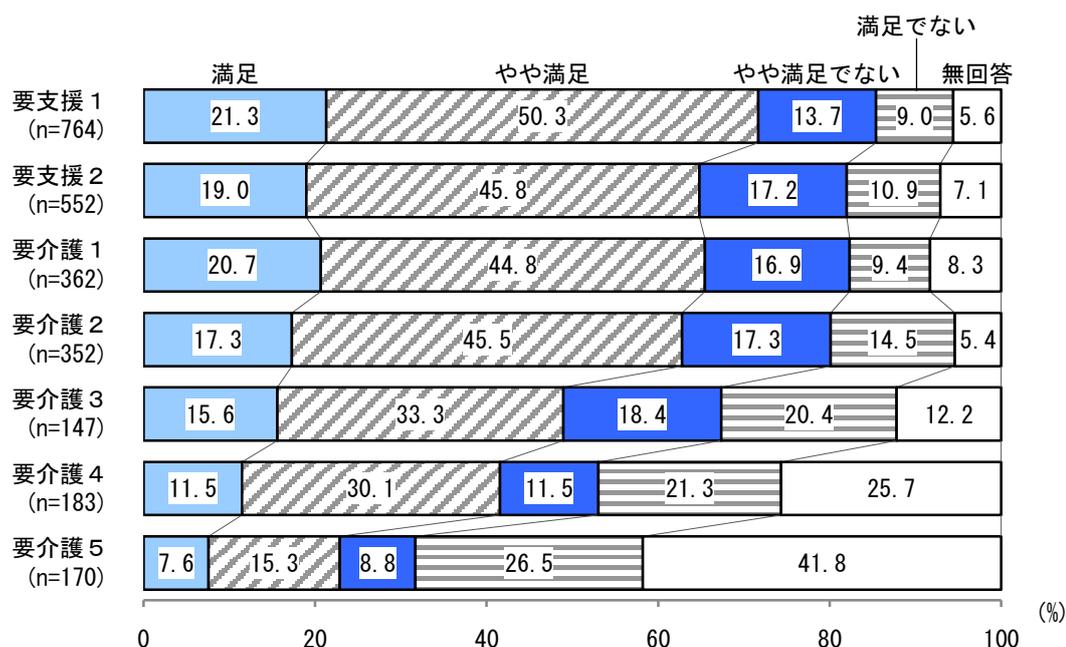
現在の生活の満足度については、「やや満足」が43.1%で最も多く、次いで「満足」が18.8%、「やや満足でない」が14.1%で、『満足』の割合（「満足」と「やや満足」をあわせた割合）は61.9%となっている。(図33)

【図33 現在の生活の満足度】



要介護度別でみると、『満足』の割合は要支援1・2、要介護1・2で過半数を占めており、要支援1が71.6%で最も高く、重度になるほど割合が低くなる傾向にある。(図33-a)

【図33-a 現在の生活の満足度（要介護度別）】



### (13) 介護保険制度についての意見・要望等

#### 問34 介護保険制度についての意見・要望等（自由記述）

介護保険制度について、介護保険サービスの利用者として、ご意見・ご要望等がありましたら、次の欄に記入してください。

361人から意見があり、延べ387件の回答が挙がっている。主な意見は次のとおり。

#### 【主な意見】

##### 《介護保険制度、制度についての要望・不満》（93件）

- ・制度のことはよくわからない。もっとわかりやすく教えてほしい。
- ・手続きを簡素化してほしい。
- ・わかりやすい小冊子等があれば良いと思う。
- ・要介護認定の更新等の申請の所に電話するもまったく通じない。
- ・自分で事業者を選ぶというが、どこがいいのかわからない。
- ・ヘルパーの質を高めてほしい。

##### 《介護保険料、介護保険サービス利用料に関する意見》（83件）

- ・介護保険料や利用料が高い。
- ・介護保険料は支払っているが、利用料が必要であるため、無理して介護を受けないようにしている。

##### 《施設サービス、介護サービスの充実に関する意見》（49件）

- ・制度利用がコロナ中は使用しにくい。車椅子や歩行補助車購入タクシーなどをもっと利用しやすくしてほしい。
- ・通院にかかるのタクシー代を援助してほしい。
- ・買い物支援の時間が短すぎる。
- ・家の掃事等は妻と共同使用の部屋の掃除は不可のため利用できない。

##### 《要介護認定についての要望・不満》（30件）

- ・介護保険認定調査員の方は調査対象者の病気の状態と経過を詳しく勉強してほしい。
- ・申し込んでからの認定が遅い。
- ・要介護認定の問診のしかたが担当者によってかなりちがう。
- ・要介護認定の際、書類が多くて難しい。

##### 《その他の意見》（132件）

- ・ひとり者にとっては、ありがたい制度だと思う。
- ・相談窓口に行っても、人が多く、相談がしづらい。
- ・使ったことがないのでわからない。

【介護保険サービス未利用者調査】

# 介護者調査 編



## 4 介護者調査結果

### (1) 介護者の基本属性

#### 問38[35] 本人との関係

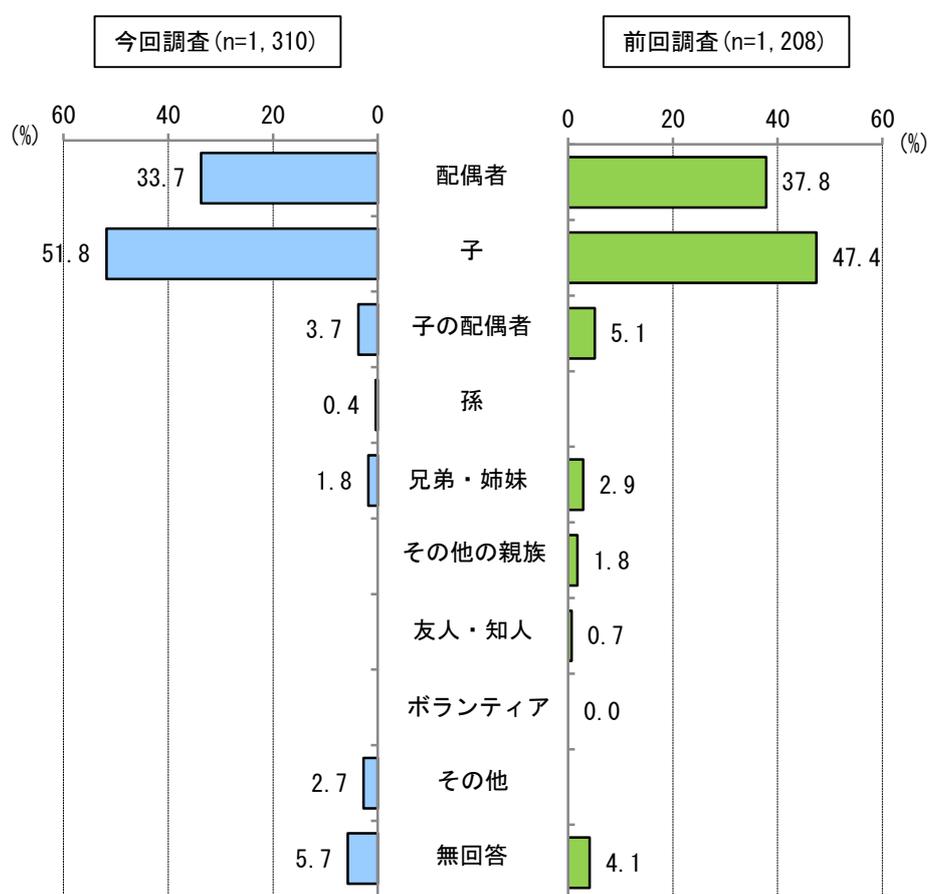
あなたは、ご本人とはどのような関係ですか。(〇はひとつ)

サービス利用者本人との関係については、「子」が51.8%で最も多く、次いで「配偶者」が33.7%、「子の配偶者」が3.7%となっている。

前回調査と比較すると、上記2つの項目が多い傾向は変わらない。(A図38[35])

#### < A. サービス利用者 >

【A図38[35] 本人との関係（経年比較）】



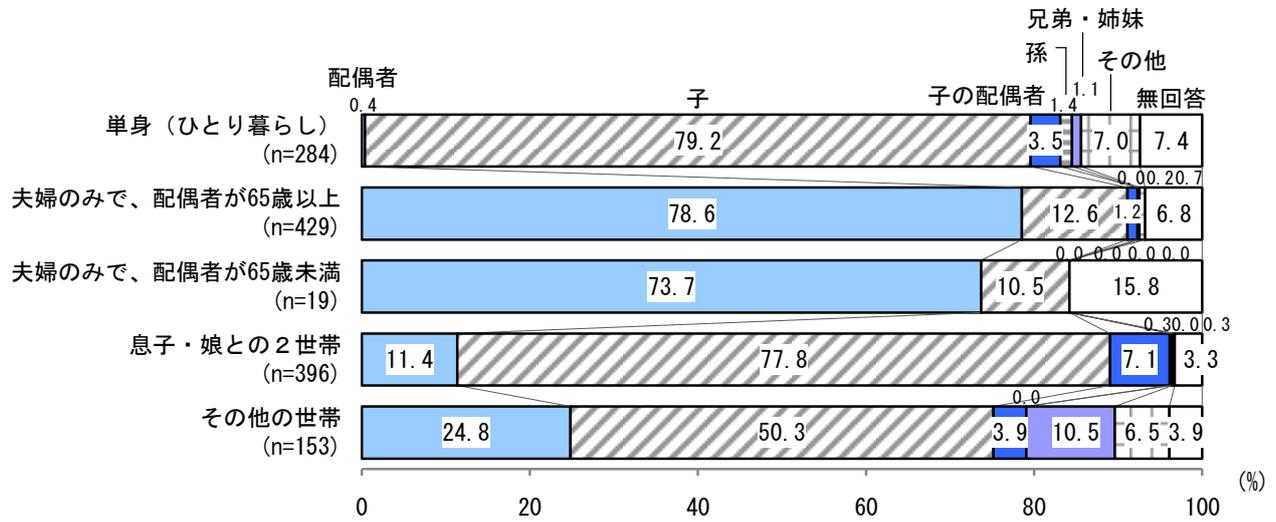
※前回調査の「その他親族」「友人・知人」「ボランティア」は、今回調査では設けていない。

※「孫」「その他」は、今回調査の新規項目である。

【介護者調査 編】

世帯状況別で見ると、単身（ひとり暮らし）世帯、息子・娘との2世帯、その他の世帯では「子」が最も多く、夫婦のみ世帯では「配偶者」が最も多くなっている。（A図38[35]-a）

【A図38[35]-a 本人との関係（世帯状況別）】

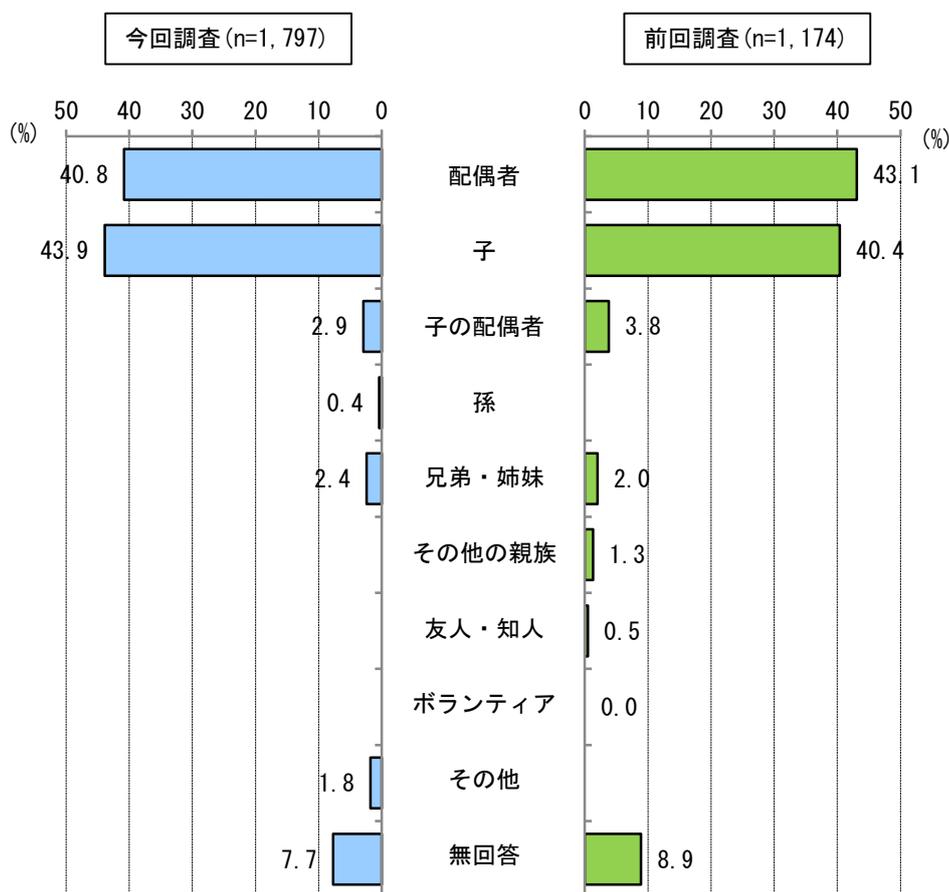


サービス未利用者本人との関係については、「子」が43.9%で最も多く、次いで「配偶者」が40.8%、「子の配偶者」が2.9%となっている。

前回調査と比較すると、上記2つの項目が多い傾向は変わらない。(B図38[35])

< B. サービス未利用者 >

【B図38[35] 本人との関係（経年比較）】

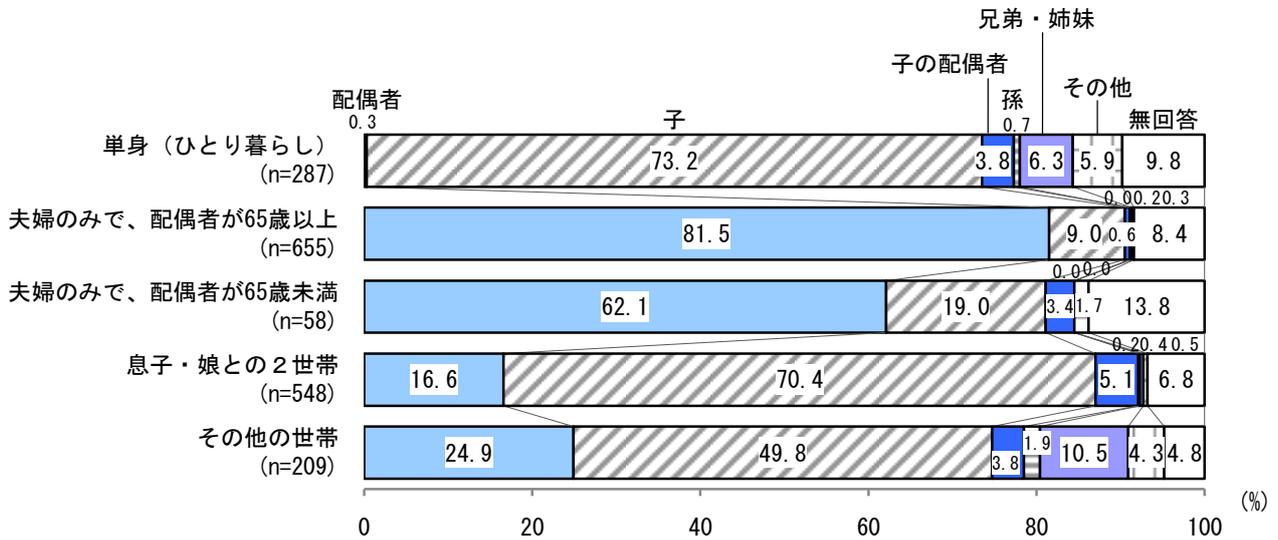


※前回調査の「その他親族」「友人・知人」「ボランティア」は、今回調査では設けていない。  
 ※「孫」「その他」は、今回調査の新規項目である。

【介護者調査 編】

世帯状況別で見ると、単身（ひとり暮らし）世帯、息子・娘との2世帯、その他の世帯では「子」が最も多く、夫婦のみ世帯では「配偶者」が最も多くなっている。（B図38[35]-a）

【B図38[35]-a 本人との関係（世帯状況別）】



### 問 39[36] (1) 介護者の性別

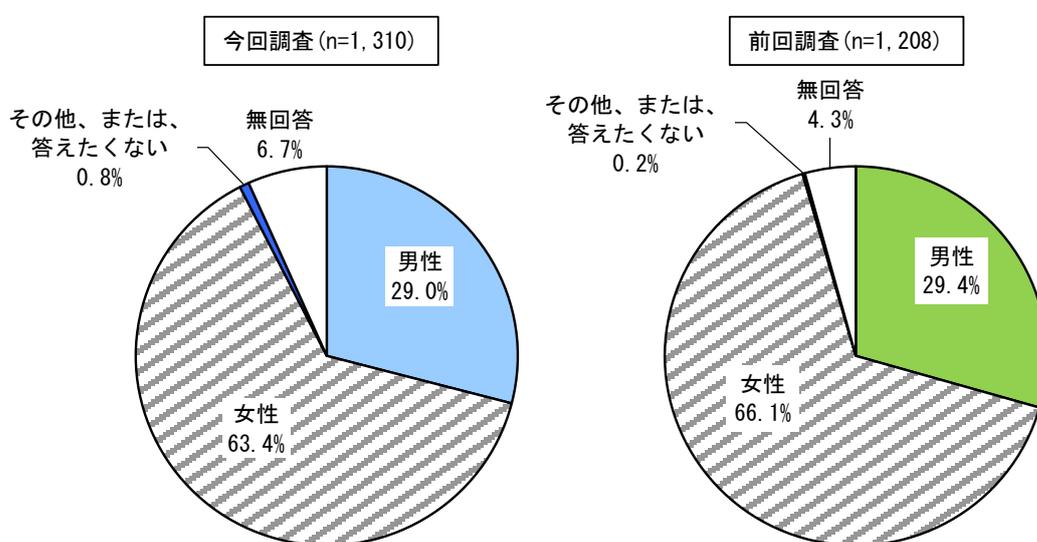
あなたの性別、年齢、ご本人との同居の有無についておうかがいします。  
(それぞれ○はひとつ)

サービス利用者の介護者の性別については、「男性」が29.0%、「女性」が63.4%となっている。

前回調査と比較すると、「男性」より「女性」の割合が多い傾向は変わらない。(A図39[36](1))

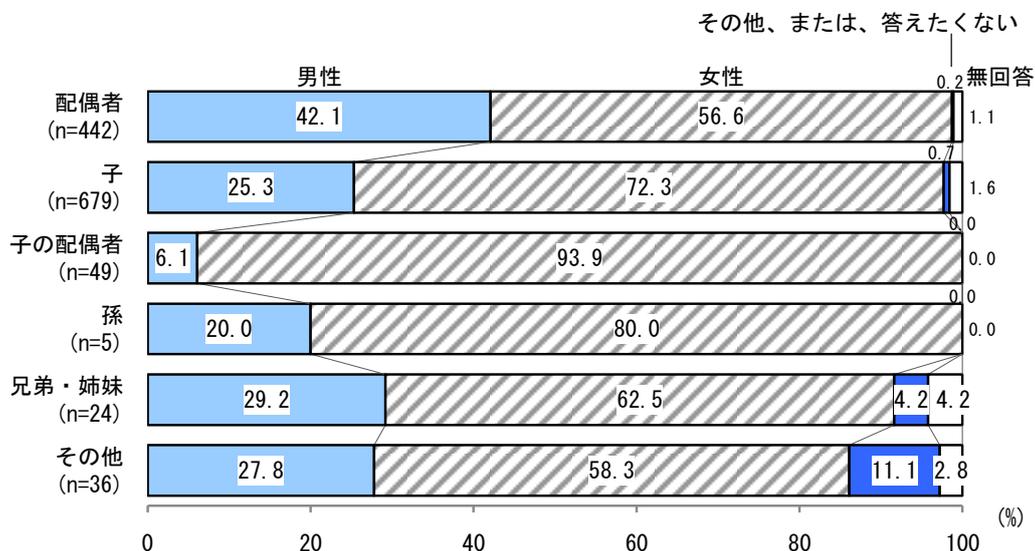
< A. サービス利用者 >

【A図39[36](1) 介護者の性別 (経年比較)】



本人との関係別でみると、関係性にかかわらず「女性」のほうが多くなっている。一方、「男性」では、配偶者の介護者が42.1%で最も多く、次いで兄弟・姉妹の介護者が29.2%となっている。(A図39[36](1)-a)

【A図39[36](1)-a 介護者の性別 (本人との関係別)】



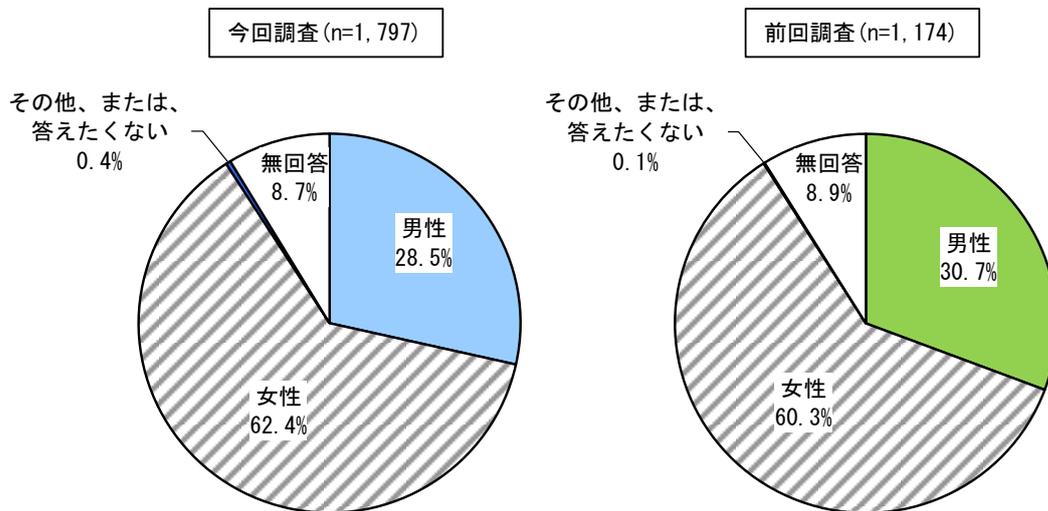
【介護者調査 編】

サービス未利用者の介護者の性別については、「男性」が28.5%、「女性」が62.4%となっている。

前回調査と比較すると、「男性」より「女性」の割合が高い傾向は変わらない。(B図39[36](1))

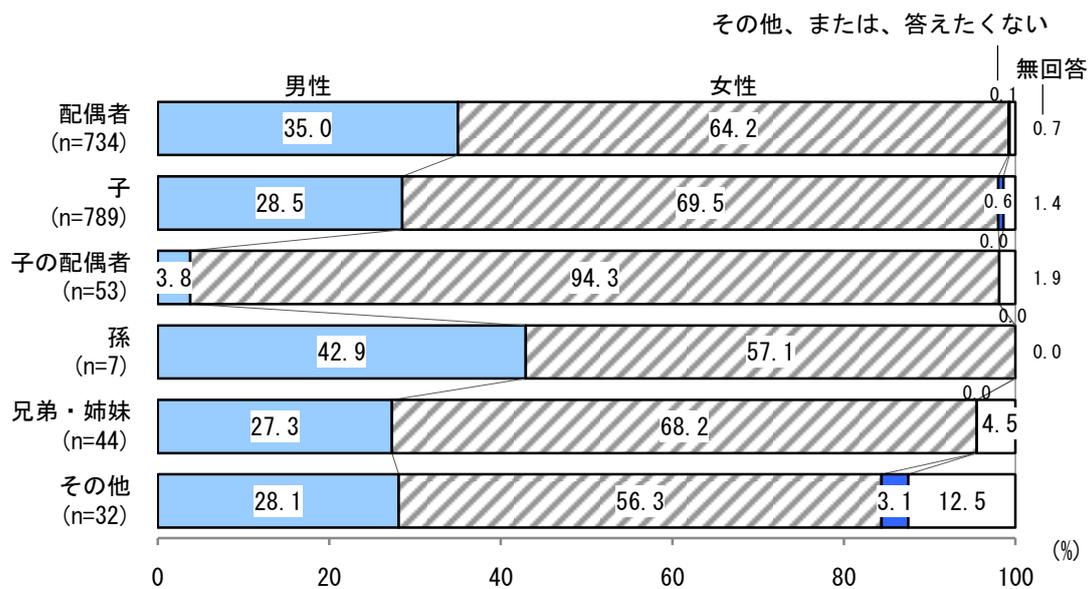
< B. サービス未利用者 >

【B図39[36] (1) 介護者の性別 (経年比較)】



本人との関係別で見ると、関係性にかかわらず「女性」のほうが多くなっている。配偶者の介護者は「男性」が35.0%、「女性」が64.2%となっている。(B図39[36] (1)-a)

【B図39[36] (1)-a 介護者の性別 (本人との関係別)】



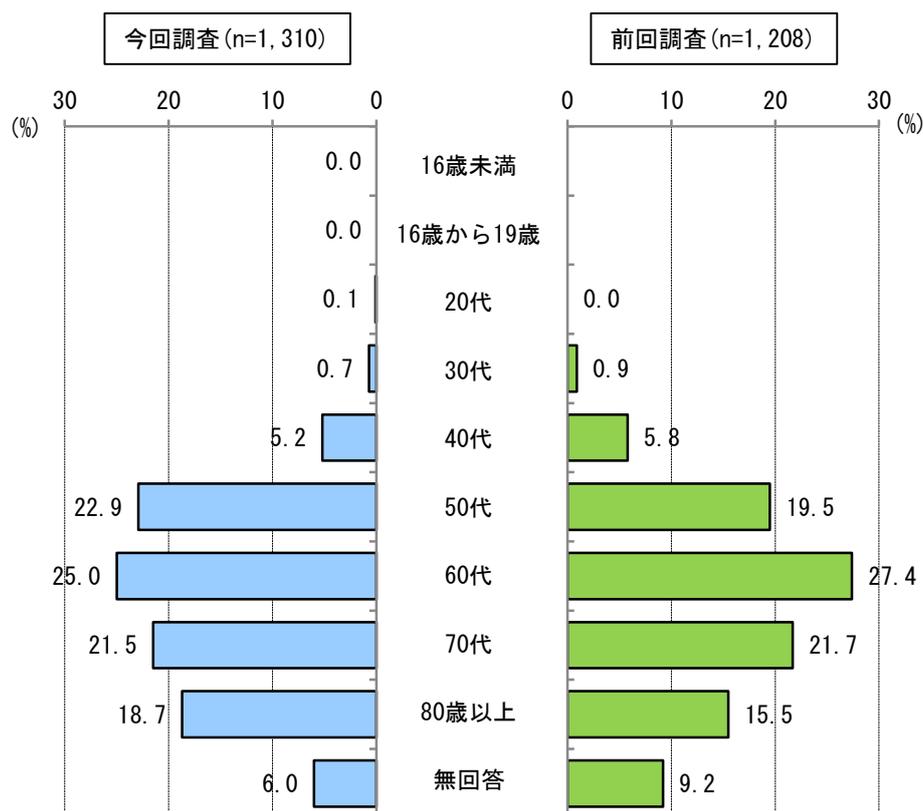
### 問39[36] (2) 介護者の年齢

サービス利用者の介護者の年齢については、「60代」が25.0%で最も多く、次いで「50代」が22.9%、「70代」が21.5%となっている。

前回調査と比較すると、「60代」の割合が最も高い傾向に変わりはないが、「80歳以上」の割合が3.2ポイント高くなっている。(A図39[36] (2))

#### < A. サービス利用者 >

【A図39[36] (2) 介護者の年齢 (経年比較)】



※前回調査の「20歳未満」は、今回調査では設けていない。(前回の20歳未満は0件)

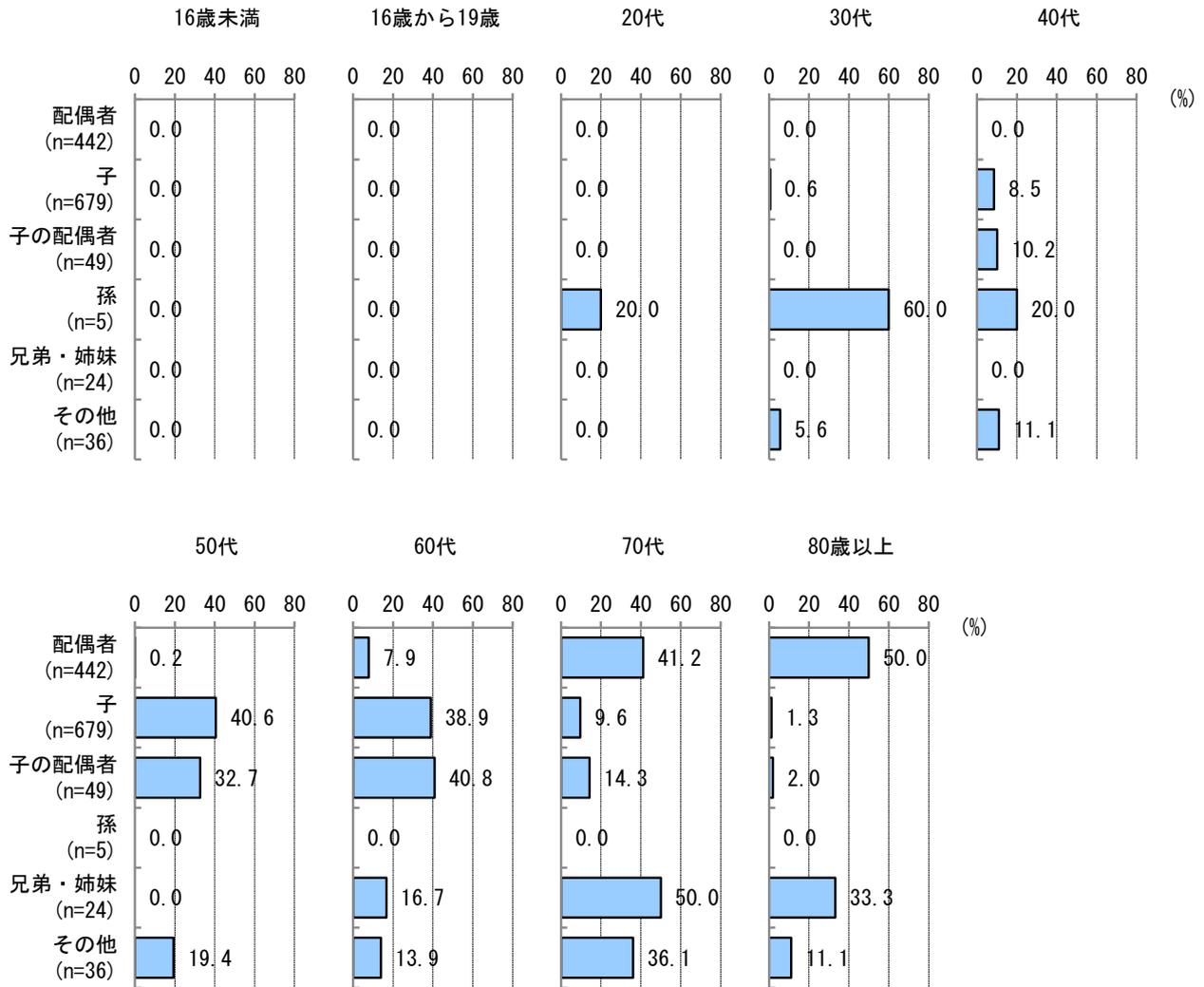
※「16歳未満」「16歳から19歳」は、今回調査の新規項目である。

※「60代」は前回の「60～64歳」と「65～69歳」を合算し、「70代」は前回の「70～74歳」と「75～79歳」を合算したものである。

【介護者調査 編】

本人との関係別で見ると、配偶者の介護者は「80歳以上」、兄弟・姉妹の介護者は「70代」、子の介護者は「50代」、子の配偶者の介護者は「60代」が、それぞれ最も多くなっている。(A図39[36](2)-a)

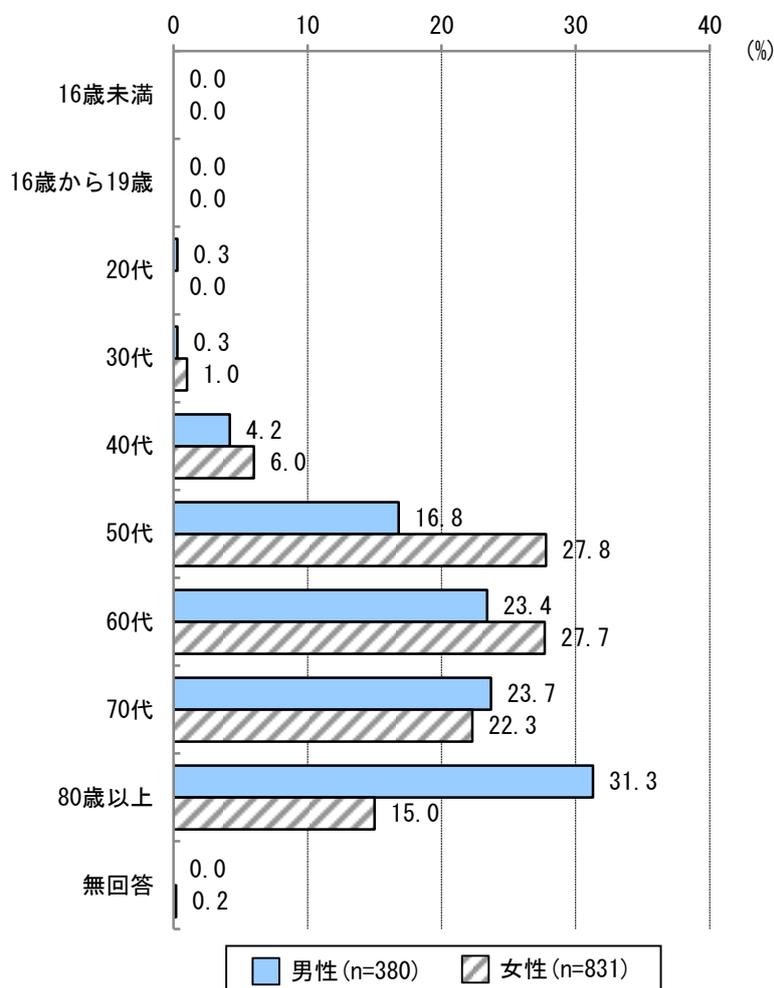
【A図39[36](2)-a 介護者の年齢（本人との関係別）】



【介護者調査 編】

介護者の性別で見ると、男性の介護者は「80歳以上」が31.3%で最も多くなっている。女性の介護者は「50代」が27.8%で最も多くなっている。(A図39[36](2)-b)

【A図39[36](2)-b 介護者の年齢（介護者の性別）】



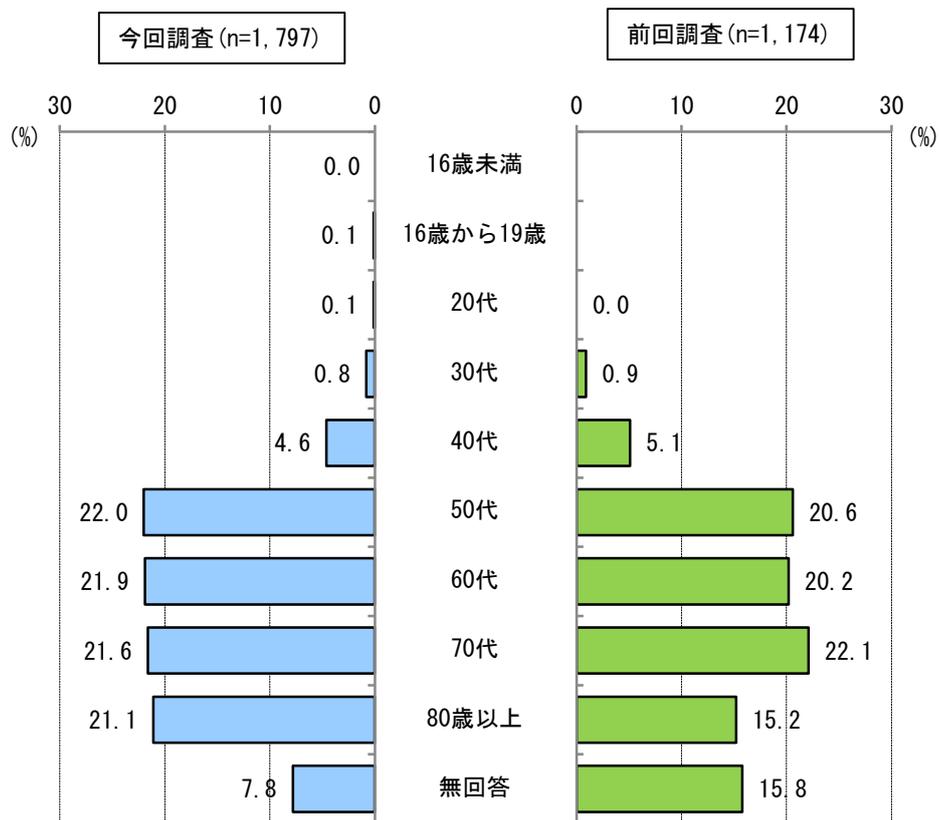
【介護者調査 編】

サービス未利用者の介護者の年齢については、「50代」が22.0%で最も多く、次いで「60代」が21.9%、「70代」が21.6%となっている。

前回調査と比較すると、「80歳以上」の割合は5.9ポイント高くなっている。(B図39[36](2))

<B. サービス未利用者>

【B図39[36](2) 介護者の年齢（経年比較）】



※前回調査の「20歳未満」は、今回調査では設けていない。(前回の20歳未満は0件)

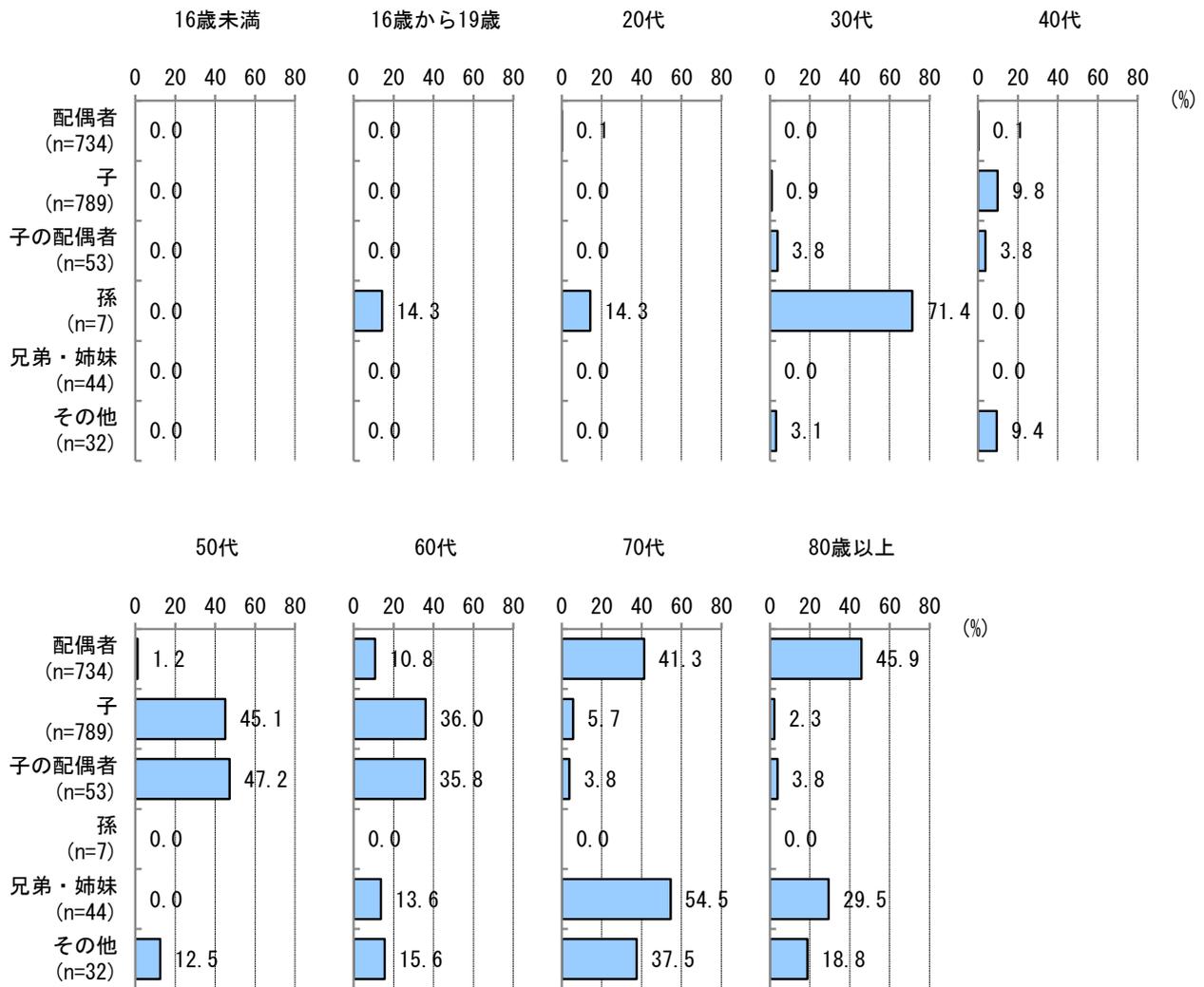
※「16歳未満」「16歳から19歳」は、今回調査の新規項目である。

※「60代」は前回の「60～64歳」と「65～69歳」を合算し、「70代」は前回の「70～74歳」と「75～79歳」を合算したものである。

【介護者調査 編】

本人との関係別で見ると、配偶者の介護者は「80歳以上」、兄弟・姉妹の介護者は「70代」、子及び子の配偶者は「50代」が、それぞれ最も多くなっている。(B図39[36](2)-a)

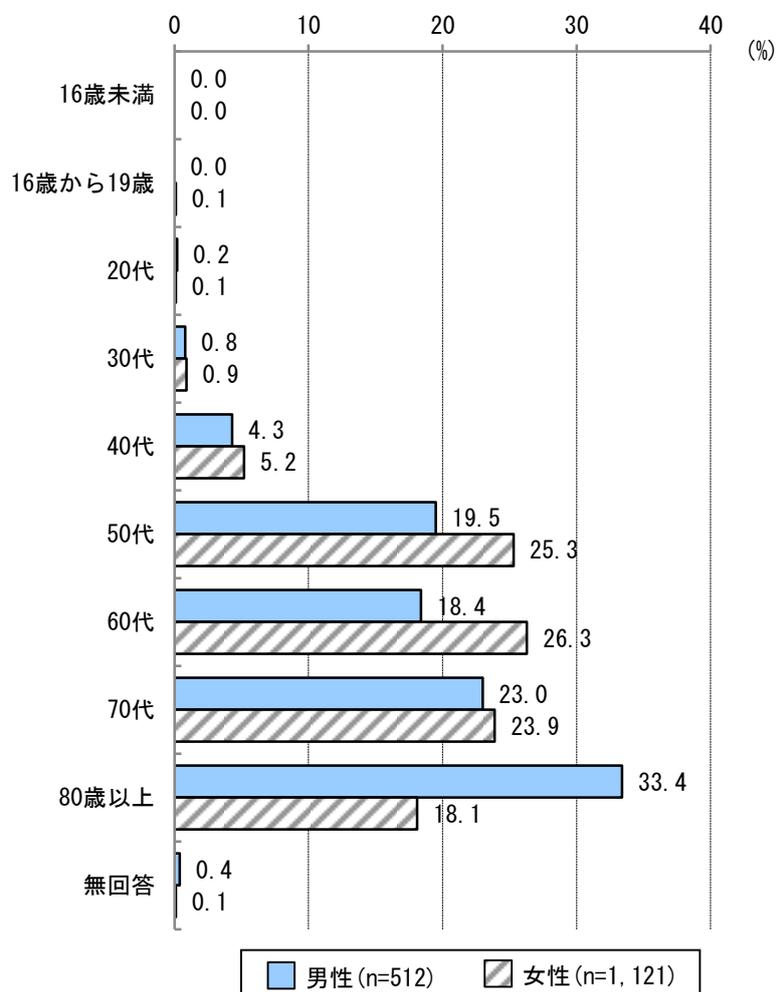
【B図39[36](2)-a 介護者の年齢（本人との関係別）】



【介護者調査 編】

介護者の性別で見ると、男性の介護者は「80歳以上」が33.4%で最も多くなっている。女性の介護者は「60代」が26.3%で最も多くなっている。(B図39[36](2)-b)

【B図39[36](2)-b 介護者の年齢（介護者の性別）】



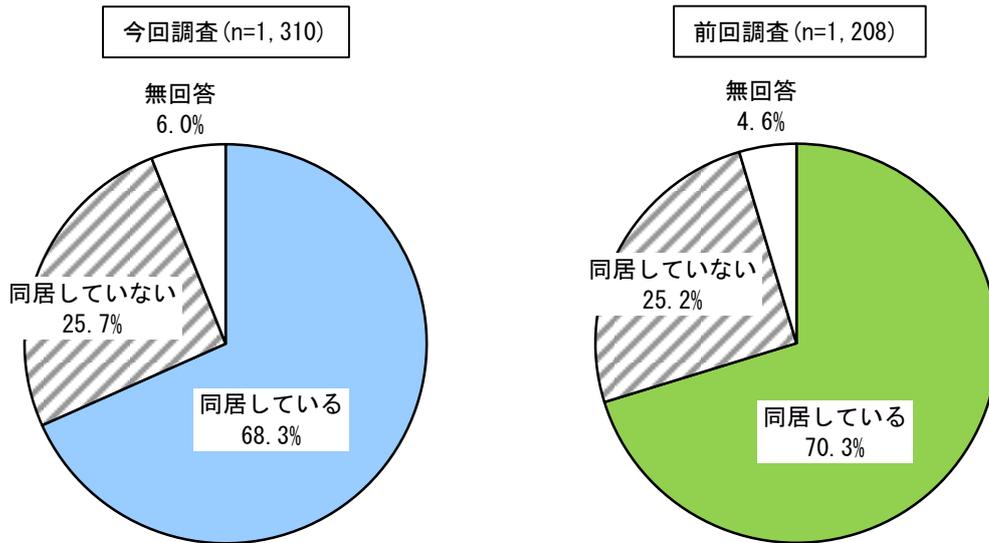
問39[36] (3) 本人との同居の有無

サービス利用者との同居有無について、「同居している」が68.3%、「同居していない」が25.7%となっている。

前回調査と比較すると、「同居している」人のほうが多い傾向は変わらない。(A図39[36](3))

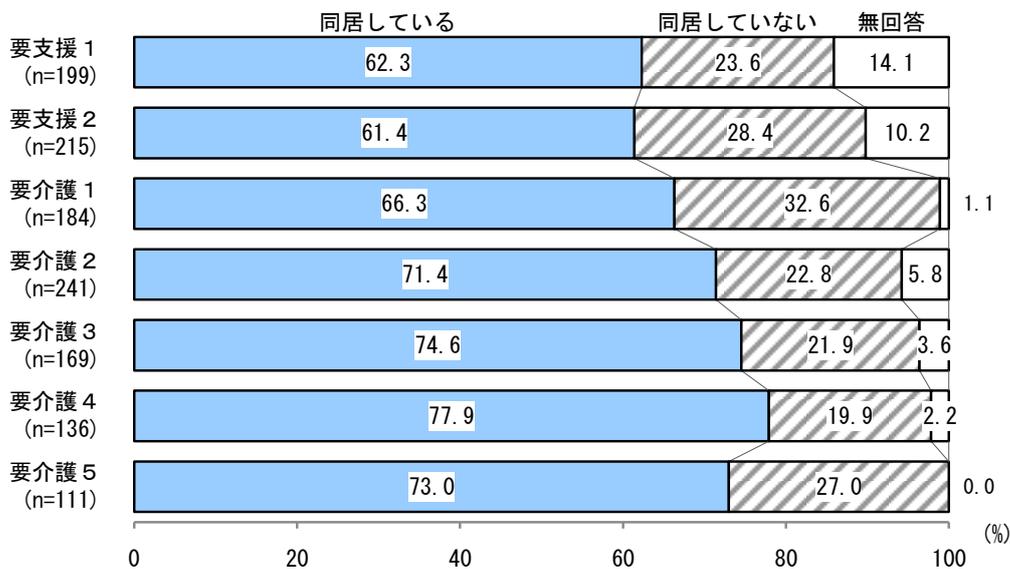
< A. サービス利用者 >

【A図39[36] (3) 本人との同居の有無 (経年比較)】



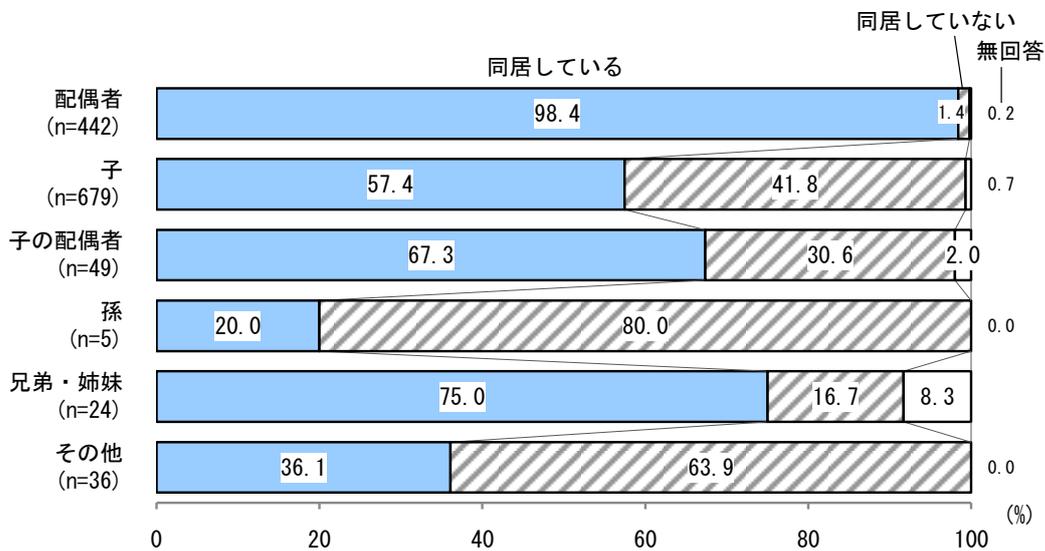
本人の要介護度別でみると、要介護度にかかわらず「同居している」割合が過半数を占めている。(A図39[36](3)-a)

【A図39[36] (3)-a 本人との同居の有無 (本人の要介護度別)】



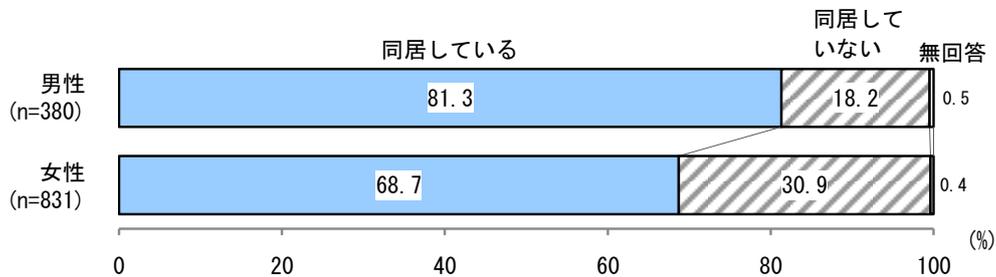
本人との関係別で見ると、配偶者や子、子の配偶者、兄弟・姉妹の介護者では「同居している」割合が過半数を占めている。(A図39[36](3)-b)

【A図39[36](3)-b 本人との同居の有無（本人との関係別）】



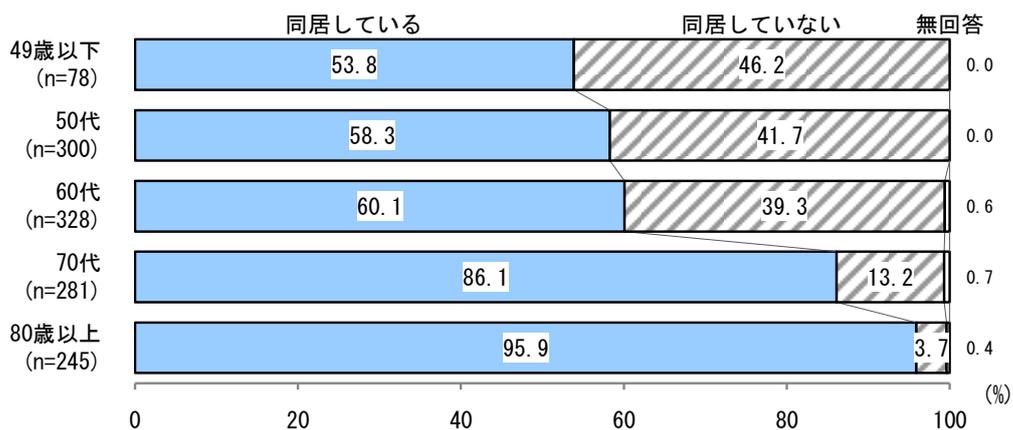
介護者の性別で見ると、男女とも「同居している」割合のほうが多くなっており、男性の介護者は81.3%、女性の介護者は68.7%で、男性の介護者のほうが12.6ポイント高くなっている。(A図39[36](3)-c)

【A図39[36](3)-c 本人との同居の有無（介護者の性別）】



介護者の年齢別で見ると、年齢にかかわらず「同居している」割合のほうが多くなっており、70代以上では8割を超えている。(A図39[36](3)-d)

【A図39[36](3)-d 本人との同居の有無（介護者の年齢別）】

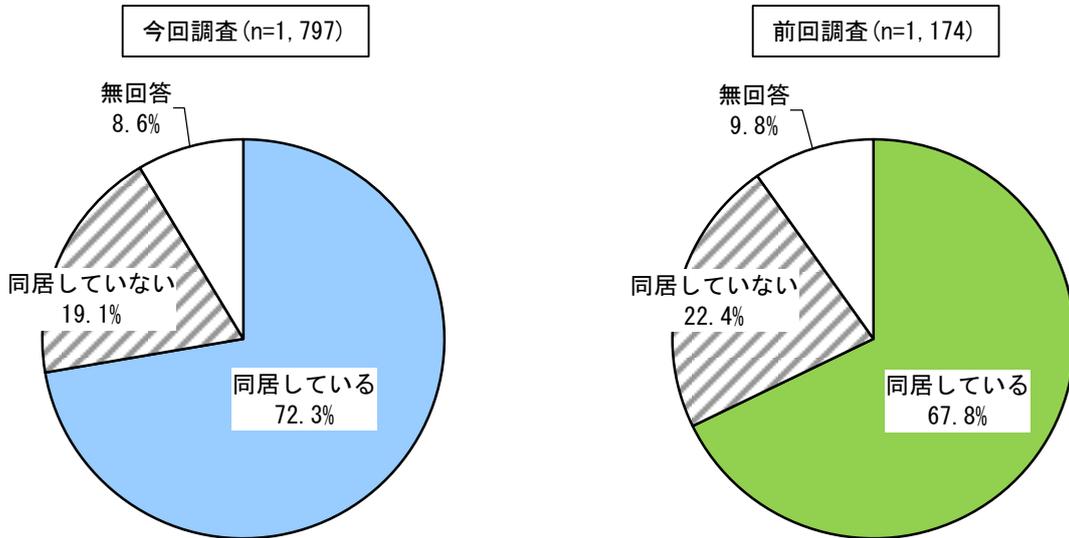


サービス未利用者との同居有無について、「同居している」が72.3%、「同居していない」が19.1%となっている。

前回調査と比較すると、概ね前回と同様の傾向となっている。(B図39[36] (3))

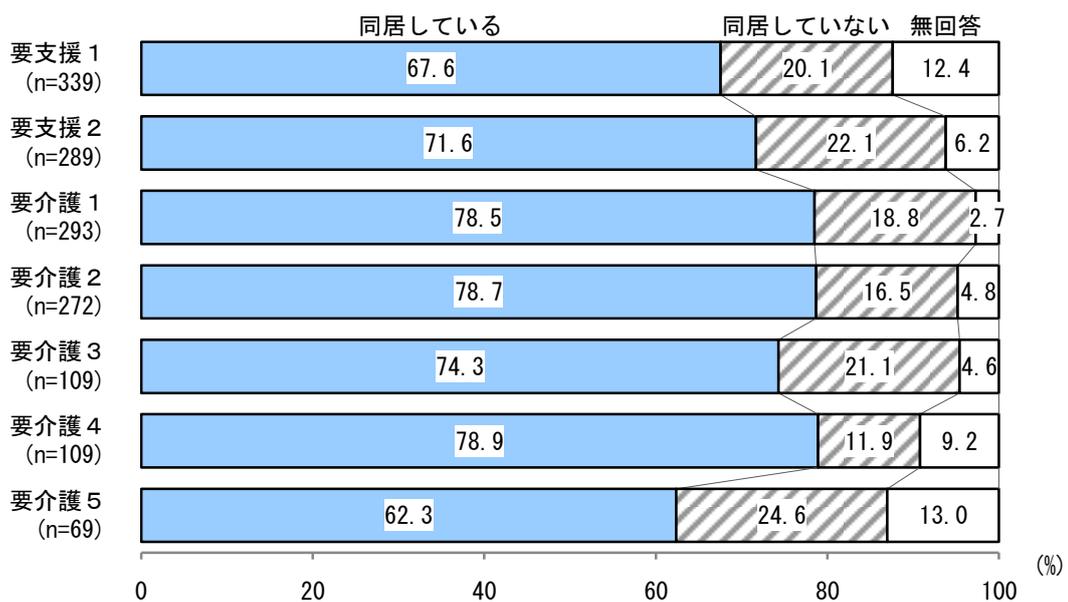
< B. サービス未利用者 >

【B図39[36] (3) 本人との同居の有無 (経年比較)】



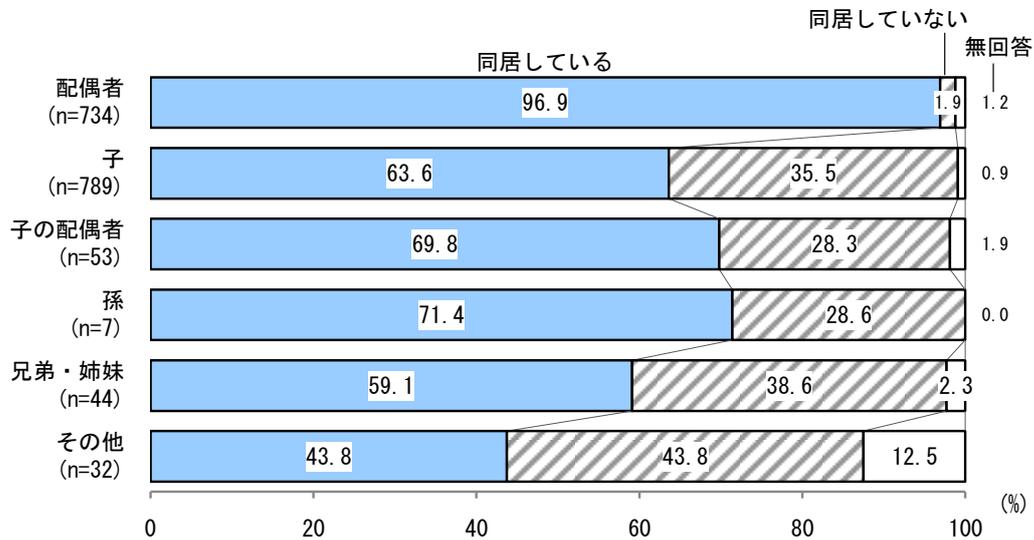
本人の要介護度別でみると、要介護度にかかわらず「同居している」割合が過半数を占めている。(B図39[36](3)-a)

【B図39[36] (3)-a 本人との同居の有無 (本人の要介護度別)】



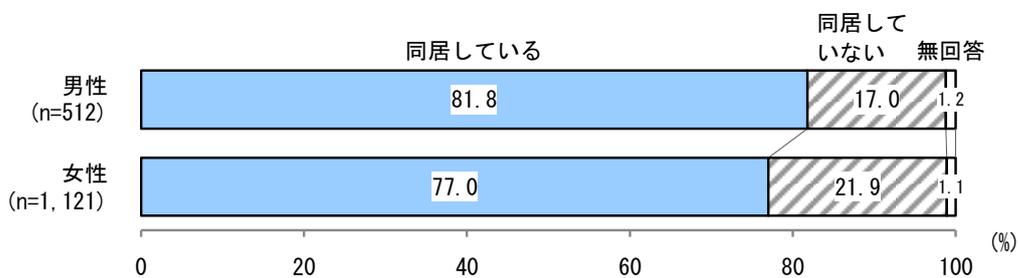
本人との関係別でみると、「その他」を除く全てで「同居している」割合が過半数を占めている。(B図39[36](3)-b)

【B図39[36](3)-b 本人との同居の有無(本人との関係別)】



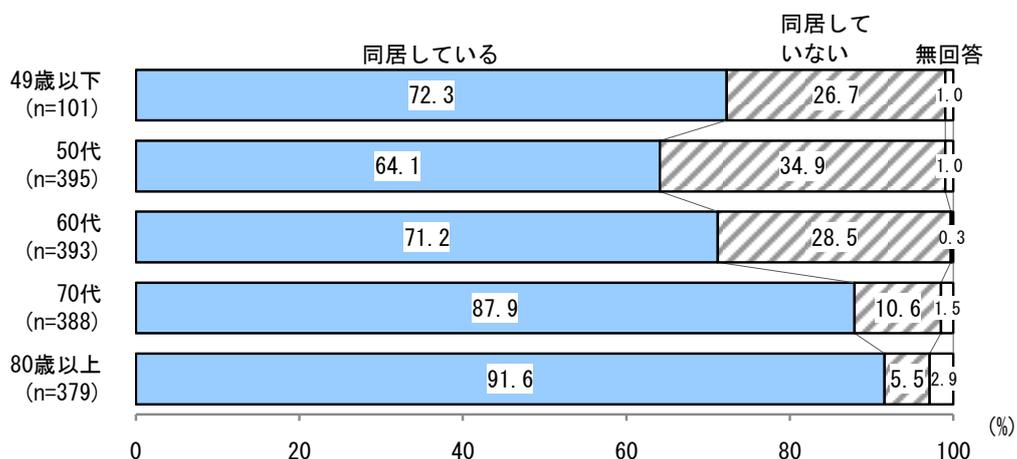
介護者の性別でみると、男女とも「同居している」割合のほうが多くなっており、男性の介護者は81.8%、女性の介護者は77.0%で、男性の介護者のほうが4.8ポイント高くなっている。(B図39[36](3)-c)

【B図39[36](3)-c 本人との同居の有無(介護者の性別)】



介護者の年齢別でみると、年齢にかかわらず「同居している」割合のほうが多くなっており、70代以上で約9割を占めている。(B図39[36](3)-d)

【B図39[36](3)-d 本人との同居の有無(介護者の年齢別)】



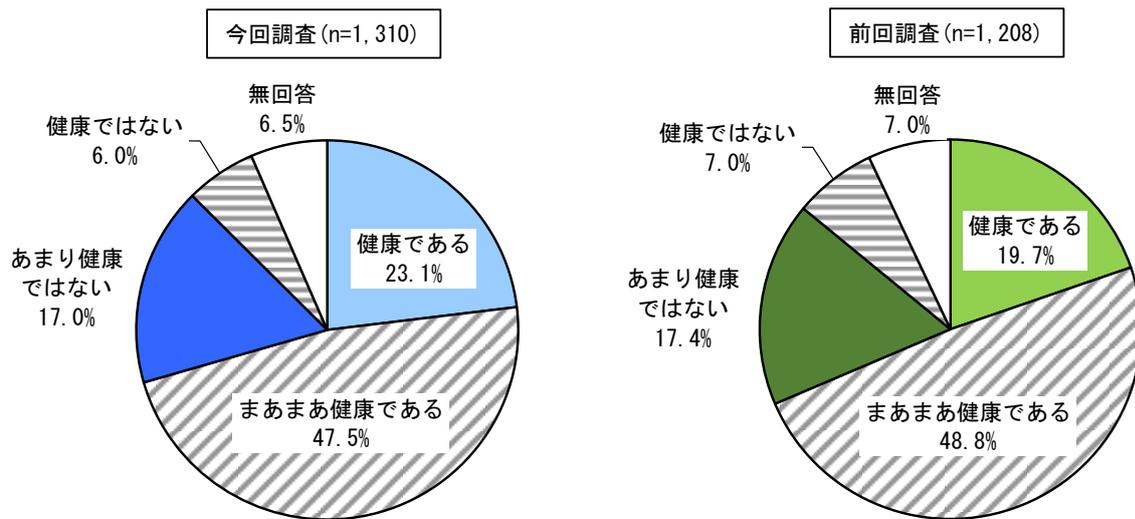
問40[37] 介護者の健康状態

あなたの健康状態はいかがですか。(〇はひとつ)

サービス利用者の介護者の健康状態については、「まあまあ健康である」が47.5%で最も多く、次いで「健康である」が23.1%、「あまり健康ではない」が17.0%となっている。  
 前回調査と比較すると、「健康である」が3.4ポイント高くなっている。(A図40[37])

<A. サービス利用者>

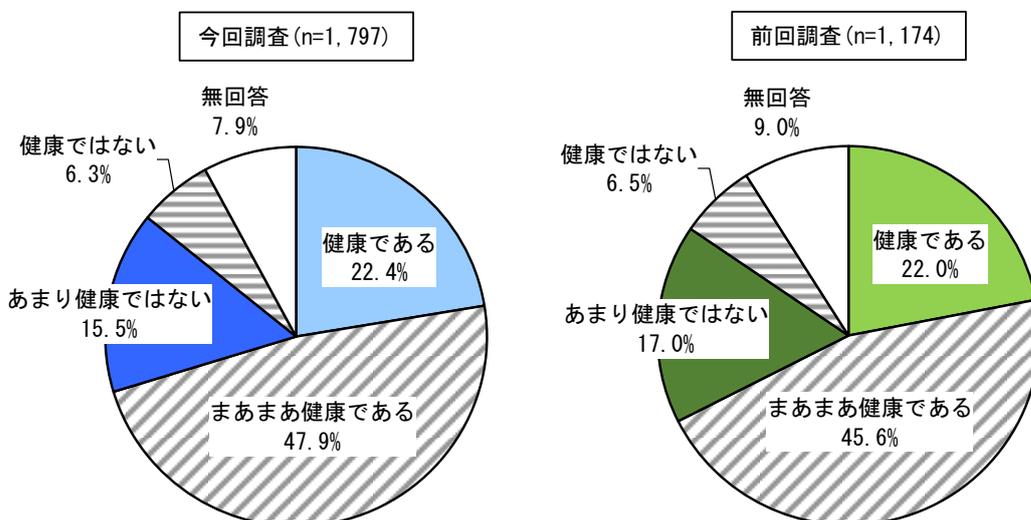
【A図40[37] 介護者の健康状態（経年比較）】



サービス未利用者の介護者の健康状態については、「まあまあ健康である」が47.9%で最も多く、次いで「健康である」が22.4%、「あまり健康ではない」が15.5%となっている。  
 前回調査と比較すると、「まあまあ健康である」が2.3ポイント高くなっている。(B図40[37])

<B. サービス未利用者>

【B図40[37] 介護者の健康状態（経年比較）】



(2) 介護の状況

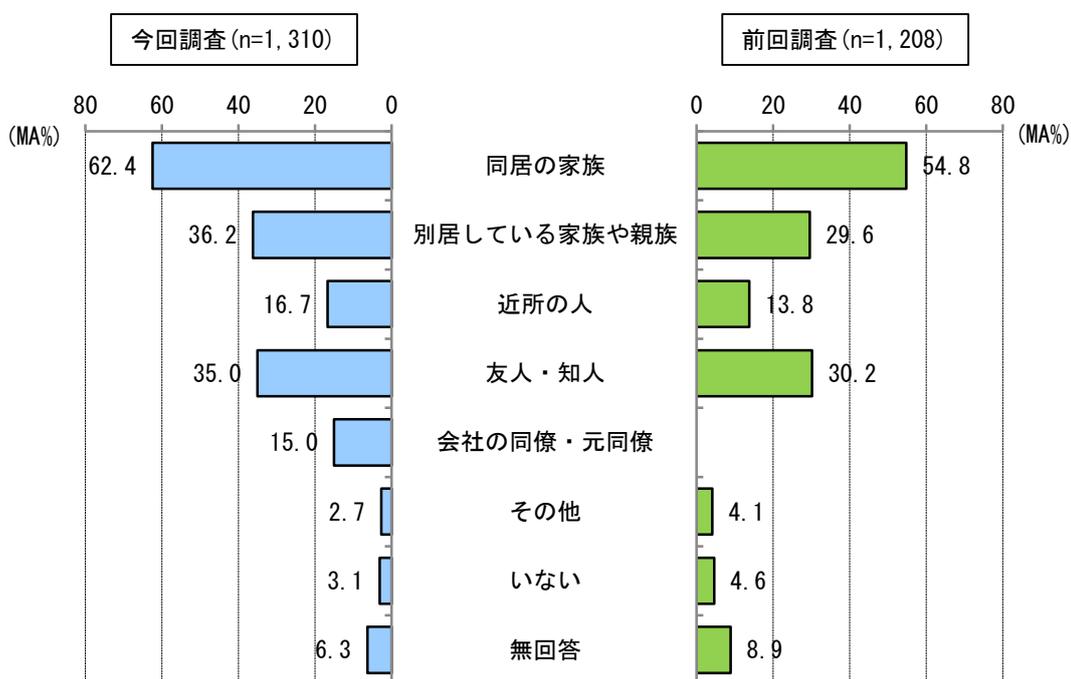
問41[38] 介護者がよく話をする相手

あなたがよく話をする相手は誰ですか。(〇はいくつでも)

サービス利用者本人以外でよく話をする相手については、「同居の家族」が62.4%で最も多く、次いで「別居している家族や親族」が36.2%、「友人・知人」が35.0%となっている。前回調査と比較すると、上記3項目が多い傾向は変わらない。(A図41[38])

< A. サービス利用者 >

【A図41[38] 介護者がよく話をする相手（経年比較）】

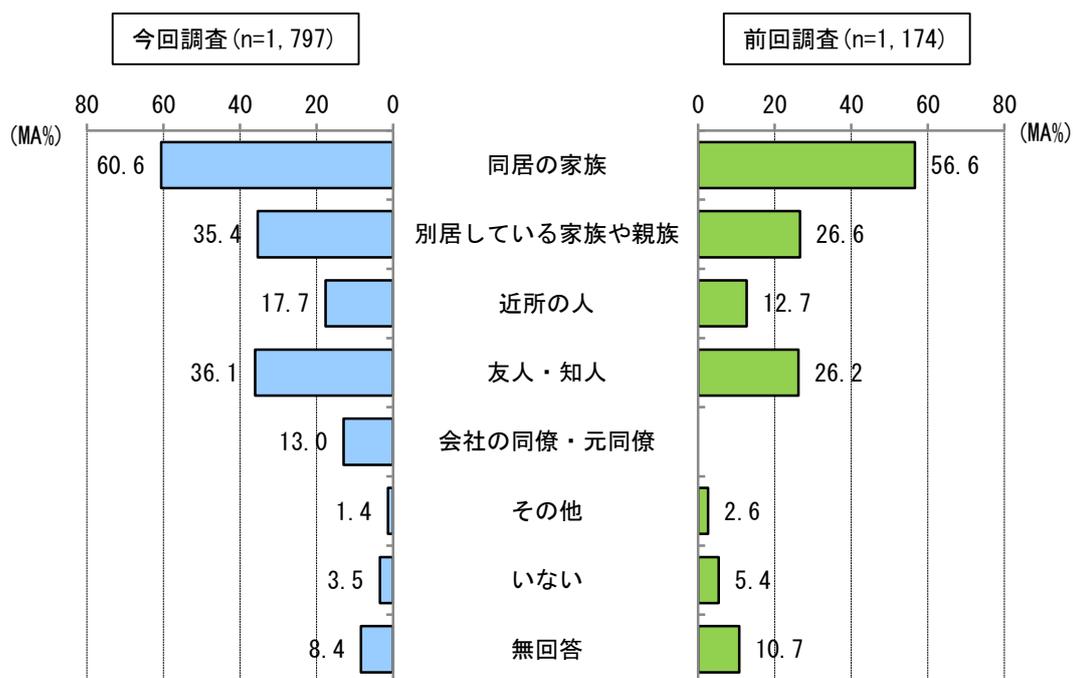


※「会社の同僚・元同僚」は、今回調査の新規項目である。

サービス未利用者本人以外でよく話をする相手については、「同居の家族」が60.6%で最も多く、次いで「友人・知人」が36.1%、「別居している家族や親族」が35.4%となっている。前回調査と比較すると、「別居している家族や親族」の割合が8.8ポイント高くなっている。(B図41[38])

<B. サービス未利用者>

【B図41[38] 介護者がよく話をする相手（経年比較）】



※「会社の同僚・元同僚」は、今回調査の新規項目である。

## 問42[39] 介護を手助けしてくれる人の有無

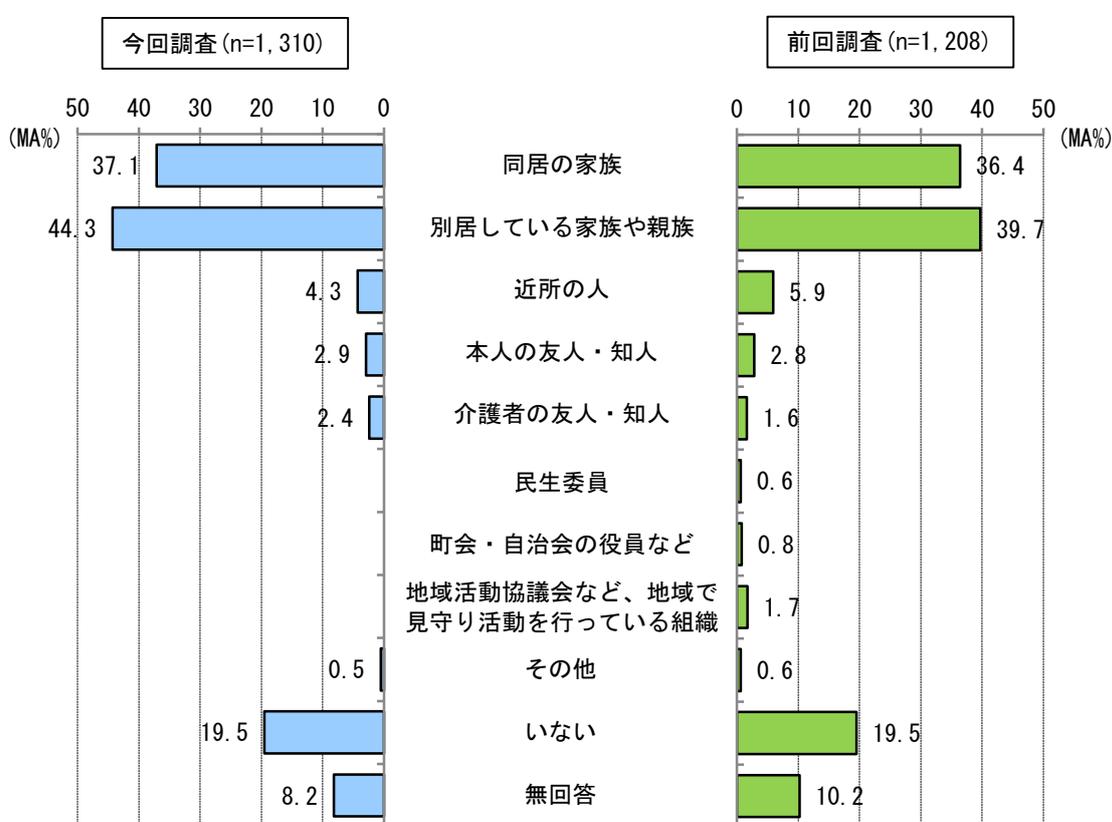
介護保険サービス提供者以外で、介護を手助けしてくれる方はいますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。(○はいくつでも)

サービス利用者本人の介護を手助けしてくれる人はいるかについては、「別居している家族や親族」が44.3%で最も多く、次いで「同居の家族」が37.1%、「近所の人」が4.3%となっている。一方、「いない」は19.5%となっている。

前回調査と比較すると、概ね前回と同様の傾向となっている。(A図42[39])

### < A. サービス利用者 >

【A図42[39] 介護を手助けしてくれる人の有無 (経年比較)】



※前回調査の「民生委員」「町会・自治会の役員など」「地域活動協議会など、地域で見守り活動を行っている組織」は、今回調査では設けていない。

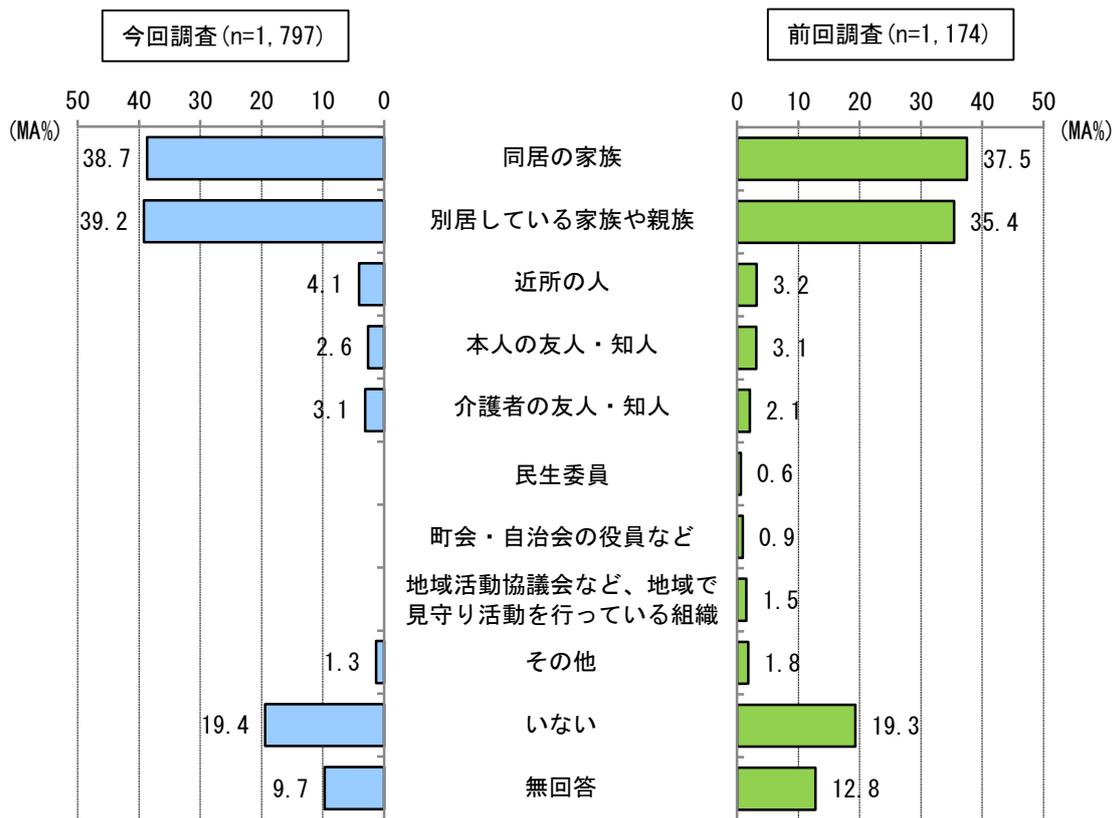
【介護者調査 編】

サービス未利用者本人の介護を手助けしてくれる人はいるかについては、「別居している家族や親族」が39.2%で最も多く、次いで「同居の家族」が38.7%、「近所の人」が4.1%となっている。一方、「いない」は19.4%となっている。

前回調査と比較すると、概ね前回と同様の傾向となっている。(B図42[39])

<B. サービス未利用者>

【B図42[39] 介護を手助けしてくれる人の有無（経年比較）】



※前回調査の「民生委員」「町会・自治会の役員など」「地域活動協議会など、地域で見守り活動を行っている組織」は、今回調査では設けていない。

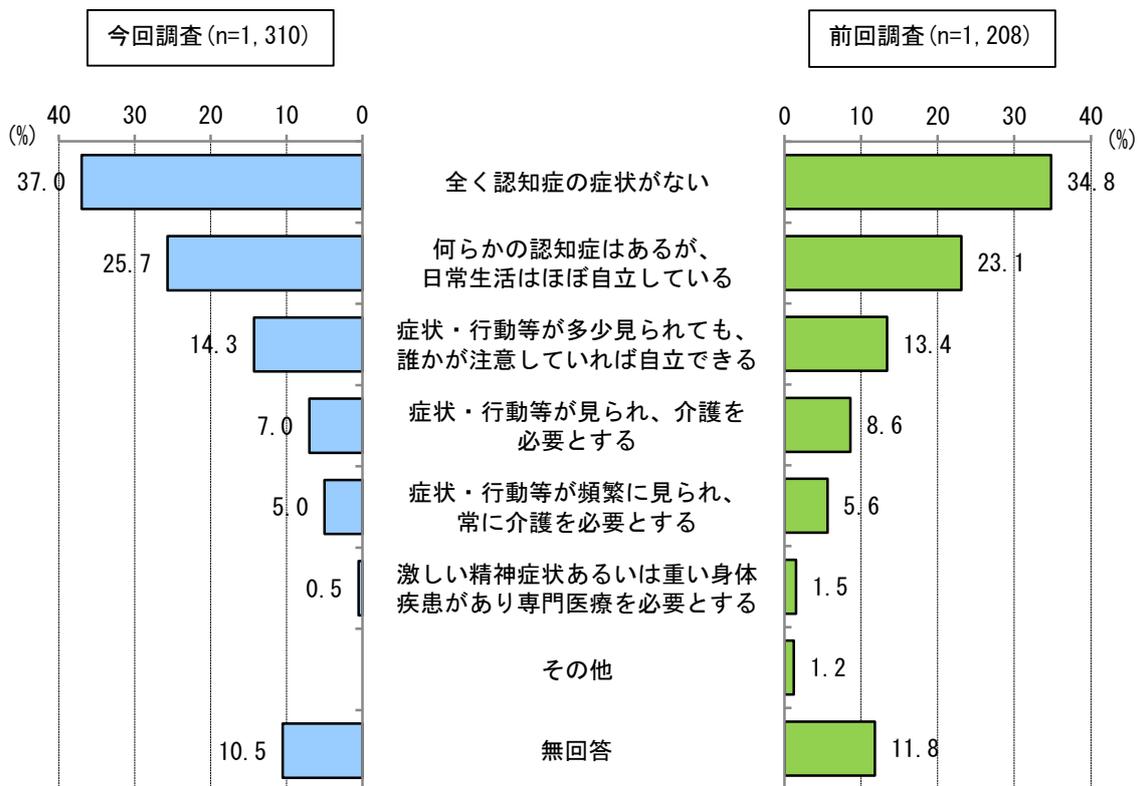
### 問43[40] 本人の認知症の程度

ご本人の認知症の程度について、もっとも近いものに○をつけてください。(○はひとつ)

サービス利用者本人の認知症の程度については、「全く認知症の症状がない」が37.0%で最も多く、次いで「何らかの認知症はあるが、日常生活はほぼ自立している」が25.7%、「症状・行動等が多少見られても、誰かが注意していれば自立できる」が14.3%となっている。前回調査と比較すると、上記3項目が多い傾向は変わらない。(A図43[40])

<A. サービス利用者>

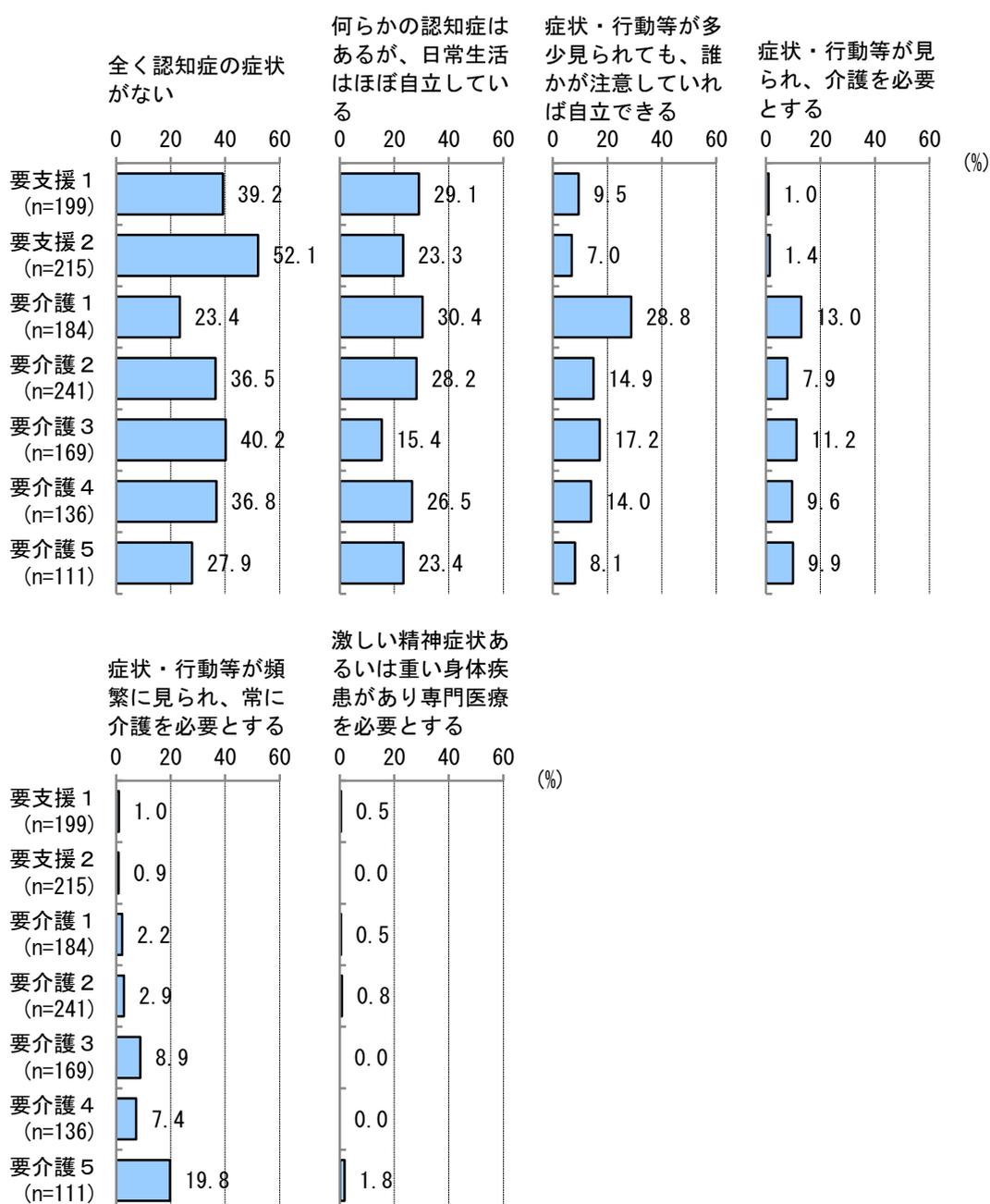
【A図43[40] 本人の認知症の程度（経年比較）】



※前回調査の「その他」は、今回調査では設けていない。

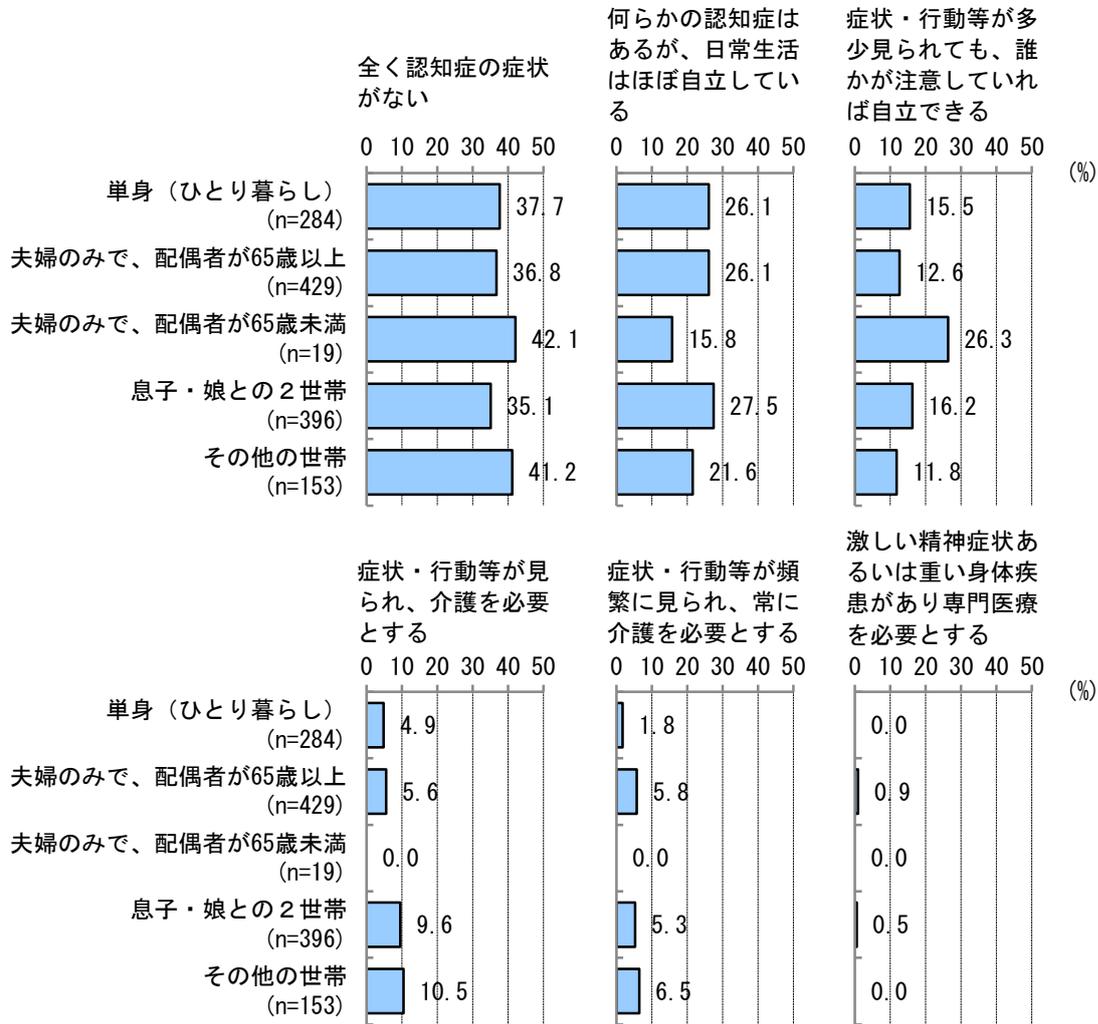
本人の要介護度別で見ると、要支援1・2と要介護2～5は「全く認知症を有しない」が最も多くなっている。要介護1では「何らかの認知症はあるが、日常生活はほぼ自立している」が最も多くなっており、「症状・行動等が多少見られても、誰かが注意していれば自立できる」や「症状・行動等が多少見られても、誰かが注意していれば自立できる」、「症状・行動等が見られ、介護を必要とする」も他の要介護度より高くなっている。(A図43[40]-a)

【A図43[40]-a 本人の認知症の程度（本人の要介護度別）】



世帯状況別でみると、世帯の状況にかかわらず「全く認知症の症状がない」が最も多くなっている。(A図43[40]-b)

【A図43[40]-b 本人の認知症の程度（世帯状況別）】

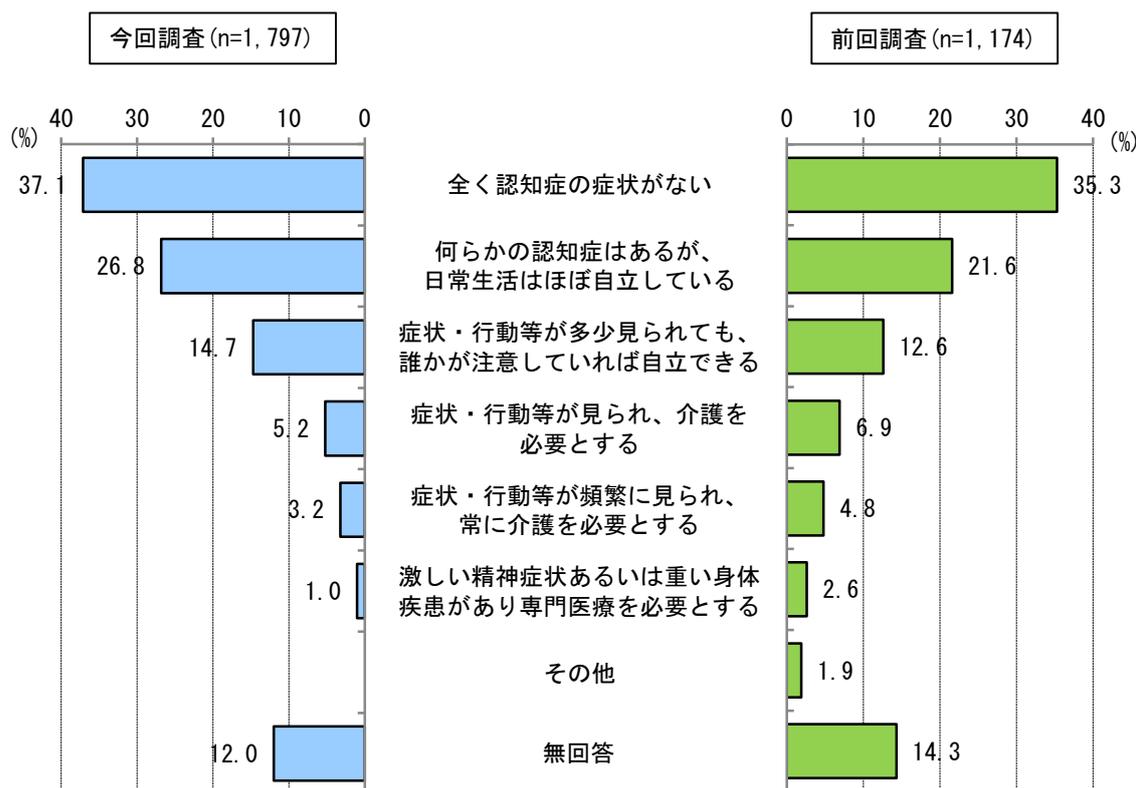


サービス未利用者本人の認知症の程度については、「全く認知症の症状がない」が37.1%で最も多く、次いで「何らかの認知症はあるが、日常生活はほぼ自立している」が26.8%、「症状・行動等が多少見られても、誰かが注意していれば自立できる」が14.7%となっている。

前回調査と比較すると、概ね前回と同様の傾向となっている。(B図43[40])

< B. サービス未利用者 >

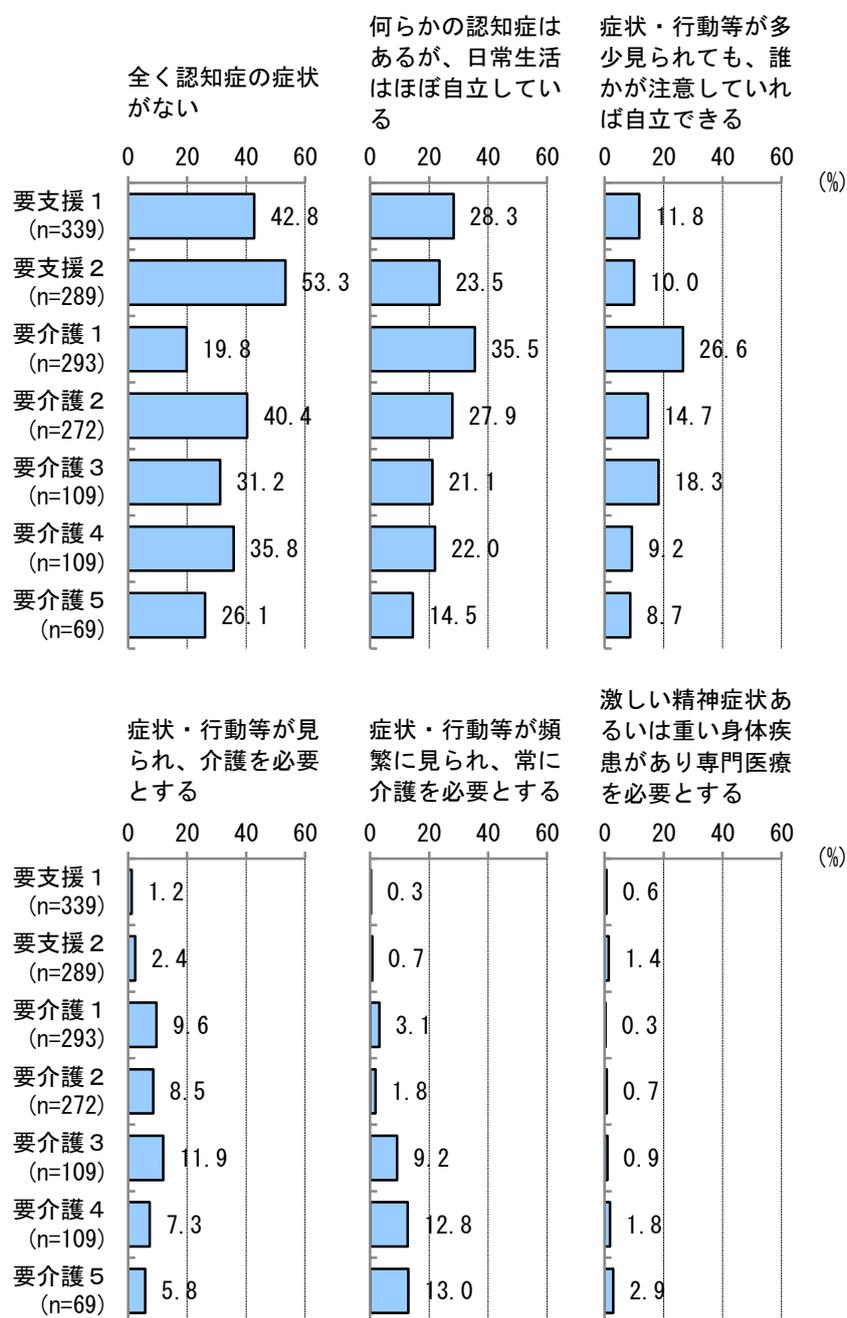
【B図43[40] 本人の認知症の程度（経年比較）】



※前回調査の「その他」は、今回調査では設けていない。

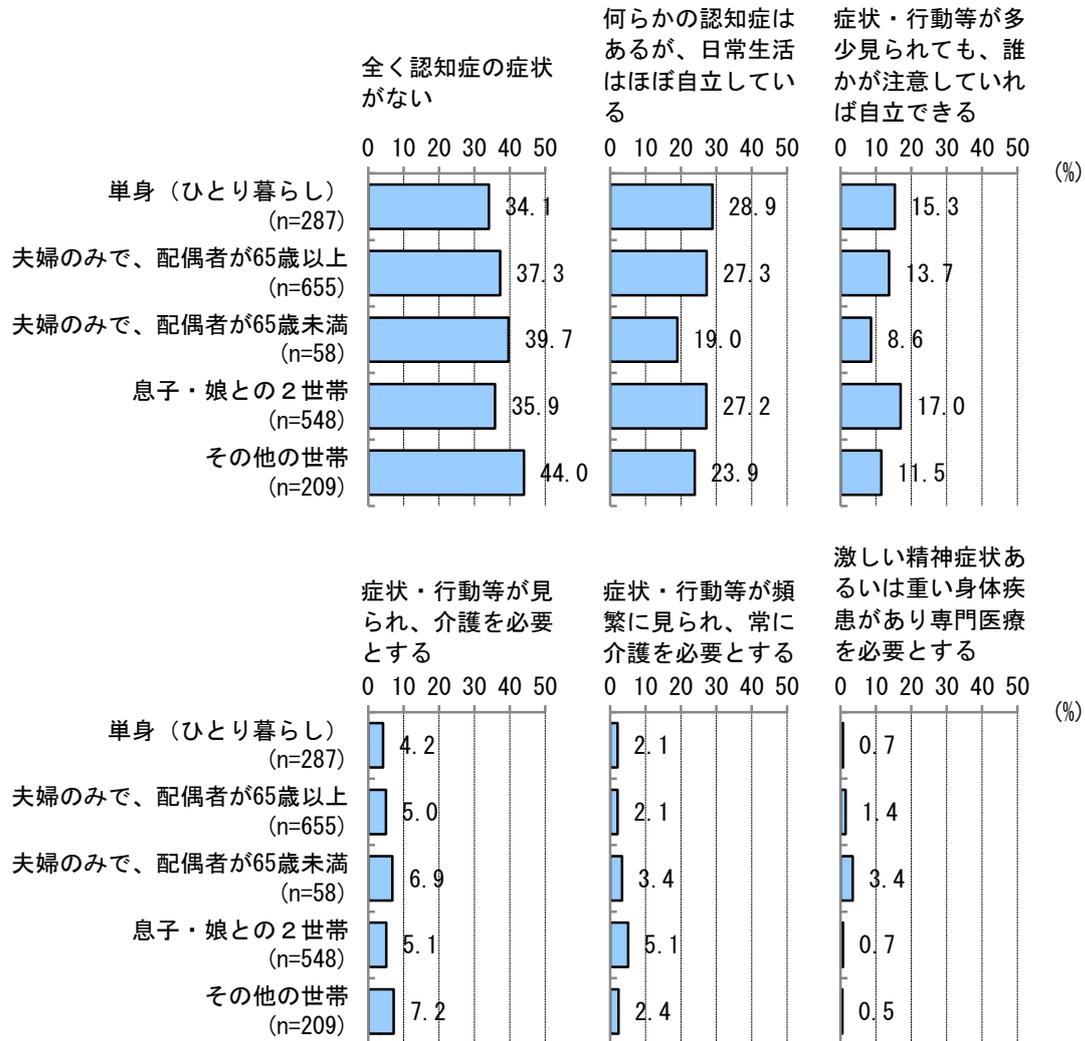
本人の要介護度別でみると、要支援1・2と要介護2～5は「全く認知症を有しない」が最も多くなっている。要介護1では「何らかの認知症はあるが、日常生活はほぼ自立している」が最も多くなっている。(B図43[40]-a)

【B図43[40]-a 本人の認知症の程度（本人の要介護度別）】



世帯状況別でみると、いずれの世帯も「全く認知症を有しない」が最も多くなっている。  
(B図43[40]-b)

【B図43[40]-b 本人の認知症の程度（世帯状況別）】



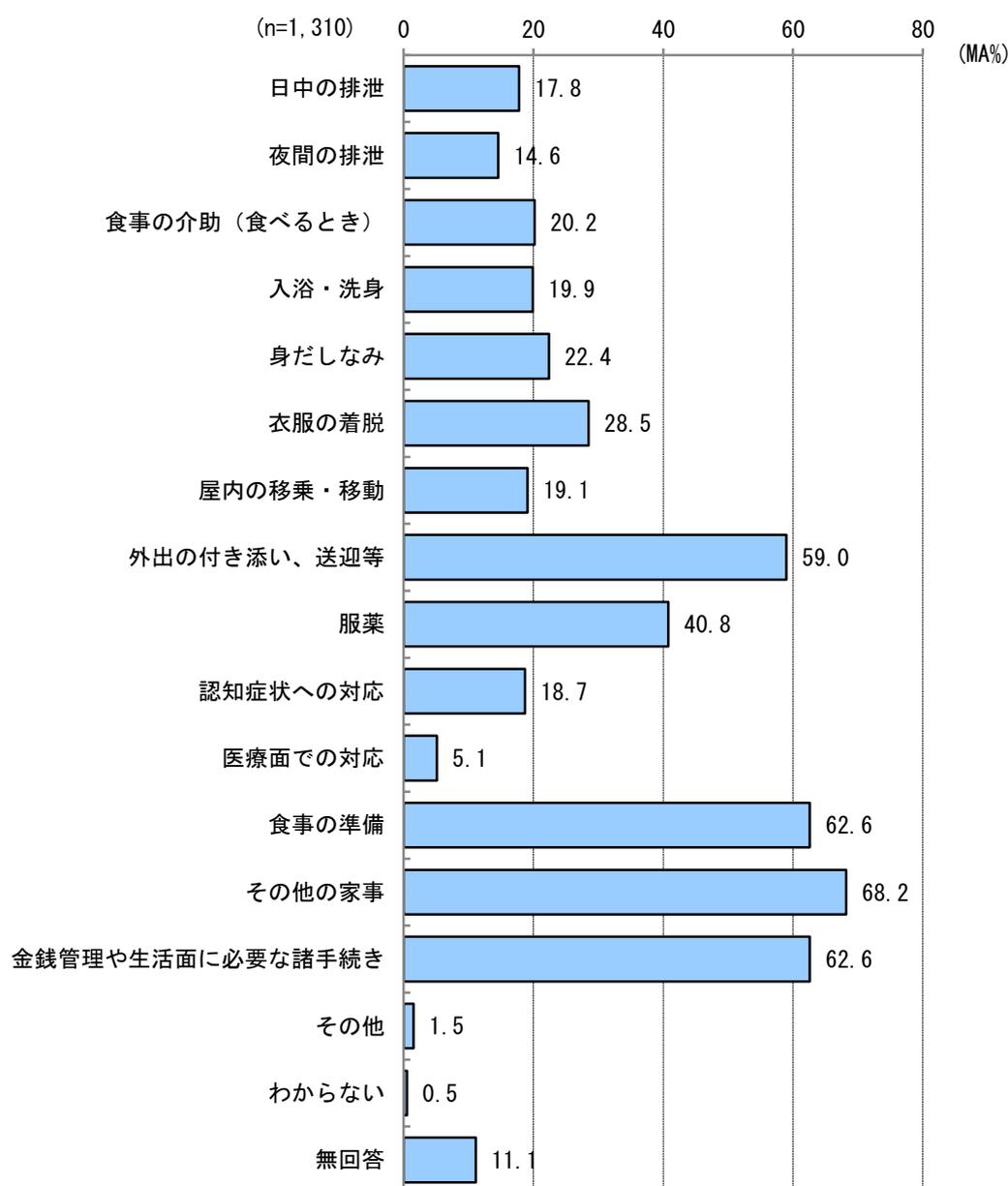
### 問44[41] 本人に行っている介護内容

あなたは、ご本人に対し、どのような介護を行っていますか。(〇はいくつでも)

サービス利用者本人に介護者が行っている介護内容については、「その他の家事」が68.2%で最も多く、次いで「食事の準備」と「金銭管理や生活面に必要な諸手続き」がそれぞれ62.6%、「外出の付き添い、送迎等」が59.0%となっている。(A図44[41])

#### <A. サービス利用者>

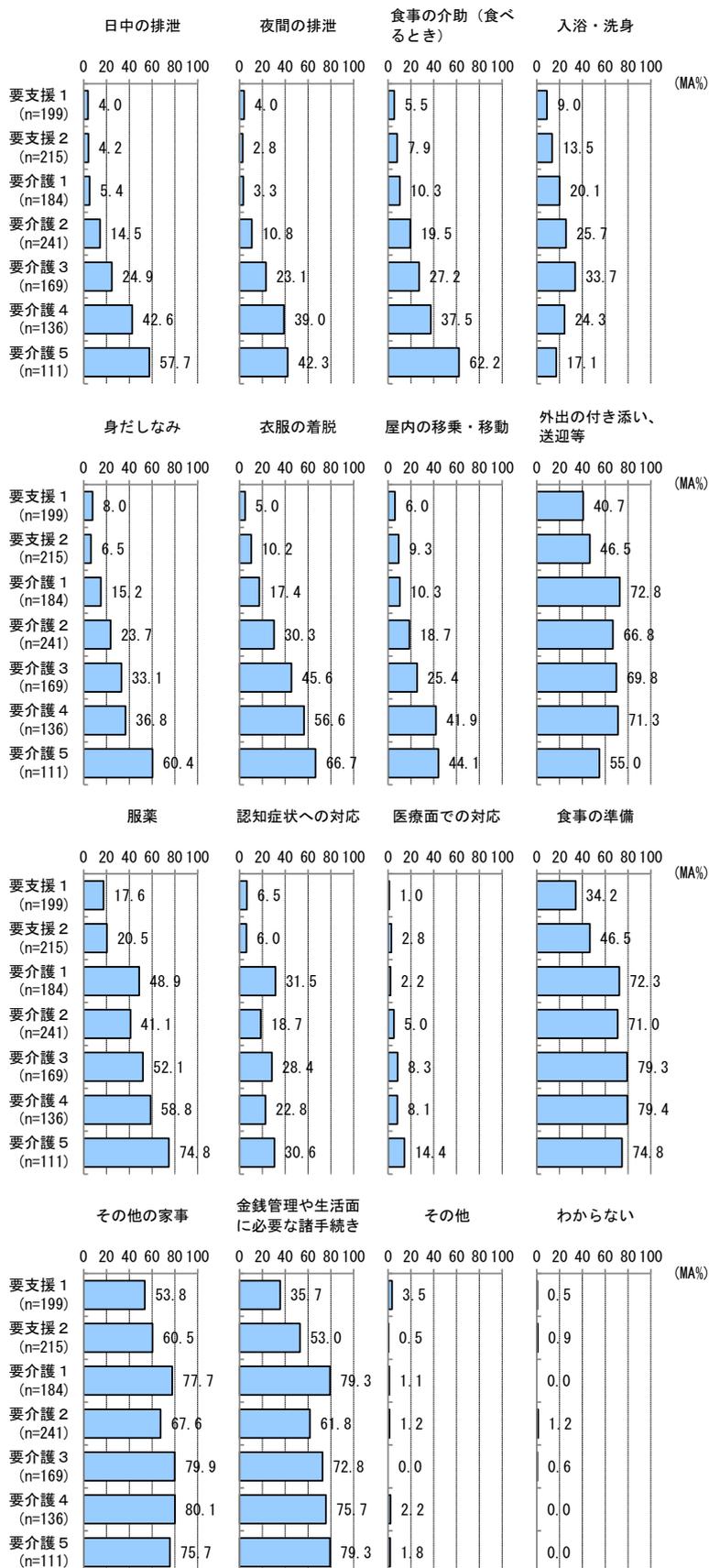
【A図44[41] 本人に行っている介護内容】



【介護者調査 編】

本人の要介護度別で見ると、「日中の排泄」「夜間の排泄」「食事の介助（食べる時）」「身だしなみ」「衣服の着脱」「屋内の移乗・移動」「服薬」「医療面での対応」の割合は重度になるほど高くなっている。（A図44[41]-a）

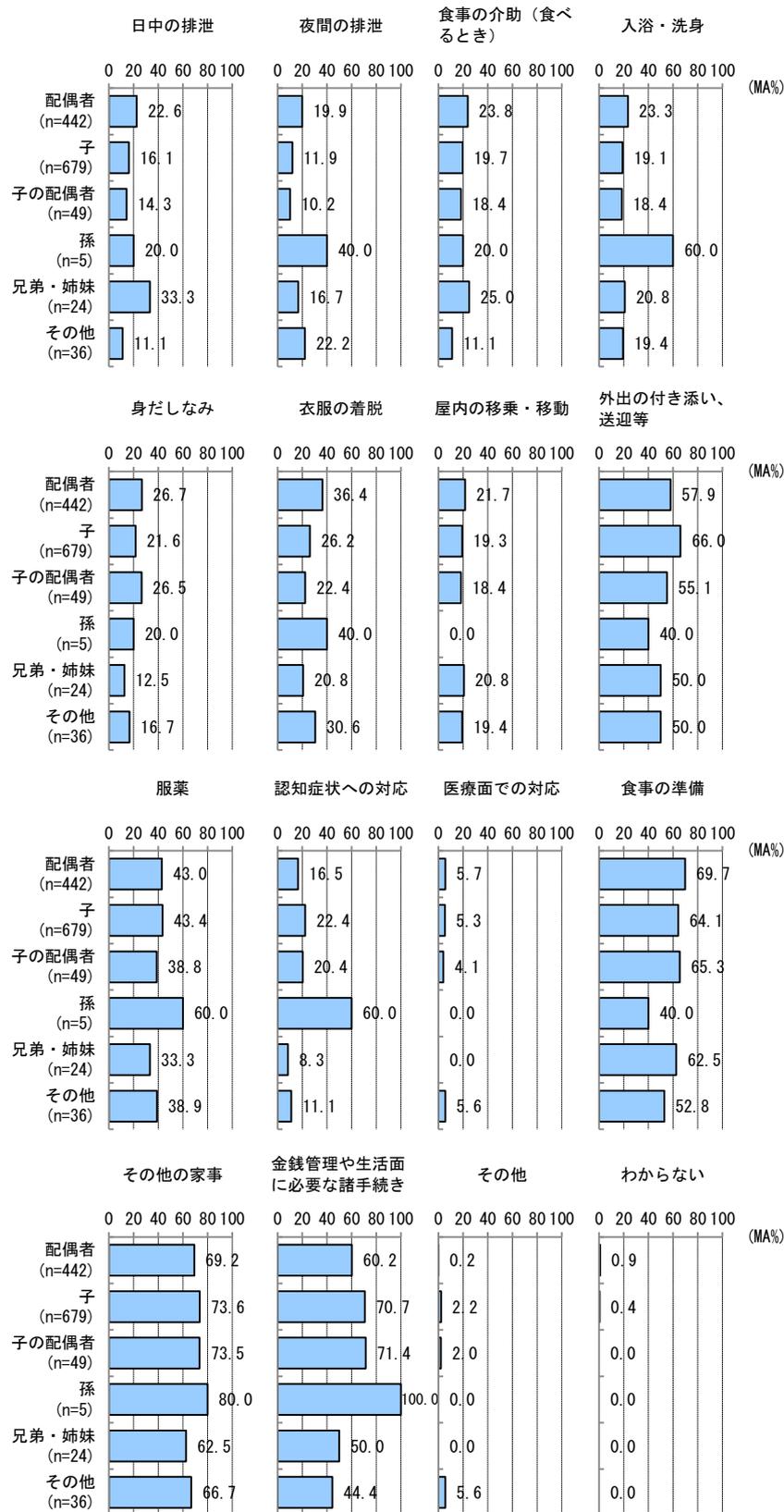
【A図44[41]-a 本人に行っている介護内容（本人の要介護度別）】



【介護者調査 編】

本人との関係別でみると、配偶者、兄弟・姉妹の介護者では「食事の準備」が最も多く、子、子の配偶者の介護者では「その他の家事」が最も多くなっている。(A図44[41]-b)

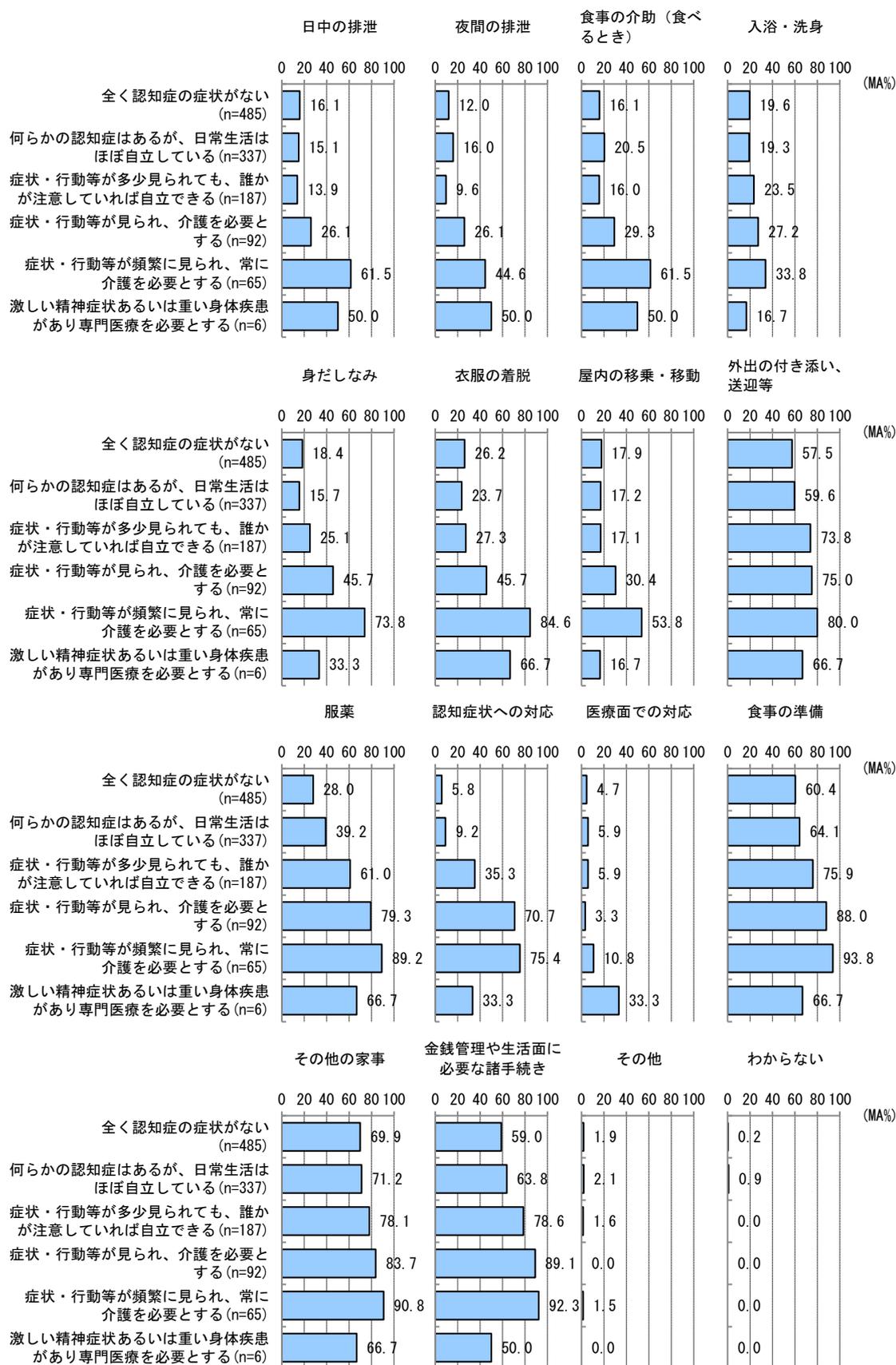
【A図44[41]-b 本人に行っている介護内容（本人との関係別）】



【介護者調査 編】

本人の認知症の程度別でみると、いずれの介護内容の割合も、認知症の重度化に伴って割合が高くなる傾向にある。(A図44[41]-c)

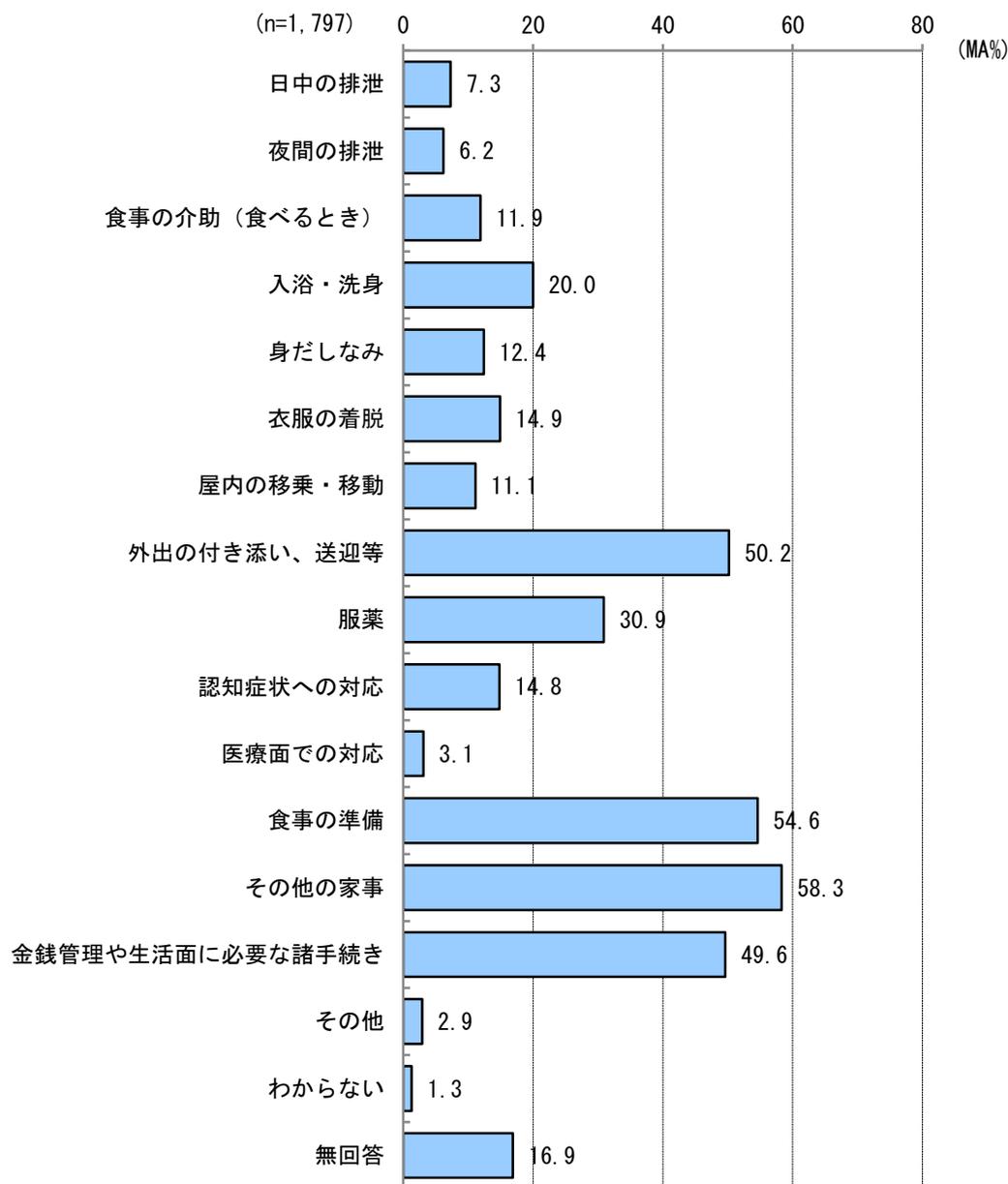
【A図44[41]-c 本人に行っている介護内容（本人の認知症の程度別）】



サービス未利用者本人に介護者が行っている介護内容については、「その他の家事」が58.3%で最も多く、次いで「食事の準備」が54.6%、「外出の付き添い、送迎等」が50.2%、「金銭管理や生活面に必要な諸手続き」が49.6%となっている。(B図44[41])

<B. サービス未利用者>

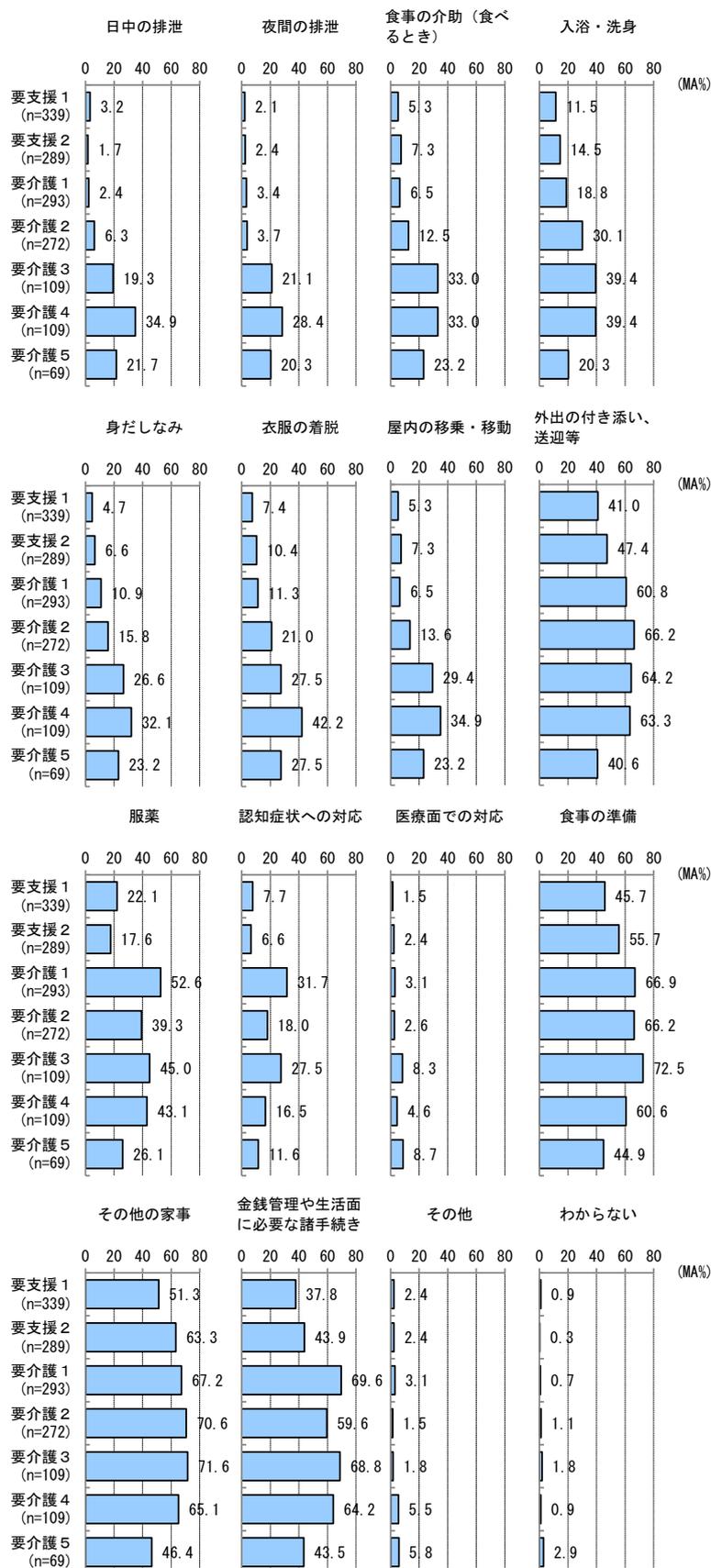
【B図44[41] 本人に行っている介護内容】



【介護者調査 編】

本人の要介護度別で見ると、要介護1では「金銭管理や生活面に必要な諸手続き」、要介護3では「食事の準備」が最も多いが、それ以外の要介護度では「その他の家事」が最も多くなっている。(B図44[41]-a)

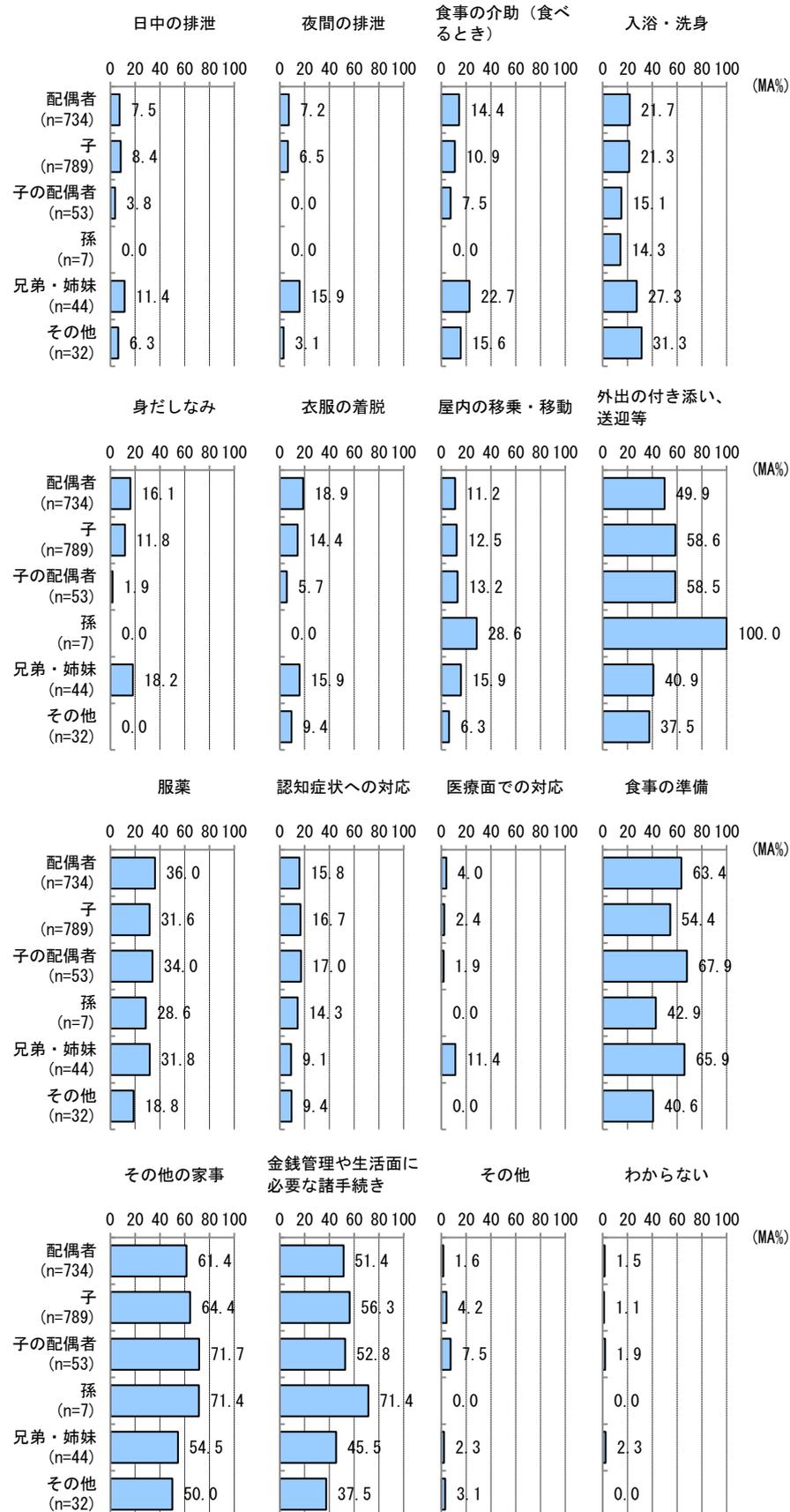
【B図44[41]-a 本人に行っている介護内容（本人の要介護度別）】



【介護者調査 編】

本人との関係別でみると、配偶者、兄弟・姉妹の介護者では「食事の準備」が最も多く、子、子の配偶者、その他の介護者では「その他の家事」が最も多くなっている。(B図44[41]-b)

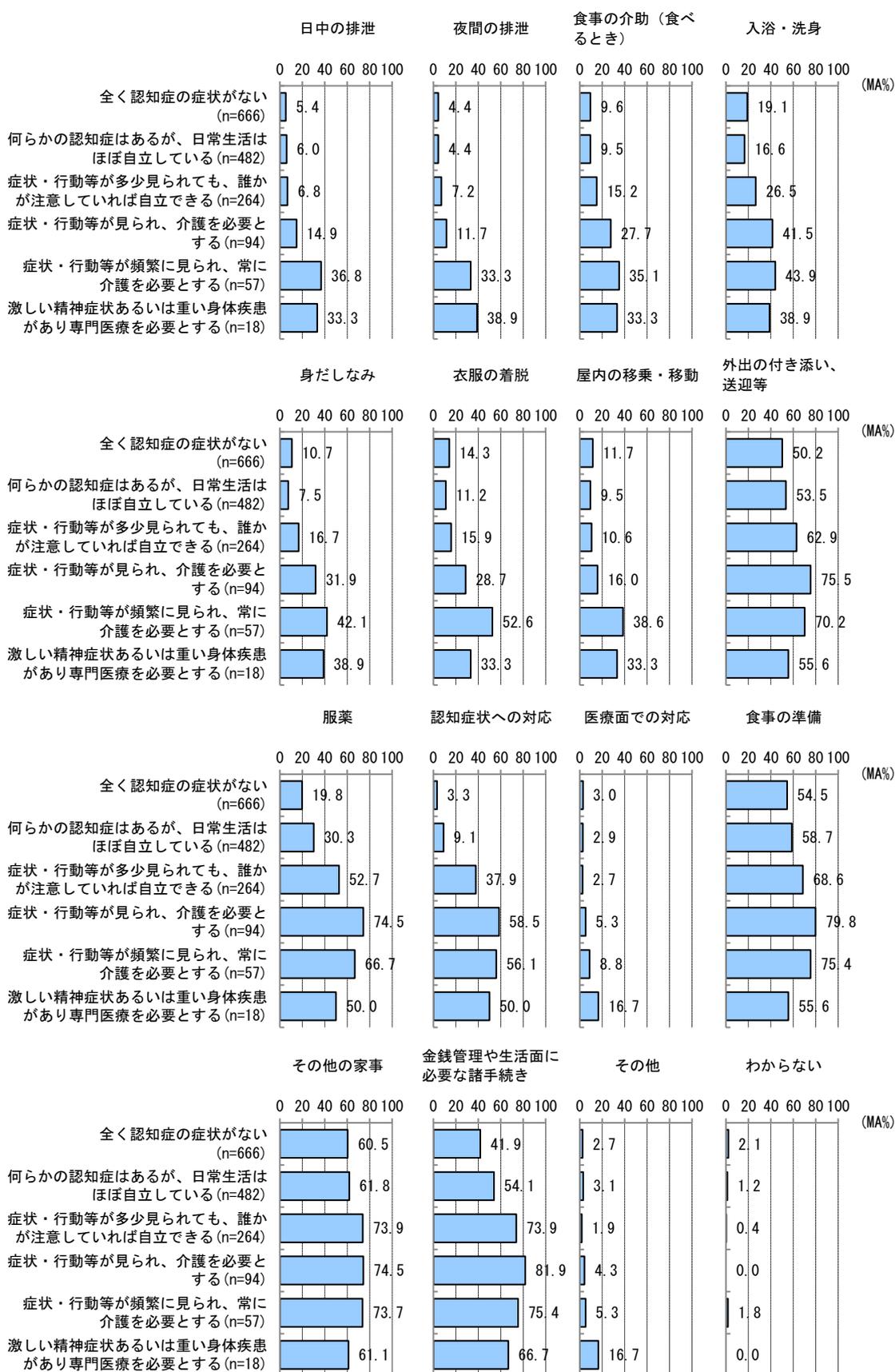
【B図44[41]-b 本人に行っている介護内容（本人との関係別）】



【介護者調査 編】

本人の認知症の程度別でみると、いずれの介護内容の割合も、認知症の重度化に伴って割合が高くなる傾向にある。(B図44[41]-c)

【B図44[41]-c 本人に行っている介護内容（本人の認知症の程度別）】



### 問45[42] 自宅での介護で毎月もっとも必要とするもの

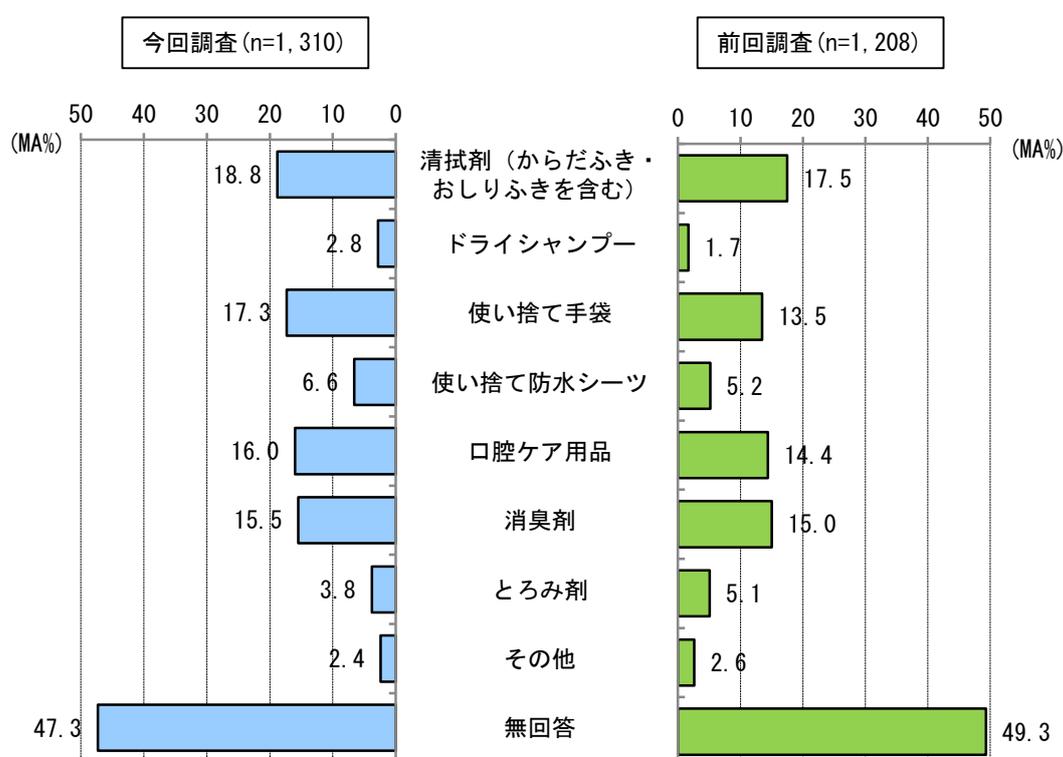
あなたは、ご本人に対し、どのような介護を行っていますか。(〇はいくつでも)

サービス利用者本人に対し、在宅介護で毎月最も必要とするものについては、「清拭剤（からだふき・おしりふきを含む）」が18.8%で最も多く、次いで「使い捨て手袋」が17.3%、「口腔ケア用品」が16.0%となっている。

前回調査と比較すると、概ね前回と同様の傾向となっている。(A図45[42])

#### <A. サービス利用者>

【A図45[42] 自宅での介護で毎月もっとも必要とするもの（経年比較）】



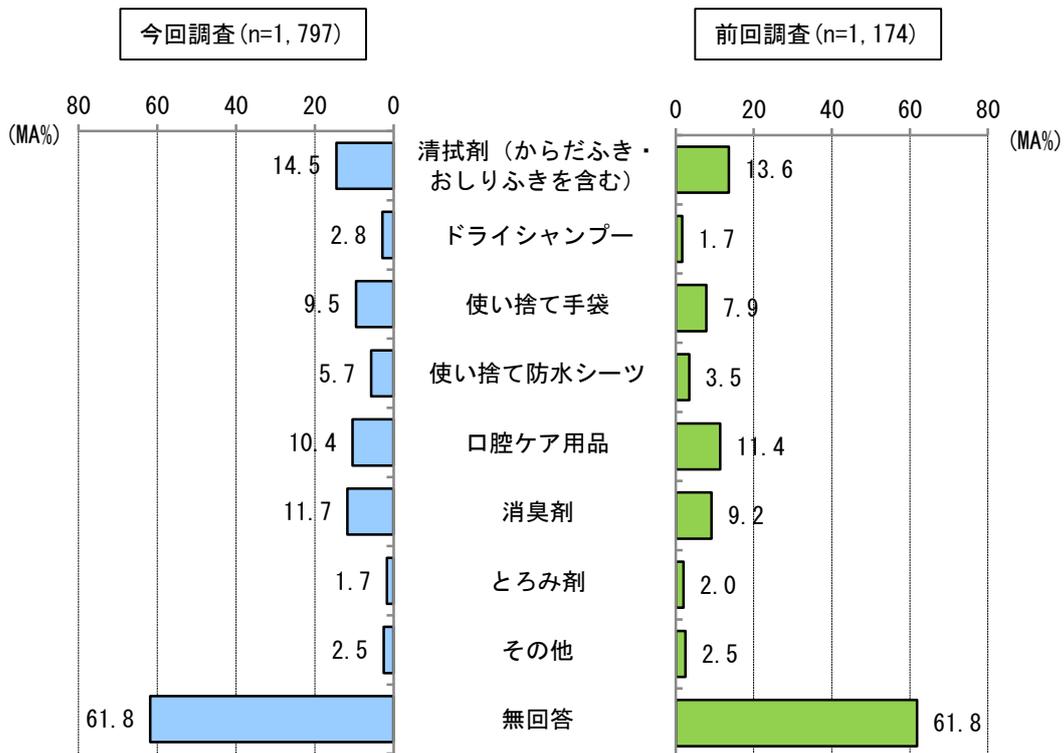
【介護者調査 編】

サービス未利用者本人に対し、在宅介護で毎月最も必要とするものについては、「清拭剤(からだふき・おしりふきを含む)」が14.5%で最も多く、次いで「消臭剤」が11.7%、「口腔ケア用品」が10.4%となっている。

前回調査と比較すると、概ね前回と同様の傾向となっている。(B図45[42])

<B. サービス未利用者>

【B図45[42] 自宅での介護で毎月もっとも必要とするもの（経年比較）】



(3) 介護上の問題

問46[43] 自宅での介護で困っていること

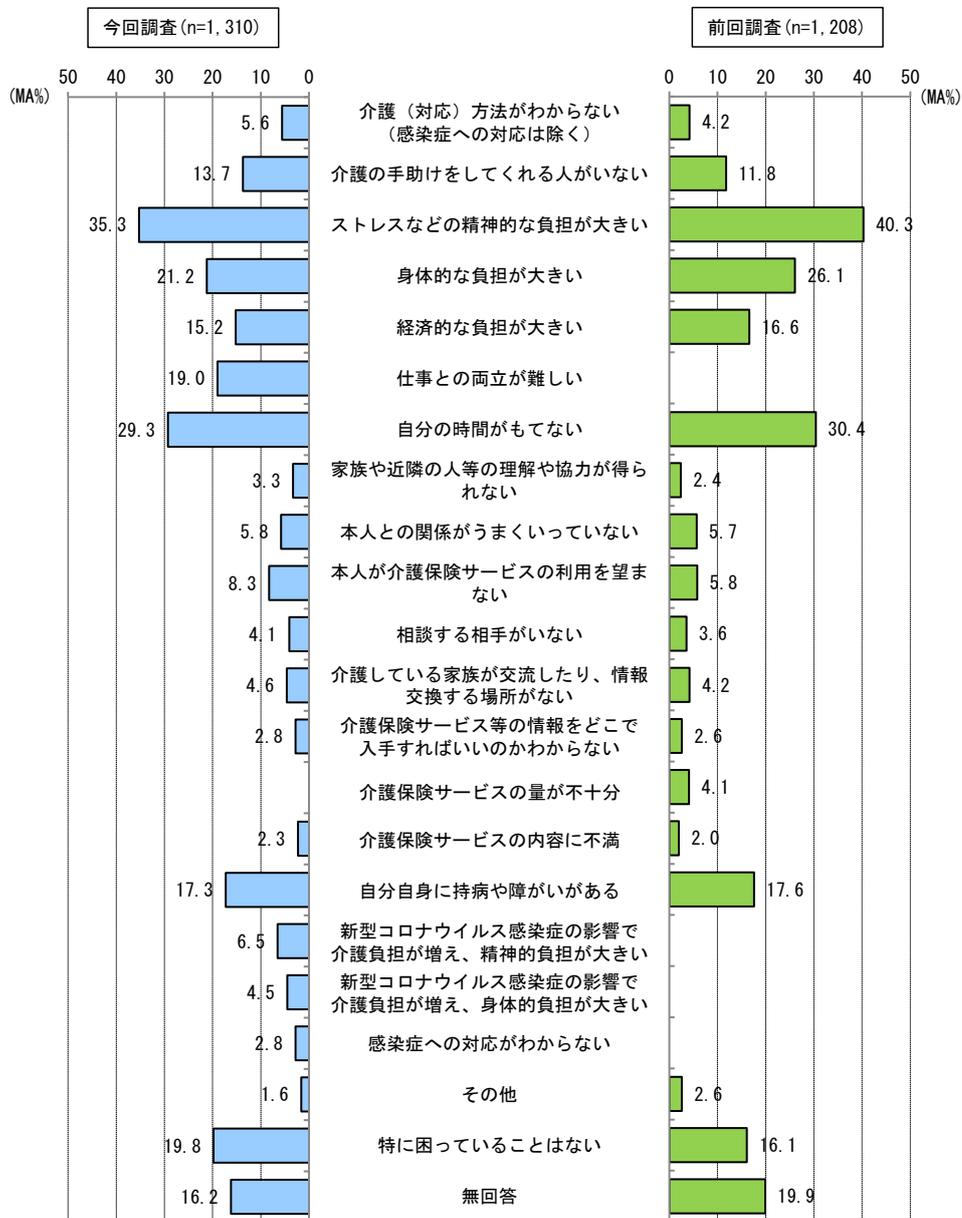
あなたが、自宅での介護を行ううえで困っていることはどのようなことですか。  
(〇はいくつでも)

自宅でのサービス利用者の介護で困っていることについては、「ストレスなどの精神的な負担が大きい」が35.3%で最も多く、次いで「自分の時間がもてない」が29.3%、「身体的な負担が大きい」が21.2%となっている。

前回調査と比較すると、概ね前回と同様の傾向となっている。(A図46[43])

< A. サービス利用者 >

【A図46[43] 自宅での介護で困っていること（経年比較）】

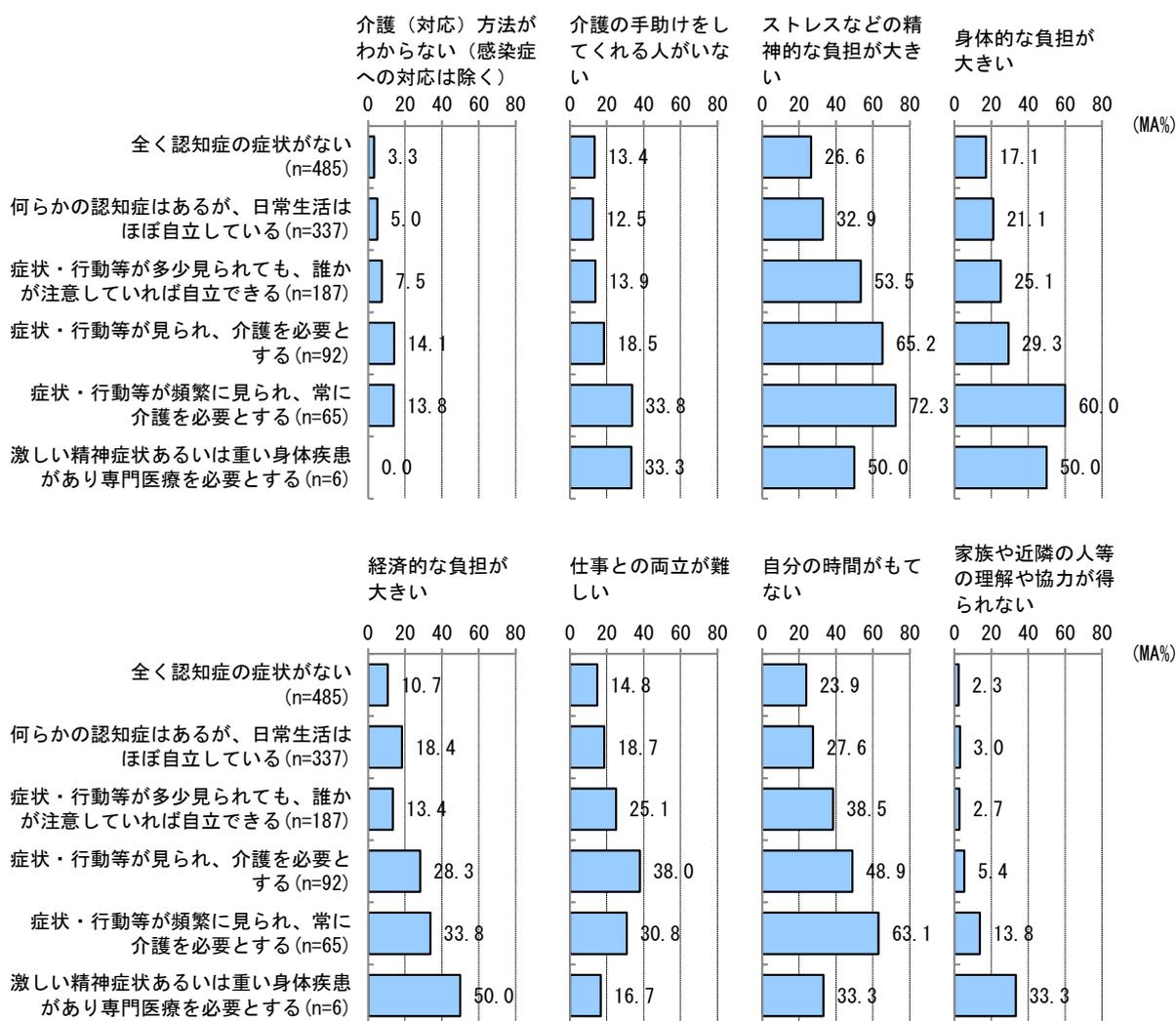


※前回調査の「介護保険サービスの量が不十分」は、今回調査では設けていない。

※「仕事との両立が難しい」「新型コロナウイルス感染症の影響で介護負担が増え、精神的負担が大きい」「新型コロナウイルス感染症の影響で介護負担が増え、身体的負担が大きい」「感染症への対応がわからない」は、今回調査の新規項目である。

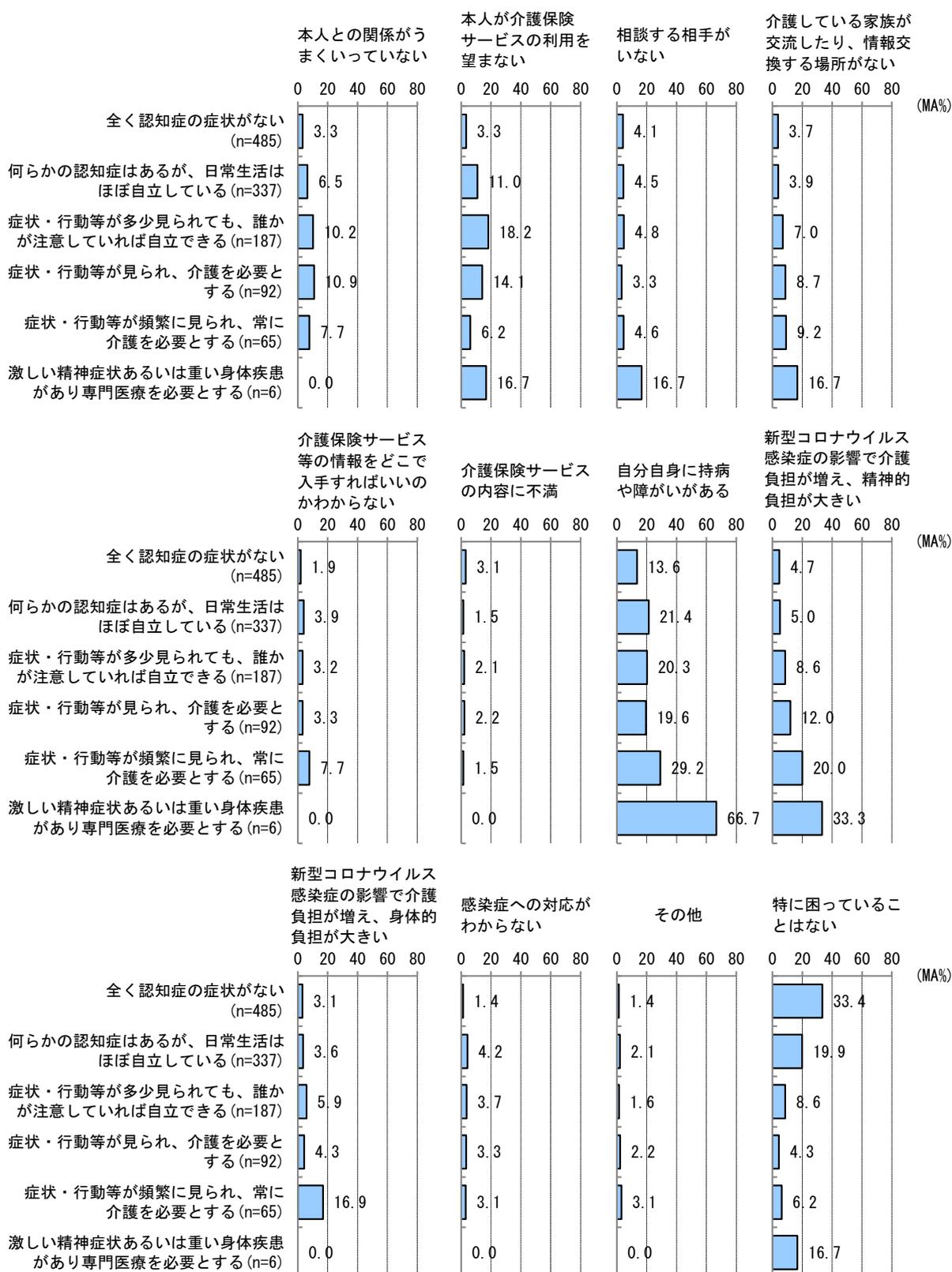
本人の認知症の程度別でみると、認知症を有しない人は「特に困っていることはない」が33.4%で最も多くなっている。一方、認知症の症状が少しでも見られる人は「ストレスなどの精神的な負担が大きい」が最も多く、これ以外にも「身体的な負担が大きい」や「経済的な負担が大きい」「自分の時間がもてない」「新型コロナウイルス感染症の影響で介護負担が増え、精神的負担が大きい」の割合は、認知症の重度化に伴って割合が高くなる傾向がみられる。(A図46[43]-a)

【A図46[43]-a 自宅での介護で困っていること（本人の認知症の程度別）①】



【介護者調査 編】

【A図46[43]-a 自宅での介護で困っていること（本人の認知症の程度別）②】



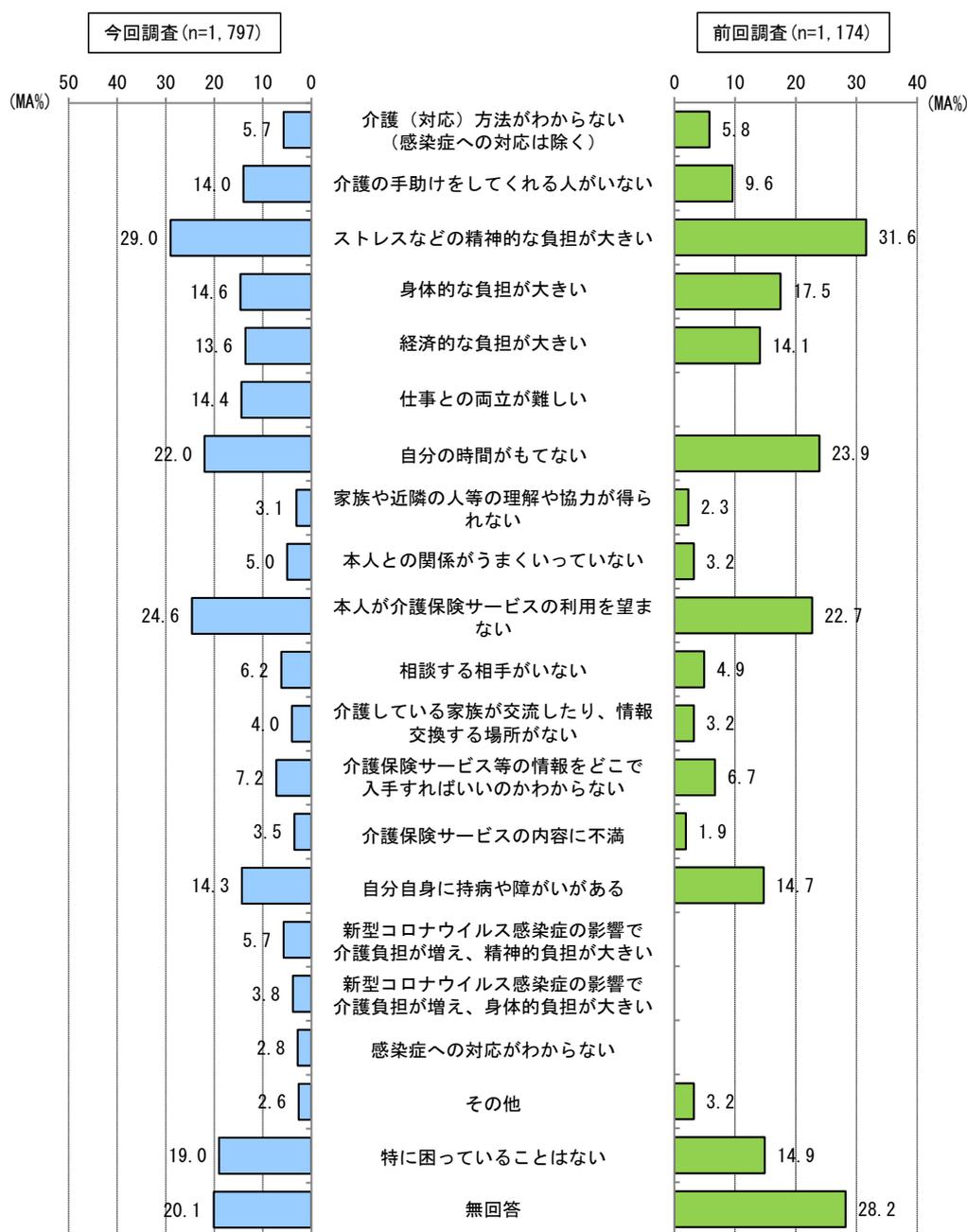
【介護者調査 編】

自宅でのサービス未利用者の介護で困っていることについては、「ストレスなどの精神的な負担が大きい」が29.0%で最も多く、次いで「本人が介護保険サービスの利用を望まない」が24.6%、「自分の時間がもてない」が22.0%となっている。

前回調査と比較すると、概ね前回と同様の傾向となっている。(B図46[43])

< B. サービス未利用者 >

【B図46[43] 自宅での介護で困っていること（経年比較）】

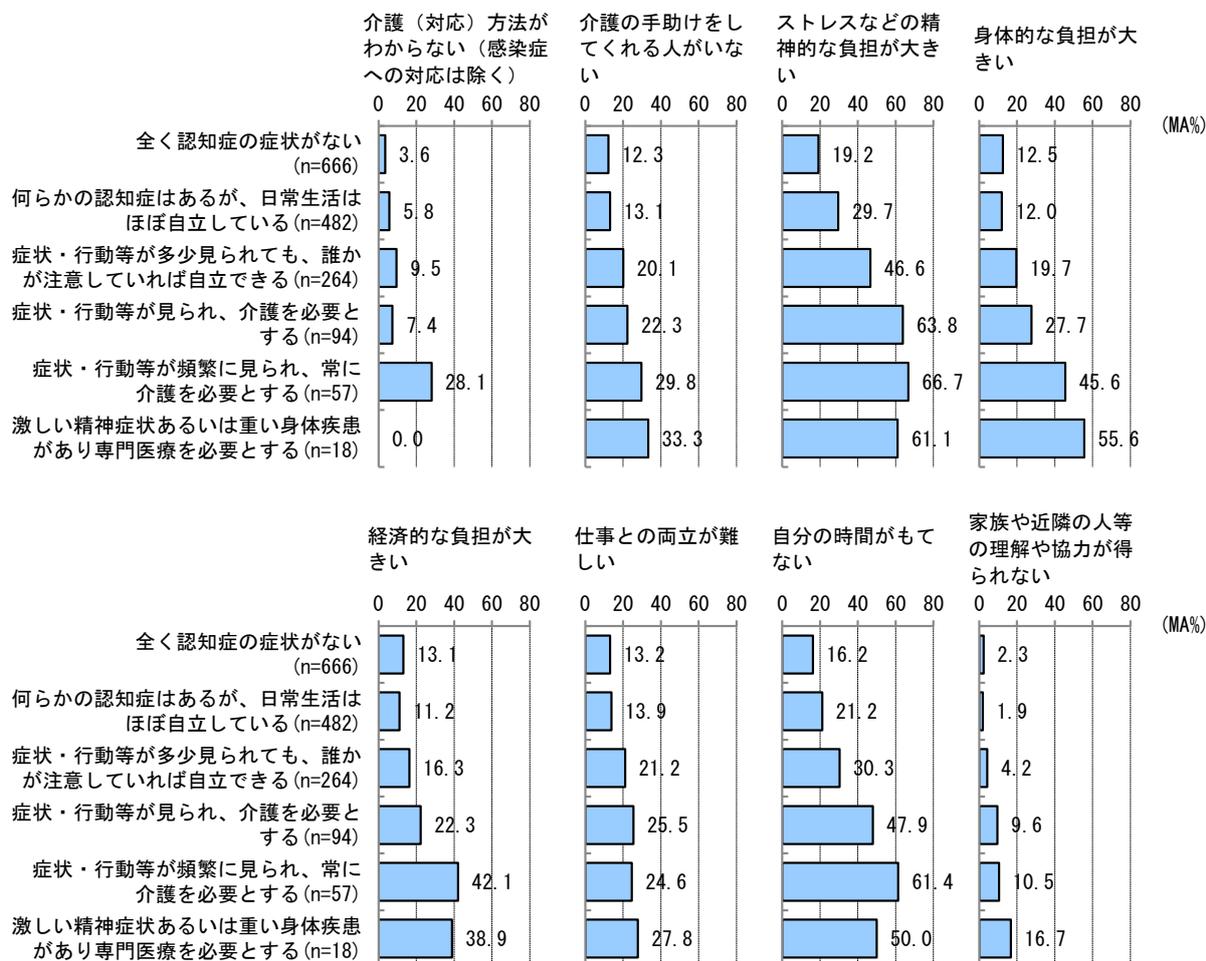


※前回調査の「介護保険サービスの量が不十分」は、今回調査では設けていない。

※「仕事との両立が難しい」「新型コロナウイルス感染症の影響で介護負担が増え、精神的負担が大きい」「新型コロナウイルス感染症の影響で介護負担が増え、身体的負担が大きい」「感染症への対応がわからない」は、今回調査の新規項目である。

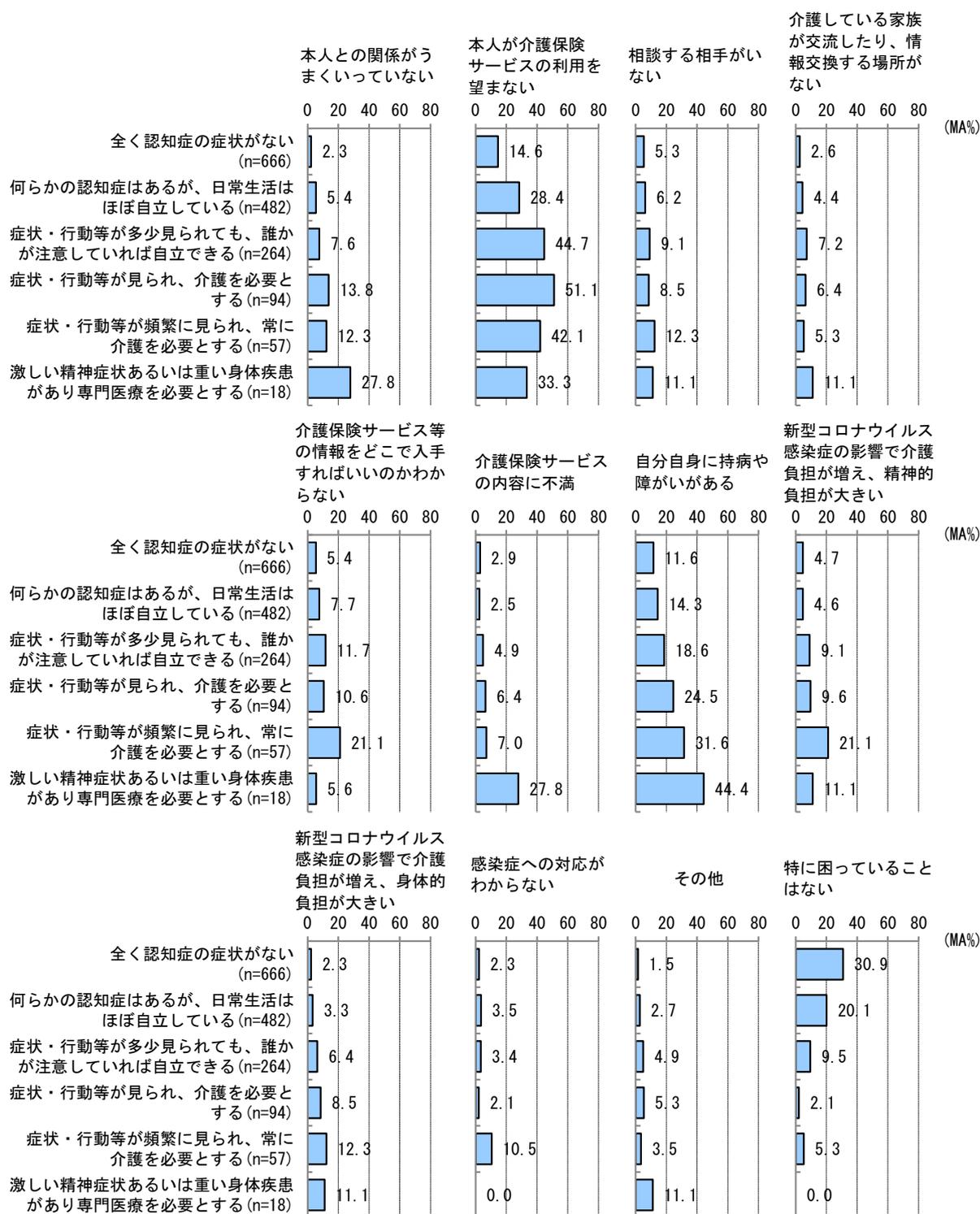
本人の認知症の程度別でみると、認知症を有しない人は「特に困っていることはない」が30.9%で最も多くなっている。一方、認知症の症状が少しでも見られる人は「ストレスなどの精神的な負担が大きい」が最も多く、いずれの項目においても認知症の重度化に伴って割合が高くなる傾向がみられる。(B図46[43]-a)

【B図46[43]-a 自宅での介護で困っていること（本人の認知症の程度別）①】



【介護者調査 編】

【B図46[43]-a 自宅での介護で困っていること（本人の認知症の程度別）②】



### 問47[44] 自宅での介護で本人に対して行ってしまったこと

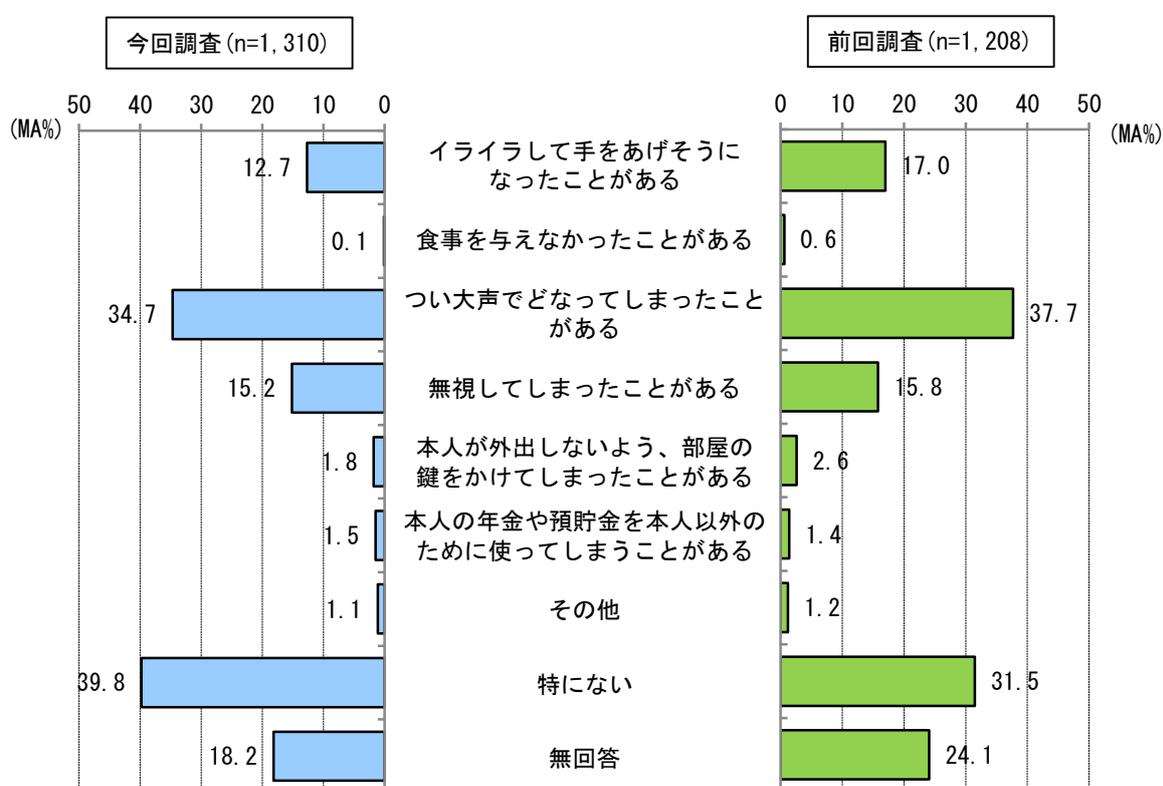
あなたが、自宅での介護を行ううえで、次のような状態になったことがありますか。  
(○はいくつでも)

自宅での介護でサービス利用者本人に対して行ってしまったことについては、「つい大声でどなってしまったことがある」が34.7%で最も多く、次いで「無視してしまったことがある」が15.2%、「イライラして手をあげそうになったことがある」が12.7%となっている。また、「特にない」は39.8%となっている。

前回調査と比較すると、概ね前回と同様の傾向となっている。(A図47[44])

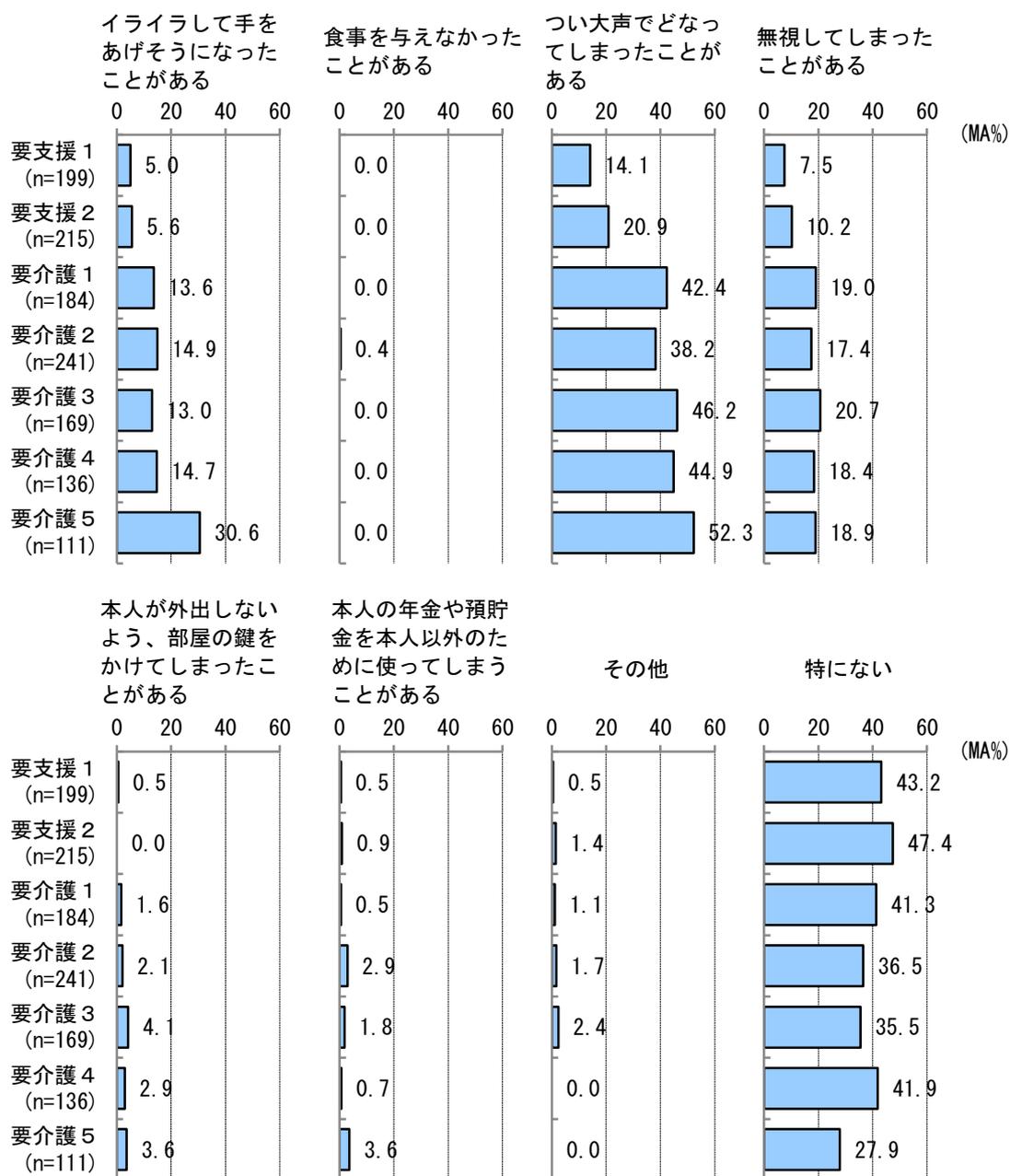
#### <A. サービス利用者>

【A図47[44] 自宅での介護で本人に対して行ってしまったこと（経年比較）】



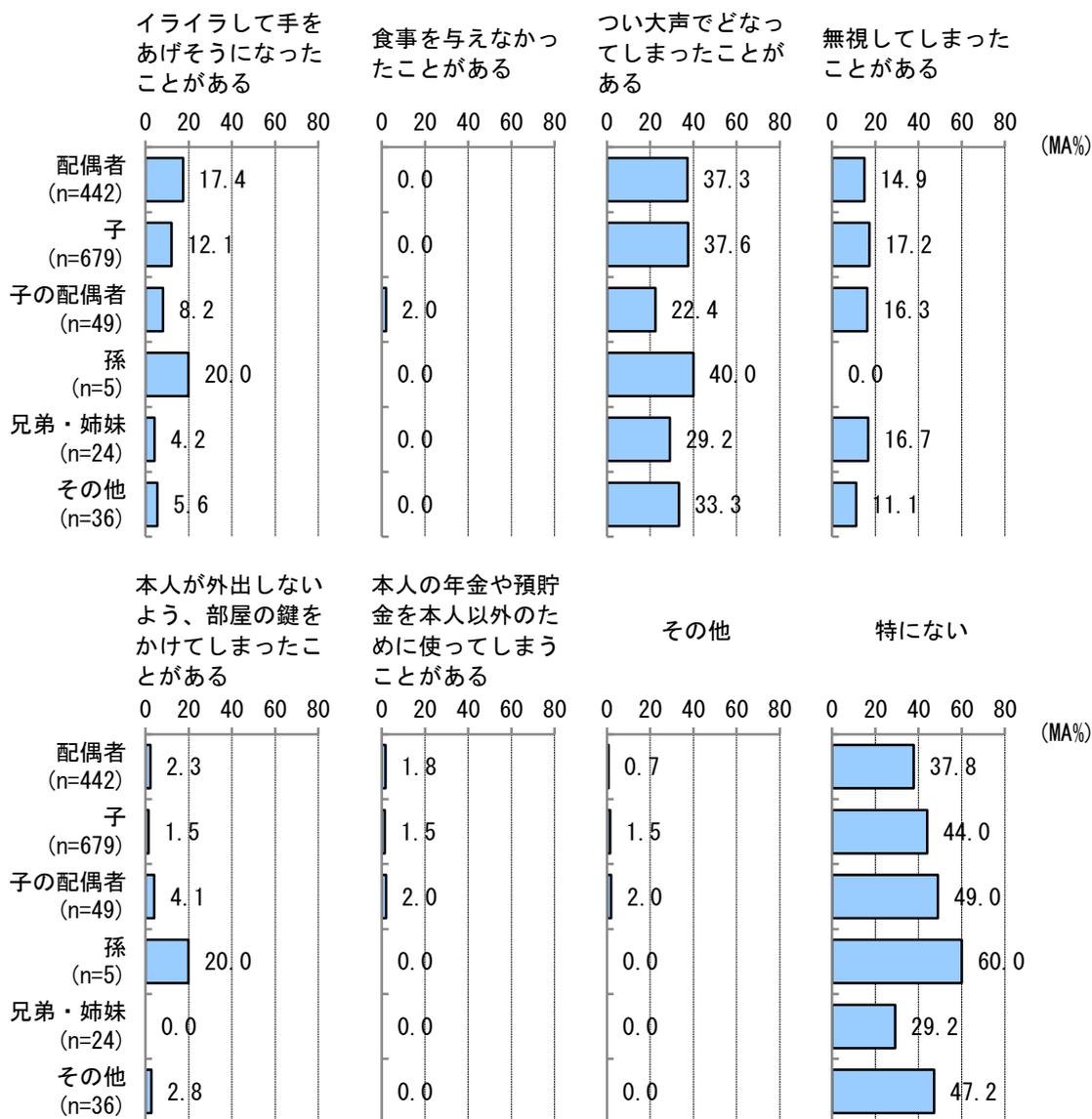
本人の要介護度別で見ると、要支援1・2は「特にない」が最も多いが、重度になるほど割合が低くなる傾向がみられる。要介護1～5では「つい大声でどなってしまったことがある」が3～5割台で最も多くなっている。(A図47[44]-a)

【A図47[44]-a 自宅での介護で本人に対して行ってしまったこと（本人の要介護度別）】



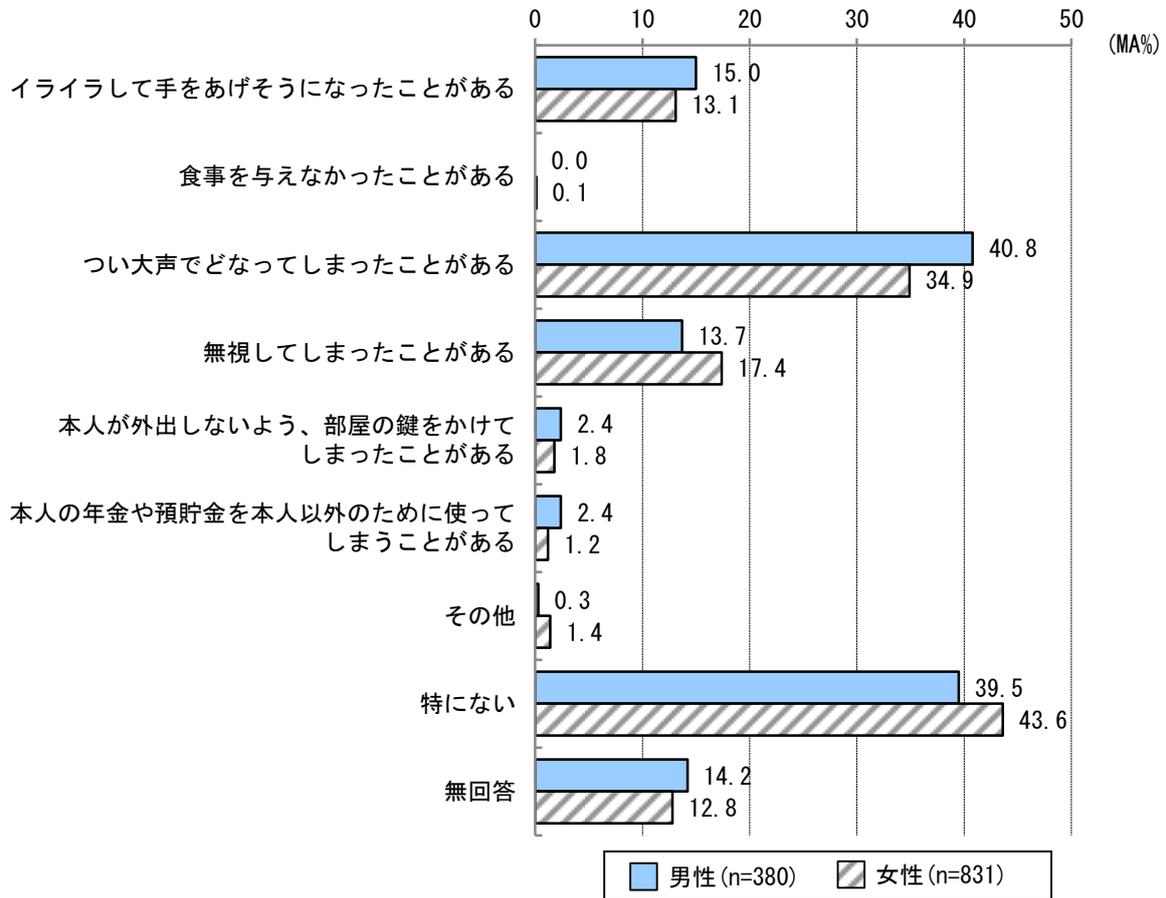
本人との関係別で見ると、関係性にかかわらず「特にない」が最も多いが、兄弟・姉妹は同率で「つい大声でどなってしまったことがある」が最も多くなっている。(A図47[44]-b)

【A図47[44]-b 自宅での介護で本人に対して行ってしまったこと（本人との関係別）】



介護者の性別でみると、男性は「つい大声でどなってしまったことがある」が40.8%で最も多く、女性より5.9ポイント高くなっている。女性は「特にない」が43.6%で最も多くなっている。(A図47[44]-c)

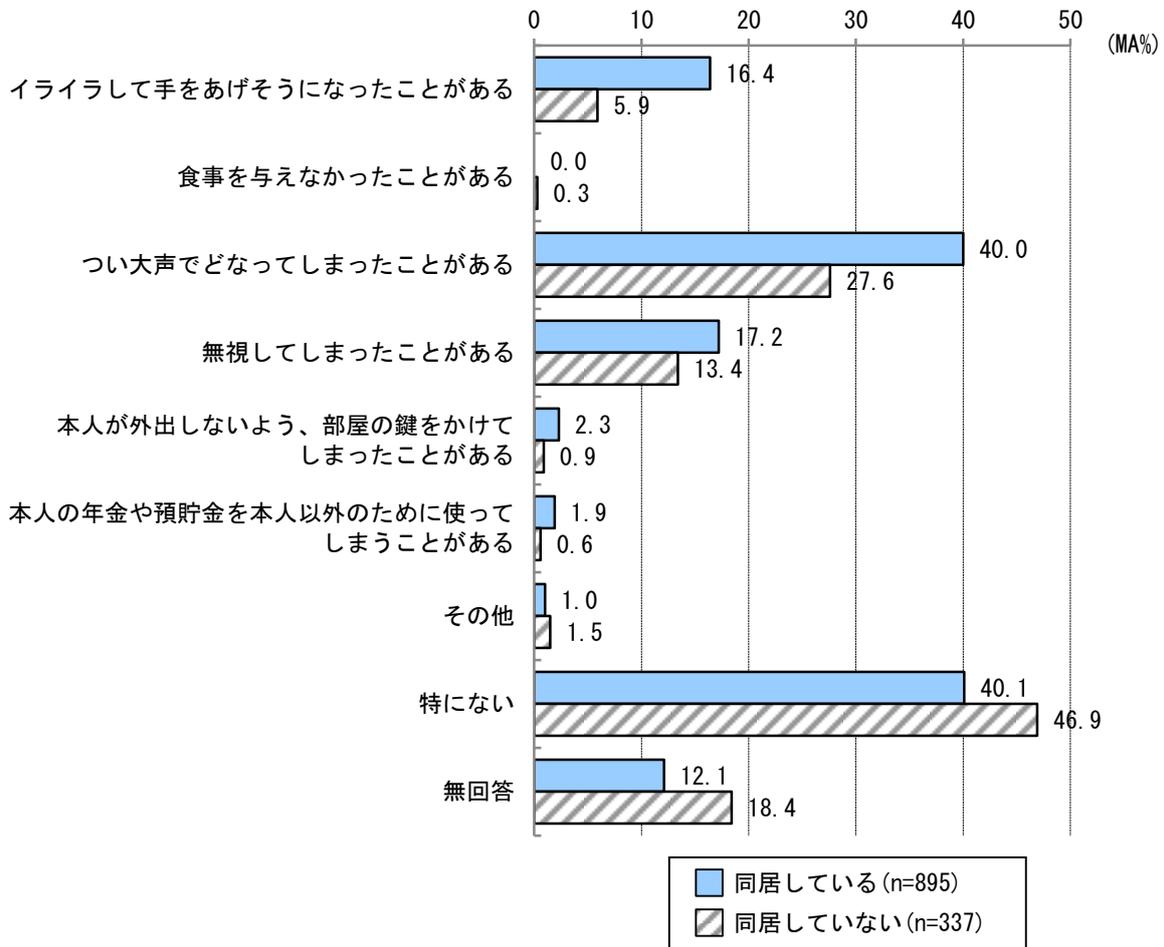
【A図47[44]-c 自宅での介護で本人に対して行ってしまったこと（介護者の性別）】



【介護者調査 編】

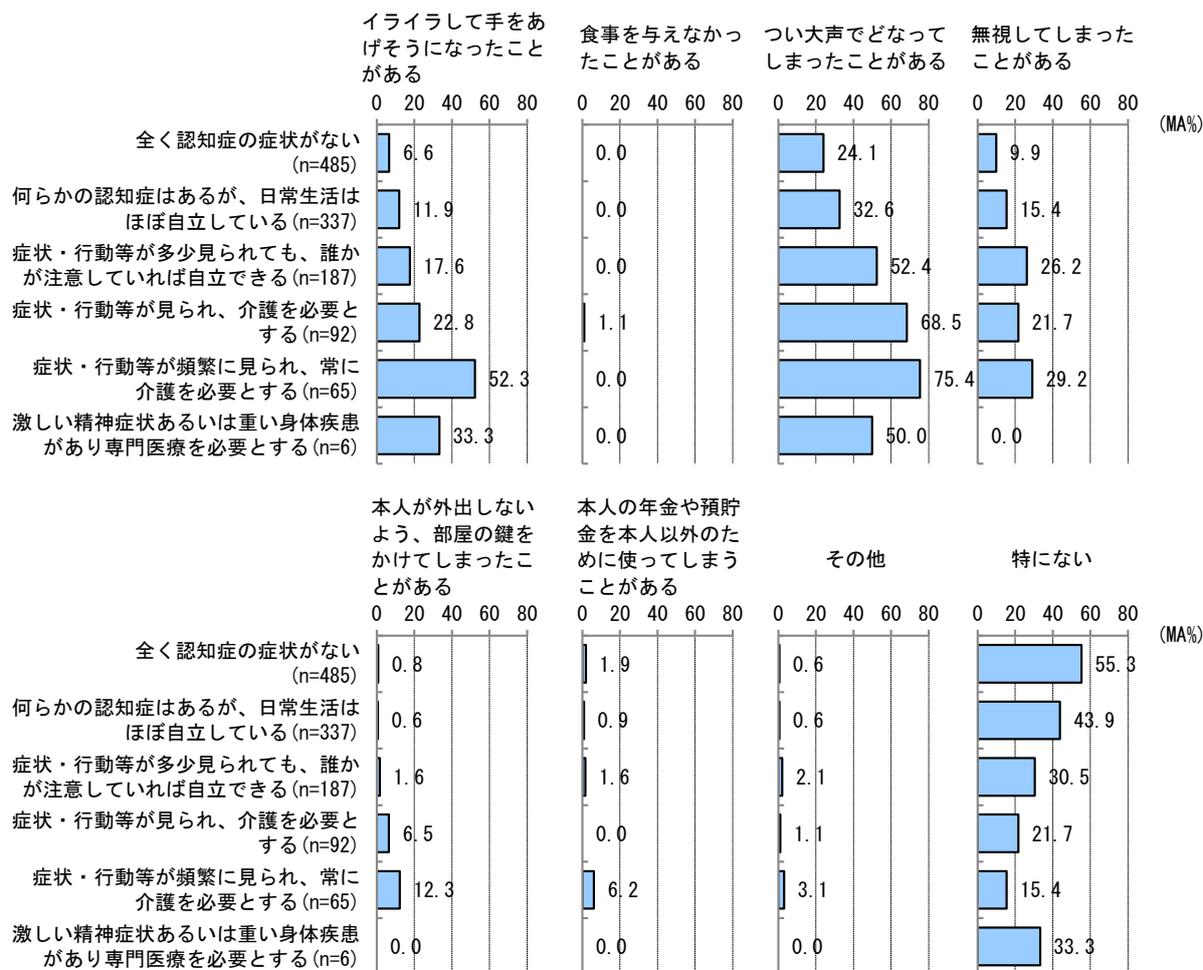
本人との同居の有無別で見ると、同居の有無にかかわらず「特にない」が最も多く、次いで「つい大声でどなってしまったことがある」が続いており、同居していない介護者より同居している介護者のほうが12.4ポイント高くなっている。虐待的行為の割合は、同居していない介護者に比べて高い割合になっている。(A図47[44]-d)

【A図47[44]-d 自宅での介護で本人に対して行ってしまったこと（本人との同居の有無別）】



本人の認知症の程度別でみると、認知症を有しない人や何らかの認知症はあるが、日常生活はほぼ自立している人では「特にない」が5割前後で最も多くなっている。一方、認知症の症状が見られる人に対しては「つい大声でどなってしまったことがある」が最も多くなっており、認知症の重度化に伴って虐待的行為の割合は高くなる傾向がみられる。(A図47[44]-e)

【A図47[44]-e 自宅での介護で本人に対して行ってしまったこと（本人の認知症の程度別）】



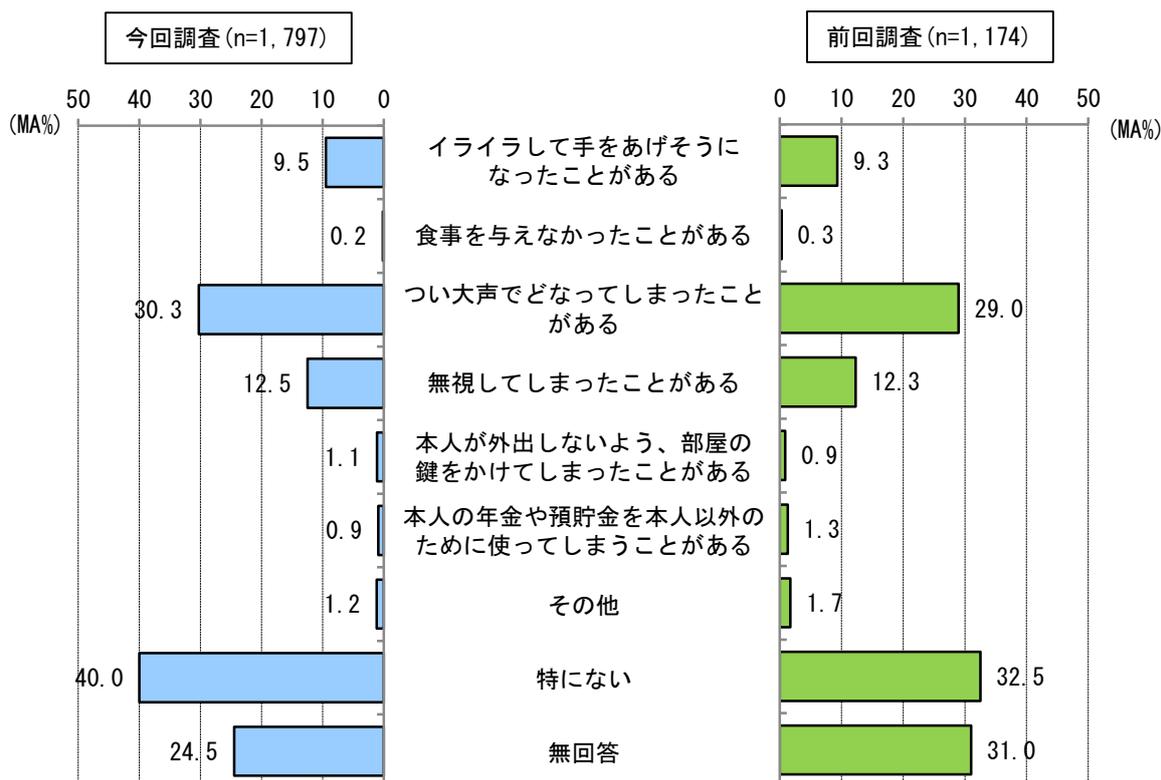
自宅での介護でサービス未利用者本人に対して行ってしまったことについては、「つい大声でどなってしまったことがある」が30.3%で最も多く、次いで「無視してしまっただことがある」が12.5%、「イライラして手をあげそうになったことがある」が9.5%となっている。

また、「特にない」は40.0%となっている。

前回調査と比較すると、概ね前回と同様の傾向となっている。(B図47[44])

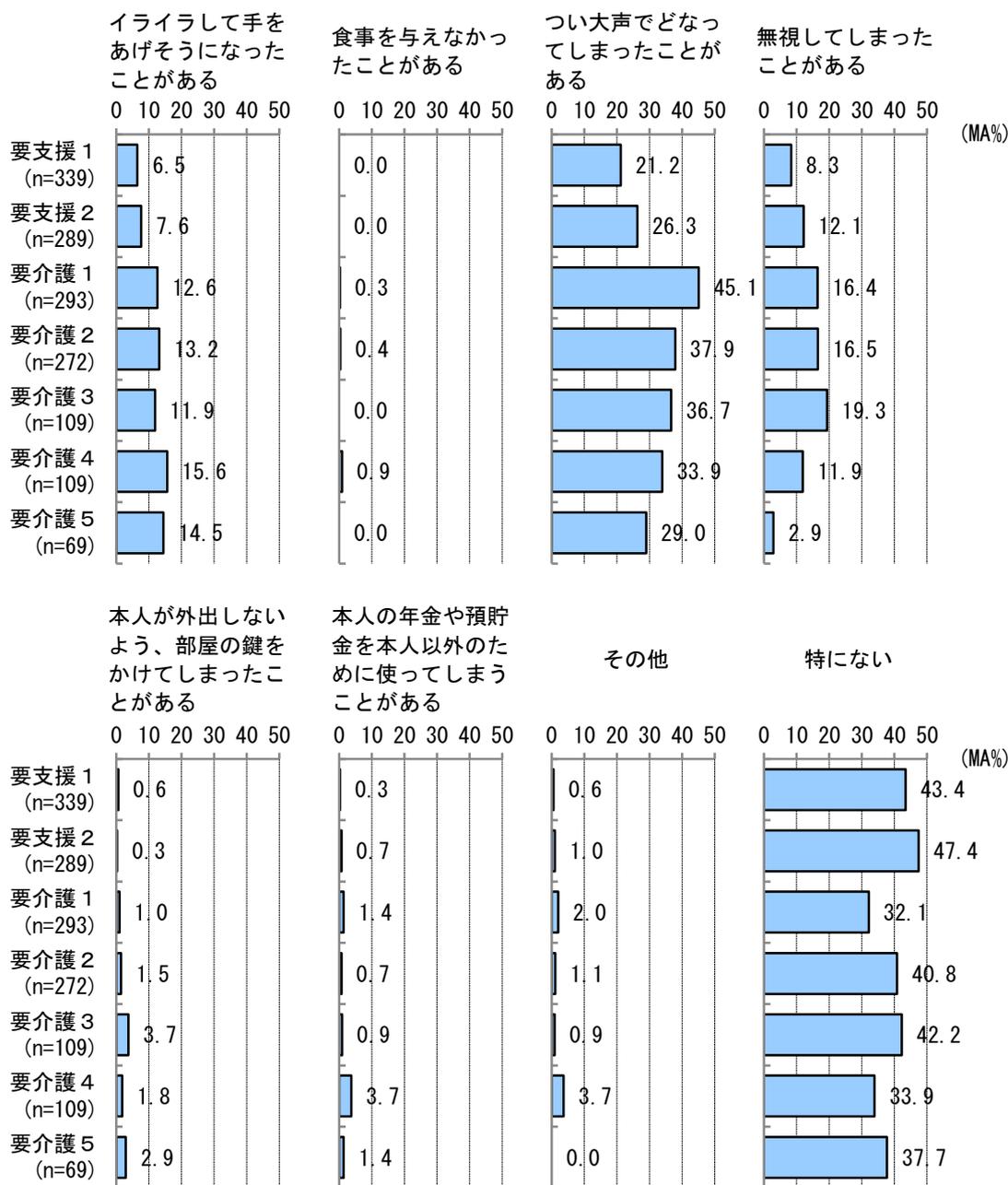
<B. サービス未利用者>

【B図47[44] 自宅での介護で本人に対して行ってしまったこと（経年比較）】



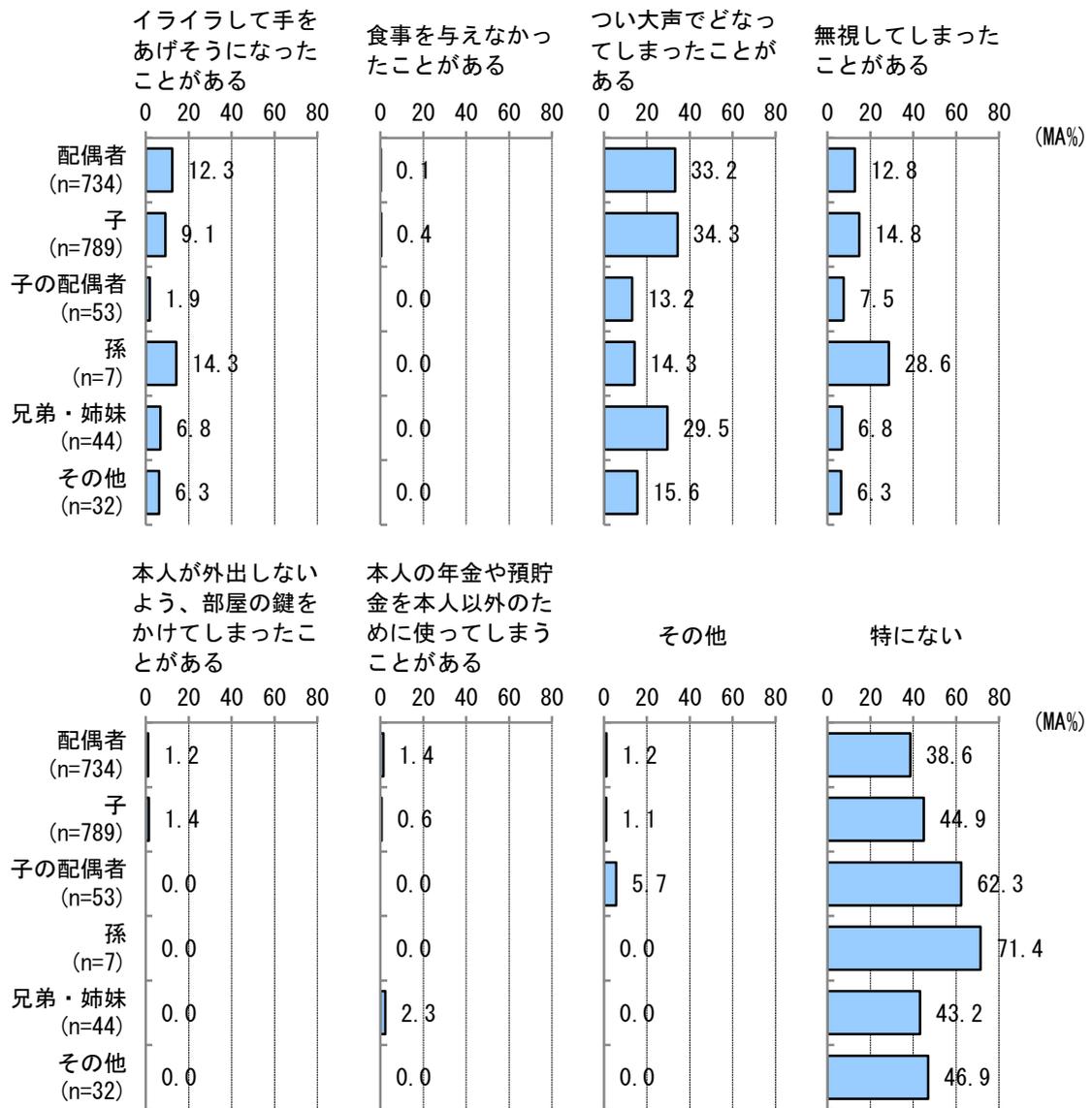
本人の要介護度別で見ると、要支援1・2、要介護2以上は「特にない」が最も多い。要介護1では「つい大声でどなってしまったことがある」が45.1%で最も多く、要介護4は「特にない」と同率で「つい大声でどなってしまったことがある」が33.9%で最も多くなっている。(B図47[44]-a)

【B図47[44]-a 自宅での介護で本人に対して行ってしまったこと（本人の要介護度別）】



本人との関係別で見ると、関係性にかかわらず「特にない」が最も多くなっている。(B図47[44]-b)

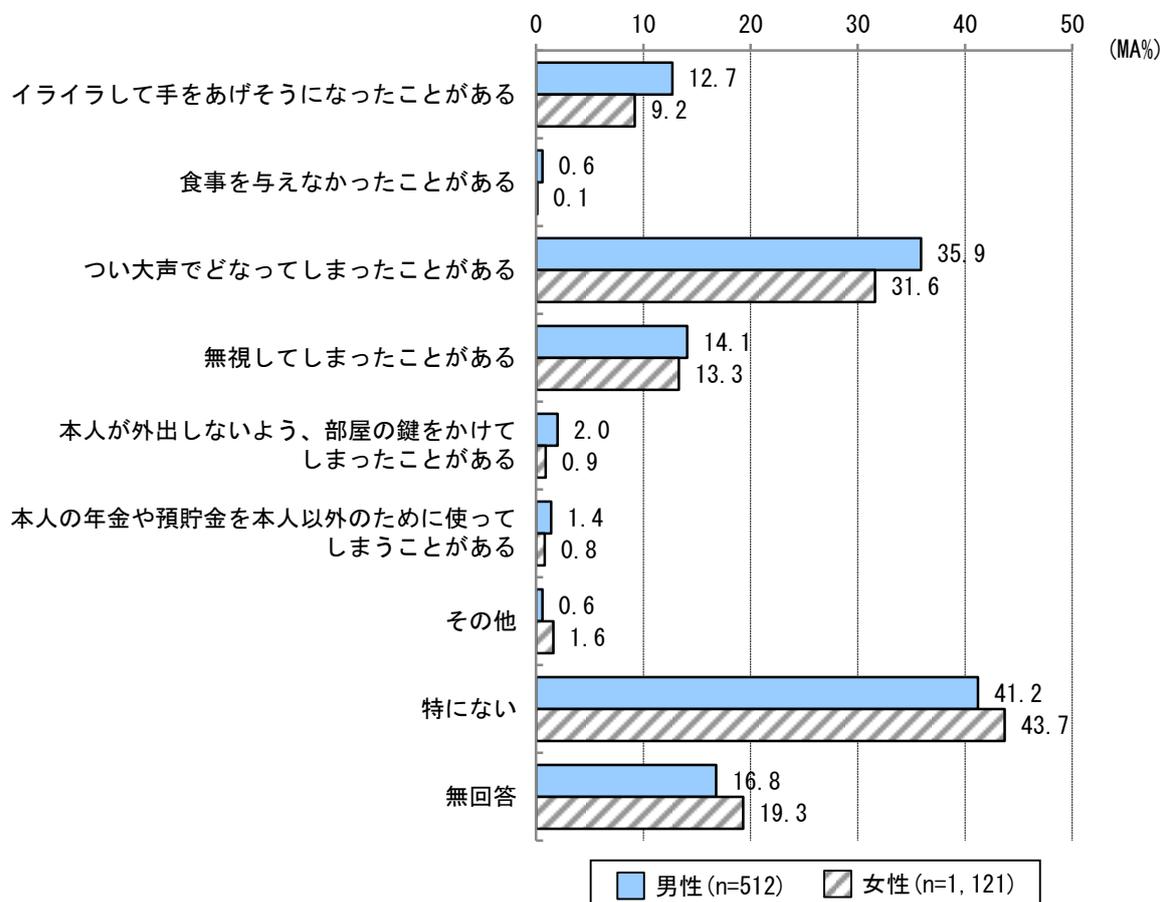
【B図47[44]-b 自宅での介護で本人に対して行ってしまったこと（本人との関係別）】



【介護者調査 編】

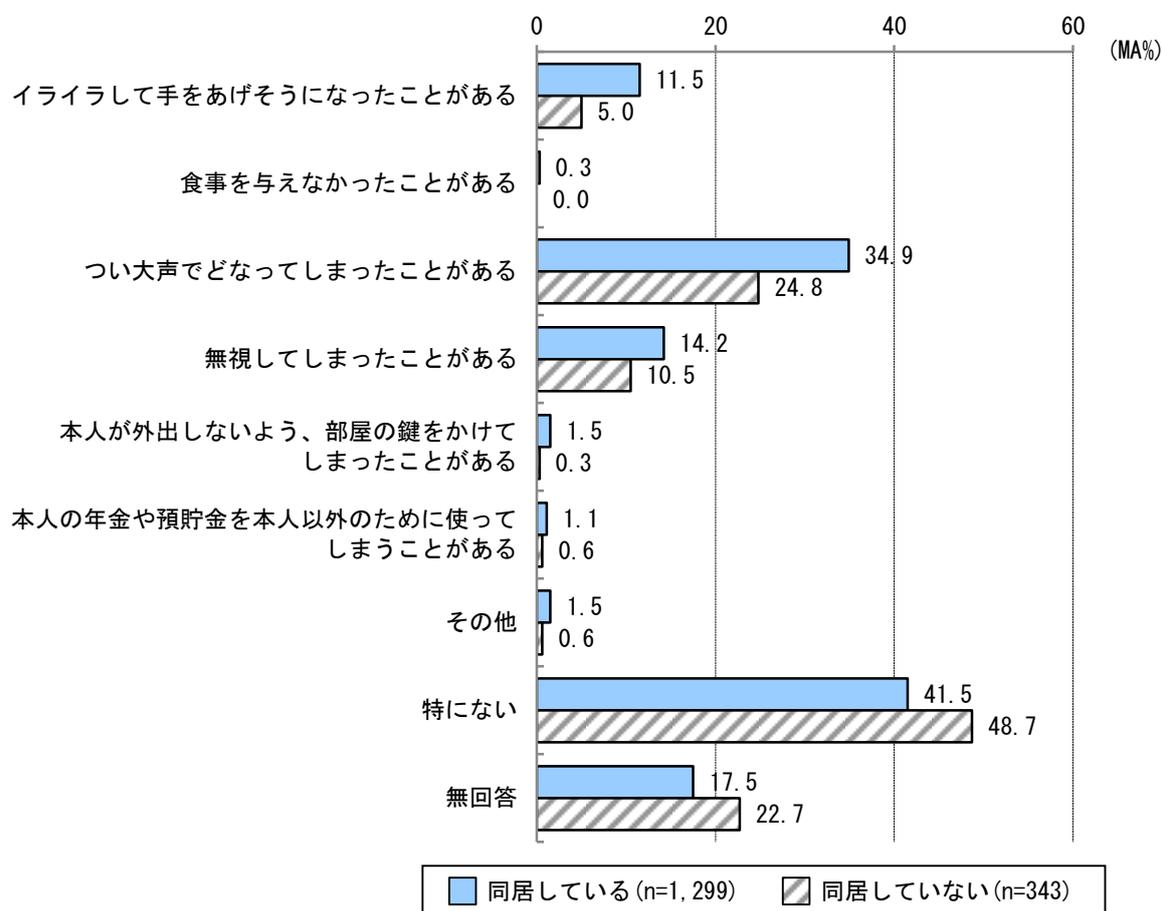
介護者の性別で見ると、男女とも「特にない」が4割台で最も多くなっている。次いで男女とも「つい大声でどなってしまったことがある」が3割台で続いている。(B図47[44]-c)

【B図47[44]-c 自宅での介護で本人に対して行ってしまったこと（介護者の性別）】



本人との同居の有無別で見ると、同居の有無にかかわらず「特にない」が最も多く、次いで「つい大声でどなってしまったことがある」が続いており、虐待的行為の割合は、同居していない介護者に比べて高い割合になっている。(B図47[44]-d)

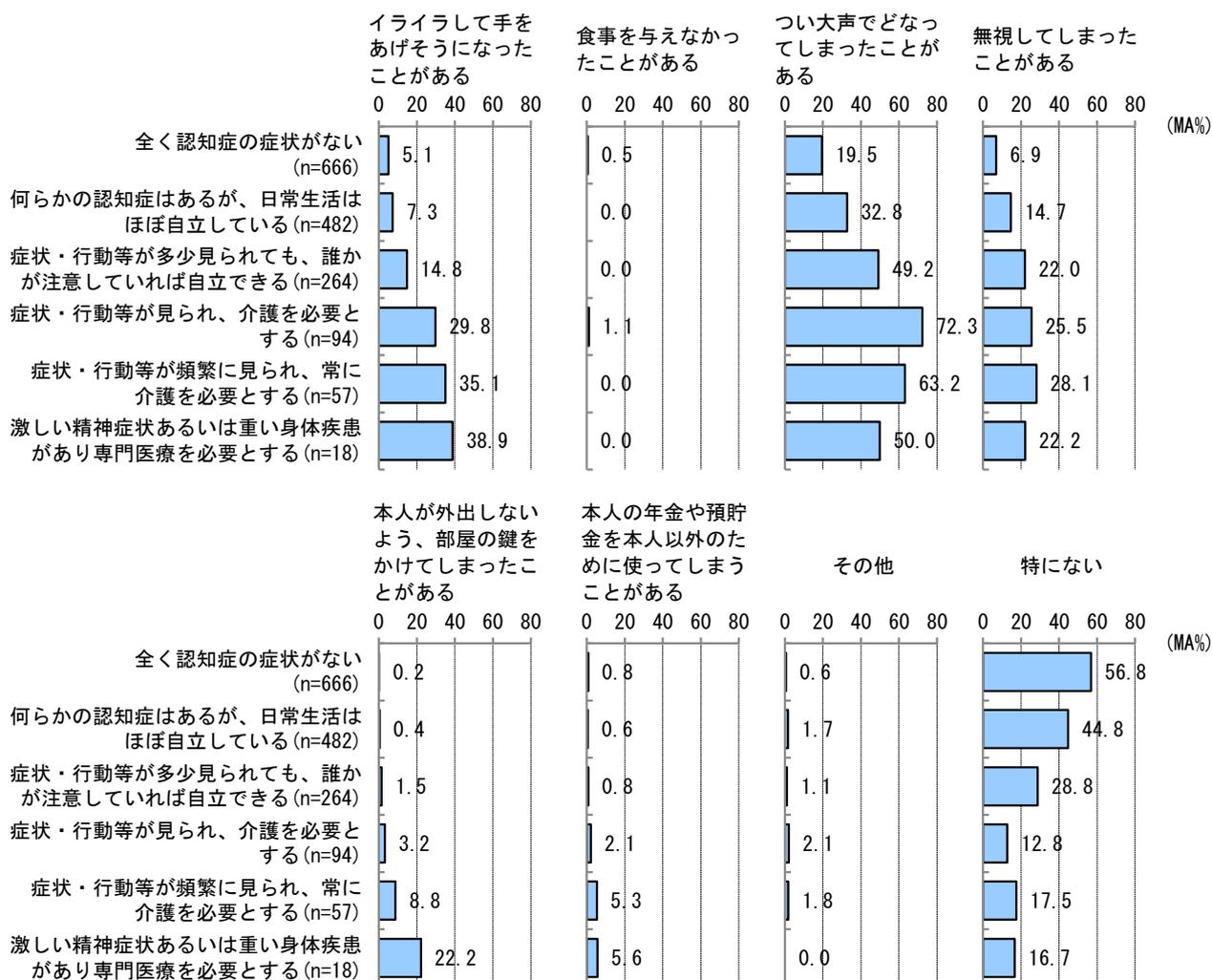
【B図47[44]-d 自宅での介護で本人に対して行ってしまったこと（本人との同居の有無別）】



【介護者調査 編】

本人の認知症の程度別でみると、認知症を有しない人や何らかの認知症はあるが、日常生活はほぼ自立している人では「特にない」が4～5割台で最も多くなっている。一方、認知症の症状が見られる人に対しては「つい大声でどなってしまったことがある」が最も多くなっている。「イライラして手をあげそうになったことがある」「無視してしまったことがある」「本人が外出しないよう、部屋の鍵をかけてしまったことがある」は認知症の重度化に伴って割合が高くなる傾向がみられる。(B図47[44]-e)

【B図47[44]-e 自宅での介護で本人に対して行ってしまったこと（本人の認知症の程度別）】



### 問47-1[44-1] 虐待的行為が緩和される支援（自由記述）

どのような支援があれば、問47のような状態が緩和されますか。ご意見などありましたら、次の欄に記入してください。

#### <A. サービス利用者>

161人の意見が挙がっている。

##### 【主な意見】

- ・ショートステイに行ってほしい。
- ・自分の時間が持てるようなサービスがほしい。
- ・別居している家族の協力。
- ・介護者の悩みを聞いてもらえる場が必要である。
- ・介護者の要望に応じた掃除や家事をしてほしい。
- ・経済的支援。
- ・低料金の施設。

#### <B. サービス未利用者>

189人の意見が挙がっている。

##### 【主な意見】

- ・通院・外出などの付き添い。
- ・要介護者本人が進んで行くデイサービス。
- ・自分ひとりの時間がとれたり、自分が信頼できる人との交流や外出。
- ・24時間、悩みや不安を聞いてくれる所や相談場所。
- ・家族介護に対する経済的な支援。
- ・介護の手助けをしてくれる信頼できるサービスについての情報。

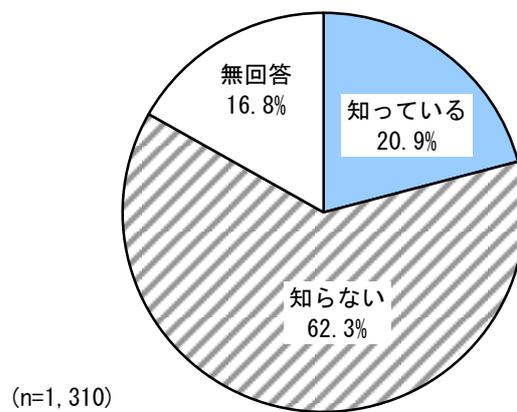
**問48[45] 高齢者虐待を受けた場合の通報・相談先の認知度**

あなたは、あなたの周囲の高齢者が身近な人からの暴力や暴言、身体拘束や閉じ込め、介護や世話の放棄、年金の使い込みといった「高齢者虐待」を受けた場合の通報・相談先をご存じですか。(〇はひとつ)

サービス利用者本人の介護者の、高齢者虐待を受けた場合の通報・相談先の認知度については、「知っている」が20.9%、「知らない」が62.3%となっている。(A図48[45])

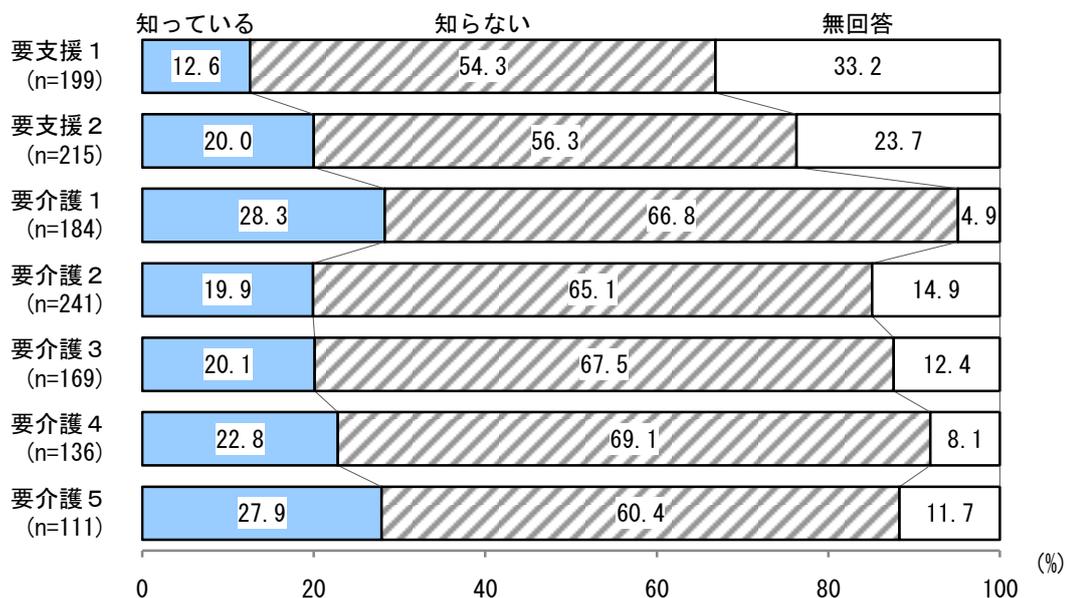
<A. サービス利用者>

【A図48[45] 高齢者虐待を受けた場合の通報・相談先の認知度】



本人の要介護度別で見ると、「知っている」は要介護1が28.3%で最も高く、次いで要介護5が27.9%となっている。(A図48[45]-a)

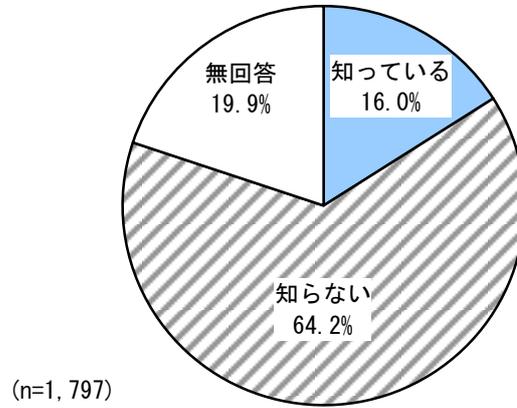
【A図48[45]-a 高齢者虐待を受けた場合の通報・相談先の認知度 (本人の要介護度別)】



サービス未利用者本人の介護者の、高齢者虐待に対する通報・相談先の認知度については、「知っている」が16.0%、「知らない」が64.2%となっている。(B図48[45])

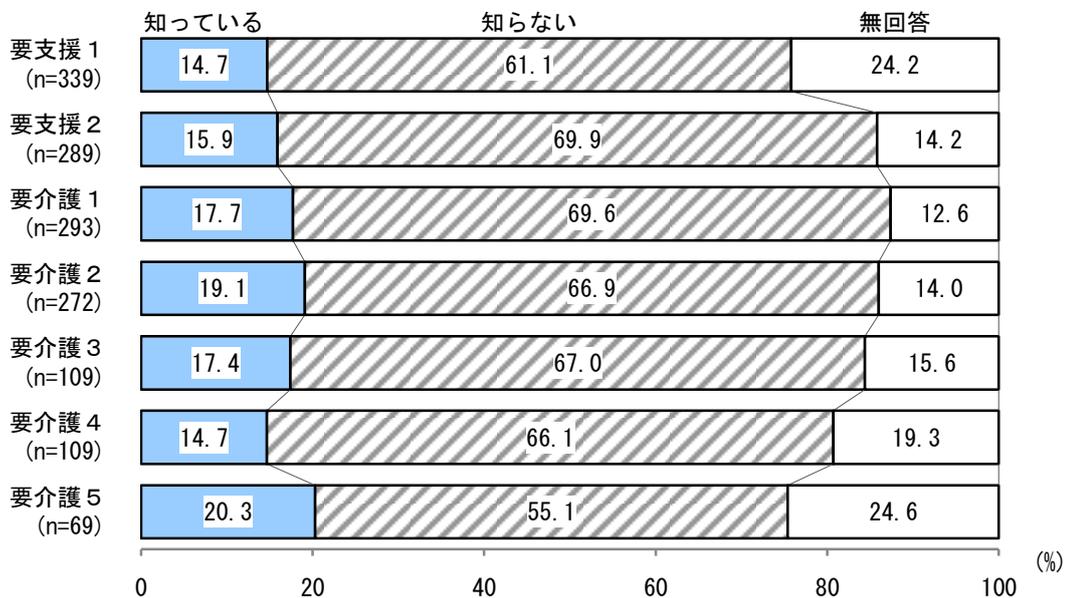
<B. サービス未利用者>

【B図48[45] 高齢者虐待を受けた場合の通報・相談先の認知度】



本人の要介護度別で見ると、「知っている」は要介護5が20.3%で最も多く、次いで要介護2が19.1%となっている。(B図48[45]-a)

【B図48[45]-a 高齢者虐待を受けた場合の通報・相談先の認知度 (本人の要介護度別)】



### 問49 本人が介護保険サービスを利用することによる介護者の変化

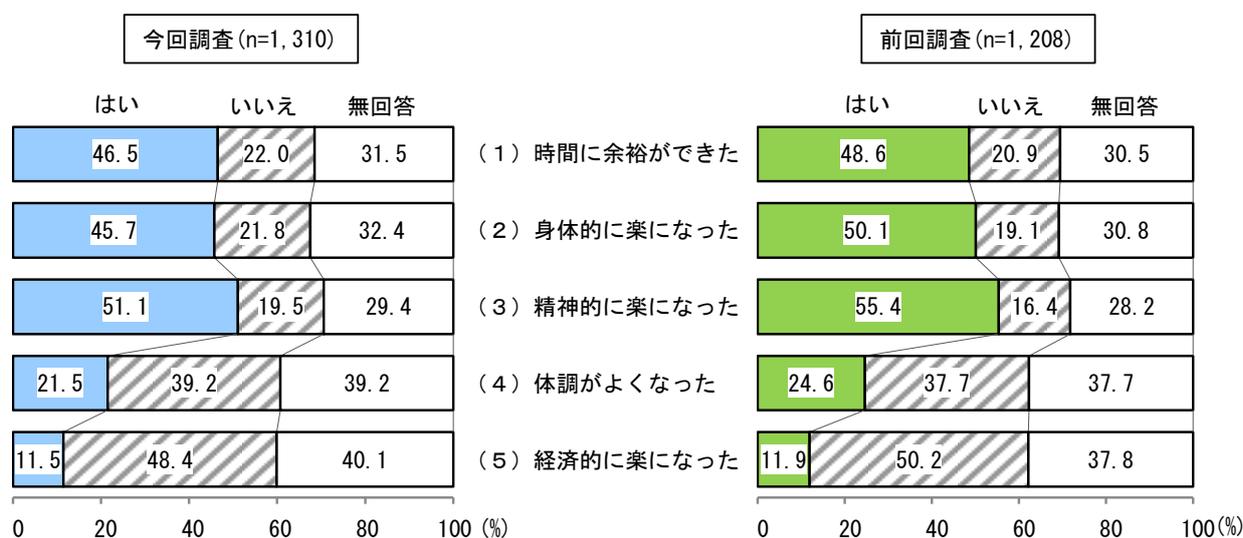
ご本人が介護保険サービスを利用することによって、あなたにどのような変化がありましたか。それぞれ「はい・いいえ」のどちらかに○をつけてください。

サービス利用者本人が介護保険サービスを利用することで、介護者にどのような変化があったかについては、「はい」が最も多いのは“(3)精神的に楽になった”(51.1%)で、次いで“(1)時間に余裕ができた”(46.5%)、“(2)身体的に楽になった”(45.7%)が続く。一方、“(4)体調がよくなった”と“(5)経済的に楽になった”は「はい」より「いいえ」のほうが多くなっている。

前回調査と比較すると、「はい」の順位は多少違うものの概ね前回と同様の傾向となっている。(A図49)

#### < A. サービス利用者のみ >

【A図49 本人が介護保険サービスを利用することによる介護者の変化（経年比較）】



## 問50 本人が利用している介護保険サービスに対する介護者の満足度

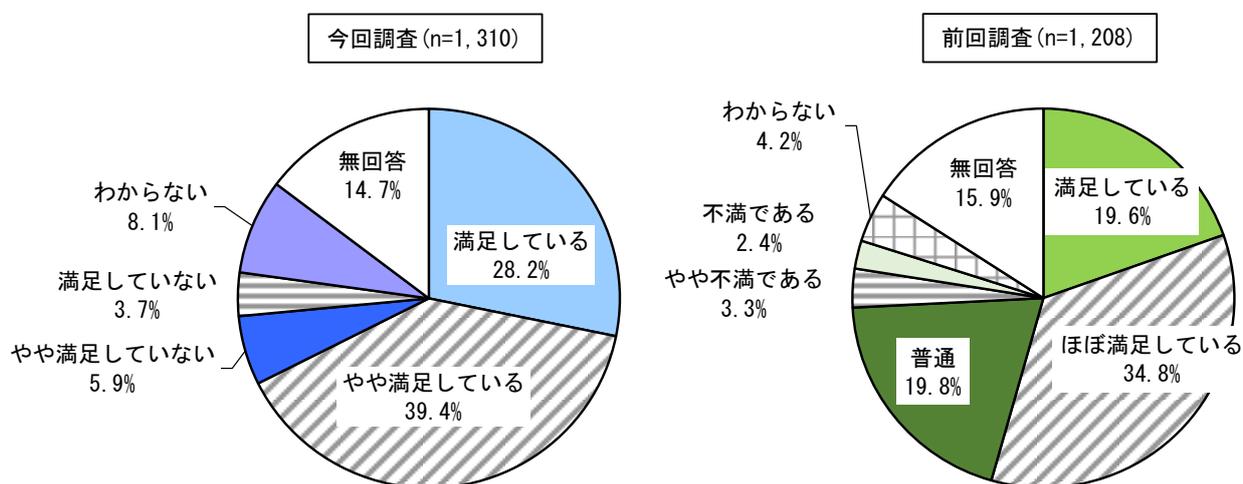
ご本人が利用している介護保険サービスについて、主な介護者の方は満足していますか。  
(○はひとつ)

サービス利用者本人が利用している介護保険サービスに対する介護者の満足度については、「やや満足している」が39.4%で最も多く、次いで「満足している」が28.2%となっており、「満足している」と「ほぼ満足している」を合わせた67.6%が満足と回答している。(A図50)

選択肢が異なるため一概には比較できないが、満足と回答した人は前回調査より13.2ポイント高くなっている。(A図50)

### <A. サービス利用者のみ>

【A図50 本人が利用している介護保険サービスに対する介護者の満足度（経年比較）】



※前回調査の「普通」は、今回調査では設けていない。

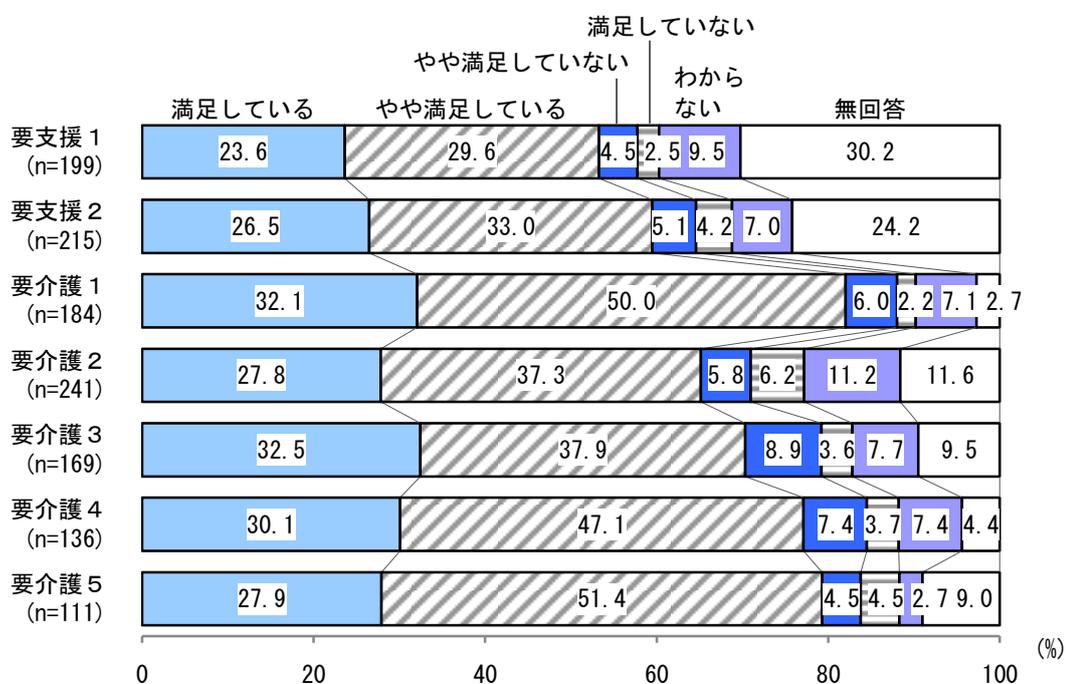
※前回調査の「ほぼ満足している」は、今回調査では「やや満足している」に変更している。

※前回調査の「やや不満である」「不満である」は、今回調査では「やや満足していない」「満足していない」に変更している。

【介護者調査 編】

本人の要介護度別で見ると、満足と回答した人の割合は要介護1が82.1%で最も高い。満足と回答した人は要介護度にかかわらず、いずれも過半数を占めており、特に要介護1以上の満足度は高くなっている。(A図50-a)

【A図50-a 本人が利用している介護保険サービスに対する介護者の満足度（本人の要介護度別）】



### 問50-1 本人利用の介護保険サービスに対する介護者の満足度の理由（自由記述）

上記を選択した具体的な理由等についてご記入ください。

#### <A. サービス利用者のみ>

357人の意見が挙がっている。

#### 【主な意見】

##### <満足理由>

- ・困ったことがあれば、丁寧に相談にのってくれる。
- ・ケアマネジャーが補足してくれる。
- ・デイサービスに行くことが楽しみになっている様子であるため。
- ・デイサービスに行っている間は、徘徊を心配しなくて良いから。
- ・週一回だけだが、本人は2回行きたいと言っている。
- ・ヘルパーさんとの会話等、訪問を楽しみにしている。
- ・私自身の精神的、身体的負担が軽減され、本人は以前に比べ元気になっているから。
- ・時間的に余裕ができた事。
- ・入浴介助が助かっている。又、自宅でリハビリ、相談出来るので心強い。
- ・本人の気分転換になっている。

##### <不満理由>

- ・デイサービスの食事の充実と入浴時間の少し多めの確保。
- ・要介護者本人が嫌がるので長時間のデイサービスが利用できない。
- ・要介護者本人が楽しそうでない。
- ・本人は、ショートステイは出来たら行きたくないと言っている。
- ・経済的に家計を圧迫している。

**問[46] 本人に対する介護保険サービスの利用意向**

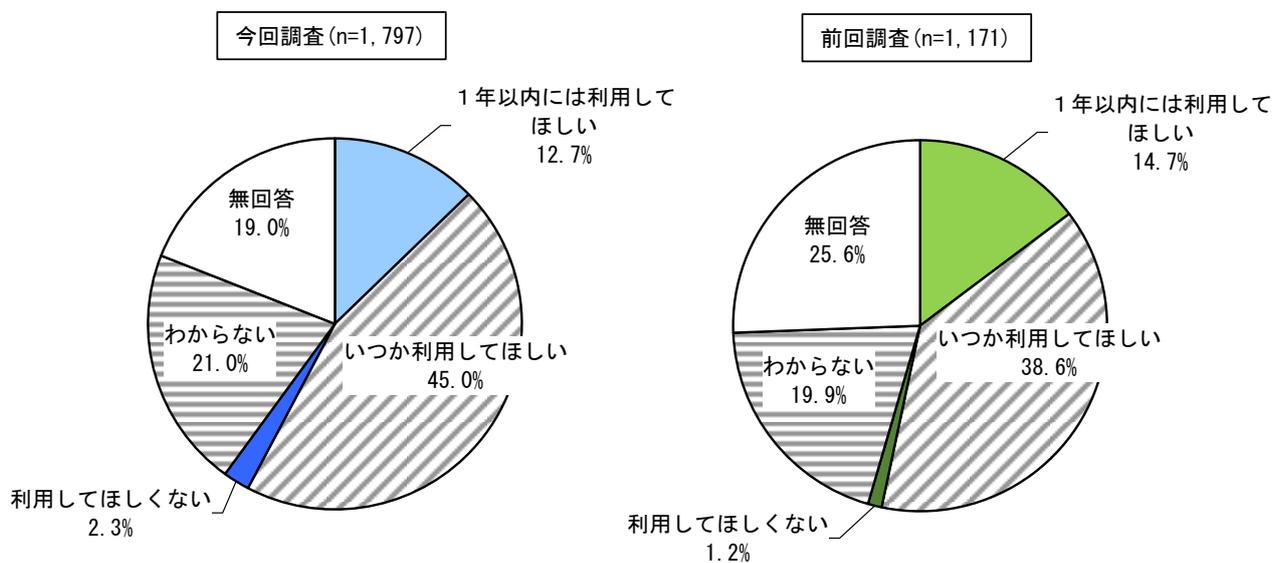
今後、ご本人に介護保険サービスの利用をしてほしいですか。(〇はひとつ)

サービス未利用者本人に介護保険サービスを利用してほしいかについては、「いつか利用してほしい」が45.0%で最も多く、次いで「1年以内には利用してほしい」が12.7%、「利用してほしくない」が2.3%となっている。

前回調査と比較すると、概ね前回と同様の傾向となっている。(B図[46])

<B. サービス未利用者のみ>

【B図[46] 本人に対する介護保険サービスの利用意向（経年比較）】



## 問[47] 介護保険サービスを利用しようと思う本人の状態

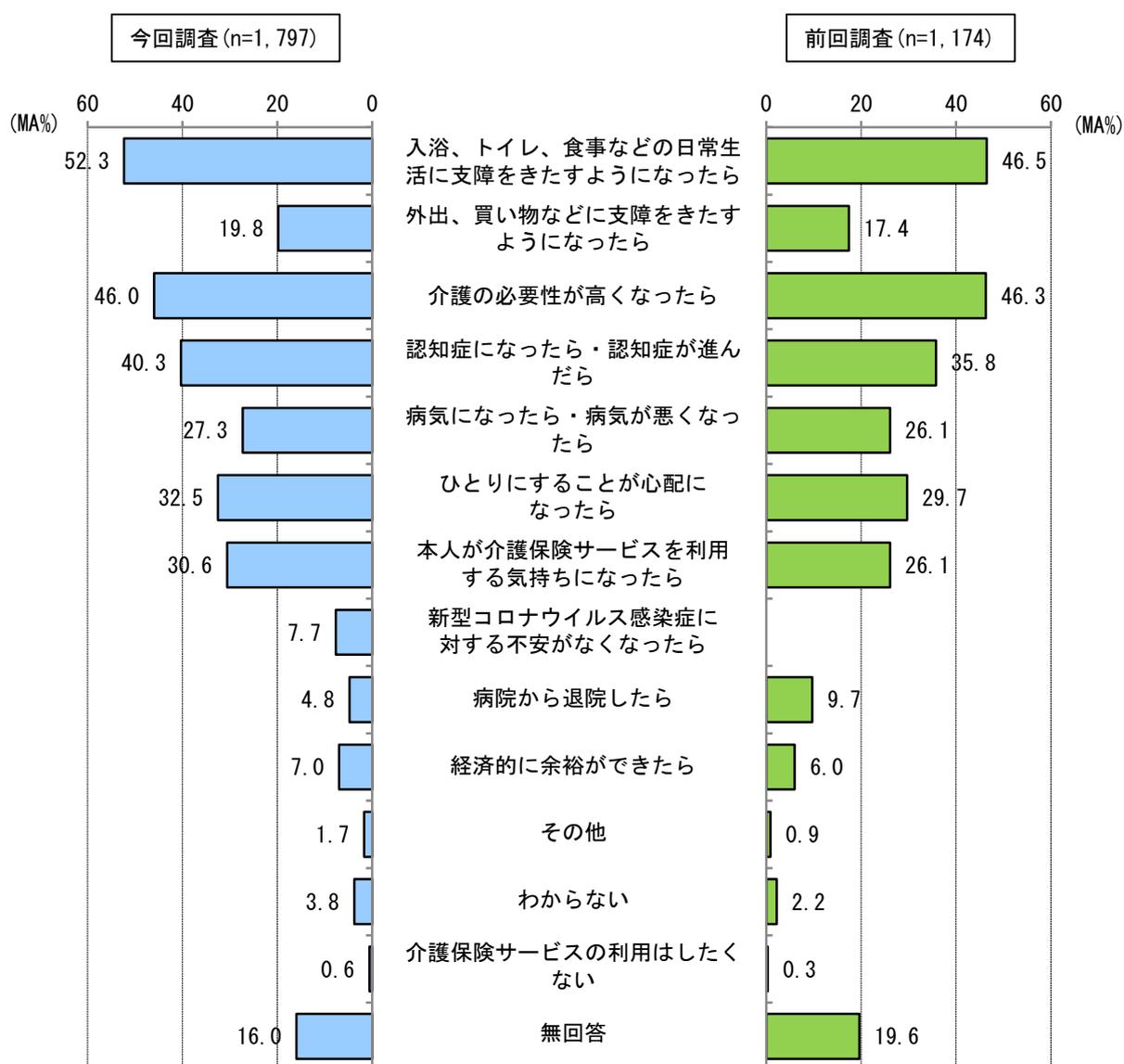
ご本人は、現在、介護保険サービスを利用していませんが、ご本人がどのような状態になれば介護保険サービスを利用しますか。(〇はいくつでも)

介護保険サービスを利用しようと思うサービス未利用者本人の状態については、「入浴、トイレ、食事などの日常生活に支障をきたすようになったら」が52.3%で最も多く、次いで「介護の必要性が高くなったら」が46.0%、「認知症になったら・認知症が進んだら」が40.3%となっている。

前回調査と比較すると、「入浴、トイレ、食事などの日常生活に支障をきたすようになったら」の割合が5.8ポイント高くなっている。(B図[47])

### <B. サービス未利用者のみ>

【B図[47] 介護保険サービスを利用しようと思う本人の状態 (経年比較)】



※「新型コロナウイルス感染症に対する不安がなくなったら」は、今回調査の新規項目である。

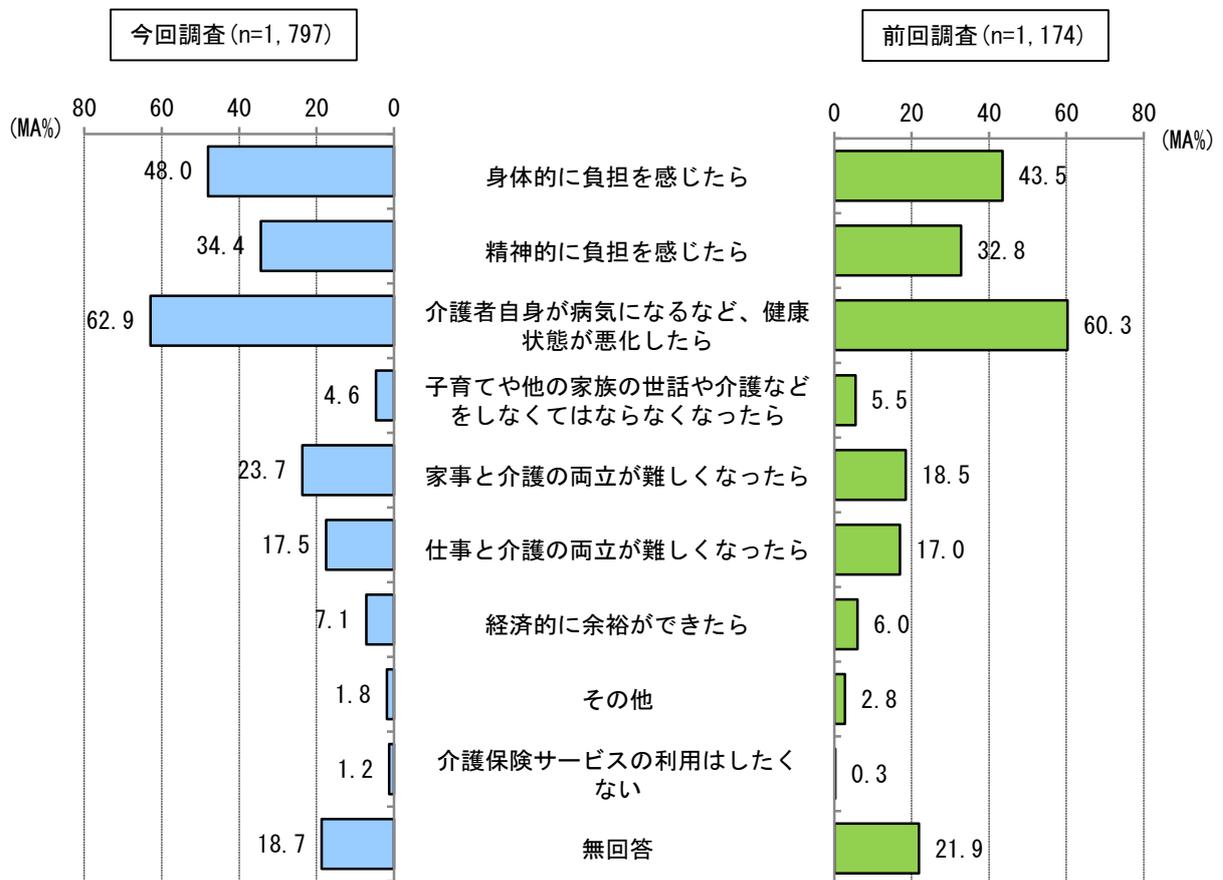
**問[48] 介護保険サービスを利用しようと思う介護者の状態**

ご本人は、現在、介護保険サービスを利用していませんが、あなたがどのような状態になれば、介護保険サービスを利用しますか。(〇はいくつでも)

サービス未利用者本人に介護保険サービスを利用しようと思う介護者の状態については、「介護者自身が病気になるなど、健康状態が悪化したら」が62.9%で最も多く、次いで「身体的に負担を感じたら」が48.0%、「精神的に負担を感じたら」が34.4%となっている。  
 前回調査と比較すると、概ね前回と同様の傾向となっている。(B図[48])

<B. サービス未利用者のみ>

【B図[48] 介護保険サービスを利用しようと思う介護者の状態（経年比較）】



## 問51[49] 自宅での介護で重要なこと

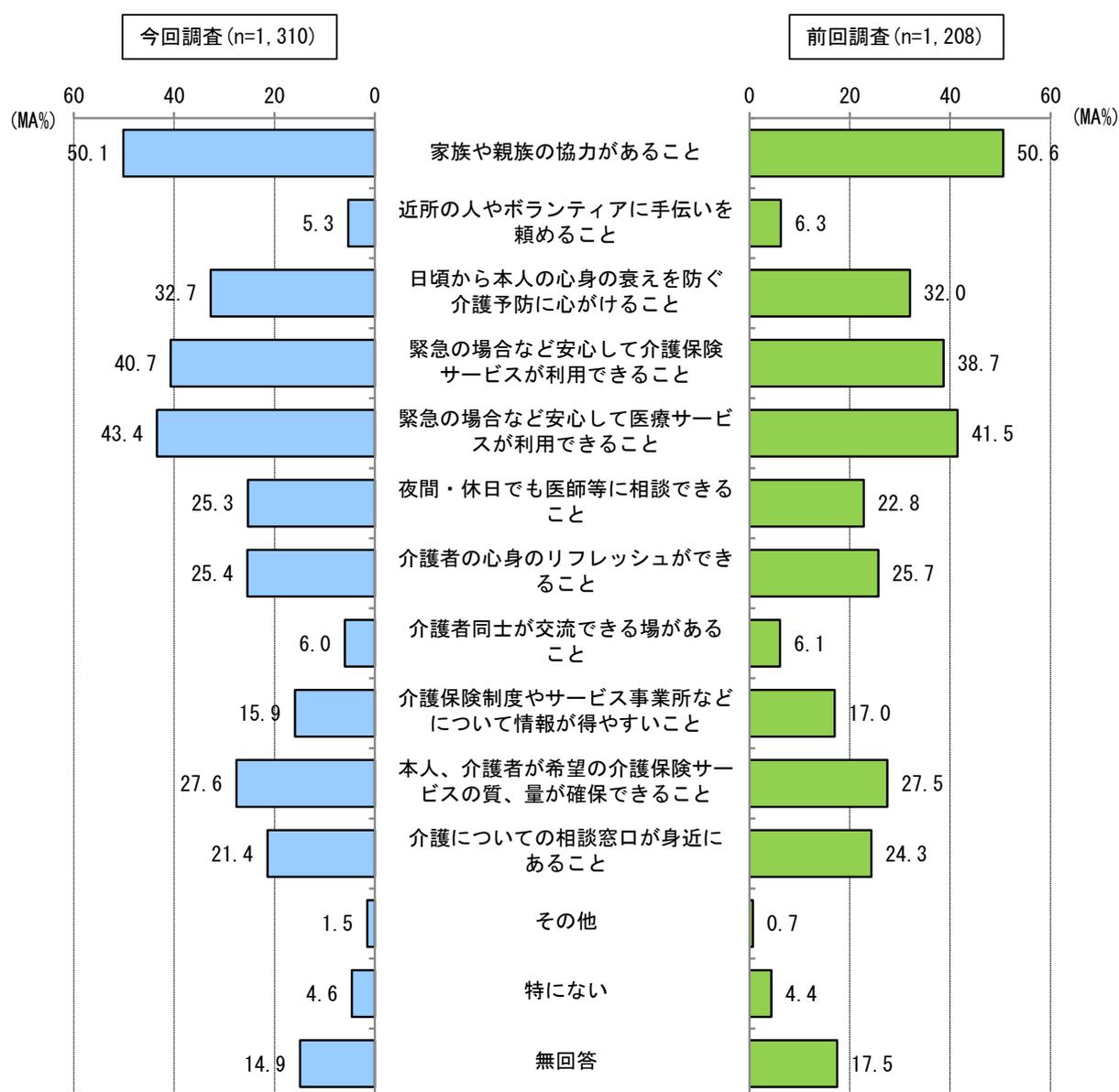
あなたにとって、自宅での介護にあたって重要なことは何ですか。(〇はいくつでも)

自宅でのサービス利用者の介護で重要なことについては、「家族や親族の協力があること」が50.1%で最も多く、次いで「緊急の場合など安心して医療サービスが利用できること」が43.4%、「緊急の場合など安心して介護保険サービスが利用できること」が40.7%となっている。

前回調査と比較すると、概ね前回と同様の傾向となっている。(A図51[49])

### < A. サービス利用者 >

【A図51[49] 自宅での介護で重要なこと（経年比較）】

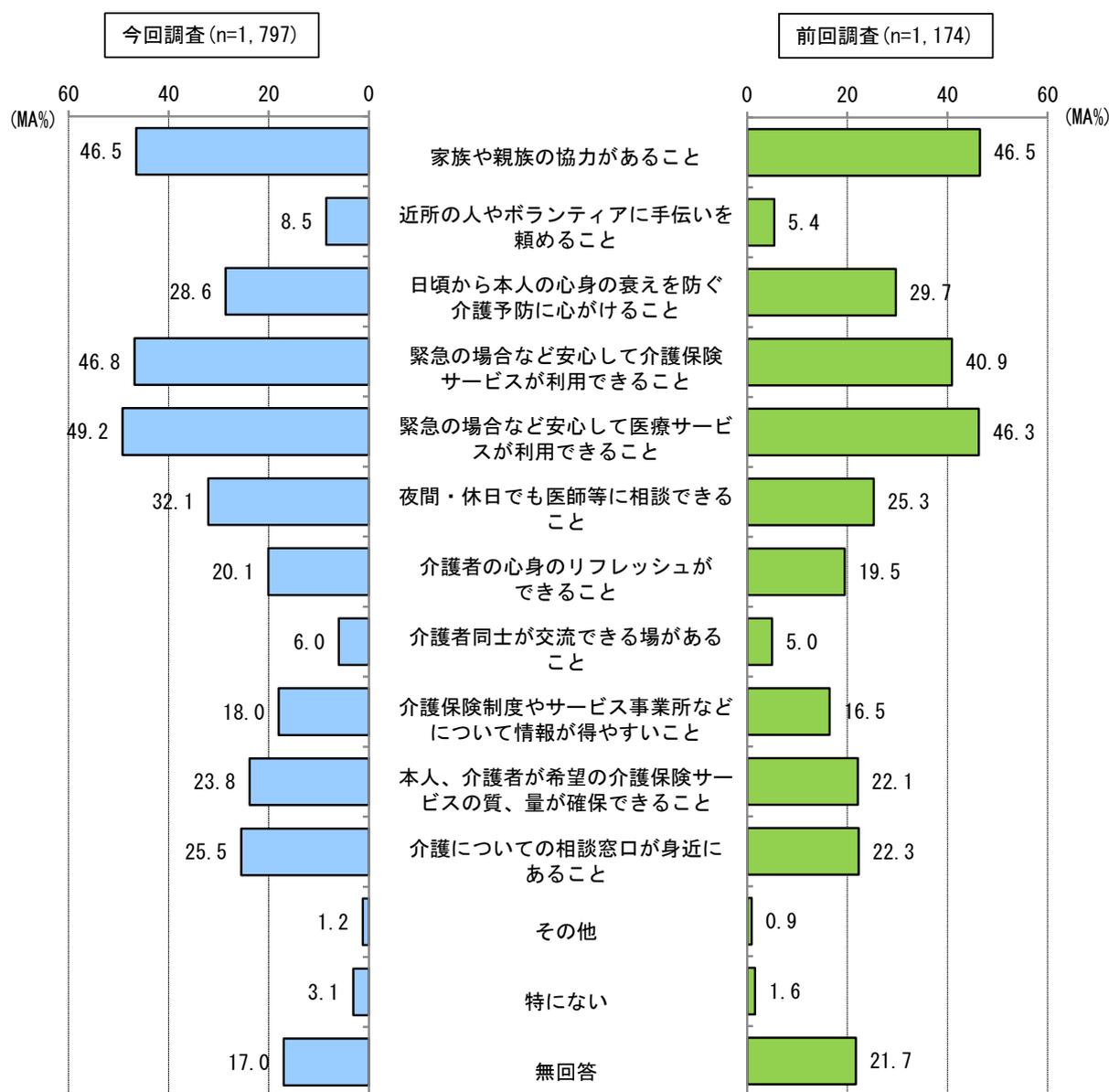


自宅でのサービス未利用者の介護で重要なことについては、「緊急の場合など安心して医療サービスが利用できること」が49.2%で最も多く、次いで「緊急の場合など安心して介護保険サービスが利用できること」が46.8%、「家族や親族の協力があること」が46.5%となっている。

前回調査と比較すると、「夜間・休日でも医師等に相談できること」の割合が6.8ポイント、「緊急の場合など安心して介護保険サービスが利用できること」の割合が5.9ポイントそれぞれ高くなっている。(B図51[49])

< B. サービス未利用者 >

【B図51[49] 自宅での介護で重要なこと（経年比較）】



(4) 介護離職に関する問題

問52[50] 介護者の就業状況

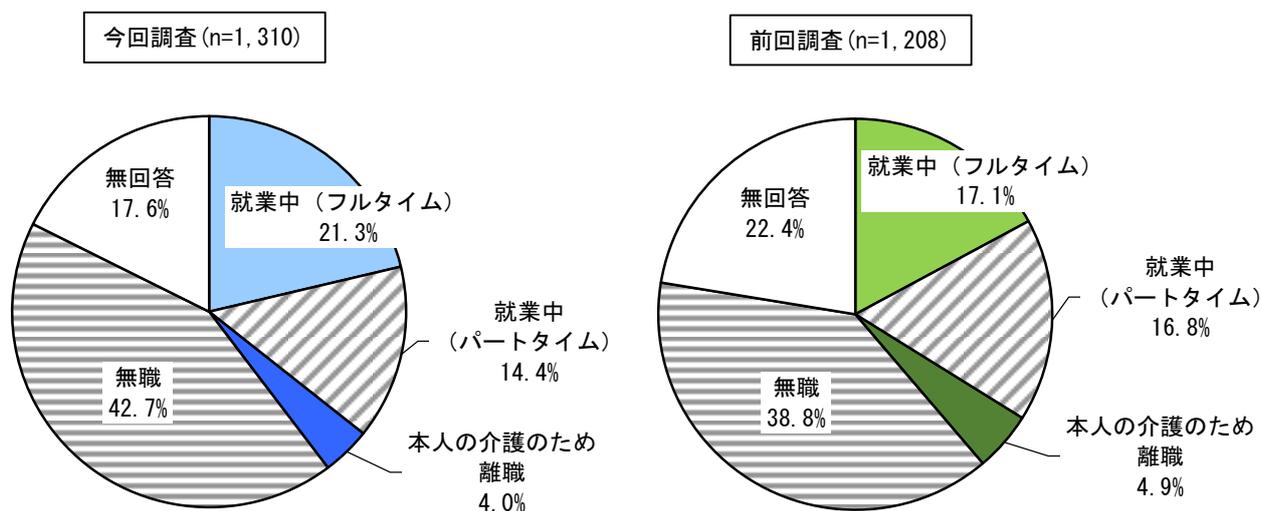
あなたの現在の就業状況についておたずねします。(〇はひとつ)

サービス利用者の介護者の就業状況については、「無職」が42.7%で最も多くなっている。これに次いで「就業者(フルタイム)」が21.3%、「就業者(パートタイム)」が14.4%となっており、両者を合わせた就業者の割合は35.7%を占めている。また、「本人の介護のため離職」は4.0%となっている。

前回調査と比較すると、「就業者(フルタイム)」の割合が4.2ポイント高くなっている。(A図52[50])

< A. サービス利用者 >

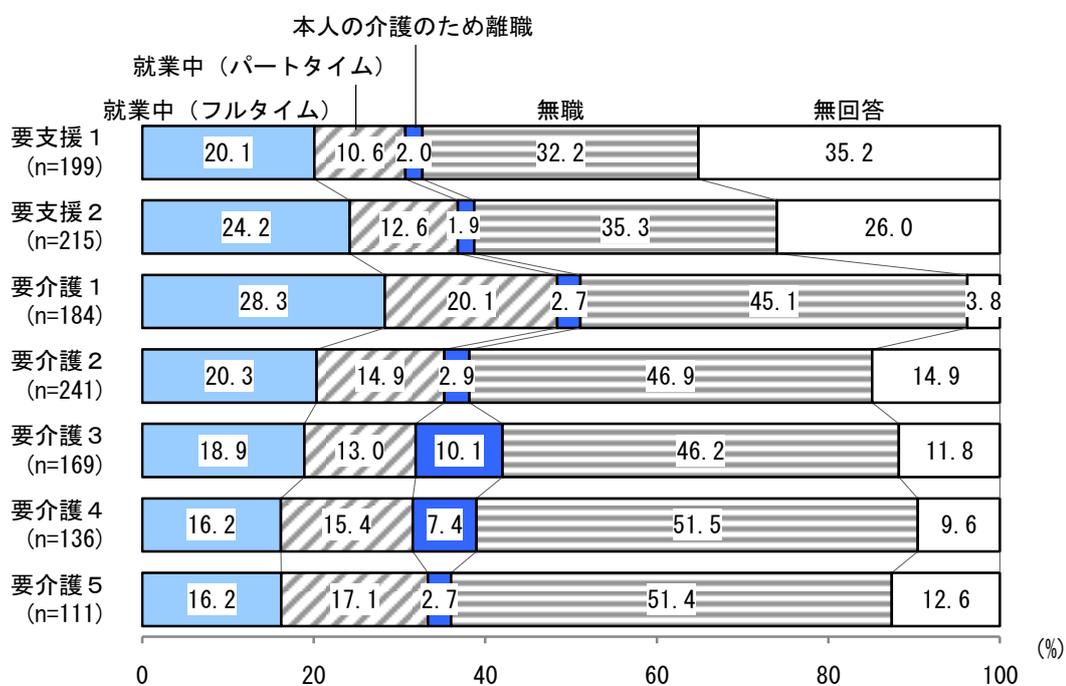
【A図52[50] 介護者の就業状況 (経年比較)】



【介護者調査 編】

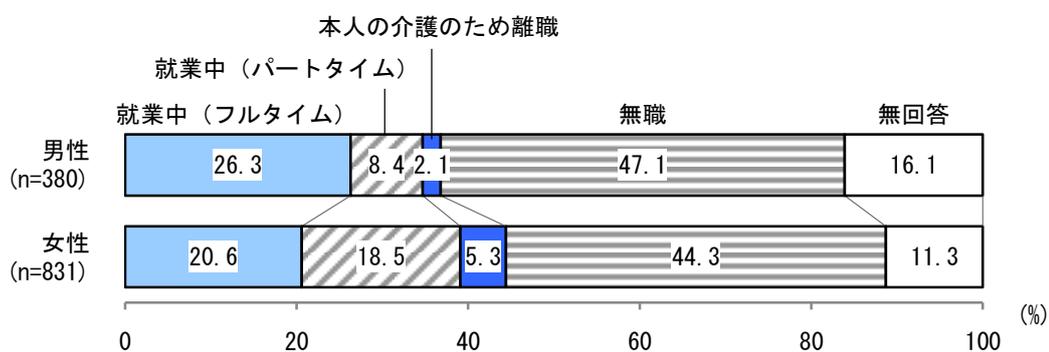
本人の要介護度別で見ると、本人の要介護度にかかわらず、介護者は「無職」が最も多くなっている。就業している介護者の割合では、要介護1が48.4%で最も高く、それ以外の要介護度ではいずれも3割台となっている。(A図52[50]-a)

【A図52[50]-a 介護者の就業状況（本人の要介護度別）】



介護者の性別で見ると、男女とも「無職」が4割台で最も多くなっている。就業している介護者では、男女とも3割台を占めているが、男性（34.7%）より女性（39.1%）のほうが4.4ポイント高い割合になっている。(A図52[50]-b)

【A図52[50]-b 介護者の就業状況（介護者の性別）】

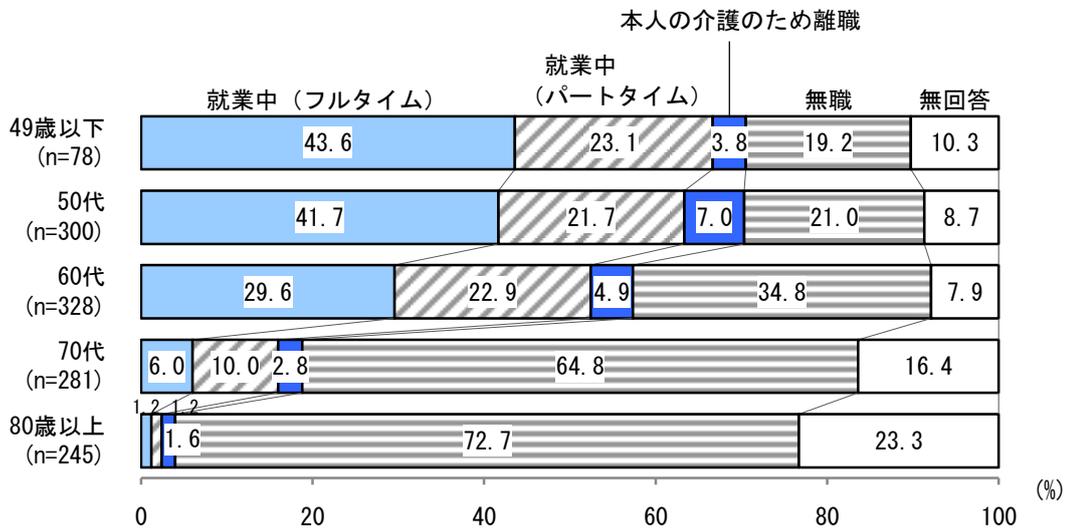


【介護者調査 編】

介護者の年齢別で見ると、50代以下の介護者は「就業中（フルタイム）」が4割台を占め、就業している介護者の割合が6割台となっている。

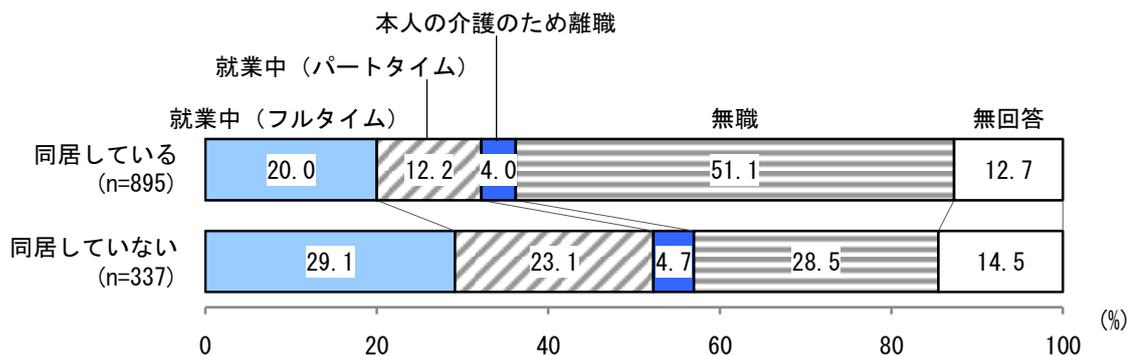
60代以上の介護者は「無職」が最も多く、高齢になるほど割合が高くなっている。（A図52[50]-c）

【A図52[50]-c 介護者の就業状況（介護者の年齢別）】



本人との同居の有無別で見ると、同居している介護者は「無職」が51.1%で最も多く、就業している割合は32.2%となっている。同居していない介護者は「就業中（フルタイム）」が29.1%で最も多く、就業している割合は52.2%となっている。（A図52[50]-d）

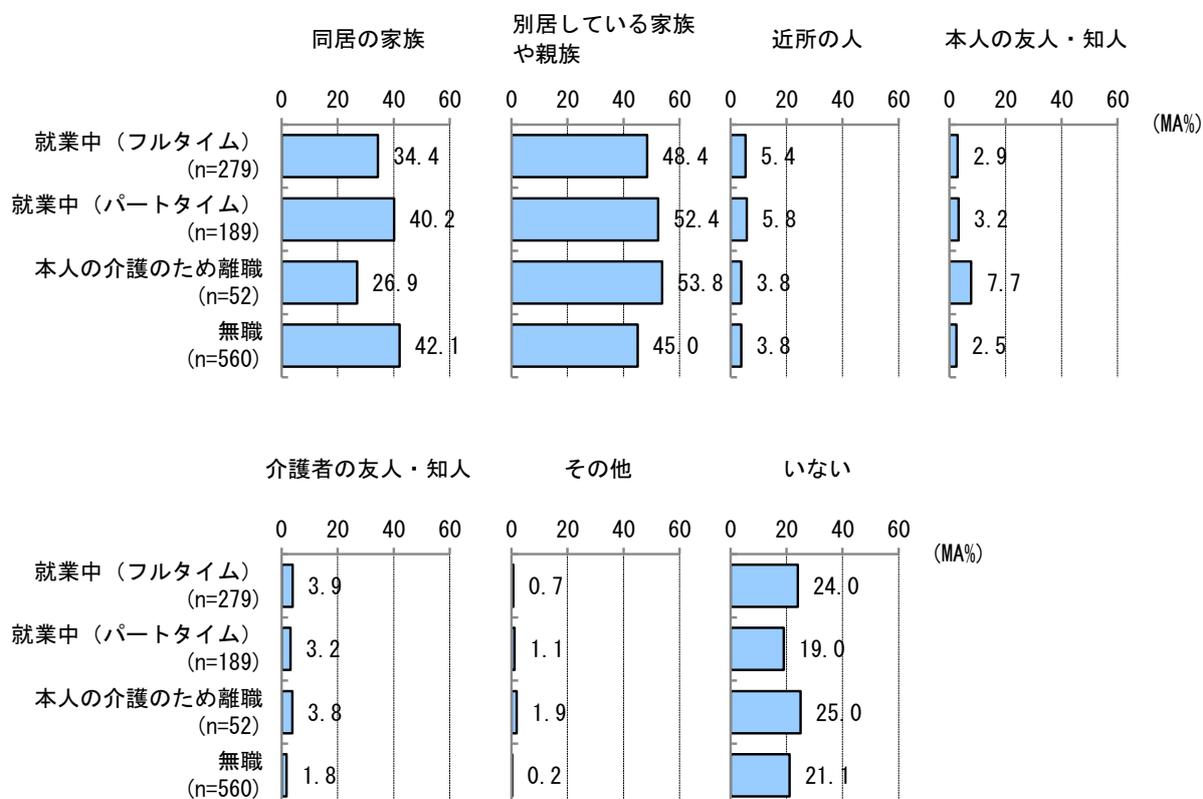
【A図52[50]-d 介護者の就業状況（本人との同居の有無別）】



【介護者調査 編】

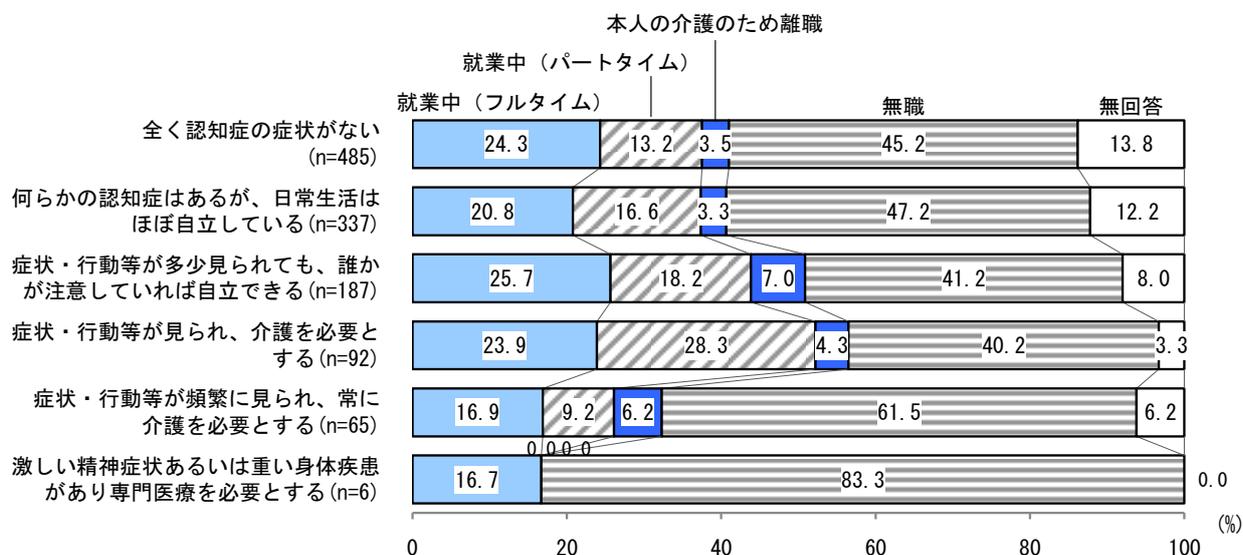
介護を手助けしてくれる人の有無を、介護者の就業状況別でみると、就業状況にかかわらず「別居している家族や親族」が最も多く、4～5割台を占めている。(A図52[50]-e)

【A図52[50]-e 介護を手助けしてくれる人の有無（介護者の就業状況別）】



本人の認知症の程度別でみると、認知症の程度にかかわらず、介護者は「無職」が最も多くなっている。(A図52[50]-f)

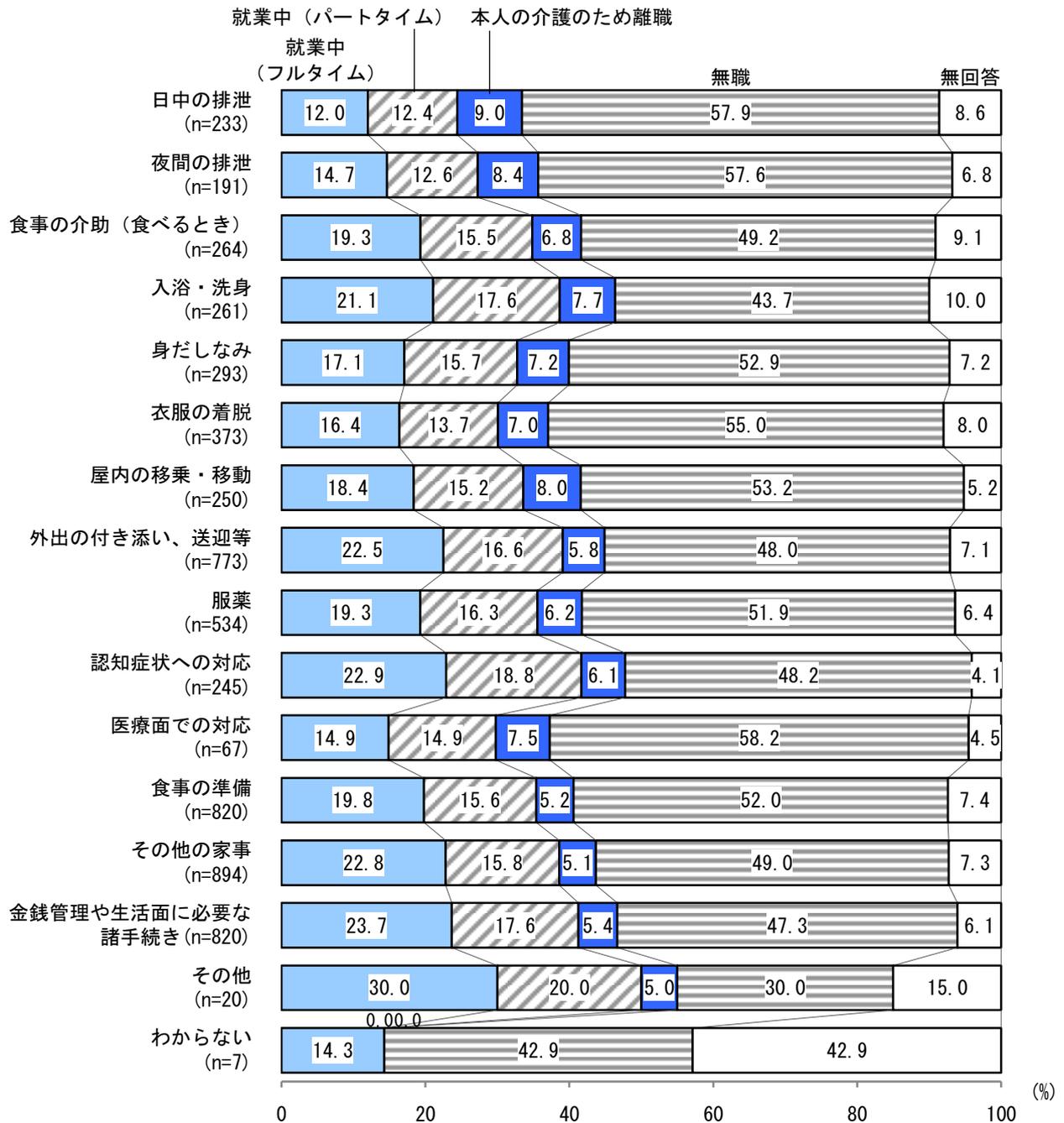
【A図52[50]-f 介護者の就業状況（本人の認知症の程度別）】



【介護者調査 編】

本人に行っている介護内容別でみると、介護内容にかかわらず、介護者は「無職」が最も多くなっている。「本人の介護のため離職」では、“日中の排泄”の介助をしている介護者が9.0%で最も高く、次いで“夜間の排泄”の介助をしている介護者が8.4%、“屋内の移乗・移動”の介助をしている介護者が8.0%となっている。(A図52[50]-g)

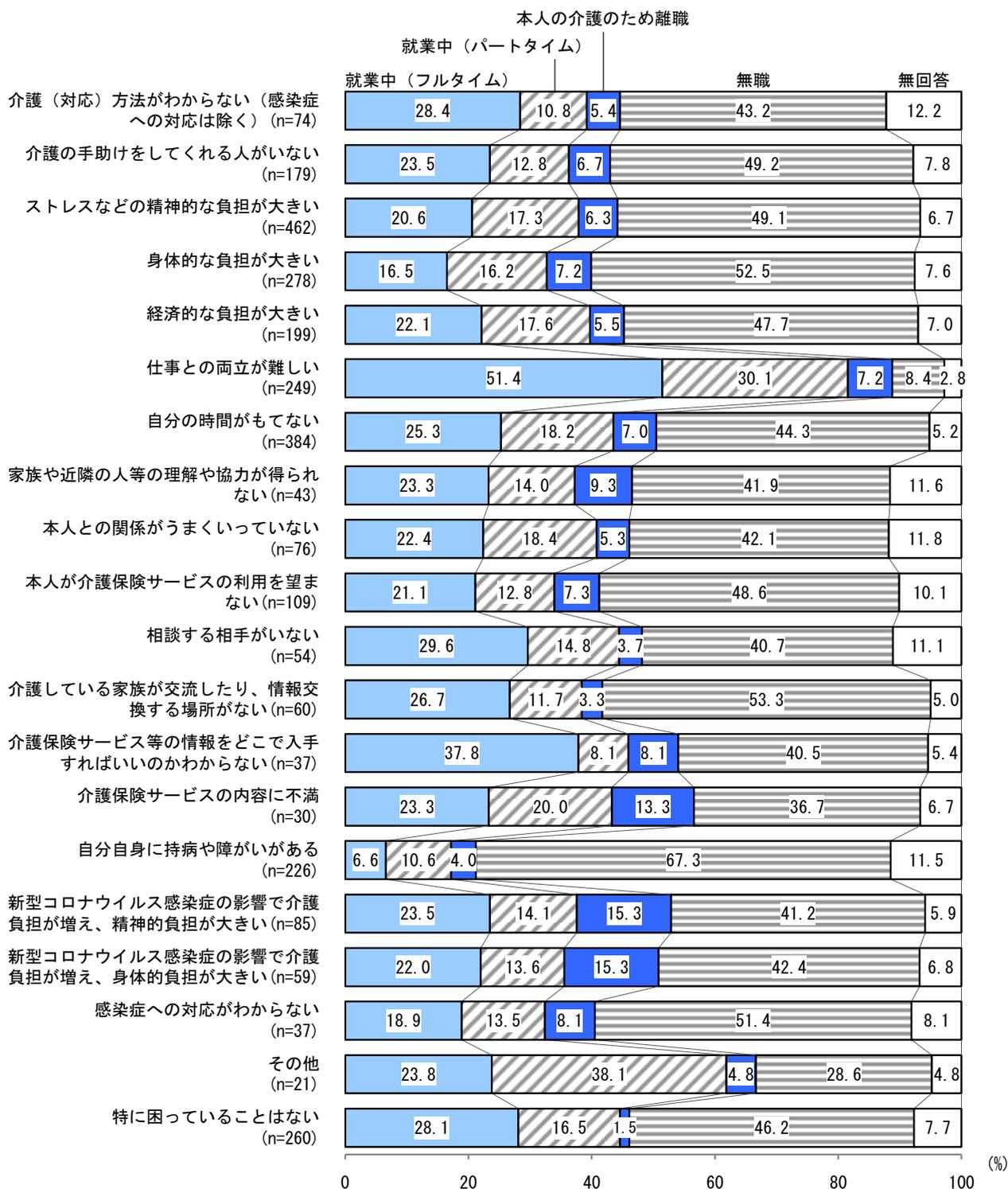
【A図52[50]-g 介護者の就業状況（本人に行っている介護内容別）】



【介護者調査 編】

自宅での介護で困っていること別でみると、「無職」が高いのは、“自分自身に持病や障がいがある”介護者が67.3%で、“介護している家族が交流したり、情報交換する場所がない”、“身体的な負担が大きい”、“感染症への対応がわからない”介護者が5割台となっている。就業している介護者は“仕事との両立が難しい”介護者の割合が8割を占めて高くなっている。(A図52[50]-h)

【A図52[50]-h 介護者の就業状況（自宅での介護で困っていること別）】



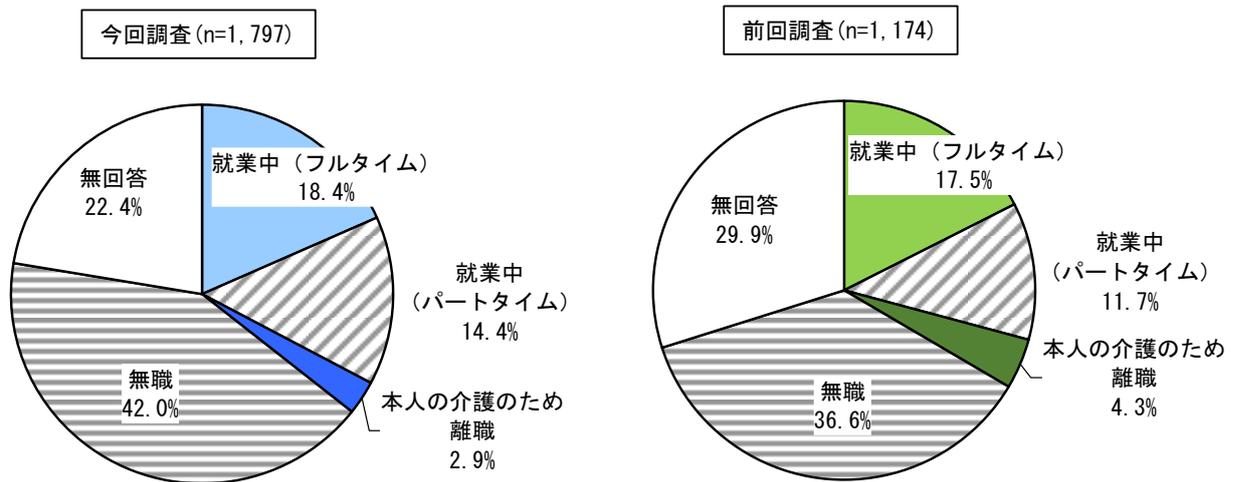
【介護者調査 編】

サービス未利用者の介護者の就業状況については、「無職」が42.0%で最も多く、次いで「就業者（フルタイム）」が18.4%、「就業者（パートタイム）」が14.4%となっている。また、「本人の介護のため離職」は2.9%となっている。

前回調査と比較すると、「無職」が最も多い傾向は変わらない。（B図52[50]）

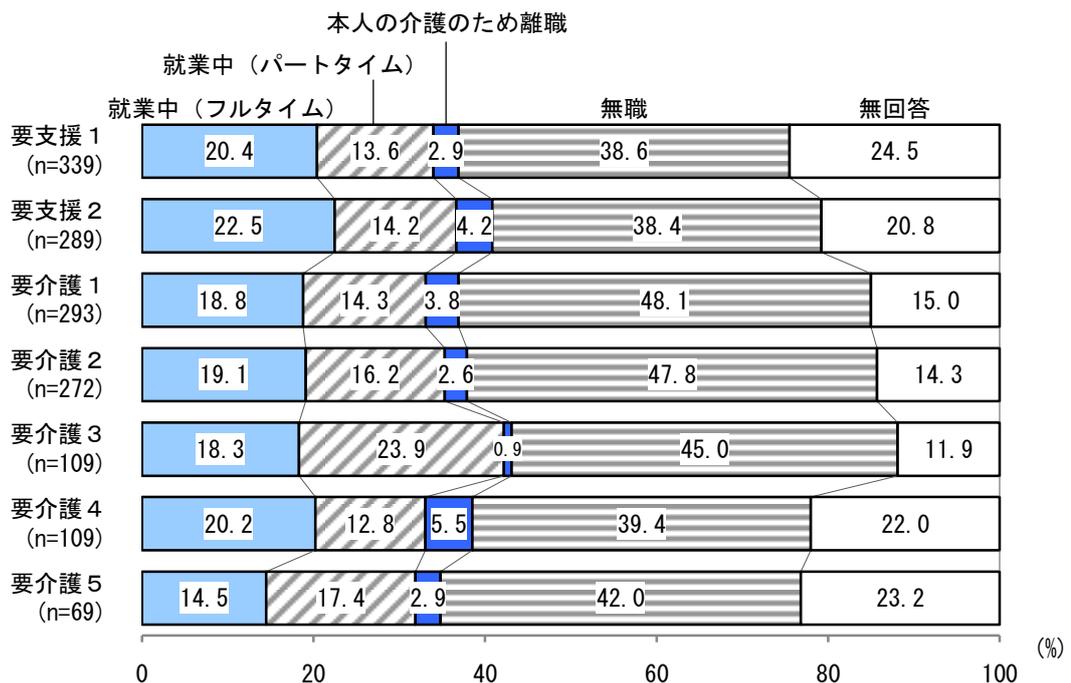
< B. サービス未利用者 >

【B図52[50] 介護者の就業状況（経年比較）】



本人の要介護度別で見ると、本人の要介護度にかかわらず、介護者は「無職」が最も多くなっている。就業している介護者の割合では、要介護3を介護している人で4割台となっている。また、要介護4では「本人の介護のため離職」が5.5%と他の要介護度に比べて高い割合になっている。（B図52[50]-a）

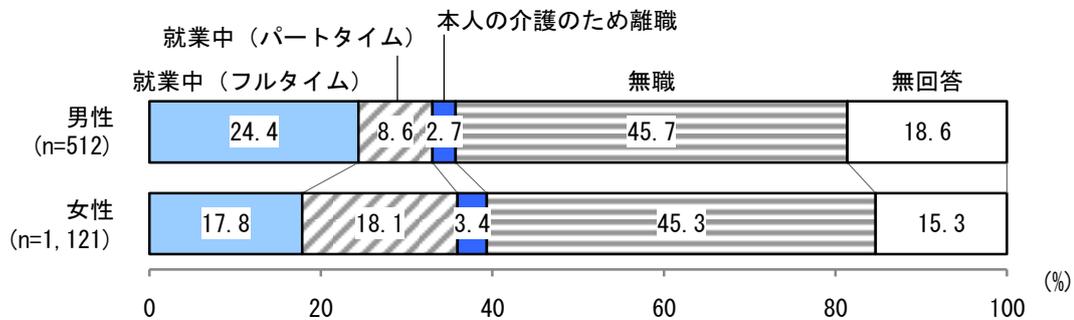
【B図52[50]-a 介護者の就業状況（本人の要介護度別）】



【介護者調査 編】

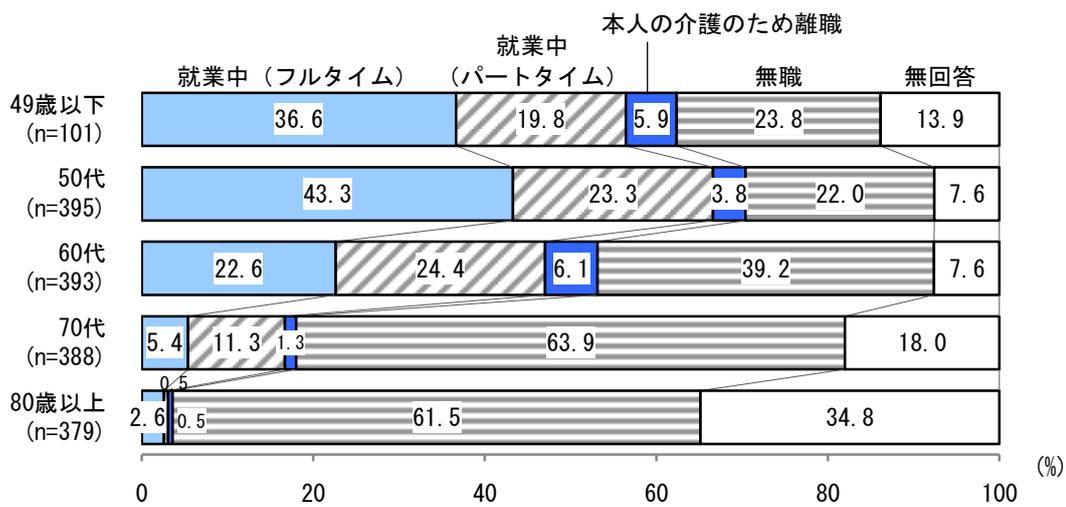
介護者の性別でみると、男女とも「無職」が4割台で最も多くなっている。就業している介護者では、男女とも3割台を占めているが、男性（33.0%）より女性（35.9%）のほうが2.9ポイント高い割合になっている。（B図52[50]-b）

【B図52[50]-b 介護者の就業状況（介護者の性別）】



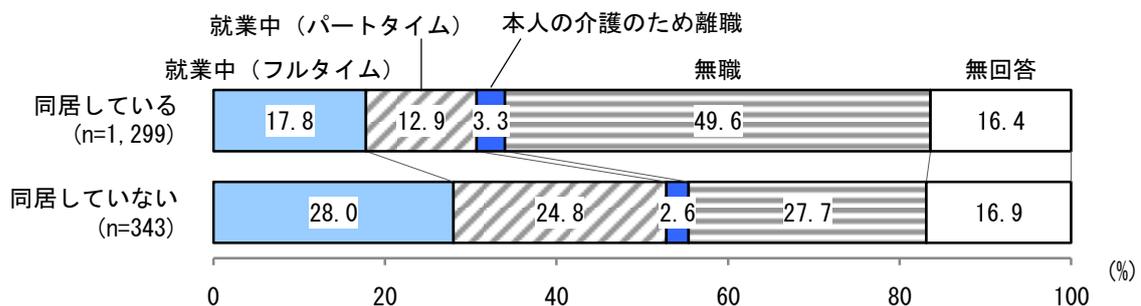
介護者の年齢別でみると、50代以下の介護者は「就業中（フルタイム）」が4割前後を占め、就業している介護者の割合が過半数を占めている。60代以上の介護者は「無職」が最も多く、高齢になるほど割合が高くなっている。（B図52[50]-c）

【B図52[50]-c 介護者の就業状況（介護者の年齢別）】



本人との同居の有無別でみると、同居している介護者は「無職」が49.6%で最も多く、就業している割合は30.7%となっている。同居していない介護者は「就業中（フルタイム）」が28.0%で最も多く、就業している割合は52.8%となっている。（B図52[50]-d）

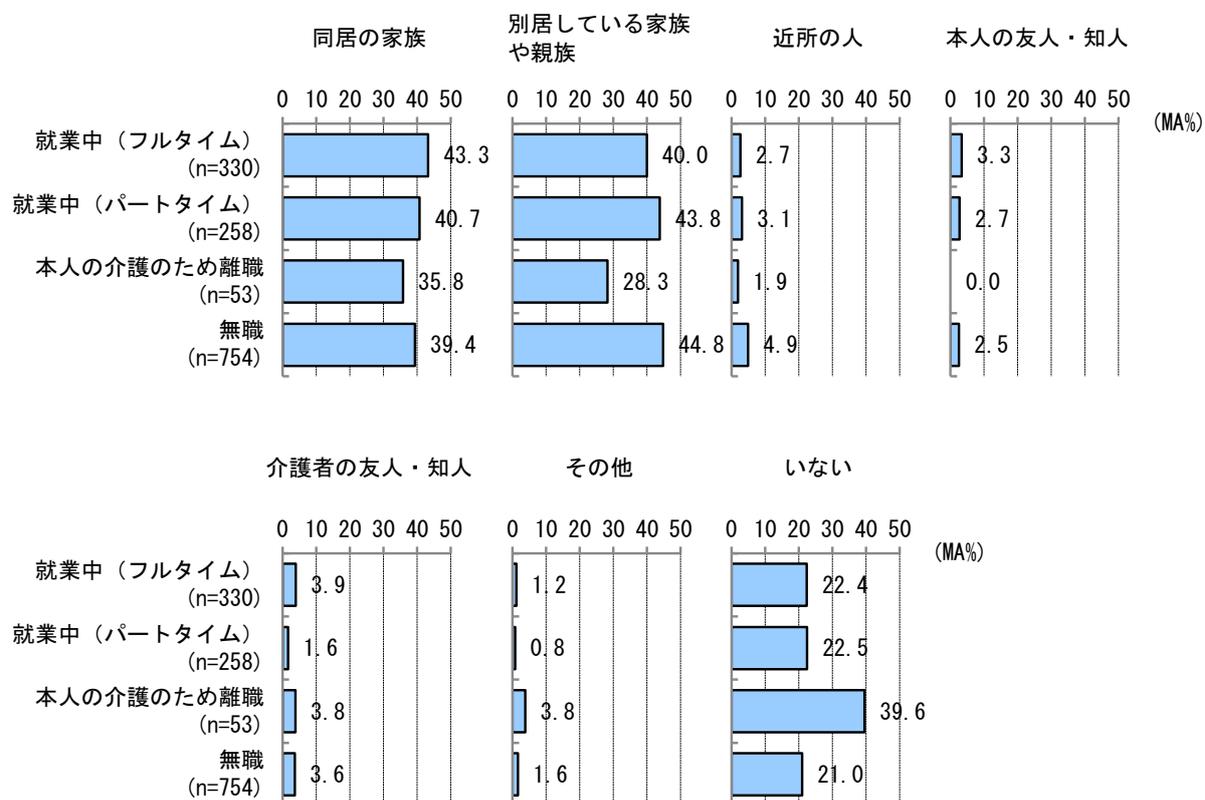
【B図52[50]-d 介護者の就業状況（本人との同居の有無別）】



【介護者調査 編】

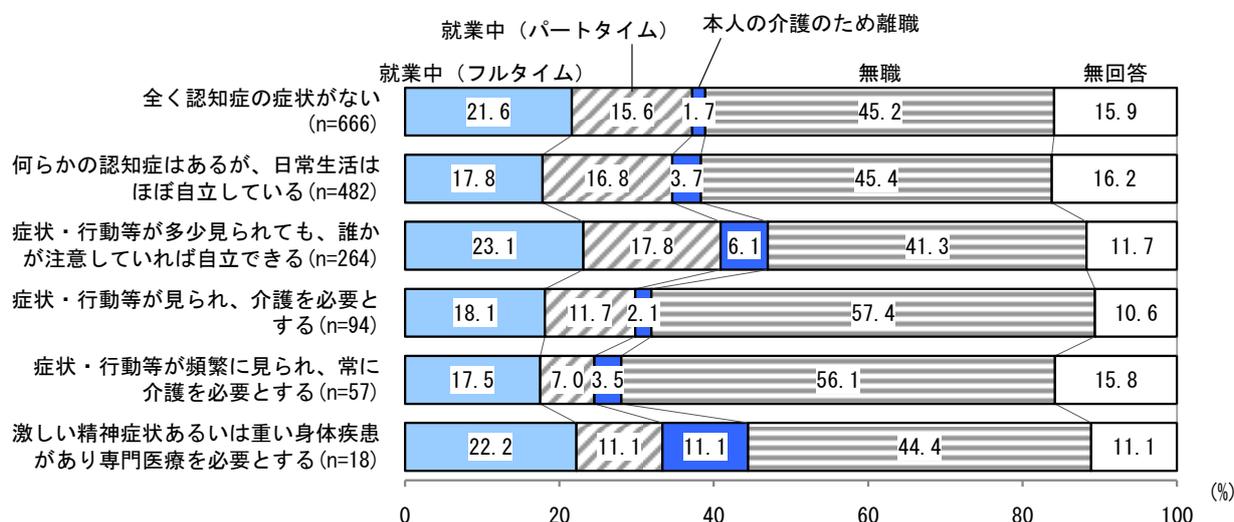
介護を手助けしてくれる人の有無を、介護者の就業状況別で見ると、フルタイムで就業している介護者は「同居の家族」が43.3%で最も多く、パートタイムで就業している人や無職の人では「別居している家族や親族」が最も多く、4割台を占めている。一方、離職した人では「いない」が39.6%で最も多くなっている。(B図52[50]-e)

【B図52[50]-e 介護を手助けしてくれる人の有無（介護者の就業状況別）】



本人の認知症の程度別で見ると、認知症の程度にかかわらず、介護者は「無職」が最も多くなっている。(B図52[50]-f)

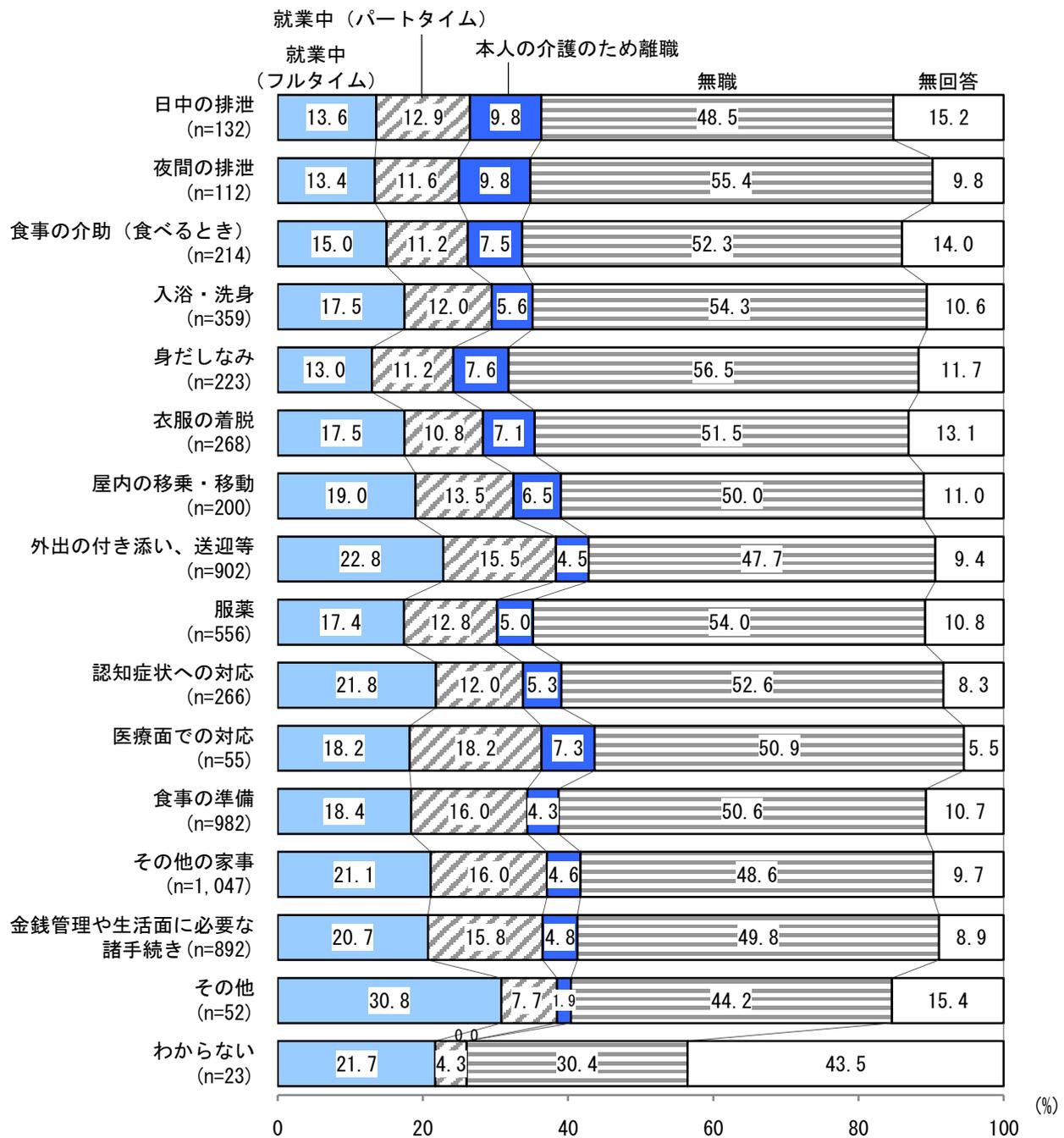
【B図52[50]-f 介護者の就業状況（本人の認知症の程度別）】



【介護者調査 編】

本人に行っている介護内容別で見ると、介護内容にかかわらず、介護者は「無職」が最も多くなっている。「本人の介護のため離職」では、“日中の排泄”及び“夜間の排泄”の介助をしている介護者がともに9.8%で最も高くなっている。(B図52[50]-g)

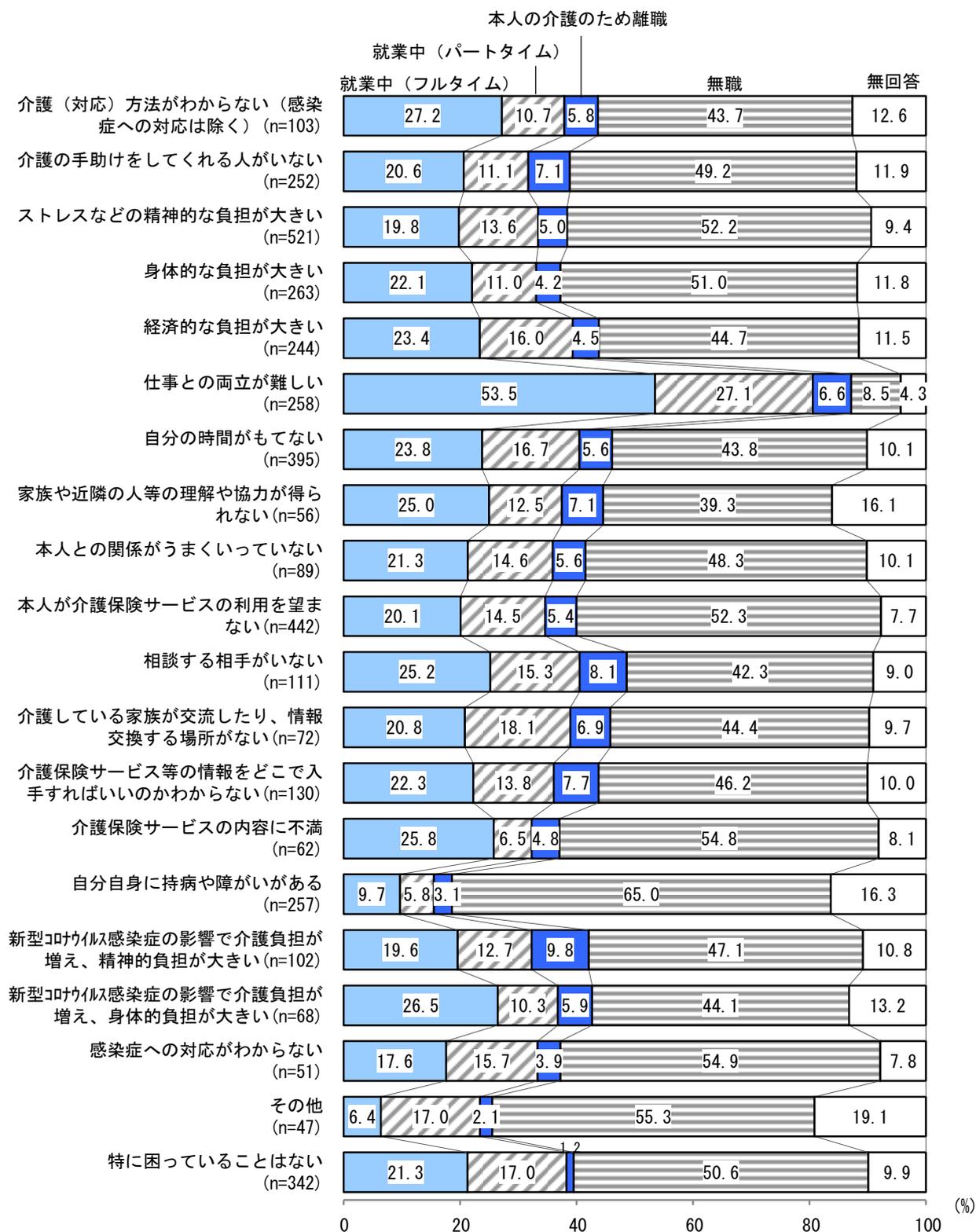
【B図52[50]-g 介護者の就業状況（本人に行っている介護内容別）】



【介護者調査 編】

自宅での介護で困っていること別でみると、「無職」は、「自分自身に持病や障がいがある」介護者が65.0%で最も高くなっている。就業している介護者は「仕事との両立が難しい」介護者の割合が80.6%を占めて最も高くなっている。(B図52[50]-h)

【B図52[50]-h 介護者の就業状況（自宅での介護で困っていること別）】



### 問52-1[50-1] 介護をするにあたって行っている働き方の調整

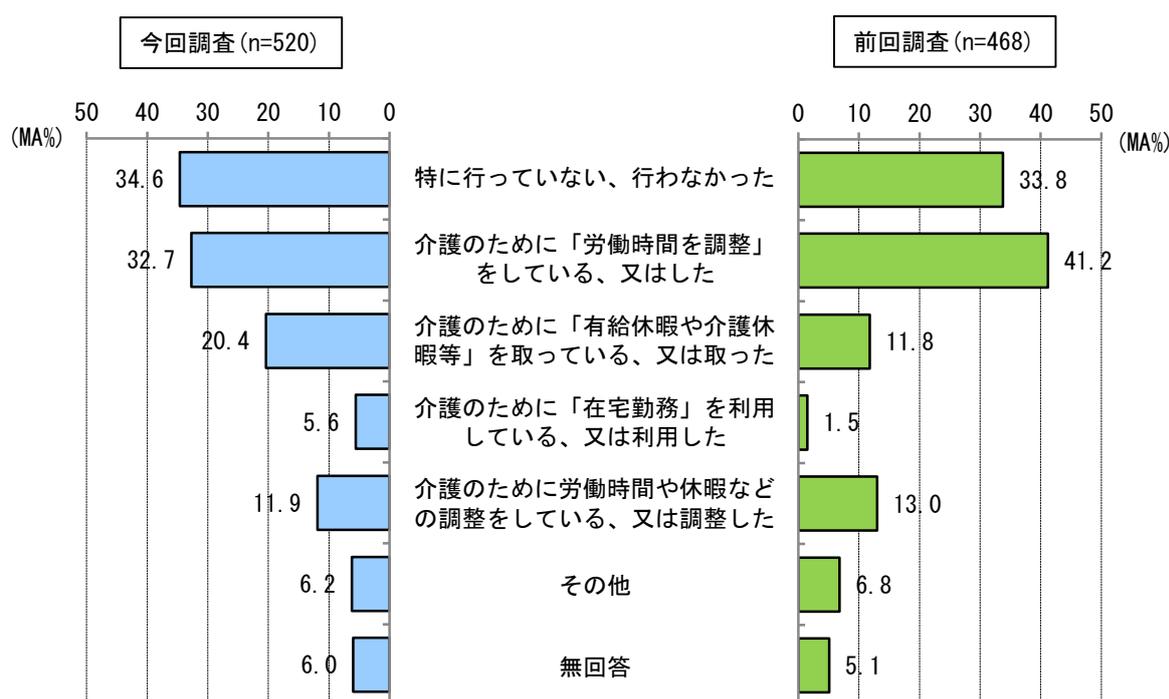
問52-1[50-1]は、問52[50]で「1 就業中（フルタイム）」、「2 就業中（パートタイム）」、「3 本人の介護のため離職」と回答された方のみお答えください。  
 あなたは、介護をするにあたって、何か働き方についての調整等をしていますか、または、していましたか。（〇はいくつでも）

サービス利用者の介護をするにあたって行っている働き方の調整については、「特に行っていない、行わなかった」が34.6%で最も多く、次いで「介護のために「労働時間を調整」をしている、又はした」が32.7%、「介護のために「有給休暇や介護休暇等」を取っている、又は取った」が20.4%となっている。

前回調査と比較すると、「介護のために「労働時間を調整」をしている、又はした」が8.5ポイント低く、「介護のために「有給休暇や介護休暇等」を取っている、又は取った」の割合が8.6ポイント高くなっている。（A図52-1[50-1]）

#### < A. サービス利用者 >

【A図52-1[50-1] 介護をするにあたって行っている働き方の調整（経年比較）】



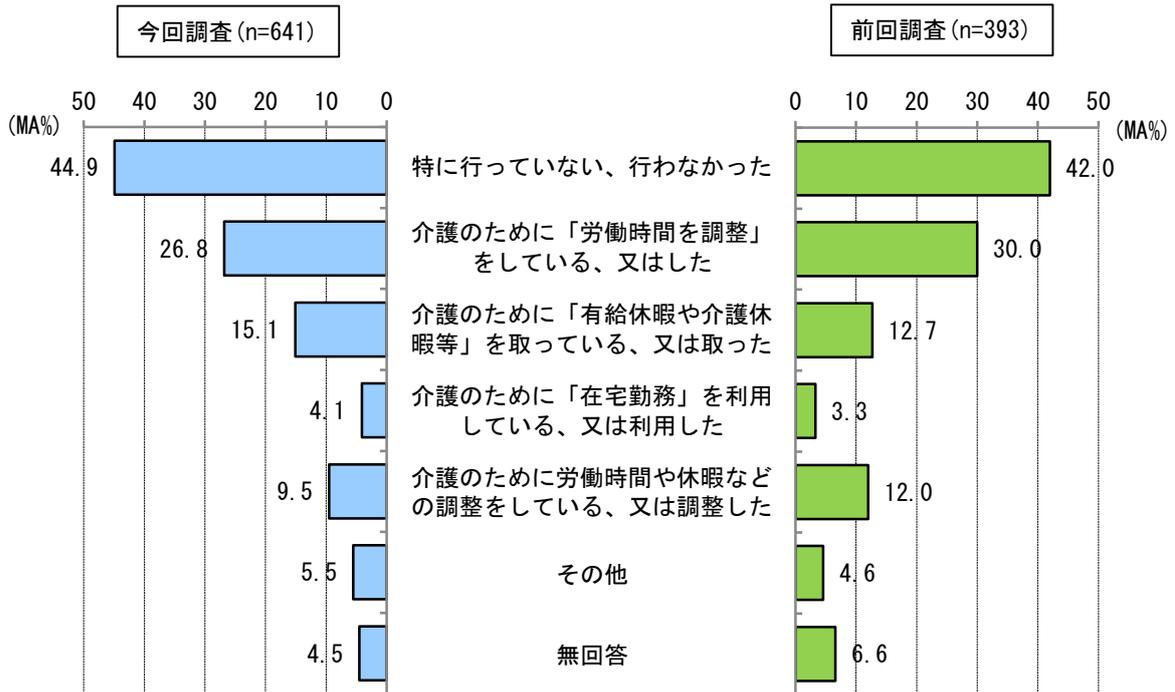
【介護者調査 編】

サービス未利用者の介護をするにあたって行っている働き方の調整については、「特に行っていない、行わなかった」が44.9%で最も多く、次いで「介護のために「労働時間を調整」をしている、又はした」が26.8%、「介護のために「有給休暇や介護休暇等」を取っている、又は取った」が15.1%となっている。

前回調査と比較すると、概ね前回と同様の傾向となっている。(B図52-1[50-1])

<B. サービス未利用者>

【B図52-1[50-1] 介護をするにあたって行っている働き方の調整（経年比較）】



## 問52-2[50-2] 働きながら介護を続けることの意向

問52-2[50-2]は、問52[50]で「1 就業中（フルタイム）」、「2 就業中（パートタイム）」と回答された方のみお答えください。

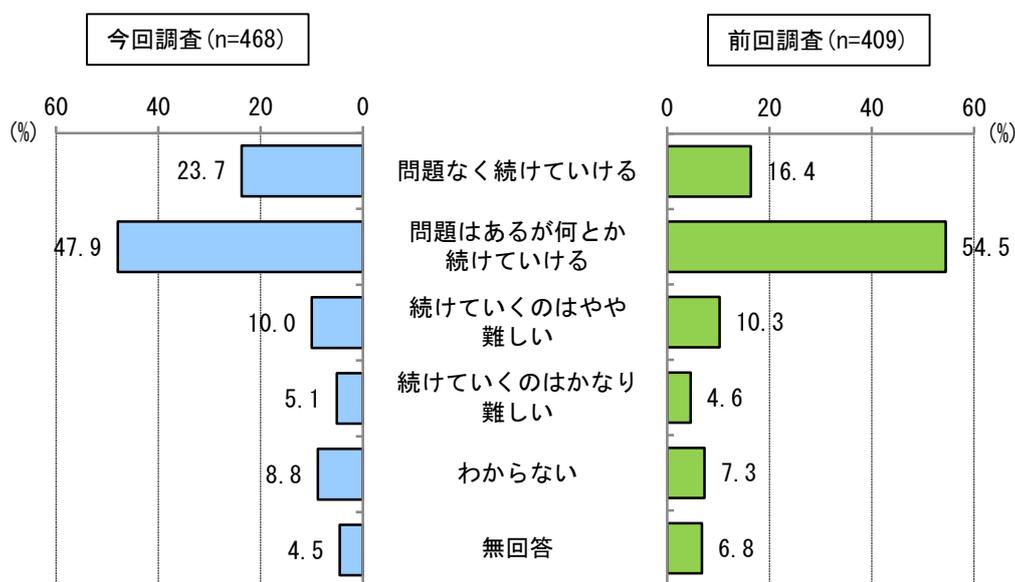
あなたは、今後も働きながら介護を続けていけそうですか。（○はひとつ）

就業中の介護者に、働きながらサービス利用者の介護を続けていけそうかをたずねると、「問題はあるが何とか続けていける」が47.9%で最も多く、次いで「問題なく続けていける」が23.7%、「続けていくのはやや難しい」が10.0%となっている。

前回調査と比較すると、「問題なく続けていける」の割合が7.3ポイント高くなっている。（A図52-2[50-2]）

### < A. サービス利用者 >

【A図52-2[50-2] 働きながら介護を続けることの意向（経年比較）】



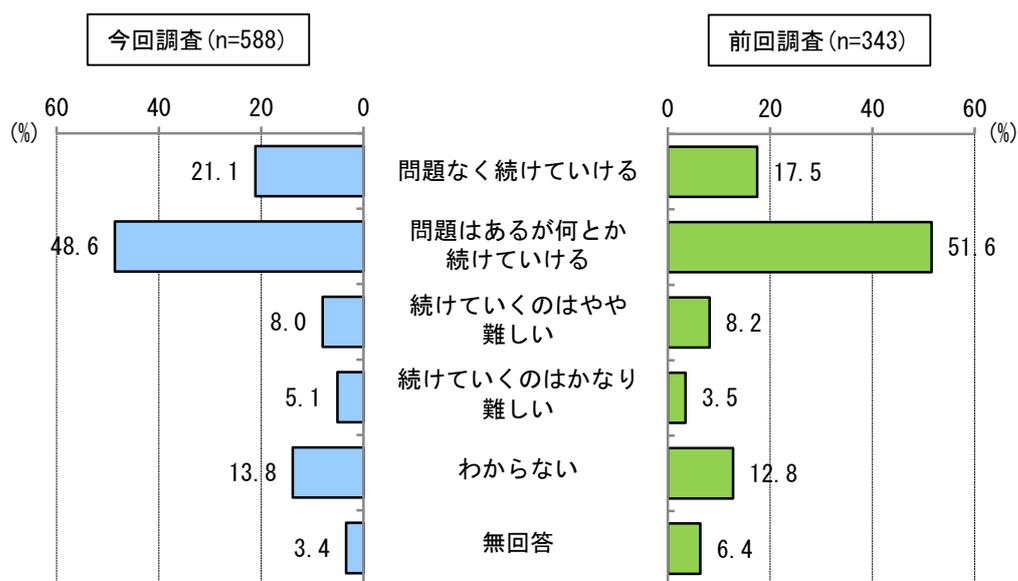
【介護者調査 編】

就業中の介護者に、働きながらサービス未利用者の介護を続けていけそうかをたずねると、「問題はあるが何とか続けていける」が48.6%で最も多く、次いで「問題なく続けていける」が21.1%、「続けていくのはやや難しい」が8.0%となっている。

前回調査と比較すると、概ね前回と同様の傾向となっている。(B図52-2[50-2])

< B. サービス未利用者 >

【B図52-2[50-2] 働きながら介護を続けることの意向（経年比較）】



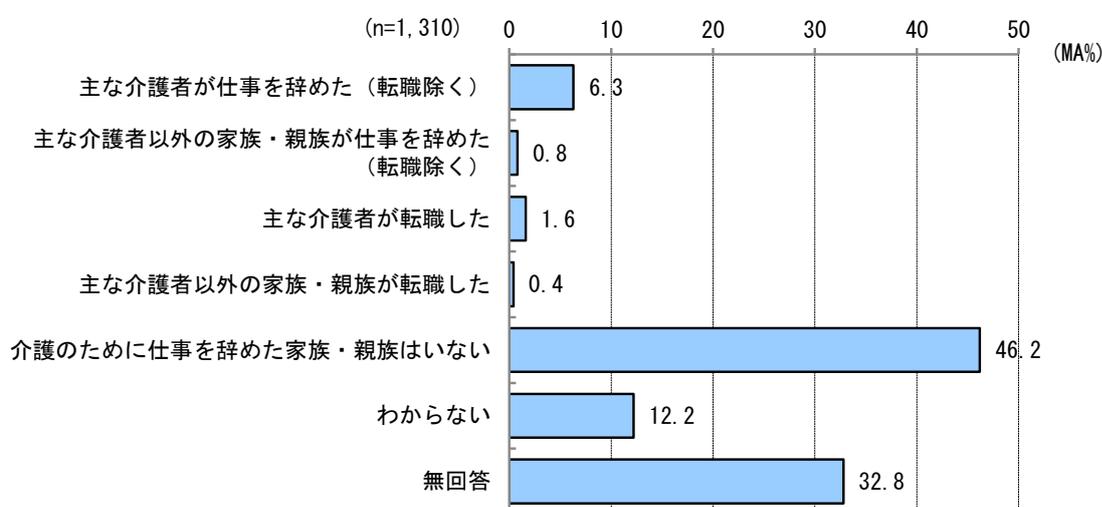
### 問53[51] 介護を理由に仕事を辞めた人の有無

本人（要介護者）のご家族やご親族の中で、本人の介護を主な理由として、過去1年間に仕事を辞めた方はいますか。（フルタイム・パートタイマー等の勤務形態は問いません。また、その後再就職等により現在は働いているという方であってもご回答ください。）（○はいくつでも）

サービス利用者の介護を理由に仕事を辞めた人の有無については、「介護のために仕事を辞めた家族・親族はいない」が46.2%で最も多く、次いで「主な介護者が仕事を辞めた（転職除く）」が6.3%となっている。（A図53[51]）

#### < A. サービス利用者 >

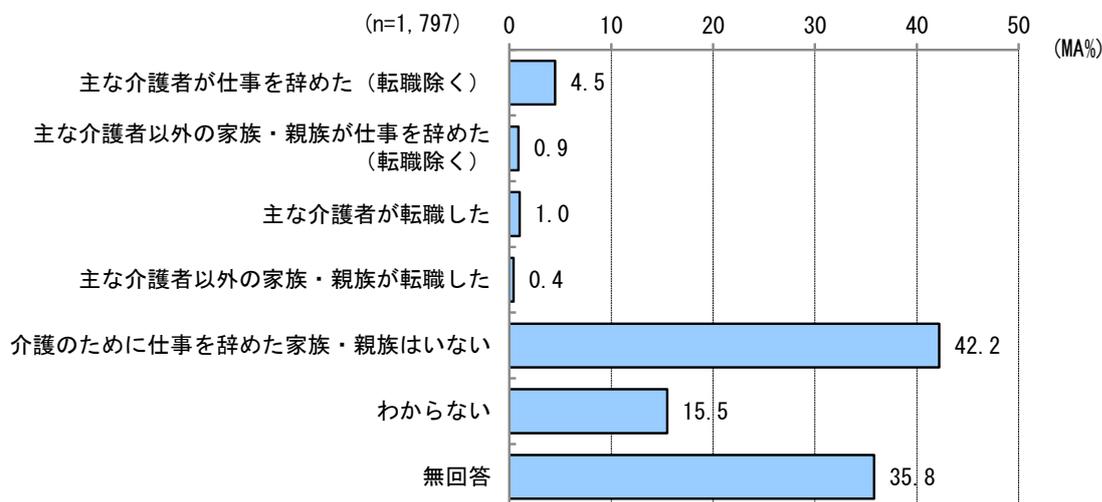
【A図53[51] 介護を理由に仕事を辞めた人の有無】



サービス未利用者の介護を理由に仕事を辞めた人の有無については、「介護のために仕事を辞めた家族・親族はいない」が42.2%で最も多く、次いで「主な介護者が仕事を辞めた（転職除く）」が4.5%となっている。（B図53[51]）

#### < B. サービス未利用者 >

【B図53[51] 介護を理由に仕事を辞めた人の有無】



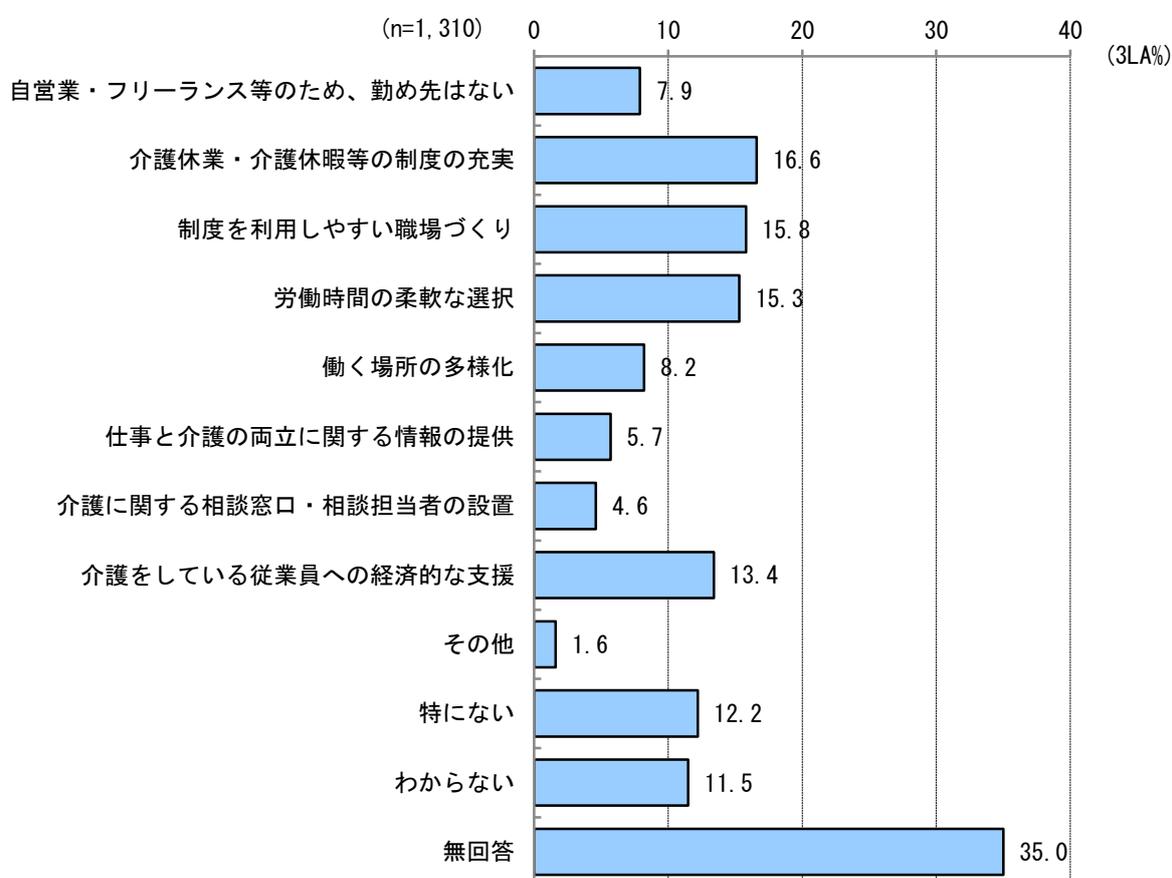
### 問54[52] 仕事と介護の両立に効果があると思われる勤め先からの支援

あなたは勤め先からどのような支援があれば、仕事と介護の両立に効果があると思われますか。(〇は3つまで)

サービス利用者の介護者の仕事と介護の両立に効果のある勤め先からの支援については、「介護休業・介護休暇等の制度の充実」が16.6%で最も多く、次いで「制度を利用しやすい職場づくり」が15.8%、「労働時間の柔軟な選択」が15.3%となっている。(A図54[52])

#### <A. サービス利用者>

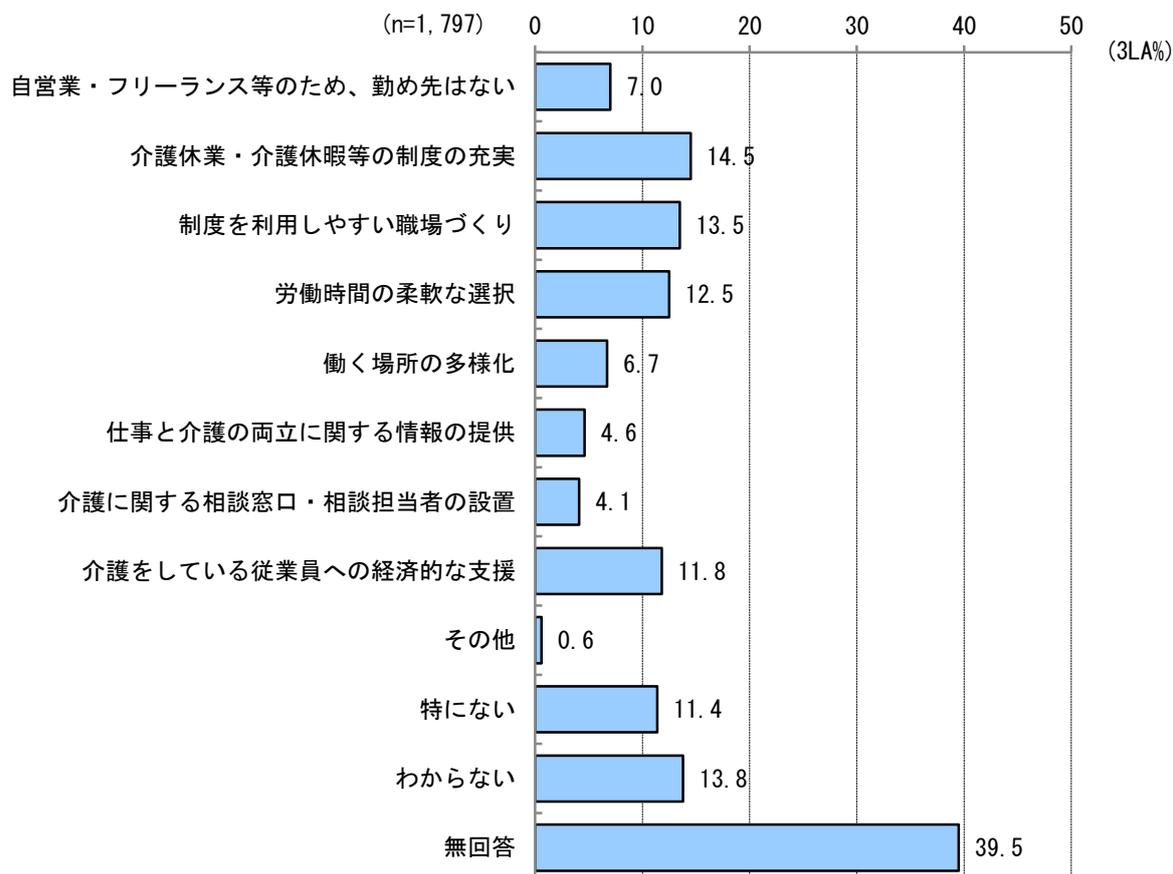
【A図54[52] 仕事と介護の両立に効果があると思われる勤め先からの支援】



サービス未利用者の介護者の仕事と介護の両立に効果のある勤め先からの支援については、「介護休業・介護休暇等の制度の充実」が14.5%で最も多く、次いで「制度を利用しやすい職場づくり」が13.5%、「労働時間の柔軟な選択」が12.5%となっている。(B図54[52])

<B. サービス未利用者>

【B図54[52] 仕事と介護の両立に効果があると思われる勤め先からの支援】



### 問55[53] 現在の生活を継続していくにあたって不安に感じる介護

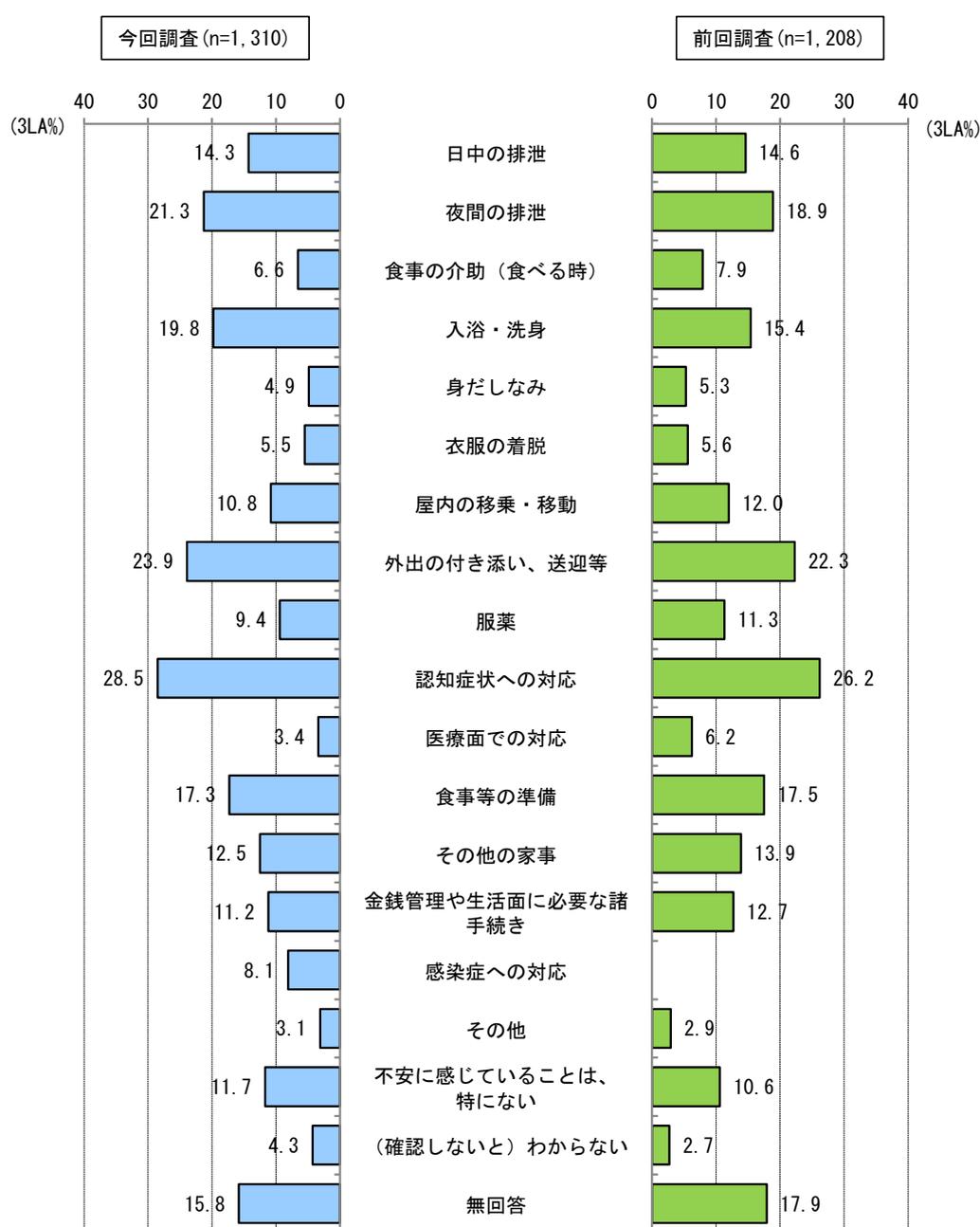
現在の生活を継続していくにあたって、あなたが不安に感じる介護等がありますか。(現状で行っているか否かは問いません) (○は3つまで)

現在の生活を継続していくにあたって不安に感じるサービス利用者本人への介護については、「認知症状への対応」が28.5%で最も多く、次いで「外出の付き添い、送迎等」が23.9%、「夜間の排泄」が21.3%となっている。

前回調査と比較すると、概ね前回と同様の傾向となっている。(A図55[53])

#### < A. サービス利用者 >

【A図55[53] 現在の生活を継続していくにあたって不安に感じる介護 (経年比較)】



※「感染症への対応」は、今回調査の新規項目である。

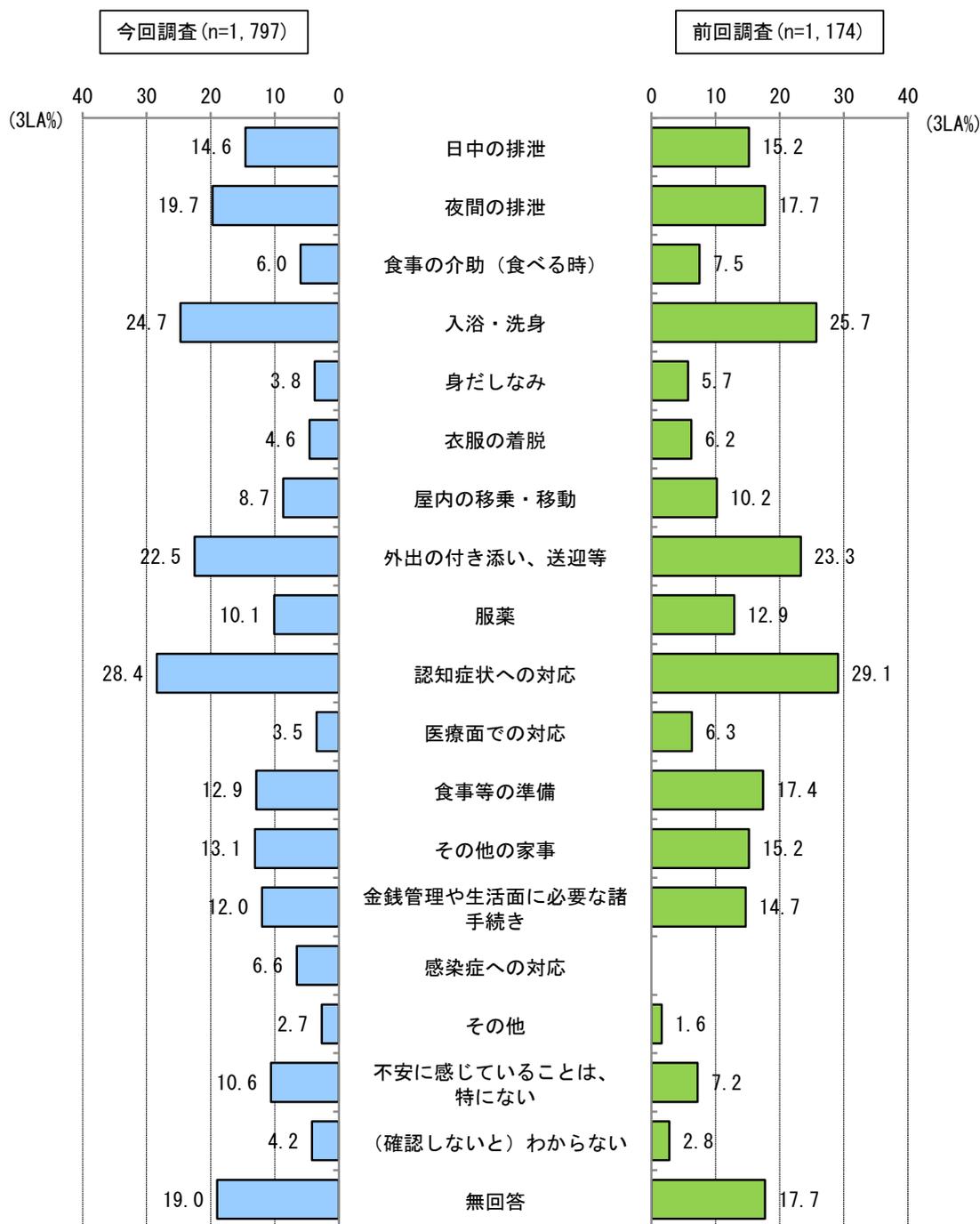
【介護者調査 編】

現在の生活を継続していくにあたって不安に感じるサービス未利用者本人への介護については、「認知症状への対応」が28.4%で最も多く、次いで「入浴・洗身」が24.7%、「外出の付き添い、送迎等」が22.5%となっている。

前回調査と比較すると、概ね前回と同様の傾向となっている。(B図55[53])

<B. サービス未利用者>

【B図55[53] 現在の生活を継続していくにあたって不安に感じる介護（経年比較）】



※「感染症への対応」は、今回調査の新規項目である。

### 問56[54] 相談窓口の利用状況

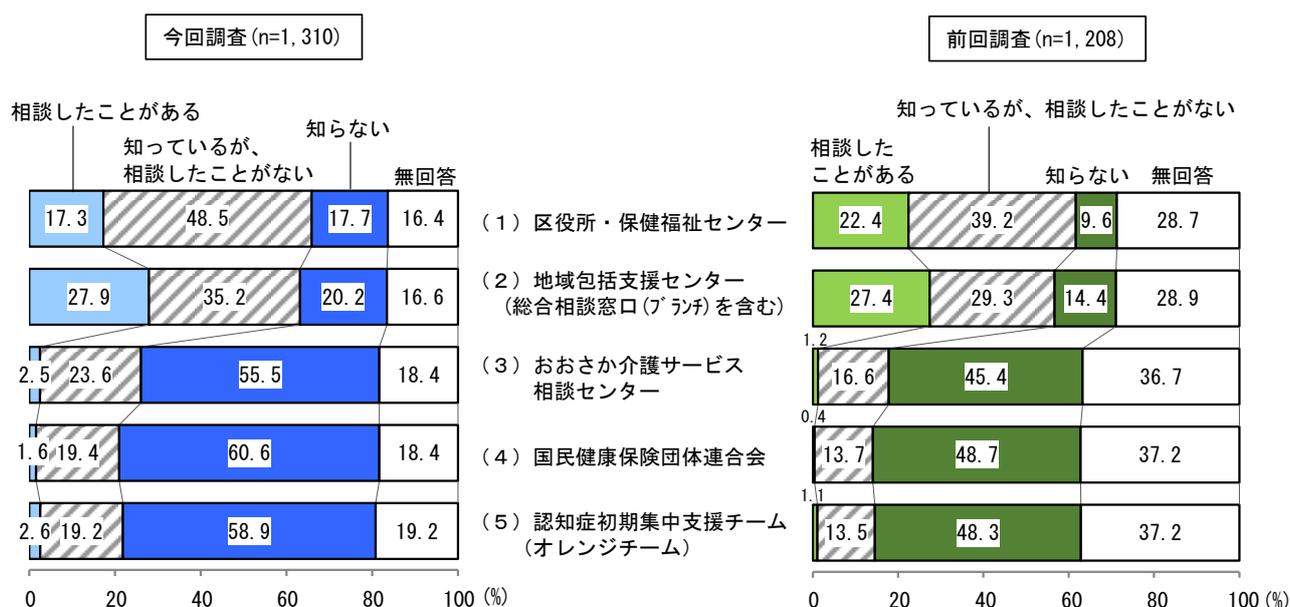
次の相談窓口等について、利用したことがありますか。(1)～(5)の相談窓口の利用状況について、あてはまる番号に○をつけてください。(それぞれ○はひとつ)

サービス利用者の介護者の相談窓口の利用状況については、“(1) 区役所・保健福祉センター”、“(2) 地域包括支援センター（総合相談窓口（ブランチ）を含む）”は「知っているが、相談したことがない」が多く、“(3) おおさか介護サービス相談センター”、“(4) 国民健康保険団体連合会”、“(5) 認知症初期集中支援チーム（オレンジチーム）”は「知らない」が最も多くなっている。

前回調査と比較すると、“(1) 区役所・保健福祉センター”の「知っているが、相談したことがない」の割合が9.3ポイント高くなっている。(A図56[54])

#### < A. サービス利用者 >

【A図56[54] 相談窓口の利用状況（経年比較）】

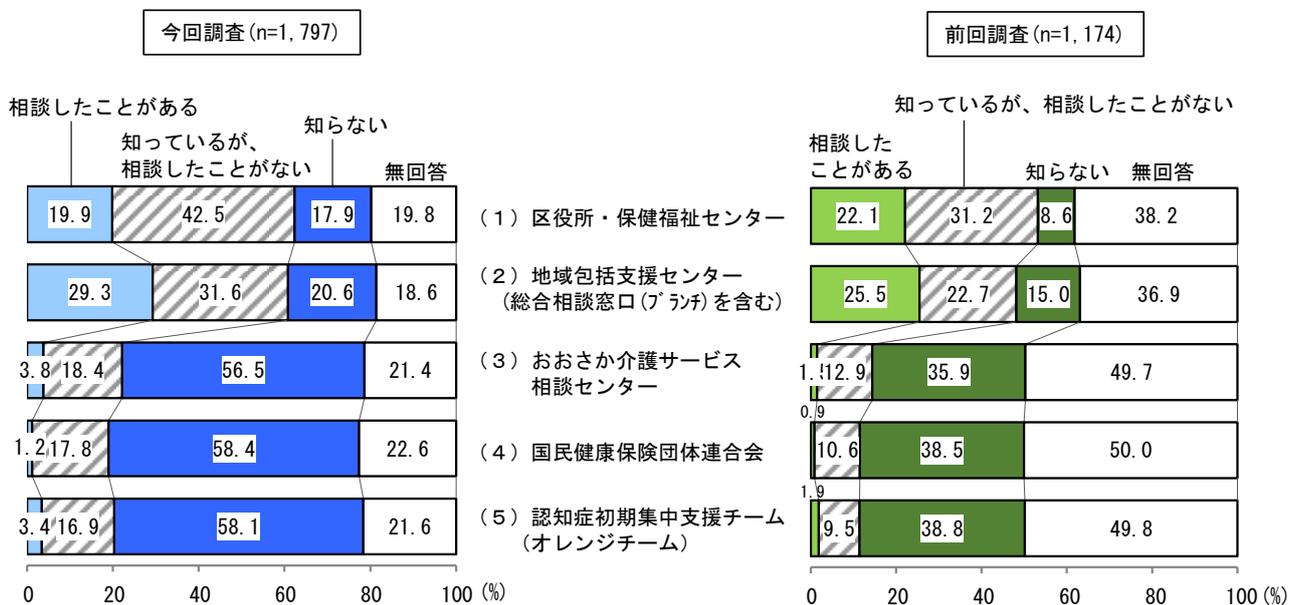


サービス未利用者の介護者の相談窓口の利用状況については、“(1) 区役所・保健福祉センター”、“(2) 地域包括支援センター（総合相談窓口（ブランチ）を含む）”は「知っているが、相談したことがない」が最も多く、“(3) おおさか介護サービス相談センター”、“(4) 国民健康保険団体連合会”、“(5) 認知症初期集中支援チーム（オレンジチーム）”は「知らない」が最も多くなっている。

前回調査と比較すると、“(1) 区役所・保健福祉センター”の「知っているが、相談したことがない」の割合が11.3ポイント高くなっている。また、“(3) おおさか介護サービス相談センター”、“(4) 国民健康保険団体連合会”、“(5) 認知症初期集中支援チーム（オレンジチーム）”の「知らない」の割合がいずれも2割程度高くなっている。（B図56[54]）

< B. サービス未利用者 >

【B図56[54] 相談窓口の利用状況（経年比較）】



### 問56-1[54-1] 自宅での介護で困った時の相談先

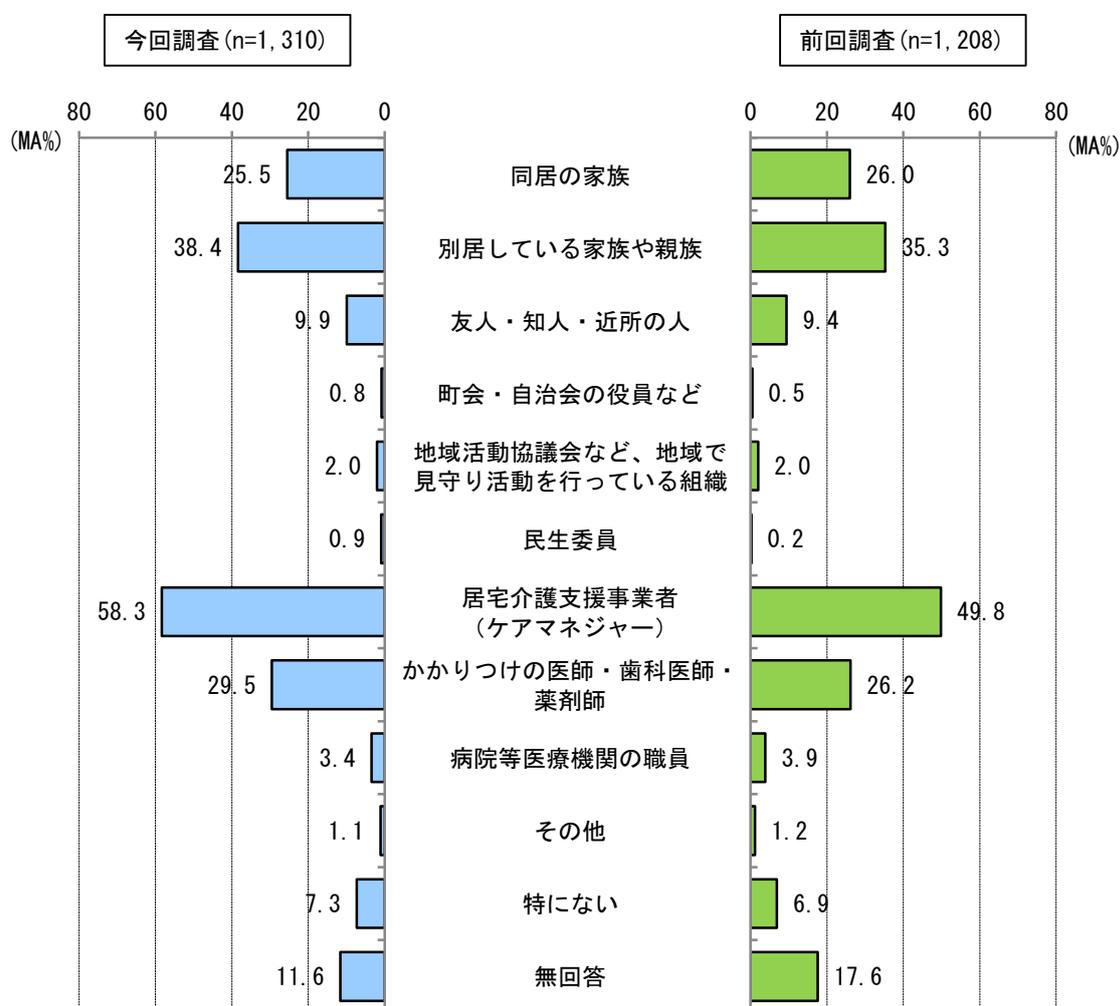
問56[54]の相談窓口以外で、主な介護者が、自宅での介護を行ううえで困った時はどちらに相談していますか。(〇はいくつでも)

自宅でのサービス利用者の介護で困った時の相談先については、「居宅介護支援事業者(ケアマネジャー)」が58.3%で最も多く、次いで「別居している家族や親族」が38.4%、「かかりつけの医師・歯科医師・薬剤師」が29.5%となっている。

前回調査と比較すると、「居宅介護支援事業者(ケアマネジャー)」の割合が8.5ポイント高くなっている。(A図56-1[54-1])

#### <A. サービス利用者>

【A図56-1[54-1] 自宅での介護で困った時の相談先(経年比較)】

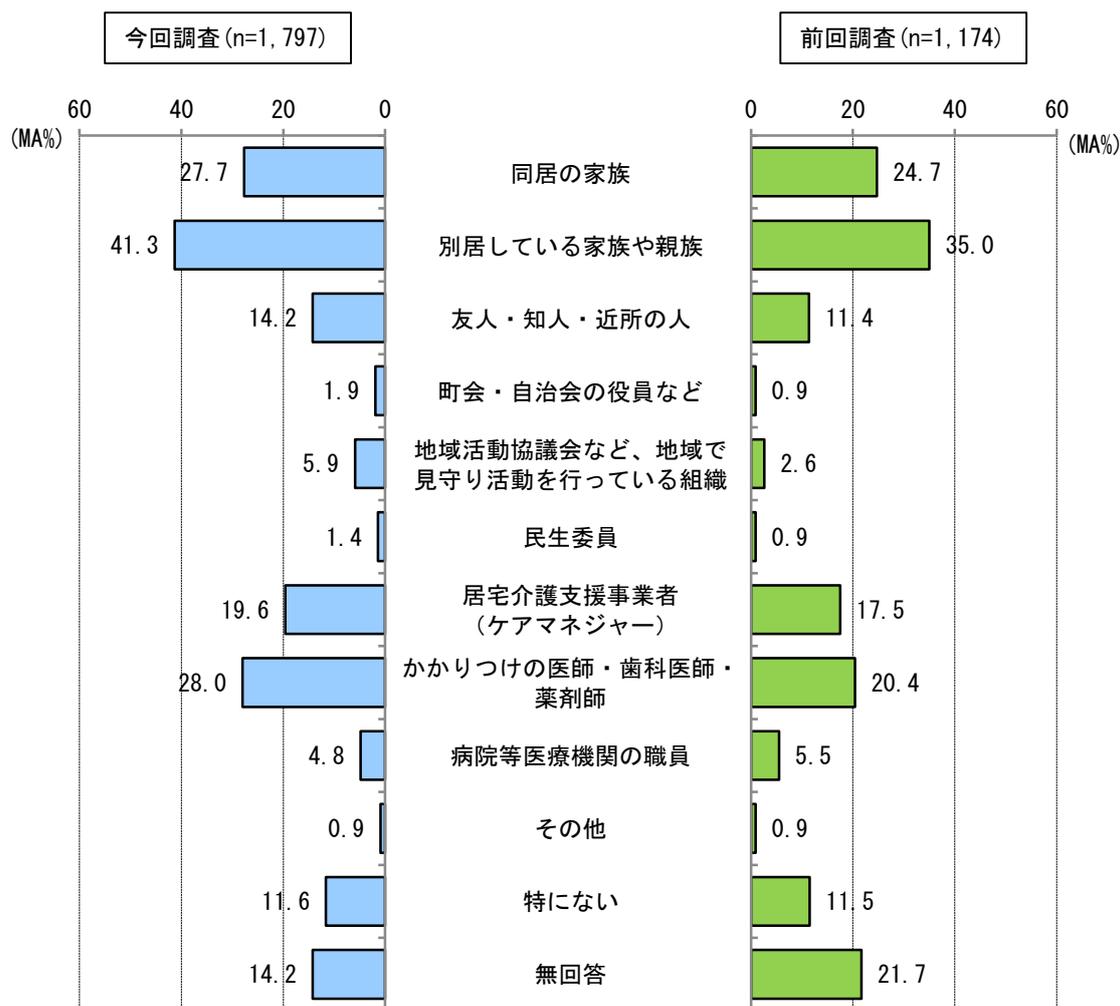


自宅でのサービス未利用者の介護で困った時の相談先については、「別居している家族や親族」が41.3%で最も多く、次いで「かかりつけの医師・歯科医師・薬剤師」が28.0%、「同居の家族」が27.7%となっている。

前回調査と比較すると、「かかりつけの医師・歯科医師・薬剤師」の割合が7.6ポイント高くなっている。(B図56-1[54-1])

<B. サービス未利用者>

【B図56-1[54-1] 自宅での介護で困った時の相談先（経年比較）】



## (5) 介護保険制度についての意見・要望等

### 問57[55] 介護保険制度について、介護者としてのご意見・ご要望等（自由記述）

介護保険制度について、介護者としてご意見・ご要望等がありましたら次の欄に記入してください。

#### <A. サービス利用者>

182人から意見があり、延べ201件の回答が挙がっている。主な意見は次のとおり。

#### 【主な意見】

##### 《介護保険制度、制度についての要望・不満》(37件)

- ・介護保険は実際利用する段階でないと手続きや利用範囲の内容はあいまいで、分かりづらいところもある。
- ・介護保険の使い方をもっと分かりやすくしてほしい。
- ・とにかく不正をなくしてほしい。
- ・介護保険制度はありがたいです。

##### 《介護保険料、介護保険サービス利用料、経済的不安》(30件)

- ・利用者負担の2割は不満。
- ・金銭的に受けられないサービスが出てくると思う。
- ・利用者負担が少しずつ増えてきている。
- ・オムツ代を支給してほしい。
- ・経済的な理由で施設に入所出来ない。

##### 《施設サービス、介護サービスの充実》(29件)

- ・介護保険サービスに制限が多過ぎる。
- ・夜も介護サービスを利用できるようになると助かる。
- ・介護保険制度から、紙おむつや尿パンツを提供してほしい。
- ・緊急時に利用できるショートステイの施設の充実を希望する。
- ・障がい者が利用しているような移動支援や同行支援が介護保険でも利用できたらよいと思う。

##### 《要介護認定》(20件)

- ・認定調査員の方によって認定度が大きく違う。
- ・要介護度の認定調査が厳しすぎる。
- ・認定調査の結果が出るのが遅い。
- ・問題行動があり、自由に動ける認知症の介護は大変なのに、自由に動けるだけで介護度は低く認定され、全く現実に沿っていない。

##### 《自宅介護、家族介護者、老々介護》(16件)

- ・介護をしている本人が要介護者のため、介護をする上で不安が大きい。
- ・同居、仕事をしている家族への支援、仕事を離職しなくてよい支援をお願いしたい。
- ・私に何かあった場合に介護をする人がいないことに対し不安がある。

##### 《訪問介護（ヘルパー）、ケアマネ、介護スタッフ》(14件)

- ・制度がよくわからないため、ケアマネまかせになっているが。そのケアマネもころころ変わるので不安。デイサービスの事業所等の情報も少ない。

- 
- ・介護に関わっている人たちの給料が安すぎる。

《相談》(7件)

- ・ケアマネジャーには、どこまで相談したらいいのかわからない。
- ・相談窓口を一覧にしたものを作成、配布して欲しい。
- ・窓口の存在を知っていても相談しにくい。
- ・土日、夜間等に気軽に相談(医療含む)できるところがほしい。

《その他》(48件)

- ・役に立っているので今のままでいい。
  - ・コロナ対応も大切だが、人と集う機会、楽しむ機会や場が増えてくれることを期待している。
- 

<B. サービス未利用者>

---

250人から意見があり、延べ276件の回答が挙がっている。主な意見は次のとおり。

【主な意見】

《介護保険料、介護保険サービス利用料、経済的不安》(51件)

- ・保険料が高すぎる。
- ・介護保険サービス利用者負担が高いため利用できない。
- ・経済的な支援があると良いと思う。
- ・制度を利用しない人へ返金してほしい。

《施設サービス、介護サービスの充実》(39件)

- ・特養のような、安い費用で、介護度が低くても入居できる施設が増えるといい。
- ・要介護2では利用できる介護サービスに制限がある。移動時のタクシー補助、補助車、車椅子などの介護用品の割引など、利用できる介護サービスを充実して欲しい。
- ・介護タクシーの料金を安くしてほしい。
- ・施設に入りやすくしてほしい。
- ・昼間独居の家族が安心して働くことができるサービスを考えてほしい。

《介護保険制度、制度についての要望・不満》(38件)

- ・マイナンバーカードを活用して、本人や家族の手続きの負担は減らすべき。
- ・近所で利用できる事業所をわかりやすく記載されている一覧があればいい。
- ・どんな介護を受けられるのかわからない。
- ・介護保険の財政状態や将来の制度に不安。
- ・申請、手続き等をもっと分かりやすく簡単にしてほしい。

《自宅介護、家族介護者、老々介護》(19件)

- ・現在は工夫しながら介護しており、出来る限り今の状態を続けたい。
- ・家族は自分の時間がもてない。老々介護となっている。
- ・要介護者本人は、家族以外の者に世話はしてほしいという。

《相談》(19件)

- ・困った時に相談する所がわからない。
  - ・地域包括支援センターで定期的な相談をお願いしたい。(相談が自宅でできるように)
-

---

てほしい)

- ・相談窓口の連絡先の一覧表や各手続き等の説明書を、"介護保険被保険者証"送付の際に同封してほしい。

《訪問介護（ヘルパー）、ケアマネ、介護スタッフ》（15件）

- ・サービスを利用していない場合であっても必ずケアマネさんを付けて、訪問してほしい。
- ・ケアマネジャー選びの時、どのような分野に強いのか、資格等の一覧表があるとわかりやすい。
- ・ケアマネジャーと会う時間がない。

《要介護認定》（13件）

- ・介護認定は、身体機能も大事だが、認知レベルをもっと考慮してほしい。
- ・介護保険認定調査を早く行ってほしい。調査員の方の人数を増やすなど早く対策してほしい。

《その他》（82件）

- ・オムツ補助の件ですが、6月に主人が脳こうそくになり「入院中のオムツ補助は受けられない!」との事。あくまでも、自宅介護のみという返答。同じ人間が入院中はダメで自宅介護は○というのに疑問を感じた。負担が大きい。
  - ・大阪市は介護保険サービスが充実していると思った。他県の地方都市で介護保険を使っていたが通院、お風呂の介助など頼めなかった。
  - ・自分の方が先に病気で亡くなったら心配。
  - ・このアンケートは高齢者には質問が多すぎるし、長すぎると思った。
  - ・病院に入院中だが、面会できるようにしてほしい。
  - ・とにかく、コロナが終息してほしい。理学療法士等リハビリを受けたい気持は強いが感染が怖い。
-

## 5 調査結果からみえてきた現状と課題

### (1) 高齢者の状態像や世帯特性にみる課題

#### ① 高齢者（回答者）の状態像

- ・ 高齢者（回答者）の性別は、介護保険サービス利用者（以下、「利用者」という。）、介護保険サービス未利用者（以下、「未利用者」という。）とも、男性に比べ女性の割合の方が高く [P5図2(1)] [P95図2(1)]、年齢は、85歳以上が利用者では46.9%と半数近く、未利用者では66.8%を占める [P6図2(2)] [P96図2(2)]。要介護度は、利用者では、軽度者が48.7%（「要支援1」19.4%、「要支援2」17.4%、「要介護1」11.9%）、要介護2以上の中重度者は46.3%となっている [P7図3]。一方、未利用者では、軽度者が62.9%（「要支援1」28.6%、「要支援2」20.7%、「要介護1」13.6%）、要介護2以上の中重度者は32.0%となっている [P98図3-1]。利用者、未利用者とも前回調査の結果に比べ軽度者はやや増加、中重度者はやや減少しており、無作為抽出した対象者分布ではあるが、要介護度の軽度化の動きがみられることから、引き続き、介護予防・重度化防止の取組みを推進することが重要である。
- ・ 介護・介助が必要になった原因は、利用者の場合、介護度に関係なく「骨折・転倒」や「高齢による衰弱」が多く [P14図7]、要介護1及び3及び5の介護度では「認知症」が多くなっている [P15図7-a]。未利用者の場合も「高齢による衰弱」や「骨折・転倒」、「認知症」が多くなっている [P107図7]。要介護1以上の介護度では「認知症」の割合が高く、特に要介護1では37.6%で最も高くなっている [P108図7-a]。また、現在抱えている傷病等は、利用者では「認知症」（21.0%）が最も多く [P8図4]、要介護度別で見ると、要介護1並びに要介護3～5ではほぼ3人に1人に認知症の症状がある [P278図4]。一方、未利用者の場合は、利用者と異なり、「眼科・耳鼻科疾患」（19.6%）が最も多くなっている [P99図4]。特に聴覚機能が低下すると他者とのコミュニケーションがとりにくくなることで、外出の機会の低下などによる社会からの孤立や、認知症の発症リスクの上昇につながる恐れがあると言われている。また、生活習慣に起因する疾病をはじめ、加齢に伴う活動量の低下や社会交流の減少、認知機能の低下などはフレイルの原因とされており、フレイル予防や要介護のきっかけとなることが多い認知症の予防などの取組みが重要である。

#### ② 高齢者が暮らす世帯の特性

- ・ 世帯構成は、利用者では、「ひとり暮らし」が45.2%と半数近くを占め、「夫婦2人暮らし（配偶者65歳以上）」が21.4%、「息子と娘の2世帯」が17.8%となっている [P9図5]。一方、未利用者は、「夫婦のみで、配偶者が65歳以上」が32.9%で最も多く、次いで「単身（ひとり暮らし）」が28.9%、「息子・娘の2世帯」が20.7%となっている [P101図5]。利用者・未利用者とも、要支援者でひとり暮らし世帯の割合が高く、介護度が重度化するに伴って、ひとり暮らし世帯の割合は低下している。介護者の状況は、利用者の76.1%に介護者がおり [P11図6]、要介護3までの介護度では「主に家族など」が5割を超え、要介護4及び5では「主に事業者」が5割を超えている [P12付図6-a]。一方、未利用者では、63.8%に介護者がおり [P104図6]、要介護4までの介護度では「主に家族など」が8割を超えているが、要介護5では「主に家族など」の割合が5割程度にとど

まり、「主に事業者」の割合が44.5%と上昇している [P105付図6-a]。利用者・未利用者とも、ひとり暮らし世帯の割合が高い要支援者で介護者が「いない」との回答割合が高くなっている。また、ひとり暮らし世帯の介護保険外サービスの利用割合は、利用者が55.7%、未利用者が19.1%となっている [P279図12] [P282図12]。さらに今後、介護保険外サービスを必要とする割合は、利用者が58.2%、未利用者が41.8% [P279図13] [P283図13] で、未利用者では、どのサービスも利用の回答割合を上回り、在宅生活の継続のための支援・サービスとして介護保険外サービスを必要とする高齢者は少ない。特に介護保険の利用などもなく、社会とのつながりが薄いと考えられるひとり暮らし高齢者に対しては、ふだんからの見守りとともに、家事援助や外出支援、通いの場への参加促進など、日常生活の自立を支えるためのサービスの提供により、在宅生活が継続できるよう支援することが求められる。

- ・利用者の現在の住まいについては、要介護3までの7~9割が「持ち家・賃貸住宅」、要介護4及び5の4割近くが「施設等に入所（入居）している」と回答している [P19図10-a]。自宅や高齢者向け住宅等で暮らす高齢者の6~7割は、介護度に関係なく、現時点では施設等への入所・入居を検討していないが、要介護3の21.0%が「施設等への入所・入居を検討」、要介護4の10.7%が「施設等にすでに入所・入居申し込みをしている」と回答し、他の介護度に比べ高くなっている [P280図5-2]。高齢者が可能な限り在宅で自立した生活を継続的に送るためには、暮らしの土台となる住まいが重要であり、個々の高齢者の状況やニーズに沿った多様な住まいの維持・確保に向けた取組みが求められる。また、在宅生活が困難な重度の要介護認定者や家庭の介護力が弱体化した世帯の要介護者については施設介護を含めた適切な支援を行うことが必要である。

## (2) 介護保険サービス等の利用と今後の利用意向にみる課題

### ①介護サービス等の現在の利用と今後の利用意向

- ・現在、利用者が利用している介護保険の上位3サービス（介護予防含む）は、「訪問介護（ホームヘルプ）」(40.2%)、「通所介護（デイサービス）」(34.3%)、「福祉用具の貸与」（45.9%）で [P21図10-2]、介護度が重度の高齢者ほど、「訪問介護（ホームヘルプ）」に加え、「訪問看護」や「訪問リハビリテーション」「居宅療養管理指導」などの医療系サービスの利用割合が高くなっている [P22図10-2-a]。
- ・一方、未利用者では、59.4%が「今までまったく利用したことがない」と回答し、「以前は利用していたが、現在は利用していない」は27.3%となっている [P112図10]。介護保険サービスを利用していない理由は、「現状では、サービスを利用するほどの状態ではない」(31.9%) が最も多く、次いで「家族が介護をするため問題ない」(15.7%)、「人との接触機会が増えて新型コロナウイルス感染の可能性が高くなるから」(12.0%) となっている [P117図11]。「現状では、サービスを利用するほどの状態ではない」の割合は、単身（ひとり暮らし）が38.8%で最も高く、次いで夫婦のみで配偶者が65歳以上の34.3%となっている [P118図11-a]。ひとり暮らし世帯の方は、自身ではサービス利用の必要性を感じていない方が多くみられるが、居宅内で体調が急変しても、外部の者が気づき何らかの支援を受けることが難しいことのほか、火災や災害発生時、高齢者自身が自力で避難できない場合なども考えられることから、日常的な見守りや緊急時の支援といっ

たことが重要である。また、在宅で家族による介護ができる世帯については、その自助努力を尊重するとともに、家族介護者等の介護負担を軽減するための取組や、介護者自身の高齢化や認知症等の疾病の罹患、介護負担の重圧によるネグレクトなど、家庭の介護力が低下した場合に、適切な介護サービスの利用に結び付けるための介護サービス情報発信などの取組みを進めることも重要である。

- ・ 今後の介護保険サービスの利用意向について、利用者では、「自宅で生活しながらサービスを受けたい」が24.9%、「特にない（現在利用しているサービスのみでよい）」が52.8%で、介護保険サービスの利用により在宅生活を続けたいと考えている割合が77.7%を占めている [P45図18]。また、「自宅で生活をしながらサービスを受けたいと回答した高齢者が、利用したいサービスは、「福祉用具の貸与」（25.7%）や「訪問介護（ホームヘルプ）」（24.9%）、「通所介護（デイサービス）」（16.8%）などが多くなっている [P47図18-1]。これに対し、未利用者では、「自宅で生活しながらサービスを受けたい」が28.0%、「特にない（現在利用しているサービスのみでよい）」が43.0%となっている。一方、「施設等に入所（入居）したい」は6.1%で、前回調査の結果（13.6%）に比べ7.5ポイント低下している [P124図15]。居宅介護の希望の割合は、要支援者及び要介護1～3までの介護度で高く、施設介護の希望の割合は、要介護4及び5で高くなっている [P124図15-a]。居宅で利用希望の多いサービスは、「福祉用具の貸与」（28.3%）、「訪問介護（ホームヘルプ）」（26.8%）、「通所介護（デイサービス）」（24.0%）、「福祉用具の購入」（21.3%）などで [P126図15-1]、要介護5では、「訪問看護」（37.0%）や「訪問リハビリテーション」（33.3%）、「短期入所生活介護・療養介護（ショートステイ）」（33.3%）の利用希望の割合も高い [P127図15-1-a]。利用者も未利用者も、「訪問介護（ホームヘルプ）」や「通所介護（デイサービス）」、「福祉用具貸与・購入」などの介護保険サービスを利用しながら自宅で生活を続けたいという希望が多くなっており、重度者においては、「訪問看護」をはじめとした医療系サービスのニーズも高くなっていることから、在宅生活の継続に向けて、サービス提供体制を確保・充実するための取組みが重要となる。
- ・ 介護保険サービス及び介護サービス以外で、利用者が今後在宅生活継続に必要なだと考えている支援・サービスで多いものは、要支援者は「掃除・洗濯」、要介護1～3は「外出同行」、要介護4及び5は「移送サービス」で、特に要介護3以上では外出同行や移送サービスのニーズが高くなっている [P281図13]。一方、未利用者では、「移送サービス」や「外出同行」「掃除・洗濯」などとなっている [P284図13]。在宅生活を継続するためには、家事や食事、入浴などの生活支援のほかに、外出や移動のための手段の確保も重要であり、介護保険外サービスを含めた、在宅生活の継続を支援するためのサービスの充実が求められる。

## ②施設サービスの利用と今後の利用意向

- ・ 利用者で、現在入所（入居）している施設は、要支援者及び要介護1では「特定施設入居者生活介護（介護付き有料老人ホーム等）」が最も多く、要介護3以上では「介護老人福祉施設（特別養護老人ホーム）」が最も多くなっている。また、要支援2・要介護1～3では「認知症対応型共同生活介護（グループホーム）」の割合が高くなっている [P34図14-a]。施設への入所（入居）を希望した理由は、要支援者及び要介護1では「ひとり暮

らしなど、介護する家族がいなかったから」が多く、要介護2以上では「家族の介護では負担が重すぎたから」が多くなっている [P36図14-1-a]。

- ・利用者で、ここ1年以内に施設等に入所（入居）したいと回答した高齢者で、現在利用していない施設サービスで利用したい施設は、「介護老人福祉施設（特別養護老人ホーム）」（46.6%）が最も多く、次いで「特定施設入居者生活介護（介護付き有料老人ホーム）」（13.0%）となっている [P50図18-2]。「介護老人福祉施設（特別養護老人ホーム）」の割合は、要介護3以上の介護度で6～7割を占めている [P51図18-2-a]。一方、未利用者では、現在利用していない施設サービスで利用したい施設は、「介護老人福祉施設（特別養護老人ホーム）」（25.7%）が最も多く、次いで「特定施設入居者生活介護（介護付き有料老人ホーム等）」（16.5%）となっている。前回調査の結果に比べ、「介護老人福祉施設（特別養護老人ホーム）」は9.8ポイント増、「特定施設入居者生活介護（介護付き有料老人ホーム等）」は7.8ポイント増、「介護医療院」は7.4ポイント増となっている [P129図15-2]。また、施設入所（入居）希望者で、施設等に「入所（入居）を検討している」と回答した高齢者は43.2%、「すでに入所・入居申し込みをしている」は15.0%となっており、施設等への入所（入居）希望が58.2%を占めている。前回調査の結果に比べ、「入所（入居）を検討している」が19.3ポイント上昇している [P131図15-3]。「入所（入居）を検討している」割合は、要支援者及び要介護1・2で、また「すでに入所・入居申し込みをしている」割合は要介護3以上の介護度でそれぞれ高くなっている [P285図15-3]。施設サービスについて軽度者が現時点で入所を検討しているのは、介護負担を大きくする要因のひとつである認知症の進行への不安も理由のひとつとして考えられ、認知症を含め要介護度の重度化の傾向や家庭内の介護力の低下などの要素を考慮し、居宅サービス・施設サービスを含め、高齢者個々の状態に応じたサービス提供体制を確保していく必要がある。

### （3）在宅医療（訪問診療）の利用にみる課題

- ・利用者で医療従事者の訪問を受けている割合は、要介護2～4の各介護度で3割程度、要介護5では48.4%で [P38図15-a]、「看護師」が介護度に関係なく訪問している医療従事者として最も多く、要介護4及び5では「医師」や「歯科医師」の割合も高くなっている [P40図15-1-a]。一方、未利用者で医療従事者などの「訪問を受けている」割合は5.2%で [P121図14]、要介護2以上の介護度で「訪問を受けている」の割合が高い [P121図14-a]。訪問している医療従事者は「医師」（55.7%）が最も多く、次いで「看護師」（45.5%）となっている [P122図14-1]。
- ・利用者のうち、かかりつけ医がいる高齢者は84.8%で、そのうち「自宅に来てくれる（と思う）」は35.5%となっている [P77図30]。また、かかりつけ歯科医師がいる高齢者は64.6%で、そのうち「自宅に来てくれる（と思う）」は17.0% [P78図31]、かかりつけ薬剤師・薬局を持っている高齢者は75.7%で、そのうち「自宅に来てくれる（と思う）」は26.7%となっている [P79図32]。医師、歯科医師、薬剤師・薬局のいずれにおいても介護度が重度な高齢者ほど、「自宅に来てくれる（と思う）」の割合が高くなっている。一方、未利用者で、かかりつけ医がいる高齢者は81.5%、そのうち「自宅に来てくれる（と思う）」は23.0%となっている [P156図27]。また、かかりつけ歯科医師がいる高齢者は

65.7%で、そのうち「自宅に来てくれる（と思う）」は7.0% [P157図28]、かかりつけ薬剤師・薬局を持っている高齢者は72.9%で、そのうち「自宅に来てくれる（と思う）」は15.5%となっている [P158図29]。かかりつけの医師や歯科医師、薬剤師をもつことの重要性について引き続き啓発していくことが重要である。

#### （４）介護予防等への取組みにみる課題

##### ①外出の状況

- ・利用者では、週1回以上「外出している」と回答した割合は、介護度の重度化とともに低下し、要介護4及び5では「ほとんど外出しない」が5割を超えている [P53図19-a]。また、要支援者及び要介護1～4までの高齢者の半数は昨年と比べ、外出回数が減っていると回答している [P54図20-a]。一方、未利用者でも、週1回以上「外出している」と回答した高齢者の割合は、介護度の重度化とともに低下し、要介護2～5では「ほとんど外出しない」が4割を超えている [P132図16-a]。また、要支援者及び要介護1～3までの高齢者の6割前後は昨年と比べ、外出回数が減っていると回答している [P133図17-a]。
- ・利用者で外出を「控えている」と回答した高齢者は、介護度に関係なく6割前後を占め [P55図21-a]、その理由として、介護度に関係なく「足腰などの痛み」が多く、特に要支援者の割合が高くなっている [P57図21-1-a]。一方、未利用者では、外出を「控えている」と回答した高齢者は、要支援者及び要介護1～3までの介護度では6割前後を占め [P134図18-a]、その理由として、要支援者及び要介護1～4までは「足腰などの痛み」が多くなっている。要介護4及び5では「病気」の割合が高く、要介護5では「障がい」の割合も高くなっている [P136図18-1-a]。介護の必要性に関係なく、社会的交流の機会の確保や生きがいづくりにとって外出は重要である。閉じこもりの継続により運動機能低下や活動そのものの意欲の減退を招かないよう、外出のための機会の充実に向けた取組みが求められる。

##### ②介護予防の意識や取組み状況

- ・介護予防を意識していると回答した高齢者の割合は、利用者も未利用者も、年齢に関係なく5割以上を占めている [P282図22] [P285図19]。
- ・介護予防に取り組んでいる高齢者の割合は、利用者・未利用者とも7割を占め [P59図23①] [P138図20①]、その割合は介護度が重度になるとともに低下しているが、利用者・未利用者とも、要介護4または要介護5の重度者でも「栄養バランスのとれた食事をとる」や「歯磨きや入れ歯の手入れを行い、口の中の健康を保つ」「体操や運動により体力を維持する」なども利用者では3～4割、未利用者では2～3割は行っている [P61図23①-b] [P140図20①-b]。また、今後取り組んでみたい介護予防は、未利用者では「体操や運動により体力を維持する」が最も多くなっているが [P141図20②]、利用者・未利用者、また介護度に関係なく、「体操や運動により体力を維持する」や「栄養バランスのとれた食事をとる」「歯磨きや入れ歯の手入れを行い、口の中の健康を保つ」なども多くなっている [P64図23②-b] [P143図20②-b]。
- ・介護予防に取り組んでいないまたは取り組んでみたいと思っていない理由で最も多いも

のは、利用者・未利用者とも、要支援2以上の介護度では、「持病があったり、体調が悪くてできない」で、その割合は介護度の重度化とともに上昇している。要支援1では「介護予防に取り組まなくても、日常生活に支障がないから」が最も多く、利用者の要支援2、利用者・未利用者の要介護1では「外に出るのがおっくうだから」の割合が高くなっている [P66図23-1-a] [P145図20-1-a]。

### ③口腔機能

- ・利用者も未利用者も、入れ歯の利用の有無に関係なく、いずれの介護度も歯が19本以下の割合が多くなっている [P67図24-a] [P146図21-a]。また、利用者・未利用者とも、介護度が重度な高齢者ほど、「何でも、かんで食べることができる」の割合は低く [P70図25-a] [P149図22-a]、また利用者では「お茶や汁物でむせる」の割合が高い [P71図26]。重度な介護者ほど、口腔機能の低下や食の衰えが現れており、いわゆる「オーラルフレイル」の進行防止のための取組みが重要である。

## (5) 地域活動への参加状況にみる課題

- ・地域の会・グループ等への参加状況は、利用者では、「参加していない」割合がどの会・グループも6割以上を占めている。一方、地域の会・グループ等のうち、週1回以上参加する割合が高い活動は、「介護予防のための体操・運動以外の介護予防のための通いの場」の8.1%で、次いで「百歳体操やラジオ体操等の介護予防のための体操・運動の通いの場」が6.4%となっている [P80図33]。一方、未利用者では、「参加していない」割合がどの会・グループも6割前後を占めている。地域の会・グループ等のうち、週1回以上参加する割合が高い活動は、「百歳体操やラジオ体操等の介護予防のための体操・運動の通いの場」の5.5%で、次いで「スポーツ関係のグループやクラブ」の3.6%となっている [P159図30]。
- ・地域づくり活動への参加の考えをみると、利用者も未利用者も、地域づくり活動に「是非参加したい」と「参加してもよい」を合わせた参加意向のある割合は全体では3割前後で [P81図33-1] [P160図30-1]、介護度が軽度な高齢者ほど参加意向割合は高くなっている [P81図33-1-a] [P160図30-1-a]。地域づくり活動の企画・運営（世話役）については、利用者・未利用者とも参加意向のある割合は低くなっている [P82図33-2] [P161図30-2]。

## (6) 相談・情報収集の状況にみる課題

### ①認知症に関する相談

- ・認知症に関する相談窓口を「知っている」割合は、利用者が42.9%、未利用者が34.8%となっている [P85図34-1] [P164図31-1]。「知っている」割合は、利用者・未利用者とも「認知症の症状がある、又は家族に認知症の症状がある」との回答割合が高い要介護1で最も高くなっている [P84図34-b, P86図34-1-b] [P163図31-b, P165図31-1-b]。具体的に認知されている窓口は、利用者・未利用者とも「かかりつけの医師」が最も多く、次いで「介護支援専門員やホームヘルパーなどの介護保険事業者」や「区役所・保健福祉センター」となっている [P87図34-2] [P166図31-2]。

- ・認知症について不安を感じたときに相談意向のある窓口は、利用者・未利用者とも、認知されている窓口同様、「かかりつけの医師」が最も多く、次いで「介護支援専門員やホームヘルパーなどの介護保険事業者」「区役所・保健福祉センター」となっている [P88図34-3] [P167図31-3]。認知症は、現在かかっている傷病や介護が必要になった原因でも上位となっており、自立した生活を送る上で高齢者の不安のひとつとなっていることから、認知症に対する不安を軽減するための取組みが引き続き重要である。また、認知症に関する相談窓口を知らないとする割合も依然高く、相談窓口の周知が引き続き重要である。

## ②高齢者向けサービスの情報源

- ・利用者では、要支援者・要介護者に関係なく、「介護支援専門員やホームヘルパーなどの介護保険事業者」が、未利用者では、要支援者・要介護者に関係なく、「家族・友人・知人」がそれぞれ最も多い。これに次いで利用者では「家族・友人・知人」「新聞・テレビ・ラジオなど」(22.4%)で、「区政だより」や「くらしの便利帳」など広報誌「新聞・テレビ・ラジオなど」の割合は要支援者で高くなっている。また、未利用者でも要支援者では、「区政だより」や「くらしの便利帳」など広報誌や「新聞・テレビ・ラジオなど」の割合が高く、「介護支援専門員やホームヘルパーなどの介護保険事業者」の割合は要介護2以上の介護度で高くなっている [P90図35-a] [P169図32-a]。一方、「市のホームページ(インターネット)、メールマガジンなど」は、利用者で2.4%、未利用者でも3.8%と非常に低いことから [P89図35] [P168図32]、情報が行き届きにくい高齢者にも必要な情報が届くよう配慮が求められる。ホームページやSNSなどによる情報発信などデジタル化のみを進めるのではなく、新聞広告や各種広報誌などのアナログ媒体に加え、口コミや民生委員・地域の見守り活動を行う団体、事業者等、様々な媒体や方法を利活用したり連携したりすることで、情報提供に努めることが重要である。

## (7) 介護者の介護の状況にみる課題

### ①介護者の特性

- ・介護者は、利用者・未利用者とも、「子」が最も多く、次いで「配偶者」が多くなっている [P173A図38[35], P175B図38[35]]。また、「子」の割合は単身(ひとり暮らし)世帯で高く、「配偶者」の割合は夫婦のみの世帯で高い [P174A図38[35]-a, P176B図38[35]-a]。介護者の性別は、利用者・未利用者とも、女性の割合が男性を大きく上回っている [P177A図39[36](1)-a, P178B図39[36](1)-a]。年齢は、利用者の介護者では「60代」が25.0%で最も多く、60歳以上の介護者は65.2%を占め [P179A図39[36](2)]、未利用者の介護者では「50代」が22.0%で最も多く、60歳以上の介護者は64.6%を占めている [P182図39[36](2)]。また、80歳以上の介護者は、利用者・未利用者とも女性に比べ男性の割合が高くなっている。
- ・70歳以上の介護者で要介護者本人と同居している割合は、利用者・未利用者とも8割を超え、69歳以下の介護者では同居している割合は低くなっている [P186A図39[36](3)-d] [P188B図39[36](3)-d]。また、介護を手助けしてくれる人は、利用者の介護者、未利用者の介護者とも、「別居している家族や親族」が最も多く、次いで「同居の家族」と

なっている [P192A図42[39]] [P193B図42[39]]。女性の介護者の割合が高く（ただし80歳以上の介護者は男性の割合が高い）、別居家族等の援助が得られる介護者は少ないものの、老老介護となっている世帯は少なくないと考えられることから、在宅での介護を継続できるよう、介護者の介護負担を軽減するための取組みが必要である。

## ②介護の状況と介護に対する考え

- ・ 介護者が行っている介護内容は、利用者・未利用者とも、「外出の付き添い・送迎等」（利用者59.0%、未利用者50.2%）や「食事の準備」（利用者62.6%、未利用者54.6%）、「その他の家事」（利用者68.2%、未利用者58.3%）、「金銭管理や生活面に必要な手続き」（利用者62.6%、未利用者49.6%）などが多くなっている [P200A図44[41]] [P204B図44[41]]。利用者では、「外出の付き添い・送迎等」は要介護1～4までの介護度で、「食事の準備」は要介護1以上の介護度で高く、また、排泄や食事、衣服の着脱、服薬などの身体介護の割合は介護度が重度化するとともに上昇し、「金銭管理や生活面に必要な手続き」の割合は要介護1と要介護5が79.3%で他の介護度に比べ高くなっている [P201A図44[41]-a]。老老介護や認知症のある要介護者を介護する世帯が多いと考えられることから、身体介護や金銭管理等にかかる介護者の介護負担を軽減し、要介護者とその介護者の在宅生活を支える仕組みのひとつとして介護保険外のサービスを充実するとともに、サービスや支援制度について普及・啓発を図ることが必要である。
- ・ 現在の生活を継続していくにあたって不安を感じる介護は、利用者の介護者、未利用者の介護者とも「認知症状への対応」が最も多くなっている。これに次いで、利用者の介護者では「外出の付き添い、送迎等」（23.9%）、「夜間の排泄」（21.3%）、未利用者の介護者では「入浴・洗身」（24.7%）、「外出の付き添い、送迎等」（22.5%）となっている [P258A図55[53]] [P259B図55[53]]。また、自宅での介護で困っていることは、利用者の介護者、未利用者の介護者とも「ストレスなどの精神的な負担が大きい」が最も多くなっている。これに次いで、利用者の介護者では「自分の時間がもてない」（29.3%）、「身体的な負担が大きい」（21.2%）、「仕事との両立が難しい」（19.0%）などが、未利用者の介護者では「本人が介護保険サービスの利用を望まない」（24.6%）、「自分の時間がもてない」（22.0%）などがそれぞれ多くなっている [P210A図46[43]] [P213B図46[43]]。また、未利用者の介護者で「本人が介護保険サービスの利用を望まない」と回答した人の「ストレスなどの精神的な負担が大きい」の回答割合は50.7%で、それ以外の項目を回答した人の41.0%に比べ9.7ポイント高く、また、「身体的な負担が大きい」の回答割合は、「本人が介護保険サービスの利用を望まない」と回答した人は20.4%、それ以外の項目を回答した人は26.1%となっている。「本人が介護保険サービスの利用を望まない」と回答した人では、身体的な負担よりも精神的な負担を回答した割合のほうが高くなっている [P286B図46[43]]。そして、「本人が介護保険サービスの利用を望まない」と回答した人が利用した経験のある相談窓口をみると、「地域包括支援センター（総合相談窓口（ランチ含む）」が41.2%で最も高く、次いで「区役所・保健福祉センター」が21.9%となっている [P287B図56[54]]。介護専門の相談窓口以外では「別居している家族や親族」（51.6%）や「かかりつけの医師・歯科医師・薬剤師」（36.7%）が多い。 [P288B図56-1[54-1]]

- ・「つい大声でどなってしまったことがある」や「無視してしまったことがある」「イライラして手をあげそうになったことがある」などの行為をした割合は、利用者の介護者では42.0%、未利用者の介護者では35.5%となっている [P216A図47[44]] [P222B図47[44]]。高齢者虐待を受けた場合の通報・相談先を「知っている」割合は、利用者の介護者では20.9%、未利用者の介護者では16.0%となっている [P229A図48[45]] [P230B図48[45]]。また、「イライラして手をあげそうになった」や「つい大声でどなってしまったことがある」など、介護で精神的に不安定な状態になった経験のある介護者の通報・相談先の認知割合は、利用者が21.8%、未利用者が15.7%であり、いずれも7割は「知らない」と回答している [P289A図48[45]-b] [P289B図48[45]]。自宅での介護で困った時の相談先は、利用者の介護者では、「居宅介護支援事業者(ケアマネジャー)」(58.3%)が、未利用者の介護者では「別居している家族や親族」(41.3%)がそれぞれ最も多くなっている [P262A図56-1[54-1]] [P263B図56-1[54-1]]。身体介護や外出介助など介護者の介護不安の原因となっている問題については、介護保険サービスや介護保険外サービスの充実によりサポートを行うことが必要である。また併せて、介護の重圧に伴う介護者の身体的・精神的な負担を軽減し、虐待に至らないよう、専門的な相談窓口の周知のほか、介護者に対するメンタルヘルス対策が重要である。
- ・未利用者の介護者のうち45.0%が要介護者本人に介護保険サービスを「いつか利用してほしい」と回答し [P235B図[46]]、介護者がサービスを利用しようと思うきっかけとして、「入浴、トイレ、食事などの日常生活に支障をきたすようになったら」(52.3%)が最も多く、次いで「介護の必要性が高くなったら」(46.0%)、「認知症になったら・認知症が進んだら」(40.3%)となっている [P236B図[47]]。また、「介護者自身が病気になるなど、健康状態が悪化したら」(62.9%)や「身体的に負担を感じたら」(48.0%)、「精神的に負担を感じたら」(34.4%)など介護者自身の状態に変化が出てきた場合に利用したいと考えている介護者が多くなっている [P237B図[48]]。介護保険サービスを利用することで、「精神的に楽になった」(51.1%)や「時間に余裕ができた」(46.5%)、「身体的に楽になった」(45.7%)と回答している介護者が多い [P231A図49]。介護者自身の介護の限界点を超過してしまうことで、在宅での介護が崩壊することがないように、介護保険サービスへの円滑な接続や介護者への見守り、支援のための取組みの充実が求められる。
- ・自宅での介護で重要なことは、利用者の介護者では、「家族や親族の協力があること」(50.1%)が最も多く、次いで「緊急の場合など安心して医療サービスが利用できること」(43.4%)、「緊急の場合など安心して介護保険サービスが利用できること」(40.7%)となっている [P238A図51[49]]。一方、未利用者の介護者では、「緊急の場合など安心して医療サービスが利用できること」(49.2%)が最も多く、次いで「緊急の場合など安心して介護保険サービスが利用できること」(46.8%)、「家族や親族の協力があること」(46.5%)となっている [P239B図51[49]]。要介護者の容態の急変への対応を充実する一方で、介護者だけで介護にかかる負担をすべて抱えこみ孤立してしまわないよう、家族や親族の介護協力に対する理解や認識を深めるとともに、介護者が相談できる相談窓口を充実させる取組みも重要である。

### ③介護離職の実態

- ・ 就労状況は、利用者の介護者では「無職」(42.7%)が最も多く、就業者は35.7%（「就業者中（フルタイム）」21.3%、「就業者中（パートタイム）」14.4%）となっている。「本人の介護のため離職」は4.0%となっており [P240A図52[50]]、要介護3を介護する介護者が10.1%で最も高く、次いで要介護4の7.4%となっている [P241A図52[50]-a]。一方、未利用者の介護者でも「無職」(42.0%)が最も多く、就業者は32.8%（「就業者中（フルタイム）」18.4%、「就業者中（パートタイム）」14.4%）となっている。「本人の介護のため離職」は2.9%となっており [P246B図52[50]]、要介護4を介護する介護者が5.5%で最も高い。次いで要支援2の4.2%、要介護1の3.8%となっている [P246B図52[50]-a]。介護をするにあたって行っている働き方の調整状況は、利用者の介護者も未利用者の介護者も「特に行っていない、行わなかった」(利用者34.6%、未利用者44.9%)が最も多い。利用者の介護者で、何らかの調整を行っている割合は59.4%で、「介護のために「労働時間を調整」をしている、又はした」(32.7%)、「介護のために「有給休暇や介護休暇等」を取っている、又は取った」(20.4%)が多くなっている [P251A図52-1[50-1]] [P252B図52-1[50-1]]。就労状況別では、「介護のために「労働時間を調整」をしている、又はした」の割合は、就業者中（フルタイム）が27.2%、就業者中（パートタイム）が42.3%でパートタイムのほうが高くなっている [P289A図52-1[50-1]]。一方、未利用者の介護者で、何らかの調整を行っている割合は50.6%で、「介護のために「労働時間を調整」をしている、又はした」(26.8%)、「介護のために「有給休暇や介護休暇等」を取っている、又は取った」(15.1%)が多くなっている [P252B図52-1[50-1]]。就労状況別では、「介護のために「労働時間を調整」をしている、又はした」の割合は、就業者中（フルタイム）が24.5%、就業者中（パートタイム）が29.1%で、パートタイムのほうが高くなっているが、利用者の介護者の割合に比べ低くなっている [P290B図52-1[50-1]]。また、介護を行うにあたって「仕事との両立」で困っており、「介護のために「労働時間を調整」をしている、又はした」の割合は、利用者の介護者が42.5%、未利用者の介護者が35.1%となっている [P291A表52-1[50-1]] [P292表52-1[50-1]]。一方、仕事と介護の両立に効果があると思われる勤め先からの支援は、利用者の介護者、未利用者の介護者とも「介護休業・介護休暇等の制度の充実」や「制度を利用しやすい職場づくり」「労働時間の柔軟な選択」が多くなっている [P256A図54[52]] [P257B図54[52]]。利用者の介護者で就業者中（フルタイム）の人は「制度を利用しやすい職場づくり」(32.3%)が最も多く、次いで「介護休業・介護休暇等の制度の充実」(30.8%)となっており、就業者中（パートタイム）の人は「介護休業・介護休暇等の制度の充実」(29.6%)が最も多く、これに次いで「労働時間の柔軟な選択」(26.5%)が多くなっている [P293A図54[52]]。一方、未利用者の介護者の場合、就業者中（フルタイム）は利用者とはほぼ同様の傾向となっているが、就業者中（パートタイム）は、「労働時間の柔軟な選択」(22.5%)で最も多く、次いで「介護休業・介護休暇等の制度の充実」(19.4%)となっている [P294B図54[52]]。介護休業制度を導入する企業は増えてきているとはいえ、効果がある支援として介護者の多くはこれら制度に期待していることから、引き続き介護と仕事を両立できる支援体制の充実と制度を利用しやすい職場づくりが企業に求められる。
- ・ 認知症のある要介護者を介護する割合は、利用者の介護者、未利用者の介護者とも、就業

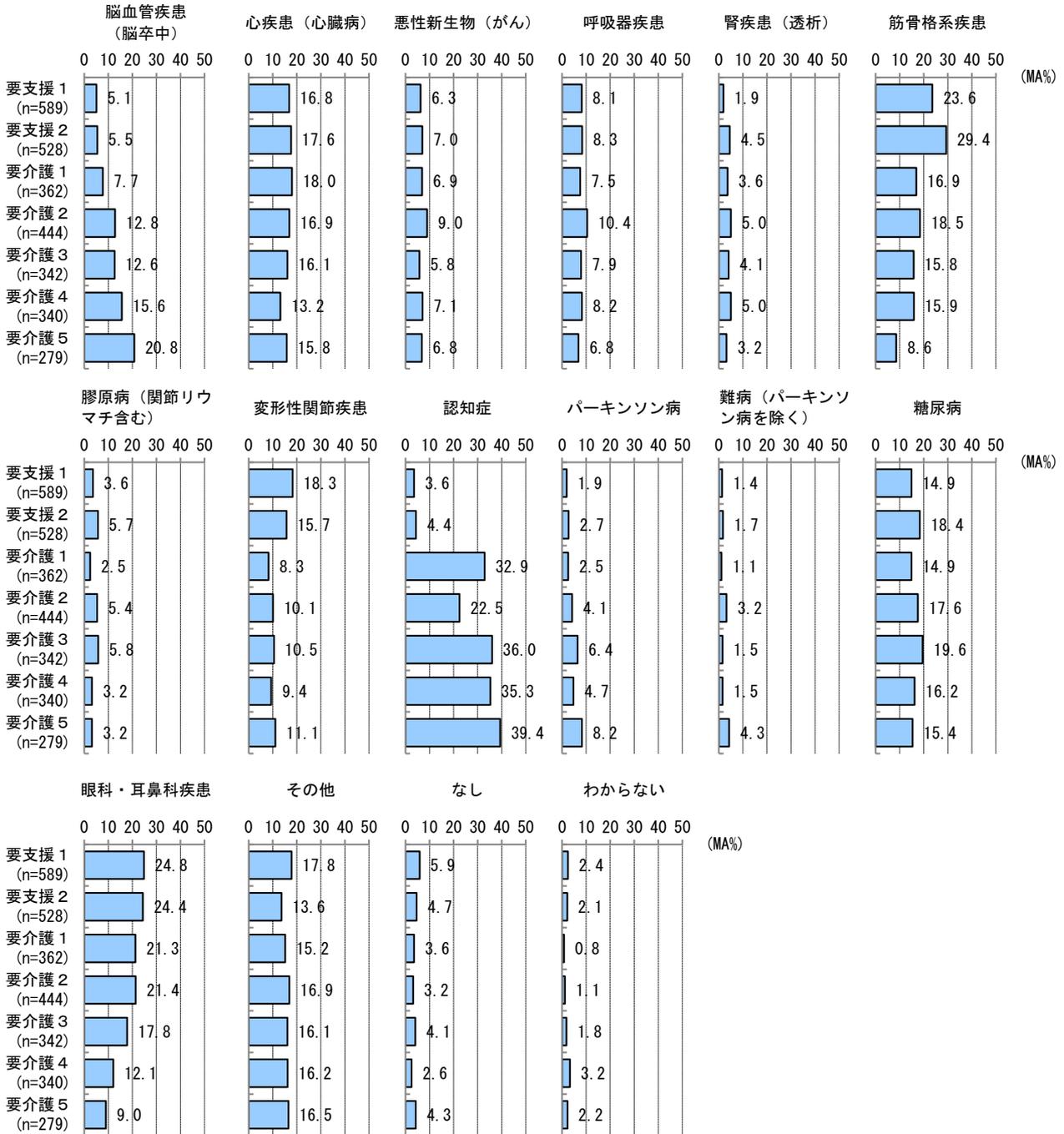
中（パートタイム）及び介護のため離職した人で高く、未利用者の介護者で介護のため離職した人の割合が75.6%で特に高くなっている [P295A図43[40]] [P295B図43[40]]。また、利用者・未利用者とも、介護のため離職した人で行っている介護内容のすべての割合が就業中の人に比べ高くなっており [P296A図44[41]] [P297B図44[41]]、在宅介護を行う上で困っていることでも「ストレスなどの精神的な負担が大きい」「身体的な負担が大きい」「自分の時間がもてない」などの割合が高くなっている [P298A図46[43]] [P299B図46[43]]。さらに、現在の生活を継続するにあたって不安なことは、「夜間の排泄」や「入浴・洗身」「認知症状への対応」「金銭管理や生活面に必要な諸手続き」などの割合は、利用者・未利用者とも、就業中の人に比べ介護のため離職した人で概ね高くなっている [P300A図55[53]] [P301B図55[53]]。介護を理由に仕事を辞めざるを得なかった背景に、介護の重圧が大きかった状況がうかがえる。

- ・家庭内で介護を理由に離職した人については、利用者・未利用者とも「介護のために仕事を辞めた家族・親族はいない」が最も多い。一方、主な介護者が仕事を辞めた（転職除く）割合は利用者では6.3%、未利用者では4.5%となっている [P255A図53[51]] [P255B図53[51]]。また、働きながら介護を続けることについては、利用者の介護者、未利用者の介護者とも「問題はあるが何とか続けていける」が最も多く、次いで「問題なく続けていける」となっている。これに対し、利用者の介護者、未利用者の介護者とも約10人に1人は「続けていくのはやや難しい」と回答している [P253A図52-2[50-2]] [P254B図52-2[50-2]]。仕事と在宅介護を両立させるためには、介護による身体的・精神的な重圧や不安を軽減することにつながるサービス・支援を充実するなど、介護を行うことで就労継続が困難となってしまう度合いを下げるための取組みを進めることが重要である。

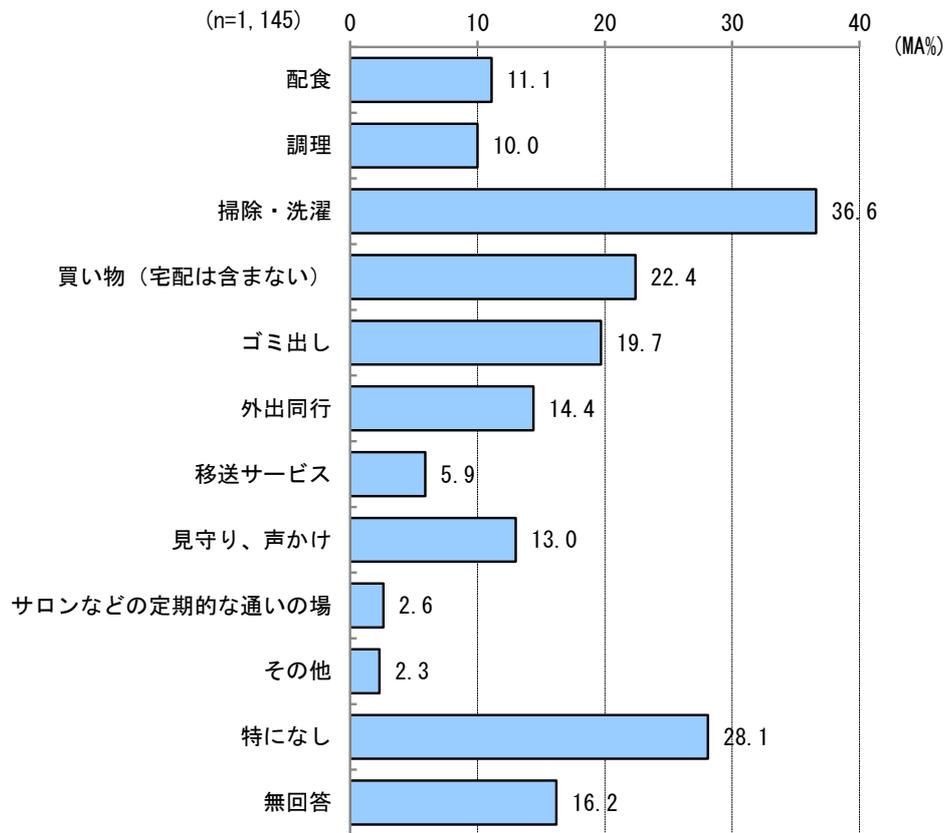
**参考資料**

**① 介護保険サービス利用者調査**

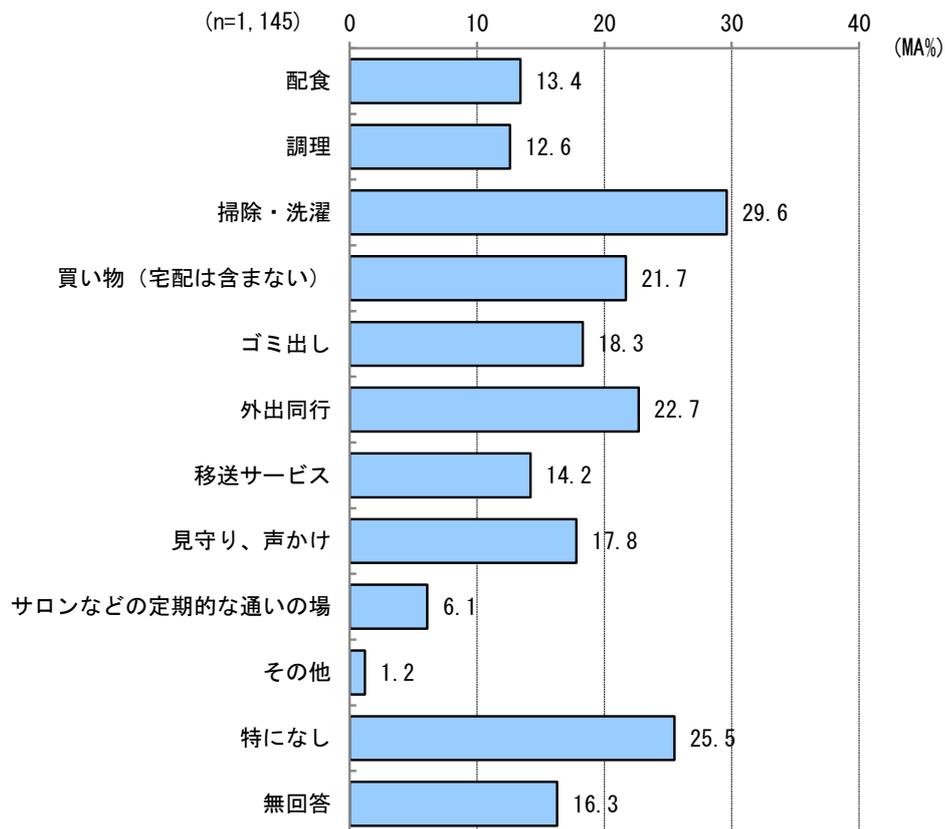
**■ 図4 傷病状況（要介護度別）**



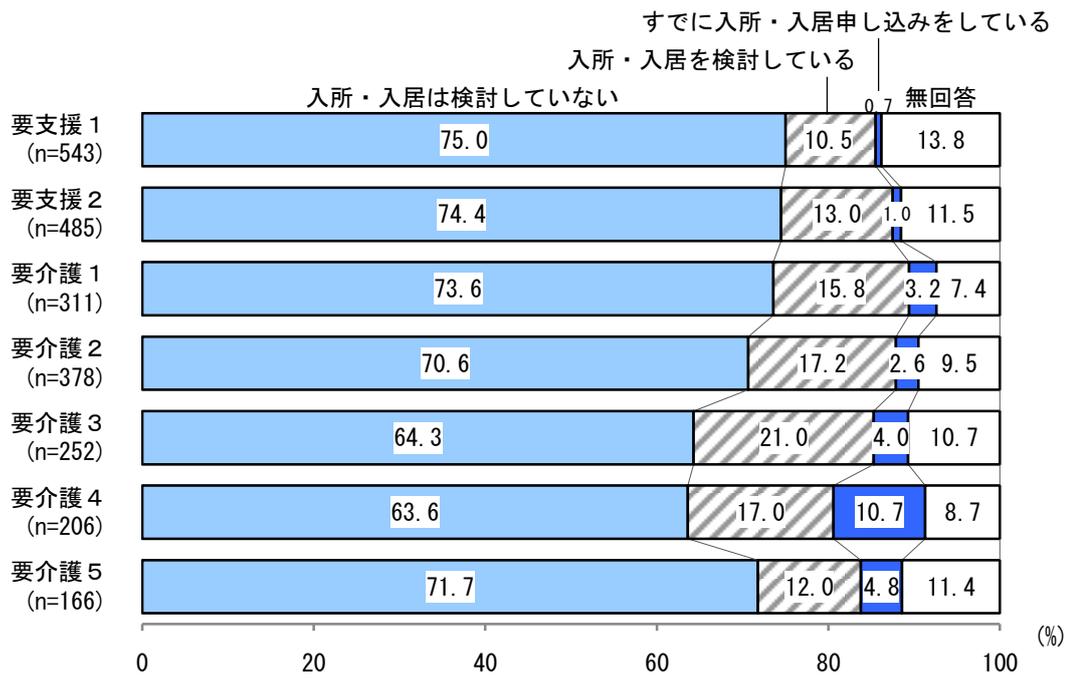
■ 図12 現在利用している、介護保険サービス及び介護予防サービス以外の支援・サービス（単身（ひとり暮らし））



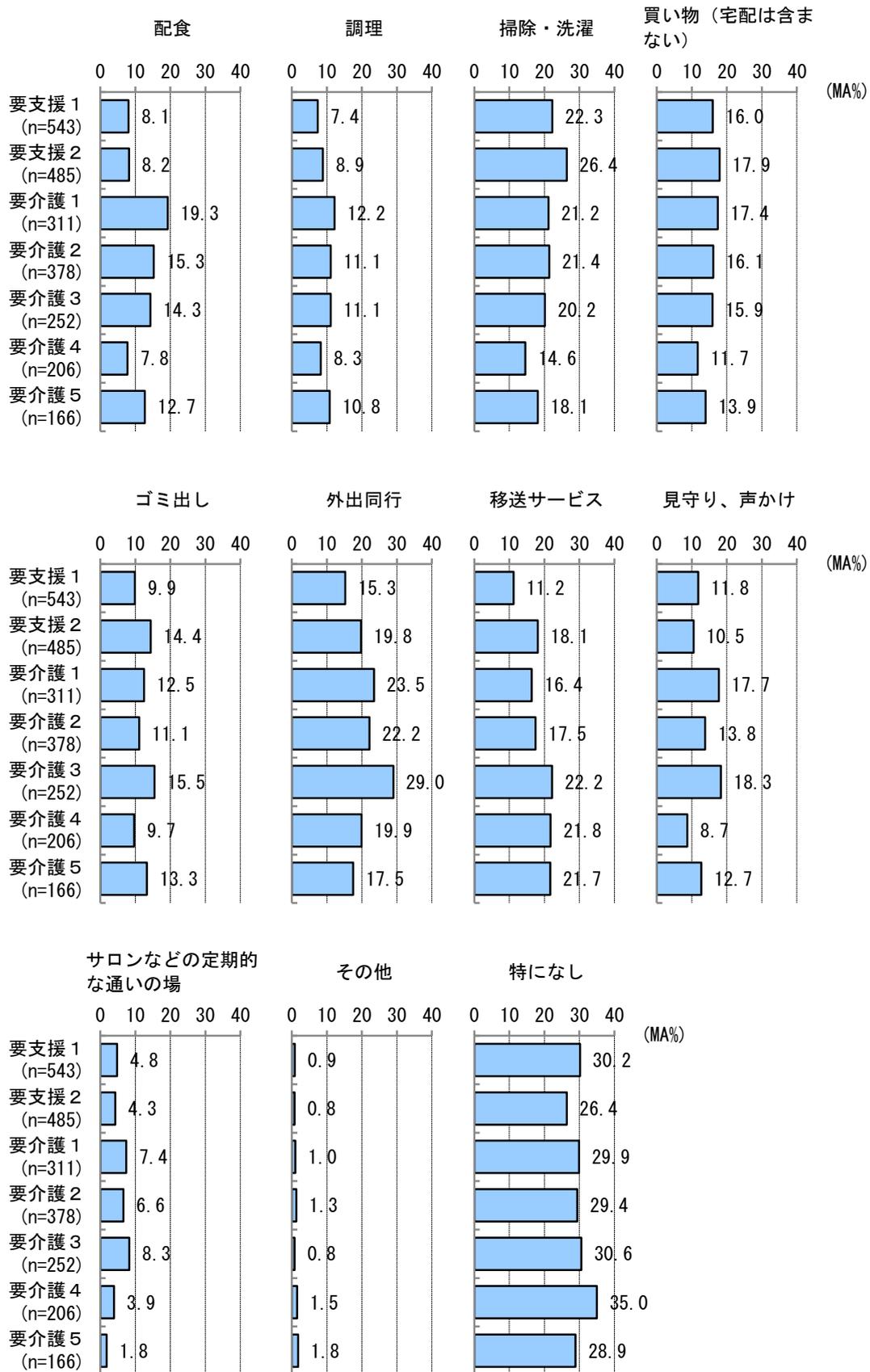
■ 図13 在宅生活継続に必要と感じる支援・サービス（単身（ひとり暮らし））



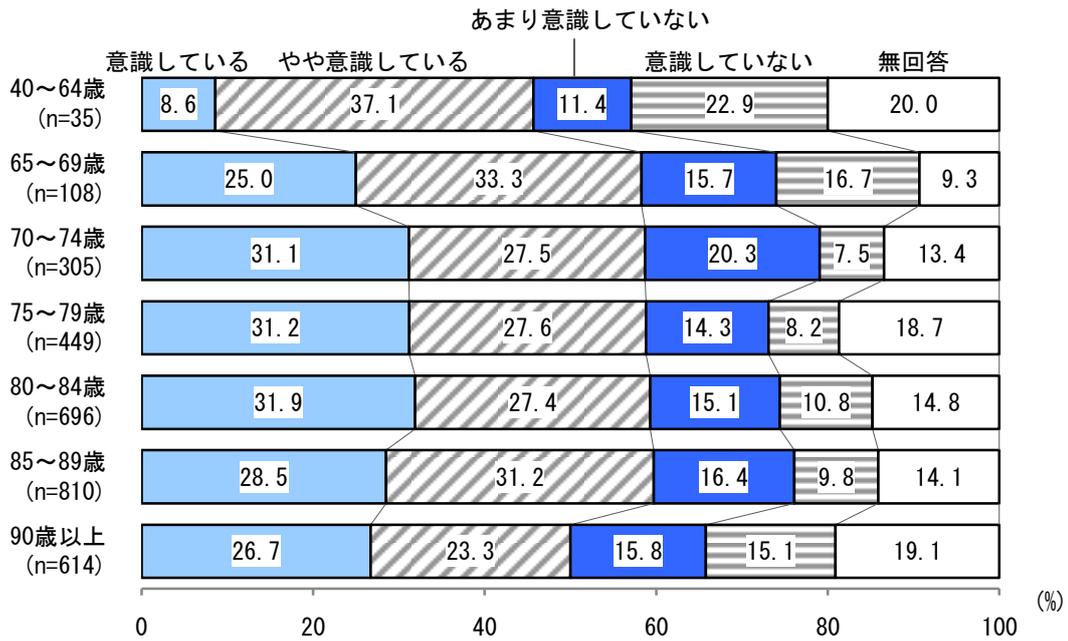
■ 図5-2 施設等の入所（入居）の検討状況（要介護度別）



■ 図13 在宅生活継続に必要と感じる支援・サービス（要介護度別）

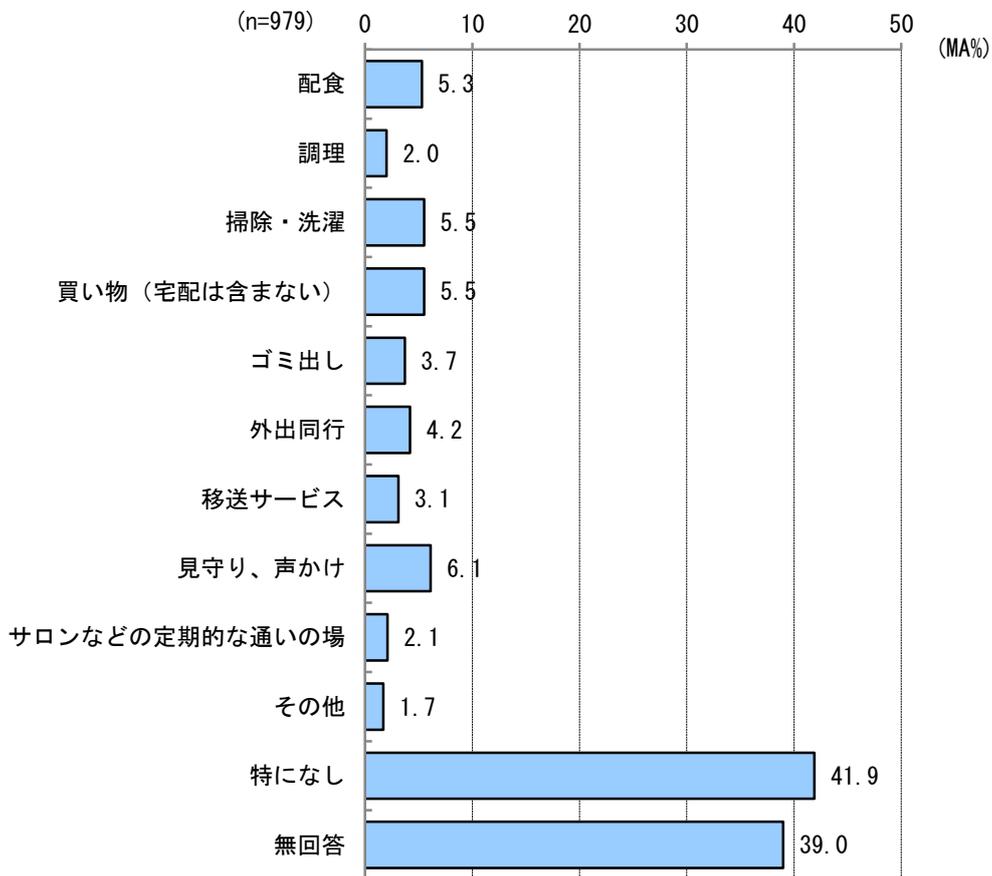


■ 図22 介護予防に対する意識の程度（年齢別）

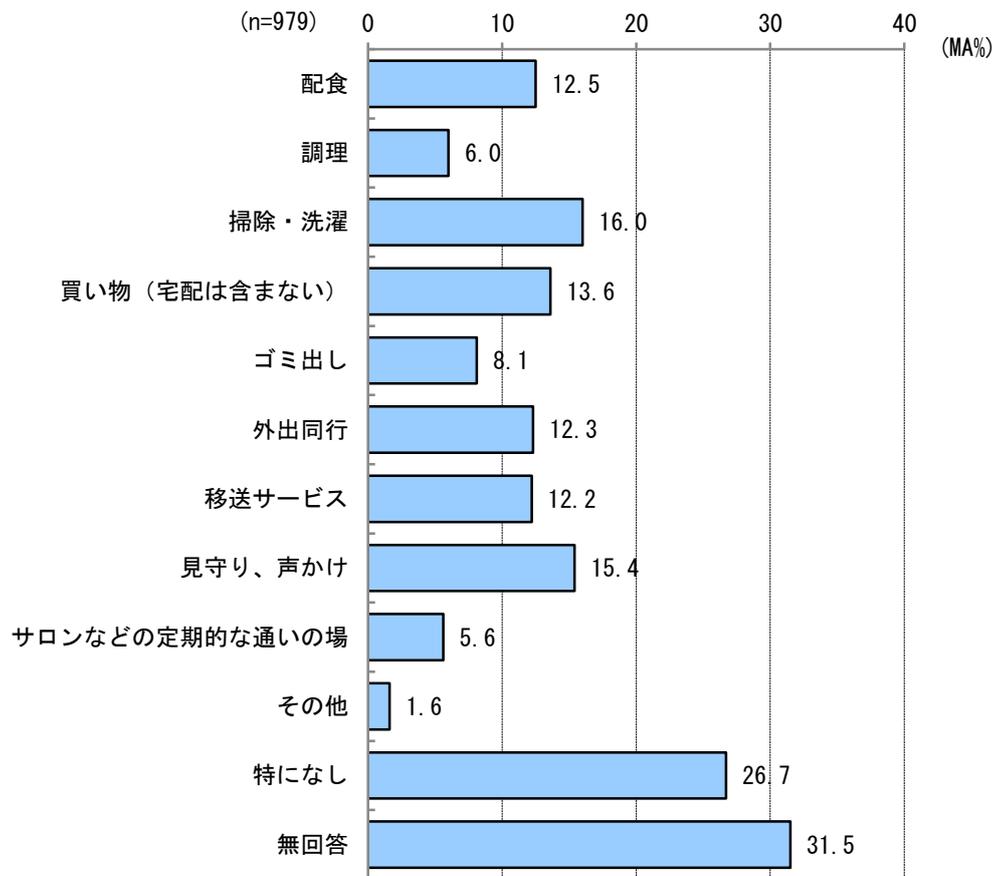


② 介護保険サービス未利用者調査

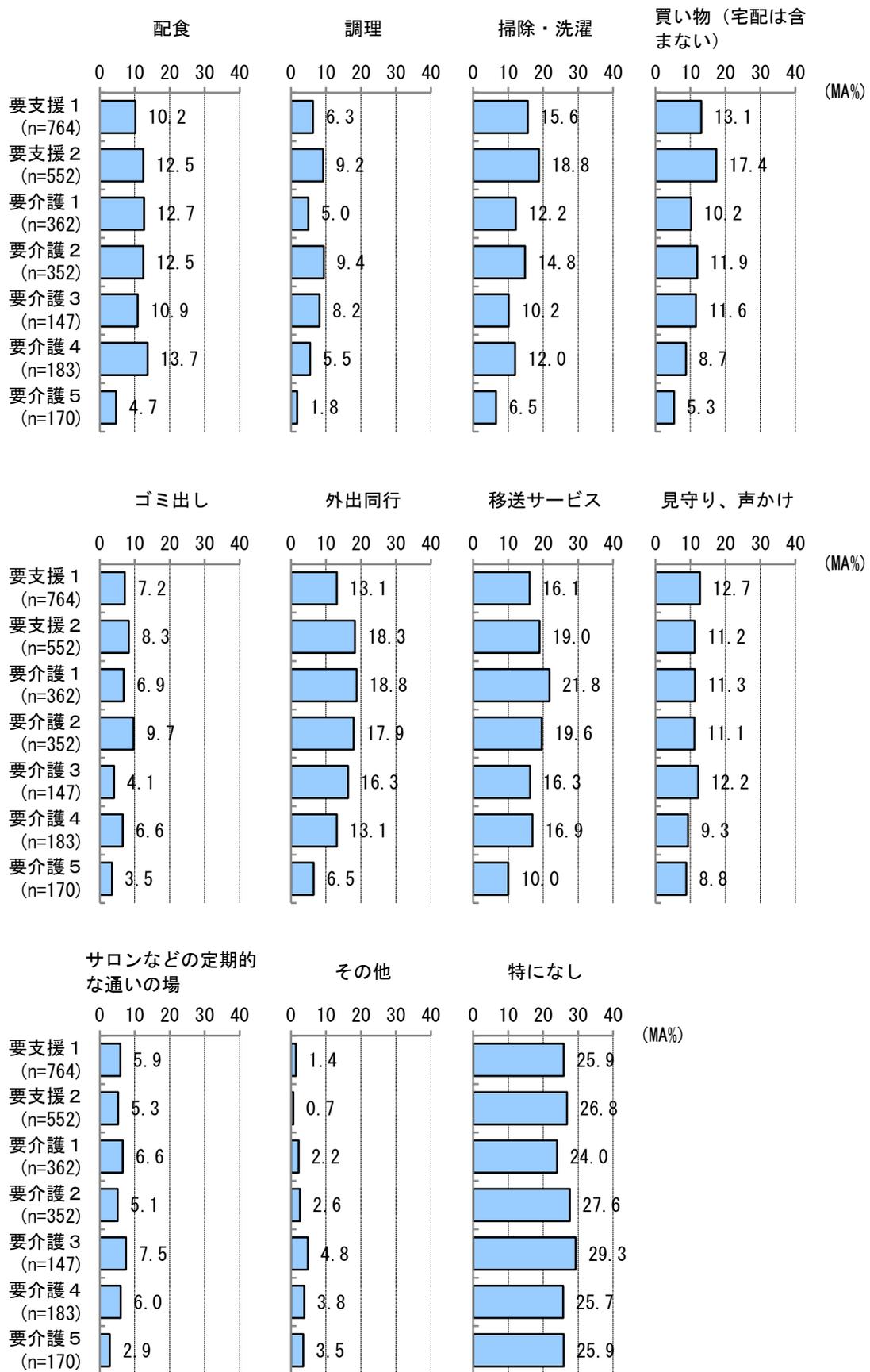
■ 図12 現在利用している、介護保険サービス及び介護予防サービス以外の支援・サービス（単身（ひとり暮らし））



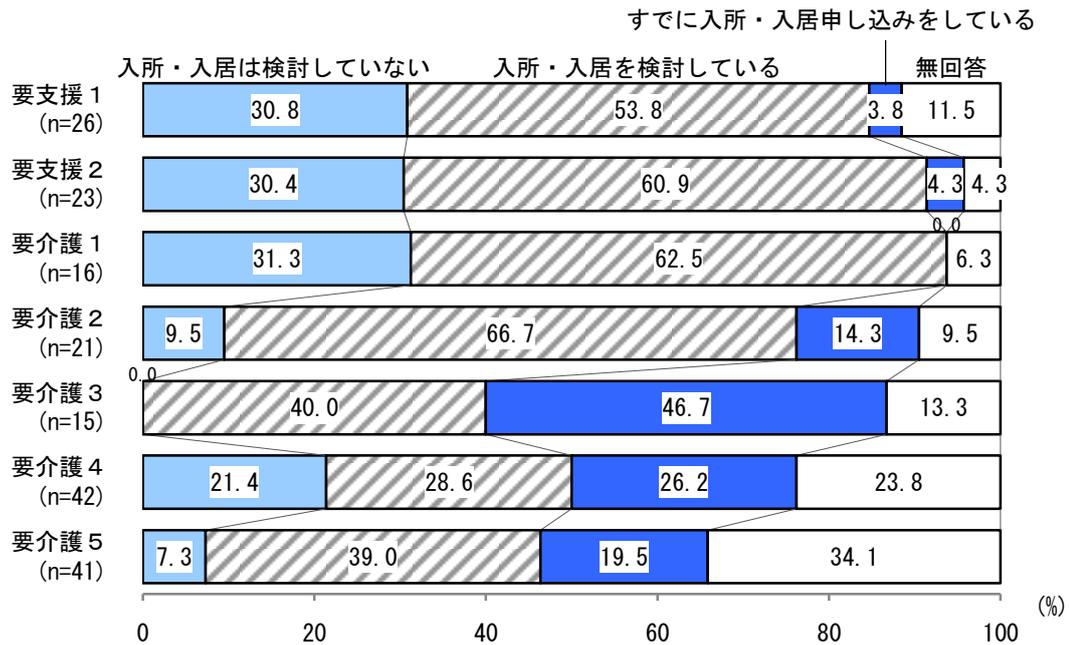
■ 図13 在宅生活継続に必要と感じる支援・サービス（単身（ひとり暮らし））



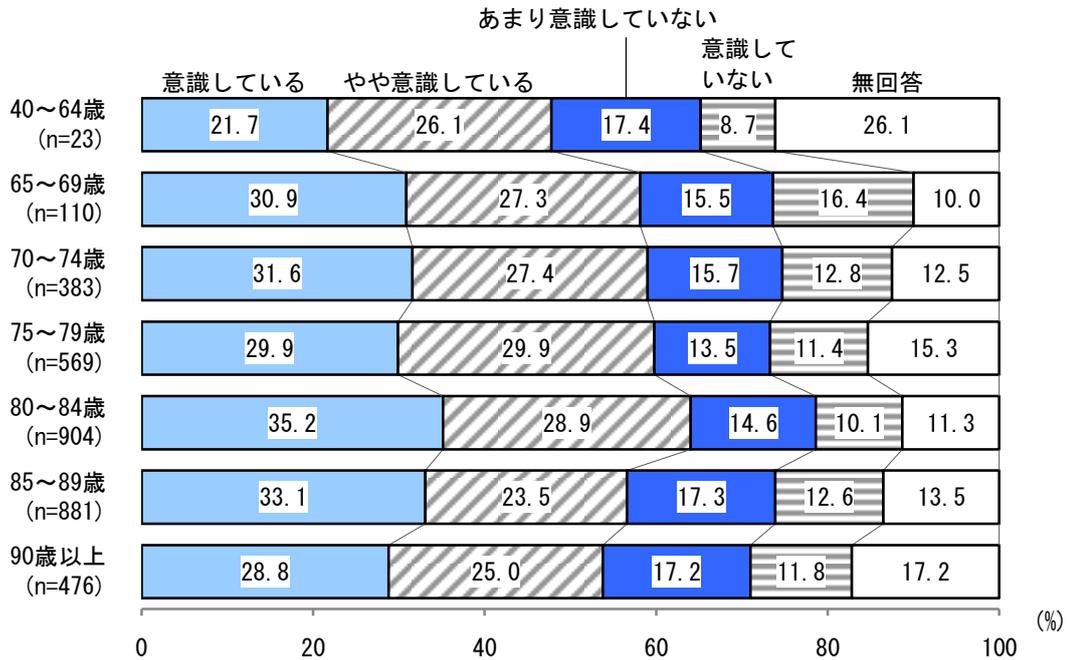
■ 図13 在宅生活継続に必要と感じる支援・サービス（要介護度別）



■ 図15-3 施設等の入所（入居）の検討状況（要介護度別）



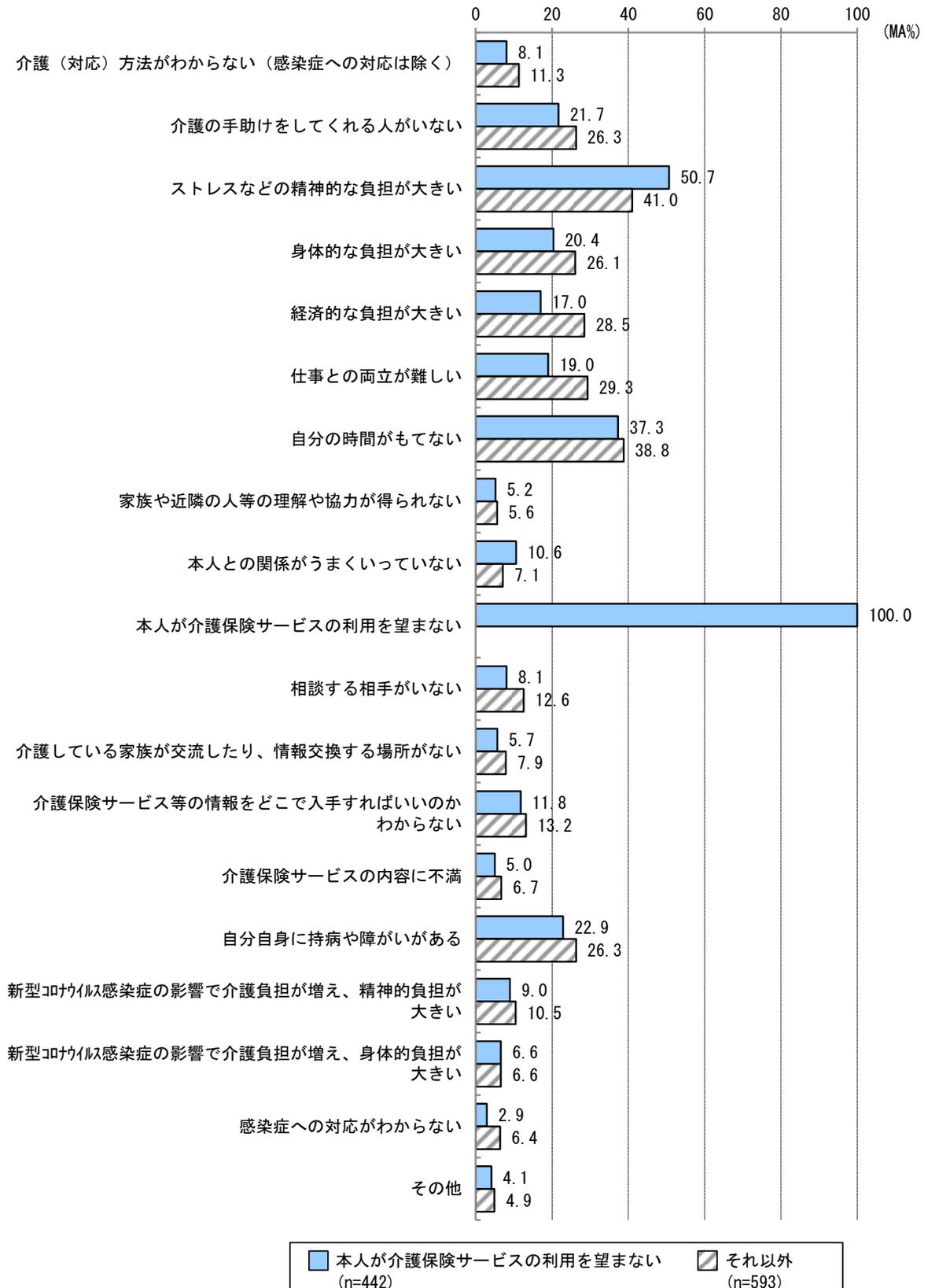
■ 図19 介護予防に対する意識の程度（年齢別）



### ③ 介護者調査

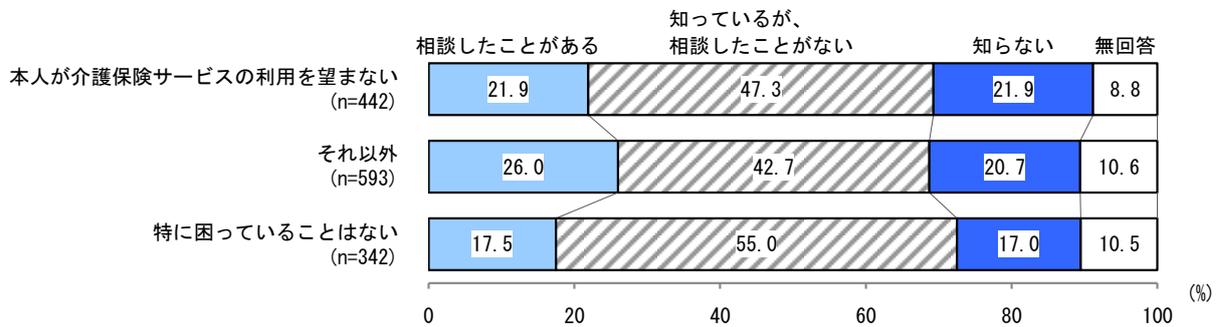
※図番号の前の「A」は介護保険サービス利用者調査、「B」は介護保険サービス未利用者調査を示す。

■B図46[43] 自宅での介護で困っていること（自宅での介護で困っていること別）

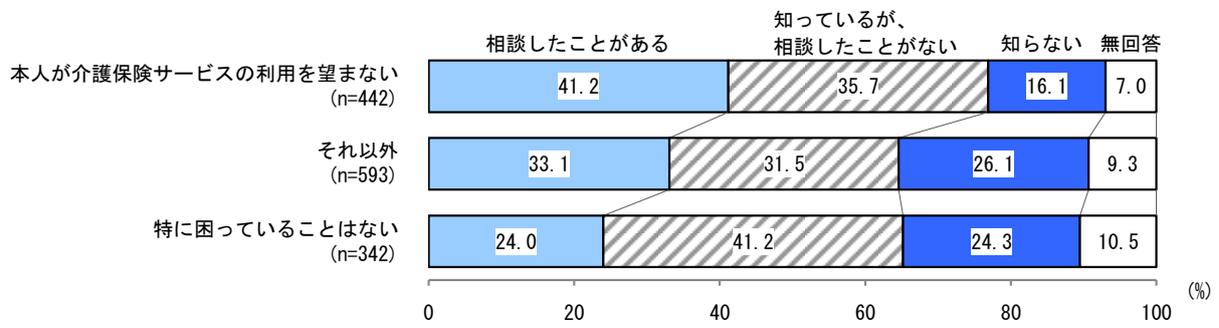


■B図56[54] 相談窓口の利用状況（自宅で介護を行う上で困っていること別）

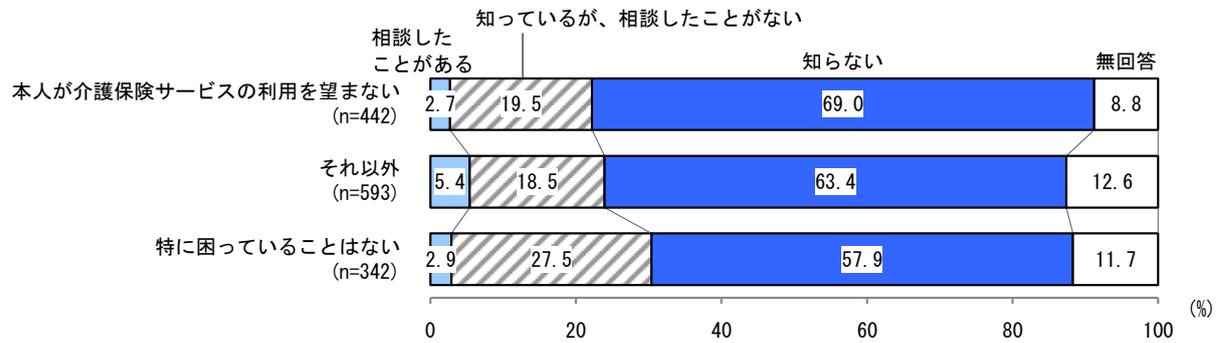
(1) 区役所・保健福祉センター



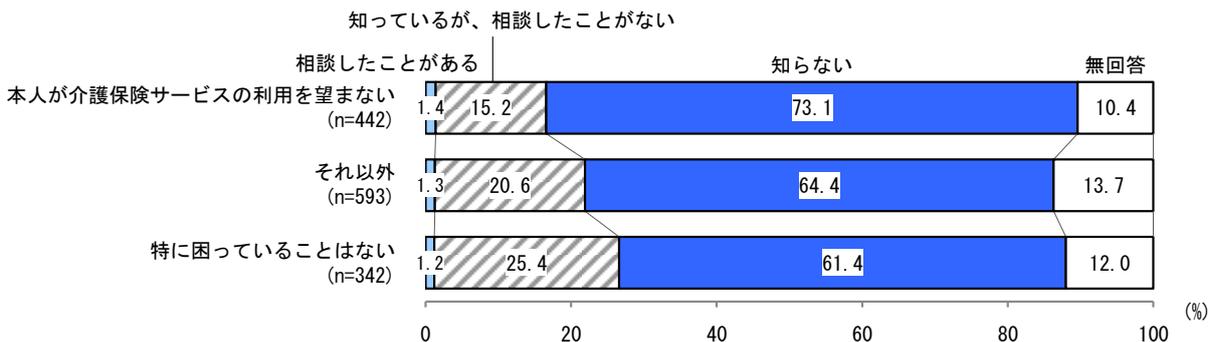
(2) 地域包括支援センター（総合相談窓口（ランチ）を含む）



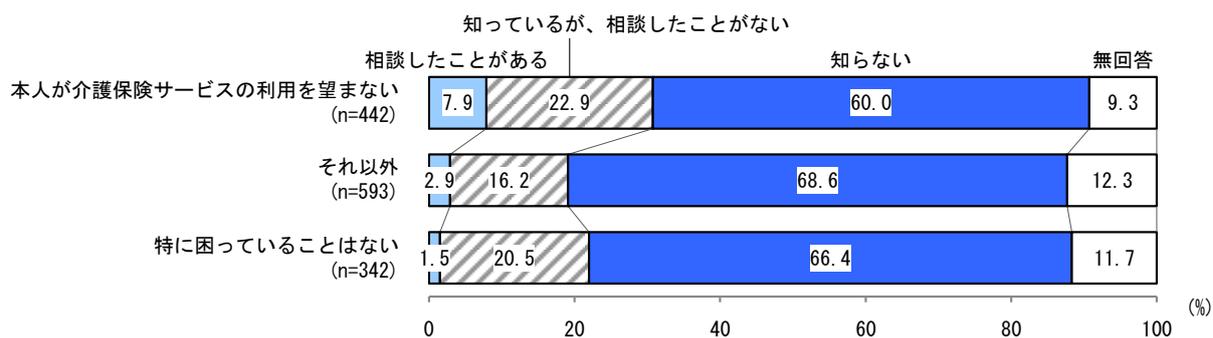
(3) おおさか介護サービス相談センター



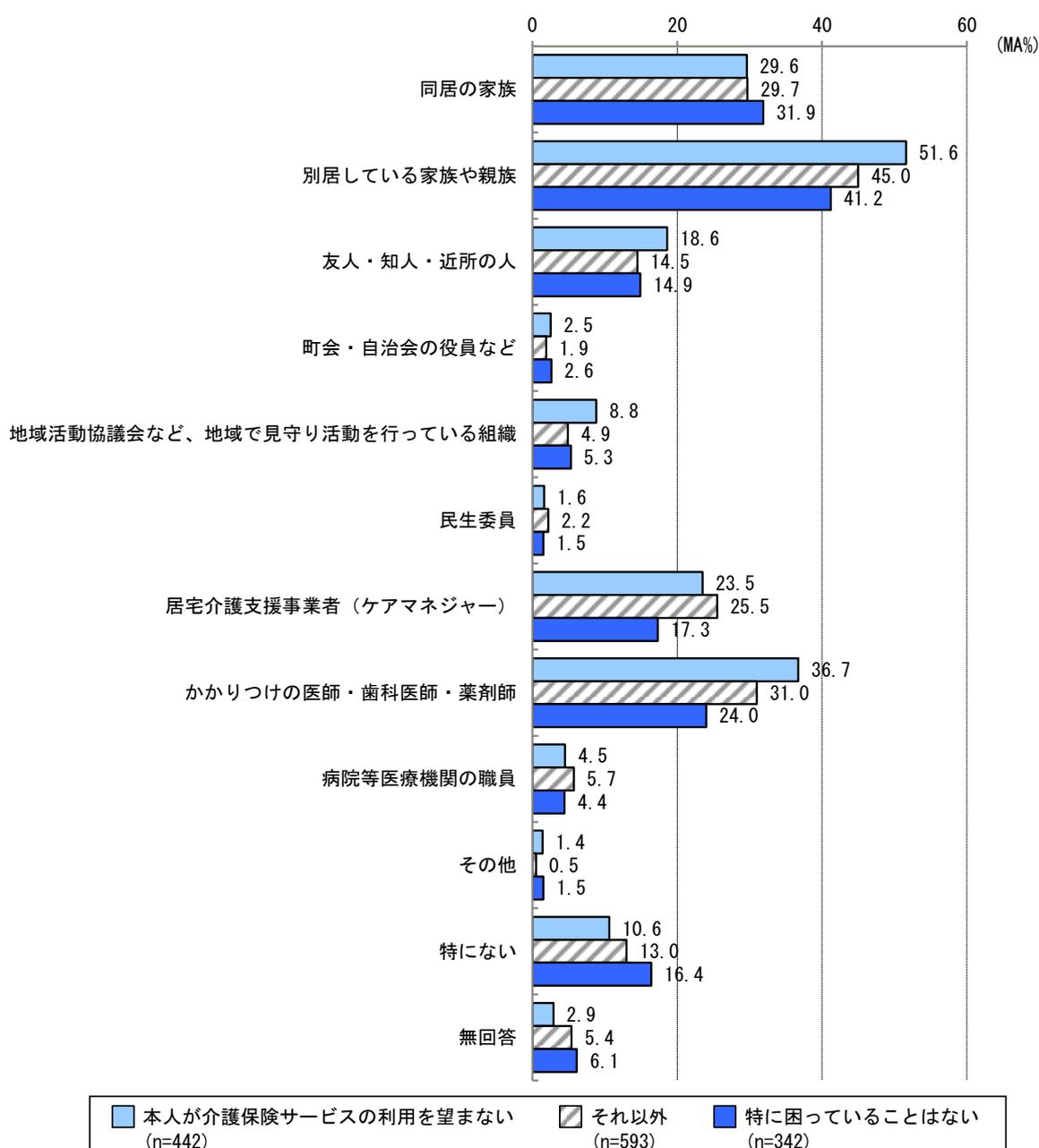
(4) 国民健康保険団体連合会



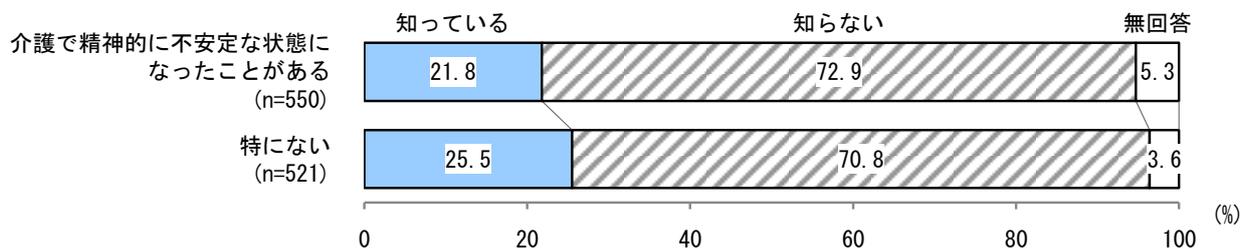
(5) 認知症初期集中支援チーム（オレンジチーム）



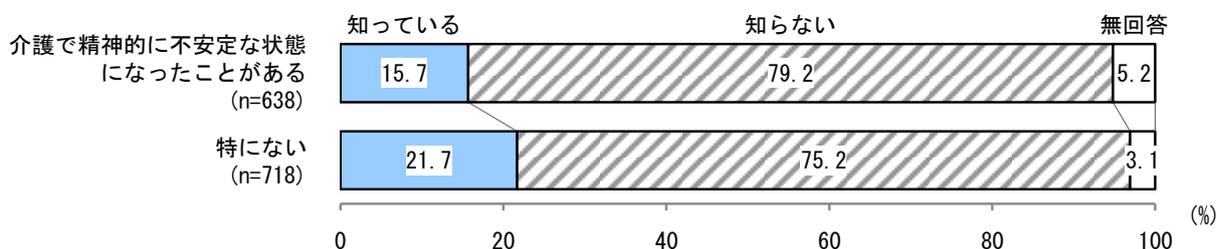
■B図56-1[54-1] 相談窓口の利用状況（自宅で介護を行う上で困っていること別）



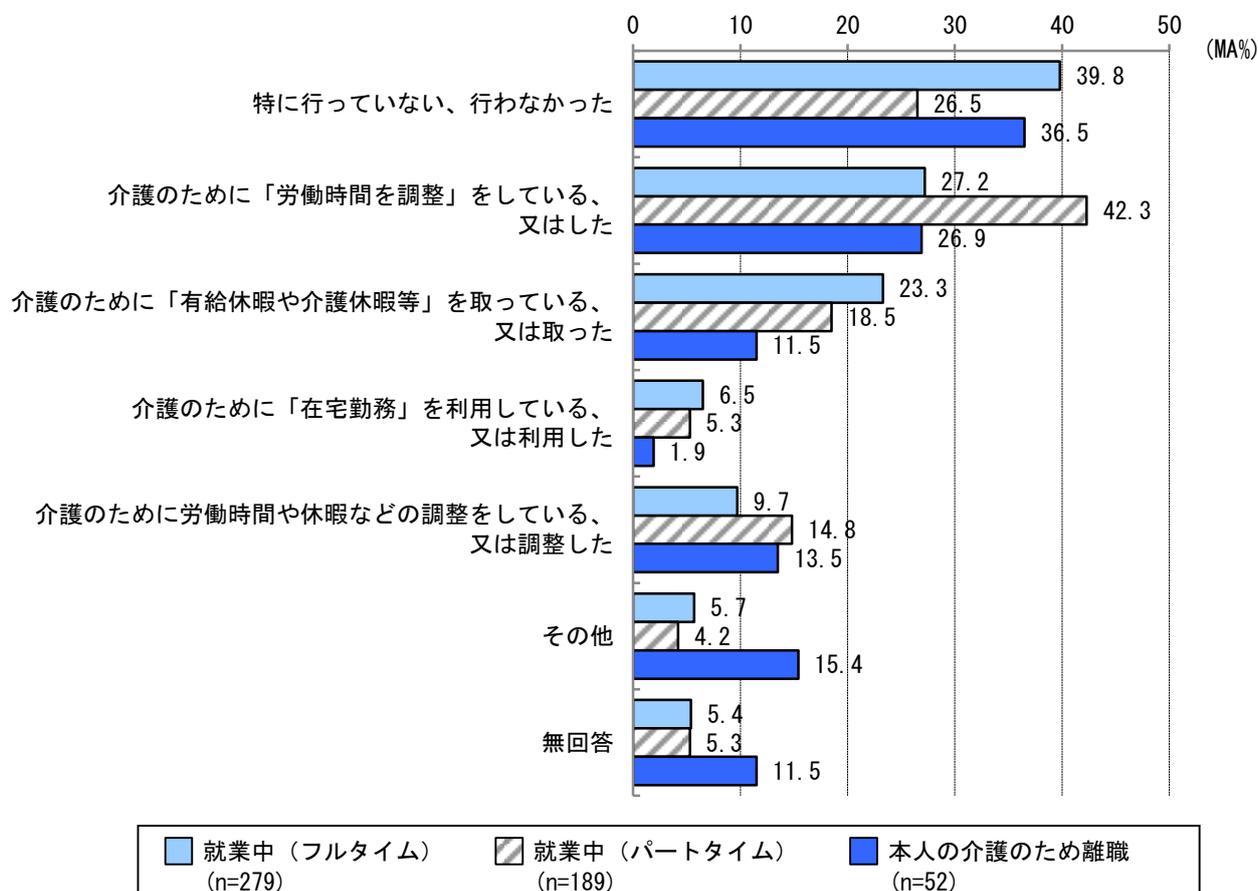
■A図48[45] 高齢者虐待を受けた場合の通報・相談先の認知度（介護で精神的に不安定な状態になった別）



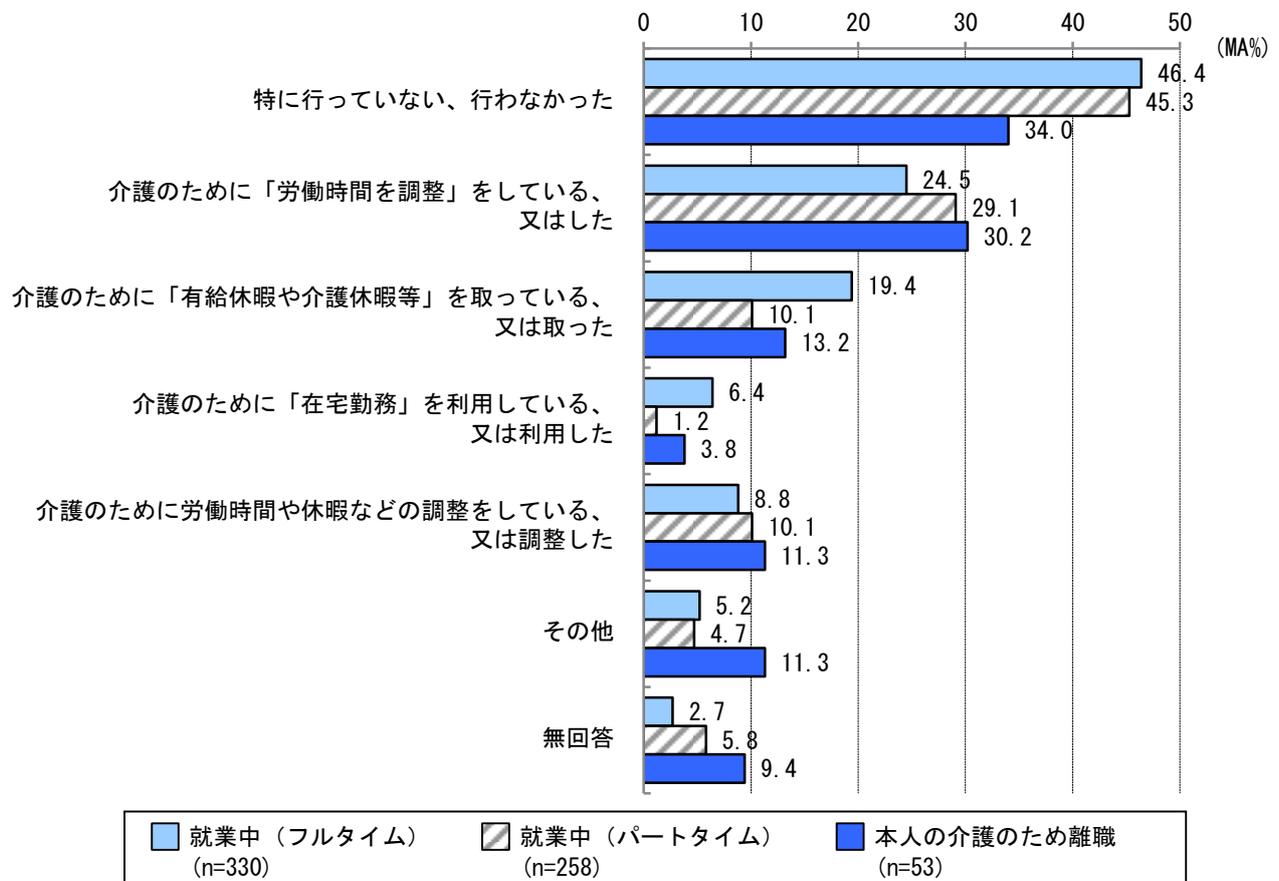
■B図48[45] 高齢者虐待を受けた場合の通報・相談先の認知度（介護で精神的に不安定な状態になった別）



■A図52-1[50-1] 介護をするにあたって行っている働き方の調整（介護者の就業状況別）



■B図52-1[50-1] 介護をするにあたって行っている働き方の調整（介護者の就業状況別）



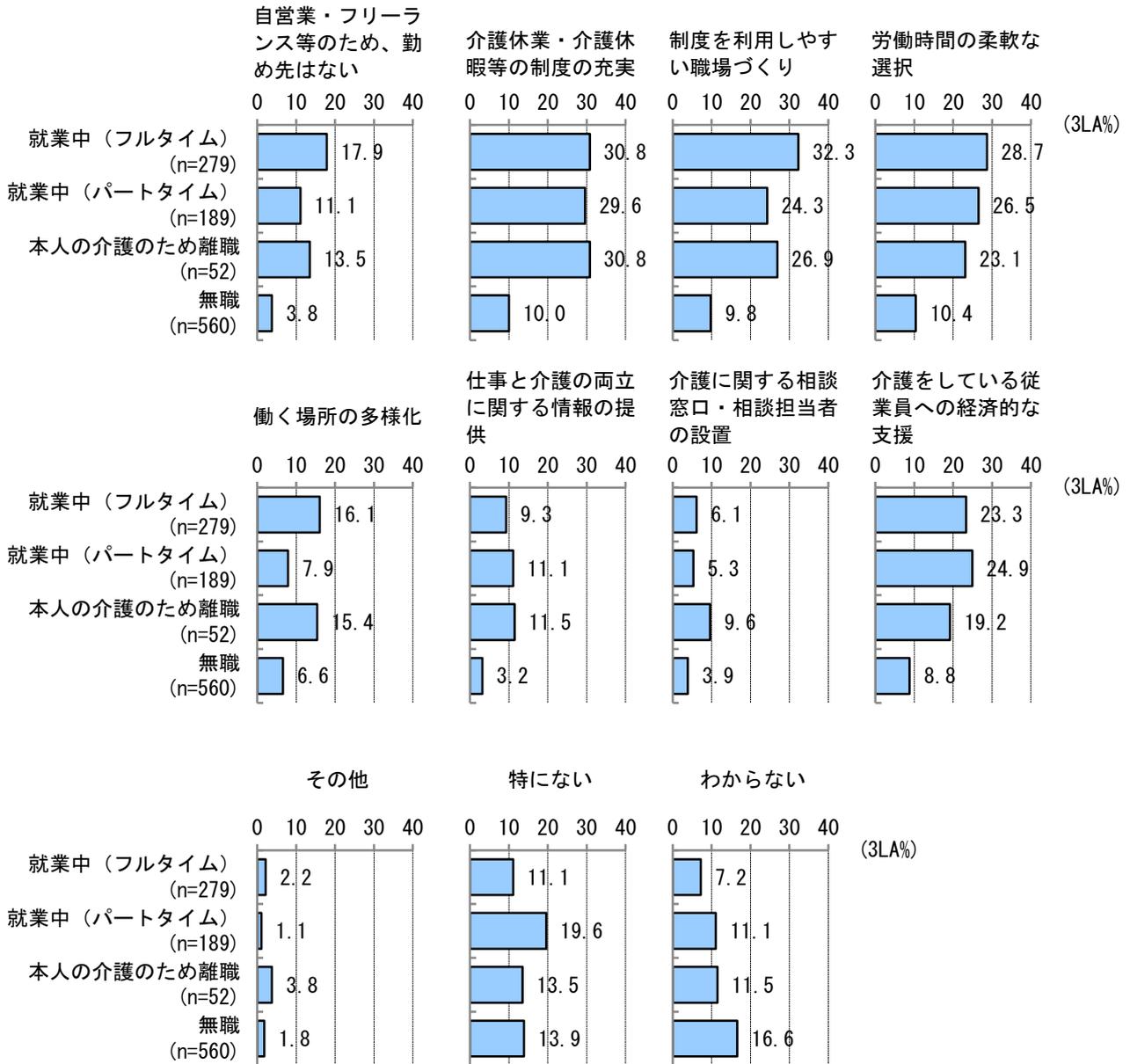
■A表52-1[50-1]-b 介護をするにあたって行っている働き方の調整（在宅介護を行ううえで困っていること別）

	n	な 特 に 行 つ て い な い 、 行 わ な か つ た	は 介 護 の 調 整 を し て い る 、 又 は 調 整 を し て い な い	い る 、 又 は 取 つ た	介 護 の た め に 「 有 給 休 取 つ た 」 を 取 つ た	は 務 利 用 し た	介 護 の た め に 「 在 宅 勤 務 」 を 利 用 し た	介 護 の た め に 調 整 し た	休 暇 の た め に 調 整 し た	介 護 の た め に 調 整 し た	そ の 他	無 回 答
介護（対応）方法がわからない（感染症への対応は除く）	33	48.5	30.3	27.3	6.1	6.1	-	6.1				6.1
介護の手助けをしてくれる人がいない	77	27.3	45.5	31.2	10.4	7.8	6.5	1.3				
ストレスなどの精神的な負担が大きい	204	21.6	45.6	27.0	6.4	18.6	4.4	4.9				
身体的な負担が大きい	111	18.9	49.5	23.4	6.3	16.2	7.2	6.3				
経済的な負担が大きい	90	22.2	48.9	31.1	5.6	15.6	6.7	5.6				
仕事との両立が難しい	221	23.1	42.5	30.8	8.1	15.4	5.0	4.1				
自分の時間がもてない	194	24.7	41.2	27.3	6.2	12.9	7.2	5.2				
家族や近隣の人等の理解や協力が得られない	20	15.0	55.0	35.0	5.0	5.0	15.0	5.0				
本人との関係がうまくいっていない	35	28.6	34.3	22.9	11.4	22.9	5.7	-				
本人が介護保険サービスの利用を望まない	45	20.0	37.8	31.1	6.7	15.6	8.9	4.4				
相談する相手がいない	26	19.2	50.0	38.5	11.5	3.8	11.5	-				
介護している家族が交流したり、情報交換する場所がない	25	36.0	40.0	24.0	8.0	4.0	8.0	4.0				
介護保険サービス等の情報をどこで入手すればいいのかわからない	20	40.0	30.0	30.0	10.0	10.0	10.0	5.0				
介護保険サービスの内容に不満	17	11.8	58.8	35.3	11.8	11.8	-	5.9				
自分自身に持病や障がいがある	48	25.0	41.7	31.3	4.2	18.8	8.3	6.3				
新型コロナウイルス感染症の影響で介護負担が増え、精神的負担が大きい	45	11.1	51.1	42.2	8.9	24.4	8.9	4.4				
新型コロナウイルス感染症の影響で介護負担が増え、身体的負担が大きい	30	3.3	53.3	43.3	13.3	30.0	13.3	3.3				
感染症への対応がわからない	15	46.7	20.0	26.7	-	20.0	-	6.7				
その他	14	21.4	28.6	21.4	7.1	7.1	28.6	-				
特に困っていることはない	120	54.2	20.0	9.2	3.3	10.0	5.8	3.3				

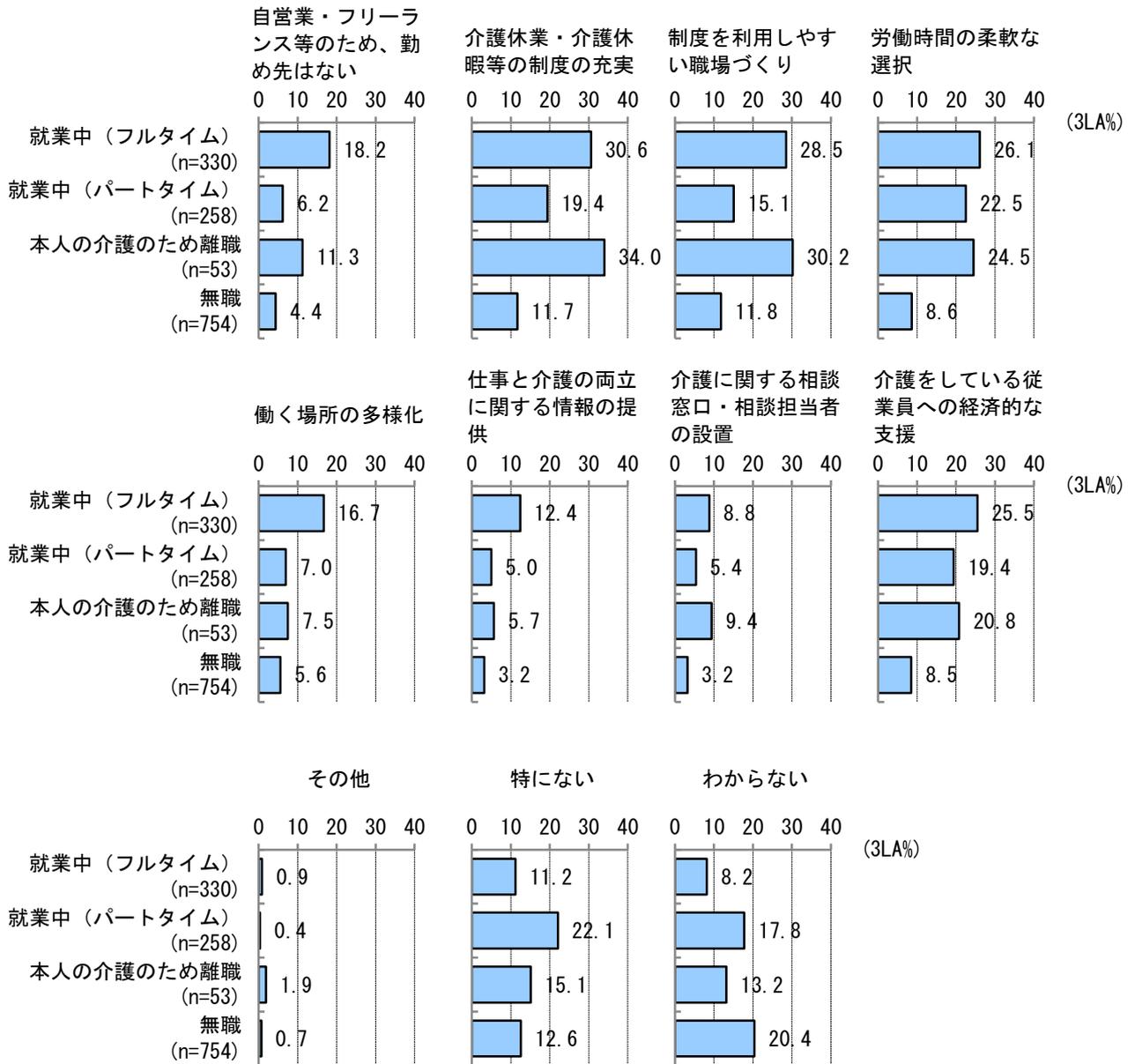
■B表52-1[50-1] 介護をするにあたって行っている働き方の調整（在宅介護を行ううえで困っていること別）

	n	な特 かにつ 行つて いない 、行 わ	はを した 介護 の調 整を ため に「 労働 時間 又	いや 介護 のた めに 「有 給休 め又 は取 つた を	は務 利用 した 介護 のた めに 「宅 勤又 は利 用し てい る	る休 暇な どの ため に調 整し た	その他	無 回 答
介護（対応）方法がわからない（感染症への対応は除く）	45	28.9	20.0	28.9	13.3	17.8	6.7	4.4
介護の手助けをしてくれる人がいない	98	28.6	36.7	23.5	6.1	9.2	4.1	6.1
ストレスなどの精神的な負担が大きい	200	33.0	38.5	22.5	4.0	11.5	4.5	2.0
身体的な負担が大きい	98	24.5	42.9	26.5	8.2	13.3	6.1	2.0
経済的な負担が大きい	107	31.8	32.7	26.2	5.6	13.1	3.7	5.6
仕事との両立が難しい	225	34.7	35.1	23.6	4.9	12.0	3.1	4.0
自分の時間がもてない	182	25.3	41.8	23.1	6.6	10.4	4.9	4.9
家族や近隣の人等の理解や協力が得られない	25	32.0	28.0	24.0	8.0	16.0	-	4.0
本人との関係がうまくいっていない	37	32.4	27.0	21.6	5.4	16.2	10.8	-
本人が介護保険サービスの利用を望まない	177	34.5	33.9	18.6	6.2	10.7	5.6	2.8
相談する相手がない	54	29.6	42.6	31.5	11.1	11.1	-	-
介護している家族が交流したり、情報交換する場所がない	33	30.3	39.4	18.2	6.1	21.2	6.1	-
介護保険サービス等の情報をどこで入手すればいいかわからない	57	36.8	26.3	22.8	5.3	10.5	8.8	3.5
介護保険サービスの内容に不満	23	26.1	34.8	39.1	8.7	21.7	-	-
自分自身に持病や障がいがある	48	25.0	35.4	35.4	8.3	14.6	4.2	4.2
新型コロナウイルス感染症の影響で介護負担が増え、精神的負担が大きい	43	25.6	44.2	25.6	7.0	11.6	-	4.7
新型コロナウイルス感染症の影響で介護負担が増え、身体的負担が大きい	29	17.2	51.7	34.5	13.8	13.8	-	-
感染症への対応がわからない	19	42.1	21.1	26.3	10.5	21.1	10.5	-
その他	12	41.7	-	8.3	-	25.0	25.0	-
特に困っていることはない	135	65.2	17.0	9.6	1.5	5.9	2.2	3.7

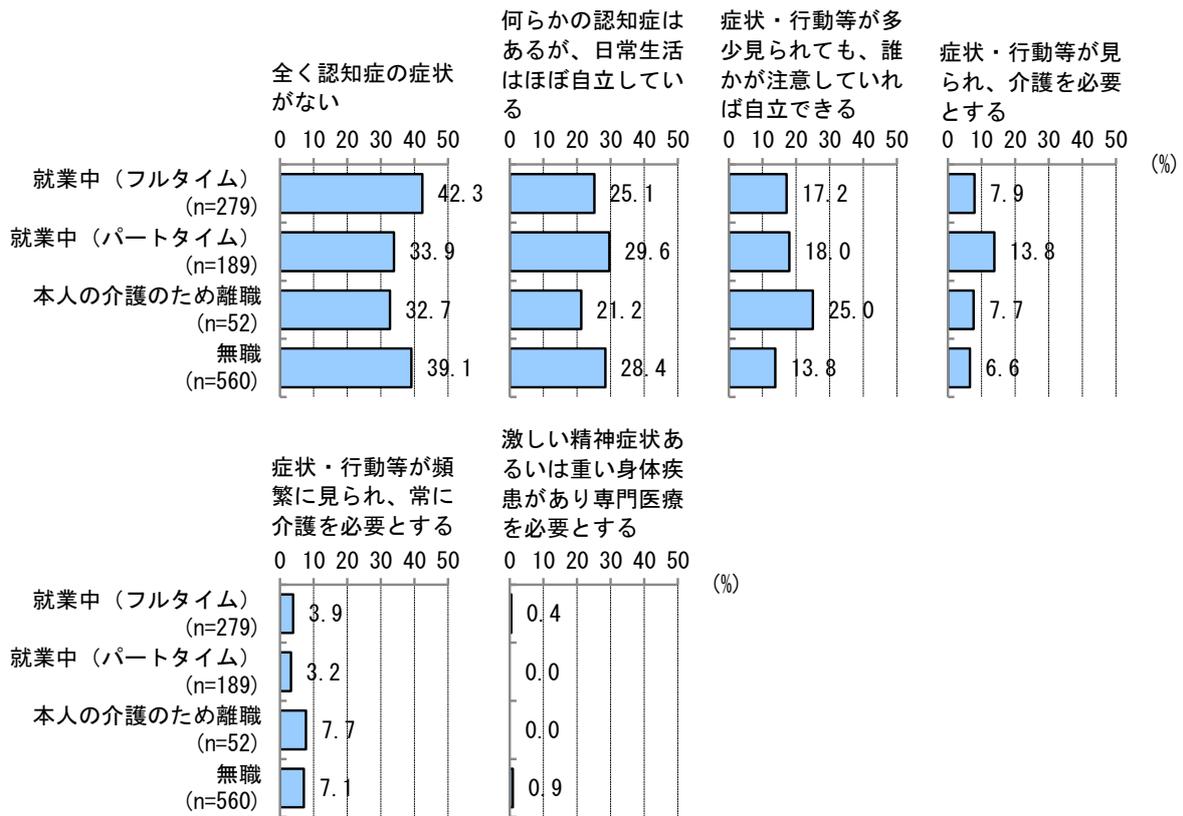
■A図54[52] 仕事と介護の両立に効果があると思われる勤め先からの支援（介護者の就業状況別）



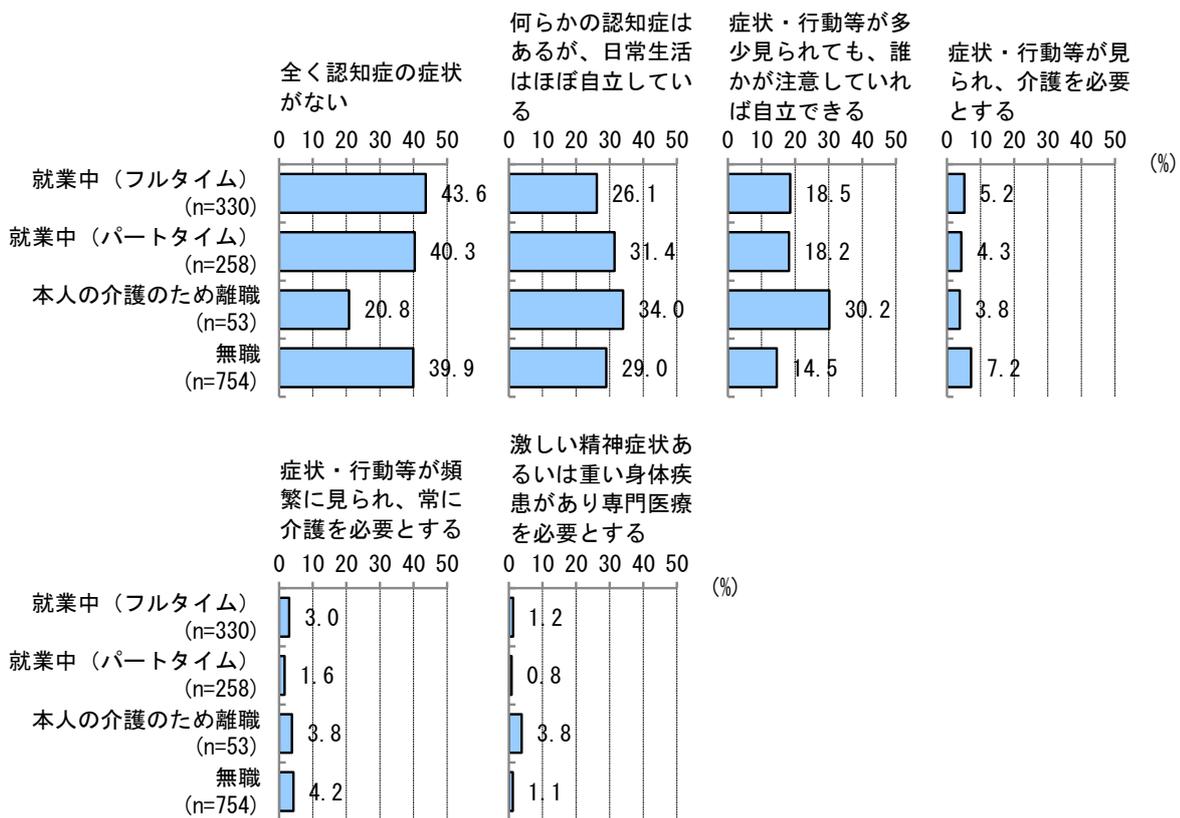
■B図54[52] 仕事と介護の両立に効果があると思われる勤め先からの支援（介護者の就業状況別）



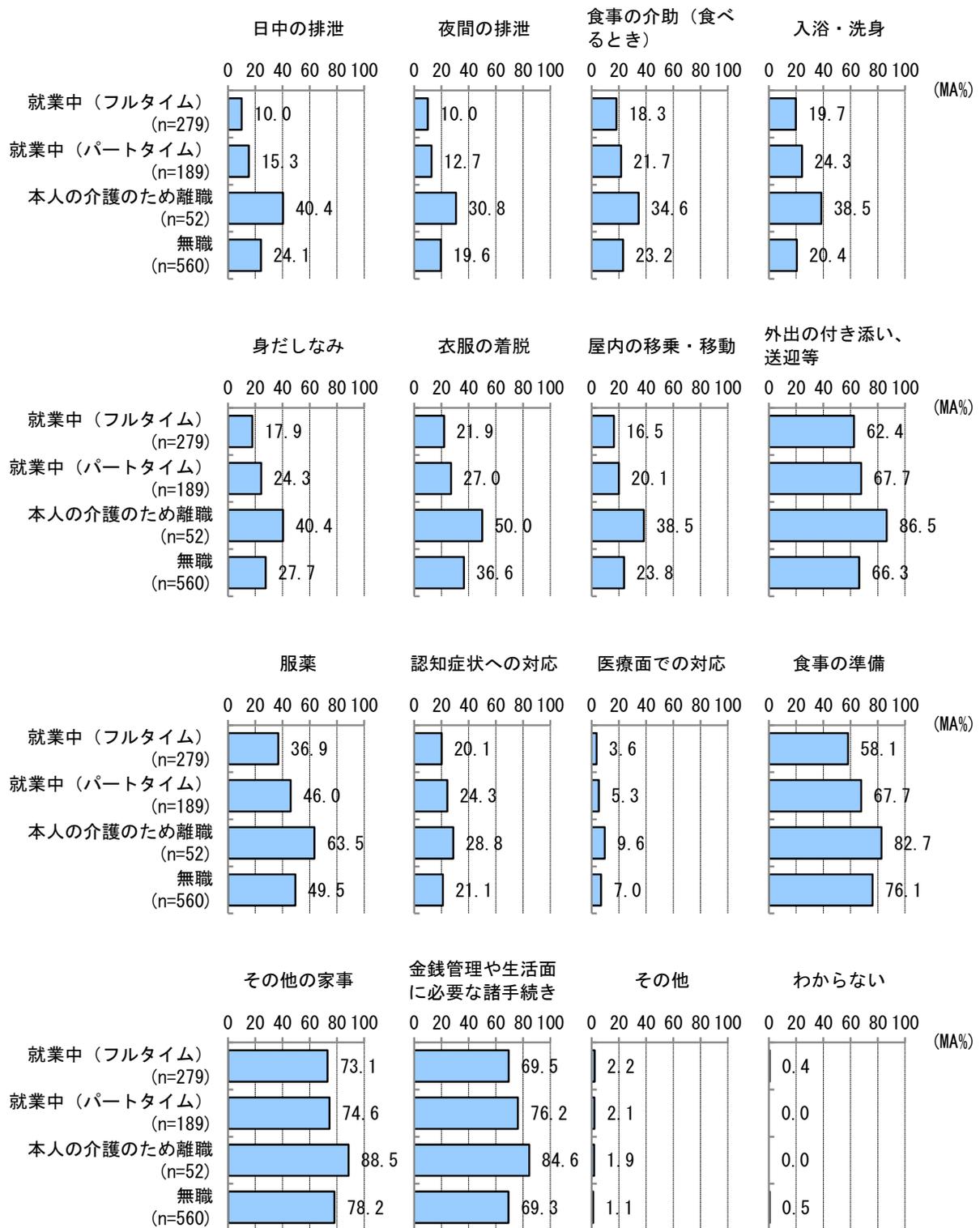
■A図43[40] 本人の認知症の程度（介護者の就業状況）



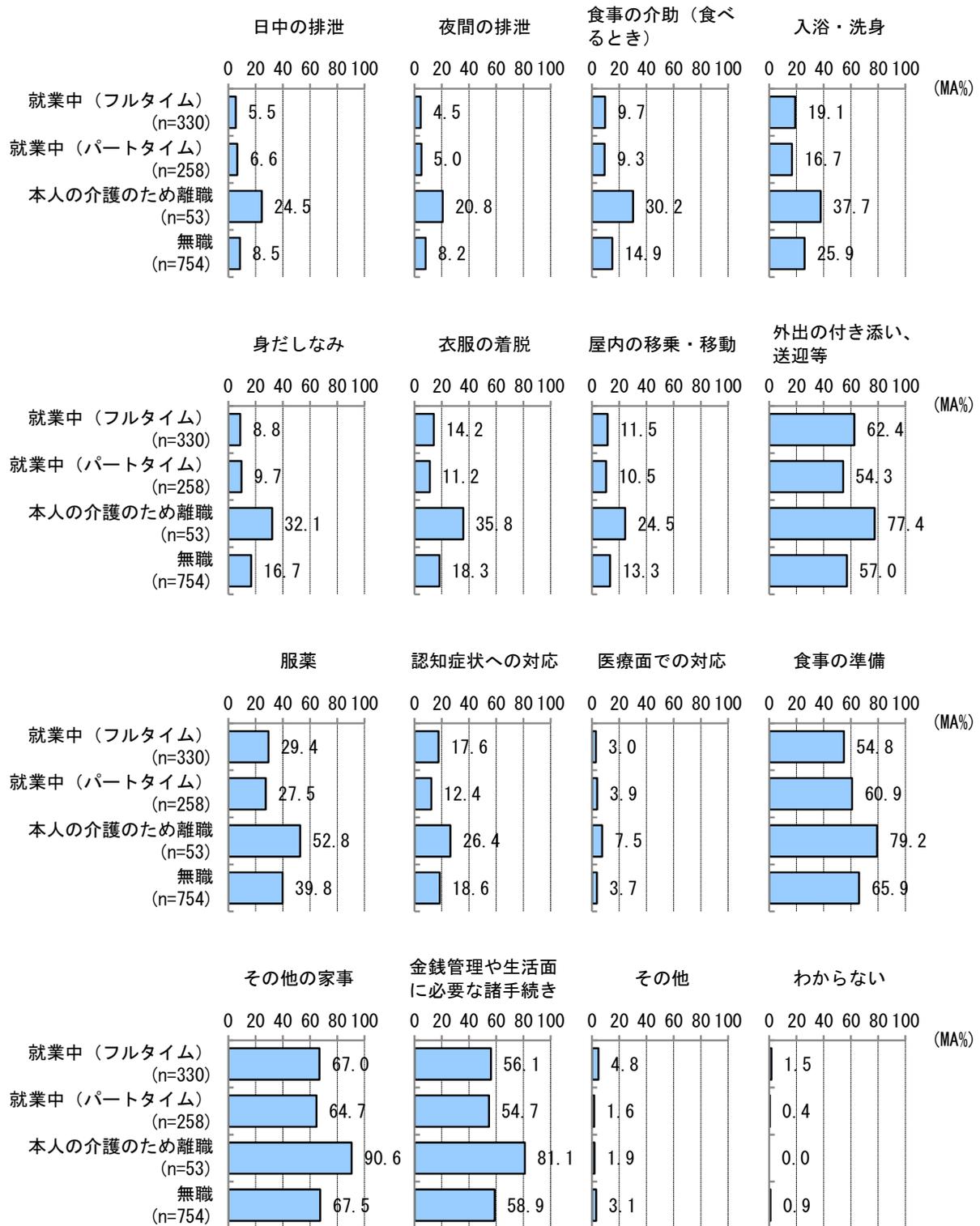
■B図43[40] 本人の認知症の程度（介護者の就業状況）



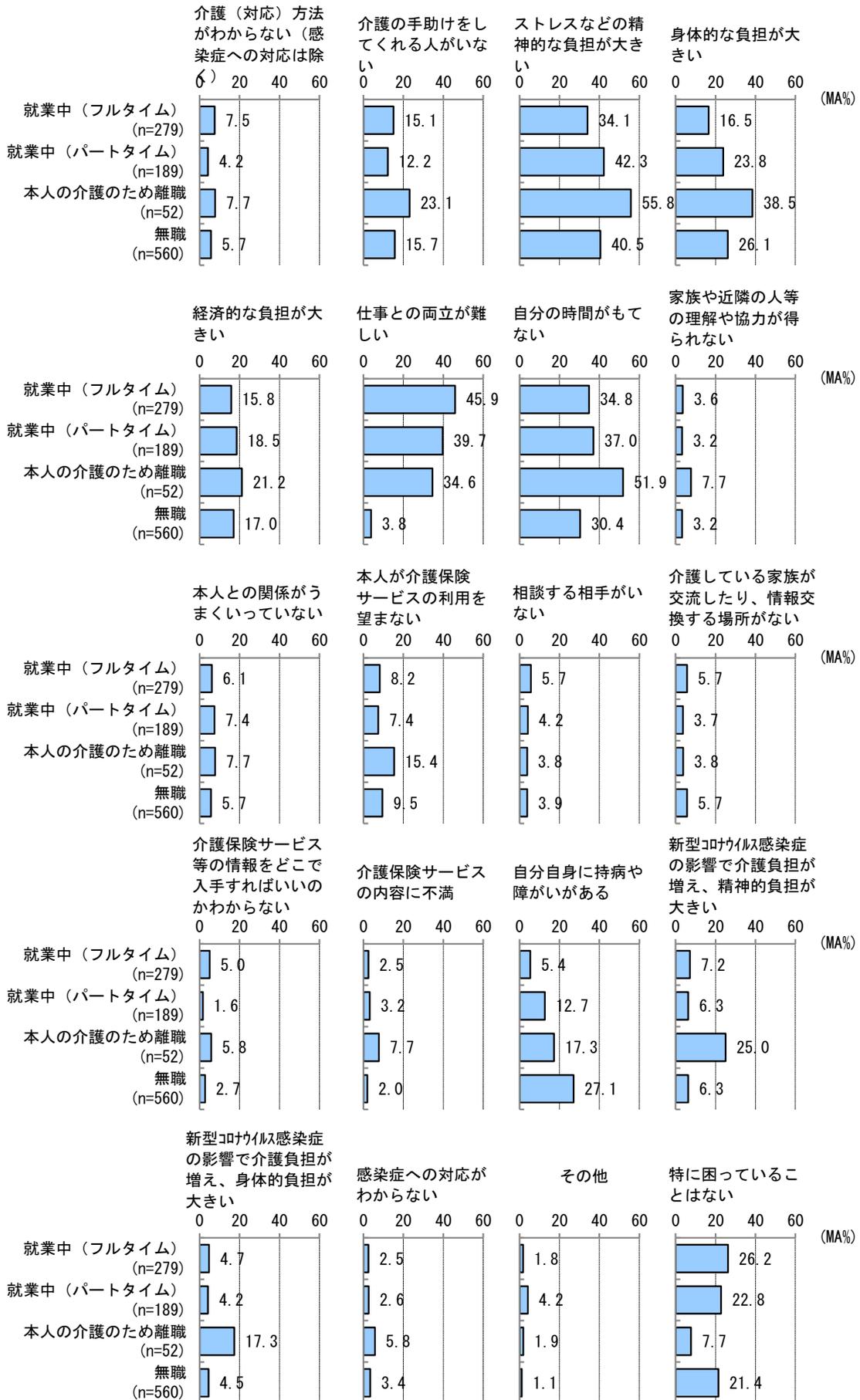
■A図44[41] 本人に行っている介護内容（介護者の就業状況別）



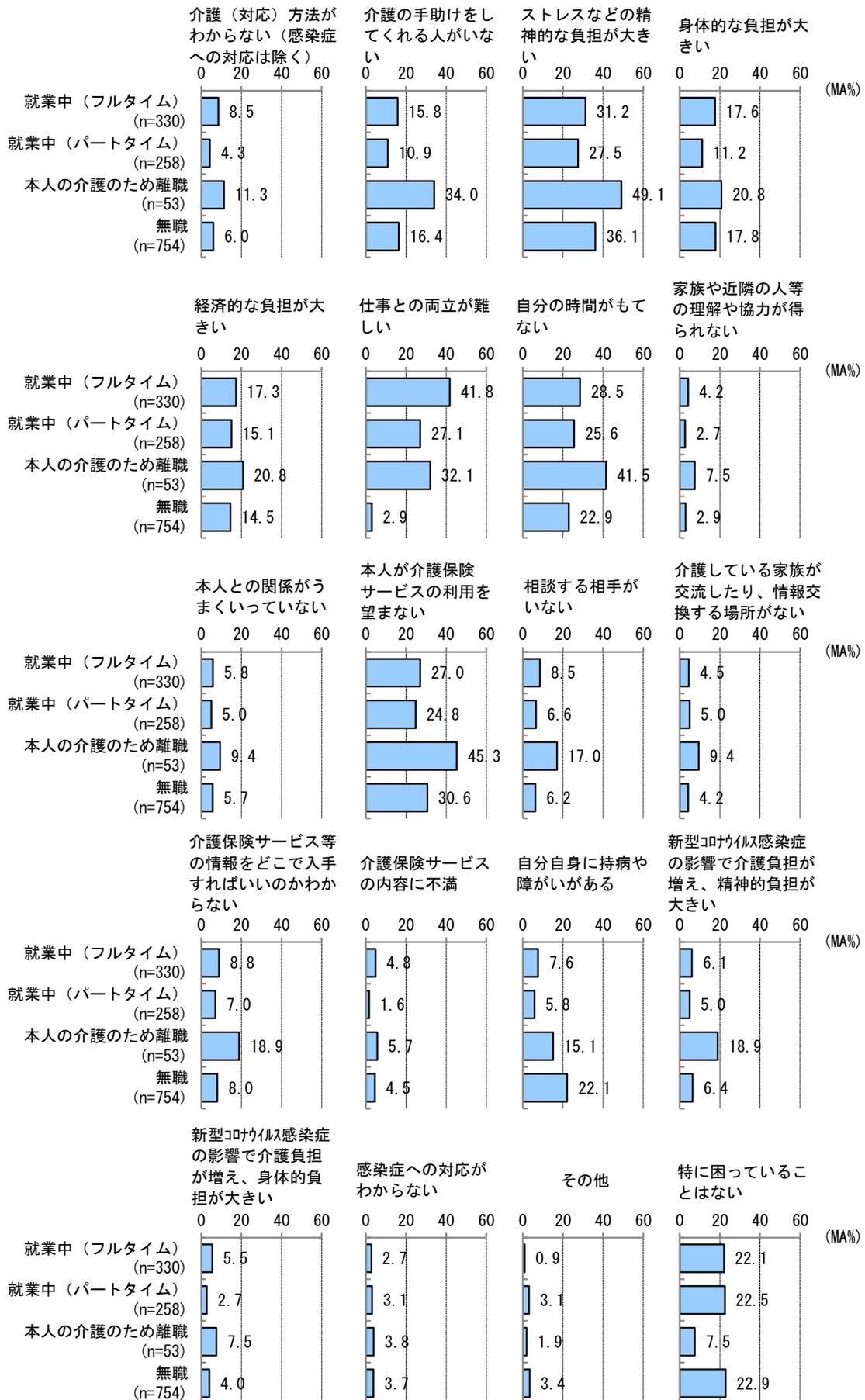
■B図44[41] 本人に行っている介護内容（介護者の就業状況別）



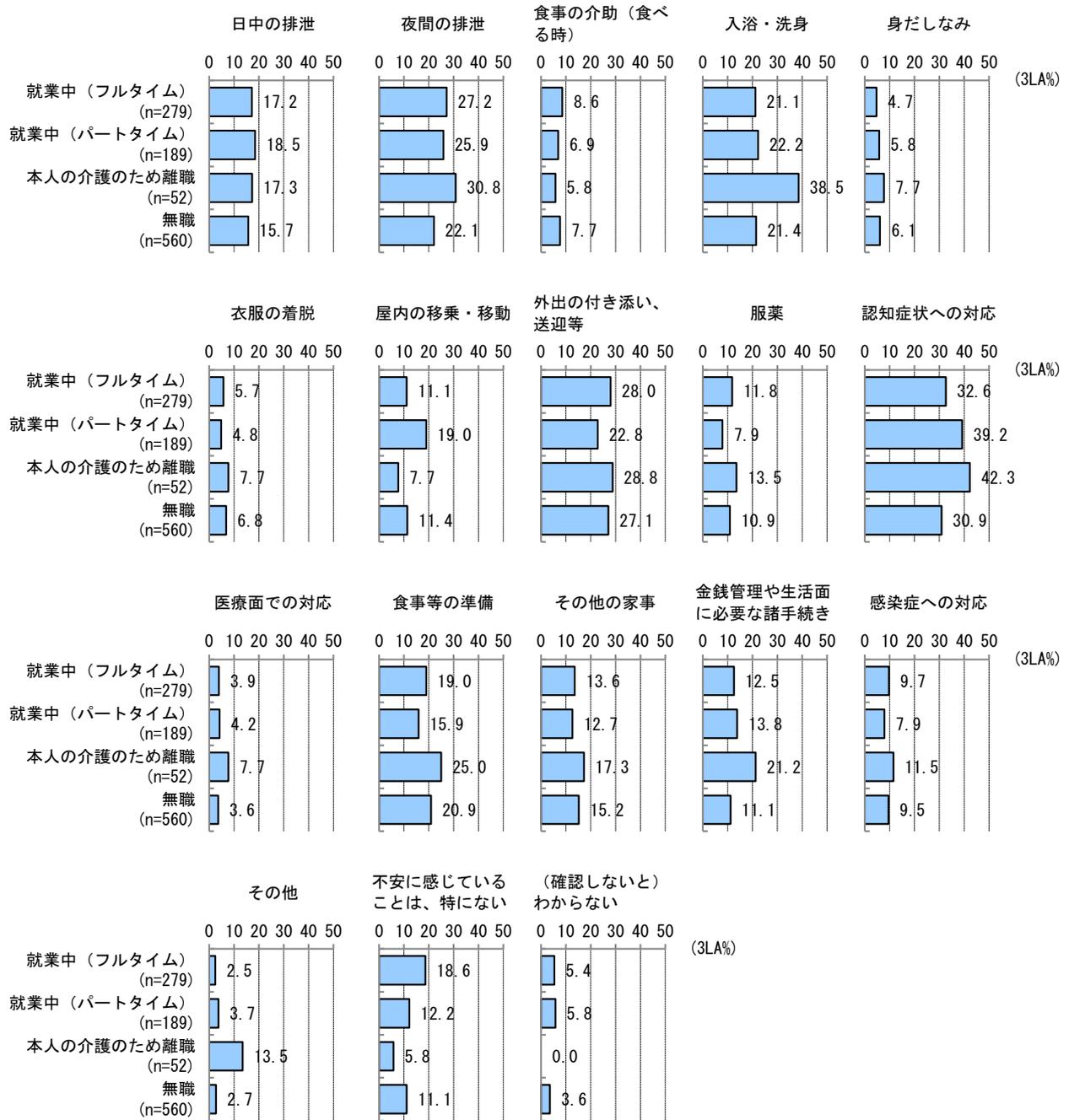
■A図46[43] 自宅での介護で困っていること（介護者の就業状況別）



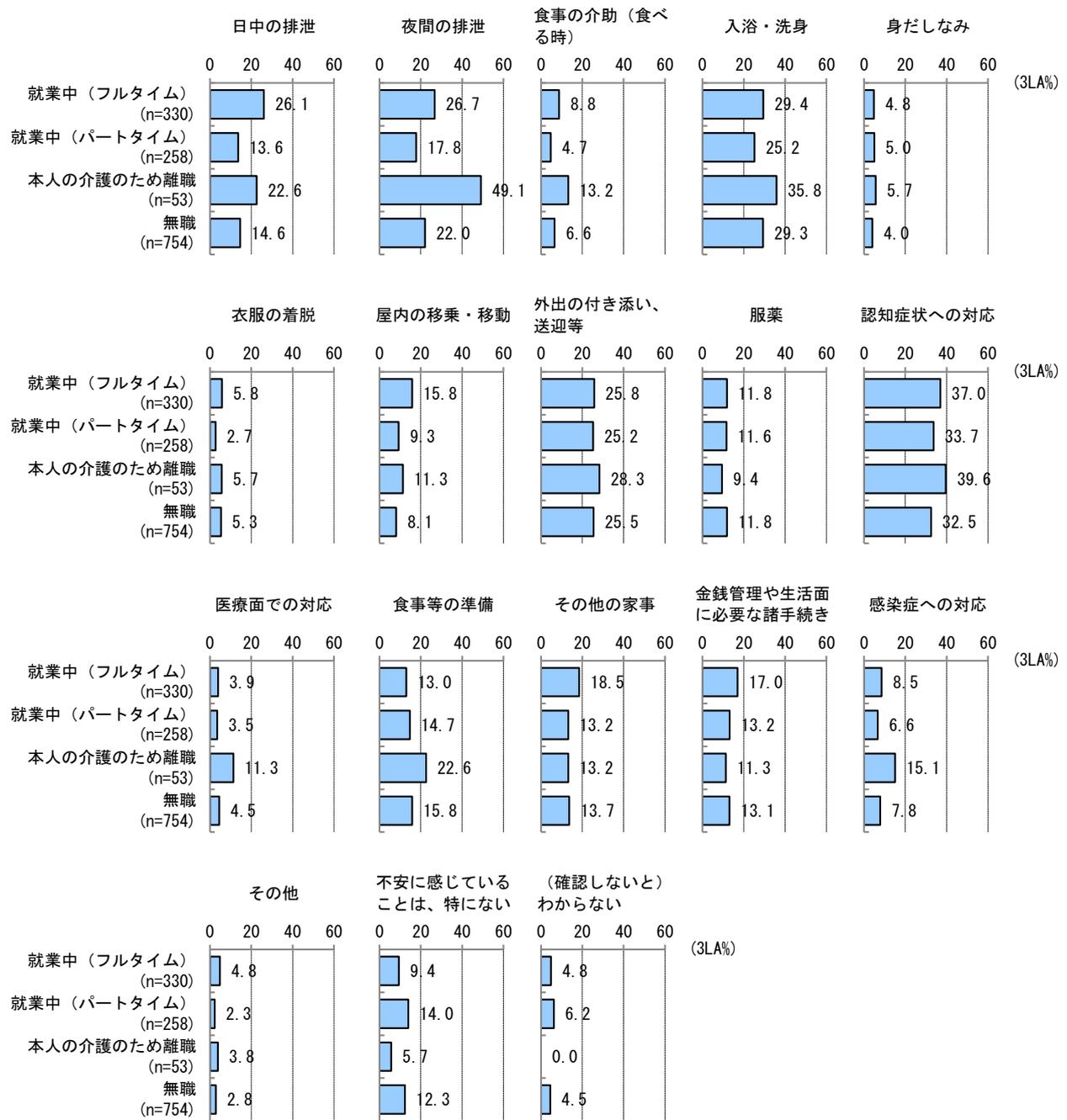
■B図46[43] 自宅での介護で困っていること（介護者の就業状況別）



■A図55[53] 現在の生活を継続していくにあたって不安を感じる介護（介護者の就業状況別）



■B図55[53] 現在の生活を継続していくにあたって不安を感じる介護（介護者の就業状況別）





# 資料編



■ 回答不可理由

調査数	現在介護サービスを利用していない	病院に入院中	本人の意思が確認できない	転居	死亡	その他	有効数
3,373 100.0	45 1.3	71 2.1	195 5.8	4 0.1	15 0.4	5 0.1	3,038 90.1

保険料コード

調査数	第1段階	第2段階	第3段階	第4段階	第5段階	第6段階	第7段階	第8段階	第9段階	第10段階	第11段階	第12段階	第13段階	第14段階	第15段階	無回答
3,038 100.0	524 17.2	851 28.0	386 12.7	333 11.0	244 8.0	193 6.4	190 6.3	185 6.1	54 1.8	24 0.8	14 0.5	8 0.3	5 0.2	4 0.1	18 0.6	5 0.2

問1 記入者

調査数	本人	家族(親族) (主な介護者)	家族(親族) (主な介護者以外)	その他	無回答
3,038 100.0	1,440 47.4	1,107 36.4	154 5.1	208 6.8	129 4.2

問2 (1) 性別

調査数	男性	女性	その他、または、答えたくない	無回答
3,038 100.0	952 31.3	2,060 67.8	2 0.1	24 0.8

問2 (2) 年齢

調査数	40歳	55歳	64歳	70歳	75歳	80歳	85歳	90歳以上	無回答
3,038 100.0	35 1.2	108 3.6	305 10.0	449 14.8	696 22.9	810 26.7	614 20.2	21 0.7	

問2 (3) 居住区

調査数	北区	都島区	福島区	此花区	中央区	西区	港区	大正区	天王寺区	浪速区	西淀川区	淀川区	東淀川区	東成区	生野区	旭区
3,038 100.0	103 3.4	106 3.5	56 1.8	66 2.2	69 2.3	61 2.0	89 2.9	80 2.6	70 2.3	67 2.2	93 3.1	172 5.7	180 5.9	68 2.2	182 6.0	121 4.0

調査数	城東区	鶴見区	阿倍野区	住之江区	住吉区	東住吉区	平野区	西成区	無回答
176 5.8	124 4.1	123 4.0	145 4.8	209 6.9	194 6.4	253 8.3	211 6.9	20 0.7	

問3 要介護度

調査数	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	事業対象者	わからない	無回答
3,038 100.0	589 19.4	528 17.4	362 11.9	444 14.6	342 11.3	340 11.2	279 9.2	1 0.0	55 1.8	98 3.2

問4 現在抱えている傷病等

調査数	中)脳血管疾患(脳卒中)	心疾患(心臓病)	悪性新生物(がん)	呼吸器疾患	腎疾患(透析)	筋骨格系疾患	膠原病(関節リウマチ含む)	変形性関節疾患	認知症	パーキンソン病	難病(パーキンソン病を除く)	糖尿病	眼科・耳鼻科疾患	その他	なし	わからない	無回答
3,038	311	492	209	245	111	587	128	373	637	116	57	506	610	478	139	62	124
100.0	10.2	16.2	6.9	8.1	3.7	19.3	4.2	12.3	21.0	3.8	1.9	16.7	20.1	15.7	4.6	2.0	4.1

問5 世帯状況

調査数	単身(ひとり暮らし)	夫婦のみで、65歳以上、配偶者	夫婦のみで、65歳未満、配偶者	息子・娘との2世帯	その他の世帯	無回答
3,038	1,373	649	33	541	319	123
100.0	45.2	21.4	1.1	17.8	10.5	4.0

問6 介護者の有無

調査数	いる	いない	無回答
3,038	2,312	648	78
100.0	76.1	21.3	2.6

付問6 主な介護者

調査数	主に事業者	主に家族など	無回答
2,312	837	1,310	165
100.0	36.2	56.7	7.1

問6-1 家族・親族からの介護頻度

調査数	ない	ありが、少ない週に1日	ありが、多い週に2日ある	週に3日ある	週に4日ある	ほぼ毎日ある	無回答
2,312	557	207	259	117	896	276	
100.0	24.1	9.0	11.2	5.1	38.8	11.9	

問7 介護・介助が必要になった原因

調査数	脳卒中	心臓病	がん(悪性新生物)	呼吸器の病気	関節の病気	認知症	パーキンソン病	糖尿病	腎疾患(透析)	視覚・聴覚障がい	骨折・転倒	脊椎損傷	高齢による衰弱	その他	わからない	無回答
3,038	359	272	172	162	223	525	102	247	73	168	668	162	636	351	70	357
100.0	11.8	9.0	5.7	5.3	7.3	17.3	3.4	8.1	2.4	5.5	22.0	5.3	20.9	11.6	2.3	11.8

問8 初めて要介護認定を受けた目的

調査数	介護サービスの購入をため	福祉用具の購入をため	介護保険の住宅改修・支援のために認定を受けた	念のため認定だけ受けた	周囲に介護してもらうため、不安を感じたから	その他	無回答
3,038	1,614	209	398	390	91	336	
100.0	53.1	6.9	13.1	12.8	3.0	11.1	

問9 直近の要介護認定の不満有無

調査数	特にない	やや不満である	不満である	わからない	無回答
3,038	2,048	320	128	259	283
100.0	67.4	10.5	4.2	8.5	9.3

問9-1 直近の要介護認定に不満な理由

調査数	認定結果が思っていたより軽い	認定結果が思っていたより重い	認定がされず、認定期間が短い	認定の有効期間が短い	認定の調査の際の説明がわかりにくい	その他	無回答
448	303	20	91	64	56	34	9
100.0	67.6	4.5	20.3	14.3	12.5	7.6	2.0

問10 現在の居住状況

調査数	持ち家・賃貸住宅	高齢者向け住宅(介護付き有料老人ホーム除く)	その他	施設等に同居(入居)	無回答
3,038	2,360	70	28	415	165
100.0	77.7	2.3	0.9	13.7	5.4

問10-1 施設等への入所・入居の検討状況

調査数	入所・入居は検討していない	入所・入居を検討している	すでに入所・入居申し込みをしている	無回答
2,458	1,748	355	70	285
100.0	71.1	14.4	2.8	11.6

問10-2 現在利用している介護サービス

調査数	訪問介護(ホームヘルプ)	介護予防型訪問サービス(現行相当型)	生活援助型訪問サービス(基準緩和型)	訪問看護	訪問リハビリテーション	居宅療養管理指導	通所介護(デイサービス)	介護予防型通所サービス(現行相当型)	短時間型通所サービス(基準緩和型)	通所リハビリテーション(デイケア)	養介護(ショートステイ)	短期入所生活介護・療養介護	小規模多機能型居宅介護	福祉用具の貸与	福祉用具の購入	住宅改修	定期巡回・随時対応型訪問介護看護(24時間サービス)
2,458	987	278	91	407	317	174	844	146	210	313	122	15	1,129	381	472	31	
100.0	40.2	11.3	3.7	16.6	12.9	7.1	34.3	5.9	8.5	12.7	5.0	0.6	45.9	15.5	19.2	1.3	

問10-3 介護サービスの利用有無

訪問入浴介護	夜間対応型訪問介護	居宅小規模多機能型看護	その他	無回答	調査数	利用した	利用していない	無回答
76	20	8	19	172	2,458	1,341	928	189
3.1	0.8	0.3	0.8	7.0	100.0	54.6	37.8	7.7

問10-4 介護保険サービス及び介護予防サービスの利用状況

	調査数	利用していない	週1回程度	週2回程度	週3回程度	週4回程度	週5回以上	無回答
◎ 訪問介護(ホームヘルプサービス)	1,341	631	159	161	87	34	192	77
	100.0	47.1	11.9	12.0	6.5	2.5	14.3	5.7
◎ 訪問入浴介護	1,341	1,179	37	29	11	4	4	77
	100.0	87.9	2.8	2.2	0.8	0.3	0.3	5.7
◎ 訪問看護	1,341	1,010	148	52	21	19	14	77
	100.0	75.3	11.0	3.9	1.6	1.4	1.0	5.7
◎ 訪問リハビリテーション	1,341	1,031	97	84	30	12	10	77
	100.0	76.9	7.2	6.3	2.2	0.9	0.7	5.7
◎ 通所介護(デイサービス)	1,341	710	143	211	103	42	55	77
	100.0	52.9	10.7	15.7	7.7	3.1	4.1	5.7
◎ 通所リハビリテーション(デイケア)	1,341	989	111	100	29	22	13	77
	100.0	73.8	8.3	7.5	2.2	1.6	1.0	5.7
◎ 夜間対応型訪問介護(訪問のあった回数)	1,341	1,249	7	1	1	-	6	77
	100.0	93.1	0.5	0.1	0.1	-	0.4	5.7

問10-4 介護保険サービス及び介護予防サービスの利用状況

	調査数	利用していない	利用した	無回答
◎ 定期巡回・随時対応型訪問介護看護	1,341	1,195	69	77
	100.0	89.1	5.1	5.7
◎ 小規模多機能型居宅介護	1,341	1,249	15	77
	100.0	93.1	1.1	5.7
◎ 看護小規模多機能型居宅介護	1,341	1,252	12	77
	100.0	93.4	0.9	5.7

問10-4 介護保険サービス及び介護予防サービスの利用状況

	調査数	利用していない	1日～7日程度	8日～14日程度	15日～21日程度	22日以上	無回答
◎ ショートステイ	1,341	1,143	75	33	8	5	77
	100.0	85.2	5.6	2.5	0.6	0.4	5.7
◎ 居宅療養管理指導	1,341	1,126	112	19	2	5	77
	100.0	84.0	8.4	1.4	0.1	0.4	5.7

問10-5 介護サービスを利用していない理由

調査数	は利用するほどの状態ではない	希望がない	本人にサービス利用の	問題ない	家族が介護をするため	以前、サービスに不満があった	利用料を支払うのが難しい	利用できないサービスが身近にある	住宅改修、福祉用具貸与、購入のみを利用する	手続が難しい	サービスを受けたいが	新型コロナウイルス感染率が高くなるから	人との接触が増えるから	その他	無回答								
928	443	145	122	25	48	16	50	21	59	73	172	100.0	47.7	15.6	13.1	2.7	5.2	1.7	5.4	2.3	6.4	7.9	18.5

問11 新型コロナウイルス感染症拡大による介護サービス利用の変化

調査数	やや回数を減らす等の変更	介護サービス利用の減少	事業所等施設の利用の減少	特に影響はなかった	無回答
2,458	199	193	1,601	465	
100.0	8.1	7.9	65.1	18.9	

問11-1 新型コロナウイルス感染症の影響による利用回数の減について (※有効回答のみ)

	調査数	利用をやめた	回数を減らした
◎ 訪問介護(ホームヘルプサービス)	79	15	64
	100.0	19.0	81.0
◎ 訪問入浴介護	15	8	7
	100.0	53.3	46.7
◎ 訪問看護	20	8	12
	100.0	40.0	60.0
◎ 訪問リハビリテーション	32	13	19
	100.0	40.6	59.4
◎ 通所介護(デイサービス)	168	43	125
	100.0	25.6	74.4
◎ 通所リハビリテーション(デイケア)	97	24	73
	100.0	24.7	75.3
◎ 夜間対応型訪問介護	7	6	1
	100.0	85.7	14.3
◎ ショートステイ	42	21	21
	100.0	50.0	50.0
◎ 居宅療養管理指導	9	5	4
	100.0	55.6	44.4
◎ 定期巡回・随時対応型訪問介護看護	9	6	3
	100.0	66.7	33.3
◎ 小規模多機能型居宅介護	5	4	1
	100.0	80.0	20.0
◎ 看護小規模多機能型居宅介護	6	4	2
	100.0	66.7	33.3

問11-2 介護サービスの種類変更や回数低減による影響

調査数	人と話の関わりが減少	感染に対する不安が	外出する機会も減る	趣味が増える新たな	精神的に不安定に	できる前向きな考えや	事業者が増えた介護者の	身体機能が低下した	洗濯の買物など、掃除に	影響は特にな	その他	無回答
392	149	102	163	12	55	35	116	134	29	45	15	29
100.0	38.0	26.0	41.6	3.1	14.0	8.9	29.6	34.2	7.4	11.5	3.8	7.4

問12 現在利用している、介護サービス以外の支援・サービス

調査数	配食	調理	掃除・洗濯	買い物(宅配は含まない)	ゴミ出し	外出同行	移送サービス	見守り、声かけ	サロンなどの定期的な通いの場	その他	特になし	無回答
2,458	205	163	587	348	293	252	151	204	46	43	953	480
100.0	8.3	6.6	23.9	14.2	11.9	10.3	6.1	8.3	1.9	1.7	38.8	19.5

問13 今後の在宅生活継続に必要な支援・サービス

調査数	配食	調理	掃除・洗濯	買い物(宅配は含まない)	ゴミ出し	外出同行	移送サービス	見守り、声かけ	サロンなどの定期的な通いの場	その他	特になし	無回答
2,458	289	238	529	390	297	493	413	319	131	26	732	486
100.0	11.8	9.7	21.5	15.9	12.1	20.1	16.8	13.0	5.3	1.1	29.8	19.8

問14 現在の入所(入居)施設

調査数	介護老人福祉施設(特別養護老人ホーム)	介護老人保健施設(老人保健施設)	介護療養型医療施設(介護医療院)	認知症対応型共同生活介護(グループホーム)	特定施設入居者生活介護(介護付き老人ホーム等)	養護老人ホーム	軽費老人ホーム	生活支援ハウス	その他の施設	無回答
415	140	59	6	51	116	10	2	2	4	25
100.0	33.7	14.2	1.4	12.3	28.0	2.4	0.5	0.5	1.0	6.0

問14-1 入所(入居)を希望した理由

調査数	い段に問題があるなど、住まいから	た護ひとり暮らしなど、介護する家族がいなかつたから	重家族の介護では負担が	かしてつたから	日中や夜間に見守りを	ない方と経済的負担が少	在宅サービスより施設	十分な介護が受けられ	その他	無回答
415	79	126	238	118	11	161	13	16		
100.0	19.0	30.4	57.3	28.4	2.7	38.8	3.1	3.9		

問14-2 入所継続の意向

調査数	このまま住み続けたい	違う施設に移りたい	その他	無回答
14	12	1	-	1
100.0	85.7	7.1	-	7.1

問15 在宅医療の利用有無

調査数	はい	いいえ	無回答
3,038	744	1,529	765
100.0	24.5	50.3	25.2

問15-1 訪問される医療従事者

調査数	医師	歯科医師	看護師	理学療法士、作業療法士、リハビリ職	薬剤師	歯科衛生士	栄養士、管理栄養士	その他	無回答
744	359	139	469	275	94	71	11	16	11
100.0	48.3	18.7	63.0	37.0	12.6	9.5	1.5	2.2	1.5

問16 現在の介護支援専門員(ケアマネジャー)の満足度

	調査数	満足	ほぼ満足	やや不満	不満	わからない	無回答
(1) 相談したいときに応じてくれる	3,038 100.0	1,341 44.1	831 27.4	70 2.3	44 1.4	152 5.0	600 19.7
(2) 希望どおりのケアプランを作ってくれる	3,038 100.0	1,093 36.0	772 25.4	102 3.4	41 1.3	217 7.1	813 26.8
(3) ケアプランについて説明してくれる	3,038 100.0	1,132 37.3	772 25.4	92 3.0	44 1.4	193 6.4	805 26.5
(4) サービス事業者と調整をしてくれる	3,038 100.0	1,146 37.7	708 23.3	81 2.7	25 0.8	222 7.3	856 28.2
(5) サービス日時の変更などの希望に応じてくれる	3,038 100.0	1,160 38.2	686 22.6	62 2.0	24 0.8	249 8.2	857 28.2
(6) 希望したサービスを紹介してくれる	3,038 100.0	1,022 33.6	658 21.7	88 2.9	42 1.4	306 10.1	922 30.3
(7) 希望する事業者を紹介してくれる	3,038 100.0	965 31.8	609 20.0	91 3.0	42 1.4	384 12.6	947 31.2
(8) 専門知識が多いと感じる	3,038 100.0	902 29.7	695 22.9	126 4.1	52 1.7	370 12.2	893 29.4
(9) 介護予防や自立に向けケアプランを作ってくれる	3,038 100.0	910 30.0	701 23.1	107 3.5	48 1.6	367 12.1	905 29.8

問17 現在利用している介護サービスの満足度

調査数	満足している	やや満足している	やや満足していない	満足していない	わからない	無回答
3,038 100.0	1,285 42.3	981 32.3	127 4.2	77 2.5	219 7.2	349 11.5

問18 ここ1年以内に利用したい介護サービス

調査数	自宅で生活しながらサービスを受けたい	居施設等に入所(入居)したい	みではない(現在の利用サービス)	特にはない(現在の利用サービス)	無回答
3,038 100.0	755 24.9	161 5.3	1,604 52.8	518 17.1	

問18-1 ここ1年以内に利用したい在宅介護サービス

調査数	訪問介護(ホームヘルプ)	介護予防型訪問サービス(現行相当型)	生活援助型訪問サービス	訪問看護	訪問リハビリテーション	居宅療養管理指導	通所介護(デイサービス)	介護予防型通所サービス(現行相当型)	短時間型通所サービス(基準緩和型)	通所リハビリテーション(デイケア)	養介護(ショートステイ)	短期入所生活介護・療養介護	小規模多機能型居宅介護	福祉用具の貸与	福祉用具の購入	住宅改修	訪問巡回・随時対応型サービス
755 100.0	188 24.9	48 6.4	69 9.1	91 12.1	111 14.7	27 3.6	127 16.8	25 3.3	25 3.3	94 12.5	92 12.2	11 1.5	194 25.7	81 10.7	71 9.4	24 3.2	

訪問入浴介護	夜間対応型訪問介護	居看護小規模多機能型	その他	特にはない	無回答
60 7.9	24 3.2	5 0.7	6 0.8	117 15.5	40 5.3

問18-2 ここ1年以内に利用したい施設介護サービス

調査数	介護老人福祉施設(特別養護老人ホーム)	介護老人保健施設(老人保健施設)	介護療養型医療施設	介護医療院	ホームヘルプ	認知症対応型共同生活介護(グループホーム)	特定施設入居者生活介護(介護付き有料老人ホーム等)	無回答
161 100.0	75 46.6	16 9.9	13 8.1	2 1.2	13 8.1	21 13.0	21 13.0	

問19 外出頻度

調査数	ほとんど外出しない	週1回	週2〜4回	週5回以上	無回答
3,038 100.0	905 29.8	440 14.5	1,021 33.6	319 10.5	353 11.6

問20 外出回数の減少状況

調査数	とても減っている	減っている	あまり減っていない	減っていない	無回答
3,038	609	1,003	525	490	411
100.0	20.0	33.0	17.3	16.1	13.5

問21 外出を控えること

調査数	はい	いいえ	無回答
3,038	1,818	895	325
100.0	59.8	29.5	10.7

問21-1 外出を控えている理由

調査数	病気がい	障がい	足腰などの痛み	トイレの心配	耳の問題) の音が聞こえない	目の障がい	外での楽しみがない	経済的に出られない	交通手段がない	その他	無回答
1,818	302	118	1,001	308	144	113	181	82	155	537	64
100.0	16.6	6.5	55.1	16.9	7.9	6.2	10.0	4.5	8.5	29.5	3.5

問22 介護予防に対する意識の程度

調査数	意識している	やや意識している	あまり意識していない	意識していない	無回答
3,038	887	850	485	333	483
100.0	29.2	28.0	16.0	11.0	15.9

問23 介護予防として取り組んでいること

調査数	体操や運動により体力を維持する	食事バランスのとれた食事をとる	健康を保つ	歯磨きや入れ歯の手入れを行う	地域活動やボランティアに参加する	町会、老人クラブなどの活動に参加する	趣味や学習を楽しむ	近所の人や友達と交流する	掃除や洗濯、調理などは自分でできること	掃除や洗濯、調理などは自分でできること	健康(検診)や保健指導を受けたりする	仕事をする	介護予防ポイント事業	百歳体操(いきいき・かみかみ・しやしき)	その他	特になし	無回答
3,038	1,386	1,354	1,387	137	429	484	1,175	1,159	60	10	164	54	358	377			
100.0	45.6	44.6	45.7	4.5	14.1	15.9	38.7	38.2	2.0	0.3	5.4	1.8	11.8	12.4			

問23 介護予防として取り組んでみたいこと

調査数	体操や運動により体力を維持する	食事バランスのとれた食事をとる	健康を保つ	歯磨きや入れ歯の手入れを行う	地域活動やボランティアに参加する	町会、老人クラブなどの活動に参加する	趣味や学習を楽しむ	近所の人や友達と交流する	掃除や洗濯、調理などは自分でできること	掃除や洗濯、調理などは自分でできること	健康(検診)や保健指導を受けたりする	仕事をする	介護予防ポイント事業	百歳体操(いきいき・かみかみ・しやしき)	その他	特になし	無回答
3,038	900	716	551	119	401	350	566	444	53	29	215	10	746	702			
100.0	29.6	23.6	18.1	3.9	13.2	11.5	18.6	14.6	1.7	1.0	7.1	0.3	24.6	23.1			

問23-1 介護予防に取り組まない理由

調査数	介護予防に支障がない日常生活	いまだに取組まない理由	どこから取組まない理由	外に出るのとおつから	調子が悪くてできな	持病があつたり、体調が悪い	今が思っている	無回答										
825	131	113	130	272	39	40	130	94										
100.0	15.9	13.7	15.8	33.0	4.7	4.8	15.8	11.4										

問24 歯の数と入れ歯の利用状況

調査数	自分の歯は20以上	自分の歯は10以上	自分の歯は10以下	入れ歯は1以上	入れ歯は1以下	無回答												
3,038	251	540	1,458	454	335													
100.0	8.3	17.8	48.0	14.9	11.0													

問24-1 かみ合わせのよさ

調査数	はい	いいえ	無回答
3,038	1,769	858	411
100.0	58.2	28.2	13.5

問24-2 毎日の入れ歯の手入れ有無

調査数	はい	いいえ	無回答
1,709	1,384	204	121
100.0	81.0	11.9	7.1

問25 咀嚼状況

調査数	何でもかんで食べることができる	一部、かめない食べ物がある	いかめない食べ物が多い	かんで食べることができない	無回答
3,038	1,182	1,148	355	87	266
100.0	38.9	37.8	11.7	2.9	8.8

問26 お茶や汁物等でむせること

調査数	はい	いいえ	無回答
3,038	1,244	1,529	265
100.0	40.9	50.3	8.7

問27 現在の健康状態

調査数	とてもよい	まあよい	あまりよくない	よくない	無回答
3,038	117	1,682	808	200	231
100.0	3.9	55.4	26.6	6.6	7.6

問28 新型コロナウイルス感染症に対する感染対策の有無

調査数	行っている	行っていない	無回答
3,038	2,553	270	215
100.0	84.0	8.9	7.1

問28-1 行っている感染対策

調査数	上空人けで話している時(2m以上)	避会話している際は真正面を	大人数が集まる場所	指消毒を洗っている・手	こまめに換気	こまめな換気	掛けている	少人数・短時間	外食をする場合は、	マスクを食を	その他	無回答
2,553	870	556	1,436	1,778	1,232	591	573	302	48			
100.0	34.1	21.8	56.2	69.6	48.3	23.1	22.4	11.8	1.9			

問29 新型コロナウイルス感染症の感染経験

調査数	ある	ない	ない	答えたくない	無回答
3,038	310	2,523	33	6	166
100.0	10.2	83.0	1.1	0.2	5.5

問30 かかりつけの医師の訪問有無

調査数	か(と)かりつけの医師が	か(と)かりつけの医師が	か(と)かりつけの医師が	か(と)かりつけの医師が	な(と)かりつけの医師が	無回答
3,038	1,079	725	773	132	329	
100.0	35.5	23.9	25.4	4.3	10.8	

問31 かかりつけの歯科医師の訪問有無

調査数	か(と)かりつけの歯科医師が	か(と)かりつけの歯科医師が	か(と)かりつけの歯科医師が	か(と)かりつけの歯科医師が	な(と)かりつけの歯科医師が	無回答
3,038	515	725	719	632	447	
100.0	17.0	23.9	23.7	20.8	14.7	

問32 かかりつけの薬剤師・薬局の訪問有無

調査数	か(と)かりつけの薬剤師・薬局が	か(と)かりつけの薬剤師・薬局が	か(と)かりつけの薬剤師・薬局が	か(と)かりつけの薬剤師・薬局が	な(と)かりつけの薬剤師・薬局が	無回答
3,038	811	559	929	315	424	
100.0	26.7	18.4	30.6	10.4	14.0	

問33 会・グループ等の参加頻度

	調査数	週4回以上	週2～3回	週1回	月1～3回	年に数回	参加していない	無回答
◎ ボランティアのグループ	3,038	6	16	14	19	14	2,126	843
	100.0	0.2	0.5	0.5	0.6	0.5	70.0	27.7
◎ スポーツ関係のグループやクラブ	3,038	18	40	40	16	7	2,057	860
	100.0	0.6	1.3	1.3	0.5	0.2	67.7	28.3
◎ 趣味関係のグループ	3,038	12	30	39	65	29	2,001	862
	100.0	0.4	1.0	1.3	2.1	1.0	65.9	28.4
◎ 学習・教養のグループ	3,038	5	13	15	24	14	2,103	864
	100.0	0.2	0.4	0.5	0.8	0.5	69.2	28.4
◎ -1 百歳体操やラジオ体操等の介護予防のための体操・運動の通いの場	3,038	43	62	91	37	13	1,927	865
	100.0	1.4	2.0	3.0	1.2	0.4	63.4	28.5
◎ -2 上記以外の介護予防のための通いの場	3,038	37	113	97	24	7	1,892	868
	100.0	1.2	3.7	3.2	0.8	0.2	62.3	28.6
◎ 老人クラブ	3,038	1	9	8	28	43	2,104	845
	100.0	0.0	0.3	0.3	0.9	1.4	69.3	27.8
◎ 町内会・自治会	3,038	3	6	4	26	113	2,027	859
	100.0	0.1	0.2	0.1	0.9	3.7	66.7	28.3
◎ 収入のある仕事	3,038	18	14	8	7	12	2,114	865
	100.0	0.6	0.5	0.3	0.2	0.4	69.6	28.5

問33-1 地域住民のグループ活動に参加者としての参加意向

調査数	是非参加したい	参加してもよい	参加したくない	既に参加している	無回答
3,038	121	728	1,525	40	624
100.0	4.0	24.0	50.2	1.3	20.5

問33-2 地域住民のグループ活動に企画・運営(お世話役)としての参加意向

調査数	是非参加したい	参加してもよい	参加したくない	既に参加している	無回答
3,038	52	426	1,875	27	658
100.0	1.7	14.0	61.7	0.9	21.7

問34 認知症の症状がある身近な人の有無

調査数	はい	いいえ	無回答
3,038	946	1,766	326
100.0	31.1	58.1	10.7

問34-1 認知症に関する相談窓口の認知度

調査数	はい	いいえ	無回答
3,038	1,303	1,441	294
100.0	42.9	47.4	9.7

問34-2 認知症に関する相談窓口で知っているところ

調査数	かかりつけの医師	地域の精神科・神経内	認知症疾患医療セン	民生委員・町会などの	ヘルパーなどの介護	介護支援専門員やホ	の介護保険事業者	特別養護老人ホーム、	(または総合相談セン	地域包括支援セン	チーム(通称「オレン	認知症初期集中支	区役所・保健福祉セン	その他	無回答
1,303	834	212	42	60	725	128	245	93	267	2	62				
100.0	64.0	16.3	3.2	4.6	55.6	9.8	18.8	7.1	20.5	0.2	4.8				

問34-3 認知症の不安に対する相談先

調査数	かかりつけの医師	地域の精神科・神経内	認知症疾患医療セン	民生委員・町会などの	ヘルパーなどの介護	介護支援専門員やホ	の介護保険事業者	特別養護老人ホーム、	(または総合相談セン	地域包括支援セン	チーム(通称「オレン	認知症初期集中支	区役所・保健福祉セン	どこに相談すればいい	その他	無回答
1,303	845	170	42	23	733	94	162	46	198	27	13	57				
100.0	64.9	13.0	3.2	1.8	56.3	7.2	12.4	3.5	15.2	2.1	1.0	4.4				

問35 高齢者向けサービス情報などの入手先

調査数	家族・友人・知人	介護支援専門員やホームヘルパーなどの介護保険事業者	民生委員	自治会・地域活動協議会など、地域で見守りを行っている団体	地域ネットワーク委員・推進員や福祉のコーディネーター	区社会福祉協議会	老人福祉センター	区役所・保健福祉センター	地域包括支援センター(または総合相談窓口)	「区政だより」や「くらしの便利帳」など広報誌	市のホームページ(メールマガジンなど)	新聞・テレビ・ラジオなど	その他	特にない	無回答
3,038	969	1,758	40	146	42	69	65	267	167	567	73	682	26	240	330
100.0	31.9	57.9	1.3	4.8	1.4	2.3	2.1	8.8	5.5	18.7	2.4	22.4	0.9	7.9	10.9

問36 現在の生活の満足度

調査数	満足	やや満足	やや満足でない	満足でない	無回答
3,038	624	1,437	416	283	278
100.0	20.5	47.3	13.7	9.3	9.2

問38 介護者の続柄

調査数	配偶者	子	子の配偶者	孫	兄弟・姉妹	その他	無回答
1,310	442	679	49	5	24	36	75
100.0	33.7	51.8	3.7	0.4	1.8	2.7	5.7

問39(1) 介護者の性別

調査数	男性	女性	その他、または、答えたくない	無回答
1,310	380	831	11	88
100.0	29.0	63.4	0.8	6.7

問39(2) 介護者の年齢

調査数	16歳未満	16歳から19歳	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80歳以上	無回答
1,310	-	-	1	9	68	300	328	281	245	78
100.0	-	-	0.1	0.7	5.2	22.9	25.0	21.5	18.7	6.0

問39(3) 本人との同居有無

調査数	同居している	同居していない	無回答
1,310	895	337	78
100.0	68.3	25.7	6.0

問40 介護者の健康状態

調査数	健康である	まあまあ健康である	あまり健康ではない	健康ではない	無回答
1,310	302	622	223	78	85
100.0	23.1	47.5	17.0	6.0	6.5

問41 介護者の話し相手

調査数	同居の家族	親別居している家族や	近所の人	友人・知人	会社の同僚・元同僚	その他	いない	無回答
1,310	818	474	219	459	197	36	41	83
100.0	62.4	36.2	16.7	35.0	15.0	2.7	3.1	6.3

問42 事業者以外で介護の手助けをしてくれる相手

調査数	同居の家族	別居している家族や親	近所の人	本人の友人・知人	介護者の友人・知人	その他	いない	無回答
1,310	486	580	56	38	31	7	255	107
100.0	37.1	44.3	4.3	2.9	2.4	0.5	19.5	8.2

問43 本人の認知症の程度

調査数	全く認知症の症状がない	立ち、日常の生活はほぼ自立している	何らかの認知症は自覚がある	症状・行動等が多少見られる	症状・行動等が見られ、介護が必要とする	症状・行動等が見られ、常に介護を必要とする	専門医療が必要とする	激しい精神症状がある	無回答
1,310	485	337	187	92	65	6	138		
100.0	37.0	25.7	14.3	7.0	5.0	0.5	10.5		

問44 介護者が行っている介護内容

調査数	日中の排泄	夜間の排泄	食事の介助(食べる)	入浴・洗身	身だしなみ	衣服の着脱	屋内の移乗・移動	外出の付き添い、送迎等	服薬	認知症状への対応	医療面での対応	食事の準備	その他の家事	金銭管理や生活面に必要な諸手続き	その他	わからない	無回答
1,310	233	191	264	261	293	373	250	773	534	245	67	820	894	820	20	7	146
100.0	17.8	14.6	20.2	19.9	22.4	28.5	19.1	59.0	40.8	18.7	5.1	62.6	68.2	62.6	1.5	0.5	11.1

問45 在宅介護で毎月に最も必要とするもの

調査数	清拭剤(おしりふきを含む)	ドライシャンプー	使い捨て手袋	使い捨て防水シート	口腔ケア用品	消臭剤	とろみ剤	その他	無回答
1,310	246	37	227	87	210	203	50	31	620
100.0	18.8	2.8	17.3	6.6	16.0	15.5	3.8	2.4	47.3

問46 在宅介護を行ううえで困っていること

調査数	介護(対応)方法がわからない(感染症への対応)	介護の手助けをしてくれない	負担が大きい	身体的な負担が大きい	経済的な負担が大きい	仕事との両立が難しい	自分の時間がもてない	家族や近隣の人の理解や協力が得られない	本人との関係がうまくいっていない	本人が介護保険サービスの利用を望まない	相談する相手がいない	介護している家族が交流の場がない	介護保険サービスの情報が入りづらい	介護保険サービスの内容に不満	自分自身に持病や障がいがある	新型コロナウイルス感染症の影響で介護負担が増える
1,310	74	179	462	278	199	249	384	43	76	109	54	60	37	30	226	85
100.0	5.6	13.7	35.3	21.2	15.2	19.0	29.3	3.3	5.8	8.3	4.1	4.6	2.8	2.3	17.3	6.5

調査数	新型コロナウイルス感染症の影響で介護負担が増える	感染症への対応がわからない	その他	特に困っていることはない	無回答
59	37	21	260	212	
4.5	2.8	1.6	19.8	16.2	

問47 在宅介護を行ううえで虐待のような状態になったこと

調査数	イライラして手こたえがある	食事や入浴などがある	しつこい大声でどがなっている	無視してしまったりとがある	本人が外出しないよてしまったりとがある	本人の年金や預貯金を本人以外のために使ってしまうことがある	その他	特にな	無回答
1,310	167	1	455	199	24	20	14	521	239
100.0	12.7	0.1	34.7	15.2	1.8	1.5	1.1	39.8	18.2

問48 高齢者虐待に対する通報・相談先の認知度

調査数	知っている	知らない	無回答
1,310	274	816	220
100.0	20.9	62.3	16.8

問49 本人の介護保険サービス利用による介護者の変化

調査数	はい	いいえ	無回答	
(1) 時間に余裕ができた	1,310 100.0	609 46.5	288 22.0	413 31.5
(2) 身体的に楽になった	1,310 100.0	599 45.7	286 21.8	425 32.4
(3) 精神的に楽になった	1,310 100.0	670 51.1	255 19.5	385 29.4
(4) 体調がよくなった	1,310 100.0	282 21.5	514 39.2	514 39.2
(5) 経済的に楽になった	1,310 100.0	151 11.5	634 48.4	525 40.1

問50 本人が利用している介護サービスに対する介護者の満足度

調査数	満足している	やや満足している	やや満足していない	満足していない	わからない	無回答
1,310	369	516	77	49	106	193
100.0	28.2	39.4	5.9	3.7	8.1	14.7

問51 在宅介護で重要なこと

調査数	家族や親族の協力があること	近所の手伝いやボランティアを頼めること	衰えを防ぐ本人の心身の健康	日頃からの本人の心身の健康	利用可能なサービスが安心できること	緊急の場合など安心して利用できること	緊急の場合など安心して利用できること	夜間・休日でも医師等に相談できること	介護者の心身のリフレッシュできること	介護者同士が交流できること	介護保険制度やサービスが得やすいこと	介護保険サービスの質、量が確保できること	本人、介護者が希望の介護を受けられること	介護に関する相談窓口があること	その他	特にな	無回答
1,310	656	69	428	533	568	331	333	78	208	361	280	20	60	195			
100.0	50.1	5.3	32.7	40.7	43.4	25.3	25.4	6.0	15.9	27.6	21.4	1.5	4.6	14.9			

問52 介護者の就業状況

調査数	就業中(フルタイム)	就業中(パートタイム)	本人の介護のため離職	無職	無回答
1,310	279	189	52	560	230
100.0	21.3	14.4	4.0	42.7	17.6

問52-1 介護のために行った働き方の調整

調査数	特に行っていない、行わない	介護のために「労働時間調整」をした	介護のために「有給休暇」を取った	介護のために「在宅勤務」を利用した	介護のために「労働時間調整」をした	その他	無回答
520	180	170	106	29	62	32	31
100.0	34.6	32.7	20.4	5.6	11.9	6.2	6.0



■ 回答不可理由

調査数	現在介護保険サービスを利用している	病院に入院中	本人の意思が確認できない	転居	死亡	その他	有効数
4,758	702	539	40	7	81	6	3,383
100.0	14.8	11.3	0.8	0.1	1.7	0.1	71.1

保険料コード

調査数	第1段階	第2段階	第3段階	第4段階	第5段階	第6段階	第7段階	第8段階	第9段階	第10段階	第11段階	第12段階	第13段階	第14段階	第15段階	無回答
3,383	242	920	457	406	329	281	246	279	95	34	21	17	6	17	26	7
100.0	7.2	27.2	13.5	12.0	9.7	8.3	7.3	8.2	2.8	1.0	0.6	0.5	0.2	0.5	0.8	0.2

問1 記入者

調査数	本人	家族、親族(主な介護者)	家族、親族(主な介護者以外)	その他	無回答
3,383	1,908	1,159	158	51	107
100.0	56.4	34.3	4.7	1.5	3.2

問2(1) 性別

調査数	男性	女性	その他、または、答えたくない	無回答
3,383	1,251	2,083	4	45
100.0	37.0	61.6	0.1	1.3

問2(2) 年齢

調査数	40歳	65歳	75歳	75歳	80歳	85歳	90歳以上	無回答
3,383	23	110	383	569	904	881	476	37
100.0	0.7	3.3	11.3	16.8	26.7	26.0	14.1	1.1

問2(3) 居住区

調査数	北区	都島区	福島区	此花区	中央区	西区	港区	大正区	天王寺区	浪速区	西淀川区	淀川区	東淀川区	東成区	生野区	旭区
3,383	112	148	83	100	70	66	88	94	81	43	118	194	200	80	187	134
100.0	3.3	4.4	2.5	3.0	2.1	2.0	2.6	2.8	2.4	1.3	3.5	5.7	5.9	2.4	5.5	4.0

調査数	城東区	鶴見区	阿倍野区	住之江区	住吉区	東住吉区	平野区	西成区	無回答
210	119	154	186	248	171	299	158	40	
6.2	3.5	4.6	5.5	7.3	5.1	8.8	4.7	1.2	

問3 要介護・要支援認定の有無

調査数	いる	いない	無回答
3,383	2,668	646	69
100.0	78.9	19.1	2.0

問3-1 要介護度

調査数	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	事業対象者	わからない	無回答
2,668	764	552	362	352	147	183	170	-	51	87
100.0	28.6	20.7	13.6	13.2	5.5	6.9	6.4	-	1.9	3.3

問4 現在抱えている傷病等

調査数	脳血管疾患(脳卒中)	心疾患(心臓病)	悪性新生物(がん)	呼吸器疾患	腎疾患(透析)	筋骨格系疾患	膠原病(関節リウマチ含む)	変形性関節疾患	認知症	パーキンソン病	難病(パーキンソン病を除く)	糖尿病	眼科・耳鼻科疾患	その他	なし	わからない	無回答
3,383	306	560	299	270	148	545	141	310	535	75	47	541	663	530	245	64	292
100.0	9.0	16.6	8.8	8.0	4.4	16.1	4.2	9.2	15.8	2.2	1.4	16.0	19.6	15.7	7.2	1.9	8.6

問5 世帯状況

調査数	単身(ひとり暮らし)	夫婦のみで、65歳以上、配偶者	夫婦のみで、65歳未満、配偶者	息子・娘との2世帯	その他の世帯	無回答
3,383	979	1,113	89	701	344	157
100.0	28.9	32.9	2.6	20.7	10.2	4.6

問6 介護者の有無

調査数	いる	いない	無回答
3,383	2,158	1,006	219
100.0	63.8	29.7	6.5

付問6 主な介護者

調査数	主に事業者	主に家族など	無回答
2,158	140	1,797	221
100.0	6.5	83.3	10.2

問6-1 家族・親族からの介護頻度

調査数	ない	日は家族・親族の介護もありが、少ない週に1	週に1〜2日ある	週に3〜4日ある	ほぼ毎日ある	無回答
2,158	480	185	162	95	939	297
100.0	22.2	8.6	7.5	4.4	43.5	13.8

問7 介護・介助が必要になった原因

調査数	脳卒中	心臓病	がん(悪性新生物)	呼吸器の病気	関節の病気	認知症	パーキンソン病	糖尿病	腎疾患(透析)	視覚・聴覚障がい	骨折・転倒	脊椎損傷	高齢による衰弱	その他	わからない	無回答
3,383	311	310	237	171	216	465	61	237	93	176	554	151	634	347	123	802
100.0	9.2	9.2	7.0	5.1	6.4	13.7	1.8	7.0	2.7	5.2	16.4	4.5	18.7	10.3	3.6	23.7

問8 初めて要介護認定を受けた目的

調査数	介護サービスの受給のため	福祉サービスの受給のため	支援のため	念のため	周囲に介護してもらうため	その他	無回答
3,383	751	291	1,149	323	214	655	19.4
100.0	22.2	8.6	34.0	9.5	6.3	19.4	

問9 直近の要介護認定の不満有無

調査数	特にない	やや不満である	不満である	わからない	無回答
3,383	1,708	314	187	557	617
100.0	50.5	9.3	5.5	16.5	18.2

問9-1 直近の要介護認定に不満な理由

調査数	認定結果が思っていたより軽かった	認定結果が思っていたより重かった	認定がされすぎて日数がかかりすぎる	認定の有効期間が短い	認定の調査の際の説明がわかりにくかった	その他	無回答
501	296	23	108	97	99	53	13
100.0	59.1	4.6	21.6	19.4	19.8	10.6	2.6

問10 介護サービスの利用状況

調査数	今までほとんど利用していない	以前は利用していたが現在は利用していない	無回答
3,383	2,010	925	448
100.0	59.4	27.3	13.2

問10-1 以前利用していた介護サービス

調査数	訪問介護（ホームヘルプ）	介護予防訪問サービス（現行相当型）	生活援助型訪問サービス（基準緩和型）	訪問看護	訪問リハビリテーション	居宅療養管理指導	通所介護（デイサービス）	介護予防通所サービス（現行相当型）	短時間型通所サービス（基準緩和型）	通所リハビリテーション（デイケア）	短期入所生活介護・療養介護（ショートステイ）	小規模多機能型居宅介護	福祉用具の貸与	福祉用具の購入	住宅改修	定期巡回・随時対応型訪問介護看護（2時間サービス）	訪問入浴介護
925	225	52	30	96	95	22	258	42	71	124	52	12	216	171	266	6	14
100.0	24.3	5.6	3.2	10.4	10.3	2.4	27.9	4.5	7.7	13.4	5.6	1.3	23.4	18.5	28.8	0.6	1.5

問11 介護サービスを現在利用していない理由

調査数	夜間対応型訪問介護	介護小規模多機能型居宅	その他	無回答	利用するほどの状態ではない	家族が介護をするため問題ない	以前に不満があった	利用料を支払うのが難しい	利用できるサービスがない	利用したいサービスがない	住宅改修、福祉用具買のため	住まいや利用方法がわからない	サービスの受け手が少ない	新型コロナウイルス感染症の可能性が高くなるから	人との接触機会が増えて	その他	無回答
3,383	4	3	20	41	1,079	282	531	103	193	88	133	179	405	363	584		
100.0	0.4	0.3	2.2	4.4	31.9	8.3	15.7	3.0	5.7	2.6	3.9	5.3	12.0	10.7	17.3		

問12 現在利用している、介護サービス以外の支援・サービス

調査数	配食	調理	掃除・洗濯	買わない物（宅配は含）	ゴミ出し	外出同行	移送サービス	見守り、声かけ	サロンなどの定期的な通いの場	その他	特になし	無回答
3,383	121	64	148	112	89	124	93	122	43	48	1,463	1,444
100.0	3.6	1.9	4.4	3.3	2.6	3.7	2.7	3.6	1.3	1.4	43.2	42.7

問13 今後の在宅生活継続に必要な支援・サービス

調査数	配食	調理	掃除・洗濯	買わない物（宅配は含）	ゴミ出し	外出同行	移送サービス	見守り、声かけ	サロンなどの定期的な通いの場	その他	特になし	無回答
3,383	350	206	442	376	229	466	509	354	162	60	918	1,182
100.0	10.3	6.1	13.1	11.1	6.8	13.8	15.0	10.5	4.8	1.8	27.1	34.9

問14 在宅医療の利用有無

調査数	はい	いいえ	無回答
3,383	176	2,821	386
100.0	5.2	83.4	11.4

問14-1 訪問される医療従事者

調査数	医師	歯科医師	看護師	理学療法士、作業療法士、リハビリ専門職	薬剤師	歯科衛生士	栄養士、管理栄養士	その他	無回答
176	98	15	80	38	12	7	2	11	9
100.0	55.7	8.5	45.5	21.6	6.8	4.0	1.1	6.3	5.1

問15 ここ1年以内に利用したい介護サービス

調査数	自宅サービスを受けたい	施設等に入所（入居）したい	特になし（現在のサービスでよい）	無回答
3,383	947	206	1,454	776
100.0	28.0	6.1	43.0	22.9

問15-1 ここ1年以内に利用したい在宅介護サービス

調査数	訪問介護(ホームヘルプ)	介護予防型訪問サービス(現行相当型)	生活援助型訪問サービス	訪問看護	訪問リハビリテーション	居宅療養管理指導	通所介護(デイサービス)	介護予防型通所サービス(現行相当型)	短時間型通所サービス(基準緩和型)	通所リハビリテーション(デイケア)	短期入所生活介護・療養介護(ショートステイ)	小規模多機能型居宅介護	福祉用具の貸与	福祉用具の購入	住宅改修	定期巡回・随時対応型訪問介護看護(24時間サービス)	訪問入浴介護
947	254	65	126	104	129	33	227	35	74	157	66	13	268	202	162	43	81
100.0	26.8	6.9	13.3	11.0	13.6	3.5	24.0	3.7	7.8	16.6	7.0	1.4	28.3	21.3	17.1	4.5	8.6

問15-2 ここ1年以内に利用したい施設介護サービス

調査数	夜間対応型訪問介護	居宅介護小規模多機能型	その他	無回答	調査数	介護施設(特別養老院、老人保健施設)	介護療養型医療施設	介護医療院	介護施設(老人ホーム)	認知症対応型共同生活介護(グループホーム)	特定施設入居者生活介護(介護付き有料老人ホーム等)	無回答
24	6	20	83	206	53	15	19	31	14	34	40	
2.5	0.6	2.1	8.8	100.0	25.7	7.3	9.2	15.0	6.8	16.5	19.4	

問15-3 施設等への入所・入居の検討状況

調査数	入所・入居を検討していない	入所・入居を検討している	入所・入居を検討していない	無回答
206	47	89	31	39
100.0	22.8	43.2	15.0	18.9

問16 外出頻度

調査数	ほとんど外出しない	週1回	週2～4回	週5回以上	無回答
3,383	862	411	1,119	638	353
100.0	25.5	12.1	33.1	18.9	10.4

問17 外出回数の減少状況

調査数	とても減っている	減っている	あまり減っていない	減っていない	無回答
3,383	638	1,204	558	579	404
100.0	18.9	35.6	16.5	17.1	11.9

問18 外出を控えること

調査数	はい	いいえ	無回答
3,383	1,931	1,097	355
100.0	57.1	32.4	10.5

問18-1 外出を控えている理由

調査数	病気がい	障がい	足腰などの痛み	トイレの心配	目の障がい(聞こえの問題)	目の障がい	外での楽しみがない	経済的に出られない	交通手段がない	その他	無回答
1,931	369	104	1,123	357	199	133	234	122	156	567	31
100.0	19.1	5.4	58.2	18.5	10.3	6.9	12.1	6.3	8.1	29.4	1.6

問19 介護予防に対する意識の程度

調査数	意識している	やや意識している	あまり意識していない	意識していない	無回答
3,383	1,091	904	526	396	466
100.0	32.2	26.7	15.5	11.7	13.8

問20 介護予防として取り組んでいること

調査数	体操や運動により体力を維持する	食事をバランスのとれた栄養をとる	歯磨きや入れ歯の手入れを保つ	地域の活動やクラブなどに参加する	趣味や学習を楽しむ	近所の人や友達と交流する	掃除や洗濯、調理などは自分でできること	健康診断(検診)や保健指導を受けたりする	仕事を続ける	介護予防ポイント事業	百歳体操(いきいき・かみかみ・しゃきしゃき)	その他	特にな	無回答
3,383	1,198	1,405	1,456	183	498	582	1,490	1,333	140	5	184	37	421	457
100.0	35.4	41.5	43.0	5.4	14.7	17.2	44.0	39.4	4.1	0.1	5.4	1.1	12.4	13.5

問20 介護予防として取り組んでみたいこと

調査数	を体操や運動により体力を維持する	栄養バランスのとれた食事をとる	歯磨きや入れ歯の手入れを保つ	地域の活動やボランティアに参加する	趣味や学習を楽しむ	近所の人や友達と交流する	掃除や洗濯、調理などは自分でできること	健康診断(検診)や保健指導を受けたりする	仕事を休む	介護予防ポイント事業	百歳体操(いきいき・かみかみ・しゃきしゃき)	その他	特にな	無回答
3,383	884	735	555	144	421	409	657	524	111	32	228	33	775	836
100.0	26.1	21.7	16.4	4.3	12.4	12.1	19.4	15.5	3.3	0.9	6.7	1.0	22.9	24.7

問20-1 介護予防に取り組まない理由

調査数	になくても日常生活に支障がないから	介護予防に取組まな	いでのうに取組まな	う外に出るのにおっく	から調病があつたり、体調が悪い	うが、今後取組んでいな	い一緒に取組む人が	その他	無回答
889	222	103	183	245	85	51	82	108	
100.0	25.0	11.6	20.6	27.6	9.6	5.7	9.2	12.1	

問21 歯の数と入れ歯の利用状況

調査数	用上自分の歯は20本	し上自分の入れ歯は2本	用下自分の入れ歯は1本	し下自分の入れ歯は1本	無回答
3,383	379	674	1,411	456	463
100.0	11.2	19.9	41.7	13.5	13.7

問21-1 かみ合わせのよさ

調査数	はい	いいえ	無回答
3,383	2,038	879	466
100.0	60.2	26.0	13.8

問21-2 毎日の入れ歯の手入れ有無

調査数	はい	いいえ	無回答
1,790	1,457	213	120
100.0	81.4	11.9	6.7

問22 咀嚼状況

調査数	何でもかんで食べることができる	物が部、かめない食べ	いかめない食べ物が多	でかんで食べることは	無回答
3,383	1,559	1,104	296	133	291
100.0	46.1	32.6	8.7	3.9	8.6

問23 お茶や汁物等でむせること

調査数	はい	いいえ	無回答
3,383	1,211	1,864	308
100.0	35.8	55.1	9.1

問24 現在の健康状態

調査数	とてもよい	まあよい	あまりよくない	よくない	無回答
3,383	158	1,732	911	318	264
100.0	4.7	51.2	26.9	9.4	7.8

問25 新型コロナウイルス感染症に対する感染対策の有無

調査数	行っている	行っていない	無回答
3,383	2,782	303	298
100.0	82.2	9.0	8.8

問25-1 行っている感染対策

調査数	上空人けして話す時は(2m隔以上)	避会話の際には真正面を	を大人数が集まる場所	指こまめに手洗している・手	けこまめな換気を心掛	掛けて数・短時間をは、心	外食をする場合は、	マスクを食を食しては、	その他	無回答
2,782	1,026	638	1,829	2,116	1,434	807	684	357	38	
100.0	36.9	22.9	65.7	76.1	51.5	29.0	24.6	12.8	1.4	

問26 新型コロナウイルス感染症の感染経験

調査数	ある	ない	わからない	答えたくない	無回答
3,383	303	2,811	27	-	242
100.0	9.0	83.1	0.8	-	7.2

問27 かかりつけの医師の訪問有無

調査数	てかかりつけの医師が(と思え)	なるか(と思え)	るか(と思え)	なかりつけの医師がい	無回答
3,383	778	956	1,022	248	379
100.0	23.0	28.3	30.2	7.3	11.2

問28 かかりつけの歯科医師の訪問有無

調査数	れがかかりつけの歯科医師(と、自宅にきて)	くがかかりつけの歯科医師(と、自宅にきて)	くがかかりつけの歯科医師(と、自宅にきて)	がかかりつけの歯科医師	無回答
3,383	236	1,017	966	713	451
100.0	7.0	30.1	28.6	21.1	13.3

問29 かかりつけの薬剤師・薬局の訪問有無

調査数	るかかりつけの薬剤師等(と、自宅にきて)	るかかりつけの薬局等(と、自宅にきて)	るかかりつけの薬局等(と、自宅にきて)	るかかりつけの薬局等(と、自宅にきて)	無回答
3,383	526	806	1,137	479	435
100.0	15.5	23.8	33.6	14.2	12.9

問30 会・グループ等の参加頻度

	調査数	週4回以上	週2～3回	週1回	月1～3回	年に数回	参加していない	無回答
◎ ボランティアのグループ	3,383	8	13	20	34	17	2,091	1,200
	100.0	0.2	0.4	0.6	1.0	0.5	61.8	35.5
◎ スポーツ関係のグループやクラブ	3,383	38	50	35	19	16	2,014	1,211
	100.0	1.1	1.5	1.0	0.6	0.5	59.5	35.8
◎ 趣味関係のグループ	3,383	15	36	54	99	48	1,918	1,213
	100.0	0.4	1.1	1.6	2.9	1.4	56.7	35.9
◎ 学習・教養のグループ	3,383	2	10	15	37	18	2,088	1,213
	100.0	0.1	0.3	0.4	1.1	0.5	61.7	35.9
◎ ー1 百歳体操やラジオ体操等の介護予防のための体操・運動の通いの場	3,383	54	47	85	35	13	1,937	1,212
	100.0	1.6	1.4	2.5	1.0	0.4	57.3	35.8
◎ ー2 上記以外の介護予防のための通いの場	3,383	20	24	25	23	14	2,054	1,223
	100.0	0.6	0.7	0.7	0.7	0.4	60.7	36.2
◎ 老人クラブ	3,383	5	13	13	27	57	2,052	1,216
	100.0	0.1	0.4	0.4	0.8	1.7	60.7	35.9
◎ 町内会・自治会	3,383	10	12	10	62	158	1,909	1,222
	100.0	0.3	0.4	0.3	1.8	4.7	56.4	36.1
◎ 収入のある仕事	3,383	58	30	9	10	15	1,967	1,294
	100.0	1.7	0.9	0.3	0.3	0.4	58.1	38.3

問30-1 地域住民のグループ活動に参加者としての参加意向

調査数	是非参加したい	参加してもよい	参加したくない	既に参加している	無回答
3,383	164	889	1,585	69	676
100.0	4.8	26.3	46.9	2.0	20.0

問30-2 地域住民のグループ活動に企画・運営(お世話役)としての参加意向

調査数	是非参加したい	参加してもよい	参加したくない	既に参加している	無回答
3,383	62	584	1,991	51	695
100.0	1.8	17.3	58.9	1.5	20.5

問31 認知症の症状がある身近な人の有無

調査数	はい	いいえ	無回答
3,383	866	2,138	379
100.0	25.6	63.2	11.2

問31-1 認知症に関する相談窓口の認知度

調査数	はい	いいえ	無回答
3,383	1,177	1,927	279
100.0	34.8	57.0	8.2

問31-2 認知症に関する相談窓口で知っているところ

調査数	かかりつけの医師	地域などの精神科・神経内	タリ認知症疾患医療セン	地域民生委員・町会などの	介護ヘルパーなど専門員やホ	の介護保険事業所など	特別養護老人ホーム、	地域包括支援センター	認知症初期集中支援	タリ役所・保健福祉セン	その他	無回答
1,177	698	170	51	81	295	46	288	98	331	10	132	
100.0	59.3	14.4	4.3	6.9	25.1	3.9	24.5	8.3	28.1	0.8	11.2	

問31-3 認知症の不安に対する相談先

調査数	かかりつけの医師	地域の精神科・神経内科などの医療機関	認知症疾患医療センター	民生委員・町会などの地域役員	介護支援専門員やヘルパーなどの介護事業者	介護老人保健施設などの介護保険事業者	特別養護老人ホーム、介護保険事業者	地域包括支援センター(または総合相談窓口)	認知症初期集中支援チーム(通称「オレンジチーム」)	区役所・保健福祉センター	かどから相談すればいい	その他	無回答
1,177	807	168	53	49	296	35	251	63	291	30	15	44	
100.0	68.6	14.3	4.5	4.2	25.1	3.0	21.3	5.4	24.7	2.5	1.3	3.7	

問32 高齢者向けサービス情報などの入手先

調査数	家族・友人・知人	介護支援専門員やヘルパーなどの介護事業者	民生委員	自治会・地域活動協議会など、地域で見守り活動を行っている団体	地域ネットワーク委員・推進員や福祉のコーディネーター	区社会福祉協議会	老人福祉センター	区役所・保健福祉センター	地域包括支援センター(または総合相談窓口)	「区政だより」や「くらしの便利帳」など広報誌	「区政だより」や「くらしの便利帳」など広報誌	市ホームページ(メールマガジンなど)	新聞・テレビ・ラジオ	その他	特にない	無回答
3,383	1,164	521	63	212	47	98	87	424	236	846	127	906	40	496	405	
100.0	34.4	15.4	1.9	6.3	1.4	2.9	2.6	12.5	7.0	25.0	3.8	26.8	1.2	14.7	12.0	

問33 現在の生活の満足度

調査数	満足	やや満足	やや満足でない	満足でない	無回答
3,383	635	1,458	478	415	397
100.0	18.8	43.1	14.1	12.3	11.7

介護保険サービス未利用者調査(介護者) ～単純集計結果～

問35 介護者の続柄

調査数	配偶者	子	子の配偶者	孫	兄弟・姉妹	その他	無回答
1,797	734	789	53	7	44	32	138
100.0	40.8	43.9	2.9	0.4	2.4	1.8	7.7

問36(1) 介護者の性別

調査数	男性	女性	その他、または、 えたくない、または、 答	無回答
1,797	512	1,121	7	157
100.0	28.5	62.4	0.4	8.7

問36(2) 介護者の年齢

調査数	16歳未満	16歳から19歳	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80歳以上	無回答
1,797	-	1	2	15	83	395	393	388	379	141
100.0	-	0.1	0.1	0.8	4.6	22.0	21.9	21.6	21.1	7.8

問36(3) 本人との同居有無

調査数	同居している	同居していない	無回答
1,797	1,299	343	155
100.0	72.3	19.1	8.6

問37 介護者の健康状態

調査数	健康である	まあまあ健康である	あまり健康ではない	健康ではない	無回答
1,797	403	861	278	113	142
100.0	22.4	47.9	15.5	6.3	7.9

問38 介護者の話し相手

調査数	同居の家族	親別居している家族や 近所の人	友人・知人	会社の同僚・元同僚	その他	いない	無回答
1,797	1,089	636	318	649	233	26	63
100.0	60.6	35.4	17.7	36.1	13.0	1.4	3.5

問39 事業者以外で介護の手助けをしてくれる相手

調査数	同居の家族	族別居している家族や親	近所の人	本人の友人・知人	介護者の友人・知人	その他	いない	無回答
1,797	696	704	73	47	55	23	348	175
100.0	38.7	39.2	4.1	2.6	3.1	1.3	19.4	9.7

問40 本人の認知症の程度

調査数	全く認知症の症状がない	立が何らかの認知症は 日常生活は自立できる	が、日常生活は自立できる が、日常生活は自立できない	症状・行動等が多少見 られる	症状・行動等が見ら れる、介護が必要とする	症状・行動等に頻繁に 要する	専門医療が必要とする	激しい精神症状がある	無回答
1,797	666	482	264	94	57	18	216	12.0	
100.0	37.1	26.8	14.7	5.2	3.2	1.0	12.0		

問41 介護者が行っている介護内容

調査数	日中の排泄	夜間の排泄	食事の介助(食べる とき)	入浴・洗身	身だしなみ	衣服の着脱	屋内の移乗・移動	外出の付き添い、送 迎等	服薬	認知症状への対応	医療面での対応	食事の準備	その他の家事	金銭管理や生活面に 必要な諸手続き	その他	わからない	無回答
1,797	132	112	214	359	223	268	200	902	556	266	55	982	1,047	892	52	23	304
100.0	7.3	6.2	11.9	20.0	12.4	14.9	11.1	50.2	30.9	14.8	3.1	54.6	58.3	49.6	2.9	1.3	16.9

問42 在宅介護で毎月に最も必要とするもの

調査数	清拭剤(からだふ むきおしりふきを 含む)	ドライシャンプー	使い捨て手袋	使い捨て防水シ ーツ	口腔ケア用品	消臭剤	とりみ剤	その他	無回答
1,797	261	51	171	102	187	210	30	45	1,111
100.0	14.5	2.8	9.5	5.7	10.4	11.7	1.7	2.5	61.8

問43 在宅介護を行ううえで困っていること

調査数	は介護(対応)方法がわからない(感染症への対応)	介護の手助けをしてもらえない	介護の負担が大きい	身体的な負担が大きい	経済的な負担が大きい	仕事との両立が難しい	自分の時間がもてない	家族や近隣の人の理解が得られない	本人との関係がうまくいっていない	本人が介護保険サービスを利用を望まない	相談する相手がいない	介護保険サービス等の情報がかからない	介護保険サービスの内容に不満	自分自身に持病や障がいがある	新型コロナウイルス感染症の影響で介護負担が増える	新型コロナウイルス感染症の影響で介護負担が増える	
1,797 100.0	103 5.7	252 14.0	521 29.0	263 14.6	244 13.6	258 14.4	395 22.0	56 3.1	89 5.0	442 24.6	111 6.2	72 4.0	130 7.2	62 3.5	257 14.3	102 5.7	68 3.8

な感染症への対応がわからない	その他	特に困っていることはない	無回答
51 2.8	47 2.6	342 19.0	362 20.1

問44 在宅介護を行ううえで虐待のような状態になったこと

調査数	虐待(食事や洗濯など)をしない																
1,797 100.0	170 9.5	4 0.2	545 30.3	224 12.5	20 1.1	16 0.9	21 1.2	718 40.0	441 24.5								

問45 高齢者虐待に対する通報・相談先の認知度

調査数	知っている	知らない	無回答
1,797 100.0	287 16.0	1,153 64.2	357 19.9

問46 今後、本人の介護サービス利用を希望する意向

調査数	1年以内には利用したい	いつか利用してほしい	利用してほしくない	わからない	無回答
1,797 100.0	229 12.7	808 45.0	41 2.3	378 21.0	341 19.0

問47 介護サービス利用を希望するまでの本人の状態

調査数	日常生活に支障をきたすようになった	外出が困難になった	介護の必要性が高くなった	認知症が進んだ	病気が悪くなった	ひとり暮らしが困難になった	本人が介護サービスを利用する気がなくなった	新型コロナウイルス感染症に対する不安がなくなった	病院から退院した	経済的に余裕ができた	その他	わからない	介護保険サービスの利用はしたくない	無回答
1,797 100.0	940 52.3	355 19.8	827 46.0	724 40.3	491 27.3	584 32.5	550 30.6	139 7.7	87 4.8	126 7.0	30 1.7	69 3.8	10 0.6	288 16.0

問48 本人の介護サービス利用を希望するまでの介護者の状態

調査数	身体的に負担を感じた	精神的に負担を感じた	介護者自身の健康状態が悪化した	認知症や介護などによる家族の世話が難しくなった	仕事と介護の両立が難しくなった	経済的に余裕がなかった	その他	介護保険サービスの利用はしたくない	無回答	
1,797 100.0	863 48.0	618 34.4	1,130 62.9	83 4.6	425 23.7	315 17.5	128 7.1	33 1.8	22 1.2	336 18.7



問54 相談窓口の利用状況

	調査数	相談したことがある	知っているが、相談	知らない	無回答
(1) 区役所・保健福祉センター	1,797 100.0	357 19.9	763 42.5	321 17.9	356 19.8
(2) 地域包括支援センター(総合相談窓口(ブランチ)を含む)	1,797 100.0	526 29.3	567 31.6	370 20.6	334 18.6
(3) おおさか介護サービス相談センター	1,797 100.0	68 3.8	330 18.4	1,015 56.5	384 21.4
(4) 国民健康保険団体連合会	1,797 100.0	21 1.2	320 17.8	1,049 58.4	407 22.6
(5) 認知症初期集中支援チーム(オレンジチーム)	1,797 100.0	61 3.4	303 16.9	1,044 58.1	389 21.6

問54-1 在宅介護で困った時に相談窓口以外の相談先

調査数	同居の家族	親別居している家族や	友人・知人・近所の	な町会・自治会の役員	地域活動協会の見守りな	民生委員	(在宅介護支援事業者(ケアアマネジャー))	かかりつけの医師・薬剤師・	歯科医師・	病院等医療機関の職	その他	特にな	無回答
1,797 100.0	497 27.7	742 41.3	255 14.2	34 1.9	106 5.9	25 1.4	352 19.6	503 28.0	86 4.8	17 0.9	209 11.6	256 14.2	